令和6年度決算審査用 アクションプラン事業評価シート

目次

基本的施策 1	1
基本的施策 2	14
基本的施策 3	19
基本的施策 4	37
基本的施策 5	52
基本的施策 6	69
基本的施策 7	78
基本的施策 8	82
基本的施策 9 (1)	96
基本的施策 9 (2) 1	12
基本的施策 10 1	17
基本的施策 11 1	24
基本的施策 12 1	29
基本的施策 13 1	42
経営的施策 I 1	65
経営的施策 II 1	78
経営的施策 III 1	81
経営的施策 IV	85

						15	140 -	(又) フラ		, J		щ-	'							
1 ;	基本	情報	2				担	当 謂	地域コミ	ミュニテ	ィ推進説	果関		系	課	全課				
事	弟	ŧ	名	No.	1	複合型	コミュニ	ティ「まちの	のえき」づ	くり										
事	業	区	分	継続	会 計	区分	· —	·般会計	予 算	費	訓	ጀ	2	J	頁	1		目	8	
施	策	体	系	1	市民自	治活動·勻	 			戦 略	的施	策	J	行	改 改	革大	細	(1)(4)	_
根	_		_	-										事	務	区	分		台事務	_
事	<u>業</u>	<u>、 </u>	間	単年		年度)) 	年度繰返(,	年度~	継続)	√ 複	数年度	_	R2	<u>一</u> 年度		- Н	年度	
						十尺,	<u> </u>	十尺林丛		十尺	小匹/196 /		.9/_//	-(112	+13	Ζ		+13	2)
2	事業	の根	要	<u>・実施内</u>	容															
事							ビスと人	、的交流を	創出し、あ	らゆる	世代が賃	集い、言	准もが原	舌場	所と流	舌躍の	ある	持続す	J能な二]
事美	美実	施效	果	ミュニテ	ィを構築	軽する。														
	NII/	In	_	集会所や	の公園な	どの歩い	て行ける	る範囲の拠	点におい	て、新た	に場づ	くり活	動を行	うす	ī民活	動団	本(自	治会等	手)に対	U
事(全	業	概 計 i	要	て補助金	きを交付	することに	により、氵	活動のスタ	ートアップ	プ支援及	び継続	的な件	 走支持	爰を行	うう。					
(±	- 14	ā1 Ľ	四 /	事業の	の対象	生駒市	 民							(対	象数:		_)	
						 当	切計画							取組]実績					
				補助金3	,500 1	一円				補助金	2,63	36 千 ₽	9 7件	-						
				事業計画	策定W	S_689 1	一円			ネット'	フーク会	議委	託 49	5千	円					
				情報発信	§ 330=	ド 円	ш			情報発	信 16	5千円	-							
決	算年	度0)	コミユニ		流60千	H			争兼召	発等	1 1 	1							
		取組		サ未合力	t 寸 3 / 1															
						_														
				事業実	施手法	☑ 直接	接実施	☑ 委託・	指定管理	☑ 負担	旦金·補	助金		D他	()
3	車型	弗.	計派	內訳																
	尹未	· 貝 ·	只小,	ノロビリカ		R5決算	1		R6予算現	歯		R	6決算					R7予算		
車業	≛書(千円)			ハンハチ	* 3,34		NO J'开切	4,61	6	11	·U八升		307		ı	\ /]/ə	<u>∓</u> 5,40	67
ナオ							80			1,01					660				1,50	
		· 上工事		負費			- 00	_		1,01									1,0	<u>.</u>
			補助	及び交付金			2,50			3,50				2,6	536				3,90	
		<u>の他</u>						0		9					11					60
財源			\r <u></u>				3,34			4,61					307				5,40	
	特市	定財	<u> </u>				3,32	5		2,59	U			2,	933				2,73	33
		<u>頃</u> の他																		
		般財	源				1	6		2,02	6				374				2,73	34
_	_									,										
4	事業	(() 万	<u>果</u>	<u>・評価</u>	1															
				実現に ************************************	令和6年	E度は新7	たに2拠	点増えては	うり、自治	会を中心	ゝとした	市民活	手動をす	支援:	できて	ている				
		اع ت	、事業	美の成果)	PALE	1 12100////			, , , _,				1300	~J/X						
KP	I	11213	/	W / I \	15- 4	TII >		指標1		Iba - M//					指	票2				
				<u>単位)</u>	7 夜台	型コミュ.	ニナイ(変	<u>愛称:まちの</u>	りえき)の	拠点数										
			目標	•				15												
			実績	-	+₩+ + *Λ+⊏	いエテロン	ゕ次ムエ α	14 D課題等によ	· 1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	(古스피크										
	目	票値と	_実終	責値の差				り誄越寺によ 丿に取り組む			:									
				の理由	限られる	0	_													
行革	严	西(彳	<u> </u>	改革大統		づく評価))				/ Ir	- Iba	n_L							
		٦,	ストラ	意識	評価					評化	西した椎	艮拠・均								
	(費	用対	効果・	財源確保)	В	特定財	源を確保	ママス ようご	努め、想定	通り調	達できる	る見込	みであ	る。						
			da B	H -1	評価					評価	西した相	艮拠・理	曲							
	(的児 ₹標△	ぶ 行 、の寄与)	В	地域コミ	ミュニティ	推進の基礎	的な集団で	ある白き	台会の活	性化に	向け. 約	账続的	に全	 揺して	いる。			
	<u> </u>					-0-%= <		TILE VY E INC	-J 6/NE					E-170F	3100	1,000	V - Q (,		_
				との協創 意見把握	評価	複合刑"	1ミューテ	ィの立ち上	げに際して		西した材 ケートを			# .1.=	まち	のえき	の注	性化に	向什 民	問
				の活用)	В			きる仕組みる		いる。				OIC	(8)	ייירכ	07/12	ITIBIC	PIND	[PJ
	7	ジタル	ル・デ	一夕活用	評価						西した椎									
			タル EBP	の活用	С	複合型]ミュニテ	イの立ち上	げに際して	実施する	住民ア	ンケート	~をロゴ	`フォ-	ームか	ら回答	きでき	るよう	にするな	ì
			EDP	IVI <i>)</i>	評価	と、右中	- 暦か取り	組みやすい	11組みの格	再発に取り 証	<u>リ組んで</u> 西した相	<u>いる。</u> 見枷•珥	8由							
		松	合語	亚価	計画	白込みを	= 1+1 × 1+ \	~! + +\h+=\	15					ω±	フロン	ا+اهد	7日こセ	2 + 1	1 &%4	
		TAR	Пř	ТІЩ	В	コミュニ	ェはしめと .ティの活	≤した地域= 性化に向け	iミューティ ては取組す	い又抜る 法の再約	. 天旭し 食討など	いるだが求め	ハボルられる	いりめ o	の日派	고도(시	収り化	いくかり	ハフ抜り	보収
	±₩.	±++-	LA	-田日石	ク ナク									_	- トフ	占いい	<u>\</u>	□∕n±▽	させている	
É		美施 され)課題 ^{理題}		ある目冶 む必要が		られている	ことかり、	灯事 例(ル 肢開 [†]	い他王	14(/)参	川に	ふる	日冶名	云貝打	ロリ軽	減なと	_
	73	ر ۱۱	//こ 記	T. K. Z.	おり型の	つが女儿。	ه له رس				A	上川地でエ四	lrh							
	A#	4 A P	π έロ-	L -21	Ţ⊟ d.		41444	> ★ 7林 としょ・		· ,+		判断理		_ ,	14 -4	+ ~ '	BE 40 '	1-11-	11+"11-	
	ラは	色の耳	X組)	力	現礼 	犬維持)基礎的な 防犯や災害						ے	ば、ま	5の!	賑わり	いづく	りたけ	C,
					I		エストン	小心 化火き	孙心守、	マントメロ	ルボルカ	いひより	らる。							

		_				П			1							_				
	本情報			1			-	当		市民活			ンター	-	関	係	課	広報広	徳課、生涯	学習課
事	業	名	No.	2			創発プラ		<u></u>											
事	業区	分	継続	会 討	- 区	分	一般	会計		予 算				款	2		項	1	目	8
施	策体	系	1	市民自	治活動	か学の	び				戦	略自	的が	も 策		行	政改	革大綱	(1)	(4)
根扱	』法 令	等									9			•		事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年	变(年	度)	単年	F度繰i	反(年月	き~糸	継続)) 🗸 1	复数年月	隻(4	年度~	. 6	年度)
	= 3 14	117 JE		r -												•				
			・実施内																	
	美目 的 実施交		地域への 主体的な											交流会	会を実施	する	こと	で、様々な	な分野で目	自主的・
事 :	業 概 体計員		地域活動 合わせて								ትወጘ	やって	みた	こいこと	とを語り	合い	\仲間	を見つけ	る交流会	を組み
` _	TT. DI F	٦ /	事業の	の対象	全 生馬	市民	;									(対	象数:		_)
						当初										取約	且実績			
			講座と交			■営、	事業広幸	艮、アイ	デア	実現に			· - ı _		0=44	/				
			向けた件 ▶報償費			ニナは	ま田(武つ)	ハエロ	□ \)314 -	+円 125千円	
			▶消耗品			ノつか	一点の	JU F	۱)		戶廷	でいい。)连"	/ ن،ر	14000	<i>か</i> か	ノヘツ	碑座」 4	+23113	
	算年度(▶印刷製	本費 5	53千	·円														
E	Eな取組		▶委託料	366	千円(うち流	流用増30	00千F	円)											
			市 ** 中	歩 エン	+ -			7	- 11-	: — /r/c TI		<i>7</i> 10	1 ^ 4	L-1-1-1-1		- //L	,			
			事業実	他于为	☆ [_✓]	直接	美施 [✓ 委託	₺•	定管理		負担	金・位	補助金	≧	の他	()
3 事	手業費・	財源	内訳																	
					R5	決算			R	6予算现					R6決算				R7予算	
事業	費(千円						865	_				134					<u>739</u>			0
	12委計		5.世				0					366	_				299			
	14工事		貝質 及び交付金				0					0					0			
	その他		及U文刊並				865				-	768					440			
財源	(千円)						865					734					739			0
,,,,,,,,	特定財	源					382					134					739			
	市債						0					0					0			
	その他						0					0					0			
	一般財	源					483					0					0			
4 4	事業の原	뮕	・評価																	
	めざす状			事業の	一環で	で実施	した交流	充会や	講座	∞の参加	者が	複数:	名集	まって	、市民	プロミ	ジェク	トを企画	運営する。	ことに繋
			の成果)				が出会												,2,,,	
KPI							指	標1									指	票2		
		名(単位)					事業数	[-		
		目標	値					2										-		
	3	実績	値					1										-		
	目標値る		責値の差	市民活	動の創	削出支	援はして うことか	てはい。	るも	のの、記	構座参	∲加						-		
<u>√= ++</u>							باسدا	ハでさり	a v I	לטבויי										
打車			改革大約		ノ <u>く計</u> T	-1四)						=177/20	1 +	‡⊟ +bn	抽中					
			意識	評価	小社	活動で	アドバイサ	ガー会議	で国	専門家の	意見を			根拠・		を見	直し、	車続性をお	寺たせるこ	とで費田
	(費用対	効果・	財源確保)	В			い事業				ع مارس	- 141 C	0.73	JONA	画に予水) .		上がけて こり	17CC DC	د د کیران
		的思	思考	評価			- 							根拠・		// -		WF 5-7-1.		/
			ふ(の寄与)	В			5各講座(と答えた										リの人フ	バ活動に	必要な新し	ノい仲間
	夕+羊+>	÷/+	 との協創	評価	/3. (ر ۱۵ ع	と音えた	.o &/c\	門臼	E 参加日	の			月日代 根拠・		. 0				
	(市民	手への	意見把握	В	10	完結講	座の申し	込み状	況や	参加者	アンケ					連続	講座や	新年度事	業の企画	につなげ
	-		の活用)		た。							= /	-ı <u>+</u>	⊥□⊥hn	тп —					
			一夕活用	評価										根拠・						
		の活用 M)	服発信に	インター	/トやSN	Sを活	用した	たり、	申込み	や事後	アンク	ートに	ロゴフォ	ームを活用	した。					
						評価	iした	根拠・	理由											
	評価													ったテ	ーマが	、市	民活重	かを始めれ	たい人や流	深めたい
	B 人のニーズと一致し、新しい層の参加																			
事	事業実施上の課題 イベントではなく、継続的・公益的な市民活動												するに	は、サ	域への	興味	関心	を促し、 b	ごジョンや	課題を
,	事業実施上の課題 イベントではなく、継続的・公益的な市民活動を ・残された課題 共有する仲間が必要であるためハードルが高い														. · · · ·	. •••		,,	'	
														判断	理由					
	今後の耳	又組	方針	i	改善	ľ	講座の問	開催だ	けて	がは公益	活動	の創!	出・総			ため.	地域	活動を応	 援する補	助金の
																			爰を強化す	

		_								-1						
	基本情報				,			果 生涯学	望課		関	係 係	課			
事	業	名	No.	3	学びと活	躍推進事	事業									
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	8	項	5	目	1
施	策体	系	1	市民自治	台活動·学	び		•	戦 略	的;	施策	1	亍政 改	革大綱	(1)	(4)
	见法 令	等											事務	区分	自治	事務
	- / / 	間	単年		年度)	√ 単年	度繰返	(P/I	年度~	- 継続	(1) / (1)	数年度(3, 3,5	 年度~		年度)
7	- NJ	ΙΗJ	=+/	又(十尺)	<u> </u>	一又冰丛	(1\-	十尺	小匠小儿	;/ L 1×	.xx+/x(十尺		十尺)
2 📱	事業の概	騕	・実施内	容												
事業事業	業 目 的 実施効)· b果	学びを通 多様な市	して地域詞 民同士が:	果題や社会 学び合うこ	課題に触れ とで、お互	れ、考える [いの違し	る機会をつく いを受け止め	くること ⁻ か、多様	で、地は生を認	或や社会に め合う意	こ能動的に 識が醸成	こ関わり される。	行動する市	民が増え	る。また
事	業概	要			展開 ・多h アートワー			・ポータル 催	サイトの	の一部	3リニュー	アル				
(全	体計画	卣)	事業(り対象	生駒市民	2						(対象数:)
			* * * *	7 7 3	当初								双組実績			
			・市民協働	動や他課と	:の連携によ)開催 1.	.089千円	·市民	点働や	他課との				679	 千円
			・学びのオ	ピータルサ	イトの運用	341千F	9		・学びの	カポー	タルサイト	の運用			248	
			・インクル	ーシブア-	ートワークシ	/ヨップのヨ	実施 1,4	474千円	・インク	ルーシ	ノブアート	ワークショ	ヨップの	実施	1,474	4千円
24.	\$\$ / -															
	算年度 <i>0</i> Eな取組															
	に、447世															
			= * +	<i>*</i> + + \	I								,			
			事 業 美	施手法	☑ 直接	実施	☑ 委託・	指定管理	負	担金・	補助金	その(也()
3 📱	事業費・	財源	張内訳													
<u> </u>	上 不只	77'J III.	11, 15/1		R5決算			R6予算現	綇		R	6決算			R7予算	
車業	費(千円)			113//7	1,213		110 3 77-71	2,90	4	- 11		2,368		111117	1,392
3-/IC	12委託					253			1,81				1,722			330
	14工事		負費						.,				.,,,			
			及び交付金													
	その他					960			1,08	9			646			1,062
財源	(千円)					1,213			2,90	4		í	2,368			1,393
	特定財	源														1
	市債															
	その他	\r=				1 010				0			0			1 202
	一般財	源_				1,213			2,84	4		4	2,368			1,392
4 📱	事業の原	果	•評価													
	めざす状			ischool	では様々か:	主休と連携	EL716	回の講座を介	面宝施	,たほ7	か「インク	リルーシブ	アートワー	-クショップ	を宝施し	ナュまたそ
	したこと							3サイトで告げ								
KPI						指	標1						指	標2		
1/1 1		名(単位)	アンケートで「^	今後の暮らし			あった」と答え	た割合(9	%)			10.	 		
		<u>. [</u>					70									
		実績					33									
	_		<u>''-</u> 責値の差	それぞれ	の講座におり			興味関心や	学びへの							
	日信担の			ニーズに	沿った内容と			から十分に								
仁				うにした。 図 ロ甘 っ	でく評価)											
1J 					/ <u>八計៕/</u> T				=π	/#I #	こ根拠・理	Rrth				
			意識	評価	スキルの2	ある市民に	=講師を	依頼するなん					ナスニン:	で、より効率	を的な予覧	<u>-</u> 動行につ
	(費用対象	効果・	財源確保)	Α	ながった。		- 144640 C I	DAY & O O	_ 1131 310	יוי עם כט ב	л С УД///	м С /Д/13 ;	, 900		-61001	+ 1 771] IC 2
	В	的思	尹	評価							:根拠・理					
			いつ (の寄与)	Α				の魅力や課							緒に学ぶ	」形式を
				評価	取り入れ	こり託児を	上用思りな	るなどできる			・根拠・理		企画し(さた。		
			との協創 意見把握			n		A								
			の活用)	Α	市民や地域	域の団体、	また「協	創対話窓口	」で提案	とてき	た民間企	業とも連	携して記		実施してき	きた。
	デジタル	ル・デ	ータ活用	評価							・根拠・理					
		ラル EBPI	の活用	В	講座の企	画においる	てデータ	活用の余地	はあまり	なかっ	たが、参	加者の二	ーズ等は	アンケート	等で把握	しており
		CBPI	IVI <i>)</i>		二化りの	アータを今	後の講座	座企画で活7			<u>\。</u> こ根拠・理	8由				
	500	ڪ≡	17./ #F	評価	₽ ₩+\=#	 ≠ =====	+7-1	LY-+ 41					N++	<u> </u>	<u>1 +√</u>	- hhi - krimi
	**************************************	合語	ТІЩ	Α				ができ、参加 びを得て参加								りに役割
					こ木にりい		・小へ・十つ	このはん気が	'H.디디T		511·17 J	、	v.v.⊂X	7小 ○回八,	<i>ا</i> ره	
事業実施上の課題 ・残された課題 まだ庁内連携は限られた課としかできておらず、さらに連携先を広げていく必要がある。																
	・残され	/に訝	R 起													
											判断理					
	今後の耳	又組え	方針	2	善	インクルー	ーシブア-	ートワークシ	゚゚゚゚゚゠ップに	ついて	ては今後の	の事業のプ	方向性を	検討するた	-め令和7	年度は予
						算計上を	行わなか	いったが、iso	chool7	ば引き	き続き様々	マな講座で	を実施す	රං		

						15.1	HO TIX					J-/\	~и ти		<u> </u>					
_	基:	本情幸	R				担	当	課	生涯学	習課			関]	係	課	地域包括	5ケア推	進課
事		業	名	No.	4	高齢者教	文育推進	事業												
事	業	区	分	継続	会 計	区分	一般	绘計	. 14	予 算	費	目	款		8	J	項	5	目	1
施	第	体	系	1	市民自治	台活動·学	び				戦	略的)施	策		行	政 改	革大綱		(1)
根:	拠	法令	等		1									-		事	務	区分	自	治事務
事	業		間	単年	 度(年度)	√ 単年	度繰返	反(R5	年月	まる とり とうしゅう とうしゅう しゅう とうしゅ しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	続)	複	数年度	₹(年度~		年度)
	_	ж Ф II	10		(, ,,,,,							1707			` _				
	_			・実施内																
事。	業	目 実施交	j ·			通して健康や情報を得														
* *	未っ	た心ス	小木																	こ <u>。</u> り」でも活躍
重	丵	概	要		とを目指し		ダエヘンいっこ	てて刈る	KIC	「健康 ノ	∠ ₽]	・土さん	かいつ	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	111月 -	J < 9.] ~ U	みかり、「す	、コノへ	り」でも心唯
(全	不 È 亿	本計[画)	・セカンド	ライフ充実	ミ支援 讃			通して	て豊かな	セカ	ンドラ	イフの:	実現に	向けた	プラ	ン作成	はや行動に	つなげる	る。
				事 業 (の対象	生駒市内		<u> </u>									象数:)
					- 1 24 - 1		計画	0.4	007	- m			- 1 334 .	Ф /Ш //		取組	実績	į		0007E
					寿大学の選 ドライフ講				89 1					の運営 講演会					5,	283千円 46千円
					ドライフ実				490 -					実践講						48千円
\ _	L 55	· / /	6																	
		年度の																		
	Т,	O-47/1/2																		
				事業実	施手法	√ 直接	実施	委託	:•指:	定管理	V	負担3	金•補	助金	7	の他	()
_	<u></u>	₩#.	B+32	5-th=0																
3	<u>尹</u>	未貝 ・	烈冰	京内訳		R5決算			R6	予算現	婠			D.	6決算	ī .			R7予	 質
車当	崔瞿	(千円	1)			NJ从异	3,775		NO) 」′并次		729		N	U八为		377		I/]/	# 8,188
777		12委記					29				Ο,	31				٠,٠	<u>27</u>			32
		4工		負費																
				及び交付金																
		その他					3,746					598					350			8,156
只才波		千円) 寺定財	·酒				0					729 237					377 395			8,188 2,137
		可促剂	//								۷,۵	231				. ا	393			2,137
		その他	,								3,	351				2,	105			2,452
	-	一般財	源								3,	141				1,8	377			3,599
1	車	業のF	七里	・評価																
		末りた ざす状																		骨づくりに努
				を現に その成果)	めた。また	こ、セカンド	ライフに関 [・]	する講演	宴会(1	回)及び	実践	講座(1	テーマ	'3回)を	き実施し	ハより	J豊か [®]	で安心して	今後のt	2カンドライ
KP	-)T				ノを送れ	るよう支援し		標1									指	漂2		
1 \	ÌГ	指標	名(単位)		セカンドラ				計数(人	()						JHI	л <u>с</u>		
			目標	値			6	00												
		:	実績	値			5	75												
	F	目標値の	と実績	責値の差		の開催が3			ことて	、受講	者の積	責み								
		分につい			_	定より少な	よくなった。	0												
行	靼	平価(1	亍政	改革大約	綱に基づ	(三評価)														
		 :	スト	意識	評価	#-D = #	7 (4)/#5	= .1.801	_1/n >	. 7174				拠·理		. ж				1 1111
				財源確保)	В		人は必要i により経費						再印し	ぐさる	限り1	業や	本巾()))関係団体	、または	出前講座の
	r		的思	田安	評価							評価し		拠·理						
				ぶつ への寄与)	В														ができ	ている。また
	H	A 1M-1-	~ //) on 17 Au	評価		で組織する	5l気り	くイツ	ソト」も攻] 攻貝			ごめ <u>様/</u> !拠・理		(組を)	進め(.いる。		
				との協創 意見把握		士 兄 か 問	反田仕笠	一手柱白玉子	<i>← /+:</i> ±i	エナフナン	レク					~~ 33.	* *** **	0.公画 + '#	ル フナ・	+
	L	·民間	活力等	の活用)	В	中氏で関	係団体等に	こ 再別で	全批制	見9 るび						子省	活期 ∪)企画を進	めてき	/こ。
				一夕活用	評価	="2"	<u> </u>	<u>C⊞ + '#</u>	ヒルフ	<u> </u>				拠・理		の性	印仁河	· 华 ' - '	力川江口	田の司坐州
			ノタル EBP	の活用 M)	С		やテータに ており、進				ソひし	・尹耒	でのつ	小、子音	土门门	マンゴ百	F区 I 区 注	≘守 じアン	メル活り	用の可能性
					評価									拠·理						
		絲	合語	平価																きた。セカン 実践しようと
					В		が見られる							上反はち	コロで統一	こ 向く	、 子 ん 	<i>…</i> こここを言	1ロから	大成しようと
		業実施				学生数が年	F々減少し	ている	。高幮	冷でも就	労す	る市民	が多し							ニーズや
		残され				も多様化し														
判断理由																				
	今	後の国	以組 :	方針	現場	(維持				き続き	実施し	ってい	くが、	並行し	して寿	大学	のあ	るべき姿	につい	ても検討
							を進めて	ていく。												

					1- 1		(, , , ,			ナハ	.ит іш >	<u>'</u>					
1 ½	基本情報	R				担	当 課	スポーツ	/振興	課	F	関	係	課	施設マネシ	ジメント課	將
事	業	名	No.	5	市内生涯	王学習施	设整備事	業								,	
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	8		 項	5	目	2
施	策体	系	1	市民自治	台活動·学	び			戦⊪	略的	施策		行	政改	革大綱		3
_	<u></u>	-	生駒市4				上涯学習加	施設条例加			100 111		事	務	区分		治事務
	業期	間									(±) / ½	夏数年月			• • •		
尹	未	囘	単年/	旻(年度)	単円	F度繰返(平	~継	祝)ビ 19	を女人十万	호(R4	年 及~		年度)
2 }	事業の	既要	・実施内	容													
事業事業	業 目 6 美実施交	り・	施設の動 をより長	を備を計画 と安全に	画的に行し 使用する	ハ、今後 <i>0</i> ことがて	D方向性を できる。	を定めるこ	とで	、整備	情に係るト	ータル	コスト	~の縮	減等を図	3 るとと	もに施設
事(全	業 概 体計	要画)		で心・安全		きる施設	ぱにするた	め、老朽ん	化が進	進んで	いる市内	生涯学	習施	設を	適切に維	持管理	し、適宜改
` _	PAT DI I	4	事業(の対象	生涯学習]施設							(対	象数:		7)
					当初	計画							取約]実績	į		
			▶ 北コミ	空調工事	(1期) 6	68,354·	千円		▶北	コミ宮	2調工事(1期)	56,6	599 -	千円		
			▶ 南コミ	空調設計	 業務 7,	556千F	9		▶南	コミゴ	空調設計第	養務 R	7繰	越 7	,556千F	円	
			▶南コミ	駐車場整	E備工事 認	計業務・	工事 9,4	433千	▶南	コミ馬	主車場整備	第二事》	則量・	設計	業務 38	35千円	
決	算年度(ת	円	>	- /女 / つ のた、	10.05	· 1 T M		▶南	コミ馬	主車場整備	東上事	,R.∖∮	繰越	8,501-	一円	
	上な取組		▶ 」こむ	ノLEVぴ	な修(2階) ル非常用	10,05 圣供祭電	4十円 法罢组织	立口击			ルED改作 イセイビル					立口击	ᆄ
_	_ 0			4,306		小佣光电	、衣里削饵	为四位		20千		タト市ル	J 7/1/H	土电	衣胆削饵	'即'叩史:	利 未 伤
			机工事	4,300	117				٥,٥	201	1 7						
			車業事	施手法	✓直接	宇佐 「		七字符理		与+D <i>A</i>	> #HA		лШ	1			
			尹未大	爬于	Ľ 但按	夫加 [当 安託⁴ƒ	旨定管理		見せず	金·補助金	€	の他	(
3 }	事業費·	財源	原内訳												_		
					R5決算		F	R6予算現	額		F	R6決算	Į			R7予算	
事業	費(千円])			1	19,380		(99,7	03				028			102,641
	12委					12,964				06				905			
	14工					29,613		1	91,5	97			66,	123			102,641
			及び交付金														
	その他	<u>, </u>				76,803											
財源	(千円)	\ <u></u>				19,380			99,7					028			102,641
	特定則	源				76,429			13,7					905			3,823
	市債					13,100			34,8	00			65,	000			82,500
	その他一般則					3,646 26,205			1 1	64			1	123			3,048 13,270
	一万又只					26,205			۱,۱	04			١,	123			13,270
4 }	事業の原	龙果	・評価														
	 めざす状			一部の国	7組につき	きましては	ま、入札の)不落やT	期変	更等に	こより令利	17年度	テヘ緑	越と	なったが	、他の取	双組につい
			きの成果)					の安心・多						·/	0. 27273	(10 0) -1	WILL > V
KP.							標1							指	票2		
121 .		[名(単位)			10	13K I							101	ホ ∠		
		目標															
		実績															
	日信他		遺値の差 が理中														
7-4					° / =\ /\ \ \												
1丁年	2 <u>5半1四(</u> 1	丁以	以中人的	岡に基づ	<u>/ 「計価)</u> 					जा /III ।	+ +□+hn T	用					
		スト	意識	評価					Ē	半畑し	た根拠・ヨ	選出					
	(費用対	効果・	財源確保)	В	随意契約に	なるものに	ついては見	積合わせを	、それり	以外はス	入札による執	行で、予	算額。	より費用	月を抑えるこ	ことができ	た。
		165	n_±z	評価					1	評価し	た根拠・ヨ	理由					
		的児	ぶ行 への寄与)	A	事業を進ん	カス うえで !	宇族時期等	 を施設をはし					齿日齿五十	が生!*.#	いしよう終め	 h <i>t</i> =	
	()IBX	口1 亦′	(O) D)		事未と進り		大/旭时刊 寸	と 川田文 と 16(. МПМП /-	J		J/C 0	
			との協創	評価					Ī	泮価し	た根拠・ヨ	進田					
			意見把握 の活用)	В	事業を進め)るうえで、;	施設でのモニ	ニタリング等	の意見	を踏ま	え、施設の智	管理運営	を行う	指定管	理者等との	協議を進	めた。
			ータ活用	評価					1	平価し	た根拠・ヨ	理由					
			の活用	ріщ	***************************************	.044 ^	/// L L - 122 - 1 C - 1 L L	Φ COURT TO					41				
		EBP	M)	_	美務効率1	らのため、今	後いすれか	の段階で取					₹U ((,1<,			
				評価						評価し	,た根拠・ ³	理由					
	絲	言合	平価					を定通り今								繰越等	で工期延
				В				、予算計上									
Ē	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	i Fσ)課題	予質化し	た以外の	ことでの	、 大田 かん なけ は で し た に し た り た り り り り り り り り り り り り り り り り	バ名く	. 利田	老の方に	- 影響を	ト小ナ	` < त	るため ~	今後予問	 抗的保全の	
=	事業実施上の課題 予算化した以外のことでの予期せぬ修繕等が多く、利用者の方に影響を少なくするため、今後予防的修 ・・・残された課題 観点からも進めていく必要が急務である。													」─」IV─E∨∫			
	/AC1	-, Ср		F70/111/5 .			~~ (0.07)				判断理	田山					
	A%A1	īπ¢□-	L	1H/II	->/任+ ±						十小四八五	±Ш					
	今後のほ	1X組.	刀亚T		 維持	今後も打	旨定管理者	者等との過	重携を	行い	、施設の道	適切な	維持管	き理を	行ってし	١<.	

1	基本	「情 報	7					担	3	当	調	スポ	ーツ振	興課、危	5機管理	里課、消	防署	関	係	課	土木	課等			
事	j	業	名	No.	6		やまで	びこホ	ī−,	ル廃止	関連:	事業													
事	業	区	分	新規	会言	†	区	分	-	一般会詞	 	予	算	費	目	款	7	8		項		5	Ш		2
施	策	体	系	1	市民自	治	活動	·学び	:					戦	略的	勺 施	策		行	〕 政改	革	大綱		3	
根	拠氵	去令	等																事	₹ 務	区	分	自	治事	務
事	業	期	間	単年月	芰(年	度) [<u>i</u>	単年度網	繰返((年度	そへ総	継続)		複数年	度(R6	年	度~	R	8	年度)
2	事第	美の根	要	・実施内	容																				
事	業	目的	j •	施設存続とができ	の場合	うに た、	係る 生駒	敷地的 山系*	使用	料、建特 辺地域	物改作	修費月	月等抗 安定	施設σ したz)将来 水利を	的なを確保	維持し、	:費が無 防御活	{ くた 動を	iること :行うこ	こから	ができ	政負担を る。	を減	らすこ
事(業 全 体	概計画	要 圓)	個別施設計 31日まで(こ建物や	屋外	トイレ	等の一言	式を	解体・撤去	て生涯	学習施ととも	設や に、防	まびこ ⁷ 災行政	トール 無線を	を廃止 ・移設し	し、原 ハ 令 ^え	状回復し 和7年4月	以降	えで土地に耐震性対象数:	生貯水	貸人に 槽を別	返却する。 用地へ新	。令和 設す	7年3月 る。 \
				サ未り	/ノ X!」:	豕		当初計		V										州家奴・ 組実績)
	決算な 主な	丰度 <i>0</i> :取組)	◇スポーツ 《解体・強性 を は を は は は は は は は は は は は は は は は は	備】浄イ 去】 石糸 トイレ、 千円 【そ 点 条165千 】 【設計 】	と博うのは、	消毒· 清查 55 一种、光彩 一种、光彩 一种、光彩 一种、光彩 一种、光彩 一种、光彩 一种、光彩 一种、光彩 一种、光彩 一种、光彩 一种、光彩 一种、光彩 一种、光彩 一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一	清掃汲50千円 持震性野熱水敷地 大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	み取 分水 20 対 対 対 大 を使 65 ・ 貯水	曹等の解 00千円(月料 1,5 千円、防 槽 6,4	体工 21千 570号 犯力> 24千	事 円流用 F円、こ くう移記	ごみ引設業	【解化 浄化 建物 【P 上 下 の は い に い い に い い い い い い い い い い い い い い	本前準 槽・撤え 大型 かる が は が で が た と が た と が た と が た り に り た り た り た り た う た う た う た う た う と う た う と う と う と う	毒・清掃 去】石レ ・トイン・ ・余草 10 まる ・ おき ・ おき ・ おき ・ おき ・ と う と う と う り う と う と う り う と う と う り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	外トの湯湯 () 8 千 8 千 8 千 8 千 8 千 8 千 8 千 8 千 8 千 8	10千円	一	置 33: 一円 デ水槽等 ・引き取 200千i 生貯水槽	千円 の解作 り業科 円、敷	务 13. 地使用 924千	料 1,5 円		
				事業実	施手	法	✓ [接実	施	✓ 委	€託・	指定管	管理		負担:	金•補	助金	ž 🗌 t	- の化	<u>t</u> ()

3 事業費・財源内訳

<u> </u>	中未具 "别 你们引				
		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	0	47,317	29,430	25,000
	12委託料		7,575	6,180	
	14工事請負費		37,972	21,485	25,000
	18負担金補助及び交付金				
	その他		1,770	1,765	
財源	(千円)	0	47,317	29,430	25,000
	特定財源		35,442	18,964	
	市債		6,400	4,900	25,000
	その他				
	一般財源		5,475	5,566	

4 事業の成果・評価

<u>4 ₹</u>	業の成果・評価				
	かざす状態」実現に したこと(事業の成果)			に無事に終えることができた。他の業務	り、地権者や関係部署、解体工事業者との立ち合いを含めた においても年度内に完了することができた。
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)				
	目標値				
	実績値				
	目標値と実績値の差 分についての理由				
行革	評価(行政改革大約	岡に基づ	(三評価)		
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由
	(費用対効果·財源確保)	В	随意契約に	なるものについては見積合わせを、それ以外に	は入札による執行で、予算額より費用を抑えることができた。
	目的思考	評価		評価	した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	Α	事業を進め	るうえで、実施時期等を地権者をはじめ関係部	『署と協議を重ねて行い、齟齬が生じないよう務めた。
	多様な主体との協創	評価		評価	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	_		の調整は行ったものの、地権者をはじめ、限ら から、取り入れることをしなかった。	れた関係者と進めるものであり、多様な主体との競争が難しい事業で
	デジタル・データ活用	評価		評価	した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	_	事業を進	ҍめるうえで、特にデジタル・データの)活用を行っていない。
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	Α	関係者と	この協議を計画的に重ねて行い、予定	E通り年度内に無事完了することができた。
_	業実施上の課題 ・残された課題			<槽が完成するまでの間に万が一有導 がの水位の確認や溜池周辺の草刈り	事の際は、大門町内にある溜池の水を水源に使用する 等を行う必要が有る。
					判断理由
4	今後の取組方針	現状	維持	次年度については、他の場所への耐 く。	震性貯水槽の再設置が、工期内に終えるよう努めてい

								ויין	пОН	FIX)).	<u> コ</u> フ フ ,		尹木	ΤΡΤΠ	47	ı					
<u>1 </u>	本基		Ž						担	当	課	図書館				Ē	関	係	課	施設マネ	ジメント課等	手
事	業		名	No.		3	図書	館り	ニュ-	ーアル	事業											
		区	分	継続	会	計	区	分	-	一般会	計	予 算			款		8		項	5	目	3
-	策		系	1	市民	自治	台活重	か学	び				戦	略的	施	策				革大綱		(4)
	処法																	事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	□ 単年/	度(年	度)	<u>i</u>	単年度	繰返(年	度~継	続)	✓ 被	复数年	度(R5	年度~	R7	年度)
2 1	事業(の根	要	・実施内	容																	
	業 目					年を	経過	し老	朽化し	た図書	書館本	館は、現	代の	市民二	ニーズ	にも	合わな	ょくな	つてき	ている。	設備や備	品等の
				更新とと																		
_	ىلىد	LΠπ	#														設計	を行っ	う。令種	口8年度4	4月再オー	-プンを
事 (全	業体	饿 十 ii	安 (ii)	目指し、	クロ-	ージ	ングイ	イベン	ト、エ	事、オ	ープニ	ニングイ^	ベント	・等を実	施す	る。						
` _	PT. P	. =	٦ /	事業の	の対	象													才象数:		_)
					1 204 27				計画	- m				14-n-l	MV 26		ulest	取約	組実績		1000	- Corton
				実施設計	† 兼務	资	七料	6, 4	1./84	一円			美石	施設計 綿建材	美務 事前	安計 国杏	料 業終才	5手尖	ı.	6	,427千 93千	
													プ プ	ロポー	ザルタ	外部	委員報	酬		-円×3回		
油	算年	度の)																			
	上 と と な 取																					
				市兴中	#- 1	C :+	I .				E=~ 1	K		1 2 10 /	^ +	п		3 n //h	. /			
				事業実	他于	⊢法	<u> </u>	直接	美施_	√ <u>₹</u>	登託・]	旨定管理		負担金	丘•	助金	1	その他	. (
3 [事業	費・	財源	原内訳																		
= **	·# / -1						R5	決算		10	F	R6予算現		450		F	R6決		5 (2		R7予算	
争亲	費(न 12									10				478 478					,562 ,520		1	03,491 5,046
				負費									Ο,	7.0				Ο,	,520		(96,387
			補助	及び交付金																		
日子公区	その									10 10			-	170					42 562,		1.	2,058 03,491
財源	特定	<u>コノ</u> 三財	源							10				478 478					427			38,876
	市債	Ę																	,			12,000
	その		\r=							10									105			364
	一批	財	<u> </u>							10									135			2,251
4	事業(の 反	果	・評価																		
				実現に																	り、広く提乳	案を集め
)ع۔	手手	美の成果)	た。で	その糸	古果、:	洛ち	うさと			共存できる	新し	ハ図書:	館とし	J (()	美施設	ざ計を			<u>-</u>	
KP]		占押	タ (単位)						指標1									指	票2		
	3		10 1標																			
			実績																			
	目標	値と	二実終	遺値の差																		
	分に	うし	170	の理由																		
行革	評価	5(彳	页政	改革大約	_		 <評	価)														
		コス	スト	意識	評	価								評価し								
	(費月	用対象	効果・	財源確保)	/	4	詳紙	まな仕	上様書	を作成	はする に	ことにより	り、こ	プロポー	-ザル	の予	定価	格を値	氏く設定	定するこ	とができ	た。
		月	的思	思考	評	価								評価し	った根	拠∙⋾	理由					
	(旅			、の寄与)	/	4	プロ	1ポー	ザル	方式で	広く挑	是案を求る	める	ことに	より、	市民	:の思U	ハを反	シ映する	ることが	できた。	
	多	様な	主体	との協創	評	価								評価し	った根	拠・I	理由					
				意見把握 の活用)	E	3	市瓦	ミワー	-クショ	ョップつ	で決定	したリニ	ュー	アルの	方向作	生を	基に実	施設	計を行	うった。		
	-			·一夕活用	評	価								評価し	ノた根	拠∙⋾	理由					
		゚゙゚゚゙゙ヂジ	タル	の活用	-		設計	業業	めた	め。												
		•	EBP	I ∀ I <i>)</i>	評	価		1~3/		- 0				評価し	た根	!执几。 T	理由					
		総	合調	平価			市兵	21,- IZ	書館	へ愛差	を持っ	っていた	<i>†</i> =" +		-			」。 デ +	ザイ ^へ ノキ	カレイアピ	ナトにも配	虚し, か
		.170			/	4						だきるよう							- , -	17 -		
耳	事業事	施	上の)課題	令和	17年												ブやオ	ープ_	ングイベ	ベント、図記	書館オリ
-	·残:																				単進を図る	
															半	训断理	里由					
	今後	の耳	双組.	方針		現状	維持	•	令和	6年度	に完成		布設		 حات	「事を	宇施	する	0			
									• 12 TH	- TIX	· — ノレバ	ヘー・レスル	احدث	_, ,		(ー ヘルピ	,, 0/				

					15.1	HO T IS	(, ,)		· / +/		_ '					
1 3	基本情	報				担	当 課	図書館			関	係	課			
事	業	名	No.	9	まちづく	りの拠点	えとしての	図書館で	づくり							
事	業	☑ 分	継続	会 計	区分	一 般	2会計	予 算	費目	款	8	J	項	5	目	3
施	策(· 系	1	市民自治	台活動·学	び			戦略的	内施分	策	行	政改	革大綱	(1)	(4)
根	処 法	令 等	;	Л.							_	事	務	区分	自治	事務
事	業			度(年度)	√ 単台	 F度繰返(年度~約	米続)	複数年			年度~		年度)
					7-127				TIX 11	11767 L		<u>~</u> (112		1127
2	事業()概要	・実施内	容												
	業 目 美実施		まちづくだく。	くりの拠点	さして、言	売書活動	の推進を	図りなが	ら、市民と	:協働す	ることに	よって	図書	館への理解	を深め	っていた
事(全	業 # : 体 計	既要	ト等の事	業を行う	ò.		間事業者	さの協働	のノウハ	ウを活た	かしながり	ら、図書	書館 運	営や各種が	ービス	ス、イベン
			事 業 (の対象	生駒市民								象数:	_)
						計画						取組]実績			
				ノアフリー			10 T III		読書バリ			10 1		4445		
				^{知的障かり} VA、未在	い者サポ- ^三		19千円 17千円		首訳・3 本棚のV		バい者サス ケミ	ホート		114千円 7千円		
			ドブリオ		. <u>1.</u>		-50千円		ビブリオ		工,上,			364千円		
	算年				も読書会		92千円				ども読書	会議		50千円		
3	主な取	組	NAIST	連携事業	留学生と	ヒ絵本で	あそぼ		NAIST	連携事業	業 留学	生とFu	ınTir	ne		
			公民連排	携事業 は	はっぱクラ	ブの試行	Ī		公民連携	携事業	はっぱク	ラブの	試行			
			1111				_									
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	_ 委託・扌	旨定管理	負担	金·補助	カ金 <u>□</u>	その他	()
3	車業者	計	原内訳													
	+×,	1 KM	WL 101		R5決算		F	R6予算現	網		R6決	· 笪		R	7予算	
事業	費(千	円)			11377	1,282		10 3 37-57	678		110//		535		1 3 7	731
3.7		:託料				500			500				0			, 0 .
		事請														
	18負	旦金補助	力及び交付金													
	その					782			178				535			731
財源	(千円					1,282			678			į	535			731
	特定															
	市債															
		<u>吧</u>				1,282			678			ı	535			731
						1,202			070)			131
4	事業()成果	<u>!•評価</u>													
Γ	めざす	状態」	実現に	ボランテ	イアの養	成や様々	な市民協	協動事業を	実施し、	多くので	ト民が図	書館で	の活動	動を通して	ネットワ	フークを
寄与	したこ	と(事	業の成果)	構築して	いる。											
KP	I					指	標1						指	票2		
	指		(単位)													
		目標	種													
		実績	値													
	目標	直と実	績値の差													
			の理由													
行直	評価	(行政	改革大組	綱に基づ	(三評価)											
			·意識	評価					評価	した根抗	処·理由					
			· 忌哉 ·財源確保)	В	市民の名	と相や力に	 を活用し <i>†</i>	上重業が国	正開でキ	内突の	充宝した	イベン	トがつ	ベキた		
	(547).).J./J/	W3 m3 v pr p (v)		11317(0))	ניטיין	2/11/11/07	C +				- 11 12	1 /3			
		目的	思考	評価							処·理由					
	(施	策目標/	への寄与)	В	障がい者	が外国	人等誰もお	含めた地	域のネット	・ワーク	づくりに	貢献で	きた。			
	多样	な主体	との協創	評価					評価	した根	処·理由					
	(市	民等へ0	D意見把握	В	足間事業	と者と協信	 動し、新し	しい取組に	チャレン	ジレた。						
			等の活用)		D(10) T/1	<u> </u>	22.0 (7/7/ 0	V -1/(141)C			m.IA.					
			データ活用 レの活用	評価	—	L=1. A					処・理由				, ·	. ,
		·EBF		В	子ども読	:書会議 	こおいて? <u></u>	ネットによ 				施、分析 ——	カレ、₹ <u></u> -	新しい目標	を設定	した。 <u></u> -
				評価					評価	した根据	処·理由					
		総合	評価		□→℃	がサーナ	お公工や・	- (工手+) -	T1\+ +"-	⊢ ¼=+⊢	ナニナフロ	F 	+>1 >	出田ギナ	+_	
				В	凶青郎(ではくなど	ヘル石発	こ冶劉し	しい/こ/こて	ご、仃以	にい ぐほ	い及しえ	-ない	成果があっ	た。	
3	事業実	施上の	カ課題	アプリを		子のネッ	トワーク	「はっぱん	ラブ」をヨ	式行した		者のほ	経か	投稿に至ら	なかっ	たため
		れた			三度は継続						\ I/NDX	. u </td <td>470°C</td> <td>ストラー・エン</td> <td>5.75</td> <td>, _, _, _, ,</td>	470°C	ストラー・エン	5.75	, _, _, _, ,
					1-12						断理由					
	今後(7日78日	古針	担什	総持											
	フを	ノリスが出	ノノ业	^{- 坎小}	/小年1寸	引き続き	き市民と協	茘働しな た	バら図書館	官サービ	この充実	ミに努め	かる。			

1 ≢	± - .	巨土巾				担	当 課	図書館	,			B	関 (系	=⊞	デジタルイ	′ / ^ ′ _ >	, ¬ > , t	####
事	本情 業	9 ¥収 名	i No.	10	図書館に	<u> た</u> ノステムサ						la	利		砵	7 2 3 10 1	J/\-\-	ノコン1	性進沫
	素 業 [会 計	区分		· 八寸// 法会計	予算			訓	7	8	項		5	目		3
	素 策 f				<u> </u>		乙二	丁 昇			的施		$\stackrel{\circ}{\sqcap}$			<u> </u>	Н	(1)	3
				中氏日流	ゴ泊割・子	.0`			果人	哈	凹 他	來					_		₹ 7
		令 等		÷ /^ 1= /	(,	-		いいムナト		5 <i>*</i> 6		務	区分	H	治事	
事	業	明间	✓ 単年	度(令机6	年度)	甲年	度繰返(牛	度~▮	継続)		数年度	ξ(年度~			年度)
2 事	事業(の概要	と 実施内	容															
	美目 実施		図書館注	システムの システムの			見切れに係	半う機器	等を	更新	するこ	とによ	はり、図₹	書館シ	スラ	テムのトラ	ブルを	回避	む、安
事 :	業権	既要	の老朽化	Þ館、分館 としたLAI	Nケーブノ	レの更新		限切れし	たサ・	ーバ、	システ	- ム機:	器を入れ	れ替え	する	る。合わせ	て、図	書館	本館
			事 業 (の対象										(対象			-)
						計画	66 1// 88 -							取組建					
				フステムサ テム保守	一バ、業		等機器の 9,478千			書館		ムサー	-バ、業	務用端	沫	等機器の			シュ
				ノム 体寸 Nケーブノ	レ更新		, 476 1 , 606 1		^) A	木丁					33	9, 160	, T [-]
24.4	\$\$ /- c	± 10			22/11/1		,		本	館LA	Nケー	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	更新				1, 10	70千	円
	算年原 三な取																		
	04/	小口																	
			事業実	施手法	√ 直接	実施	✓ 委託・	指定管理	1	負拒	金•補	肋金	70	D他()
	⊢ ₩ =	.						<u> </u>			_312 1.	127312		710 (
3 4	手業員	ぎ・財	源内訳		ロに油谷		_	ンクマケエ	日安石				八計符				חחק	**	
事業	弗/エ	ш\			R5決算			R6予算理		004		ŀ	R6決算		- 0		R7予		610
争未		<u>ラン</u> を託料	<u> </u>			5,478 5,478				084 478				40,26 27,47					,610 ,610
		L事請				3,470				606				<u>د ۲, ۲</u>	0				,010
			め及び交付金						.,	000									
	その									0)			12,78	32				
財源						5,478			51,	084	-		4	40,26	60			5	,610
		財源																	
	市債																		
		財源				5,478			51.	084				40,26	50			5	5,610
			:-			0,170			<u> </u>	00 1				. 0, = 0					,,,,,,
			₹·評価																
			実現に 業の成果)	スマホに	利用券を	表示さt	せる機能等	等、機器	更新し	こ合れ	つせて	新しい	∖機能も	付加で	でき	た。			
		. こ(事:	来の成未)																
KPI		油石	(出任)			指	標1								指	票2			
	11	31宗石 目標	(単位) -																
		実統																	
			議値の差 の理由																
行 基			文文出 文改革大統	 郷に甘べ	と証価)														
l 1 J 🛨				神に奉 ノー 評価	<u> </u>					運車 研	した村	見拗1.●刊	甲山						
			· 意識 !·財源確保)			 }入札に。	トハコフト	大出形式:	~±+		נויבייטו	XJ/C /	ᄑᄔᅼ						
	(貝川	אנאנאנאנ	"知你唯怀)	/ \	一放況日	ア人介して	ナクコスト	で削減	001		-, , ,	Jiho T	m_L						
		目的	思考	評価							した村								
	(施	策目標	への寄与)	В	期間内に	こ入れ替え	えをトラフ	ブルなく	完了す	するこ	ことがて	できた							
	多村	様な主体	*との協創	評価						評価	した材	見拠・耳	里由						
	(市	民等へ	の意見把握 等の活用)	_	システム	入替のた	÷め。												
	-			評価						11111111111111111111111111111111111111	した村	₹拠・₹	里 由						
			データ活用 レの活用		図書会次	ながって	拓华大蛙	本」 士	六九ナハギ					ı−⊐⊬⇒	ÉI.	<i>t</i> _			
		•EB	PM)	B	凶音邸見	資料の分類	は守で相	且し、行	XJ/みst				_	いに以書	サ し.	/_0			
		/// A	= /	評価			v nn · = :				した朴	_					A+ · ·		<u> </u>
		総合	評価	В	図書館シ 環境を勢		かするこ	とに。	より、	安定し	た稼働	動を実現	見し、安	え心	して図書	館を利	用で	きる	
	_ \\'-												, =:			a. • ·			
事		施上に	か課題 課題		図書館シス ODX化を		で ニーニー	家働を継	続して	て行っ				用者二- 	ース	に合わせ	!られる	よう	なよ
											7	判断理	曲						
	今後(の取組	方針			入れ替え	を作業は	今年度で	終了	0									

										,,	コノノ	<i>ر</i> ر	/ T/	-птіш	<u> </u>	1						
	本情報	R						担	当	課	図書館	3			関		係	課	商工観光	比課		
事	業	名	No.		1			支援	事業										T			
	業 区	分工	新規	会		<u>区</u>	分	- 11	一般会	計	予 算		費目	款	·	8	_	<u>頁</u>	5	目		3
-		系	1	也可	(目)	台活動	か字	び				隼	战略的	可施分	Ŕ				革大綱		(1)	マケ
	法令			- ^^			- \								464	<u> </u>	事	務	区分		治事	
事	業期	間	単年	塻(ヤ	相6	牛	度)	J	単年度	繰返(1	6 т	F度~継	統)し	」 俊毅	数年度	旻(年度~		í	年度)
2 事	業の	既要	・実施内	容																		
			ふだんれなサード								知識を覚	学ぶご	場となる	らととも	に、第	新しい	\地域	のネ	ットワー	クが生	まれる	らよう
事(全	業 概 体計 ī	要 画)	ワークシ	/ヨツ [·]	プ等	を行し	ハ参加	加者	加者か が相互	「興味 に理解	を持つヒ なし、繋か	ごジュ	ネスに関 を持てる	するテ ような	ーマ :機会	で、年 を設	間で(ける。	9回記	構座を開作	催する	。各回	l.
			事業(の対	象													象数:)
			=A===##	 	<u> </u>		当初	計画				=	Δ=∓=# π	· 4 🗔 E	1日/光	7.M	取組			₩1 7:1	C 4845	250
			論語講座 その他の				崔						m 語講座 人が参加		用惟、	との	他の高	再坐で	を5回開作	隹し、辿	とくへがり	250
	算年度(とな取組		講師謝					1,	,000	千円		E	講師謝礼	,	邵 •7	ポスタ	7—10		講師6人 『作成料		836 - 149 -	
			事業実	施	手法	√ į	直接	実施		委託・	指定管理	፟	負担金	金・補助	金[7	の他	()
<u>3</u>	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R7予算 業費(千円) 0 1,000 985 [12季料 0 1,000 985															* ***						
車業額	(千円) 0 1,000 12委託料 14工事請負費															O决具		185		R7寸	'昇	0
尹未													1,000					705				0
	14工具	事請負																				
			及び交付金									-	1 000					OF				
財源(その他 (千円)	}							0				1,000 1,000					85 85				0
	特定財	源							Ŭ				1,000					.03				
	市債																					
	その他一般財												1,000				С	85				
													1,000					/05				
	業の				44. 4.									0.4						<u> </u>		
	かざす状 <i>たこと</i>		€現に 巻の成果)			巾とも S講座				·講座l	こおいて	、ワ	ークショ	リツブを	企画	し、隼	はなる	坐字	ではなく	参加者	间士(の交
KPI	<i></i>	(ナオ	~~// _/ ////////////////////////////////	الرار ا	- 0 0	ノ門土		- P) L O	,/c。 指標 [*]	1								指	票2			
IXF 1	指標	票名(単位)					参	<u>」 </u> 参加者(JHI	亦 ∠			
		目標	値						30													
	:	実績	値					27	7.8(見	込み)												
	目標値の分につい		責値の差 の理由		読を加 1考え		少な	いかっ	たが、	目標値	値は概ね	達成	はでき									
行革	評価(1	行政	改革大統	_		く評	価)						=a:	+ 10.11	hn TIT	_						
			意識		価									った根拠	心・埋	出						
	(費用対	効果・	財源確保)		3	1回:	500)円の ——)参加費	を徴	収し、市	氏の	協力を									
		的思		評	価									Jた根接								
	(施策	目標へ	(の寄与)	1	3	市民	ネッ	トワー	ークのオ	構築に	は至られ	なか	ったが、	ワーク	ショッ	ップは	毎回	好評	であった	0		
			との協創	評	価								評価し	ノた根拠	迦·理	由						
			意見把握 の活用)	1	3	各回]、独	自プ	ログラ	ムを実	施し、参	かね	者同士か	積極的	引に関	わり	を持て	てる。	ような場る	を創出し	した。	
	デジタ	ル・デ	一夕活用	評	価								評価し	Jた根接	迦·理	由						
		ブタル EBP	の活用 M)	E	3	イン	ター	ネット	による	受付	等を行っ	た。	,									
			/	評	価								評価し	Jた根接	処・理	由						
	絲	合語	平価		3	講座	テー	-マの	独自性	や新	見性に関	心	を持つ市	ぼしも多	-<. ⊤	市民の	つ学び	の場	となった	. 0		
	業実施・残され				ロ者に 型まれ)ネッ	小 ワ・	ークづ	くりや	、市民か	講座	座の企画	に主体	的に	:関わ	ってし	いただ	ごく等、市	i 民活重	カへの	展開
														判	新理日	由						
2	今後の国	双組.	方針		ち	善		令和	17年度	からに	ー よ「学びと	ニ活	躍推進	 事業(生	涯学	習課	_ して り」で 身	- 施う	 予定。			

	令和6年度アクションプラ	ラン 事業評価シート	
1 基本情報	担 当 課 生涯学	習課 関 係 課	
事 業 名	No. 12 「音楽のまち生駒」推進事業		
事業区分	継続 会計区分 一般会計 予算	費 目 款 8 項 5	目 6
施策体系	1 市民自治活動・学び	戦略的施策 🗸 行政改革大綱	(1)(4)
根拠法令等		事 務 区 分	自治事務
事業期間	□ 単年度(年度) ☑ 単年度繰返(R5	5 年度~継続) □ 複数年度(年度~	年度)
2 事業の概要	•実施内容		
事 業 目 的 · 事業実施効果	・幅広い世代の市民が身近な場所で気軽に生の演奏にふれ、	こ発信し、市の魅力を高めることができる。	
事業概要(全体計画)	公募提案型の「市民みんなで創る音楽祭」や市民吹奏楽団を 推進し、音楽文化の担い手の拡大や、文化芸術を通した本市		楽のまち生駒」を
	事業の対象 生駒市民	(対象数:)
	当初計画	取組実績	(0077 TT
	市民みんなで創る音楽祭の開催 7,108千円 吹奏楽事業の開催 7	市民みんなで創る音楽祭の開催 吹奏楽事業の開催	6,907千円
	・いこすいフェスタ	・いこすいフェスタ	371千円
決算年度の	・0歳から楽しめるファミリーコンサート 1,745千円 ・いこま吹奏楽の日	・0歳から楽しめるファミリーコンサート ・いこま吹奏楽の日	502千円 424千円
主な取組	リベラルコンサートの開催 679千円	リベラルコンサートの開催	575千円
工 04///田	ライオンズコンサートの共催 123千円	ライオンズコンサートの共催	87千円
	事業実施手法 ☑ 直接実施 至託・指定管理	□ 負担金・補助金 □ その他()

3 事業費・財源内訳

	F木县 别师门引				
		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	8,344	9,655	8,866	9,684
	12委託料	6,889	7,450	7,289	7,375
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金				
	その他	1,455	2,205	1,577	2,309
財源	(千円)	8,344	9,655	8,866	9,684
	特定財源	2,962	3,927	3,927	2,658
	市債				
	その他	2,341	3,073	2,289	2,850
	一般財源	3,041	2,655	2,650	4,176

4 事	事業の成果・評価				
	かざす状態」実現に したこと(事業の成果)				案を受け9公演(うち2公演は自主事業枠(委託料なし))を採びライオンズコンサートを当初予定どおり実施した。
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)		音	楽事業来場者数(人)	
	目標値			7,600	
	実績値			8,982	
	目標値と実績値の差 分についての理由			Dコンサート等への来場が非常に多 表を上回ったため	
行革	評価(行政改革大網	岡に基づ	く評価)		
	コスト意識	評価			した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	Α		事業も市民との協働で行っており、低額な ふるさと納税から充当を行っている。	は費用で行えている。また、市民みんなで創る音楽祭につい
	目的思考	評価			した根拠·理由
	(施策目標への寄与)	В		施を通して、市民が多様な音楽に親しめる ており、市民の音楽活動の活性化にもつな	る場を提供するとともに、音楽に関わる市民が活躍できる場 ながっている。
	多様な主体との協創	評価		評価	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	Α	市民吹奏	楽団や市内学校の吹奏楽部、また有志の	市民団体との連携により事業を実施している。
	デジタル・データ活用	評価			した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	С	デジタル いる。		るが、来場者アンケートのWebフォーム化等の取組は進めて
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	Α		はじめ音楽に親しむ市民が多く、いずれ <i>0</i> いにもつながっている。	D音楽公演も多くの参加者でにぎわっており、運営する市民
	業実施上の課題 ・残された課題			団体に支えられて事業が成り立っており、 にな事業運営形態を考えていく必要があ -	事業の担い手となる新たな人材を巻き込み続ける取組を進 5る。
					判断理由
4	今後の取組方針	現状	維持	市民みんなで創る音楽祭については新た 善を行いながら各事業を継続的に実施し	こな演奏家の参加を促す企画を新たに進めるなど、事業の改 していく。

					13.1	но тіх				テハハ	и пщи						
1 基	本情報	R				担	当 課	生涯学	習課			関	係	課	図書館		
事	業	名	No.	13	歴史文化	上の発信											
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	8	I	頁	5	目	7
施	策体	系	1	市民自治	台活動·学	び			戦	略的	施策		行』	0 改	革大綱	(1)(4)
根扱	见法 令	等		ı					•				事	務	区分	自	台事務
	業期	間	単年	度(年度)	√ 単年		R5	年度	き〜継絡	続)	复数年	[年度~		- 1 3 3/3 年度)
				(1,227		/			~ 1E1			(
			・実施内														
事業	美目的実施交	り・	本市には比較的多	各地域でいいことから	豊かな歴史 らこれらの	と伝統文作存在や魅力	化資源が存 」を知って	存在してい	るーフ まだ少	方で、住 〉なく、そ	宅都市とそういった	して発展 :市民に	展してき	きた紹本市	過から、他 の歴史と文	地市から(て化を伝)	の転入者も えていく。
事 :	業 概体計	要 画)	高めると	ともに、市	の指定文化	るさとミニ 比財を増や	ュージアム・すことで、	の事業(講 、まちへの	座や特誇りや	特別展売や市の魁	示等)を通 ま力向上を	して本i :図る。	市の歴	史文(比を発信し	、市民の	郷土愛を
			事業(の対象	生駒市民									象数:)
						計画								実績			
			・生駒ふ	るさとミ	ュージアム		WAR O	70 T III	·生	駒ふる	さとミュ	ージア	'ムの逞		SCH-5∕ET⊞\N	125 0	DO TIE
			麻山-	文化入門		指定管理	科27,9	70 1 1		麻中女	化入門課	本体		詂	定管理料	₄ 27, 9	70十円
				ージアム諸							ジアム講						
	算年度(= * > 150 * (特別	展·企画展	美				4	特別展	·企画展						
	こな取組	L	小学	校への出	前授業(等			/	小学校	への出す	が授業	等				
			•女化財	の市指定	にあたっ	ての候補	檢討		• 🕁	化財の	市指定に	ーあた・	っての	(足)油	檢討		
			A IUM	0) III IEVE	100/0	C V/IXIM	נסאו		^		יוםאפוניויא	ے/ری	J (0)	יוווי איו	נםאו		
			重業宝	施手法	√ 直接	宇施	/ 委託・	 指定管理		台切全	 :·補助金	. 🗆 z	 の他	1)
			尹 未 入	אל ניטונ		大心 [] 女。[[]	旧灰白坯		只让亚	工作的工工		שוילט	(,
<u>3 </u>	事業費・	財源	原内訳														
MIZ	#/~ -				R5決算		F	R6予算現				R6決算	-			R7予算	
事業:	費(千円					28,344 27,984			27,9 27,9				27,9	9.70			27,970 27,970
	12委記		刍			27,984			27,5	970			27,9	1/0			27,970
			及び交付金														
	その他					360											
財源	(千円)				2	28,344			27,9	970			27,9	970			27,970
	特定財	源															
	市債	1												_			
	その他一般財					28,344			27,9	270			27,9	0			27,970
						20,344			Z 1,5	770			۷,,,	70			21,910
<u>4</u>	事業の	<u> </u>	<u>・評価</u>	1 7 - 1		/ +P	Π -2	*! - -	==n./=	±	A -	C7 135-211 F		·	1 22 22 1 5 7	- 	本/== + 明
	めざす状																の行事を開 ュールの報
		(事業	美の成果)		など準備を	を進めた。			2.111111111111111111111111111111111111	AIC07(0. (1507)		U#3 V 7 #				
KPI						指		7.11						指	票2		
			単位)		市	旨定文化則	_	(件)									
		目標					4										
		実績	[但				4										
	目標値の	と実績	漬値の差														
7-41					\												
行争		丁以	改革大統		<u>く評価)</u>					=======================================	<u> </u>	TO					
			意識	評価	华宁等田	者によりふ	スナレミ	コージアル			た根拠・		≣を行っ	ってお	<u>い 一字の</u>	コフト的	減と安定
	(費用対	効果・	財源確保)	В		運営を図っ		.1 2) L	いりから	改建占 (こ庭又又1	LV/)L I	⊐.C.I.J.	J (a)	o, Eo	/コヘロ:	別
	E	的思	 日老	評価							た根拠・						
			ふっ への寄与)	В												むほか、	勾玉づくり
	A 144 4) ottol	評価	なと興味	を持ちやす	い正凹る	で展開りる			た根拠・		PRILE	労の	(via.		
			との協創 意見把握		ミュージフ	アムでの事	業につい	ては、資料					·市民 <i>0</i>	の協力	をいただし	ハている	ほか、
	・民間	活力等	の活用)	В		アム登録ボ			得なな	がら事業	美を運営し	ている					
			一タ活用の活用	評価	世紀せか	建成生の名	÷π-≠1	7`/ / =_ L →			た根拠・		计学士	± և ≡ռ	出供を誰点	は 生 小 ふ	画に活用し
		アタル EBP		С		再座寺の 、ニーズ把						.ぃパこ安	主守を	. 心动	建占 ど神片	E式い正	凹に泊用し
				評価	2,7 3/3	. ,,,,	<u>, c J</u>		,,	評価し	た根拠・	理由					
	絲	合語	平価		ふるさと	ミュージア	ムについ	ては様々な					 ナ禍で	大幅	 こ減少した	来館者も	 5徐々に回
				В	復してき									_			
事	業実施	上σ)課題	令和3年	きから取り	組んでいる	る市史編だ	さん事業に	おける	る調査等	年の成果を	活用L	/て、市	史のF	Rも兼ねた	-共同で	の企画な
,	・残され					長がある。ま											
											判断理	里由					
	今後の国	汉組:	方針	現状	維持	引き続き	ふるさと	ミュージア	ム指定	管理者			、生駒の)歴史	文化の発	信に努め	ていくとと
				I	-	 	11年文化財	オの新担指	完丰。	フケジュ	一川通り	進めて	.1<				

					ויין					ノザ木	:pTIЩ-						
_	本情報	<u> </u>				担	当	課	図書館			関	係	課	生涯学習	課	
事	業	名	No.	14	市史編さ											ı	
	業区	分		会 計			般会計	-		費目	款	8		項	5	目	3
	策体	系	1	市民自治	治活動·学	び				戦 略 的	施策				革大綱		(4)
	退法 令												事		区分		事務
事	業期	間	単年/	度(年度)	単	年度繰	返(年度~継	続)上	複数年	度(R3	年度~	10	年度)
2 事	事業の概	既要	・実施内	容													
		力果	すること	こより、ま	ちの歩みを	知るこ	とでまち	への愛	愛着を醸成	学習を希望 成し、まちづ	くりに参	適する人	人を増	やす。			
事 :	業 概 体計 🖟	要	を学び、生よって、市	生駒の未来 5 <u>民の郷土</u>	kについて ^き -学習を牽	考える機 引するこ	会となる	る。多数	団体、ボラ 数の専門!	シティアの 家が数年間	力を活力 生駒市場	いして編え 或を調査値	さんす 研究し	ること た研究	により、み 兄成果を市	んなで生駒 民に還元す	りの歴史 することに
` —			事業(の対象	生駒市民									象数:	_	_)
				4 < 0.00		計画				visi #= 0	4 < 0.00	1 0 = 1		狙実績	İ		
			史料集∠ 調査・会	2・4印刷 議出席等	2,376 ⁻ 静礼 4,	†円 745千	<u>-</u> —			史料集2· 史料集2					500#		
			会計年度	度職員人	件費等	4,677				史料集4	974	千円 1	,94	7円×:	500冊		
決1	算年度(ת	需用費		2千円					調査・会議							
	上な取組		役務費 使用料		3千円 7千円					会計年度 需用費		升貫寺 5千円	4,6	o61† ・役務		千円	
			基金積式							使用料	15.	12	千円	1232	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	113	
										基金積立	金	2	千円				
			- W	<i>u</i> = ::													
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	委託	毛·指:	定管理	負担金	ì·補助:	金 📙	その他	()
3 事	事業費・	財源	內訳												_		
					R5決算			R6	予算現			R6決				R7予算	
事業	費(千円					9,37	'9			12,100			11,	562			26,779 495
	12委計																495
			スタ 及び交付金														
	その他					9,37				12,100				562			26,284
財源	(千円)	\r				9,37				12,100			11,	562		2	26,779
	特定財市債	源				2,79	2						2,	922			5,447
	その他					1	1			160				2			321
	一般財					6,57				11,940			8,	638			21,011
/ 1 I	事業の原	比甲	· 虾/ボ														
	サ ス りが めざす状			エリシテラナブ	面に込って	一山料値	E2.10	作成	た行うと	こともに、次	ア午時ト	ルタの末	絙. d	141佳/		向け合議	. 到本生
			きの成果)	を行った		. 火 <i>竹</i> オ	RZ 40)	/ I FIX	211 70	_C 01C\ //	八十尺岁	いせいノイン	小冊。又	、竹木 (اعالا ا عجر ر	りける球	一明旦寸
KPI						:	指標1							指	票2		
. (名(単位)		Ī		イトル界	計数						***			
		目標					3										
		実績	值				3										
			責値の差	 6年度	目標値に達	した。											
2= ++	分につい	_															
行車					づく評価 <u>)</u>					=17./3∓1	た根拠	. 珊山					
			意識	評価	力が生の	/ 			.l 								
	(貨用刈)	効果・	財源確保)	В	史料集の	作成で	よ一般説	尹人作	しを行い。	コストの削洞 							
		的思	思考	評価						評価し	た根拠	・理由					
	(施策目	目標へ	(の寄与)	В	史料集・本	5編の発	判に向け	ナ、多数	数の会議・	・調査等を行	うった。						
			との協創	評価						評価し	た根拠	·理由					
			意見把握 の活用)	Α	市史執筆	の基礎資	資料とな	るデー	-夕整理や	で歴史系イベ	ベントの選	[営を市]	ミボラ	ンティ	アとともに	行った。	
			一夕活用	評価						評価し	た根拠	·理由					
		ブタル EBP	の活用	В						リスト作成な	などを行	いデータ	化して	ておくこ	ことで、将ジ	末的にアー	カイブと
		LDF	IVI <i>)</i>	評価	して公開	<u>でさる</u>	トフに番削	31) (Via		た根拠	・理由						
	終	合言	平価		刊行計画	に沿って	で中料生	2.40)作成が5	記し、次年			劉料隻	発刊1.	向けて順動	周に調査等	が進んで
	,,,,	,_	1	В	いるたた		- ~1176	_ +	- 111-2015	53 5 W.T	~~\r	- 1 1711 F	~1 1 <i>7</i> 1	ے ال ا	ם אמיו > ייני וי	−µn± 7	~=, 0 <
事	業実施	上の)課題							市の歴史に							
,	・残され			を読んでる必要が		で、市0	リ歴史を	止しく	認知して	郷土に対す	る変者を	と深める。	人を増	ゃすた	の、効果的	りな周知方	法を考え
					22 500						判迷	理由					
	今後の耳	又組	方針	現物	犬維持	21±%	キキエルニ	:≘∔i m i	ニシハーフ	大⁄年, 中华			川太仁				
				I		コロご的	ルン TJ1J	可凹	にロン(「本編・史料	オポリバ	-)戏* 光十	121.	」ノ。			

							1- 1					于小	. н н н		<u>'</u>					
	基本情	報						-		人権的						係		住宅課		
事	業	名	No.	1		パー	トナ	ーシップ	宣誓制度	の他自	治体と	この連携	携やフ	アミ	リーシ	ップ	宣誓の	り拡充検討	<u>寸</u>	
事	業	5 分	継続	会	計	区	分	—舟	9会計	予 算	費	目	款		2		項	1	目 9	
施	策(系 2	2	人権	·多	文化	共生				戦	略的	施:	策		行	政改	革大綱	(1)(4)	
根抄	処法 :	令 等	日本国語	憲法等												事	務	区分	自治事務	
	業其		単年			- 年	度)	単名	F度繰返(•	年	き〜継	続)	ノ被	製年度	₹(R5	年度~	年度)	,
							12/				-1.4	<u> </u>	1967 L		~~~ 1 /2		113	112	11007	_
			・実施内	容																
事業事業	業 目 美実施	的・ 効果							一人ひと		_									
事 (全	業 根体計	死 要 画)	の住所異 を、ファミ	動等に	:伴: :して	う再宣	誓負 認証	担の軽減 する制度	を図る。ま	た、パー	トナー								なと連携し、宣誓者 未成年のこども等	
			事業(カ 対	象												象数:)	
			@ <i>t</i> - \	70.4-14			当初	計画			<u> </u>	\/ // BB\	-14			取約	且実績	į		
						目亦指	ħ							意見る	>換					
											• 🖆	国展開	された「	パー	トナーシ	ップ制	度自治	体間連携ネ	ットワーク」にR6.11	加
																í				
								見聴取			• أ	界内自治化	本との	意見3	∑換					
	と公以	阻	·市民集	会(テ-	-マ:	性の多	5様性	開催 請						て性の)多様性を	をナー	マに開	催し社会的	里解を促した	
											با ال	ノインボー	-交流会					委託料 60千	· 円	
			門	X IIC	大 9	ਹ ਜ ਸ	5.7	JU J 1 0	文制 女司	344 300	. •							· 委託料。	468壬円	
			* * +	+ -	. ,+	I .		F	¬									1 ×1011		_
			事業美	. 他 于	-	✓ [直接:	実施	<u>√</u>] 委託・	指定管地	<u> </u>	負担金	₹•補₺	功金	<u></u>	の他	()
3 📱	事業費	・財派	原内訳																	
	3-21-42-	. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	341 JP 1			R5	決算		F	R6予算	現額			F	R6決算	<u> </u>			R7予算	
当初計画 取組														608		12	2			
												560					528		6	0
			及び交付金									100					00			`
田北西																	80		6.	
別 別 別								U	<u>'</u>								608 80		12	_
		沙冰										- 0					00			_
		他																		
												660					528		12	2
	- 444 -		==: /==									•								
				1 / 日間	月/程/	の市に	生 企	计性的表	ᅺᆔᆕᅺ	$\Delta + \omega \rightarrow$	711.±\=	- X I = F	ス謹語	= =	のイバン	/ 卜 囯	知たっ	スーレや	パートナーミハノプラ	_
		こ(事)	長の成未)					等を継続	する意義も											
KPI		1# <i>(</i> 2)	734 /L\		<u> </u>	· - · - · - ·				-11-11	7 1 01	tul A					指	漂2		
	指			日泊	完全》	古にお	ال۱ (リナ (い る	る人の	割台								_
			•																	_
				夕插	車業	たけん	生工工			ーラット	トでの	人坛								
7=-1				ている	ると:	考える	00													
行革	評価	(行政	改革大統			く評	(曲)					= 	+ J-	∔hr ~	m _L					
		コスト	意識	評价	曲							評価し								
	(費用	対効果	·財源確保)	В	3	新た	なり	ークショ	ョップを実	施するの	のでは	なく、ネ	复数0	D既	字事業?	を活	用し意	意見聴取し	た。	
		日的日	H -X	評価	価							評価し	た根	拠·J	里由					
		目的原	ぶち への寄与)	В		県内	自治	体との意	見交換やで	「民等かり	oの意	見聴取り	こより	<u>, Ξ</u> -	-ズに合	った	制度0	検討につ	なげるものとした。	o .
						また	自治	本間連携	については	ま、全国展	開のる	<u> </u>	<u>ークへ</u>	の加 thn T	盟に切り 田中	り替え	え、迅速	恵に対応し	た。	_
	多様	な主体	との協創 意見把握	評価		市民	th//	バント会加	マン の音	月晒取た	コナブナ	評価し				₹	ムムチ	:红生1-	的マイノリティ当事	ŧ
			学の活用)	В	3	者が	運営	するNPC	16人の息 1法人等を	選定し、	大市の	制度等的	こつい	ても	意見を	けるな	ルムタ	ている。	בוייל כויים=	₹
	デジ	タル・テ	一夕活用	評価	価							評価し	た根	拠·J	里由					
	(5		の活用	В	3						る講演	を聞く	前と後	での	意識の	変化	につい	て、リクリ	ッドを活用したワー	-
		·EBP	′IVI <i>)</i>			トクラ	フワト	による分	が析を行った	た。		評価し	た 畑·	₩n.I	田山					
		公△ =	₩	評価	Щ	/ // ///	<i>1</i>	/11= :	山市本の	/田→+1-〒	ひナバフ					← ` ★ `	\	- 中松	77211 2007	,
		総合語	тш	В	3				当事者の について										ファミリーシップ	
	= A14	<u> </u>	-m		<u>.</u>															_
哥	「業実 ・残さ								マイノリテ ツプ宣誓				重をと	う 図	るかが				多くの人に知っても	כֿ
		_												断理						
	今後0)取組	万針	3	児状	維持		ファミリ・	ーシップ宣 の実施検 !	誓制度の)導入村 海等家	検討は、 議会でん	令和7	年度	アクショ	ョンブ	プラン言	記載のとお 進める	り、引き続きワーク	ל

					15.1		., , , , -		·	Китіщ 7	'					
1 基	本情報	2				担	当 課	人権施	策課		関	係	課	市民課間	まか	
事	業	名	No.	2	生駒市多	文化共生	上推進アク	クションフ	プランの作	成						
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費目	款	2	I	頁	1	目	9
施	策体	系	2	人権·多	文化共生	-			戦略的	り施 策		行』	改改	革大綱	(1)	(4)
根扱	』法 令	等	生駒市国際	祭化基本指	針、総務省	「地域におり	ける多文化	.共生推進	プラン」	•		事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年月	变(年度)	単年	度繰返(年度~維	継続) ☑ ネ	复数年月	度(R6	年度~	R7	年度)
2 =	5茶の#	иж	. 宝饭内	宓												
		范安	・実施内	谷 祭化其太指	針が策定さ	わた約30	圧前と比	乾して. 外[国人市民は終	内1 5倍に増	加力,有	在過去	- 最多	を更新して	いる。少子	高齢化や
事業	美目的	b 】果	外国人労働に展開する	動者の増加る。事業の	等により国 実施にあた	籍や在留資っては、庁P	格の属性 内連携や関	構造も変化 係機関の	国人市民は終 としており、2 協力体制を構	本市の現状	を把握し 化共生の	て、社会の取組を	会情勢 生推進	の変化に思する。	りした施策	を全庁的
事 :	業 概体計画	要	市多文化	公共生推 战	進アクショ	ンプラン			く現状を把	握し、国の)方針を	基礎	としオ	た取組を決	進めるた 。	め、生駒
`		_ ′	事業の	り対象	生駒市民								象数:)
						計画							実績			
					グループ	の設置				ーキング						+ ¼ \
				話会の別	那惟 円×2回=	=78 ∩ ∓	ш		(宗:	実施の外I 話会の開	当人仕」 催 →「	氏アノ	ソー きにる	ト結果を) が粗(上記	古田 9 る. リニ同じ)	(=0)
			▶ 外国人	市民ワー	-クショッ	プの実施				市民ワー						実施
	算年度(能実習生		い状況調ク	ベ	·奈良先	も端大オー	プンキ	ヤンハ	パスパ	ナイスポ!	!」に出向	
	Eな取組								留学	生に街頭ア	ンケー	トをま	€施(回答1.6件	F)	
										語教室学習 業所の受						
									▶ 巾囚事	美川 の 又	け入れ	认 入况制	うべー	→R7年度	に延期	
			市光中	妆工	I - 1 - 1 - 1		7 == 1	K-brann		A ++		// .	,			
			争耒夫	施手法	፟ 直接	美施 _	」安託・打	旨定管理		金•補助金	: [] {	の他	()
<u>3</u> 事	手業費・	財源	原内訳													
	# /				R5決算		R	86予算現			R6決算				R7予算	
事業	費(千円					0			78				0			189
	12委計		 													
			ス貝 及び交付金													
	その他	r.IIII TAYJ	及口又的业						78				0			189
財源	(千円)					0			78				Ö			189
	特定財	源														
	市債															
	その他								70				_			100
	一般財	까							78				0			189
<u>4</u> 事	事業の原	規果	・評価													
Га	めざす状	態」				ケートでタ	1市人国4	民の困り	事や疑問な	などの意見	を直接	聞き、	<u>, =</u> -	-ズの実態	を把握す	すること
寄与	したこと	事業	美の成果)	ができた												
KPI						指	漂1						指	漂2		
			単位)													
		目標														
		実績	値													
	目標値	ヒ実紀	責値の差													
,	分につい															
行革	<u>評価(1</u>	丁政	改革大統		< 評価)				=7:1-	+ 101hn	T00					
	;	スト	意識	評価					評価	した根拠・	埋田					
	(費用対	効果・	財源確保)	В	奈良県が	実施した外	国人住民ア	アンケートの	D結果を活用	する等、エ	ごデンス	の効率	的な収	又集に努め7	た。	
	В	的 E	 思考	評価						した根拠・						
			ぶつ √の寄与)	В					本市の留学		語学習者	音に対す	可での)ヒアリンク	バやアンケ	ート実施
				評価	し、さらに	- 深掘りし	(細かな_	_一人の把	握に努めた	<u>:。</u> した根拠・	抽山					
			との協創 意見把握		奈良先端	大及び留き	学生、日本	語教室に	<u> </u>			国人市	民と	その支援ボ	・ 「ランティ)	アなどの
			の活用)	В		てアンケー										
			一夕活用	評価					評価	した根拠・	理由					
		アタル EBP	の活用 M)	В	AIを活用	用した多言	言語通訳:	システムな	を街頭アン	ケートで利	引用した	Ē.				
			,	評価					評価	した根拠・	理由					
	総	合言	平価		エビデン	スの収集や	分析に時	間を要した	たため市民			延期	たが	、その他の		いては精
	.,70		7	В					を行うなどし						уч <u>и</u> го >	10.134
事	 業実施	上0.)課題	古口细=	∙ ∙	た 古光土	-7 · /-	トの中# -	-							
事業実施上の課題 ・残された課題 市民懇話会の実施、事業者アンケートの実施																
										判断	理由					
	今後の耳	又組:	方針	拉	大	R7年度の	ーー)プラン作 多文ルサ	成に向け	て、行政課題	要を把握し 多様か属性	連携体制	別を構築を対象	ー 楽する とし #	ための庁! - ロークシ	 内ワーキン	 ノググルー 『旃する

1 基	本	青報						担	当	課	人格	重施贫					関	係	課	SDGs·公	民連携的	推進課	ほか
事	業	名	No.	3	;	多文	化共	生事業	(の推)	<u></u>	_												
	業	区分		会	計	区	分	_	般会計	+	予	算	費	· E	I	款	2		項	1	目		9
						 文化‡			73,7,21		7	71				施策	-	_		革大綱		1)(4	-
	•						-	.Eb→ bl		<u> </u>	₩ ₩	AI	拟	加口	פט	ル ス							
	』 法		生駒市	国除化				駒巾外	·国人1	王氏	教育 指							事	務	区分		治事	<u> </u>
事	業	期間] 単年	度(年	度)	∠ 単	年度終	嬠返(R5	年	ぎ~	継続	売) <u>□</u> 剤	复数年	度(年度~		É	年度)
2 事	巨米	ン瓶田	夏•実施内	宓																			
									1 .							N/A — :		- 1/1/ 0		1 46.00			
事業事業	美国	的・一色効果	言語やな	文化等を築く	の達こと	望いに ∶で、E	より 3常)地域で 生活だ(が孤立し	ンがな	ちな外	ト国ノ等へ	人市の対	民と	地域	域住民と つながる	の交流 5。	機会	を創	出し、普段	から顔	の見.	える
		概 要	けためさら						現在で	ī1,5	500/	しを起	習え:	過去	最多	多を更新	してお	り、多	文化	洪生の意	識啓発	と醸	成の
(±	74 =	十画)	事業(の対	象	生駒	市民											(杖)	象数:)
			3 111		-31			<u>.</u> 計画											且実績				
			①国際交	流事業		_	<u> </u>						(1)[いこき	ま国際	際Frienc	ship					219 1	- <u>H</u>
			▶「いこま			dship ⁻	フェス	スタ」(R₄	4年度だ				22	5種事	業								
			②夕恁夕	カ ル艹	开 击	(***				437	7千円					講演会	∓ ₼. I	日本二	受がて	交流と発信	÷ _ n	83 千	ш
\	~~ /-		②各種多 ▶ 市民交	义化 八 法(議成	土寺	·耒 宿仝笙	:)			12	8千円									父流〜先信 学校入学前			
	算年		教育連	灬(時圧 携(※出		ダムマ 受業等)	,			10	0111			古教委			- MIX.E	307720	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ナルハナロ.		0千円	
	E な I	X和	▶市民協	働(日本	語教	炫室、地	域で	の国際	交流の打								開講(図	書会館	官とは	ばたきの2	教室) 1	87千	円
			③行政サ	_レラ/	(タ=	-=五:五=	D2,-	フテルのi	首 7		7千円	204		テ政サ ロタラ		ごス 通訳シスラ	= 1. [V C	TOP	ΛΙ ι 治	. 7	2.2	ワムエロ	ш
			外国人支			ā 甜 理 i	バン ノ	くテムの			川火き 8千円	中寸								:人 全課と共催		76千l 10千l	
			ほか、霊			<u> </u>					<u>千円</u>					(消耗品を		/ I I 🤛 (I P.	J.V. X.	上MC六座		9 1 F	
			事業実	施手	- 法		5接	実施	□ 委	託・持	指定管	管理	J	負担	金	·補助金	: □₹	その他	()
	≒ ₩ 7	# oli	· ·																				
3	手 耒!	貫・別	源内訳_			DES	h 545			_	7/3	ケエロ	克石				D Z Sta 2	4			חחקי	-	
±₩;	走/っ	· m \				R5決	芹			r	R6予	昇巩		25.0			R6決算		014		R7予算		200
事業								77						250					814			١,	,208
		委託料						8	8				۷,	338	5			۷,	276				
		工事請						1	^														
			加及び交付金					1						010					E 2 0			1	200
財源	その							66 77						912 250					538				,208
以 源								/ /	0					<u> 169</u>					814 138			١,	,208 50
	市債	Z財源 E											١,	109	-			١,	130				50
	そ0.														-								
		財源						77	6				2	081	-			1	676			1	,158
	79.	X7711/1/						- ' '					۷,	001				',	070			- 1	,150
4 事	事業(の成果	!評価																				
Га	めざる		実現に	多言	語译	観り	ステ	よの導	入にる	とり、	日本	語で	の意	思政	诵	が難しん	\外国.	人市月	ほの知	便性向上	と、職員	量の負	9担
			業の成果)																	醸成を図			
KPI				1				#	指標1										指	標2			
IVL 1		片煙夕	(単位)						日小小										1H	l⊼∠			
		目標													+								
		実統													+								
		天前	則但												-								
			積値の差																				
	分に	ついて	の理由																				
行革	評価	5(行政	大革约	綱に基	きづ	く評	西)																
		コスト	(培養)	評	西									評価	もし た	た根拠・	理由						
			·忌哦 !財源確保)	В		デミジ	タル	川島都	市国家	を構ね	相芯に	tæz	を活	田し	多	言語通詞	アシス・	テムを	:道\	L <i>.t</i> =.			
	- (5-4)	137.379321	, Manage Pity			, ,	<i></i>	шмп-	111212	7.113 /		. AIK (÷ /山					, 4	. 77/\	.0728			
		目的	思考	評	曲									評価	107	た根拠・	埋田						
	(旅		への寄与)	В	ś	様々	な事	業を通	回してダ	ト国 ノ	人市區	えとは	也域·	住民	の交	ど流を生	むこと	がで	きた。				
	-	M4. > 1	L A STAN	評化	III									≕亚征	БІ <i>.†</i>	た根拠・	理由						
			体との協創 の意見把握																134 / . =	- 11/ 1 2 14			
			等の活用)	В	j	奈艮先	七端ス	大や市民	団体、「	万民市	ドフンフ	「イア	、関係	糸団体	等と	この協力追	単携によ	り、多	様な事	業が実施で	ぎきた。		
	デ	ジタル・ラ	データ活用	評	西											た根拠・							
	(R		AIを	活用	した多言	語通	尺シス	ステムを	を導え	λ υ,	日本	語で	での意思	東通が	困難な	外国ノ	「市民の支	援ととも	うに、耶	歳員の
	(デジタルの活用 B AIを活用した多言語通訳システムを サポートを行った。														- 1 /	/ Im the :	-m_L						
	評価															た根拠・							
		総合								٠,٦	その他の)事業(は低二]スト	で市民や	団体等で	を巻き	₹込ん					
	B ラーロー B ラーロー フーロー フーロー フーロー フーロー フーロー フーロー フーロー													<u> </u>									
重	1 学生	■ 上	の課題	•重当	進へ	の外向	囯人.	市民の	参加カ	ベルンナ	ないた	-හ	事学	手は	さか か	情報発信	一一	法を目	直直す	必要があ			
事業実施上の課題 ・事業への外国人市民の参加が少ないため、事業引 ・残された課題 ・日本語教室の学習希望者が増加しており、待機者																					要でる	ある。	
Weareness I the Hay Tay I the First Alvano Con Main												או ני	ц v)	175			.,,,,,,,		7717 C C 41X	, T. 'A',		٥ دو د.	
	A ///	⊕ π=4-	1441		بدر	L		A		ш.,,					. /-	判断理		, ,	£1		1	- >44 · ·	
1	ラ後	の取組	1力針		拡	大		多文化		催進	アクシ	リョン	ブラ	ラン0.	作	成後は、	ブラン	/と連	動した	-事業を言	†画的に	進め	てい

							•																		
<u>1基</u>	基本情報	8						担	当	課	ダイル	バー:	シテ	イ推済	進プ	ラザ	関	係	Ŕ	課	人権	施策	課	等	
事	業	名	No.	4	4	生縣	市男	女共同	参画行	動	計画(第4》	次);	策定等	手業	務									
事	業区	分	新規	会	計	区	分	<u>—</u> я	股会計		予	算	費	目	į	款	2]	頁	1		E		13
施	策体	系	2	人棺	€・多	文化	共生						戦	略白	内が	も 策			行i	攺 改	革オ	に綱		(1)
根扱	见法令	等	男女共同	司参回	町社 2	会基本	本法、	DV防山	上法、女	で性シ	活躍推	進法	ŧ. E	困難女	7性3	支援法			事	務	区	分	É	1治	事務
	業期	間	単年				度)		年度繰					き〜糾			复数年	E度	(5	年	度~		6	年度)
				~(IX)		一人又小木	·*=(16	× 11	<u> </u>		~~~					~			1127
2 =	事業の権	既要	・実施内																						
	美 目 的		全ての ことがて							責任	壬も分	かち	5合(い、性	別に	こかか	わりな	¥<,	そ(の個性	生と能	と力を	十分	に発	輝する
事(全	業 概体計〔	要 画)	生駒市り進するな	-めσ)基2	本的な	動信	につい															かつ	計画	的に推
,		_ ′	事業(の対	象	生馬	市	=											(対	象数:)
								計画]実績					
			・生駒市男 ・生駒市男 ・生駒市男 ・パブリッ	女共 女共	同参i 同参i	画審諱 画施策	会の 推進	意見聴取				§)	·生 ·生	駒市男 駒市男	女共 女共	同参画 同参画 同参画 メントの	審議会 施策技	会の意	記見	徳取				,)	
決	算年度(カ	・生駒市男			画行動	計画	(第4次)	こ基づく	(前半	≠5年間				女共	同参画	i行動i	計画(第4	次)に	基づく	前半!	5年間	の前	期実施計
Ė	Eな取組	l	前期実施			行動	計画(1	第4次)策	定委託	料			画第		男女‡	共同参i	面行動	計画	i(第4	4次)急	6定委	託料1	.672	千円	
			生駒市男						1,672	2千円	貴		②生 計	三駒市5 十画書	男女! 35(共同参i 0円×5 円×1,	画行動 600部	計画 3×1.	i(第4 1=1	4次)· 193 -	概要版				
			事業実	施手	手法	7	直接	実施	✓ 委詞	モ・排	旨定管	理		負担	金·补	補助金	È	その	他	()
3 📱	事業費・	財派	原内訳																						
	#/~ [R5:	決算	1011	_	R	86予算	章現?		0.4.0			R6決	算	1 /				R7∃	算	
事業	費(千円							1,946						940						940					0
	12委記		多					1,595)				1,6	672					1,6	572					0
			ス 貝 及び交付金																						
	その他		XO XIII					351	1					268						268					
財源	(千円)							1,946	_					940						940					0
	特定財	源						.,					- , .												
	市債																								
	その他							101	_																
	一般財	[源_						1,946)				١,٠	940					١,٠	940					0
4 📱	事業のほ	成果	・評価																						
Γά	めざす状	態」						等の結果 策推進会													同参	画行動	計画	(案)	につい
KPI	•							指	- 信標1											指	漂2				
	指標	:名(単位)																						
		目標	値																						
		実績	値																						
	目標値の分につい		績値の差 の理由																						
行革	評価(1		改革大統	綱に	基づ	ごく評	(価)																		
			<u> </u>	_	<u></u> 価									評価	した	根拠・	理由								
			忌哉 財源確保)		3	市民	等へ(カアンケー	調査	と計i	画策定	業務	(2カ	(年分))を一	度に入	.札する	ること	:Iこよ	り、糸	Y 費削	咸効果	があ	った。	
		-									,- ,-,- <u>-</u>					根拠・			- 0	45	133/			. =0	
		的思			価						- 1 614									4- 1-					
	(施策	目標^	への寄与)	E	3	アン・	ケート	調査結果	は計画	策定	の実態	把握	にと	どまら	゚ヺ゚゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚	事業を	進行す	-8上	での)参考:	資料と	:しても	6役立	つた	め。
	多様な	注体	との協創	評	価									評価	した	根拠・	理由								
			意見把握 の活用)	l E	3	計画	の指	票としてす	ち民等の)調査	査結果の	り数値	を流	舌用す?	ること	_で、市	民等0	の意識	戦レ/	ベルの	向上を	きめざ	してし	いる。	
			·一夕活用	=17	価									評価	L ,/-	根拠・	理由								
			の活用			1	~~~	1==	1 * (+ m :	- -	-°	_"						`A+:	- +	7 + 1					
		EBP	M)		<u> </u>	叩氏	守!	ノケート調	且桁米	で 月	— , ,).	テーク						述出	じめ	る/こ(, ,				
				評	価											根拠・									
	総	合言	平価	E	3			参画の 庁内調										進す	する	ための	の基2	下的な	計画	訓 にて	いて、
事業実施上の課題 根強く残る固定的な性別役割分担意識の解消や男女共同参照 ・残された課題 に関する理解促進に継続的に取り組む必要がある。													参画社 	t会の _)正(ノ し ハ:	理解	に向l [·]	ナた啓	発、	性の 	多様性			
																判断	理由								
	今後の国	汉組 :	方針		現状	犬維持	Ē	令和7 ² して、5								あるた	バ、社会					†画の	進抄	状況	で考慮

1 基	本情	報					担	当	課 :	ダイバー	ーシテ	- イ推	進プ	プラザ [関	係	課	人事課・	商工観	光課	ļ
事	業	名	No.	5	月	見女とも	らに働きな	やすい	職場	等への	意識	改革									
事	業区	分	継続	会	計 [区分	一舟	会計	-	予 算				款	2		項	1	目		13
	策体			人権・	多文	化共生					戦	略	的方	施 策		行	政 改	革大綱	(1)(5	5)
	』法 🤄															事	務	区分	自	治事	務
事	業期	間	□ 単年/	芰(年度)	✓ 単年	F度繰	返(令和5	年[き~	継続) 🗌 🛚	复数年月	变(年度~	,		年度)
2 4	巨業の	脚垂	・実施内	灾																	
	算表 UZ 目						= ## .	** =*\\ ¬	++ -	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	. = 1			· · · · · · ·	<u> </u>		- \	- 4 · 1 · · · · · · · · · · · · · · ·		7.44.	L ->
事業	実施	効果																ででででです。 では、		E進 9	「る。
	業の概		②男性の	家事·育	児参回	画を進め	るため、「タ	父子料理	教室	」や「父子	一の遊	び体験	験」ワ·	ークショ	半の取れ ツプ開作	i C	1/\ I C [1176 (天)	В		
(全	体 計	画)	③働き方で 事業(「女性の	1/20)(クキャリ	广形的	んセミ	<i>_</i>	用惟		(44	象数:)
			3. 214	- /-3	-31		計画										具実績				
			①仕事と		ての『	両立に対	付する理解	解促進	のた	め、事	1	士事。	と子i	育ての	両立に	対す	る理解	解促進の7	こめ、事	業者	を対
					ノた「イ	健康経	営」の研	修(イク	/ボス	養成講								ス養成講			
			座)55 ②宮東・		· 胆才	・Z朔ヱ	-(父子)参	÷₩⊓₩IJ⊏	¬_,	75,70,0		豕 事	・育児	記に関す	「る親」	子(父	子)参	加型ワー	・クショ・	ップ1	165+
	算年度		プ205-		. 判 9	る税丁	(又丁/多	》加空。)—·)	/ンヨツ	_	ケ性の	の <i>t=</i> 8	めのキ	ャリアŦ	形成十	ッミナ	− 99 1	<u>-</u> 円		
主	Eな取締	且			のキ †	ァリア形	成セミナ	12	20 1	-円	•.	∼ i⊥ ·	,,,,	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	. ,,,	171-20	/	,,,,,	, ,		
			古兴中	廿工	2+	7 + 15	· 	7 ===	- 11-		 	<i>7</i> 10	7.0	4-t-01 A		- //-	,				`
			事業実	施于	法 L	<u> </u>	実施 [<u> </u>	七・指:	定管理	Ш	負担	金.	補助金	∐ €	の他	()
3 事	丰業費	・財派	原内訳																		
					R	35決算			R6	5予算現				F	R6決算	氧			R7予	算	
事業	費(千月						55)				380					314				0
	12委											370)				305				0
	14工		具質 及び交付金																		
	その作		及び交別並				55	:				10	,				9				
財源	(千円)						55					380					314				0
713 11/31	特定則											173					107				0
	市債																				
	その作																				
	一般與	才源					55)				207					207				
4 事	事業の	成果	・評価																		
	めざすキ			仕事と	上育り	見等の記	5立への	理解を	深め	る取組	۔ 'باع	て、事	業者	当対象 (の研修	と父親	見の家	事·育児	参画を	進め	る講
			業の成果)	座、女	性の	キャリ	ア形成セ	ミナー	を実	施して、	、性別	引こた	いかれ	つらず記	能もが信	動きか	っすい	職場を目	指した		- 2.3
KPI								標1									指	標2			
	指		(単位)			イク	ボス宣言	事業者	對(者)											
		目標						63													
		実績	値				į	58													
			積値の差				を実施し、														
/= ++	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		の理由 				が少なし	1/20/1	単ひ官	凶んぐし	100										
行手	<u>評価(</u>	行政	改革大約			<u>評価)</u>						= 	rı +	- ∔□ +bn 1	rm -h-						
			意識	評価		一体生た	州郊翠と の	が連接に	上いか	加里的厂	宇施口			根拠・		と対策) W 44	象事業とな	ストシに	車業	老向什
	(費用対	対効果·	·財源確保)	В			子向け講座								<u> ۲</u> (۶)۱	איניעם	./ V// Y	水甲未じる	30 JI	- 丁木	111111
	Е	目的原	思老	評価										₽根拠・∃							
			い つ \の寄与)	В			児等の両立 に努めた。	こへの理	解を激	架める取	組を原	雇用す	る側	と雇用さ	てれる側	を対象	えとして	て実施し、計	ŧもが働:	きやす	けい職場
	力毕	+× -> /+	1. O+TA	評価		いが推進し	に分りた。					郭 征	ξί <i>,†</i> -	根拠・	理由						
			との協創)意見把握	В		江会議	所やテレワ	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	インキ	ュベーシ	ョンセ					多等を	開催す	ることで、	 多くの事	業者	 へ広報・
	·民	間活力等	等の活用)			知する。	ことができ	た。					-	I III Iba a	rm -L						
			⁻ 一タ活用 ・の活用	評価	<u> </u>	はななり	計画を口	72.71	u °. +	25± 1	- h z			根拠・		71+ F	ᆱᄼ	がなくデー	力生工士	n - 1 -	· IB 40 Z
	()	·EBP		_			効果やフェ ないため診			257-1	こみる	אַרווינל.	土冶/	への影響	10 761	(14/1	小火儿士	かなくテー	ツ守にタ	u X IC	.呪(1の
				評価	<u> </u>							評価	した	根拠・	理由						
	析	総合語	評価			土事と育	う児等ので	両立へ	の理	解を深	める					象、切	り口、	<u>事業</u> スタ	バルで	他部	署等
				В									-								_
事	□ □ □ □ □ □ □ と連携し実施することができた。 ■ 事業実施上の課題 ■ 性別にかかわらず全ての人が働きやすい職場を目指す													組を進	めるた	めに	は、「	ーク・ライ		ランフ	スへの
	·残さ						更がある											, ,	- / \	/	,
					_																
判断理由 今後の取組方針 改善性別にかかわらず全ての人が働きやすい職場を目指すために、事業者や市民向けの)講座									
		15 4417		I	-/\	•	関係の									, , , ,	1 - 1		1- PAIC	_,, _,	- μ - Τ Ι <u>-</u> Ε

<u>1基</u>	本情報	艮						担	当	課	こども	園準	備室			関	係	課	教育指	導課		
事	業	名	No.		1	幼稚	園コ	ミュニ	ティ・ス	クー	ールの充	実							_			
事:	業区	分	継続	会	計	区	分	<u>—</u> f	股会計		予 算	責	目	1	款	8		項	4		目	1
施 :	策体	系	3	こと	Ĭŧ.	子育	て支持	爰				戦	略的	的旅	策	J	行	政改	革大網	ā]	(1)	(4)
根扱	见法令	等										-			-		事	務	区分	ì	自治	事務
事	業期	間	□ 単年	度(年	度)	✓ 単	年度繰	返(令和5	5 年	度~約	迷続)	i	复数年	度(年度~	_		年度)
2 1	直業の	44重	・実施内	吹																		
	業 目 自																					
事業	実施效	加果	こどもた	<u>-</u> 50.)成县	長(集	団性・	協調性	の育ち	5)(Z	つなげる	3 <i>-</i> 2	こ。また	き、地	域のシ	舌性化	を図	る。				
			古立如和	佐唐(:	ニおい	17-	1 > 7	ーティ・	フクー	儿生	間度を活	⊞I.	周と	但 灌:		枯つこ	: 7	ティが	·	<u>-</u> - ゾ	±, +- t	ちのため
事 .	業概	要	の取組を																			رەر
(全	体計i	曲)	事業(カ 対	† 象	なは	だた幼	稚園、何	表口幼	稚康	、あすか	野幺	加稚園				(文	対象数:		3園)
			3 7,1				当初											組実績				
			·学校運			委員	報酬									委員報	酬		-			
								0,000								36 1	円					
			·地域学 90 00					亲安武 270,0					2,000 1,000									
	算年度() 0,0	001	,	אניםנינו	Δ.	_ / 0,0	00,3							 動推進	事業	委託料	4			
ᆂ	Eな取組	1										(90,0	00円	3×3協	議会	=27	70千F	9			
			事業実	施	手法	7	直接	実施	✓ 委i	王•‡	旨定管理	!	負担	金・神	甫助金	· 🗆 i	その他	()
2 =	5 坐弗.	n+a	 5rh=0					-														
3 -	事業費・	9.11	尔门武			R5	決算			R	R6予算现	閉館				R6決	筲			R7	'予算	
事業	費(千円	3)				113	/\ }_	204	1		(0) 770	/U D/Y	360			110//	/ 	309		1 \ 7	J 7T	360
5 - 1 - 1	12委	迁料						179					270					270				270
	14工																					
	78負担金		及び交付金					25	-				90					39				90
財源	(千円)	•						204					360					309				360
,,,,,,,,	特定則	掠						119					270					270				270
	市債																					
	その他一般財							85	-				90					39				90
								0.	,				90					39				90
4 4	事業の	<u> </u> 成果	·評価																			
	めざす状		実現に																き 豊かにし た	、地域	往民と	この交流
		(事)	長の成未)	で済	(0)	手凹凹	上。防动部			より	ることが	Ç.	、地場_	151	<u>_</u> テ1	の治性	1し/ゾ					
KPI		≖夕 (単位)				= -		i標1 クール	小足	置数(園)							拒	標2			
		目標							<u>/ //</u> 3園		28人(四/											
		実績							<u> </u>													
	目標値	と実績	積値の差																			
	分につ																					
行革	評価(行政	改革大約	綱に	基つ	ごく評	価)															
		スト	意識	評	価								評価	した	根拠・	理由						
			財源確保)		В	県補	亅助を	活用し	、予定	どお	りの成果	見を?	导られ	た。								
	F	的原	田孝	죔	' 価								評価	した	根拠・	理由						
			ふっ への寄与)		В	前年	きま	での取	り組み	を流	舌かし、剤	斤たな	は園の	取り	組みを	円滑	に進め	かるこ	とができ	た。		
	久垟+	> /	 との協創	誀	~価								評価	した	根拠・	理由						
	(市民	等への	意見把握		<u>іт. </u>	園と	- 保護	老 批	武コミ-	, — :	ティとの	おかっ						た活動	動を実施	できれ		
			が ちば 円			AC	- 1/102		~		7 1 (0)	JJJ 35			根拠・		1/3 0	/С/Цэ	3) C X 116			
			ータ活用 の活用	育	価	_",~	* /¬ II	_» <i>_</i>	···········	\ \			計画	ال	י שענאנו	<u> </u>						
		·EBP	M)		. /	アン	・ソル	・データ	治用を	,U			=a: /	1 4	↓□ ↓hn	тш-						
	41	= کی	₩.	悟	' 価	IE ~	\ }_	.#II # -	24 m - 1	- 7 -	- \	<u> </u>			根拠・		70111	1 -1		, <u>+</u> »	p + ·	Lii. A
	稀	合語	半1 団		В						ことで、貝 ながる様								ミュニティ	か怠	見をは	ゴレ台
	- ** ct= +/-	- 1 0	\=m85	H		V 1	در	0/290	月つ		みかるか	K Y 1	か川到	で大	ли 9 г	ال ال	J, C C	2/_0				
手	議実施 ・残され			園児	きが)	或少化	頂向に	ある他	の公立	幼	椎園にも	コミ	ユニテ	ーイ・フ	スクー	ルの割	置を	進める	るか検討	を行っ	う。	
・残された課題																						
	今後の耳	取組.	方針		現北	(維持		今後‡.	この活	動力	が継続で	きる	ようほ				域つ:	= 7 -	 ティが主	体と;	なって	より良
	, ,,,,,,,,				2017	· 1 · 3					の進め方										J. J. C	

					15.		~ / / -	, _ , ,		J-/\	VI IЩ >	•					
1 基	本情報	R				担	当	課 幼保こ	ども園	孠課		関	係	課			
事	業	名	No.	2	教育·保	育の質の	の向上										
事	業区	分	継続	会 計	区分	<u>—</u>	般会計	予 算	費	目	款	3		項	2	目	1
施	策体	系	3	こども・	子育て支	援			戦	略的) 施 策		行	政改	革大綱	(1)	(4)
根 拠	』法 令	等							-				事	務	区分	自治	台事務
事	業期	間	□ 単年/	 度(年度)	✓ 単2	年度繰返	호(令和!	5 年度	き〜継	続)	複数年	F度(年度~		年度)
2	直業の地	車車	・実施内	灾													
	ままり かくしょう はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい		大心门	<u> </u>													
	実施效							保育を発								↑	h
事(全	業 概体計員	要 画)	境の整備! ンに沿って	に向けた取 て施設運営	X組として、 なが行われる	生駒市幼! らよう、保育	見教育・保 育士等へ <i>0</i>	・人格を大切 育施設等に D研修の実施	おける や、市	虐待等 内公私	と疑われ 立園との	る事案(情報共	不適切な 有を図る	な保育))の発生防」	Łのため0	く育・保育塚 りガイドライ
			事 業 (り対象			こども園・	事業者内保育	所・小块	見模保育	う 園に勤め	る保育士			4	0)
			TIII	大門(光)		計画	·- レナィ	の人権・人	<u>~,s</u>	\$\T\/\!\				■実績			
	算年度(Eな取組		格を尊重 講師謝	itする意 i礼 30−	が職員で 識を共有で 千円×1名 肝修の充実	する。 ₁=30千	·円	////催·//			,20千				開催した。		
	事業実施手法 ☑ 直接実施 □ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他 (事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算)	
3	<u>『業費・</u>	財源	<u> </u>			-		D/マケT	3 6 4 5			D ()+	<i>h</i>			DD 2 55	-
古光	費(千円	1\			R5決算			K6 予 昇均	記額	30		R6决	.异	20		R7予算	<u></u> 60
尹未!						20	7			30				20			- 60
			負費														
	18負担金補助及び交付金 20 30 20 6 その他 20 30 20 6 源(千円) 20 30 20 6														60		
財源	京(千円) 20 30 20 60 特定財源 市債														60		
	(千円) 20 30 20 6 特定財源 市債 その他																
	特定財源 市債																
	一般財					20)			30				20			60
			==:/=:														
Га	事業の 5 めざす状	態」	実現に	研修会	を開催する	ることで	 保育士 <i>0</i>)意識を高	めるこ	ことが	できた。						
		(事)	美の成果)							-				161	m つ		
KPI		5夕(単位)			研修実施	1標1 毎回数 <i>(</i>)	司 \						1百1	漂2		
		目標				1/1 	1										
		実績					1										
	目標値の	と実終	通値の差 が理由														-
行革				 	づく評価)					L							
13-1				評価						評価し	った根拠	·理由					
			意識 財源確保)	В	集団研修	冬を宝施		 クコストを打									
				評価	7/12/19/11	<i>y</i> = <i>y</i> (<i>n</i> E	1012120)/\(\(\) _}			ノた根拠						
		的思			マンギャコ/	日本への	 =₩ /_ =	ちゅっし.			ノノこ作及が	*连四					
	() 他東	ヨ標ハ	(の寄与)	В	个週切1	末育への	思識を高	高めること									
			との協創	評価						評価し	」た根拠	・埋田					
			意見把握 の活用)	_	保育士	こ対する	研修でま	あり多様な	主体と	ニ協創	する必要	更がなり	ハため	0			
	デジタ	ル・デ	一夕活用	評価						評価し	」た根拠	·理由					
		バタル EBP	の活用 M)	_	研修会	でありデ	ジタル化	なる必要が	がない	いため	0						
		LDI	141)	評価						評価し	Jた根拠	・理由					
	総	合語	平価	В	研修を到	実施する	ことで係	育士の不					つなが	った。			
事	- 業実施 ・残され			不適切	保育の防」	上に特化	した内容	字となった	ため、	追加(の研修か	必要と	こされて	ている	0		
											判断	理由					
	今後の耳	以組	方針	2:	收善	不適切	保育防」	 上に留まら	ず保育	育士の			実する	ための	の研修を追	 追加で実	 施する。

		_									1 4 - 1 11		•			r			
	本情		•			-		課数保	こど	も園課		関		係	課	教育指導	課		
事	業	名		3	4	接続推進事										II.			
	業区			会 計			会計	予		費目			3_		項 	2	目		1
-	策体		_	こども・	子育て支	援				戦略	的施	策				革大綱		1)、(4	
	弘法 4			 /	(- (Sale A+\		*		務	区分		治事	
事	業期	間	単年	度(年度)	[4] 単年	-	区(平成)	29 .	并度~ }	継続)	俊	数年月	旻(年度~		'n	F度)
2 事	事業の	概要	・実施内	容															
	美目 実施				こども園、こ、進学時											通しを持っ	った接続	売期教	育を
事	業 概体計	要画)	幼児と児	己童、職員	園・保育園 同士の交	流、参観	や研修	を通して						、取締	組を推	進進する。			
		_ ′	事 業 (の対象	市内幼科		所・こと	ごも園							象数:		28)
			1 + -/-+ 1 1			計画	-				D 11 T1 -		4 CES / C		1実績		224 I-L 1		<u> </u>
			接続カリ 研修会の		を見直し	、活用する	5 .			年3回の 議を実施					等と	市内の小	学校と	:の合	可会
					円×1名=	30千円				内1回に	t、講師	の先	生を招	:ŧ、I		いの教育		し接続	売カリ
決1	算年度															修を開催	した。		
	な取締								İ	講師謝	Դև 3U) 	×I石·	=30	 				
			事業宝	佐壬士	直接		7 ====	北京	тш		1	п. Л		σ/H ₁	/				`
			尹未天	池士石	[[二] 但接	美施 _	」安託	・指定管	'理		金・補	助金	∐ €	の他	()
<u>3</u> 事	業費	·財》	原内訳		DENA			D/マ*	С ТО 6	Œ			· / `+ ^/	-		1	DD2	<i>h</i> -h-	
車業	費(千				R5決算	33		R6予算	早児各	_摂 30	,	K	6決算	1	30		R7予	昇	30
事未!	12委					33				30	'\				30				30
	14I		負費																
			及び交付金			22				2.0					20				20
財源	その(33				30 30					30				30 30
ייניוו ניאל	,					- 33						30				- 50			
	財源(千円) 33 30 30 30 特定財源 市債 その他 一般財源 33 30 30																		
						22	20	,				20				30			
						33				30	<u>' </u>				30				30
			·評価																
	のざす¦ .たこと		実現に Kの成果)		ιラム作成 えるように		の研修	を受講し	、 各	園で接	続カリ	キュラ	らしのり	見直し	っを行	い、より	スムース	ズな就	学支
KPI		- (Ŧ7	E 071 以 未7	1友で11/	20071	-なりた。 指	堙1								岩	漂2			
KPI		標名(単位)		講師を呼			施回数([回)						1日1	示と			
		目標					1		.,										
		実績	値				1												
			績値の差 の理由																
行 某				 - タリン はっ	がく評価)														
11 +				評価	<u>/ \ втіщ/</u> Т					評価	した相	退拠・理	肿						
			意識 ·財源確保)	В	予質诵し	の謝礼費	サード カード	シったた	め.	PIII	10.012								
				評価	J. ## 700 /	, √\bij	2/11/	× 2/C/C	076	1111年	した相	3.幼11.。118	由						
		目的!	思 考 への寄与)	В	△議□※	女を増やし	. F()	甲里すれる	¥RH \			XIXE 13	±Щ						
					云戟凹刻	メで担じ	ハムツ	京 (区) (ボ	H-171 C			3+bn IB	#.th						
			との協創 意見把握	評価	4+ (1), 42	1 *		AU + +0 r	-		した根		出						
			等の活用)		特段、多	様な主体	との協	創を想	EU.				n - L						
			[・] 一夕活用 ・の活用	評価						評価	した相	∛拠・ 均	里田						
	()	·EBP		_	デジタル	化する余	地が乏	えしいた	め。										
	,	./. ^ -		評価						評価	した根	退拠・理	里由						
		総合語		В		度以降の													
	業実施・残さ				カ「学びの ハきたい。	芽生え」を <u>-</u>	を児童期	朝の「学で 	びの	基礎」へ	とつな	いで	いくた	めに	他校和	種の活動	への理:	解を浮	架め
											\	判断理	曲						
-	今後の	取組	方針] 라	文善	実態把握	量から浮	子き彫り	となっ	った課題	質の解	決を全	- 3和7₫	・ E度り	- 以降に	- 実施する)		

1	基本	情報	Ž						担当	課	幼伢	そこと	ごも屋	課		関	系	課			
事	弟	É	名	No.	4	Ļ	待機	児童	ゼロの継続												
事	業	区	分	継続	会	計	区	分	一般会計		予	算	費	目	款	3	項	Į	2	目	1
施	策	体	系	3	こど	ŧ٠Ξ	子育で	て支持	Ę.				戦	略的	り施 策	V	行政	改	革大綱	(1)
根	拠污	ちつ	等										-				事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	単年月	度(年	度)	✓ 単年度繰	返(平成	29	年度	き〜総	鱶続) □	複数年度	₹(年度~		年度)

2 事業の概要・実施内容

2 事未び拠女	· 大肥门 位	
事 業 目 的・ 事業実施効果	・保育士不足により定員まで受け入れられない園を解 ・希望上位の園に入園できない状況の解消につなげる	
事業概要(全体計画)	保育士を確保し、児童の受け入れ態勢を整えるため、「資格をいってるとともに、大学とも連携し新卒採用数の増加を目指す。潜在育士への助成等を新設し、周知を図る。生駒駅周辺の保育施設や	かそう!相談会」、「保育園、こども園見学ツアー」、「職場体験」を継続実施保育士の発掘のため、私立の短時間保育士、非正規常勤保育士及び常勤保 や分園等を整備する。
(= 11 = 7	事業の対象市内保育所・こども園・事業者内保育	育所·小規模保育園 (対象数: 31)
	当初計画	取組実績
決算年度の 主な取組	・「資格をいかそう!相談会」等実施 講師謝礼 3千円×1名=3千円、参加者プレゼント(ラムネ) 0.324千円×33箱=11千円 ・処遇改善給付金:100千円×10人=1,000千円 ・保育士サポート手当:100千円×40人=4,000千円 ・生駒せいかナーサリーの開園(R7.4開園)28,332千円 ・生駒駅周辺の保育施設・分園等の公募 プロポーザル審査委員会委員報酬 14千円×3回×1人=42 千円、財務評価謝礼 14千円×3者=42千円	・「資格をいかそう!相談会」の実施 講師謝礼 3千円×1名=3千円 参加者プレゼント(ラムネ) 0.324千円×33箱=11千円 ・処遇改善給付金:100千円×8人=800千円 ・保育士サポート手当:100千円×23人=2,300千円 ・生駒せいかナーサリーの開園(R7.4開園)28,332千円 プロポーザル審査委員会委員報酬 14千円×2回×1人=28千円 財務評価謝礼 14千円×1者=14千円 ・保育士を目指す学生に対し、現役保育士がその魅力を伝える取組を大学 と協議し、令和7年度に実施できることが決定した。
	事業実施手法 ☑ 直接実施 委託・指定管理	☑ 負担金・補助金 □ その他()

3 事業費·財源内訳

		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	70	33,430	31,488	19,103
	12委託料				
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金	70	33,332	31,432	19,100
	その他		98	56	3
財源	(千円)	70	33,430	31,488	19,103
	特定財源		25,184	25,184	
	市債				
	その他				
	一般財源	70	8,246	6,304	19,103

4 事	幕業の成果・評価			-	
	かざす状態」実現に したこと(事業の成果)			3人、サポート手当で22人の利用実績とな 育園・幼稚園合わせて11名の採用につな	
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)		(5	ミ質)待機児童数(人)	
	目標値			0	
	実績値		190	(令和7年3月1日時点)	
	目標値と実績値の差 分についての理由	保育士の		予定よりも進まず待機児童が発生す	
行革	評価(行政改革大網	岡に基づ	く評価)		
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	В	保育人村	才確保は難しく人件費等のコストはか	かるものの、一定の成果があった。
	目的思考	評価			した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	С		↑かそう!相談会」では11人の採用につな づく保育士サポート手当は23人に支給す	ながったほか、処遇改善給付金は8人、新規に採用し1年間の 「ることができた。
	多様な主体との協創	評価		評価	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	「資格をし	いかそう!相談会」「職場体験」など、市内	公立園以外にも私立園の協力も得て実施した。
	デジタル・データ活用	評価			した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	С		の園での様子をXで発信した。	・ムページで行った。また、保育士を目指す学生も意識して、
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	В		髻においては当初予定を下回る結果と 月に、小規模保育園として生駒せいた	こなったが、離職防止にある程度貢献できた。また、令 いナーサリーの開園ができたため。
_	業実施上の課題 ・残された課題	大阪市、まなかっ		の給与格差から私立園が保育士を直 -	接雇用することが難しく、思うように保育士確保が進
4	今後の取組方針	改	善		判断理由 事業を進めるほか、補助金等については今回、予定を下回った処 に保育士確保支援事業給付金(短時間保育士雇用支援、派遣保

	L k -L -	-					10		N/	-m	I - \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	L == 2#	/#- 		i i		ır		.m 17	布設マネジメ	ント課		
	本情		N. /		-	b tt '	担		<u>当</u>	課	こど	5園準	備至		ŀ	男	係		果	施設マネジメ ファシリティマ	マネジメ	ント推進	室
事	業 業 区	名	No.	5 会 i			_	サラス とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり			3	算		士人	7			τÆ		2			<u> </u>
_	<u>乗り</u> 策を体	<u>分</u> 系	<u>新規</u> 3	云ども			· · · ·		股会計		予		略自	勃		3	1/=	項	ᆲ	2 革大綱		(3)	3
	R 体 l 法 f		3	CCT),工	月()	〈1友					半人	一	19 加	來	~	1.			区分		(3 <i>)</i> 治事	
	<u>。 </u>	間	単年	莊/		年度	١ ٢	- H	年度繰	1년 (<u></u>	度~維	业《丰 /	ノ被	数年	_			年度~	<u> </u>		
				(平 反	<i>)</i> L	+-	牛 皮深.	巫(反~私	全形 记丿	<u> </u>	交好十	火(口们	0	平反~			年度)
			・実施内	容																			
事業事業	実施?	対果	経年劣化	とが進む	こ公ご	立保育	所(の長寿	命化や	り、診	忍定こ	ども園	として	の更新	新を図	図る。							
事 (全	業 概 体 計	要 画)	更新を記	計画的に	進	める。			て、実	態調	間査を	行い、	老朽化	したす	 市立保	育所				や、認定で		園と	しての
			事 業 (の 対 :	象 2													対象数		4[遠)
			. 由伊夸	E Z由4	东州加		初計		工业引				b/C 李	E 7±	9. 全东北州	ᇑᆉ		組実		<u> </u>			
			·中保育 3,17 <i>2</i>		彩彻	ミスト	之司可	直安計	T不升				Þ保育 2,021				支訶.	直安記	订 不	' †			
													_,										
決!	算年度	の																					
	な取締																						
			古光中	佐工:	·+ I =	7 +1	÷.:-	ı+ <i>t</i> [- 1	r. — **	T	1 4 10	^ ++	- TT - ^		7.0/4	h /					```
			事業実	: 他于	広		妾実	施	✓ 委託	七·指	旨定管	埋] 負担	金•補	助金	1	その化	<u> </u>)
3 事	業費	・財派	原内訳																				
AUC -	#/~-	-\			F	85決算	\$			R	86予算		150		F	R6決					R7予		- 1 - 0
事業	費(千F 12委							()				,172 ,172					2,02 2,02				2'	7,159
	14工		負費										,1/2					2,02	1			2	7,159
			へへ 及び交付金																ı				7,100
	その化	<u>b</u>																					
	(千円)	北西						()			3	,172				2	2,02	1			2'	7,159
	特定則市債	1 / / / / /																	-				
	その化	<u>b</u>																	t				
	一般則	掠						()			3	,172				2	2,02	1			2	7,159
⊿ 	三業の	成里	・評価																				
	かざすれ																						
			きの成果)	中保育	園	本館の	耐フ	力度調	査を実	に施し	した結	果、建	物の安	全性	を確認	認した	-0						
KPI								指	[標1									扌	旨標	[2			
	指		単位)				5	更新施	設数([園)													
		目標							0														
		実績							0														
	目標値分につ		漬値の差 の細中																				
行某			改革大統	細一甘	ベノ	· ≣亚/莊	\																
114				神に基評価		. рТ (Ш	,						評価	した相	見拠・Ŧ	里由							
			意識 財源確保)	В		图 经罪	ン ! ?	ユーニー な力!	 て適切	たり重	[禁牢	施レヌ											
						木 百/八 [>	一 b	טנענוו	へ廻切	の寸	中木大	າຣ⊂ J,		した相									
]的原		評価	_	모선사	ルチ	~;°>⊁+ + >	.d./□ * *		↑7##	м±.				主 曲							
	(施策	日標へ	(の寄与)	B		全牛劣	167	ル進む	中保育	園(ル運物	い女自				m ,							
			との協創 意見把握	評価									評価	した根	艮拠・ヨ	里田							
			意見把握 の活用)		導	事前調	查0	りため															
			一夕活用	評価	i								評価	した框	艮拠・ヨ	里由							
	(デ	ジタル ・EBP	の活用 M)	-	þ	デジタ	ا	データ	/活用な	ìل۵	のため												
				評価	i								評価	した相	艮拠・ヨ	里由							
	糸	総合語	平価			3. 中 ' 3-	110	の国本	実施に	台1-	十一月月	仮≡□レ					声 ナ						
				В		」、止地	٠ ٠ ٠٠.	ノ砂耳	大心に	. (L-1)	ノ ()	が味く	ルカノ」し	ノ (述	וינויץ	こ 天 爪	변 (/ 5	-0					
	業実施			3争1/501-	+仏事べ	ケズェ	Z +	が 銃爪	50年却	ŋ → -	ておい	建物素	:21±%	吉士は	田士	スロナ	トナ リ		をか	必要であ	5.Z		
	・残さ	1た記	果題	迷りに	大陸ニ	上 (の	ص/. س	ハ米: 	ノU+作		<u>ー</u>	姓がで	ボンIC. 	ル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	сті 9	∞اره	ツ /こり	ノ以順	∌/J\	·必女 Cの 	(P.C)		
														7	判断理	曲	•					•	
2	今後の	取組:	方針	現	と	持	糸	至年劣	化が進	むり	公立保	育所の	適切な	な整備	記努	め長寿	寿命′	化を原	図る)			

					13.1	HO 1 12	×,,,,			于小	Ш	'				
1 基	基本情報	₽				担	当 課	こども園	氢準備	請室		関	係 言	果 施設マネジン ファシリティ	くント課 マネジメント推	
事	業	名	No.	6	壱分幼科	#園のこ	ども園化	•								
事	業区	分	新規	会 計	区分	——舟	投会計	予 算	費	目	款	8	項	4	目	2
	 策 体	系	3		子育て支				戦)施策	<i>J</i>		改革大綱		3)
	<u>// //</u> U 法 令	_	_				革の推進を図	えための壁					事務			<u>- /</u>
	業期	間	単年		年度)		年度繰返(, 30/C0707 X		まる。継			度(令和		<u>日刊</u> 令和8	年度)
す :	未为	印	LJ ##/	호(平 反)		牛凌深巡(4-13	支~祂		沙	皮(卫仙	3 平反~	つから	平反)
2 📱	事業の構	要認	・実施内	容												
事業事業	業 目 的	り・ 切果	令和5年1園に向け	2月策定に	の壱分幼科 進め、公立(推園の認定 の教育・保	定こども園 R育を継承	化に関する しながら、 ¹	基本 地域二	計画に	:沿って、? こ合わせた	3和9年 :こども	4月公私連 園化を図る	携幼保連携 。	型認定こと	ごも園開
事 :	業 概 体計 [要、			定こども園 十を実施す		けた、保護	舊者·地域	住民	への記	説明会や、	整備過	運営事業 者	が 選定及	び壱分幼	惟園園
(主	14 at L	븨 丿	事業の	0 対象	壱分幼科	隹園							(対象数	τ: 1	遠)
					当初	計画							取組実			
			·委託料							託料						
					□事実施設 スト調査 1		2,980千月	円			も園解体エ 園アスベス		設計委託7	,043千円		
			·報酬	国ノヘハノ		,19011.	J		・報	型州						
決	算年度(D		ザル審査	委員報酬 1	14,000P	9×3人×3	=					14,000	円×1人×3回	回=42千円	J
	Eな取組		126千円						・報1	償費	42 1 P	4				
			事業実	施手法	直接	実施	√ 委託・	指定管理		負担金	金・補助金	È 🗌 i	その他()
	+ Mr ===					., ,,,,				/ 13						
3 1	事業費・	財ル	別訳		D = 14 /4				- - -			57.7	hr.h-		DD 7 //	
	#/~ [R5決算			R6予算現		206		R6決	-		R7予算	
事業	費(千円					C)			296			7,26		16	8,894
	12委計		3 弗						14,	170			7,17	0	14	58,894
			ス 及び交付金												10	10,094
	その他		及U又可业						-	126			8.	4		
財源	(千円)					-)			296			7,26		16	68,894
7,3,7,3,	特定財	源					1		,.				7,20	Ť		,0,0,
	市債															
	その他															
	一般財	源							14,2	296			7,26	0	16	58,894
1 ≡	事業の原	出出	• =亚/Ⅲ													
																-
	めざす状 L.たこと		€規に €の成果)	壱分幼科	性園の認知	定こども	園化に関	する基本	計画	に沿っ	て事業を	実施し	た。			
		(ザオ				4F	24冊 1						+	公振 つ		
KPI		6夕 (出任/			搄	[標1							指標2		
		<u>:石(</u> 目標	単位)													
		日 <u>信</u> 実績														
			責値の差													
	分につい															
行革	<u>評価(1</u>	<u> </u>	改革大約		<u>(<評価)</u>											
		スト	意識	評価						評価し	Jた根拠・	理由				
			財源確保)	В	関係課0	り協力を	得て、予算	草の適正な	よ執行	亍、節》	咸に努め7	た。				
		<i></i>	n +⁄	評価						評価し	Jた根拠・	理由				
		的思	忠考 (の寄与)		± -⊁=∔ःः	回し公一	 て実施で	キス トネF				<u> </u>				
	(他來)	1 (示/ \	(の句子)	В	基 中间 [凹に泊り	く天心で	このより								
			との協創	評価						評価し	」た根拠・	理由				
			意見把握 の活用)	В	保護者や	や、地域は	主民への周	引知、説明	会の	開催	や、協議を	行った				
			一夕活用	評価						評価し	Jた根拠・	理由				
			ータ活用 の活用	р ј јШ	デジカリ	<u>=</u>	パチ田ナバ			, 1mil	אנאוטי					
		EBP	M)		ノンツル	・テータ	'活用なし 									
				評価						評価し	Jた根拠・	理由				
	総	合語	平価	В	保護者	地域住民	その協力を	を得て 其	★計	画にも	公った 整備	苗が准。	められる	よう取り組ん	h,t : °,	
					NIDETH	للللا الاست	~~~ CUMI / ~ C	こいて、色	:'T'0	<u>ا</u> ات	H ~/CIE/	111/J (JE)	~, J1 v d) (ハ ノ 4人 ノ 小丘/	3/20	
事	業実施	上の)課題	本市にお	<u></u> ゔける初め	かての公	私連携幼	保連携型	認定	こども	- <u></u> - - 園として	、壱分	幼稚園の	認定こども	園化の整	備·運営
	・残され						地域住民、								- · · · - ·	
											判断	理由				
	今後の耳	又約-	方針	現状	維持			_								
	, IX 0) I	V471	احد	-20-17	~π.1 <i>/</i> 1	基本計	画に沿って	て、令和9	年4.	月開園	園を目指す	T。				

										木叮Ш		1.					
	本情報					-		生涯学習			厚		系	課			
事	業	名	No.	7				のこ」によ		+-			_				
	業区	分		会計	-		会計	予 算	費目		^- / - -	8		<u>頃</u>	<u>5</u>	目	5
	策 体 』法 令	系	3	224.	・子育て支持	医			戦 略	的他	朿		事		革大綱		1)(4)
	e	节間		庄/	生典)	√ 単年	· 安级 · 后/	DE	生典 1	(14/4年)	龙	数年度	_	務	区分		治事務
	-		単年/		年度)	1 年 中	度繰返(KS	年度~	胚 枕/ L	1交	数十层	٤(年度~		年度)
			・実施内														
事業事業	美目的	り・	▶ 交流行▶ 家庭教	事の参加 育支援チ	を通して情! ームとの交!	報や知識を流によるこ	を得たり、f ながりを	也の保護者 得て、地域	だと意見交の中で安	換するこ 心して子	とで 育て	、子育て ができる	の悩ると原	が 感じる	不安が軽減保護者が均	載される 曽える。	•
事 (全	業 概体計画	要画)	い、学びか	やつながり	Jを得ること 	こで子育て	᠍等がより の不安解?	連携し、子 消を図る。	育てや家	庭教育に	関し	て保護			語り合える	る場づく	りなどを行
			事業(の対象	生駒市民									象数:)
			▶ 抽誌や	学校周と	当 利 連携した交流	計画	l+のこ ふ:	カ感 ノバ	▶ 抽は水	学校周2	- 油堆			実績		n 悉 ı イ /	ベントの開
			ントの開作	崔		∭]]] , / C	\ _	10支」1八	催				WIP.I 7 =	Ţ '/∟	-	「夕」 「	() () ₍₁₎
					□工作等体験 司士の対話		40	9千円	▶ メンバ▶ 親サ□							26	5千円
決!	算年度(り	▶ 家庭教	育支援チ	ームに関する	る啓発	_ +0	2113	▶ 家庭教	育支援	チーム	に関す	る啓	発			5113
È	こな取組				通信」での情 チラシの作用		への配布		▶ 市HP	たけのこ カニュ紹え	こ通信 トチラ	訂での作 シの作	青報学 七、名	発信 な校園	への配布	_	55千円
			1,21,0	/ С3/14/17	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	W LIVE	67千	円	7,217) C 1 (14)	,,,	2 07 117	-W\ L		10000113		,5 113
			事業実	施手法	長 ✓ 直接	宝施 「	季託・‡	 旨定管理	自拒	金•補助	加金	√ 7 0	D他	()
2 5	5 *** 	D-125						<u> </u>		_1117	77.112		710	`			
3 🖣	事業費・	以以	八八元		R5決算		Ę	6条管理	姷		R	6 注質				R7系	<u> </u>
事業	費(千円)			NJM			(O) 1 11 00		,		(U)/() +		320		1// 1/:	456
	12委託	왮															
		2委託料															
	業費(千円) 218 476 320 45 12委託料 14工事請負費 18負担金補助及び交付金															456	
財源	12委託料 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 その他 218 476 320 45 原(千円) 218 476 320 45															456	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	12委託料																
	市債																
	その他一般財					218			476					320			456
						210			770	′				020			+30
	事業の原			市内の学	校園と連進	した交流行	・	こ ふれ感」	イベントを	·開催」,	(早難)	そとの対	託 亦:	奈を通	1.ア子育7	の悩み	等を出し合い
	めざす状 L.たこと		₹現に ≰の成果)	保護者の)不安解消に												するなどの情
KPI		ハナオ		報発信も	行った。	指	堙1							指	票2		
KPI		[名(単位)		イベン	<u></u>		数(件)						1日1	示乙		
		目標					5										
	1	実績	値			1	0										
			責値の差						業を実施								
/=	分につい				:で回数が当	初予定よ	り増となっ	た。									
行革	<u>評価(1</u>	丁政	改革大統		ブ<評価)				=π/=	EL + +B:	∔hn ⊤i	#.ch					
			意識	評価		<i>→</i> + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	-01- L 7 -			した根					H > 4.1 "A	r/c _\\	7.4.4
	(貸用刈)	効果・	財源確保)	A	有 志巾氏	のグルー。	/による事	業実施で					9 S t	しのを	使つなど	即滅に多	30)/こ。
		的思		評価		についてに	1 保護者	との対話を		した根			田マい糸	<u> 日んで</u>	おり個々	の行車	の参加者は
	(施策	目標へ	の寄与)	В				対話と学び	びの場とす	ることだ	バでき	ている		11/0 (0.7 八 旧 、	۸۷۱۱ 🚓	07 9 M B 10
			との協創	評価					評価	した根	拠・理	里由					
			意見把握 の活用)	Α	学校園と	の連携のも	らと、多様	なチームメ	ンバーが	関係する	団体	と協力し	ノなカ	ら事	業を実施し	ている	0
			一夕活用	評価						した根							
		ブタル EBP	の活用 M)	С	保護者とい。	の対話にる	にり定性的	ではある	5ののニー	-ズの把	屋に多	きめてお	らり、 ²	う後の	事業内容	にも生力	いしていきた
			1-17	評価	010				評価	した根	拠・理	曲					
	総	合詞	平価	В				いた件数を 小規模な取									数であるが
	業実施・残され				事の回数がり りほか、個々)、新たな	ぶメンバー
										半!	断理	曲					
4	今後の耳	又組 :	方針	現物	犬維持	引き続き	学校園と近	 連携しなが	ら親子と				۰\<.				

				令	和6年度	アクシ	ョンプラ	ラン 事	業評価	而シー	-				
1 甘★	情報				担当		見 児童総		>1 <p1 ii<="" th=""><th>関</th><th></th><th>系</th><th>1</th><th></th><th></th></p1>	関		系	1		
1 基本 事 第		No	8	学童保育	_	3	* 几里沁	分試		天	77	花			
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	No. 継続	会計			△≒⅃	予 算	弗口	⊐	h	2	巧	2		
						会計	予算		割割的施		<u>3</u>	項	2		1)(4)
施 策 根 拠 法		3	CC+0.	子育て支				拟 哈	的他	中	✓	事務	区 分		1)(4) 治事務
			声 /	/-		· che / C /	/ D714DFC	· /- #	クルクキノ	カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ	数年度				
事業	期 间	単年	及(年度)	[4] 単年		(昭和59	,	継 統 /		以平反	.(年度~		年度)
	美の概要	<u>・実施内</u>	容												
事業	目 的・施効果	子育てと	∠仕事の	両立など、	昼間の保	育を必要	要とする家	家庭が安	心してる	こどもを	を預け	られる環	境が整え	Lられる。)
事 業 (全体	概要計画)	制づくり	に取り組る	じとともに、	新たなニー									員確保な	どによる体
		事業(の対象	学童保育	所							(対象数:		34)
					計画							取組実績			
				系る運営費補), 677千円	助							営費補助)		
			()通常 40	0千円×27		月				会 231 6堂 40	,		:童×127	か日	
计存在	工曲の			千円×27学) 金 96,173				\(\mathrea{\psi}\)					重ハロ/ 5×12か		
決算年	〒長の :取組	民間事	業者(7事業	(者) 43,3	49千円							6,962 -		7.3	
T 8	-42/111			所準備に係る 工事請負費、(12,600	千円	民間				38,68			
				員会委員報											
				_		_		<u> </u>							
		事業実	施手法	[_] 直接	実施 _	_ 委託·	指定管理	<u>√</u> 負技	旦金·補	助金し	<i>そ</i> の)他()
3 事業	美費・財源	原内訳			_	_									
				R5決算			R6予算現			Re	5決算			R7予	
事業費(24	46,547		2	96,704	4		2	70,149			346,594
	2委託料 4工事請(3 弗													
	+ 上 尹 嗣 5 負担金補助	10.1		24	46,547		2	96,62	5		2	70,149			346,594
そ	の他				10,017		_	78				0		`	0 10,001
財源(千	円)				46,547			96,704				70,149			346,594
	定財源			14	45,953		1	79,89	5		17	70,555			227,264
	i債 の他														
_	·般財源			1(00,594		1	16,808	3		C	9,594			119,330
	の成果	 •評価			33,337			. 0,00	- 1			,	1		,550
「めざ	ず状態」 こと(事業	実現に		童増加に係 業者の新規				生駒小笠	学校で	教室を信	昔用し	、保育備	品の充実	を図った	<u> </u>
KPI					指	票1						指	標2		
	指標名(単位)		è	学童保育所	质数(箇户	听)								

<u>4 </u>	<u> 美の成果・評価</u>				
	のざす状態」実現に				校で教室を借用し、保育備品の充実を図った。
寄与	したこと(事業の成果)	民間事業	養者の新規	開設に取り組んだ。	
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)		J.	学童保育所数(箇所)	
	目標値			34	
	実績値			34	
	目標値と実績値の差 分についての理由				
行革	評価(行政改革大網	剛に基づ	く評価)		
	コスト意識	評価			した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	Α		皆の申し出、交渉により、次年度から、民間学 用の削減をすることができた。	学童保育所を一つ誘致することができた。事業者との調整によ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	目的思考	評価		評価	した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В	保育を必	等とする家庭の増加に伴い、小学校	内のスペースを活用し、受け入れ体制を整えた。
	多様な主体との協創	評価			した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В		童保育運営協議会は、保護者、指導員、市のE なり入れ円滑な運営ができた。	三者の代表で構成されており、相互に協力しながら、多方面から
	デジタル・データ活用	評価			した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	В	指導員確できた。		た結果、検索数が増え、指導員の業務を知ってもらうことが
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	В			需要が増加している地域に小学校内スペースの活用や、民間 より、希望者全員が入所することができた。
事	業実施上の課題 ・残された課題		学童保育選 要がある。	置営協議会が運営する学童保育所入 原	所を希望する傾向が強く、民間学童保育所事業を推進
					判断理由
	今後の取組方針	現状	維持	学童保育の需要が増加しているため む必要がある。	、学童保育所への支援等については、継続的に取り組

					ŤΤ	山の干尽	アクシ	ヨンフラ	ラノ	事耒	6半1四	ソー					
	本情		_			-		スポーツ	ソ振興	課		関	係	Ž.	課	教育指導認	関等
事	業	名	No.	9		ペーツ推進										-	
	業区	<u>分</u>	継続	会 計	区分		会計	予 算	費	目	款		8	項		6	目 1
	策体	系	3	ことも・	子育て支				戦战	各的	施兮	Ŕ				革大綱	1、4
	L 法 令 業 期	等間			ケー ケー ケー ケー ケー ケー ケー ケー ケー ケー ケー ケー ケー ケ				ケ曲	4n/4	/±\	7 4= 44			務	区分	自治事務
事	耒	间	単年/	芟(年度)	単年	度繰返(牛皮	~継続	売 / _	」假致	姓年度	(年度~	年度)
			・実施内	容													
事業	生目 的	り・	学校部活動	かめ地域連打 カスポー	隽・地域移行る −ツ活動を推	を進めること	こで、児童・st	生徒が望む	スポーツ 舞ŧ.が ⁻	・文化	芸術活動	加に継続がる偏	むて親	しめるヨ	環境 ²	を創出できる	5.
尹未	大心》	勿木														放重業運用	ルールの見直し等
事	業概	要	の検討や	電子錠の診	设置等の環境	整備を行う	う。また、多	らくの市民が	が参加し	ノやすし	ハ事業と	こして「	いこま	スポー	ツの	日」を開催	するとともに、障が
(全	体 計	画)	事業(P程度に関ら ■	り、スホー	ツに親しめ	栄しむこと	こかでき	っしょう)他設(/	ノ用放き	事 兼寺で	≥ 美施。 (対象		0)
			于人	7 N 3		計画]	双組実			,
					ツクラブの	推進、支援		3			えポー シラブ(ブの推進	、支援			
					の拡充 13 な事業運用ル			や施設使用							団体	区分や施設	使用料の設定)の見直
٠	*** ***	•	料の設定		日の開催 1	200壬四	ı		 ► いこ	まスポ	ーツのほ	日の開作	崖 1,03	38千円			
	算年度 Eな取組		▶ 障がい(児)者のた	めのスポー	ツ施設開放		体つくり運		い(児) 690千		めのス	ポーツが	設開放	事美	美及び体つく	り運動プログラムの
	_ 0,-12,111	•	動ノログ:	フムの美施	1,843千	H			【R6補	証(繰		少く電	工的取	∕ KR±X□ →	h v =	¬=0.罕	
											X事業に 千円繰起		丁延汉(رىدروار	J	ノ政国	
									<u> </u>								
			事業実	施手法	✓ 直接	実施	/ 委託・拮	旨定管理		負担金	・補助	金	その	他()
3 事	業費	·財派	原内訳	•													
古光	費(千円	٦\			R5決算	0.040	F	26予算現		F F		R6	決算	7,90	13		R7予算
争未!	12委					9,040			16,5 11,0					4.12	_		27,249 21,921
	14I		負費			_,			11,0					.,			
			及び交付金			6 704				1.5				2 70	2.2		F 220
財源(その他(千円)	3				6,784 9,040			5,5 16,5					3,78 7,90			5,328 27,249
	特定則	掠				6,631			4,9					2,27			18,611
	市債その他	1				114			1,6	50				63	7		1,560
	一般則					2,295			9,9					4,99			7,078
	業の	- 10 田	·亚/亚			-				•				-			
	する のが めざすり																. 誰もが気軽にスポーツに
			美の成果)		会の創出ができ 、新たな地域ク						とするため	め、生駒ī	市新たな	地域クラ	ブ活	動推進協議会	の設置やコーディネー
KPI						指	標1								指標	票2	
		<u>票名(</u> 目標	単位)														
		実績															
			** <u> -</u> 漬値の差														
	分につ																
行革	評価(行政	改革大約		づく評価)						,						
			意識	評価	mt == :	= :					た根拠			_ ,		_ ,	
	(費用対	対果・	·財源確保)	В	随意契約	になるもの	りについて	は見積合						を抑え	える	ことができ	をた。
	E	的思	思考	評価	地域フポー	い一体性の是	十の日的で	<i>ま</i> ある 市			た根拠			に開催と	· オ2	ため 関係	団体や関係者との調
	(施策	目標^	への寄与)	Α	整に努めた		八の日町で	נווי פמס.						7 塚児 C	. 9 °a	37.69、 天 赤	団体 7国派省との嗣
			との協創	評価	±0%A	:::::::::::::::::::::::::::::::::::::	~ 产生大立D:工	£4.07.144.141			た根拠			アル田出土	て '市	## ナ	レがスナナーナナ
			意見把握 学の活用)	Α		型地域3℃で											ことができた。また、
			一夕活用	評価			- 10±	****	Ē	平価し	た根拠	W·理E	<u> </u>				
		・EBP	·の活用 ·M)	В		·ツの日では、 児の体つくり								めAIカメ	くラを	活用した。	
	2.	·		評価	知り 出仕 野	±2+2 W	#\#\=\i=i=	#~~+ #H			た根拠		-	ナムテロ	7	性上級人則	いけっぱ いんこづの
	新	合統	半価	В	推進や育成	、パラスポ-											地域スポーツクラブの ではあるが事業の広
-	** 中 **	E L A	7=田日五	▶現左部迁	がりをみせ 動から地域クラ		間の児童や	生徒の活動が	不安定と	ならかし	\什細み*	つくい +		の際に生	じる	部費等の促進	老負扣
_	業実施 ・残され			▶ 新たな地	動から地域グラ 域クラブ運営経 施設開放新規選	費の捻出										Hr只寸VJ不改	
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-, сд	.,,	」「人件日	のロストプリス和 I A元と	こ、ロバン バル氏性	_OICIT 71M1	ع⊬العاليد ال	- ノロIVIIE \「	AE(1) /		新理日		.天 < / / 归 //	н		
2	今後の	取組	方針	現物	犬維持						パーツ	·· の推進	こついて				ーツ推進計画でも重要
																地域移行を据 の必要がある	えた新たな地域クラ る。

						19.1	H O 17	以 アフラ				1 ш	<u>'</u>					
1 基	基本情報	R					担	当 課	生涯学習	劉課		F	関	係	課	教育指導	課	
事	業	名	No.	1	0	(仮称)「	サイエン	ノス探求教	室」の実施	<u> </u>								
事	業区	分	継続	会	計	区分	_	般会計	予 算	費	目	款	8	項	Į	5	目	5
施	策体	系	3	こど	゛も・・	子育て支持	援			戦略	的力	施策	J	行政	改	革大綱		(1)
根拠	见法 令	等								8		•		事	務	区分	自治	台事務
事	業期	間	✓ 単年/	变(R6	年度)	単	年度繰返(年度~	~継続)	复数年	<u></u> 度(年度~		年度)
2 =	₽₩Λ#	W 255	中华中					•										
			・実施内		_ \ _ _ _		- 1 15/5	3 * 4 1. 4	\ ^ -1\ 1 \ 14	- 11 - 14v		+ -1\ -+ -	- /		<i>-</i>			
			講座への こどもが			ご好きな	ことや得	景意なことを	追羽し、字	ひの楽	しさやぇ	達成感を	得(、	目標や料	労米な	いをいる	に向けて	. 労刀する
事 (全	業 概体計画	要画)	関する「招	宋型	<u> </u>]の運	車続講座を	開催する		ど高等教育	う機関と	達携し	ながら、	市内0	D中学生	を対	象とした科	学(サイ	エンス)に
			事業(り対	象	生駒市内		生						(対象)
			(/E) II		tm.		計画			11.7-	-> 15			取組	美績			
						求教室の /テーマ=)				架求教室 、計4回		惟				
						/	· 리 키브	,				L 487						
`+,	** / -	,	需用			3千円					用費	37=	円					
	算年度の こな取組																	
	こっていた。																	
			事業実	施ョ	F 法	√ 直接	宝施		旨定管理		扣全,	補助金		 その他(,)
				<i>,,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, ,,,						3=312	אדנאנשו		ا تارەپ			-	
3 4	事業費・	財源	京内訳							+Œ			> < \± 4	-/-			DEZA	· /
古光	弗/イロ	1				R5決算			86予算現) F	l	R6決第		O.E.		R7予算	
争耒	費(千円 12委詞							0		78	55				85			0
	14工事		多															
			及び交付金															
	その他									78					85			
財源	(千円)							0		78	35				85			0
	特定財	源																
	市債その他														1 -			
	一般財									72	50				15 70			
										12					70			
<u>4</u>	事業の原	<u> </u>	<u>・評価</u>															
	めざす状							や得意」を生				-マ(プ[コグラ	ミングロ	こよ	るロボット	、操作、	コン
		(事系	美の成果)	ピュ	.ータ	の分解と		て)を選定	し講座を	開催し	た。 <u></u>							
KPI		E #2 /	34 /L\					指標1 							指標	票2		
			単位)					加者数(人 135)									
		目標		<u> </u>				135										
								49										
	目標値の		遺値の差					座を3テー ^を		予定だっ	>							
∠= 11					• — •		山の天爪	凹にここみ.	ノ/こ。 									
行車		丁以	改革大統	1		<u>く評価)</u>				===	:/тт I <i>—</i>	- +==+hn 7	тш					
			意識		価	左白 宣甫	との連邦	携等により口	ボットを無			・根拠・3		 	+++;	ポート沿の	学生∧σ	り割れ のみ
	(費用対	効果・	財源確保)	E	3	で実施で		73 (3 (1 (CO)) [/N / 1 C //		(吳丁)	, 0 (0 .	J V · \ DH3	101.004141	6) ,	1 1207	· (V.) NJ 1.0000
		的馬	 思考	評	価					評	価した	-根拠・	理由					
			ふつ √の寄与)	E	3			その分野に										物を作成し
	A 14+	+ 4	\- Othell		価	たり、神戸	ועלטשו	話を通して好	丁ご仏刀到			たい た根拠・3		りに参加	白か	多く兄り1	いて。	
			との協創 意見把握			本白古市	の数号と	 や学生が講座	たまなす					FU車型	* * . =	サケスキャ		
	·民間	活力等	の活用)		3	示及同号	の叙貝(一十二八冊日	空を天肥り					より事ま	そでラ	これでされ	•	
			ータ活用 の活用		価	宇佐した	基成不の)体験や講師	の手を予			は根拠・		スーレヘ	. Ω ≠	かた古み	スーレナ	がタノい
		EBP			()	たことは	一角性の	青少年向け	事業の企画	ラく好る	るうえ	での重要	を表示	ることへ をとなっ	いた た。	がて回め、	<i>3CC</i> 0	ルタへい
				評	価							根拠・						
	絲	合言	平価					当数は目標に										ことが将来
				L	<u> </u>			うつながる」。										
事	業実施	上σ)課題															
-	・残され																	
												判断现	里由					
	今後の耳	汉組-	方針		廃	止	本事業	色のような耳	又組はサイ	イエンス	だけに			な分野で	で実	施してい	くことか	ジョン ジャング ジャング シャング シャン・ション シャン・ション マイス・マイン マイ・マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン
				1	.,,			医学羽調の									/3	

<u>1基</u>	本情	報						担	当	課	健康認	₹					関	ſ.	系	課	こども	家庭	セン	ター	
事	業	名		11		産前	産後		ヘルプ	サー		用助	加成(化	反)											
	業		.,,,,,,,	会			分		股会計		予算				宗		4	_		項	1		目		1
	策位			こども	<u>5・子</u>	<u>-育て</u>	支援	<u> </u>				単	战略	的)施	策	J				革大			(1)	
根拠																			事	務	区:	分		台事	<u> </u>
事	業	間	単年.	度(年月	隻)	✓ 単4	年度繰	返(R	.6 £	F度~	-継	続)	1	复数:	年度	(年度			年	E度)
2 事	事業の)概要	・実施内	容																					
事業	美 目 実施	的・	中事かる		の負	担を	 減ら	すこと	で、保護	養者(の心身	·の妄	定を	図に	り安	心して	てこと	ども:	を生	:み育	てられ	る環境	竟を割	をえる	<u> </u>
事	業根金	无 要 画)	近年、核家へルプサースを利用し	ービスを	活田	でキ	ずに者	可用自用	を拘える	まごる	t家庭#、	小か	くない	.7	こで	妊婦	家庭: や産(が増 <i>。</i> 後1年	えて! 三未清	いる。 あの産	経済的な 婦が民間	:理由が のホ-	から民 ームへ.	間の ルプサ	īーム ナービ
\ <u>_</u>	PT DI	<u> </u>	事 業 (の対	象	妊娠中	の方	または1歳	歳未満のこ	こども	がいる	世帯(R6年原	篗に	限り1	歳児も	5可)		(対	象数:		_)
						=	当初言	計画											取糺]実績	į				
			制度開始 ▶委託業		建宁.	容纽							制度開 委託			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	. 5	+ <i>2</i> ≥4	涅						
			▶市民へ			五邓	,													て周	知し、利	利用剤	令望者	言には	クー
油	算年度	FΦ	▶産前産								_		ピン券				, — -	11							
	テナル Eな取		【:250人 【18負担									5	€績:	1,4	157	十円	(委託	【料 、	、助	或金)					
	_ 0,/		234千		则又	<u>O'X'</u>	<u> </u>	に対し	くは氷	172	砂山田														
			事業実	施手	法[正直	接到	ミ施	✓ 委訊	モ・指	定管理	፟	/ 負	担金	金・補	助金	È	その)他	()
3 事	丰業費	ⅳ財》	原内訳																						
	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算																								
事業	費(千							()				5,23							457					000
		託料 事請										5	5,00	0					1,	223				4,	000
			只貝)及び交付金										23	4						234				1	000
	その		J/CO / 11 m										23						•					٠,	000
財源	–							()			Ę	5,23	4					1,4	457				5,	000
	特定	財源																							
	市債その	Ή												-											
		吃 財源										5	5,23	4					1.4	457			======	5.	000
4 =														•											
			<u>·評価</u>	***	± ///		<u></u>		^ II →°-			- 110	ロ ナフ	_	\- -	<u></u>		·			- NB - 1	0 ± XI		<u></u> +	<u></u>
			実現に 業の成果)						ヘルプ ⁻ ながっ/		ヒスを	:不リ月	H 9 句	رر	<u>د</u> رہ	、豕店	そから	50)	リハ	—r/	ハ侍りん	いよし	小 豕挺	じも	育児
KPI		_ (] .>	147747147	//,	_ +1/	" " "			5/3 7/ i標1											指	標2				
111 1		標名((単位)						者数(人	()				7						JH	I 小 C				
		目標	値					250)人(実))															
		実績	値				10)6人(3	近べ26	人0。	()														
	目標	直と実	績値の差	当初の	の想	定ど	おり	の利用	には至	らな	こかった	<u>-</u>													
/ - ++			の理由 - 35 # 1 /																						
行争	<u>評価</u>	(行此	(改革大統	_	_	<u>(評化</u>	<u>曲)</u>						=π/	/ III I	++	艮拠・	IIII da								
			意識	評価	Д 2	委託賞	業者達	異定の際	に、でき	₹るた	ごけ多く	の支							対交	カ果の	高い事	業実が	あがで	きるよ	よう務
	(貸用	刈 划未	·財源確保)	В	ð	めた。			. ,																
		目的	思考	評価												艮拠・		-							
	(施)	兼目標 /	への寄与)	В	517	実際に	こ利用	ました人	から、「ほ	功か	った」と	の声	をいた	こだ	いて	おり、	家事	·育	児の	負担輔	経滅に寄	与して	ている	0	
			との協創	評個	đ 📗								評	価し	たた	艮拠・	理由								
)意見把握 等の活用)	C	t	地域	で活	動する	民間企	業・	団体の	事業	内容	を	聴取	し、よ	り良	削り	訓度	設計	のための	の協詞	義を行	うった	-0
	デジ	タル・テ	ニータ活用	評個	E								評	価し	ったホ	艮拠・	理由								
			の活用	В		市民	から	の申込	を、デシ	ブタノ	ルツー	ルが	使える	るよ	こうに	整え	利	便性	すの「	ーー 句上で	を図った				
		, CDF	/IVI <i>)</i>	評個									-			艮拠・		-							
		総合	平価			4-11-4-	06''			7.0	—										1 »— ·	_			
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- 1 1124	В	ŕ	利度	開始	に向け	て、市民	犬の	使いや	すし	\制度	設	計を	心掛	け、ヨ	実現	する	こと	かでき	た。			
事	業実:		D課題 課題					容に偏が必要。	りがあ 。	り(1	 育児支	援よ	り家	事才	支援 ^z	を行 <i>っ</i>	える美	業者	が多	۶ _(۱) ,	今後、	 育児:	 支援を	を行え	こる
							\neg								1	判断	理由								
4	今後0	取組	方針	玛	見状糸	維持			を をは制度 向上に						利便	性に		した	制度	を設 定	を行っ	た。そ	 今後 も	更な	 る利
II				ı			11	ヘエツ	احاسات	לונייו	< / **	ᆛᅜᅐᄼ	~ 12.1	」ノ	~ 0	~ 0									

						19.1		~ / / .				Ж ИТ							
1 基	本情報	银					担	当	課健原	東課				関	係	課			
事	業	名	No.	1	2	乳幼児的	建診の充	実											
事	業区	分	継続	会	計	区分	— <u></u>	股会計	予	算	費目	言言	欠	4		項	1	目	1
施	策体	系	3	こと	<u>`</u> ŧ••	子育て支	援			È	戦 略	的施	策	J	行	政改	革大綱		(1)
根扱	退法令	等	母子保健	建法						•			-		事	務	区分	法定	受託事務
事	業期	間	単年	度(年度)	√ 単4	年度繰過	反 <i>(</i>	1	 年度~	継続)	祁	复数年月	变(年度~		年度)
						1 127		1 /2 ////	_(1 //	1111111			(
			・実施内																
	美 目 自 実施交		発見、早	期治	療に	よるこど	もたちの	り健やカ	な成長	発達を	を促す。								患の早期
事 (全	業概体計		てスポット 長発達を促	ビジョ ≧す。※	ンスク 〈まだ	フリーナー※ 視力検査が	を用いて優 できない乳	建診を行う L幼児の視	ことで疾 別力検査を	患を早期	朝に発見	し、必要	な場合	は早期治	治療にこ	つなげる	ることで、こ	どもたちの	科診察におい の健やかな成
`			事業(の対	象	3歳6か	月児の生	生駒市区	5						(対	象数:	81	0人)
							計画									1実績			
						スクリーナ	一を活	用した3	3歳6か									ンスクリ	ノーナーを
			児健診の			5)	2 . 4 17	ээш/						見健認				2007	_
			健診安部 未証料・	17計(増額 6つロ	(1):5,97 (事務費	3→6,/ 37)∨Q1	32円/. 10 l ー!	人 5 5 5 0		安託科	. 6,86	02円	(事務)	(込)	× /5	9人=5,	208 +	.[-]
決	算年度	の	円	0,0	021	八字协具	及) ^ 0	10/\-	3,339	1									
É	こな取組	1		6.7	32P	9×90人	=606 -	千円											
			-73.74	•,															
			事業実	施号	手法	直接	実施	委託	·指定管	管理	☑ 負担	旦金・補	助金	: 🗌 २	の他	(•)
2 =	5 ***	B+3	5d=0																
3 =	事業費	. 计7 》	<u> </u>			R5決算			D43	·算現割	5			R6決算	车		1	R7予算	<u></u>
市业	弗/工口	٦١				KO沃昇	4,913		КОТ			=		KO次星		200		K/Ţ	
争未	費(千円 12委						4,913				6,16 5,55					208 208			5,510 5,455
	14工						4,913	2			5,55	9			5,	200			5,455
			スリ 及び交付金								60	5				0			55
	その他		X0X11II								00								
財源	(千円)						4,913	3			6,16	5			5.	208			5,510
	特定則	掠					.,				-,							-	
	市債																		
	その他																		
	一般則	掠					4,913	3			6,16	5			5,	208			5,510
∕ 1 ₫	事業の	北里	· 亚布																
				亚 4	+1 <i>D</i> //	ⅎⅎℴ℮ℼ	三年	レポロ三火	1 1 ^	・フのロ	Fí+//k	明之回	「、生川日	中の畑	=∧± ı	エート	カフ坪塔		ることが
	めざすり L.たこと		夫呪に その成果)		ルだな Fた。		左 僚 (茂)关	これ談	U, 9 /\	((0)	左 /	判ぐ回	しずが	支い(建	ジでと	マリウ	1110球児	と登ん	.つここか
		ハチス	K () () ()	()	:/_0		++	2+曲1								+6+	価つ		
KPI		亜夕 (単位)			2歩/	が月児	##1 健ਡ⊗æ	<u> </u>	' \						1百1	標2		
		京石(目標				ろ成(健設文i より上)									
		実績				IE1-	が が が しまする は は は は は は は り れ り れ り れ り れ り れ り れ り												
							(1097.7	2→K0	79.5)									
			積値の差	2月	末時	持点での受	診率を	示してい	いる										
/=	分につ			<u> </u>		\= (-)													
行革	<u>評価(:</u>	行政	改革大約			<u>(<評価)</u>							- 11-	'					
		スト	意識	評	'価						評化	西した村	艮拠・	埋田					
	(費用対	効果·	財源確保)	E	В	健診委託	£料の増	額につ	いては、	、適正位	価格と	なるよ	う精剤	査した。)				
		3 A/A F		評	価						評値	西した木	艮拠・	理由					
			思 考 Nの寄与)		<u>.г. </u>	疾患を与	おりません	目,治域	マオスニ	レブ.					三二字	551.5	<i>t</i> -		
	()IBX	口1 示 ′	(()同一)			7大心之一	一切に元	元 /口/5	- JC						XIC PJ	70/	/ <u>_</u>		
			との協創	計	価	☑ /4J日/#	=A =++-F	- 14K 88 -	z 7 ±º.			面した村			~! \ / \	나도로	<u> </u>	- I - 1 44 III	の着っ チャロ
			意見把握 第の活用)	E	В	談。健診	診夫他医 季託料の1	:孫機)判 増額に6	じ、人小! 1けて実!	ツトヒン 旃医療	/ヨノス 機関とt	クリーノ な議を彳	ーを <u>?</u> テった.	等人し(。	こいな	い医療	えた	しく機能	器導入を相
			· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	郭	価	改 胜沙	<u>∠ □ □117 ∨ 7 ×</u>	HIDRICIS	<u> </u>			断した材							
			の活用		B B	スポットと	ごジョンス	スクリーナ	ーとい	う機器					できる	5227	で、健診の	精度を挙	
		·EBP	M)			できた。													
				評	価						評値	西した村	艮拠・	理由					
	総	合組	评価	۱ ,	В	予定どは	いの成	果を得る	ることか	バできフ	- _								
				L '		ا ۸۵۵۰		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□<td>J-C/J</td><td>, /</td><td>_0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td>	J-C/J	, /	_0								
事	業実施	Ŀσ)課題	<i>+</i> \1															
	・残され			なし	,														
													判断现	里由					
	今後の〕	17約	方針		現場														
	/ 12071	-1 7 11 <u>1</u> 1	146		ーノレコノ	ハルボナル	令和74	年度より	J [No.13	3母子(呆健事	業の充	実」と	:統合し	て事	業継続	続を行っ	ていく。	

1	基本	情報	Ī				担	当当	課	健原	課				関	係 課	こども家	庭センタ	_
事	美	Ě	名	No.	13	母子	保健事	事業の充実											
事	業	区	分	継続	会 함	. 区	分	一般会計		予	算	費	目	款	4	項	1	目	1
施	策	体	系	3	こども	·子育	て支援					戦	略的) 施策	y	行政改	革大綱	(1)
根	拠法	去 令	等	母子保健	建法							-				事 務	区分	自治	事務
事	業	期	間	単年	度(年	度)	✓ 単年度繰	返(年度	を一総	続)	複数年團	支(年度~		年度)

2 事業の概要・実施内容

	入1617日	
	母子保健事業を充実させることで、不安なく希望の 世帯が増加する。	子どもの数を持ち、ゆとりを持って生活(子育て)している子育て
事業概要(全体計画)	健康診査、訪問指導、育児教室等切れ目のない育児支援を行う。不	日期に行うととともに、あらゆる機会を通じて相談窓口の周知を行う。また、乳幼児育症・一般不妊治療費助成、妊婦健診等費用助成、出産・子育て応援給付金といった後ホームヘルプサービス(仮)の創出等、こどもを望む家庭への支援を実施する。
(1 11 11 11 /	事 業 の 対 象 子育て世帯の生駒市民	(対象数: 一)
	当初計画	取組実績
決算年度の	【充実・新規事業】 ▶産前産後家事支援サービス費用助成制度の創出(再掲):5,000千円 ▶3歳6か月児健診の充実(スポットビジョンスクリーナーの導入。再掲):6,165千円 ▶産後ケア事業の充実:委託料6,715千円 【その他事業】 250,156千円	【充実・新規事業】 ▶産前産後家事支援サービス費用助成を開始(再掲):1,457千円 ▶スポットビジョンスクリーナーを用いた3歳6か月児健診の実施(再 掲):5,208千円 ▶産後ケア実施可能施設を拡大して実施:委託料22,546千円 【その他事業】 207,005千円
	事業実施手法 🔽 直接実施 🔽 委託・指定管理	型 ☑ 負担金·補助金 □ その他 ()

3 事業費・財源内訳

		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	179,724	267,985	236,216	286,972
	12委託料	76,421	117,821	105,331	129,109
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金	4,254	82,236	68,230	42,947
	その他	99,049	67,928	62,655	114,916
財源		179,724	267,985	236,216	286,972
	特定財源	72,246	83,327	80,701	109,632
	市債				
	その他	371	7,261	8,458	8,720
	一般財源	107,107	177,397	147,057	168,620

4 事	事業の成果・評価				
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)				成の創出を行ったことで、母子保健事業の充実を図 世帯が増えることに寄与することができた。
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)		産後	ケア事業契約施設(件)	
	目標値		前年	F度より増加又は維持	
	実績値		前年周	度15施設→R6 17施設	
	目標値と実績値の差分についての理由			利用できる施設が増加したことで 寄与することができた	
行革	評価(行政改革大網	剛に基づ	く評価)		
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	В	産後ケア	[*] 施設を拡大したことで、利用者が増	加し、年度途中で補正予算を確保した。
	目的思考	評価			した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В		施設を拡大・利用要件の緩和や周知方法(きる環境づくりに寄与した。	の改善をしたことで、多くの方に利用していただき、不安なく
	多様な主体との協創	評価		評価	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	市内で新	fたに誕生した産後ケア施設と連携し	、事業実施を行った。
	デジタル・データ活用	評価			した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	В		ごジョンスクリーナーという機器を用いて 『た、母子事業に係る申請について、デジ	瞬時に視力検査ができることで、健診の精度を挙げることが タル化を推進した。
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	В	予定どま	りの成果を挙げることができた。	
事	詳実施上の課題 ・残された課題			大し、市民の利便性向上に寄与する (居宅訪問型)も実施を進める必要が	ことができた。更なる利便性向上に寄与するため、今 ある(R7年度より実施予定)。
					判断理由
4	今後の取組方針	拉	大	産後ケアにおいて、今後はアウトリー	-チ(居宅訪問型)実施に向けた取り組みを行う。

								, a D D D	/ノ ザ オ	下一川ノ	<u> </u>					
	本情報	R				-	当 i	果 幼保こと	ごも園課		関	係	課			
事	業	名	No.	14	病児保育					•				1		
	業区	分		会 計			会計	予 算			3		項	2	目	1
	策体	系	3	こども・	子育て支持	援			戦略的	内施 策	J			革大綱		(1)
	退法令											事	務	区分	自	治事務
事	業期	間	単年	度(年度)	✓ 単年	度繰返	(平成18	年度~維	継続)□	複数年	度(年度~		年度)
2 事	事業の	要	・実施内	容												
事 弟	美 目 的 実施效	5 •			良に対応で	できる保育	う所等か	「増えるこ	とで、保護	者のニー	-ズに応	えるこ	ことが	できる。		
事 :	業 概体計 [要	·病児保	育の手続		の合理化	いさらな	いるデジタ	,			を図る	5.			
	,	_	事業(の対象			園·病児	保育室バン	ビ・阪奈中	央病児保育	室		象数:	1	6)
				/ I		計画			/1. 1.				1実績			I A
	算年度(こな取組		の方策を・「第3期	を探る。 生駒市-	₹え、実現〒 子ども・子 京型病児保	育て支援	事業計画	画」策定	·病児保	くいるい 育実施補 保育嘱託	助金 6	59,42	20千	円	明常を	打診した。
	事業実施手法 □ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 ☑ 負担金・補助金 □ その他(3 事業費・財源内訳)
事業実施手法 □ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 ☑ 負担金・補助金 □ その他 (3 事業費・財源内訳															DD 2	///-
車業	弗/工口	1			103		R7予	月 82,954								
尹未.	12委記						65									
	14工		負費			63			66				63			- 00
			及び交付金		,	75,814			85,705			69,	420			82,889
日本が去	その他					75 077			05 771				402			02.054
拟源	(千円) 特定財	酒				75,877 18,865			85,771 57,132				483 731			82,954 58,318
	市債	////\				+0,003			37,132			50,	751			30,310
	その他															
	一般財	源			Ź	27,012			28,639			18,	752			24,636
4 🗐	事業の店	は果	•評価													
Г	めざす状	態」		休止して	ているいこ	まこども	園病後.	児保育の再	見開を打診 かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	りた。						
KPI							標1						指	票2		
			単位)	体	調不良時			実施園数(園)							
		目標					3									
		実績				-	3									
7= ++	分につい	ハて) /==/m)											
1丁垂					がく評価 <u>)</u> T				≣亚/莊	した根拠	. 理由					
			意識	評価	#±1-+-1	」 ∠ == ! →	-1 \ + \ 1 \	+ 14	市川川	した収拠	垤田					
	(貸用刈	効果・	財源確保)	_	特に支出	で要して	. いない	/こめ)。								
	E	的思	思考	評価					評価	した根拠	・理由					
	(施策)	目標へ	(の寄与)	E	予約オン	ライン化の	方策を挑	深ることや体	調不良児	对応型病児	保育に対	対応可	能な園	園の調査が	出来な	かったため
	多様な	:主体	との協創	評価					評価	した根拠	・理由					
			意見把握 の活用)	E	協創を招	深ることか	できな	かったため	う。							
			一夕活用	評価					評価	した根拠	·理由					
	(デミ	ブタル	の活用	Е	実施する	ことがて	きなか	ったため。								
		EBP	IVI <i>)</i>	評価	7 1.3 2 7 2				1	した根拠	. 押由					
	絲	合訓	平価	Е	活動とし	てはいこ	まこど	も園に対す				のみと	 _なっ	たため。		
事	業実施・残され			体調不	良児対応型	型病児保育	育を拡大	てするには	看護職員(の確保が	課題とな	ぶって	いる。)		
										判断	理由					
	今後の国	又組	方針	2	坟善	病児保育	こと関す	る市民の	要望を踏る	まえ、いこ	まこども	も園の	病後	児保育再	開を目	指す

1	基本情	青報					:	担	当	課	国货	呆医 療	課				関	係	課	児童絲	総務誤	Ŗ		
事	業	名	No.	1	5	こど	も医療	寮費 等	等の現物	勿給作	寸対氦	東年歯	命を1	8歳	まで打	広大								
事	業	区 分	継続	会	計	区	分	_	一般会討	t	予	算	費	目	款	አ	3		項	2		目	1	
施	策	体 系	3	こど	`も・-	子育で	て支援	<u>1</u>					戦	略的)施	策		行	政改	革大	綱	(1)	
根	拠 法	令 等	生駒市	Pども	医療	費助	成条	例等										事	務	区	分	自治	事務	
事	業	期間	□ 単年	度(年	度)	√ <u>E</u>	単年度終	嬠返(R6	年度	き〜継	統)	1	复数年月	叓(年度	~		年度)
2	事業(の概要	・実施内	容																				
	業 目業実施		小学生だ 重症化を			までの	り医療	費に	孫る経	済的	負担	を軽	減す	ること	こで、	より	経済的	に安	心して	医療に	かか	ること	ができ	Ē.
事(:	業 / 全 体 言	既 要	小学生だ 事業開始	から12 台: 令	8歳 和6	まで <i>0</i> 年8月	D医療 診療	費助	成方式 ら	を県	.内医	療機	関受	診分	につい	ハて作	賞還払し	ハかり	う現物	払いに	切り	替える	0	
\ -	∟ r+, □		事 業 (の対	象	小学	生か	618	歳									文)	象数:	約1!	5, 00	00人)	
							当初記	十画										取網	且実績	Į				
			R6.8~到					歳まで	拡大								年齢を1		まで拡	大		<u> </u>		
			■経費は 人件費 5			.1計る目	手 表質							:貧はU :費4,0			系る事業	貝						
			高田典/X			0.41.	-#\	F 00	~ m								U\$U 	122	/ T M					

需用費(消耗品費·印刷製本費)336千円 役務費(通信運搬費·手数料)16,136千円

備品購入費 66千円

扶助費総額500,349千円

決算年度の 主な取組 =15/31 回 R6.8~現物給付対象年齢を18歳まで拡大 ■経費は0~18歳に係る事業費 人件費 5,111千円 需用費(消耗品費・印刷製本費) 702千円 役務費(通信運搬費・手数料) 21,680千円 備品購入費 流用 66千円 扶助費総額 588,195千円 償還金利子及び割引料 10千円(流用 458千円)

信還金科子及び割引料 10千円(流用 458千円) 委託料(臨) 1,437千円(流用 944千円、システム改修費) 負担金及び補助金(臨) 1,441千円(システム改修負担金) 負担金及び補助金(臨) 1,441千円(システム改修負担金)

事業実施手法 ☑ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 ☑ 負担金・補助金 □ その他(

3 事業費・財源内訳

	- 7/194 7/3/1/3/1/3/1/3/1/3/1/3/1/3/1/3/1/3/1/3/	R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	494,333	620,044	524,571	737,265
	12委託料	·	2,381	1,706	
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金		1,441	1,441	
	その他	494,333	616,222	521,424	737,265
財源(494,333	620,044	524,571	737,265
	特定財源	202,512	290,068	205,130	344,906
	市債				
	その他		88,748	38,027	63,979
	一般財源	291,821	241,228	281,414	328,380

4 📱	事業の成果・評価			
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)		会社、国信 大を実施で	保連合会との連携によるシステム改修の実施や対象者への周知など適正に行い、予定通りできた。
KPI				指標1 指標2
	指標名(単位)			設定なし
	目標値			
	実績値			
	目標値と実績値の差 分についての理由			
行革	評価(行政改革大約	剛に基づ	(三評価)	
	コスト意識	評価		評価した根拠・理由
	(費用対効果·財源確保)	В	県規定に	こよる補助金等を規定通り収入した。
	目的思考	評価		評価した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В	システム	改修や全対象者へ周知等の準備を計画的に行い、円滑に助成拡大を開始した。
	多様な主体との協創	評価		評価した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	_	対象者の	D医療費に対する助成であり、協創は行っていない。
	デジタル・データ活用	評価		評価した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	_	対象者の	D状況に応じて助成するものでデータ活用等による政策立てするものではないため。
		評価		評価した根拠・理由
	総合評価	В	県と市町 拡大を身	J村との協議により決定した現物給付の対象拡大に対し準備を適正に行い、予定通り助成 ₹施した。
事	業実施上の課題 ・残された課題			台体主体の事業であり、財源は市単と県の補助金のみとなる。医療費が増加すると市負担も ・ ・ ・ ・ ・ の ・ の ・ の が は の の の の の の の の の の の の の
				判断理由
	今後の取組方針	現状	維持	年齢や市町村で窓口負担額の違いはあるが、県内市町村の子ども医療費助成対象者すべ てにおいて県内受診時の現物支給が開始されたため。

					171			,,,	<u> コノノ</u>		于才	ТПТ	<u>ار</u>	'						
	本情報	₹				担	当		幼保こ	ども	園課		厚	目	係	課				
事	業	名	No.	16	保育料の															
	業区	分		会計			一般会	計	予 算					3		項	2	目		1
-	策 体	系	3	こども	・子育て支	援				戦	略的	う 施 5	策	J			革大綱		(1)	
	退法 令			<u> </u>				-/					1.6	- 44L <i>b</i> r-	事	務	区分	=	治事	
事	業期	間	単年/	芟(年度)	✓ <u>i</u>	単年度	操返(令和€	5 年	度~継	統)し	後	数年周	芟(年度~			年度)
2 事	事業の構	要	・実施内	容																
事 第	美 目 的 実施效	り・ り果	経済的な	ぐ支援を	拡充するこ	ことに	より、	こども	を産み育	てか	すい	環境を	整え [.]	ること	がで	きる。)			
事	業 概体計画	要	⋅0~2点	&児の係	ち第2子の 発育料につい	ハて完	全無任	賞化(第	第1子の無	ŧ償ſ	化)を検	討する	5.	シントカ	法(り見直	し含む。)			
			事業(の対象	認可保育		在園し	ている	市内在住	の0	~2歳リ	見の第2	?子。			象数:)
			生って	一学ルワ		計画				4	ケンフィ	エ/学/レタ	±+/ -		取約	且実績	į			
			·第2子 153.1		€施 9/年(給付	増加額	領と歳	入減少	分)		育2子無 146.2			E(給付	け増け	Ⅲ額と	歳入減少	分)		
			·第2子	無償化に	こ係るシステ			/\ <i>II</i> %/	/ [/	· 笋	有2 <u>子</u> 無	#償化I					. 内なノ <i>、11</i> % ノ	/1/		
決1	算年度(D	1,386	5千円	. 無 /	<u>.</u>					1,122		\ 4m <i>l</i> •	₩ //↓ ‡&	. .	· . — -	- / +西3# /	L 10+#	1 <i>0</i> +	ロマム
	エマスと				無償化検認 化の推移を		正度和	金重十)		和)~2歳 8年度	いたこう 以降に	1無3 3五	負16快 5検討	訶⇒	ンスフ	テム標準化	との推	移を.	見(节
			(2)()	→ 1/1/1		_ / 0 <	1 3121.	VD1/		114	0 1 1	WI+1C	- I	נואנו						
事業実施手法 □ 直接実施 □ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他(
			事業美	施手》	云 ∐ 直接	実施	✓.	委託・技	旨定管理	√	負担:	金・補則	力金	<u>√</u> ₹	の他	(保育料(歳入	.)の減少)
3 事	事業費・	財源	原内訳																	
			ド源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 0 154,512 147,371															R7予		
事業	費(千円			R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 0 154,512 147,371 153,1 1,386 1,122														<u>3,126</u>		
	12委計		多							Ι,	,386				Ι,	122				
			スタ 及び交付金							75	,071				75.	071			7:	5,071
	その他										055					178				3,055
財源	(千円)						0		1	154	,512			1	47,	371			15:	3,126
	特定財市債	源																		
	その他																			
	一般財	源							1	154	,512			1	47,	371			15:	3,126
	5	###	. =v/==														_			
	事業の原			Ι																
	めざす状 したこと		た現に その成果)	大きな	:問題なく第	32子	無償化	を実施	できた。)										
KPI		(3.21	,				指標	1								指	標2			
171 1		名(単位)				10.197									10	IN 2			
		目標	値																	
	3	実績	値																	
	目標値	ヒ実絹	責値の差																	
	分につい																			
行革	<u>評価(1</u>	<u> </u>	改革大統		<u> ブく評価)</u>								L							
	J;	スト	意識	評価								した根								
	(費用対	効果・	財源確保)	_	対象者に	こ対し	て行う	市単独	虫補助で	あり	費用対	効果等	計ま	別れな	いた	め。				
	- A	的思	思考	評価								した根			,, ,	- 17.			 //	1 1 - 1
			の寄与)	В	きょうだ 拡充した		ント方	法の見る	直し(年齢	上限	の撤廃)、及び	第2-	子無償化	化を乳	実施し、	、子育て世	帯の経	済的:	支援を
	多様な	·主休.	との協創	評価	JIAJEUTE	0					評価し	Jた根	処・理	曲						
	(市民等	手への	意見把握	_	特に協創	川とな	る事業	きではな	こいため	^										
			の活用)	評価	1312 1335	, _ 0.	9 3.2	~ ~ io: .	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		証価1	Jた根	幼1. • ŦE	申由						
			ータ活用 の活用	町町	既存シス	, = , -	ᆂᆀᄄ	11 #土	の、土田	3 1-1-				±Щ						
		EBP	M)	==:/==		() A	でかけ	10、1寸	F又Uノカハ	ا ک اد				n						
	4/6	· _ =	ਜ਼ /ਜ਼⊏	評価							評価し	した根	拠・塩	里田						
	総		平価	В	対象者に	対し	て滞り	なく実	に施しただ	こめ。	•									
	- ** -=- +	La	N=用 P 本																	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・残され			保育の	完全無償化	ե						Aleo	INC TO	14-						
	۵%.A	ከራበ-	L & I	т.	\+\<\++±							判	断理	出						
	今後の耳	X組.	力	^現	状維持	国の	システ	- ム標準	≛化を待っ	って	対応す	るため	0							

								_												
1	基本	情報	2					扌	旦 当	課	健身	課・	障が	い福祉	止課	関	係	課		
事	美	Ě	名	No.	1	7	発達	に不知	安のあること	ごもと	:その)家族	入の	支援						
事	業	区	分	継続	欱	計	区	分	一般会計	†	予	算	費	目	款	4		項	1	目 1
施	策	体	系	3	حے	ĭŧ∙-	子育で	支援					戦	略 的	施策	J	行	政改	革大綱	(1)(4)
根	拠污	去令	等	母子保健	法								_			-	事	務	区分	自治事務
事	業	期	間	□ 単年/	度(年	度)	✓ 単年度線	操返(年度	~継	続)	複数年	芰(年度~	年度)
2	事業	の根	要	・実施内	容															
_	3171	J	<u> </u>	74/01 3																

事 業 目 的・ 事業実施効果	発達障がいに対する理解を促進するとともに、発達にる。	関する不安に早期に気づき、必要な支援につなげることができ
事業概要(全体計画)		面等の発達課題の早期発見を行う。また、遊びを通して発達を促し、保護者が適切 あるこどもの早期発見に向け、関係機関と連携強化を図りながら、情報提供と支 ンポジウムやワークショップを開催する。
	事業の対象生駒市民	(対象数: -)
	当初計画	取組実績
決算年度の 主な取組	【新規事業】 発達障がいに関するシンポジウムの開催 登壇者謝礼50千円×1人、20千円×2人、5千円×2人 湯茶1千円 【その他継続事業の実施】 乳幼児健診、育児相談、発達相談、親子教室、障がい児通所 支援、相談支援体制の確保、発達不安のこどもについての 理解啓発	【新規事業】 発達障がいに関するシンポジウムを2月に開催し約100名が参加 登壇者謝礼:34千円(2人登壇) 印刷製本費66千円 【その他継続事業の実施】 乳幼児健診、育児相談、発達相談、親子教室、障がい児通所支援、相談 支援体制の確保、発達不安のこどもについての理解啓発
	事業実施手法 🗸 直接実施 🗸 委託・指定管理	☑ 負担金・補助金 ☑ その他()

3 事業費·財源内訳

		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	0	101	100	279
	12委託料				277
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金				
	その他		101	100	2
財源	(千円)	0	101	100	279
	特定財源				
	市債				
	その他				
	一般財源		101	100	279

4 事	事業の成果・評価				
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)			ら子に関するシンポジウムを開催し、タ トーへの接し方を保護者が学ぶ機会を扱	発達障がいや子育てに関する情報発信を行うことで発 是供した。
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)		乳幼	児健診平均受診率(%)	
	目標値		前年	F度より上昇又は維持	
	実績値		前	年度98.7 → 87.1	
	目標値と実績値の差 分についての理由	2月末時	点での受	診率を示している	
行革	評価(行政改革大網				
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	В		超える市民に参加していただき、療育が, カ果の高いシンポジウムであったと考える	必要となる前段階での関わり方を学ぶ機会を提供すること 。
	目的思考	評価			した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В		いの理解の促進に加え、具体的な接し方・ し、不安を解消するきっかけとすることが	関わり方を学ぶ機会としたため、現在子育てに不安を抱え 「できた。
	多様な主体との協創	評価		評価	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В			的な話が視聴者の心配を和らげるような内容となった。また、今回の 保護者同士がつながるきっかけとなると考える。
	デジタル・データ活用	評価		評価	した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	В	シンポジワ	ウムの内容をオンライン配信することで、ヨ	来所しにくい子育て世帯にも聞いてもらうことができた。
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	В	オンライ	ン配信での視聴により、より多くの方	「に講演内容を聞いてもらうことができた。
事	議実施上の課題 ・残された課題	講演後の 精査が必		トで「今後も学びの場に参加したい」	との声があり、次年度実施するワークショップの内容
					判断理由
	今後の取組方針	現状	維持	講演内容をふまえたワークショップを	を開催することで、発達に関する理解の促進を促す。

1	基本	情報	Z				:	担	当 訓	果 生	E涯学	習課			関	係	課	教育指導課	、地域共生	社会推進課
事	美	Ě	名	No.	19) = C	ども・老	者総合	計相談窓口	_۱۲_	1ース:	ネット	いこ	ま」の運営	Í					
事	業	区	分	継続	会	計区	分	— <u>J</u>	般会計	う	5 算	費	目	款	8	J	頁	5	目	5
施	策	体	系	3	こど	も・子育	て支援	호				戦	略的) 施策	1	行工	改 改	革大綱	('	1)
根	拠法	去令	等	子ども・	若者育	成支援	後推進 》	去				-				事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	単年	度(ئ	丰度)	✓ 単:	年度繰返	(R5	年度	き〜継	続) 🔽	複数年歷	隻(年度~		年度)

2 事業の概要・実施内容

事 業 目 的・ 事業実施効果	・当事者の状態や状況に応じて適切な支援を行うことで、・ ・家族(保護者等)に対しても寄り添った支援を行うことで		うにする。
事業概要	市内の概ね40歳未満の方(40歳以上も可)とその家族、支援話・メールでの相談、訪問支援など行う総合相談窓口を開設すまた、これら当事者の社会復帰等に向け、生駒市こども・若者	-る。	の解決に向け、対面・電
(= 11 = 17 = 7	事 業 の 対 象 生駒市内の中学生	(対象数:)
	当初計画	取組実績	
	・ユースネットいこまの運営委託 6,673千円・次期(R7・8)運営委託先の選定	・ユースネットいこまの運営委託 ・次期(R7・8)運営委託先の選定	6,673千円
決算年度の 主な取組	・周知用チラシ・ポスターの作成 150千円 ・運営にかかる経費 209千円	・周知用チラシ・ポスターの作成 ・運営にかかる経費	41千円 219千円
	事業実施手法 ② 直接実施 ② 委託・指定管理	凰 □ 負担金・補助金 □ その他()

3 事業費・財源内訳

		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	6,832	7,032	6,933	6,911
	12委託料	6,673	6,673	6,673	6,684
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金				
	その他	159	359	260	227
財源		6,832	6,982	6,933	6,861
	特定財源	3,632	3,270	3,270	3,270
	市債				
	その他			0	
	一般財源	3,200	3,712	3,663	3,591

<u> </u>	事業の成果・評価			
Гъ	のだす状態」実現に したこと(事業の成果)			総合相談窓口」(ユースネットいこま)を開設し、様々な困難を抱えるこどもや若者、家族等に対する相談支援 諸者がデザインで協力した周知用ポスターを作成、自治会掲示板で掲示するなどの周知啓発に努めた。
KPI				指標1 指標2
	指標名(単位)		新規	相談者数(実人数)(人)
	目標値			50
	実績値			45
	目標値と実績値の差 分についての理由	当事者の なかった		こしに努めているが、目標には届か
行革	評価(行政改革大網	岡に基づ	(三評価)	<u>.</u>
	コスト意識	評価		評価した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	В		は93人の当事者に対し年間延べ1,036件と多くの相談に対応できた。また、R6年度からは厚生労働省の り支援推進事業」を活用しより安定的な財源を確保できた。
	目的思考	評価		評価した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В		人一人の状態等を把握し当事者の思いに寄り添い、就労だけをゴールとするのではなく、当事者が自分らし きることを目標に支援を行っている。
	多様な主体との協創	評価		評価した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В		けたボランティア等の社会参加の取組では、市民団体や市役所各課等と連携してボランティア参加の機会を どしており一定の協働は進められている。
	デジタル・データ活用	評価		評価した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	С		や内容等から当事者の属性や抱える課題の傾向等は一定把握しているが、相談支援以外の取組に向けた活 至っていない。
		評価		評価した根拠・理由
	総合評価	В		り変動はあるものの概ね安定的に相当数の当事者に対する相談支援を継続して実施できており、予定どおり あがっていると考える。
	議実施上の課題 ・残された課題			は福祉政策課所管の「いばしょ支援ステーションGIFT」と連携しながら事業を進めている さめた事業のあり方について検討が必要である。
				判断理由
4	今後の取組方針	現状	維持	全国的にもひきこもりや不登校の数は増加の一途をたどっており、本事業に対するニーズ も高い状況であることから、事業については引き続き実施していく。

					15-1	HO + 1X					~и і іщ		'					
1 基	基本情報	8				担当	当 課	教育指導	算課·	教育	政策室	厚	人	係	課			
事	業	名	No.	1	「個別最	適な学び	と協働的	な学びの)—(4	的な	充実」を	を目:	指す授	業改	善の	支援		
事	業区	分	新規	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款		8	J	頁	1	田	1
施	策体	系	4	学校·教	育				戦	略的	加施分	策	J	行工	ひ 改	革大綱	((1)
根抄	処法 令	等							•			-		事	務	区分	自治	台事務
事	業期	間	単年月	变(年度)	✓ 単年	度繰返(R5	年月	き〜継	続)	複	数年度	₹(年度~		年度)
2 5	車業のも	旺垂	・実施内	宓														
		,,,,			-	of-244 5151 6/6- /		. 24. 7. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	£1.45.4	د ال سکند ،	.» /L-46		TD	L ~ 4\	ᄺᄱ	L*+/= > :	** + ·	
事業	業 目 的	力果	市内小中	学校におい 交間、学校和	て、自由進煙を超えて	度子省寺、1 相互に学び 	固別最週で 合うことで	よ子ひと協作で市内小中!	動的を 学校の	が子びたり投業で	か一体的 改善が進	はみ、	現する。 こどもた	ような こちの:	授業。 学力、	双番を行って 非認知能力	対貝を文別 が向上す	麦し、教貝 ⁻ る。
事(全	業 概体計	要 画)	を受けられ	こる機会を	提供する。	また、オンラ]士が:	学び合	える場を扱	是供する。	研修や助言
			事業(が対象	生駒市教									***	象数:	65	0人)
				<u> ナンディッ</u>		計画などの	/ 	、た中・ナ		. — ,	· . — ° — .		- · · ·		実績	+# +* ///:	+ エ リナロ <i>l</i> .&	アの中状
					と協働的 ひための作								ノオーム 〜令和'			越境·伴	走型研修	が美施
			עו פ פונם	k w=v	7/20707		9 07 人 旭									全国から	56名参	§ha)
24-	体一性	<u></u>	講師謝ネ	L 720 ⁻	f円				オン	ノライ	ン研修	実施	12回	,,,,,	• –			,3,17
	算年度の										修実施					4- - - 1.		-\
_	C 647/11	L							以う	卡 托衣	会美质	也口口	1(令和	7年。	3月	生駒南小	子校に(()
									講館	师謝礼	649)千F	9					
			事業実	施手法	☑ 直接	実施] 委託・扌	旨定管理		負担金	金・補助	加金		の他	()
3 [声	日子河	西内記															
3 =	尹禾貝`	只1/1	<u> </u>		R5決算		F	R6予算現	貊			R	86決算				R7予算	ì
事業	費(千円	1)			N3/N 3T	300		10] 77-71		720		- 1	(0)/(31		549		1(1)	720
3.71										0					, , ,			, _ 0
	14工	事請負	負費															
	事業費・財源内語 事業費(千円) 12委託料 14工事請負費 18負担金補助及び交 その他 対源(千円) 特定財源 市債 その他 一般財源 事業の成果・評価 「めざす状態」実現に 等与したこと(事業の成		及び交付金															
日十八五	18負担金補助及び交付金 その他 ぶ(千円) 特定財源 市債				300				720					549			720 720	
拟源		临				300				720				(549			720
		///																
		<u> </u>																
	一般財	源				300			Г	720				6	649			720
4 3	直業のF	北里	• 誣価															
																		、学校全体
				の取組がの概念が	報道された 善の取組だ	こ(令和7年	三3月3日))。また、令 ことができ	和7年	¥度以	降、俵□	小、	生駒小	、生駒	東小	、鹿ノ台小	などで学	校全体で
KPI	•			の技未以	普の取組ん	^{ル知よる勤} 指	<u>さを作る。</u> 票1	<u></u>	/ <u>C</u> 。						指	票2		
		票名(単位)			受講者									7,11	.,. <u> </u>		
		目標	値			2	0											
		実績	値			3	6											
			責値の差	生駒南小	小など、複	数の教職	員が主体	本的に参加	ロした	た								
	分につ			め														
行革	評価(1	<u> </u>	改革大統	岡に基づ	〈評価)					== !	4 15.	hn	n -					
			意識	評価	効用がた	基所へのは	話が ナンニ	ライト・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			った根柱			古いた	Ⅱ仮士	年間なる!	アルココ	トで実施で
	(費用対	効果・	財源確保)	В	効果的な調	再らリノハバ	棋やオファ	ハフフラッ	トノス	л—Да	こ出いる	ےے	じ、貝の	同い切	川宮で	牛囘を囲し	人に狙うへ	トで夫他で
		的思	 日老	評価						評価し	Jた根 <u>技</u>	処・理	曲					
			い⁻つ √の寄与)	Α	第3次生	駒市教育大	綱の理念	に基づいる	た授美	業改善	の推進し	に向し	けた中村	亥事業	にな	る可能性を	示した。	
	A 174 #	~) ottol	評価						評価 I	ノた根 <u>技</u>	:M. • ŦE	申由					
			との協創 意見把握		全国から参	参加者を募集	集すること	で生駒市の						を整	えるこ	とができ、	越境的な	学びの場が
	·民間	活力等	の活用)	В		とが、協働を			いて	は課題	が残った	- :						
			ータ活用 の活用	評価	オンニン		+ /. 左차	即的一里			ノた根技 のませる			: HILL):	上辛日	75161 トラ	スヴィバム・	ん字印十
		EBP		Α		プラットフ: ができ、対面							ナ呉守を	HV.	に总兄	文揆による	א ַר ∪⊖רע	で夫児こ
				評価		·					Jた根		曲					
	级	合語	平価		全国から	参加者を募	集し、オン	ンラインプ	ラット	フォー	-ムを用	いて	の研修	を年間	『を通	して行う耳	双組は全国	国的にも珍
				Α	しく注目で	され、1年間	引の成果は 	『多様性を	<u>活</u> か	す校内	付研修』	(学事	出版)	でも糸	介で	れた。		
事	業実施	上の	課題	소 +m! +	- 物啦早年	加格拉里	∃∕U⊐⊬≠≀		7年日	生1717夕	I+	一~	マナングハナ	<u></u> ⊢⊹⊱⊹	きみこ	th Z		
	・残され			参加した	÷教職員♂	がが多数条	・い以香	こ回げ、ガ	中店	以降	はより	」等	゚ ぴ゚ヸ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚	E小习	くめり	1100		
											判	断理	由					
	今後の国	取組:	方針	現状	維持	A1074	由(十中+	た/ 十 生!/ ナー	·	, = , = =		- + -	AInc) 左中	F \ 17/2	ω+÷-±-≠	±4€=+-±	
				I		ᅟᅲᅵᄱᅂᄗ	火は夫別	毎体制をこ	ノノツ	/ ノエ /	ーツノし	,	√⊓ΛΠζ	十戌	ママン	いル人で	7天司 9 1	ک ه

	本情報			ı			-		* 教育指導			艮	月	係	課			
事	業	名	No.	2					個別最適な		_					T		
	業区	分	継続	会言		区分	一般	绘計	予 算	費目	-		8	_	項	3	目	1
-	策体	系	4	学校・	教育	Ĩ .				戦 略	的施	策				革大綱	· ·	1)
	退法 令	_												事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	□ 単年/	芰(年度)	単年	度繰返	(年度~	継続)	✓ 複	数年	芰(R2	年度~	R7	年度)
2 📱	事業の	既要	・実施内	容														
	美 目 自				+71	T \ 2/1001-	目淬ル士	7 A T#U#		7 - 1	10 25 4	- /+ ^ }	¥ 55 ₹£/	Wn -	l \. \. 7	****	**	
事業	実施交	東	使用すれ	は使用の	9 61	まと個に	最週化 9€	5AI型教	材を活用す	ることで、	<u> </u>	上使の言	子省思		Eと基f	定子 力の定	看を図る	00
			V 157221"		* 7 /	- /// ~	1711-11		**/ ₁ - 1 - 1 - 1	. 24551- L		<u> </u>	- / -1	ومعدر	° +++ ∨	+ → ¬		
事	業の機 体計i	要	AI子省下	ソノレひノや	子人!	∟件フ、⁻	一人ひとり	に他別取	適化された	子省によ	り、土1	体的。日	31半的%	よ子し	で推り	≛9る。		
(±	I In 4N	凹 /	事業(の対	象生	生駒南小学	校(5·6年	生)生駒南	中学校(全学	年)ほっとル	ノーム通	室児童	生徒	(文	象数:	34	6人)
						当初	計画							取約	狙実績	į		
			ライセンス		ł											えで、AI学	智ドリル	も活用し
			実証校(生駒南/		296	人	2, 345	千円		ながら、						できた。 でも活用す	することか	べできた。
			内訳:	600円	×29	96人×1	2ヶ月×1.			ライセン	ス購入	費						-
	算年度の こな取組		ほっとル	י ג–ע	50 J		396 -	千円		生駒南 内訳:		∠, 円×26	107 - 66人×		月×1.	1		
	二, 47 47 410						ヶ月×1.1			ほっと	ルーム		32	千円				
										内訳:	3, 66	53円×	3人×3	3ヶ月				
			事業実	施手	法	✓ 直接	実施	委託・	指定管理		金•補	助金	<i>र</i>	の他	()
3 📱	事業費・	計	西内部															
J =	F 木只	אין ניא	<u> </u>		F	R5決算			R6予算現	額		F	R6決算	复			R7予算	Ī
事業	費(千円)					2,289			2,741			- 12 12		139			4,749
	12委		7 ±h															
	14工		<u>負費</u> 及び交付金															
	その他		及び交別並				2,289			2,741				2	,139			4,749
財源	(千円)	<u> </u>					2,289			2,741					,139			4,749
	特定財	源																2,374
	市債																	
	その他一般財						2,289			2,741				2	,139			2,375
							2,207			۷, ۱ - ۱				۷,	,137			2,575
4 1	事業の原	<u> </u>	<u>・評価</u>	T														
	めざす状		実現に その成果)	AI学習	国ドロ	リルを活	5用するこ	とで、児	見童生徒の	学習意欲	向上。	と基礎	学力の	の定れ	善を図]ることが	できた。	
		(事ま	₹の成未)								-							
KPI		■夕(単位)			ΙĘ	<u>- fā/</u> 童生徒の	標1	(%)						指	宗乙		
		目標				<u> </u>		.9%	(70)		1							
		実績					未記	計測										
	目標値	と実績		他の業績	きの 集	製品につい	へても全小中	学校で試	用できるよう	になり、学								
	分につい	ハて	の理由	校担当	会会を	・ 開き次期	ドリルの検	討を行うこ	とに変更した	きため。								
行革	評価(1	亍政	改革大約	剛に基	づく	(評価)					•							
	l =:	スト	意識	評価	i					評価	したた	艮拠・コ	里由					
	(費用対	効果・	財源確保)	В	5	実証事業	美を行う中	中で適正	であった。									
		的思	日老	評価	ī					評価	した村	艮拠・耳	里由					
			いっ √の寄与)	В	1	固別最近	題な学習を	を進める	中で児童会	主徒の学	習意欲	次向上	と基礎	き	」の定	着を図る	ことがで	きた。
	夕 は た	·	 との協創	評価	ī					評価	したホ	艮拠・玎	甲由					
	(市民	等への	意見把握	В		△Ⅰ学翌Ⅰ		いて何	社かのもの					711				
			の活用)			11711	J/VIC 2	> V · C [-]	17/3 07 00			艮拠・玎		C V .	٥,			
			ータ活用 の活用	評価		A T.I.— III.	1 フ セ ブセ	へ の 日本	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +					18万人	°.1.1日五-	+4211		
		EBP	M)	Α		41154	ノモイバモイ	の児里	生徒の理解		-]起刀	\出起。	271(11	<u> </u>	
	4.1.	· ^ =	/- 	評価				- Lee - Lui	1			艮拠・耳				- 11/ 1 1	4	
	総		平価	В			くクール構 D効果が見		未更新によ	がける一人	八一台	端末(り活用	にお	いてД	川字習ドリ	ルの使用	书につい
	- ** *-		\=#IP5	/EDUE						+>111 "	~+·	フェッー	/III + \	- 14	亚	⋉ ⋌ ∔⊓⊥ ┤	レニティ・	∠ .₩.#±*
手	『業実施 ・残され			個別量 ある。	远道7	公字び と	こして、A]	「子習ド」	ノルは有効	ばツール	である	るか高	価なな	この、	党益 征	有貝担も	きえてい	く必要が
	ラスこイ	いこ言	木	める。							,	本川本七11	Brth -					
	今後の耳	[∇幺円-	古針		拡え	-	GIGAスク	ール構想に	こよる端末更	新に伴い、		判断理 ・使用し		ニジタル	レドリル	が利用でき	なくなる。「	38年度から
	フ仮りた	以祀.	/J亚		カムノ				SAI学習ドリ									

					13.1	HO + 1X					サノ	Κ μι ιι	4-	'					
1 基	基本情報	R				担	当	課教	育指導	算課				関	係	課			
事	業	名	No.	3	不登校式	支援推進													
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	绘計	予	算	費	目	款	?	8	Į.	Į	1	目	2
施	策体	系	4	学校·教	育					戦	略白	内 施	策	J	行政	女改	革大綱	((1)
根抄	処法 令	等													事	務	区分	自治	台事務
	業 期	間	単年原	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	年度)	√ 単年	度繰返	₹(R5	年!	き〜糾	*続)	衤	复数年度	_	3,,5	年度~		年度)
					TIX /		1X11X	-(113		× 11	<u> </u>		22/ 1/2	~(112		1127
			・実施内	容															
事業事業	業 目 6 美実施交	り・	より自分に	こあった居	場所を選	ぶことがて	でき、寄り	り添っア	た対応	が可	能にな	ぷる 。							
_			全国的に	不登校児童	生徒が増え	えている中、 レーム」とし	本市で	も同様は	の傾向	であ	る。これ	れまで!! また!!	ま、中:	学生を対	象とし	た「い	きいきほっ	シント	、小学生
事	業 概 体計 [34	を対象とし	ノに「のひり -ムでは2階	がほうとん	νーム」とし 導教室とし	て活用し	と絞つ(していた	・囲至し 上場所を	してい を改装	いこか、 もしてシ	、心心記 舌動する	えこし る場を	小子王も 広げる。	中子生	も迪	んる体制を	(全んる。)	いさいさ
(±	14 El I	四 /	事業の	の対象	学校に近	Mいづらし	\児童生	主徒	.,,,,,						(対象	製:	-	-)
						計画									取組				,
			指導員	1人 3	, 088千					しい	きいき	きほっ	とル・	一ムに打	旨導員	を1:	名追加配	置するこ	とで、小
			内訳:幸		990千					学:	生のま	を援も	行う	ことがっ	できる	体制	を整えた		
			1	費用弁償	98千	円				ф	訳:執	크퓨씨	2	240千					
	算年度の とな取組		施設開設	设備品	444千	円				ניו				240 T 137千					
	广, 47小口									松	50円 5	設備は	2	292 1	<u>-</u> ш				
										,JI	BDXI#		ıн	2321	ıJ				
			事業実	施手法	▽ 直接	宇施	季託	・指定	管理		負扣	金·補	肋全	· 7	の他(()
_				<i>20 3 12</i>				101	<u> </u>		><1_	<u> </u>	247) 317		٠٠١٥				,
3 1	事業費・	財源	<u>泉内訳</u>		D = _ &			D / E	2 <i>KK</i> TO	+ - -				D () ± 60	-			DD Z M	-
== **	連/イロ	1\			R5決算			R63	⁵ 算現					R6決算				R7予算	
争耒	費(千円12委詞					0				3,	532				2,6	69			7,684
	14工																		
			及び交付金																
	その他									3,	532				2,6	69			7,684
財源	(千円)					0					532				2,6				7,684
	特定財	源																	
	市債																		
	その他一般財					0				2	532				2,6	60			7,684
						0				٥,	332				۷,0	09			7,004
4 =	事業の店	找果	評価																
Γ	めざす状	態」到	実現に	これまで	中学生0)みであっ	た、ほ	っとル	ーム(の利	用につ	ついて	小学	生も通	室でき	きる。	ようになり)、通室/	人数が増
寄与	したこと	(事業	美の成果)	加した。															
KPI						指	標1									指	票2		
			単位)																
		目標																	
		実績	. 但																
	目標値	と実績	責値の差																
	分につい																		
行革	<u>評価(1</u>	<u> </u>	改革大約		<u>く評価)</u>														
		スト	意識	評価							評価	した框	拠・	埋由					
			財源確保)	В	小学生は	こ対応する	る支援員	員を配	置する	328	とでノ	、数に	見合	った支持	援が行	えた	-0		
		lób B	H -	評価							評価	した相	拠・	理由					
		的! =標^	ぶ 行 への寄与)	В	不咎校!	見童生徒数	数が増加	加循后	にあ	—— る中	. 支援	旨を	配置	一条りえ	たった	対応	ができた	_	
					1 32100		X/3 - L/.	JH 197(1°.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<u> </u>		した相			J. 7 7 C.	, J , U	,, , , , ,	<u> </u>	
			との協創 意見把握	評価															
			の活用)	В	フリース	クール等	、个登村	 交孩	にかれ	かる					開催し	ノた。			
			一夕活用	評価							評価	した相	拠・	理由					
		バタル EBP	の活用 M)	С	ほっとル	ームに通う	児童生	徒で、ん	ΔIデジ	ブタル	ドリル	を活用	月した	:い場合、	使用で	できる	。 ようにした	_ 	
			. 1/	評価							評価	した相	拠・	理由					
	絲	合語	平価		33 <u>4</u> 14	71, "~		L/4·	4 1.						//	Д .,,,	±4 >		- 4
	1,11	P		В	字校に述	通いづらし	1児童生	E徒に	対して	(の)	舌場凡	か・学(♪支持	发につい	ハて体	制を	整えるこ	とができ	た。
耳	 業実施	ŀσ)課題	不登检点)児童生紀	走数が全国	国的に	#、 /	יר, וו	おい	生販	市#.6	1様/	の傾向に	ニあス	,学	交に涌い	づらいIE	音生徒
ョ	▽未入 心 ・残され					も継続し										ا ' د ه	くに何ん。	ノフマウ	ᆂᅩᄯ
	,,,,,,,,,	. Ср		1,,,,,,,	_,-,,	J.,,,,,,,,,	- , , H		, , ,	3//			判断理						
	今後の耳	[∇%H-	方針	扩	大	_n=-	: 詳ク	かぶる	松士	坪士	-/ - -				続利日	∃ <i>∩</i> +	- めに 本名	学校旧会	 生徒のア
	/ ×0)1	八小口。	ועני	1//													こめりこから た配置す		上ルリア

	1 基本情報 担 当 課 教育指導課 関 係 課																
_		<u>R</u>				•			算課		F	関	係	課			
事	業	名	No.	4		通級指導											
	業区	分		会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	8	項		1	目	1
	策体	系	4	学校·教	育				戦略	多的	施策	J			革大綱		(1)
	退法令													務	区分	自	治事務
事	業期	間	単年原	隻(年度)	✓ 単年	度繰返(R5	年度	~継続	長) ∐ 巻	复数年度	复(年度~		年度)
2 事	事業の	既要	・実施内	容													
事業事業	美 目 的 実施效	り・ 加果	自校で通	 級指導を引 通級指導	受けること を受ける!	ができる <i>0</i> 見童生徒が	Dで、本人 ^を 増える。	や保護者の)負担な	バなくた	ぱる。また	:、自校に	こあるこ	とで	通級に関	する相談	炎も受けや
事 :	業 概 体計 i	要画)	通級指道 4	を受けたく	ても、受ける	校に通わな ことができ z支援活動を	かい児童な	#結がいた	白松()	ができす)教員カ	、送迎や ぶ通級指導	時間の確 学を行うは	筆保など 体制構築	保護	者と本人 <i>0</i> ることで、通)負担と ⁷ i級による	なっており、 る特別な支
			事業の	り対象	通級指導	享を学ぶ教	枚員10校	(1人5校	担当>	(2人)			(対象		10	校)
			17 (7 He)	+ , 11, 5,14		計画	4 - 11 / 4		\= /=	11-14-	<i>,</i>		取組		. — 1		13 - 1
			通級指導 当×2人		対負への	補充教員	10校(1	人5校担		指導を 74千F		とができ	きる教		を育成す	ること	ができた。
	算年度(Eな取組		5,593 内訳:幸	千円	5,39 19	7千円 6千円				尺:報酬			70千円)3千円				
			事業実	施手法	✓ 直接	実施] 委託・排	旨定管理		負担金·	・補助金		の他()
<u>3</u> 事	事業費・	財源	原内訳														
NIK -	#/~-				R5決算		R	86予算現			F	R6決算				R7予第	
事業:	費(千円 12委詞					7,197			5,59	93			3,7	/3			5,081
	14工																
			及び交付金														
	その他	•				7,197			5,59				3,7				5,081
財源	(千円)	- श क				7,197			5,59	93			3,7	73			5,081
	特定財市債	源															
	その他																
	一般財	源				7,197			5,59	93			3,7	73			5,081
4 =	事業のF	龙果	•評価														
Га	めざす状	態」		それぞれ	の学校に	こおいて通	通級指導で	を受けられ	こる体	制が整	さった。						
KPI						指	漂1							指標	票2		
			単位)														
		目標								_							
		実績		<u> </u>													
	目標値。 分につ	と実終 ハて(績値の差 の理由														
行革	<u>.</u> 評価(1	一政	改革大組	岡に基づ	(<評価)												
			意識	評価					言	個した	こ根拠・3	理由					
			忌 ·財源確保)	В	通級指導	算を学ぶ教	対員の数を	を毎年度	 見直し	ている	5。						
		44.5	T +/	評価							こ根拠・3	理由					
			思 考 Nの寄与)	А	学校での	 D困り感に	字り添え	スように					ニンカ	ヾ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	キス休制が	が整った	=
					于汉()	ク四つ窓に	- 可 ソ 小 ハ						JC C/J		7. Ø \\	い正フル	<u> </u>
			との協創 意見把握	評価	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\						た根拠・⅓	<u> </u>					
			の活用)	_	迪 級指導	算に当たっ) (は現代	土は協制に									
			[・] 一夕活用 ・の活用	評価							∶根拠・ヨ						
		アタル EBP		-	R6年度	は行って	いなかっ	たが、R7	年度に	はアセス	スメント	のため	のソフ	トを	導入する	0	
				評価					滘	呼価した	た根拠・₃	理由					
	統	合詞	评価	В	自校では	通級指導を	受けるこ	ことができ	s る体f	制が整		吸指導を	受ける	る児	童生徒が	増えた	0
事	¥実施 ・残さ∤					定数よりも べできる教 -						関かり	退職も	ある:	 ため、今{	 後も継続	売して通級
											判断现	里由					
1	今後の耳	又組 :	方針	改	(善	県の通	級指導を	行う教員	の配置	置が進	んできた	こため、	通級を	学人	ぶ教員数=	も減らし	していく。

										ナハ	- р т трад						
	本情報	R		1		-		教育指	尊課			関	係	課	教育総務	字	
事	業	名	No.	5		ペートルー									T		
	業区	分		会 計	区分	一般	会計	予 算	_		款	8		項	1	目	2
		系	4	学校·教	育				戦	略的)施策	₹ ✓			革大綱	, ,	(1)
	退法 令											1	事	務	区分	目	治事務
事	業期	間	単年/	度(年度)	単年	度繰返(R6	年	き〜継	続)	複数年	-		年度~		年度)
2 事	事業の	既要	・実施内	容													
	僕目 的 実施交		校内に居	場所がある	ることで、不	下登校の未	然防止に	もつながり	ノ、児:	童生徒	を温かく	(支えてし	ハくこと	ができ	 きる。		
事 (全	業 概体計〔	要 画)	に、教室環	環境を整備	室登校を し、担当教	員を配属	し、こども	室で授業タ たちに寄 ^り	∤の先 J添っ	を生がる た支援	を代でみる を行う体	ている状 本制を構	況であ 築する	る。個 。			ぎきるよう
			事業の	り対象	生駒中学		中学校		1					象数:		校)
			つかたエ	.二"川.#六1-	当初 実証を行	計画			拉口	h+++	_ L II	_ / _ 左 = 기		実績		- 7 (1-	づらい生徒
	算年度(∈な取組		支援員報教室環境	國・手当 整備備品 22千円】		4 ₁ 1,	,244刊 ,466千 託料		が対対を	学校に 爰員報 内サポ	登校し 酬・手当 ートル-		ることた]デザィ	バでき	る体制か 2, 託料		。 -円 -円
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	委託・	指定管理		負担会	金•補助	金 🗌	その他	()
3 事	事業費・	財源	内訳		5 5 3 4 6 6							544	<i>h</i>			557/	h- h-
市业	費(千円	1\			R5決算	0	ŀ	26予算理		732		R6決		390		R7予算	<u>算</u> 34,785
尹禾.	12委記					0			5,	22			٥,.	22			34,763
	14工		負費														
			及び交付金														
日本公本	その他									710				368			34,785
划源	(千円) 特定財	酒				0			5,	732				390 184			34,785 18,388
	市債	<i>II</i>											۷,	104			10,500
	その他																
	一般財	源				0			5,	732			1,	206			16,397
4 事	事業のほ	成果	・評価														
Гд	めざす状	態」	実現に	学校に通	通いづらし	1生徒に対	寸しての原		なって	ており、	、校内サ	ポート	ルーム	がある	るからと学	学校に登	を校できる
寄与	したこと	(事業	(の成果)	生徒がし	いる。												
KPI		= / /	224 /LL\			指	摽1							指	票2		
		<u>岩(</u> 目標	<u>単位)</u>														
		口信 実績															
		-	<u>に</u> 責値の差														
	分につい	こ大い	関値の左 の理由														
行革	評価(1	 	改革大統	岡に基づ	(<評価)												
			意識	評価						評価し	た根拠	l·理由					
			財源確保)	Α	支援員を	1人配置	すること	で、子ど	もた	ちの居	場所と	担任の	先生を	つなく	ぐことがて	できてい	る。
			H-#4	評価						評価し	た根拠	l·理由					
		的兒 標^	ぶ 行 、の寄与)	Α	生駒市か	 ら不登校の	の概念を無	 !!くすとい	う考 <i>え</i>	えのもと		こころりっ	 ブらいst	上徒の	 居場所を	つくれて	
	A 14.4	~~	V. O.HAN	評価		—					た根拠						
			との協創 意見把握	В	711_7	クール等	不癸炔	士坪にか	かる				太. 胆 / 丛	:1 +=			
			の活用)		7.7	ノール寺	、小豆伙	又1友に力・					を開催	ال ال)		
			ータ活用 の活用	評価	ナロナ、4上ノー		· /~ .—+				た根拠						
		EBP		В	望む生徒	きはオンラ	インで教	全とつる					ぐさた	0			
	1.1:	\ ^ =		評価						評価し	た根拠	l·理由_					
	総	言	半曲	В	学校の中	っに、教室	以外の周	3場所が る	5るこ	ことで	安心して	登校で	きる生	=徒が	増えた。		
事	 				<u> </u> ごけでなく バ必要でa		の不登核	なの子ども	うたち	ちも増加	加傾向に	こあるか	、各校	で支持	援を行う	場の整備	備と人材
	/AC-1	., Ср	,,,,,,	HUIE/	~ ~ ~ ~ ~						- 半川米	所理由					
4	今後の国	汉組:	方針	拉	大			児童生徒			る中、生	生駒市も				不登校	指導生徒

					1- 1	HO + 1X				テハ	чтщ /						
1 基	基本情報	8				担当	当 謂	教育指	導課			関	係	課	スポーツ	/振興課	
事	業	名	No.	6	部活動指	導員の 酉	置										
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	8		項	3	目	2
施	策体	系	4	学校·教	育			•	戦	略的	り施 策		行	政改	革大綱	(1)(4)
根扱	见法 令	等		l.					•			•	事	務	区分	自治	台事務
	業期	間	単年月	套(年度)	√ 単年	度繰返(,	年 5	き〜総	柴締)	複数年	<u>-</u> 度(年度~		年度)
					7-127		汉州(2)		7 1.	X 110		1227.1	<i>~</i> (112		1127
<u>2</u>	事業の構	要	・実施内	容													
	美 目 的		将来的に 負担軽減			に移行にな	ぶった際に	こ、指導者と	として	働く人	、材を確保	!できる。	また、	教師の	働き方改	革として	部活動の
事 (全	業 概体計員	34				週末におけ	る部活動	を指導す	る指導	真を	配置する。						
			事 業 ()対象	市内中等									象数:		校)
			ナハイエール	- -		計画			1.0			· >		1実績		±/ 75% C	0.0.10+0
				道導員 4								得員を	派遣	するこ	とができ	、教職員	の負担軽
			内訳:韓	如貝貝 費用弁償	7, 05	55千円 66千円				となっ 633	た。 円/h						
			3	로시기기 년)]	0113					」/ 假費	6.9	68 1	円			
	算年度(' '		B用弁償		72 1				
<u> </u>	Eな取組																
			 w	<i>11</i> – 11	_		_		<u> </u>								
			事業実	施手法	✓ 直接	実施	」委託・	指定管理		負担:	金・補助会	全 <u></u>	その他	()
3 🗐	事業費・	財派	京内訳														
J =	<u> </u>	77J III	אם נייוני		R5決算			R6予算現	額			R6決	筫			R7予算	1
事業	費(千円)			11377	4,727		10 3 37-5		991		1107/		340		1(7)	8,280
3.71	12委託					.,			- ,				.,	0.0			0,200
	14工事		負費														
	18負担金	補助	及び交付金														
	その他					4,727				991				340			8,280
財源	(千円)					4,727				991				340			8,280
	特定財	源				1,706			4,'	703			3,	920			4,896
	市債																
	その他一般財					2 0 2 1			2 '	200				120			2 204
	一放約	까				3,021			٥,,	288			٥,	420			3,384
4 事	事業の原	뮕	・評価														
	 めざす状			中学校は	こおいて、	専門的な	技術指導	草を備えた	- 指導	算者が	不足して	いる学	校がる	ちるか	、部活動	指導員名	を配置す
			の成果)			員の負担				, д.,	1,20		1,7,7	,, 0,,	(H-/H-23)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- 101-
KPI	•					指	堙1							指	票2		
1 (1 1		(名(単位)			JHI	120, 1							JHI	<u>"С</u>		
		目標															
		実績															
			<u>'''</u> 責値の差														
	日保恒の																
<u>/二</u>			改革大統	図に甘べ	ン訓集)												
1J 					<u>/ 一計 1111 / 1</u>					=11/11/11	した根拠	. 珊由					
			意識	評価	PD > 1- /	7/r a l	_ 21	L = 1 							. =		
	(費用対	効果・	財源確保)	В	限られた	予算の中	で、谷林	八八二八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	月に台	 	指導員に	米でい	ただし	ハてし	1る。		
	Е	的思	12	評価							した根拠						
			ン (の寄与)	В		旦軽減として		有効である。	。また	、休日の	の部活動か	で地域移行	テになっ	った際に	こも、地域な	フラブの指	導員とし
				評価	(指導を1	行っていたが	にける。			●小田 I	した根拠	. 珊山					
			との協創 意見把握	計皿													–
			の活用)	_	現状として	ては指導員の	の人数はた	足りているが	が、今	後地域	移行の際に	こは幅広	<周知	と指導	員募集を行	う必要が	ぶある。
	デジタ	ル・デ	ータ活用	評価						評価	した根拠	・理由					
	(デシ	ブタル	の活用	_	現状の部	『活動指導	算員には	活用を考	えて	いなに	١٥						
		EBP	I V I <i>)</i>	≘π/ ==	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	· /H #// T	, , < 1 - 10				·。 した根拠	. 珊山					
	4/2	\ <u>_</u> =	तर / पट	評価	- 40	ナロンイエニュレ	****	1 1111 17 1						÷	· ^ ~	E1 - 01/ -	7711/-
	統	合語	тіш	В	これまで れた。	部活動指	得貝(/)	人致・店里	炉 时间]]【个.	走し(い	たか、ト	の中間	支は予	7昇の増数	に伴つ	(解消ご
	- 1112				1 いこ。												
事	業実施			R8年度	の休日の	部活動の	地域移 律	テに向ける	σ, t#:	域ク -	ラブの指	導員を:	+51.	確保	する必要	がある。	
	・残され	に誤	果題			HE/H 2/10/	- U~~V15/1	J. (-11-11)	- \ ^L	·->\/ .	\1D.	، ، جر د (ᄣ	, U.J. 5C		
											判断	理由					
	今後の耳	又組.	方針	강	善				下度に	ま地域	移行され	たタイ	ミンク	で、コ	上日の部	舌動指導	員の配置
				Ī		け必要が	<i>ヾナヽノ ナ</i> ヽ:	z									

		Ī							-	_		ı		
1 基本情報		,	-		教育政策		L — VII		関 (係	課			
事 業 名 No.	8	L			書館のあり									
	会計	区分	一般	会計	予 算			款	8		項	1 + 1 4	目	1
	学校·教	育				戦 略	的	施策	J			革大綱		1)
根拠法令等										事	務	区分		事務
事業期間 単年度	₹(年度)	単年	度繰返	(年度~	~継続	売) 🛂 🤻	复数年度	₹(R5	年度~	R6	年度)
2 事業の概要・実施内容	容													
事 業 目 的・こどもた 事業実施効果 せる人材			いがら多れ	様な価値	直観に触る	れ、世界	界や	社会に負	興味を持	持ち	、主体	本的に学	び、行重	かを起こ
学校図書館 とともに、記 (全体計画)	赤聿笠を介	トレア 創造的	りか活動を:	行う場で:	基づき、児童 ある。そのた づくりを日料	めの選	味・関	関心等に応 示方法、記	びて、自 売書スペ-	発的 -スな	・主体的	的に読書や 空間づくり、	学習を行う イベント等	う場である 等を学校司
事業の	対象	市内学校	図書室	· (0 - 7 - 7)	<u> </u>	170				(対	象数:	197	<u></u> か所)
		当初									1実績	į		•
30,00	0円×2 現察旅費 書室の展 20,000)円×19村	-円] づくりの!			やでは、実校記述が、	でする。では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番	膏の交流 対企業を う取り組∂ ひ研修・労	を図った 講師とし みを学ん も進校視 単地視察 や空間・	た。ま って打んだ。 見察 きがく	た、S 招聘し も 2, りの実	、今後の 200円>	責極的に 選書に資	取り組ん するよう
事業実	施手法	✓ 直接	実施	委託・	指定管理	負	担金	・補助金		の他	()
3 事業費·財源内訳														
+****/< E)		R5決算			R6予算現			ŀ	R6決算		100		R7予算	
事業費(千円)			0			50	0				182			0
12委託料 14工事請負費														
14上 ず 明只貝 18負担金補助及び交付金														
その他						50	0				182			
財源(千円)			0			50					182			0
特定財源														
市債														
その他一般財源						<u> </u>	_				182			
一放約源						50	U				182			
4 事業の成果・評価														
					共有しなたこ こきゅう									どもたち
KPI				標1							指	票2		
指標名(単位)			を全くし											
目標値	<u>/</u>]\	学校22.			3%より向]上	_							
実績値			未記	計測										
	全国学力 ため]・学習状	況調査の	質問項目	目から削除	された								
行革評価(行政改革大綱		<評価)												
コスト意識	評価	/- // -/- /-/	さけだ担め	#日記(大)記	다! 첫/종룡			た根拠・		>+ -+	- 日小	の弗田マグ	- 7 - 1 1+ 1	
(費用対効果·財源確保)	Α	先進校倪祭 がら取り組	系は近場の 引みを進めて	場所を選 た。	定し、交通費	夏の即派!	こ労の	るととも	に、展示。	力法も	う最少(の質用で行	える方法な	を上大しな
目的思考	評価					評	価した	た根拠・	理由					
ロリぶろ (施策目標への寄与)	В	先進校視察	 客での学校	司書同士	の交流を通	じて、読	書に興	県味関心を	持てる環	環境づ	くりに	ついて見識	せん ない はん ない はん こうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう	.0
5 14 (> () > = 15 00	評価							た根拠・						•
多様な主体との協創 L (市民等への意見把握		++ 0 * /	N+D++ 48	+\+\> > >	477 1 - 887 本 1					+\TΠ.	<i>l</i> ⁄2 ≠ ≠	1++-1 +-		
・民間活力等の活用)	В	巾内企業(り協刀を得 	なから、当	学習と関連し					な研1	修を美	施した。		
デジタル・データ活用	評価					評	価した	た根拠・	理由					
(デジタルの活用 ・EBPM)	Α	本の表紙を	EAIで作成	して図書	室に並べ、オ	との新	たな出	出会いの機	会を創出	出する	取り組]みを実施し	<i>」</i> た。	
	評価					評	価した	た根拠・	理由					
総合評価	В				学校司書るこより低コ								図るとと	もに、限
					ルエ夫を凝 ラッシュア									に行うこ
今後の取組方針	 現状	維持			の成果を流ための場と				書室が		ごもた	ちが多様	な価値観	記に触れ、

							15.1	H O 1						チノ	Κ μιι	щ-	'						
1	基本	情報	2					担	当	課	教育	指導	算課・	教育	政策	室	関	係	課	教育	総務誤	₹	
事	弟	ŧ	名	No.	9	「教	頭の	業務の	り再定乳	夏を	核とし	たき	学校の	の業剤	务改善	と教	で師の値	かきた	7改革	施策			
事	業	区	分	継続	会 討	· 区	分	_	一般会詞	†	予	算	費	目	款	7	8		項	1		目	1
施	策		系	4	学校·教								戦	略自	内 施		Ť	行	政改	革大	細		(1)
	拠沒				3 3													事		区	分		当事務
事	業	<u>1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 </u>	間	単年	슢/	4	度)	√ È	単年度終	品(石/		DE	在 R	き〜糸	业(丰)	1 1	复数年	_	נעני	<u>年</u> 年度		ΗΛ	ュチッカ 年度)
7	*	케	IPJ		又(一又)		丰十/文/	木匹(ΝS	+13	之	企 的67		交级干	/文(+15	2 -		十尺)
2	事業	の根	要	・実施内	容																		
事事	業 [業実	ョ 的 施効	り・ り果	教頭の負					発の観点	えとノ	ウハウ	を学	習し	ていた	きだき	、教頭	領職の業	務を	再定義	するこ	とによ	って学	校全体の
事	業	概	要	授業改善を 義し、働き 用いた学権	方改革を	推進す	る。モ	デル杉	なとなる	学校を	選定し	、教	頭等に	研修	等の機	推進会を	する。特 提供して	に、学	校運営 支援を	的核で 行う。ま	ある教	(頭の業 織変革	務を再定 プロセスを
E)	È体	計區		事業 (احاروان	תנאל החודם			IFECTIVE	1760	<u>ха с</u>	<u> </u>			(4:	対象数:		20校	>)
				3. 2/2 -	· //3 //		、 当初	計画											組実績			`	
				市内小中講師謝金		教頭に			多を実施	<u> </u>			た。	また、	次年月	医以降	入教頭(、オンのみな	ラインよらず、	による	対論や教	奴務主任	回実施し 壬といった ことを目
	中算年												的と	し、 イ より、	年度	の研修	多を録回	画し、重	動画コ:	ンテンツ	ソとした	こ。また	ここで日 :、オンライ :指導を
	主な	取組											行った		哉変革	プロ1	セスを月	目いた	:学校糾	織診圏	折による	る評価・	・測定の実
													施は	はでき	なかっ	た。	(4名の				,,		"G/C"
				事業実	施手法	5 🗸	直接	実施		託・技	指定管	理		負担	金•補	助金	i T	その他	! ()
3	事業	費・	財源	内訳																_			
						R5:	決算			F	R6予第	算現					R6決算	算			R	7予算	
事美	養性								0				-	710					505				615
		2委計		7 **																			
		工事																					
				及び交付金									-	710					ГОГ				(15
H+XI	ー (千	<u>の他</u>							0					710 710					505 505				615 615
只 7 次		<u>ロル</u> 定財	酒						U					/10					505				015
	市		<i>I</i> //																				
		の他																					
		般財											-	710					505				615
_	= **	·	- ш	=a; /ar	•																		
	「めざ	す状	態」実	• 評価 ! 現に	組織開	発の種	見点と	ノウル	ハウにつ	ついて	研修	を行	_T い、	学校	運営(である	教頭(の意識		ができ	た。	
		رحا	争系	の成果)										3								•	
KP		七七世	夕(単位)			タカ 古百 .	の時間	指標1 間外勤剤	女口士已	月/0/ \								指·	標2			
	-		目標				狄 頭		<u> </u>														
			実績					N 44	なし	30 /)												
	<u> </u>				545	- 1		—			kı — —	~ <i>4</i> .											
				責値の差 D理由	R6年月 ため	まにお	(1 (I	ま 美術	責を図る	到 到	当こ全	りな	こかつ	た									
2- -						ベノ==	<i>(</i> π.\																
1丁=	<u> 半 </u>	四(1	丁以	改革大組		ノく評	·加 <i>)</i>							=177/111	ı + +	=+bn	皿出						
				意識	評価							_			した村						h. ===		
	(費	用対象	効果・	財源確保)	В	オン	/ライ:	ンを交	大き	用し	1、録世		ンテン	ンツ化	とする	など	次年度	以降	のコス	スト削が	載に繋	がった	-o
			的思	10000000000000000000000000000000000000	評価									評価	した札	艮拠・	理由						
	(いっている。	В	教団	うの値	き方	改革に	白け	ての研	Ŧ修l	は実力	施でき	きたカ	、実	施校を	増や	すこと	が課題	 預。		
	\vdash				評価	37,-7	· · · /		-7(1-	3.7				_	した札					- то раз			
				との協創 意見把握																			
				の活用)	С	専門	家に	よる研	修を実施	もでき	きたが、	次年						にお	ける市!	民への	制知も	課題。	
	7			一夕活用	評価									評価	した村	艮拠・	理由						
			ブタル・ EBPI	の活用 M)	С	次年	度以	- 降は学	校組織	診断等	- 手を用い	いた	定量的	的·定	性的な	·評価	iを効果	的に	用いて	改善す	ること	が課題	i.
			בטרו	1-1/	評価										した札								
		松公	合語	亚征	西丁川川												≠ Ш						
		你还		тіш	С	4項	目全	てにる	おいて	和和	度以降	改割	島の≲	余地だ	がある	0							
	، بىند ك		1 -	-m P=	TT !	<u> </u>	4. 1.		/_ r*- 1. 1 -	A ~ -	+++- -			1	- /	EL —-			- #u #		. 1		1° \-
		実施され)課題 課題					年度以降的評価を						た取	組が	求めら			するこ	とがて	ごきた	が、次年
	^	·	_,_	- 01		,,		1.7 -								判断							
	今後	後の耳	メ組え	万針		改善			の時間			詩	間化の	の課題	題は引	き線	き喫緊	経の記	果題と	して捉	え、本	事業	を推進し

																			T				
	本情							-	当	課	教育指	導認	果·教育.	政策	室	関	係	課	教育総	務課			
事	業	名			10			対策										_				1 -	
	業区	分	11-17-5		計	区	分	一般	设会計		予 算		費目			8	_	項	1		目	1	
	策体		-	学村	交·教	育						単	比略的	り 施	策	J			革大約			1)	
	退法分																事	務	区分	जे	自治	事務	
事	業期	間	□ 単年	度(年	度)	✓ 単年	F度繰	返(R!	5 年	E度〜総	継続)	褸	数年	隻(年度 [·]	~		年度)
2 事	事業の	概要	・実施内	容																			
事業	美目 1	的・	今後、全国持った方に	動的に	- 数年 交や園	 間は続 で働い	くと . いてい	予想されて	ている講 制を整え	師不	足への対	応に	こより、生	駒市の	か講師:	不足を触	解消す	る。ま	た、多様	なバック	クグラ	ウンドを	=
事			教員免許だくための	の募集	€·採月	用·研修	別に関	する取組を	を進める	る。ま	た、特別	な経	験や能力	育で中	1の女性 oた方	主及び定 に明確な	年退なミッ	職され ション	た方)に、 を提示す	. 学校で ること	で、「生	してい <i>た</i> E駒市で	にな
(全	体 計	画)	ら講師をな事業(クタ	.めた す 象	教員	免許	F保持者	_ C (° i	再印包	至球有致·	を増	۳ ⁹ ه					象数		-	_)	
			Γι \ — ± #	h 会。	/모查》			計画 周知ポス	カー:担	ا ج. ا	±1/±⊓	-	中で注	HI 7	1120	コデフュ		且実績	i 料のLIN	디사+	고뉴스	1 1 大	≪ □
			経験の浅	以内に	は中に	ョ伯ハ 経験者	うり」	肉和ハス けた「いこ	こま教師	ルン・ル 巾塾」	実施								がとする				
			10	 /_ .		o ~ m						格	『バンク』	を開語	役し、オ	卜施策 0	の周知	コポス?	ターをス-	-/\°-	やドラ	ッグス	
油	算年度	σ	ポスター																周知した 全5回実活				
	デース		いこま教					千円				末	現在、L	INE를					ムによる				
_	_ 0 . [, 0, 1].	_											録を得る		£Ó∓≣Á∔→	1.22-	7 M						
												U	こま教館	训型 語	印谢个	Ն.∠≾⁻	TH						
			事業実	施 =	手法	√ j	直接	実施	委託	モ・指	定管理	!	負担:	金・補	助金		の他	()
3	直業費	• 財汀	原内訳																				
		/\'J #	אמניויי			R5	決算			R	6予算现	見額			F	R6決算	复			R7	7予算		
事業	費(千F							0					216					23				(68
	12委																						
	14工																						
	18負担 その化		及び交付金						-				216					22					. 0
日が百	ていれ (千円)	<u> </u>						0	1				216					23 23					68 68
10 IVIV	特定則	大原											210					23					/
	市債	J #/J \																					
	その化																						
	一般則	排.											216					23				(68
4 事	事業の	成果	•評価																				
	めざすれ			手軟	至な登	録方》	去のま	実現とター	-ゲット	の生	活導線を	老考原	慮した周	知方法	去によ	り、市内	内在住	の潜	在教員の	掘り起	こしを	を行い、	学
寄与	したこと	(事業	美の成果)	校と	:のス	ピーラ	<u> </u>	な連絡調	整によ	って	令和6年	度内	りの欠員	につい	いては	年度内	中にt	里める	ことがで	きた。			
KPI									標1									指	標2				
	指		単位)			講印	师登録	录者数(<u>[</u>		<u> </u>	ム)(人)												
		目標		_					50人														
		実績	100	<u>.</u>					30人														
	目標値分につ		績値の差 の理由					市内事業 上の効果				以上	:に得										
行革	評価(行政	改革大約	綱に	基づ	<評	価)																
		スト	意識	喜	平価								評価	した相	剥拠・耳	里由							
			·財源確保)		Α	低口	スト	で効果的	りな施領	策と	なってし	いる	0										
		3 A/A F	T ±4	1	平価								評価	した相	₹拠・ヨ	里由							
		目的原理	芯行 への寄与)		A	市内	の潜れ	 生教員の振	記り起こ	 しを3	主現させ	t :		-			い起こ		ち寄与する	ることで	できた		
					<u>, </u>	1113	* > / III II		47/60	-	, c-, u C C	, = 0			表拠・現		7,6	-01-		-		,	
			との協創 意見把握				- 	+ +	<u> </u>	. — _	27 5	10 -						- _					
			等の活用)		A	시마	事業	養者の協!	刀を得	• (л	スター	掲刀					かぐ	さた。					
			一夕活用	喜	平価								評価	した相	剥拠・エ	里由							
	(デ	ジタル ・EBP	_' の活用 'M)		Α	LIN	اEكا	ロゴフォ	ームを	組み	合わせ	るこ	ことで効	人果的	な登録	録と発	信の	シス	テムを構	築で	きた。		
				言	平価								評価	した相	え拠・3	里由							
	糸	総合語	评価		Α	東洋網	径済才	いう学校班 ンライン・M なってきて	全経新聞														
事	業実施			シぃ	·····································			てより迅		つか!	果的か	記譯	゚ゕ゙゙゙゙゙゙゙゙ゕ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	るよう	うから	ステハ	、 の ²	7姜					
	・残さ	れた 語	果題	<u> </u>	. , , , 	/ IC	J V 1	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<u>. Kr.</u> IJ .	~ X/J	V H J, Q/E						~ V J L)	\ <u></u>					
	Δ%.A	ньеп.	L 		IBY	> ∕₩++		±		–	-1+/-/-	7 € 1	L-+^		判断理 14×===		. / 1	√ \. √ \. γ \. γ \. γ \. γ \. γ \. γ \.	<i>-</i> -	√ ± ✓ '	- ~ \r	- ^- -	
	今後の	以加	ノ」亚		戏孙	維持		教員不足いるため		() (は毋牛	光 三	±9る3	- 本 1	は誅	起じめ	ツ、~	っ伎笠	メ牛间は	売へる	_丁刈	اللات	-
II				1				V 0/L	- 0														

							ויירו			., , .					尹木			<u>'</u>							
	基本情報							担	<u> </u>	•		教育	指導	課・	教育』	文策室	Ξ	関	係	課	教育網	総務語	果		
事	業	名	No.		11	37 11	3.1.1			ク更新	· 	7 /	A-A-	#		+4							_		
	業区	分	新規		計	区	分		一般	会計		予(費	<u>目</u> 略 的	款		8		項 死 2	<u>1</u>	८ ।जा	目	/1\	1
	策 体 処法令	系、华	4	子作	交·教	月							-		哈叮) 他	來		事	路路	革大区	 分		(1) 台事	
	業期	間		庄 /			E度)		出左	(中华)	= /			生用	こう とうしゅう とうしゅう とうしゅ とうしゅ とうしゅ とうしゅ こうしゅ かいしゅう しゅう こうしゅ しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	۷±۱	<i>J</i> 7	複数年月							
_							FI支 <i>)</i>		半平.	度繰り	×(_	牛は	之~祉	枕ノし	9 1	医女子 /	支(R6	年度	<u>.</u> ~	R10	J	年度)
			・実施内																						
事業	業 目 色美実施交	り・効果	多忙な教 備の時間	に繋	げ、児	童・	生徒の	学ひ	を豊た	かにする	る。														
事 (全	業 概体計		令和6年度 を進める。 にシステム	ゼロト が利!	トラスト 用でき	·型セ= るよう	キュリラ うになる	ティネ る。また	ットワー た、教育	-クの導	入て	、セキ:	ュリテ	ィを	担保して	つつ校	務系	と学習系	のネッ	トワーク	を統合	でき、キ	場所を問	問わる	女育DX ずに安全
			事業(カタ	寸 象	市														象数:		20村	<u>交</u>)
			+柱なり ワッ	<i>₹/</i> □ -	- 44 -	±∠1 — E	当初		-	11 11 5	±1+/-	-	,	7 С1	/ 	-1 <u>-</u>	71	#II #		1実績		ΔI	= 1 + +	击ケ/:	井 ナフ
			構築及び現状の環							・サル	天爪	<u>t</u>						·型セキ レ審査(
			新しいネ	シット	ワー	ク環	境の村	構築	、テス	ト運用	3			クの)構築	を行し	, }	当該ネッ	ナトワ	ークに	対応し	した孝	対育セ	キコ	ユリティ
決	算年度	か	教育セキ		ノティ	ポリ				у т п	,							た。また		楽に合	わせて	て教職	銭員が	使月	月する
	まな取組		構築業務		/委員	引動な		179		6千円 70千円			1	师才 構多	たの貝	貝信· 料	を 用	始した	0	17:	2, 60	9 ∓ F	Ч		
			【流用 ∠	1,66	64千	円】			,	011.	,						端末	賃借料	}		-, 66 4,66				
			教職員用	情報	報端:	卡賃	借料						-	プロ	コポー	ザル	委員	謝礼			2	8 T F	"		
			= * +	1 4	ィル																				
			事業実	. 他 -	于	✓	直接	実施	<u> </u>	′」委託	·指	定管	理		負担金	È•補.	助金	₹ ₹	の他	()
3 1	事業費·	財源	原内訳																						
→ 3117	#/~	-\				R5	決算				R	6予算						R6決算				R	7予算		
事業	費(千円								0						770 036				177,	<u>301</u> 609					3,65 <u>6</u>),673
	12委		鱼										17	9,0	130				12,	009				40	1,673
			スプラス 及び交付金																						
	その他]													734					692					7,983
財源	(千円)	LYE							0				18:	3,7	770				177,	<u> 301</u>				68	3,656
	特定則市債	「冰																							
	その他	<u> </u>																							
	一般則	掠							0				18	3,7	770				177,	301				68	3,656
1 3	事業の原	北里	• 評価						_												_				
	リスリー めざす状																	ることに							
			きの成果)							がロケー ができぇ		ョンフ!	ノーで	行え	えるよう	うになっ	った。	ことで、そ	それぞ	れの教	職員の	スタイ	ルに合	iわt	た働き
KP]				7373	(区/ \	O 545	76 C 1E	ин э	指標		, <u> </u>									指	票2				
	指標		単位)																						
		目標																							
		実績	値																						
	目標値	と実績	積値の差																						
7-1 1	分につ			· 四 · 一	#~	` / = ,	п <i>І</i> .т.\																		
1丁丰			改革大統	-		く 	<u> </u>							-	評価し	.大根	ı±bn .	理由							
			意識 財源確保)		<u>評価</u>	≱/- □	하는 ^	#1-	ケナフ	<u> </u>	έ λτ ≠	- 业主 	1 6												
	(貸用刈	划未•	!別源唯休/		В	纵坑	0.	、	サ9 る	端末数	汉で	7有宜	し、前												
		的思			平価	l									評価し										
	(施策	目標へ	への寄与)		В	教職	哉員 ♂)働:	き方改	な革に う	資す	「るよ [、]	うな					けし、構	築を	行った	-0				
			との協創	習	栖									i	評価し	た根	拠・	理由							
			意見把握 の活用)		С	先進	事例を	を研り	党し、構	築事業	者	からのん	ノウハ	ウも	活用し	ながり	う目に	的を達成	するた	こめに	必要なれ	ベットワ	フークを	·構夠	楽した。
	デジタ	'ル・デ	ータ活用	喜	平価									i	評価し	た根	拠・	理由							
	(デ		の活用		В		なネッ	トワ	ーク環	境でロ	ケー	-ション	フリー	ーなん	働き方	を実現	する	らため、セ	ジロトラ	ストセ	キュリ	ティ環	境での	構築	を行っ
		LDP	141)		<u>-</u> 平価	た。									評価し	た根	拠・	理由							
	絲	合組	平価			教贈	戦員の	働き	方改革	直に答っ	ナス	ように	ゼロ					<u>゙゙</u> ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙	-ワー/	プ環境	を構築	し <i>た.</i>	とで	教服	進員の
	-11	- , , -			В													る環境で						J 74F	~> < ~ /
耳	 業実施	<u>;</u> 上σ)課題	令和	17年	度か	いら運	用開	開始に	伴い.	新	ネット	ワー	クσ)活用	方法	を研	 修など	によ	り学材	現場に	こ広げ	ナ てい	き.	教職
	・残され									動きフ												,	•	- `	J- 1 1-7V
																半	断	理由							
	今後の	取組	方針		現状	維持	F	<u>_</u>	Π6 ′ Ξ	中二十	基金	1.+	אייל		_/_			運用し	711						
								I TD↑	10 1	タル	7	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トフト)-	ノと	וכוכ	ט טעוו	選用し	(()	\ 0					

													-пТ Щ .							
	本情報						担	当		教育総		!		関	係	課	教育指導	尊課		
事	業	名	No.	12		3 12 41.		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_ , ,,,	生進事業	_									
	業区	分		会計		☑ 分		般会計		予 算			款	8		項	2	E		1
-	策体	系	4	学校·	教育						戦	略的	施負	į			革大綱		(1)	
	退法令					<u></u>								+F-14L	事	務	区分		自治事	
事	業期	間	単年/	芟(年度)	単	年度網	巡(R) 牛	度~継	統) 🗠	複数的	牛及(年度~	•		年度)
2 📱	事業の	既要	・実施内	容																
事業事業	業 目 的 実施效	り・ 加果	高学年に 導するこ	教科担心 とが可	任か 能と	配置さ なる。st	されるこ 生徒指 ²	ことで、 導の面	学年: でも:	全体とし 多面的に	ンて教 こ児重	教科指導 童と関わ	尊を行う りれる(う体制が	が可能 果が見	となり 込まれ	、児童で る。	を多く	の教員	員で指
事(全	業 概体計 [鱼鱼	市内小学るが、全	4校にま ての学	いて 校に	も県か 配置さ	^{いらの専} れてい	科加暦 るわけ	記を申	申請し、i ないたi	高学な	年におけて	ける教徒 学校高学	斗担任5 年専科	制の導 斗講師	入に取 を配置	双り組んで さする。	ごいる	ところ	っであ
\ <u>+</u>	PT DI I	의 /	事業の	り対象	東市	内小学	校								(文	対象数:	1:	2校)
						当初										組実績				
			市内小学週4日3							置							講師を配 3日1人		□1 J	5 .
			週4口3	八週) Ц4	人い間	順で丁	/ 异拍唱	■		配		支 不时.	まり過	2010	八、延	12日1人	廻り		.Œ
:±1	算年度(ח	報酬 11	,060	千円		_							_						
	昇平反い		期末·勤! 通勤手当				円						625千 边手当		1.4.m					
		•	<u></u> 理到士=	312	. T H								四十三 291		+十円					
											~=	<i>-</i> 43.3 —		113						
			事業実	施手》	去	直接	実施	委	託・指	定管理		負担金	金・補助	金	その他	()
3 📱	事業費・	財源	京内訳																	
	- / · / ·	/\'J II/.	1/1 JH/		R!	5決算			R	6予算理	親			R6	- 算			R7-	予算	
事業	費(千円])						0				985				,230				0,374
	12委記		7 ===																	
	14工																			
	78負担金		及び交付金								1/	,985			11	,230			20	0,374
財酒	(千円)							0				,985				230),3 <i>74</i>),374
*\J\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	特定財	源									17,	, 703			11	,230				4,984
	市債																			.,,,,,
	その他																			
	一般財	源									14,	,985			11	,230			15	5,390
4 1	事業の店	战果	・評価																	
	めざす状			<i></i> タカルイ	l の ズ	· 4+.h4-	- n=v -+ >	· +> + > :-	· =	00.W. A.	<u>-, , -</u>	サルイン(ユレ・)	゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゠゙゚゚゠゙゚	\	∠>~ → .					
			(の成果)	谷教科	り糸	統性を	と踏まれ	になから	>、	門性の	高い	教科指	導を行	つこと7	かぐさ	た。				
KPI							ŧ	指標1								指	標2			
			単位)																	
		目標																		
		実績	值																	
	目標値の		責値の差																	
2= 11				- -	~'	= 111 \														
行車			改革大約		_	<u> </u>						=17./211	ンた根拠	ı, III ch	1					
			意識	評価		ار کند ۴۔	5 A 120 AI	⊁n±¥⊬⊸	<u>+</u> + \	-1- 14-	₹217 +					-				
	(貸用刈	効果・	財源確保)	В		小子的	(い)技事	き時数を	262	:に、1杉	さった				-	<u> </u>				
		的思	思考	評価								評価し	ノた根拠	l·理由						
	(施策	目標へ	(の寄与)	В	教	科の専	門性か	で高まる	るとと	もに学	年全	体で子	どもた	ちを見	ること	ができ	た。			
	多様な	注体。	との協創	評価								評価し	Jた根拠	l·理由						
			意見把握 の活用)	В	۲١	こま教	育・保育	育資格	バン	クを活用	ال	複数の	登録者	を講師	に任用	した。				
	-		一夕活用	評価								評価し	Jた根拠	い理由						
	(デミ	ブタル	の活用	В		業を行	こう トで	一	ジェ	 して行	って		J / C D(J/							
		EBP	M)			. ⊼ ℃1.) J T C	州个仓	· /ロ/1.	10 C1J	<i>)</i> (+ +0+	1 JM-						
	41.	\ <u>\</u> =	π/ 	評価	_	<u> </u>	7 / 10 +11	1	52##_P	-7 - 1	<u> </u>		ノた根拠			- T	r+ 27	451 - IF	1.30= 1 5	384071
	統	合語	Т 1Ш	В						「ること」 ・た。教員							でも多面に	りに児	運と	対わり
-	┃ ╕ ╇┍┱╇	. L .	SER 85		IFI	+ K / T	ر ۱۱ ت	, []	. ر ن	/こ。子入り	ママノ旧	切じ刀口	以半に「	ノンなん	J. 7/C0					
	■業実施 ・残され			県費非	常勤	講師と	この賃金	と格差が	が大き	きいため	、講	師の確	保が難	しくなっ	ってい	る。				
	ラスこイ	いこむ	不足艺			1							MAILE	作用						
	会後のF	70公円-	古針	珀	状維:	-								新理由						
	今後の国	以加入	门亚「	巩	1八祚:	14	専門性	きの高い	\教科	指導や	学校	その働き	方改革	を進め	りるため	り今後	も継続が	必要		

					124							'					
	基本情報			ı	T	-		教育組				関	係	課			
事	業	名	No.	13		交施設の言								_			
	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予算			款	8		項 - <i>i</i> - <i>i</i>	3	目	3
	策体	系	4	学校·教					蝉	略的	施策				革大綱		(3)
	処法令				建築基準	_							事	務	区分	目:	治事務
事	業期	間	単年/	芰(年度)	単年	度繰返	(年	度~継続	続)」(1	复数年度	₹(R4	年度~		年度)
2 1	事業の権	既要	・実施内	容													
事業	業目的	勺 •	学校施設	设の環境網	維持・改善 資すること		、老朽化	どが進む	学校加	を設の改	修工事で	を行うこ	とに	より	長寿命化を	を図り、	、安全で快
事(全	業 概体計 [没の大規格			すると	ともに	、学校邡	徳設のバ	リアフリ			める。		
			事業の	の対象	児童生徒		鎖員							象数:)
			E ± 0 //	-7 <i>- le</i>		計画	:			± 0 11.71	- <i>la</i> -=:-			実績			
決	:算年度(D		公常上 76,18:	事に向け <i>†</i> 6千円	こ美施設言	计(上中))	委 4 【F 4	託料(前 1,975千 R6→R7紅 1,975千	·円(契約3 繰越】	金額)×3	0%	≒12,	590千円	契約見	込)=31, 5
Ė	主な取組								仮	5千円 設校舎借 責務負担征	上契約 行為R6~	·R9)0 1	円				
			事業実	施手法	直接	実施	変託・	指定管理	理	負担金	ì·補助金	: ₹ 0	の他	()
3 📱	事業費・	財派	原内訳			_									_		
					R5決算			R6予算				R6決算				R7予算	算
事業	費(千円				•	17,323				,186				590		1,(028,602
	12委		名弗		•	17,323			76	,186			12,	590			29,071
	14工		見貸 及び交付金													•	967,239
	その他		及U又的亚														32,292
財源	(千円)				-	17,323			76	,186			12,	590		1,0	028,602
	特定財	源				. , , = = =				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			,				341,720
	市債								68	,500			11,:	300		ļ	510,000
	その他					17 222							1 .	200			177 000
	一般財					17,323			/	,686			۱,,	290			176,882
Γ	事業の の めざす状	態」		主体的に	こ学べる教	文育環境 ·	づくりを	進めるこ	ことが	できた。							
KPI		(中才				指	画1							指	悪 つ		
KPI		[名(単位)			1日1	示 I							1日1	示乙		
		目標				実施設	計 1校										
		実績				実施設											
		と実績	責値の差				-										
行革			改革大統	圏に基づ	(三評価)												
,,,,,,				評価	11 IM/					評価し	た根拠・	理由					
			意識 財源確保)	A	関係調と		#有Lか	がら、費	田祉				7掛1-	+ <i>†</i> -			
					IN IN INC	- ID TK C. 7	, 11 O B	八只	ינעניי		た根拠・		. J-4 1	,,_0			
		的思		評価	+/ / -	V# / ±\\± /	N 71 11	+ <i>i</i> - > -					14	↓ 日 /⊥' - '		-+-	
	(施策)	目標^	への寄与)	В	老朽化の	進んだ校舎	らの改修	を行つこ	とで、				境を	提供す	ることかっ	ぐきる。	
			との協創	評価						評価し	た根拠・	理由					
			意見把握 の活用)	В	教職員0	D意見を恥	恵き、教育	育大綱の	D視点	を取りフ	しれてい	く基盤を	作:	た。			
	デジタ	ル・デ	ータ活用	評価						評価し	た根拠・	理由					
	(デミ	ブタル	の活用	_	デジタル	・データ	舌用が一	-般的と	されて	こいない	事業では	るため	0				
	<u> </u>	EBP	IVI <i>)</i>	評価	, , , , ,	, ,,	H71376	73,27			た根拠・						
	統	合語	平価	В	来年度以	人降の工事	事にスム	ーズにつ	つなが				った。				
	▲ 事業実施 ・残され			近年のノ	】 人件費及で	び物価の高	高騰や既	 花存建物	に石糸	帛が含ま	れていた	場合は	、事	業費な	が増える可	丁能性が	·····································
	,,,,,,,,,	. Ср									判断	浬由					
	今後の国	汉組:	方針	拉	大	年次的に	学校施	設の大規	規模改	上							

					13.1	HO TIX				77	~ µ1 II.	4/	'						
1 基	本情報	B				担	当 課	教育総務	务課			F	関	係	課	教育政策	策室		
事	業	名	No.	14				学校整備事	業										
	業区	分		会 計	区分	一般	绘計	予 算	費				8		項	1			3
_		系	4	学校·教	育				戦	略的	り 施	策				革大綱			3)
	』法 令													事	務	区分	•	自治	事務
事	業期	間	単年原	篗(年度)	□ 単年	度繰返(年月	度~総	₺続)	✓ 被	复数年度	复(R4	年度~			年度)
2 事	真業のホ	班要	・実施内	容															
事業	美目的	b •	老朽化か	が進む建物				適な学校球 ることがで			は する	ことが	ができる	る。ま	た、将	将来の児	童生	徒数	を見込ん
事(全	業 概 体計 [要 画)				老朽化しい学校、生		三駒南小学 	校・	生駒国	有中学	校を	施設一					する	۰
			争 耒 0	リ刈家		計画	- 枸卯 十一	<u>F1X</u>							象数: 1実績		2校		
			倍臾調本	5 乃 7 以音り					培見	東調本	テ乃てド	信 贝)	確定(F						
\$ 1 11	笆午座/	7	基本計画 253千F 測量	ョプロポー 円	-ザル委員 5,675 -	員報酬・旅 千円	費·需用	費	旅	貴 量 数料		1	178 ⁻³ ,309 ⁻³	千円 千円 千円	<u>(22)</u>				
	算年度の Eな取組		基本計画ワークシ	画策定 1 ヨップ報	6,720 - 償費・需用	千円 月費 220	0千円						5,510 費·需/		167	'千円			
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	☑委託・	指定管理		負担:	金•補	助金	□ ₹	の他	()
3 事	事業費・	財源	內訳				_									_			
					R5決算			R6予算現				F	R6決算				R7	予算	
事業	費(千円					12,366				868					499				55,475
	12委記		3 弗			12,127			22,3	395				16,	819			4	17,882
			マリス 及び交付金																
	その他		X0 X11 m			239				473				(680				37,593
	(千円)					12,366				368					499				55,475
	特定財 市債 その他																	27	24,600
	一般財					12,366			22,8	368				17,4	499			2:	30,875
	事業の ほめざす状																		
	したこと		の成果)	主体的に	学べる教		づくりを注 標1	生めること	こがて	ぐきた					指	票2			
1 (1 1		名(単位)			111	13/ 1								JHI	ж с			
		目標	値		3	基本計画	を策定す	る											
		実績	値		2	基本計画:	を策定す	る											
	目標値の分につい	と実終	責値の差 の理由				-												
行革	<u>評価(1</u>	<u> </u>	改革大約		<u>'<評価)</u>														
			意識 財源確保)	評価 B	プロポー ⁴ 託業者を	ザル方式を 決定した。	採用し、費	用面だけで			した相 の目指			化する	らための	の基本計画	策定	業務に	携わる受
	B	的思	見者	評価	12. W						した根								
			ふう(の寄与)	Α	新しい学 た。	びに柔軟に	こ対応でき	る教育環境	竟を彗	整備す	るとと	きに	、学校を	拠点	とした	まちづく	りの初	点を	取り入れ
	多様な	·主休	との協創	評価	/_0					評価	した根	拠・	理由						
	(市民	等への	意見把握	Α	基本計画		 ちたり. ほ	·····································	域住	民. 教	7職員	の声	を聞く	機会 :	を設し	+ <i>t</i> = 。			
			の活用)	評価	±		77C 7 ()	ND 0 10			した相			ЖД	Сихт	,,,,,			
			ータ活用 の活用	計៕	-">" - " - 1	-» h	エロナン	南ルカトト・一十											
		EBP			アンタル	・ナータ	山田かー	般的とさ						0					
	総	合詞	平価	評価 B	意見聴りできた。	又を幅広く	く行い、基	本計画に			した相 、来年	_		本設	計・実	『施設計	につ	なげる	ることが
	<u> </u> 業実施 ・残され			近年の人		び物価の	高騰や既	存建物に	石綿	が含む	まれて	いた	:場合は	、事	業費な	が増える [*]	可能′	生がる	 ある。
											4	判断现	曲						
	今後の耳	又組	方針	拉	大	年次的に	二学校施	設の整備	工事	を実済									

					1-	_				<u> コフフ.</u>			20 T II		'					
	本情報				1		-	当 ·		教育総					関	係	課			
事	業	名	No.	15		_	運動場2												_	
	業区	分		会 計		亡	一般	绘計		予 算					8		項	3	目	3
	策 体 心法 令	系	4	学校·教	月						蚁	略的	」 他	朿		事		革大綱		3)
	<u>と </u>	节間	単年	莊 /	年度	١	Пжд	- 度繰	`듄/		左		<u>ب</u> خ+ /	. / Ż	复数年月	_	<u>務</u> R6	区 分 年度~	日元 R7	計事務 (年度)
				(+ 反)	<u> </u>	一反深	巫(反 ~	:70亿/	T:	女女人十万	모(KO	平反~	K /	平反)
			・実施内																	
事業事業	業 目 的 実施効	り・ 加果	屋内運動きる。	协場利用:	者の熱中	症	リスクを	を軽減	する	ことが	でき	るほか	、災害	時に	避難者	新の 生	生活環	境の改善	を図るこ	ことがで
事 :	業 概体計画	要 画)	でも、空	調設備か	をってし	١٤	ることに	よって	ご避難	離者の体	調管	管理に貧				る。		使用するこ		
			事業(か対 琴				字校6	校、	小甲字科	父1杉	ξ					象数:		'校)
			実施設証	+ 60	ョ [,] 264千		計画				宝	施設計		37 5	574千		狙実績			
				10校、中	学校6村	交、	小中学村	校1校)		(1)	\学校1	0校	、中等	,, , , , , , 学校6杉		中学村	交1校)		
			工事		466千							R6→R			1// 1	ш				
決	算年度0	D	工事管理	≝ 17. 6校、小「	,137千 4学校1							事 車管理			ŀ66千 37 千					
主	Eな取組		(1, 1, 1)	012(1)	1 1 1	· /	•								う,					
	R5決算 R6予算規額 R6決算 R7予算 業費(千円) 0 966,867 37,574 1,130,95 12委託料 77,401 37,574 23,66)				
	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 業費(千円) 0 966,867 37,574 1,130,95 12委託料 77,401 37,574 23,66 14工事請負費 889,466 1,085,09 18負担金補助及び交付金 1,085,09																			
3 🖣	・ 美美	灯冰	別人訳		DC油管	车			P	6予質돼	ョ姷				D6油質	ì			D7系質	ī
事業	費(千円)			NJ/N	T	0		- 11			867					574			
3.214	12委託	뫲									77	,401				37,	574			23,666
										8	89,	466							1,0	85,093
			及び交付金																	22,198
財源	(千円)						0			9	66.	867				37.	574			30,957
	特定財	源																		
	市債その他									9	66,	800				37,	500		1,1	08,700
	一般財											67					74			22,257
4 5			=\tau / \tau																	
	事業の原																			
	めざす状 したこと			主体的	こ学べる	教	育環境で	づくり	を進	めるこ	とが	できた	0							
KPI	•						指	標1									指	票2		
. (, _	指標		単位)				***	1.5.									***			
		目標					計完了													
		実績	値			設	計完了	校数	17 ∤	交										
	目標値と		漬値の差					_												
行 基			改革大統	 	ジン証価	7														
1J *				評価		<u>/</u>						評価し	<i>た</i> 柝	拠・	理由					
			意識 財源確保)	В	小中学		7校の整	備にた	いるだ		三課と					3444	果の語	い事業実	施を心掛	1+ <i>t</i> - 。
				評価	3.13	^ '	7 1000	umic c	, 0,	207(1/1/1	, прис	評価し				77.7	32/407/1	サルス	76 C.014	17720
			思考 (の寄与)	В	長内海	6 1 15	単に おとん	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ਾਂ ਹਾਂ≣⊞	型供た幇	はは					記/兄 2	維持等		性生た老	虚した
					连门连	三ノつ	اعرماد	317 C.	二四	以開で正	EI/FII 9	評価し				EI/N /	14171日	生、自工小	エムテン	思した。
			との協創 意見把握	評価)E/E (A)	_	地の与 :	B E	11-	L 7 *h +	<u></u>					=# +/	\ \ +=	コのまがる	7 4	
	·民間	活力等	の活用)	B	近年()	复	期の気が	<u> </u>	Fluo	トの熱中	证().					護石	4th F	その声が多	タかつに。	·
			ータ活用 の活用	評価								評価し								
		EBP		_	デジタ	ル	・データ〉	活用カ	Ņ— <u>Н</u>	投的とさ	れて					٥,				
	4.11		/	評価								評価し								
	総	合言	平価	Α							定で	事業を	進め	てい	たが、	補正	予算を	組み、前	倒しで中	学校の
-	- **	1 0	-mp=		上争に	有	手するこ	_こい	でさ	/ C o										
事	『業実施 ・残され			学校行	事や部活	動	との調整	整が必	婆。											
	,,,, C-11	. Ср	, ,,			7							¥	判断现	甲由					
	今後の耳	又組-	方針	現場	犬維持	ŀ	.1. 4 200	+a -·		5 67 /++ → −		·								
				'"	., 3	1	小中学校	父17村	父の	整備を₽	₹'7 こ	元了す	る予	疋で	ある。					

1	基:	本情幸	R						担	当	課	学校網	給食せ	ンク	7—			関	係		課	施設₹	'ネジ <i>メ</i>	小課		
事		業	名	No.		16	学校		ミセンター		修	工事														
事	業		分	継続		計	区	分	一般	会計		予:			目	款		8			頁	6		目		2
施	策		系	4		交·教	育						単	略	的	施	策		ŕ	亍 正	文 改	革大	綱		(3)	
_		法令		学校給負	法															F	務	区	分	自	治事	務
事	業	期	間	□ 単年/	度(年	度)	□ 単年	度繰返	፱(年	度^	~継	売)	✓	複数年	度(2	年度	~		6	年度)
2	事	業の	既要	・実施内	容																					
		目自				ンター	(小川]町)	は昭和5	7年か	られ	家働し	ており	人中	学校	交給1	食を	提供し	てし	いる	。学	校給食	の提	供を	継続	しなが
事	業 3	実施交	力果	ら施設設	強備の	の更新	f·改作	多を	行うため	、令和3	3年	度かり	ら夏休	み等	を	钊用	し改	修工事	をき	実施	して	いる。				
声	- 21/	<u>-</u> +Ωπ	a					て施	設・設備の	の更新・	·改	修を見	実施し	、今:	年度	<u> </u>	連の)改修]	事	の量	是終年	F度とし	して夏	夏休み	り期間	間に床
事(全	未合作	₹ が成 本計i	要 画)	470XII																						
				事業(カダ	寸 象			生徒及び	教職員	į)										象数:		3, 30)0人)
				E7=146 B	ロエク=	-Л . ЧҮ. ¬			計画						K 001	.⁄2=π.	44 A				実績					
				厨房機器 工事監理					20千円 39千円						幾器和 を備こ			₆ 5, 24,	50(39)							
				改修整備					309千円				5,	(1)	_ IIII)-			,		O 1	, ,					
) }	夬 貸	年度(カ																							
		な取組																								
				事業実	佐 =	千辻		与 +立 9		- 壬二	+1:		тн	- - -	担金	<u> →±</u>	: D+ Z	<u> </u>	Z-Olf	Ш	,)
					ルロー	丁仏	Ľ	旦技	夫心 _	_ 安託	• TE	定管	<u> </u>	_ 只	担立	₹ * 作用	س ات	Z 7	こり1	Ľ	(,
3	事	<u>業費・</u>	財派	原内訳			ר.	L 44			_	1 7 th	-TO-6-		_			D (` ' ' '	5-A-					100	/ - / -	
市出	坐 进	(千円	11				R5		31,030		K	6予算		,71	0			R6決) 0	96		ŀ	?7予	昇	0
事 5		12委記							7,364					<u>, / 1</u>							00					
	-	14工事	請	負費				2	23,666					,80							96					
				及び交付金																						
日十八		その他 千円)	,					_	31,030				12	,71	Q				20	2 2	396					0
别加		<u>] /</u> 特定財	源					_	31,030				42	, / 1	0					,,,	90					
	ī	市債																								
	Ė	その他							21 020				4.0													
		一般財	[31,030				42	,71	8				25	ا, ک	96					
4	事	業の	<u> </u> 戊果	·評価																						
		ざす状			施言	ひ・設備	備の頃	更新記	改修工事	の実施	āl こ	より、	安心・	安全	· な当	学校系	給食	の提供	を糸	米緑	して	実施す	けるこ	とが	でき	た。
		にこと	(事)	美の成果)																						
KF	'I_	指 標	■夕 (単位)					指	標1											指	票2				
	F		目標																							
	ı		実績																							
	Ī	目標値	と実績																							
	4	分につ	いて	の理由																						
行	革	平価(1	行政	改革大約	_		<評	価)																		
		□:	スト	意識	詔	評価												理由								
	(費用対	効果・	·財源確保)		В	更新	改修	を工事の は	内容を料	青 垄	 する	ととも						工事	を	行っ	た。				
		E	的馬	思考	評	価								評	価し	た框	剥.	·理由								
				の寄与)		В	施設	・設化	備の更新	・改修に	٦J	り、多	え心・3	全	学に	校給	食の	の継続技	是供	を行	うう	ことが「	でき	た。		
		多様な	注体	との協創	즴	雁								評	価し	た根	视·	理由								
				意見把握 (また)		_	多様	な主	体との協	綿削はた	式息	三してい	いない	١,												
	r			ータ活用	評	晒								評	価し	た根	视·	·理由								
		(デ		の活用		_	デジ	タル	・・データシ	舌用は	想力	包して	いなし	١٥												
	H		LDF	141)	討	栖								評	価し	た框	え 拠・	·理由								
		幺丝	合	平価			ф×	-	V + / 574TT	«Λ Δ- Λ	ψnυ-	6 ±∔₽ /1	H ≠ ½=													
					L	В	女心	・女:	全な学校	桁良(/) 	が性が	枕提伊	共 を行	つこ	<u>〜</u> ガ	・ (ごさ	:/こ	o								
	事	業実施	<u>;</u> 上σ.	課題	D4	午 庄	ベナロ	巨宁	了のため	性にか	١															
	•	残され	た記	果題	ĽΟ	十反	СТŧ	护兀	J V)/EØ)	14164	· U a	· · · · · ·														
																#	判断	理由								
	今	後の国	汉組:	方針					令和6年	度で当	纫	予定	ってい	た旃	:設・	設備	の	ちょぼう	修力	が宗	引し	た。				

1	基本	情報	Z						担 当 課	地地	域包护	舌ケブ	で推進語	果	関	系	課			
事	美	Ě	名	No.		1	生活	支援	体制の整備と総	合事	業の	充実								
事	業	区	分	継続	会	計	区	分	特別会計	予	算	費	目	款	3	IJ	頁	1	目	1
施	策	体	系	5	高齢	き	を援・阝	障がし	ハ者支援			戦	略的	施策	4	行政	久改	革大綱	(1)	(4)
根	拠法	ま令	等	介護保険	法争	有119	5条σ)45								事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	□ 単年月	芰(年	度)	☑ 単年度繰返(平	成27	年月	き〜継絡	売)	複数年度	Ę(年度~		年度)

2 事業の概要・実施内容

2 事業の概要	• 夫	
事 業 目 的 · 事業実施効果	地域における住民同士の支え合い活動を促進する。	
事業概要(全体計画)	 ▶ 各地域包括支援センターに第2層生活支援コーディネーターを 支援コーディネーターと地域活動の担い手や住民、関係者との信 ▶ 地域のニーズを踏まえ総合事業を充実することを通じて、多様事業の対象 	配置し、地域課題の抽出や社会資源を把握できるよう機能を強化し、生活 頼関係構築を図る。 な主体による生活支援の提供体制を構築 (対象数: 一)
	当初計画	取組実績
は毎年度の	 第1層協議体の開催 214千円 生活支援コーディネーターの配置及び資質向上研修の実施 43,400千円 地域資源情報提供システムの運用 2,389千円 地域ケア会議での地域課題の検討 地域ニーズを踏まえた総合事業の充実 163,099千円 【流用7,028千円】 	▶ 第1層協議体の開催(R7.2.4実施) ▶ 生活支援コーディネーターの配置(第2層scを全包括に配置)及び資質向上研修を1回実施 35,650千円 ▶ 地域資源情報提供システムの運用 2,390千円 ▶ 地域ケア会議Ⅲでの地域課題の検討(12月末時点延85回) ▶ 地域ニーズを踏まえた総合事業の充実に向けた視察実施 160,645千円
	事業実施手法 📝 直接実施 💆 委託・指定管理	負担金・補助金 その他 ()

3 事業費·財源内訳

	ישני ויישני אינאר	R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	184,531	216,130	198,685	227,878
	12委託料	83,693	98,297	86,510	105,034
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金	88,870	100,513	99,379	105,659
	その他	11,968	17,320	12,796	17,185
財源(184,531	216,130	198,685	227,878
	特定財源	72,326	84,869	77,021	89,379
	市債				
	その他	64,990	76,056	70,778	80,671
	一般財源	47,215	55,205	50,886	57,828

4 事	業の成果・評価				
	かざす状態」実現に したこと(事業の成果)			ディネーターを直営で1名、第2層生活支援= 、圏域の社会資源を把握し、地域活動の担い	コーディネーターを地域包括支援センターに各1名配置し、住民の い手等との関係構築を行った。
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)			総合事業参加人数	
	目標値			114,000	
	実績値			115,798	
	目標値と実績値の差 分についての理由				
行革	評価(行政改革大網	剛に基づ	(く評価)		
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	В	地域包括	f支援センターへの業務委託について	ては、客観的かつ適切に積算を行っている。
	目的思考	評価		評価	した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В	各地域包	2括支援センターに第2層生活支援コ	ーディネーターを各1名配置している。
	多様な主体との協創	評価		評価	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В		・作成に適切な選択ができるようケアマネジ 所にアンケートを実施し、その分析等を進め	ジント支援を起点にした多様な社会資源開発に向け、市内居宅 ているところである。
	デジタル・データ活用	評価		評価	した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	_	デジタル	活用を想定していない。	
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	C		が様な主体との対話を通じて支援ニ− Σ案までには至らなかった。	-ズの把握に努めているが、地域課題を解決する新た
	業実施上の課題 ・残された課題	生活支援	受コーディ	ネーターが効果的に役割を果たせる -	ように育成、連携していく必要がある。
					判断理由
	今後の取組方針	改	善		望生活支援コーディネーターが行う連携業務を支援し、 協働による体制整備を推進していく。

1 :	基本性			担当課地域包括ケア推進課関係課														
事	業	-		2		ナービス・シ												
	業		1111175	会 言			会計	予算		目	款		3		項	1	目	1
	策 .				支援・障が				戦	略的	施	策		_		革大綱		(1)
		令等			15条の45			A107	-	± 4M	(±)	÷-	与粉 <i>た</i> 」	事	務	区分	村	台事務
事	業	期間	単年	-	年度)	[√] 単年	度繰返(令和6	+ 5	支~継	統 <i>)</i> l	1:	复数年月	吳(年度~		年度)
			・実施内															
		的・ も効果	高齢化り	等に伴う 担うこと	生活支援 で、介護人	ニーズの増材の担い	曽加や訪問 手が増え	問型サール 、利用者	ビス <i>0</i> が希 <u>!</u>	の不足 望する	感への	か対 ビス	応とし が利用	て、生	E活援 る。	助サービ	スを介護	も プロ エー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	業法体言	概 要計画)	を介護の	プロ以外	護の基準を終の人材により	提供するこ	問型サーと とで、事業	ごス・活動A €の拡充を∣	\jを、? 図る。	介護事	業所以	外の	事業者(
			事 業	の対象	全駒市月									.,,	象数)
			禾 託車:	業者の選		計画			禾鼠	七事業	水 の:			取	狙実網	į		
	委託事業の実施(R6.9月~) 1,000千円 訪問型サービス・活動A事業委託の実施(R6.7月~) 68千円 まな取組																	
			事業男	実施手法 直接実施 全気・指定管理 負担金・補助金 その他()
3	事業	費·財	原内訳															
					R5決算		F	R6予算現					R6決算	算			R7予算	
事業	費(千					0				000					68			660
		委託料 工事請							1,0	000					68			660
			スス 加及び交付金	È														
	その																	
財源	(千P					0				000 343					68			660
	市債	財源								343					23			228
	その)他								395					27	,		261
	一般	関制源							2	262					18			171
4	事業(の成果	₹·評価															
		ナ状態」		R6.7	月以降の訪	問型サー	·ビス・活動	動A(指定	·委i	毛)利月	月者1	8名	のうち	、拡え	した	委託サー	ビスを3	名が利用
寄与	したこ	と(事	業の成果)	してい	る。													
KP		L IT 5	////				標1								指	標2		
	<u> </u>	<u> </u>	(単位)		サー	·ビス利用		(人)										
		実績					000 555											
		値と実	*IE 績値の差 の理由	当初は	事業の周知			ったため										
行吉				細に其・	づく評価)													
17-				評価						評価し	た根	拠・ ³	理由					
		コスト 開対効果	・思誠 ・財源確保)			ナービス・	 活動A(指	定)と同										
	三次									評価し								
	(旅	目的	忠 考 への寄与)	В	定例実施			受センター会						てい	る人の	状態像や利	用手順を	共有·確認
				評価	_	大につなけ	<u> </u>			評価し	た根	. 幼 n.。3	囲山					
	(7	市民等への	なとの協創 D意見把握			始するに際	し、総合事	業における						の取扱	い(状	態像)を、地	域包括支	援センター
			等の活用)	B ===/==		<u>「整理した。</u>	<u> </u>			= 	+ +0	∔ hn 7	тш-					
		ジタル・ラ 〔デジタ〕	データ活用 レの活用	評価		\7 m + +		. 4		評価し	/に恨	:拠· [;]	埋出					
		·EBI				活用を想	足してい	いない。			, 15	11	-m -l					
		総合	評価	評価		 養者、地域	包括支援	景センター		評価し 名事業				カ市の	 D総合	事業を理	解した上	 こで、事業
				С		きている												
1		施上の			護の人手を ス・活動Aを							護	員でなっ	<t1< td=""><td>ち対応</td><td>可能な方</td><td>へのサ-</td><td>ービスは</td></t1<>	ち対応	可能な方	へのサ-	ービスは
											半	亅断玒	里由					
	今後	の取組	方針	現	状維持	引き続き	·、訪問型	ー !サービス	· ·活動	助A(委	話)を	- を実)	ー 施して	- いく。	,		_	

						1- 1	нотіх	., , , , .			- -/	νμ ι ц.						
1	基	本情報	8				担	当 課	介護保	食課			関	係	課	地域包括	舌ケア推	進課
事		業	名	No.	3	介護に関	関する入▶	門的研修										
事	業	美 区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	(1)	3	項	1	目	6
施	釺	体	系	5	高齢者式	支援・障が	い者支援			戦	略的	的施:	策	í	5 政 改	革大綱	j	(1)
根	拠	法令	等							_				Ę	事 務	区分	自注	治事務
事	業	期	間	□ 単年/	度(年度)	✓ 単年	度繰返(R3	年月	き〜総 しょうかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	続)[複数	年度(年度~	,	年度)
2	車	業の t	旺垂	・実施内	宓													
						(事業所へ)	の就労のき	つかけづく	(りと、家族	介護の	の手法	を学んご	でいただ	くこと筆	4を目的	としている	。入門的社	研修を受講
事主	来 坐 3	目 自実施交	י ש	することで	で、介護分野	野への参入(のきっかけ	を作るとと	もに、介護	の業	務に携	わる上	での不安	を払拭	すること	により、多	様な人材	の参入を促
71 >	~ .	~ 116 ×	/J /K		こができる。 理題でもあ	。 る「介護人	材確保」の-	-環として	令和3年E	きから	、盟始1	た研修	である。	今後 歩	\$1.□ 人材:	不足が予測	される[]	5問系サー
事	業	概	要	ビス」のう	ち、家事援	助(当研修	修了者は従	事可能)な	どの人材を	を増せ	すこと	により、	本来の/	ヘルパー	-業務の	負担を軽減	ばすること	ができるこ
(全)	È (本計i				ンティアに	携わる参加	<u> 者も多く、</u>	地域共生社	1会の	実現に	もつな	がる。(3				0.1	
				事 兼 (カ対象		(計画)							•	対象数:		0人)
				研修実施	-	当机	計画			ZII.	多実施	<u> </u>		印	組実績	Į		
						遣)232	千円						派遣) 2	231 千	·H			
								50千円+	37千円							22千円+	-36千円	9=58千
3-	h Œ	年度(\sim	=87千	円					円								
		な取組																
	_	W4X41	•															
				事業実	施手法	直接	宝施 、		旨定管理	П	負扣:	金•補匪	加金	その作	ti ()
_	_	MK -#+							1,42 11-11		/ \]	11112	<u> </u>		<u> </u>			
3	事	業費・	財源	内訳	ı	ロロ油体		_		かち			D.C.	·十 公			DD 24	
古光	坐身	3/TIT	1\			R5決算		F	86予算現		210		R63		200		R7予算	
] 3		(千円 12委詞					280 268				319 232				289 231			319 232
		12安 14工					200				232				231			232
				及び交付金														
		その他	,				12				87				58			87
財源		千円)					280				319				289			319
		持定則	源				280				319				289			319
		市債	1															
	H	その他 一般財																
																	-	
4	<u>事</u>	業のF	<u> </u>	<u>・評価</u>														
		ざす状																広げるた
寄与	∌U	たこと	(事業	美の成果)	め、市内	の介護事	業所の担	!当者なと	ごに直接質	質問 出	出来る	場とし	て、マッ	ソチン:	グ会を	開催した。	>	
KP	Ρ <u>Ι</u>						指								指	標2		
	L			単位)				者数										
	F		目標					<u>(人)</u>										
	L		実績	値			41	(人)										
				責値の差	定員を	上回る応募	真があった	ため。										
		分につ																
行	丰	平価(1	<u> </u>	改革大約	岡に基づ	<u>(<評価)</u>							16m 1					
		□.	スト	意識	評価						評価し	った根	拠·理由					
		(費用対	効果・	財源確保)	В	県の補助	加金を活用	月して実施	もしている	る事業	業であ	り、市	の負担	はない	0			
	r		165日	—————————————————————————————————————	評価						評価し	った根:	拠·理由	}				
			的児 =標^	ぶ 行 、の寄与)	В	より多く	の人に参	 *カルて#	らえるよ	Э. Г	大報や	チラミ	などを	:用いる	たくほ	 引知を行っ	 > <i>t</i> = ,	
	H					0,75		7,10 (0	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				拠·理由		1111	37H C 13	-70	
				との協創 意見把握	評価	W 75 (PF	A 1											
				の活用)	В	業務経時	農富な免	ト部の講	帥を招聘									
				一夕活用	評価						評価	った根:	拠·理由	3				
			ブタル EBP	の活用 M)	l –	デジタル	・・データ を	を活用する	るものは	ない。	0							
	-		_DP	1-17	評価							た根	拠·理由	1				
		絲	合語	平価		定員数を	おうろは	う莫があり) 参加老					-	・吉が多	く問かれ)修了影	 正発行率も
		ባላር	· 🛏 🗈	1 1144	В		える結果					スルン	ונים 🧪 י י	ı~ı ⊂ .0	-1 -13-3	\IA]/J 1	ハックJD	س>۱۱ → O
	車	業実施	i Εσ)	大川(久)	の受講に。						で国みよう	らわから	ザ 雨 <i>†</i>	ンス兵	ません 地	 h⊓/=車役力	(1) 介護
		集美 ル 残され				クマ語にる 下足解消し			日1川でいり		元は、	い言ぶの)	ン1いい	ひ、史 ク	でなる。	神日の岩	川に茶り	ソ、八磯
		ノズビイ	v/⊂p/	IVACZS	771307		- F 7 O 0					业	除出田中					
	^	※	īπ&□-	L -21	IH/T	->4+ ±	加尔士马	2 ≠ +π > =	7 大 苔 ㅗ » -	+11	. ــــ		断理由		7 ^:	# 土土でた	/D / - == '	-
	7	後の国	以祖,	力	現初 	 維持			る応募がる					と考え	. る。介		1休に奇ち	する事業

					12.1		×,,,,,		7 1 7	1 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	-					
1 基	本情報	8				担	当 課	地域医療	烹課		関	係	課	介護保険課、	地域包括ケア	推進課他
事	業	名	No.	4	災害等に		きる市内図		の構築							
	業区	分		会 計	区分		股会計	予 算			4	_	項	1	目	1
-	策体	系	5	高齢者支	を援・障が	い者支持	爰		戦略的	的施力	策			革大綱	(1	
	』法 令											事	•	区分	自治	事務
事	業期	間	単年原	芰(年度)	□ 単4	年度繰返(年度~約	迷続)	√ 複数年	∓度(←	9和5	年度~	令和9	年度)
2 事	真業の#	班要	・実施内	容												
	美 目 				· ^+C (ED =++++	h>+	-n+1-+\1\	- F.E	^=# = #			7 1 P / LL /	L#II A	νων± - □	わいまる	
	実施交						·時におい									
事 :	業 概体計	要画)	するための	D地域BCF	Pに取り組む) o	局などの事業	美所間の連	携を目的と	する連携	^{長型BCP及}			限りある医	療資源を有	可効活用
			争 耒 0	リ刈家	生駒市民当初								象数: 11実績			
	算年度(Eな取組															療救護計 ことから 開催し、大 外部講師
				施手法	☑ 直接	実施	█ 委託・拮	旨定管理	□ 負担	金・補助	力金 🗌	その他	()
3 4	事業費・	財源	列訳		DENA				ti T		D.()+	- <i>f</i> -/-			DDZA	
市 班:	費(千円	1			R5決算	(6予算現	<u>額</u> 292		R6決	学	0		R7予算	40
争未	12委記						7		292				U			40
	14工事		負費													
	18負担金	補助	及び交付金													
	その他								292							40
財源	(千円)) <u>-</u>				()		292				0			40
	特定財市債	源							168 0							
	その他								67							
	一般財								57							40
	事業の原	北甲	· 虾(ボ	•												
	サ ス りが めざす状			厚労省の	 Dモデル事	業に採	 択され、被	災地の現		 5専門崩	の知見	<u></u> を活か	し議論	を進めた	ことによ	り、実効
寄与	したこと	事業	(の成果)	性のある	5議論を進	極るこ	とができた									
KPI		/			,		[標1	\					指	票2		
			単位)		研修会	会等の開	開催回数(回	回/年)								
		目標					3									
							3									
	日標値の		責値の差 D理由				_									
行革	評価(1	亍政	改革大綱	岡に基づ	く評価)											
			意識	評価					評価	した根	拠·理由					
			可以 財源確保)	Α	厚労省モラ	デル事業に	こ採択された	ことにより)外部講師等	等の派遣	を受ける	ことがで	き費用	の縮減を図	図ることがて	できた
		45 0	n +/	評価					評価	した根	拠·理由					
		的! ===^	忠考 (の寄与)	В	会和5年度	Eの議論な	・踏まえて、カ	大相模巛宝				ついて	議論を	進めること:	ができた	
					13413418	とマノ自死の間で	上回のんくい	八元沃火口				- 20101	一天の間で	E070CC	77. C & 72.	
			との協創 意見把握	評価	A						拠·理由	-	. .			
			の活用)	В	市医師会、	市内病院	に加え、奈良	見県の参画				論を進め	りること	こができた。		
			ータ活用	評価					評価	した根	拠·理由					
		バタル EBP	の活用 M)	С	被災地の現	見状等の	事例紹介にて	ついて厚労	省提供デー	夕を活用	できた。					
				評価					評価	した根	拠·理由					
	総	合言	平価	В	令和7年度	と 以降も総	継続した議論	を進めるこ	ことができる	 るように[関係機関な	から合意	を得る	ことができ	 た。	
事	L 業実施 ・残され						薬剤の管理 ていく必要			があるこ	とから、	引き続	き関	係者との	協議の場 ^っ	を設け、
					- 2300					判	断理由					
	今後の耳	又組	方針	現状	維持	市内病	院や医師会	会等と協力	力して実施			などを	通じて	引き続き	議論が必	一般と考

<u>1 </u>	基本性	青報	ł					担	<u> </u>	当	課	地域医	療課			関		係	課	介護保険	課	
事	業		名	No.	5				強化													
	業		分		会			分		会計		予 算			款	_	<u>4</u>	項		1	目	1
	策 /		系	5	高齢:	者才	を援・障	がい	者支援	Ž			戦	略的	施策	Ę				革大綱		(1)
根抄		•	_					-> F	7,,,,							1 + - 111	- /	_	務	区分		台事務
事	業	期_	間	単年原	芟(年度	()	単年	F度繰	返(年	隻∼継	続)ビ] 俊数	件片	度(令	扣5	年度~	令和8	年度)
2 -	事業(の根	要	・実施内	容																	
				市民が存 医療介護												こおけ	·る皇	型む場所	听で	の看取り	を行える	らように、
事 (全	業 ⁷ 体 i	概計運	ii)						きめに、	ACP	及び	グリー	フケブ	で実施	もした事	業所	対			助金を交付	けする。	
				事業の)対	象												(対象)
				◇補助金◇事業所			岡の作品]知	千円			令	和6年原	度中に	事業実	€施1	<u>取組</u> せず。	天 頼			
	算年 Eな取)																			
				事業実	施手	法	☑直	接実	施	委認	託·指	定管理	!	負担金	ὰ∙補助	金	<u>ੋ</u> ਵ	の他(,)
3 -	事業:	費・	財源	内訳			D E / T	h-h-				/ 	- +x			5.4	_ <i>\</i> _	-			D = 2 M	-
事業	速/コ	<u> </u>	· ·				R5決	算	0		Re	5予算现		125		R6	決算	1	_		R7予算	1,125
争耒	12								U				١,	0					0			1,125
	14:	工事	請負											0					0			0
			補助	及び交付金									1,	125					0			1,125
財源	その								0				1	0 125					0			0 1,125
火小小	特定		源											649					$\frac{\sigma}{\sigma}$			0
	市債	責												0					0			0
	その. 一点	D他 g財	店											258 218					0			0 1,125
				-										210					0			1,123
				・ 評価 ≷現に	A 10	<i></i>		سد ــــــ	4 -1-1- 1	1 _13												
	したこ			の成果)	令和	6#	度中に	- 事業		ます。 標1									指	漂2		
1/1 1		指標	名(.	単位)				#	請件数		(年)								JDI	N L		
		E	目標	値	介護	事弟	€所50	件	診療	所4()件											
			E績	-					-	_												
<u>7=∓</u>	分に	つし	170	責値の差り理由	य। - ±	t —	` ्र ≣क्त <i>ि</i>	-\	-													
1] 年 				改革大組	列し左 評値		<u> </u>	1)						評価し	た根拠	い理点	h					
				急識 財源確保)	pT∥ 	Щ	令和6年	E度に	実施し [・]	ていか	(,\ <i>†</i> = <i>k</i> :	<i>h</i>		и і іщС	アビスア	· /±µ	ч					
	(52)				評値		1511101	ا بداد	- / // // //		J -/ C 0	-		証価!	た根拠	լ. Ծ	Ь					
	/ / /		的思	見考 .の寄与)	□ 古 半 1	Щ	<u></u>	F FE 1 -	 実施し	711 <i>†</i> ×	11++	h		計画し	//こ作及が	" 庄口	Ц					
	()H	也來上	は「「「	の奇子)	===: /:		立即の	FISIC	- 夫他し	Cua	いりこの	<i>'</i>)		=क:/TF:I	+ +D+h	1 700-	Ь					
	(7	市民等	への	との協創 意見把握	評価	<u></u>	会和6年	E度に	実施し [・]	ていか	1.1 <i>†</i> - &	<u></u>		評価し	た根拠	い生日	Н					
			-	の活用)	=17./1	#F	13/14/02	FIXIC	- X /IEO	C 0118	0.720	,		〒(ボ)	た根拠	1.4甲口	Ь					
		(デジ	タル	ータ活用 の活用	評価	Щ	会和4 4	F FE 1 -	実施し [*]	アハナ	11=>	h		日下Щし	//こ1以7	: / ±0	Ч					
		۰	BPI	M)	<u>=π</u> /-	#	топот	一尺に	-大心し	CVIG	v 1/20	.,		च्च/≖।	た根拠	ı, IIII d	h					
		総	合評	平価	評信	Щ	令和6年	手度に	実施し [・]	ていな	いため	<i>b</i>		6千1畑し	//こ作文抄	⋭゛理廿	Ц					
寻	事業実 ・残る			課題 題	他市	のゲ	上進事例 ——	がな	よいこと	とから	、適宜	直経過を	を見て	つつ事業	業効果?	を検討	する	る必要:	があ	5る。		
															判胜	折理由]	_				
	今後	の取	組	方針	Ŧ	見状	維持	<u>_</u>	- -€1074	E度以	[条] —	車業事	協力	スーレナ	いら、重	(業年	協丝	ー の#£	タケ	目定める。	ひ亜がま	ころため

					ויין			,,,	<u> コノノ</u>))	*	木叮	叫 フ	1 '					
	基本情報	8				担	当	課	障がい	\福祉	課			関	係	課			
事	業	名	No.	6	障がい者														
	業区	分	新規	会 計	区分		一般会	計	予 算					3		項	1	目	3
_	策体	系	5	高齢者	支援・障が	い者ま	支援			戦	略	的施	策				革大綱		1)
	処法令														事		区分		事務
事	業期	間	単年/	度(年度)	<u> </u>	単年度	繰返(年	变~;	継続)	J	複数年	度(令和5	年度~	令和8	年度)
2 }	事業の	既要	・実施内	容															
事	業目的	勺 •	障がい者	f・児支援	きにおいて 供サービ						爰専「	門員の	人材	確保カ	が促進	きされる	ることで、	市内の相	談支援
事	業 概	要	市内の相談	談支援事業 目的として、	美所の新規開 、障がい者・	設や、 児相談	既存事 支援専	業所に、門員の	おける相 配置に係	談支援 る経費	専門調を対象	員の新7 象とし <i>†</i>	たな酉	記置·増員 金制度	員を促 の運用	進し、市 目を行う	 可内の相談す 。	を援体制の	充実を図
(全	体計i	画)			市内相談											対象数:)
			7 × °	7 73 3	当初		子木门	1								組実績			
			◇上半其	月	71/3	<u> </u>				補	功金	交付要	[綱0	制定	-1/\	ロエンベイタ			
			▶補助要	綱の具体	的内容の	確定				▶補	助制	腹の	開始	(R7.1	から)			
			▶関係機 ◇下半期	関への周	知等									費とし、 D交付る			たり上限	120万円	引/年と
	算年度(ヵ 度の開始	à					U,	⊃ ∓	未川の	K (0	רו אל	といい人	L٥			
Ξ	主な取組	l	補助経	費は人件	上費等とし	、1事	業所あ	たり1	20万円	3									
			/年を上		六 (土 ナ 10	_													
			3事業	かま ぐの	交付を想	Œ													
			市光中	佐壬士	T = ++	+/-		T =7 1	Ŀ. ^/- ⊤□		<i>2</i> . ↓г	7.0 44	- π⊥ /		7 A /U	. /			
			争耒夫	施手法	直接	天 肔		谷託・計	旨定管理	Ľ <u>√</u>	貝拉	金・補	即分	Î 1	その他	ነ (
3 }	事業費·	財源	原内訳																
					R5決算			F	76予算3					R6決	算			R7予算	
事業	費(千円						0			3,	600)				0			4,800
	12委		5 弗																
	14工		貝貸 及び交付金							3 /	600					0			4,800
	その他		及U又的亚							٠,٠	000	1				U			4,800
財源	(千円)	,					0			3,	600)				0			4,800
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	特定則	源																	.,
	市債																		
	その他									2	<u> </u>								4.000
	一般則									٥,	600	<u>' </u>				0			4,800
4	事業の	找果	・評価																
	めざす状			事業品/	への支援制	使を	::::1+ <i>2</i>	ニンフ	で市内	の相談	火去岩	至(木生)	の芸	宇が挺	はって	キス			
	したこと	(事業	美の成果)	事未/川′	(0)又]及中	ع کال			C (1117)	マノイロロ	火又认	성 (수) (기	ارره	, X , I) , X ,	3142 C				
KP.		 /					指標1									指	標2		
			単位)				事業所	<u>т </u>											
		目標					3					-							
		実績					0												
	目標値分につ	と実績	漬値の差 の理点	補助金数	交付の要件	ドに該	当しな	いかった	こため。										
%=±				 	;∕≕πÆ\														
1丁年					がく評価 <u>)</u> T						=17./∓	した村	e thn .	理由					
			意識	評価	他市事例	の研究	、補助	要件の	検討、事	業所へ					市の	実情にる	あった補助	制度を確	立するこ
	(費用对	効果・	財源確保)	В	とができ		3 1113-23	<u> </u>	17(1)(-)-	210/71					.1> 3	/CIII1-0	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	·F3/2 C FE-	
	l E	的思	思考	評価							評価	した村	艮拠·	理由					
			の寄与)	В	相談支援	轉門	員の人	、材確(保が促進	進され	るこ	とで、	体制	の充実	ミとサ	ービス	の質の向]上に繋カ	べる。
	多様な	主体	との協創	評価							評価	した木	艮拠·	理由					
	(市民	等への	意見把握	В	造がい ね	計サ・	ービス	利用和	きの増加	に伴	う、村	目談支	援専	門員へ	の過	重な負	担の軽減	が図れる	
			の活用)	評価	14/3 0 11	41111		. 1 27 12 1	7 47- 17	неп		した村					<1 </td <td>W12 ET 1 2 C</td> <td></td>	W12 ET 1 2 C	
			ータ活用 の活用			s/→ == -	タルト	7 4 5 1 1 1	主 事 处?	ハナキ					/± · ·	₩±1	\T++/-	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	
		EBP		С		(1) 安	神なる	1性中	ョ音寺(リメ香					(世し	196	八工夫を行	「フ。	
				評価								した村							
	絲	言念	半価	С													ニーズの抵	型握に時間	間を要し
				<u> </u>	たが、本	市に台	うつた.	人材確	保を進	のる」	こでの	り補助	体制	の確立	する	ことが	できた。		
-	事業実施			R6から	R8までの) 3 ታ ⁄	三計画	<i></i> だが	市内車	業所カ	バナイ	´使い*	∜ਹਰ।	/補助	制度	とかろ	ようPRカ	が必要です	5る.
	・残され	た説	果題 ————	1.0%				, , , ,	· !-! - -1-! -	~~1113	μ\	-			.XIL4.	_ 50			
													判断	理由					
	今後の	双組.	方針	拉	大	佘和'	7年度	予質1-	ま、対象	事業 可	「数さ	-1車	学证:	自力∏ . <i>+</i>	<u>⊢</u> ⊿≢	業所名	\$予定		
				I		13 J.H	,一汉	J #10	V \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		ו אא כ	- ・ サラ	12111Y	ニッロン/	ニーヨ	- 	- 1.V⊏0		

1	基本	情報	2						担当調	₹地	域包括	ケブ	で推進	課	関	係	課	介護保)検課、	地域医	療課等
事	業		名	No.	_	7	地域	包括	ケアシステムの	架化	・推進										
事	業	区	分	継続	会	計	区	分	特別会計	子	算	費	目	款	3	IJ	頁	2		目	1
施	策	体	系	5	高齢	き替	₹援・	障がし	/者支援			戦	略的)施 策	4	行正	文改	革大	綱	(1)
根	拠 法	令	等	介護保険	法争	有11!	5条0)45	第2項							事	務	区:	分	自治	事務
事	業	期	間	単年月	芰(年	度)	✓ 単年度繰返	(平	成27	年時	き〜継	続)	複数年度	₹(年度	~		年度)

2 事業の概要・実施内容

2 事業の概要	· 夫	
事 業 目 的 · 事業実施効果	地域共生社会の実現につながる。	
		連携体制をより強化。▶ 自立支援や重度化防止につながるよう、適切なア 計者など、医療・介護双方のニーズを持つ人の増加に対応するため、医療と 推進し、健康づくり・介護予防に市民自ら取組よう啓発する。 (対象数: –)
決質年度の	当初計画 ▶ 基幹型包括支援センターと名包括支援センターとの連携体制強化(基幹型包括支援センター負担金7,000千円、地域包括支援センター業務委託133,678千円、地域ケア会議開催委託2,143千円) ▶ 質の高いケアマネジメント(ケアプラン点検300千円) ▶ 医療介護連携 1,182千円 ▶ 自立支援に向けた介護予防の取組(家族介護教室委託863千円) (その他経費616千円))	取組実績 基幹型包括支援センターと各包括支援センターとの連携体制強化(基幹型包括支援センター負担金6,701千円、地域包括支援センター業務委託133,678千円、地域ケア会議開催委託1,470千円) 質の高いケアマネジメント 医療介護連携 344千円 自立支援に向けた介護予防の取組(家族介護教室委託 900千円)(その他経費 1,191千円))
	事業実施手法 ② 直接実施 ② 委託・指定管理	<u>✓</u> 負担金·補助金 <u></u> その他 ()

3 事業費・財源内訳

<u> </u>					
		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	143,714	145,782	144,284	145,930
	12委託料	135,619	136,685	136,110	136,807
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金	6,813	7,108	6,762	7,159
	その他	1,282	1,989	1,412	1,964
財源		143,714	145,782	144,284	145,930
	特定財源	82,995	84,189	83,324	84,275
	市債				
	その他	27,665	28,063	27,775	28,091
	一般財源	33,054	33,530	33,185	33,564

	リスペンがい			JJ,UJT	55,550	33,103	JJ,JUT
4 事	事業の成果・評価						
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)					支援体制の整備・充実に努めた。 議会の認知症対策部会を実施し7	
KPI				指標1		指標	2
	指標名(単位)		要	支援·要介護認定	E率		
	目標値			16.2			
	実績値			16.6			
	目標値と実績値の差 分についての理由						
行革	評価(行政改革大網	剛に基づ	く評価)				
	コスト意識	評価			評価し	ノた根拠·理由	
	(費用対効果·財源確保)	В	地域包括	支援センターへの	の業務委託について	は、客観的かつ適切に積算を	₹行っている。
	目的思考	評価			評価し	ノた根拠·理由	
	(施策目標への寄与)	В	基幹型地域	域包括支援センターと	と市内7カ所の地域包括	支援センター、その他関係機関と	連携し事業を実施している。
	多様な主体との協創	評価				ンた根拠·理由 <u></u>	
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В			選携した包括的かつ継続ほ 『部会を3回実施し、活発	的な医療と介護サービスの提供体 な議論を行った。	満の構築に向けて、医療介護
	デジタル・データ活用	評価			評価し	ンた根拠·理由	
	(デジタルの活用 ・EBPM)	_	デジタル	活用を想定してい	いない。		
		評価			評価し	ンた根拠·理由	
	総合評価	В			ターが中心となり、砧]上や質の平準化を図	肝修や事例検討会、地域ケア 図っている。	会議を通じ、各センターの
事	業実施上の課題 ・残された課題	事業実施	を上の大き	な課題は特にな	٠,١٥		
						判断理由	
4	今後の取組方針	現状	維持	引き続き、市や名	各地域包括支援センタ	ターと連携し、地域包括ケア	を深化・推進していく。

1	基本	情報	2						担当	課	地域	包括	舌ケブ	7推進	果	関	係	課	介護保険	課	
事	美	Ě	名	No.		8	認知	症施	策の推進												
事	業	区	分	継続	会	計	区	分	特別会計		予	算	費	目	款	3	J	項	2	目	1
施	策	体	系	5	高齢	また と おおり こうしん こうしん しょうしん しょう かいしん しょう かいしん しょう かいしん しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	を援・阝	障がし	ハ者支援				戦	略的	施策		行j	ひ 改	革大綱	(1)
根	拠法	ま令	等	介護保険	能法第	第11!	5条の)45	第2項								事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	□ 単年月	芰(年	度)	☑ 単年度繰過	፱(平成	27	年月	き〜継	続)	複数年度	₹(年度~		年度)

2 事業の概要・実施内容

2 事業の概要	** 美	
事 業 目 的・ 事業実施効果	 認知症の予防等を推進するとともに、認知症の人が尊	厳を持って社会の一員として尊重される社会を実現する。
	- 15 - 15 - 5 - 1 - 7 m 11 1 N - A max 1 A - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	若返り教室など認知症予防事業の展開▶認知症地域支援推進員を全地域 -ティング等、当事者の社会参加・意思決定支援の取組▶認知症支え隊の取 援▶ 県と連携した若年認知症の人の支援▶ 家族介護者支援 (対象数: 一)
	当初計画	取組実績
決算年度の 主な取組	 ▶ 継続的な啓発活動の実施 495千円 ▶ 認知症予防事業 ▶ 認知症地域支援推進員の配置 39,200千円 ▶ 当事者の社会参加・意思決定支援の取組 10千円 ▶ 地域ケア会議 ▶ 新たな担い手確保の取組 2,982千円 ▶ 医療と介護の連携強化 ▶ 家族介護者の支援 ▶ 介護者の負担軽減のための支援 事 若年認知症の人の支援 事 業 実 施 手 法 ☑ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 	 ▶ 継続的な啓発活動の実施(認知症サポーター養成講座、認知症月間における啓発) 520千円 ▶ 認知症予防事業 ▶ 認知症地域支援推進員の配置(全包括に配置) 33,399千円 ▶ 当事者の社会参加・意思決定支援の取組(本人ミーティングの実施(月1回) ▶ 地域ケア会議 ▶ 新たな担い手確保(認知症支え隊)の取組 1,449千円 ▶ 医療と介護の連携強化 ▶ 家族介護者の支援 ▶ 孝生認知症の人の支援 ▼ 負担金・補助金
	争 未 天 爬 ナ 本 ☑ 旦接天施 ☑ 安託•指疋官埋	/ 貝担金・佣助金 もの他 ()

3 事業費・財源内訳

<u> </u>					
		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	32,096	42,687	35,368	42,870
	12委託料	31,575	42,000	34,799	42,000
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金	40	80	40	
	その他	481	607	529	870
財源(32,096	42,687	35,368	42,870
	特定財源	18,535	24,652	20,425	24,758
	市債				
	その他	6,179	8,217	6,808	8,252
	一般財源	7,382	9,818	8,135	9,860

4 事	事業の成果・評価				
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)	啓発事業:		パーでのスローレジの導入、本人ミーティン 組んだ。	に認知症サポーター養成講座を実施した。認知症月間におけるグロ実施、当事者の外出促進等を目的とするボランティア(認知
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)		認知症+	ナポーター養成延人数(人)	
	目標値			16,565	
	実績値			17,639	
	目標値と実績値の差分についての理由	小中学村 いる。	交や事業所	「にも積極的に養成講座を展開して	
行革	評価(行政改革大約	岡に基づ	く評価)		
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	В	啓発なと	ごにおいて、事業目的達成に必要な費	用を精査し、事業を実施している。
	目的思考	評価		評価	した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В	認知症への	か正しい理解のある人や地域を増やすため、	認知症サポーター養成講座等を継続的に実施した。
	多様な主体との協創	評価			した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В		朴出促進、当事者の「したい」の応援などを目 支え隊)を養成し、活動を行っている。	目的に、通いの場への動向や電話支援などを行う市民ボランティ
	デジタル・データ活用	評価		評価	した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	_	デジタル	活用を想定していない。	
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	В		ナポーター養成講座や認知症の正しい より理解が深まったとの回答を得て	N理解の啓発を予定通り実施し、都度行っているアン いる。
事	議実施上の課題 ・残された課題				忍知症施策推進基本計画に基づき、認知症の人の立場に立った を援、家族の抱える負担感に配慮した取り組むことが必要とな
					判断理由
	今後の取組方針	現状		認知症の正しい理解を促進する事業を 相談体制や支援ネットワークの構築、当	継続的に実施するとともに、認知症地域支援推進員等による 事者の社会参加支援を促進していく。

							市本	U6#	-	アクコ	ンヨ	ンフ	フ.	ン゠	美	評価	ンー	-1									
1 基	本情	輯						担	当		課	国保	医療	課			月	Į.	係		課						
事	業	名	No.	(9	高齢	者の	保健	事業。	と介記	護予	防の·	一体	的な	実施												
事	業 [区分	継続	会	計	区	分	_	一般会	計		予〔	算	費	目	款		3		戼	Į		1		目		5
施命	策(本系	5	高齢	計	を援・隊	章がし	と者い	援					戦略	多的	施兌	策		彳	亍政	改	革	大利	岡		(1))
根拠	l 法	令 等	医療保険	制度の)適正	かつ対	率的	な運営	を図	るため	りの促	康保隆	倹法	等の一	部を	改正す	る法	律	=		務	[X /	分	É	治	下
事	業	朝 間	単年	度(年	度)	√ <u>j</u>	首年原	5繰近	豆(F	25	年度	~継	続)	複	数年	度(年度	~			年度)
	業(の概要	・実施内	容	1業と												 つ効	率的	に高	齢	者の				細カ	マン/	
事業	実施	動果	るととす								°¬I.	,—== 1	= `/	アプロ		チ/通し	<u>س</u>	提等	<u>۸</u>	痔椒	TO A of	即	5):-	. J.	\7F	司(兄-	データ
事 (全	業 体 計	既 要 一	ボース:	システ	ム等	から対	付象:	者を抽	出す	ると	.ユレ :とも	うに健	康北	犬態の)不够	者も	含め	保健	事業	を	実施	īυ	がでいる	<。			
			7 *	υ	· 水			」 計画													実績		小コとく	,,,,,	,,,	_	
			ハイリポピュ			コーチ	(個)	別的支		+日华	- ^ (レモギュ		▶ /\-	/リス ペコム	.クアフ /一ショ	プロ-	ーチ(- っプロ	個別	的	支援	(+日华	Λ <i>Φ</i>	1 ±+3.	66月	3 <i>E</i> \ •
			的関与			<i>)</i>	ш-	ブ (地	עטי טוַ	物寸	=/ \ U	ソ作貝代型		16筐		—Э <u>-</u>	ョ <i>ン</i> ,	, フL	J—-	ר(גו	せしい	U).	物守/	(0)	付付型	シロンリチ)
ት የ	算年月	ĖΛ	人件費	9,30	0千									人件	費7,	232	千円										
	昇平 ! [な取	-	需用費						300 -	千円						耗品					95=	ŦF	円				
	_ (54)	√ 1111	役務費	(週信	建 撒	貫)と	υU-	- 1-1						1女務	貝(坦	信運	附負	:)37	 '.	j							
			事業男	€施 €	手法	√ <u>[</u>	直接:	実施		委託	·指	定管	里		担金	ì·補助	金	V	その作	也 (,)
3 ∄	業	貴・財活	原内訳																								
	7,11					R5	集				Rθ	5予算	現額	湏			F	(6決	算					F	7予	·算	
事業								7,29	90					9,80	00				-	7,3	64					(9,800
		季託料	7. #																								
		L事請:	貝費 1及び交付金																			L					
	その		及び交割国	Z				7,29	20					9,80	20				-	7 2	64	-				-	9,800
財源(7,29						9,80							64						9,800
		財源						7,29						9,80							64						9,800
	市債	į						,														Ī					,
	その																										
	一般	財源																				_					
4 事	業(の成果	・評価																								
		状態」																									
	ノたこ	.と(事)	(の成果)						151#	1											161	· m·	<u> </u>				
KPI	±	á標名((単位)			#°-	7 /-	-ショ:	指標		工?	宇体色	白正								指	悰.	2				
	11	31宗石 \ 目標				ハヒ	1ν <u>-</u>	- ショ.	ر برر 13		7 -	天心区	키기		+												
		実績							16						\dashv												
	日畑		間に 績値の差	1,1⊄	田田	k1.= 5.1	· .≢‡	i問して			≛ か	ÿRP →	†Z	学 T	-+												
	分に	ついて	の理由	寧な	门制	の実	施	л п ЈО (- 世哲	女	⊭√Ji	元リカ 9 	_• න	<u></u> -													
行革	評価	(行政	改革大			く評(価)																				
		コスト	意識	評	価											た根											
	(費用	対効果	·財源確保) [3	事業	実施	に係る	る対象	象経費	費に	つい	₹,[既定(ひ上り	艮まで	委計	料を	収入								
		目的	思老	評	価									語	価し	た根	処・理	曲									
	(施		ふろ への寄与)	F	3	少し	でも	多く0)団体	大に実	 €施・	要望を	王上	げて	56	うため	、丁	寧な原	司知	こ多	子め 7	た。					
					価			- ''		= >						た根				- /	/	(-				
	(†	式等へ <i>の</i>	との協創 意見把握			対象	団体	に事	業の調	取旨を	を理	解し	₹			ろめ、			の際	121	切	体	に主任	本的	に関	わっ	ても
	٠Ē	民間活力等	等の活用)		3	らつ	た。																				
		ブタル・テ デジタル	一夕活用		価											た根											
	(テンタル ・EBF		[E	3	国保	デー	タシス	ステム	を活	用し	ノ、ハー	イリ .	スクの)対象	き者を	適正	に絞	り込	<i>h</i> 7	ど。						
				評	価		,							<u> </u>	価し	た根	処・理	曲							,	,	
		総合	評価		3	団体	への	周知	や、対	象者	fのi	適正な	紋	り込る	とによ	とり、P]滑(こ事業	業を	推進	生で も	÷ 7	た。				
重	業生	施上の)課題	徐左	71.7	プロ		し <i>た</i> ほ	体に	t増ぇ	71	ハるカ	ĭ, J	り多	くの	団体に	アー	プロ—	チっ	トろ	たか	51.	は、	マン	パワ.	_ <i>_</i> ტ	確保が
		れた記		必要		<i>)</i> Ц	,	U/C[1	4 I4/10	<u>~−⊟</u>	_	رر د .	٠, ٥	・ノグ	\V)	그 (누) (- / /	<i>,</i> ப	, ,	ره ،	, _ 0,	/IC	-10/	· //	• •	U)	ь ΕI 少 ′1,
	.,,,			<u> </u>												判	断珥	由									
	今後(の取組	方針		拡	大		用を言	旦のコ	片針 1	-:公	し. \ <i>た</i> トゥ	がら	#.市	ا <i>ح</i>				檢討	†I .	宝林	旃鱼	新	>谷.	クに	増や	してい
	/ 文(ノイ人小丘	ノノルー		JIA			きたし		ノルー	こノロ	v 1'd/	いつ	ינויט	_0	、少女	<i>'</i> ه د	-CE	1大市	, 0,	, , , ,	ושנ	回りって	- 1才、	۲ I C	→ 日 \^	0 (()
								_ , _ (. 0																		

						'	- I H	-							ナハ	.u i u	щ-	'								
1 基	本情報	3					担	3	当	謂	1	介護倪	呆険.	課				関	1	系	課	地域	包括	ケア推済	隹課	1 5
事	業	名	No.	10		ケアフ	゚ラン	デー	-夕連	携シス			入支	援	事業											
	業区	分	新規	会 言			分	_	一般会	計	-	予算		費	目	款		3	1		項	1		目		6
	策体	系	5	高齢者											略的	施	策					革大			1)	
	息法 令		生駒市ク	「アプラ	ランテ	データ	連携					舗助	金叉	で付	要綱					事	務	区	分	自治	事	務
事	業期	間	□ 単年/	芰(年度	Ę) [単	単年度	繰返((دُ	年月	き〜継	続)	∠ ネ	复数年	丰度	(R6	年	隻~	R8	í	年度)
2 事	事業の根	要	・実施内	容																						
事業	美目 的		介護事業所 データ連携 削減など、	所におけ 携システ	ム導ん	入によ	り、居	宅介	護支援	等業別	軽減	減や職いら介護	湯環 隻サ-	境(-ビ	の改善等 ス事業	手によ 听へ <i>0</i>	る生 カケア	産性 <i>0</i> プラン	か向. シの:	上を 手書:	支援すき、印	ること 剥など	を目的 の時間]とし、ケ 削減や車	アフ 転記:	プラン ミスの
事 (全	業 概体計画	要	ケアプラ						導入し	ノた事 	業	所に	対し	τ,	、同シ	ステム	ムに信	系るま	ライ・							
			事業の	り対	象 1																象数:		180))
			十極古光	Y ==== +/-		当	初計	迪_						+-+3	□ 古 ₩					取剂	里美	Ī				
			支援事業	₹天他									3	又17	援事業	夫他										
	算年度 <i>0</i> Eな取組)	▶ 要綱策 ▶ 周知·6 ▶ 年間利 21,00	研修会 J用料即	カ成((1事)	₩,	あたり	り))	▶ 月	長綱策! 引知・研 E間利! 1,00	「修会 刊料」	助成	(1事	業F	折あ	たり)					
			事業実	施手	法[直	接実	施		委託·	指;	定管理	里	J	負担金	҈҈ҥ補	助金		そ0	D他	()
3 事	手業費・	財源	内訳											_												
市业	弗/工田	· ·			ŀ	R5決	舁		$\overline{}$	ŀ	R6	5予算	児		931			R6涉	見		6 17 1		<u> </u>	77予算		,780
事未]	費(千円 12委託								0					1,	931						671				3	, /80
	14工事		負費																							
	18負担金		及び交付金											1,8	390						630				3	,780
	その他													1 /	41						41					700
財源	(千円)	活							0					٦,٩	931						671				3	,780
	特定財市債	까							+																	
	その他																									
	一般財	源												1,9	931						671				3	,780
4 事	事業の成	果	•評価																							
Га	かざす状! したこと(態」多	実現に	ケアフ 招聘し																			保中	央会か	ら調	講師を
KPI		TA	三 (7) 以 木 /	1045C	ノ、10/l		(교)케		//こ。6 指標1		וינן	.\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	./\	_		<i>,</i> , ,	. Op	印山山	J VH.	ـ15		。 標2				
KPI		名(単位)						事業												1日	示と				
		<u>. [</u>							(事業																	
	5	実績	<u></u> 值					48	(事業	所)																
	目標値と		責値の差 の理由	今まで 等から																						
行革	評価(彳	丁政	改革大約	剛に基	づく	(評価	<u>i</u>)																			
		スト	 意識	評価	ā										評価し	た根	拠・	理由								
			財源確保)	В	P	功成文	象に	よシフ	ステム	のライ	イセ	2ンス	料の)み	とし、	必要:	最小	限の	助原	↓を	実施し	ノた。				
		的目	 思考	評価	fi										評価し	た根	拠・	理由								
			かつ 、の寄与)	В	1	ケアフ	゚゚ラン	デー	- ク連:	携シス	ステ	<u>-</u> ムの	導入	、促	進のだ	きめ、	事業	所に	周知	印を	図 つ7	E.				
	₽ ₩±\	÷#		評価	Б										評価し	た柝	₹拠・	理由								
	(市民等	テへの	意見把握	В	厚			及び	国保中	央会。	より)講師	を招						携シ	ノスラ	Fムの	使用方	法に:	ついての	研作	多を実
			の活用)			施した	0								評価し	<i>†</i> _ t E	3+ <i>b</i> n .	畑山								
			ータ活用 の活用	評価		<u></u>	\ = *	4-1-1	LU	">	~ _	- 11 -	_,,			-										
		EBP		_		伸助金	注事身	ミレメ	対しく	、テン	ノシ	/ノレ・フ	г— <u>"</u>		·活用				٠١ _٥							
	4.15	^ -		評価											評価し											
	総	合語	平価	В												るが	、申詞	青件数	タか かんしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	伸て	が悩ん	でい	るため	か、導入	のな	办果
	- 114 11								なる																	
事	びままた。 ・残され			ケアプ 民間の												トや交	力果を	見極						があるか る。 ———	バ、芽	.在、
	A //:	_,_															判断									
1	今後の耳	X組.	万針		拡大	7									度であ 訴∧ <i>α</i>								こいた	が、令	和7	年度

1 基	本	青朝	3					:	担	当	課が	个護保障	食課				関	係	課	地域包括	ケア推	進課	
事	業		名	No.		11	介護	事業	所事業院	听指定	等申	請業務	の電 -	子化									
		区	分	継続	会	計	区	分		设会計	И	予 算	費	目	- 37				項	_	目		_
		体	系	5				障がし	\者支援	로			戦	略的	的施	策		-		革大綱		(1)	76
				介護保険		施行规		- 			\ <u></u>		<i>/</i>	- 4	ルシナン		复数年度	事	務	区分	目消	3事	
事	業	期	間	単年/	芟(4	度)	✓ 単名	‡ 芟裸	返(K5	年度	支~补	迷統)	f	复数年度	旻(年度~		Ĺ	F度)
				・実施内	容																		
事業事業	美国	色 対	」・ 対果	市内介語																	A NI/		- 11-
事 :				担当者のなかと考えら	文書 うれ、	事務に 生産性	係る負	負担の!	軽減を図 ながるこ	る。なお	à、介護	事業所	こおい	ては、	、ランニ	ニング	コストがス	不要で	であるが	」を活用し、 きめ、導入は な。	介護事業 しやすい	所及ので	び市 まない
` _			, ,	事業(カす	寸 象												., .	象数:		業所)
				① 事業/	5F.∧	の国		当初i		/(日:年)				韦内 /	の介証	# 車 当	₹ <u>⊒</u> €1 = 4:4		1実績	t CgbizID	の取得	レ重	2由
決	算年	度 <i>(</i>)	0	⊕ ∓*/	71.	О ЛЮ.	м(Э	DIZIL	74XITV.				請の	かけず	5を情 所から	報提		・ 件数	斉メ-	ール)ずみ	,074XI Q	- E	, L
" "	E な耳			② 事業i	听向	け説り	明会(の実施	<u>B</u>				の閉	開催に	は費用	対効		く、事	事業所	ではなか [。] 、市、双方			
				古 类 中	+/- :	エナ	<u> </u>	+ 1++	5.46 F	=	r 11		<u> </u>	<i>7</i> 10	^ ++	•n. ^		o // l-	,				
				事業実	他 -	于法	IШ	直接到	€施	委託	t·指定	定管理	<u> </u>	貝担	金・補	助金	₹	の他	()
3 4	事業	費・	財源	<u> </u>			ם בי	·+ 44			D	マケモ	かち		1		口人计位	-			DD 7 2	.	
事業	書(日	<u>- 円</u>)				K5)	決算	0		K6	予算現	.	0			R6決算	_	0		R7予算	1	0
子人	12	委託	斜																				U
			請	負費 及び交付金						1													
	70 E		們助	及U文刊並																			
財源									0)				0					0				0
	特定市債		源																				
	その)他																					
	—舟	財	源																				
<u>4</u>	事業(の反	果	・評価																			
				現に						めて行	い、介	和7年	度中	に市	内の	全事	業所から	らの目	申請を	電子申請	システム	コニス	受
		_2(争弟	美の成果)	けてか	引ける	足刀	かり	とした。	標1									뱐	標2			
KPI		指標	名(単位)			(冒	[子申	<u>1</u> 清によ)事業	所数							1日·	宗 乙			
		ı	目標	値						0													
		5	実績	值						6													
	分に	٦	170	責値の差 の理由	要な	ìgbiz	ID取	得につ	請の試行 いても事					こ必									
行革				改革大約	·		<u>く評</u>	<u>価)</u>						≣ग्र∕स	した札	⊟±bn .∶	珊曲						
				意識 財源確保)		陌 B	居中	きょう	郵学書/	の当に点	やす	学 品中						武小い	-nt	 いがった。			
	(吳)					B 評価	ДΕ	100	邓心良、		, I [,] \ ,	- * /// -			した村			W, D 1		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
	(抗			思考 (の寄与)		В							り事美)来庁	業所か 等回数	首治体 数を減ぐ	本ごと 少させ	に異なる さことに			入力する手た。	間を割愛	でき	るとと
	ī)	市民等	手への	との協創 意見把握 (の活用)	福	平価 _	事業	新に	よる申i	請方法	の変見	更にする			した村 か。	艮拠・	埋田						
		(デジ	ラル マル	一夕活用の活用		平価 B							ことに	より、		が自治	台体ごと			請様式に入		間を割	削愛で
		•	EBP	I V I)		栖	きる	ととも	に、事業店	<u> </u>	きによる	6市役所			で庁等回			るこ	とにも	つながった	0		
		総	合語	平価		гіш В			 化を推済 負担の				人介	護事	業所及			が双	又方に	おいて介	護分野(り文書	書事
事	<u> </u> ・残る)課題 課 題	電	子化に	375		介護事業														
																判断							
	今後の取組方針 現状維持 特別なできるよう推進していきたい。 つまず はいます ではいます 現状維持 おいまえ、年度当初等 事業所に対して改めてgbizIDの取得や電子申請の仕方等について周知し、市内の全事業所が電子申請 対応できるよう推進していきたい。												の取得										

					•		,,,,,,	コノノノ	/ ヺオ	ZD I III	47	1					
<u>1基</u>		2											系	課	ファシリティマネシ	゛メント推進፮	室 他
事	# 業 区 分 総統 会 計 区 分 一般会計 予 算 費 目 款 3 項 1 目 4 名														ı		
	# ※ 名 No. 12														-		
		_	5	高齢者:	支援・障が	い者支援			戦略的	り 施 <u></u>	策						
										,			_	務	区分	自治	事務
事	業期	間	☑ 単年/	度(年度)	単年	度繰返(年度~継	統)	☑ 複	数年度	ξ(R5	年度~	R6	年度)
2 事	事業の概	要	・実施内	容													
事 弟	美 目 的	5 •			501-411	ナフーレ	がマキフ	,									
事業	実施效	見	施設をよ	くり長くな	ズ至に利用	9 5 6 6	かぐさる	0.									
事	業概は対象	要								ぎの杜	優楽	ま、施言	分の :	老朽化	とが進んて	ごいること	こから、
\	LT. DI E	i /	事業(の対象	市内在住	の高齢者	Í						(対	象数:)
			・やすらき	デの杜優楽	€2階空調機	設備改修 .吃水改修:	8,646 [.] T車 6.9	千円 201千四	・やすらぎ	の杜優	「楽2) 「ぶバ	皆空調機 Ⅲ.コー_	幾設備 - 応の	まな修	7,896刊 修工車 7	┞円 ♀७⋏ヂ╙	ı
			・やすらき	の杜優楽	[高圧受変 電	設備改修	工事 7,	568千円	・やすらぎ	の杜優	梁高	王受変官	電設化	前改修	工事 3,8	808千円	
24.4	∞ /− æ /	,		·ビスセン	ター寿楽給	排気ファン	'取替工事	₹ 3,289	・デイサー	ビスセ	ンター	寿楽給	排気	ファン	収替業務	1,3207	·円 274m)
				の杜優楽	終給湯温水 器	B更新工事	(R5繰越	幼	. 6953	レノ作工 1多	€ 7 1111	勿皿小台	60000	別上事	「ハン派を)	ار کی,۵۵) /] /
	_ 0 /\/11		28,039	千円)													
3 事業費・財源内訳)	
3 1	[業費・	財派	京内訳														
	<u> </u>	/\'J #	31 3H1		R5決算		F	R6予算現	額		R	6決算				R7予算	
事業									54,433				46,'			Ç	94,380
			7 ***														
						5,195		į	54,323				3'7,4	475			40,711
		開助	及び交別並														
財源						7,039		Į	54,433				46,'	785		Ç	94,380
	特定財	源															4,908
																2	26,400
		酒				7 030			31 320				23	6 Q 1			23 072
						7,037		•	31,327				۷,	001			-5,072
				1													
				改修工	事を完了し	たことで	利用者は	こ長く安全	ミに利用い	ただ<	くこと	ができ	る。				
		十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	長の以未)											161	悪つ		
KPI		夕(単位)			方百代	宗 l							f百f	宗乙		
	日標値と	と実績	清値の差														
行革	評価(彳	亍政	改革大約	岡に基っ	づく評価)												
	7	スト	 意識	評価					評価し	った根	拠·珰	曲					
				В	計画どお	り改修が	できた。)									
		d/a F	————— H- *	評価					評価し	った根	拠·珰	由					
					計画どお		できた。										
	A144	~ / _) ottou		F177	7 -3(1)3 (1)		•		た根	- 初. • ∓⊟	由					
	(市民等	手への	意見把握	ртіщ	タ揺かう	- 体 レのせ	2合川-1十2	<i>+</i> > * ± <i>+</i> >		-	1/6 /2	-144					
				=11:/11	多様なエ	一件とりが	加引には	<u> </u>			∔hn TD	2 ets					
				評価				24.1.1.1.1.		-	拠•珰	出					
				_	デジタル	化やデー	タ活用が	バなじまな									
	,,,			評価					評価し	った根	拠·珰	曲					
	総	合言	半価	В	計画どお	り改修が	できた。	•									
	_ \\\				1	, , , ,	0										
事																	
	・残され	いこ記	未起										_				
	Δ%.Δ ¹¹	ከራበ-	L & I		h羊	-" /11	→ . +	. b + \\	士 1077-125		断理		c	b I	· 7 · 14 · 1	> +" \ 1 !	百心二
	今後の耳	X組.	力					/ター幸楽 '年度以降									愛栄に

					13.1	нО		., , ,			_	-	14	ІЩ		'						
1 基	本情報	R				担	필	当言	果	障がいる	富祉語	果			F	對	係	調	地域共	生社	会推	進課
事	業	名	No.	13	障がいる	針が :	安心し	て過ご	ť.	る居場	折の砧	確保·	·充集	₹(♯	也域	活動才	と援	センタ	一事業の	の充実	.)	
事	業区	分	新規	会 計	区分		一般	会計		予 算	費	目		款		3		項	1		目	3
施	策体	系	5	高齢者:	支援・障が	いき	首支援				戦	略	的方	包含	策	J	行	5 政己	(革大	綱	(1)(4)
根 拠	弘法令	等															事	事 務	区:	分	自治	台事務
事	業期	間	□ 単年/	叓(年度)		単年	度繰返	(年月	き~約	継続)) [/ 神	复数年	度(令和6	年度	~		年度)
2 事	単半の地	田亜	・実施内	灾																		
	美日的				サ ノー ナソナフ	7 P	担元一	ベノロレ	_	- 按方中2	± ₪ >	7 — \	-7:	ᄮ	古中	クウ	i. M	たになる	n +44++++	トの並	+ +>	六次の担
			が生まれ	い、地域共	性社会の	実现	見にも	寄与す	る	ことが其	待さ	れる	· ·									交流の場
事(全	業 概体計	要 画)	をはじめ	、創作的	する障がい 活動や生 	産活	動の	機会、社												福祉に	関す	「る相談
			事業の	の対象	主に精神			<u> </u>										対象数)
			. A = 114		当初		画				. 1/-	· 141- A	<u>— ш</u>		. =	= 344 - 0 -		組実統				
			▶台事業	所寺の_	一ズ把握						▶假	鉄り	争業	EP/T	八事	美():	打診	協議。				
24.6	- 一	T																				
	算年度(Eな取組																					
	- 047/11	•																				
			事業実	施手法	直接	実が	ti 🗸	· 委託·	·指	定管理		負担	金•	補助	加金		この化	t ()
2 =	5 *** #L	B+32	5-th=0																			
3 =	業費・	拟冰	7.60元		R5決算				D	6予算現	宮百				- [R6決第	当			D	7予算	Ť
車業領	費(千円	1)			NJ从开		0		11	U J' A M		0			- 1	10 / <u>/</u> 3	开	C		11.7	J'A	6,000
于不!	12委						-						1									6,000
	14T		負費																			0,000
			及び交付金																			
	その他	,																				
	(千円)	-NE					0					0						C)			6,000
	特定則市債	源																				2,250
	その他																					
	一般則																					3,750
	事業のI	# #	. =v/±																			
				7女より いっ	****	_`	· [2] - "- L		1 = r		*d		1461	=	**=	r 。 击·	** A	\+T=\^+	カ=辛 ナ ヰ		Z L \ .	7 4 1 1 1 1 1
	かざす状 ・たこと		€規に €の成果)		者か安心し 制等が整れ									チ	兼乃	「八事	美(),	りおり	協譲を美	・他しく	(616	るが、受け
KPI		(3-/	() ()	7 (1 0 PT)	10.41.0.TE.I	<i></i>	指		-10	1627		V V .0						埕	標2			
IXF 1		[名(単位)				JHT	示।										JE	'小不上			
		<u> [</u>																				
		実績	 値																			
	日標値	と実績	責値の差																			
	分につ	170	の理由																			
行革	評価(改革大約	岡に基っ	づく評価)																	
	Г	スト	意識	評価								評価	iした	.根	処・3	理由						
			財源確保)	D	事業所の)人	員体制	引が整え	۔ اے	ば、速やだ	いに季	託事	ま業と	とし	て近	≛めて	いき	たい。				
		45 0		評価								評価	iした	根	机・]	理由						
		的! === ^	公考 (の寄与)	С	既存のt	7 1/	ター の		F	を今めた							/ター	- の訳:	置い 向に		を進ん	
	(池水	口1亦′	(0)司子)		が行りに	ـ ر		四间延	: IX	(C D 0)/								UJEXI	르[다[민]]	加耐	<u>د بد</u> ر	رورو <u>.</u>
			との協創 意見把握	評価	精神障が	いかご	ちる坐!	車老か宏	2 1/2	生から と		評価の特					L L A	士からん	か時間帯に	- = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	ᇰᇸᆔᆉ	一を円
			息兄だ経 の活用)	С	場所の充					オかり、=	1爭伯	レノ作用 1	T471>3	Z/J^.	归作	10 129	いシ	カからい	(\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	C017 8	の旧砂	はいい方
			一夕活用	評価								評価	iした	根	処・3	理由						
		ブタル EBP	の活用 M)	С	想定しな	111																
		_DP	1-17	評価								評価	il <i>,†</i> -	根‡	刎•∃	理由						
	<u>\$4</u>	合語	平価		既存のt	フーノ	ターへ	の時間	3TF	長乃が							,	実策の	(検討を	 引き編		は議を
	ηνί	r	Т	С	行ってい			ヘントユーロ	严	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	۱۱/ ـ ′۵	۔ ڪ ھن		DΧ	ᄖ	- I-JI /	、 ノレ:	大水∪.	יואם).כ	コロウ	いごけ	ᄱᄙᄯ
車	東学宇族上の課題																					
	・残された課題 相談支援や居場所づくり・交流といったニーズに対応するため引き続き協議を行っていく必要がある。												る。									
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. Ср												圳	쌔刊	里由						
	判断理由 判断理由																					
	/ 120/1	八小口,	ועני	1 -2007	ハルボコノフ	継	続して	、事業の	\mathcal{D} :	打診協議	まを行	たいた	こがら	5、 棄	Fr.	なわる	ノタ-	-の設	置に向い	+た進	備を	進める。

					15.1	HO + 1X	.,,,			ナル	чіц	4-	'					
1 基	本情報	R				担	当 課	障がいれ	福祉記	果		Ē	関	係	課	地域共生	主社会推	推課
事	業	名	No.	14	親亡き後	を見据え	た支援((グループ	゚ホー	ム整備	请支援	(、地:	域生活	5支援	拠点	の充実)		
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款		3		項	1	目	3
施	策体	系	5	高齢者を	支援・障が	い者支援	:		戦	略的)施	策	J	行	政改	革大綱	(1	1)(4)
根拠	』法 令	等												事	務	区分	自	治事務
事	業期	間	単年	变(年度)	単年	度繰返(年度	き〜継	続)	✓ 複	製年	度(平	成29	年度~		年度)
	F **	17 AE	=======================================							,	,							
		100	·実施内		. +0	/// I B++ 1 %	+/ / \/	- I= I	111.1-1	·			\T		n 1 	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	_ , , , , , ,	40/ 1
	美 目 的		る。		人、親亡き													
事 (全	業 概体計 [要画)	機関と十	一分連携を	を図りなた	ぶら充実を	図る。	爱、一人着	₽らし [,]	体験事	業の	機能	を備え				点につ	いて、関係
			事業の	が対象	身体·知		がい者								象数:)
			. Detr. J. No. 3	せるまれ		計画	+ + %, , +	/ \\ \		- 1/s) A	244	~	1/10=//		且実績		-EA -	
	算年度(Eな取組		後も住み ①相談、 機能を備	メ慣れた地 ②緊急時 請えた地域	が単度 地域で安心 の受け入 域生活支持 円(相談3	いして暮ら 、れ、③一, 爰拠点事業	していた 人暮らし を実施	けるよう、 体験の3 する。	相				!(相談				、肤、店至	室確保等)
			事業実	施手法	□直接	実施	⁄』委託・扌	旨定管理		負担金	企•補	助金		その他	()
3 事	事業費・	財源	內訳			_												
					R5決算		F	R6予算現				F	R6決算				R7予算	-
事業	費(千円					4,221				152				4,	344			5,532
	12委記		5.世			4,221			5,4	152				4,	344			5,532
	14工		貝質 及び交付金															
	その他		及び文刊並															
財源	(千円)					4,221			5.4	152				4	344			5,532
767 IV37	特定財	源				3,165				089					258			4,149
	市債																	
	その他																	
	一般財	源_				1,056			1,3	363				1,	086			1,383
4 事	事業の原	战果	・評価															
	めざす状			地域生 法	舌支援拠点	ちのさらた	ころ充実	をめざし		暗がし	.\老(D—)	く莫ら	1.休馬	命の事	施に向け	ナた協議	を宝施
			の成果)		き度から事			20700	, 11H I T	P=13 (, . 	, ,	(H)	C 17+1/19	W 6 7 7 7	() G C -J .	, , C 1333 D3X	
KPI						指	票1								指	標2		
171 1		名(単位)			1111	2)(1								JH	IN. L		
		目標																
		実績	 値															
			責値の差															
	分につい	ハての	の理由															
行革	評価(1	亍政	改革大約	岡に基づ	く評価)													
	l ¬	スト	意識	評価	150	. 				評価し							. == >11/ ===	
			財源確保)	В	拠点文法 けた。	隻事業(安	計料)に	ついては	、 事 弟	きかと	十分[が 議る	を里ね	、貸用	月对奴	果の高い	\事業美	施を心掛
		45 0	n +/	評価	ال / ده					評価し	た根	ŀ枷∙∃	里由					
		的! === ^	公考 (の寄与)	В		 髪事業は划	htitの宝/	きに 広じ			-			レた	—————————————————————————————————————	————— 出車 才	車業品と	 レ#右
	()地外1	口1亦′	(() 向子)		观点又加	文学未られ		IFIC/I/UU						رح ک	IJIX	コザ11、	尹未川口	_ 八 月 。
			との協創	評価						評価し		拠・均	里田					
			意見把握 の活用)	С	関係機関	目と協議を	進めなれ	がら、事業	きを進	めた。	•							
	デジタ	ル・デ	ータ活用	評価						評価し	た根	拠・I	里由					
			の活用	_	想定して	いない。												
	(プラブルの)名用																	
	総	合語	平価	С		 5支援拠点 いるネット			める	こあた	つて	は、月		関が	協力可	『能な人』	員体制を	と踏まえな
事	業実施・残され			拠点事業	業は、地域	の課題と	ともに地	域の受け	ナ皿と	なる!	事業所	fなと	ご支援	体制(の整備	請が必要。		
											半	刂断珰	曲					
4	今後の国	又組	方針	現状	 (維持			ニーズでな			点の	あり	ナーファイン カモマ			る。家族会	会や関係	者と現状

					la	_		2, ,	<u>-</u>	コノ フ.	<i></i>	于木	7PT	Щ –	ı						
	本情報	R		_		担		当		障がい		課		B	関 イ	係	課				
事	業	名	No.	15	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •					の働き											
	業区	分		会 計	-			2会計		予 算					3		項	1	目		3
		系	5	高齢者	支援・障が	バしい	者支持				戦	略的)施	策				革大綱		(1)(4	
	退法 令						_									事	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	区分	-	治事	
事	業期	間	単年/	叓(年度))	単名	丰度繰	返(年月	き〜継	続)	✓ 複	数年度	₹(^	令和5	年度~			年度)
2 事	事業の概	既要	・実施内	容																	
事第事業	業 目 的 実施交	り・	企業等に	雇用さ	れる障が	い者	舌が働	きやす	たい耳	職場環境	を促	進でき	きる。								
			障がい者	がその	適正と能 を把握し、	カに	応じ	て、可i	能な	限り就会	労でき	るよ	う、企	業等	への障	がし	に関	 する理解	啓発や	企業	 や障
(全	体計画	画)			を記録し、												を図る 象数:)
			子	2 V 3	当社				, (, ,	-111111	20000	- 112	7 (3)+	.,5 0 - 1	-	.,.	组実績				
					ナポート運	動	の推進	や職場	易体	験受け						こつし	ハては	<u>·</u> 、複数の企	業に打	診。	
					業者との			+++/-=	ль	/ A" > . l	_				況(生駅 果16ヶ戸		殳所)				
					fをはじめ 施設の販				ጀ ገን	1ハント	•1	本験者	1	0名							
	算年度(() () ()		7000X * 7 7/X	⊬ ⊢ 3/	۵/۱۸	.3/2							拡大支 …51回		森毗/				
	Eな取組										• 7	冨祉シ:	ョップ	(庁外)5	出店	場所で	で開催(3事	業所支	援)	
															.回(延^ .用の呼			支援)			
											-11	アリに一度	とノし司可え	きりた	1HJV/PT	0.13	.1)				
			事業実	施手法	」 直接	実	施	✓ 委	託・排	旨定管理	1 _	負担金	金・補	助金		の他	()
3 1																					
		/\'J #/	איני איני		R5決算	Į			R	86予算現	見額			F	R6決算				R7子	算	
事業							С)				0					0				2,990
	12委計		3.世																	2	2,990
	14工事		貝質 及び交付金																		
	その他		及U文刊並																		
財源	(千円)						C)				0					0			2	2,990
	特定財	源																			
	市債その他																				
	一般財																			2	2,990
4 =			=\tau /==																		
	事業の原			1.7 - 5.	/山浬元	- 1+	-I " \ \ \	~I + i	-1224	+ 坪	<u>-</u> Л.— I	- フ 1四	± 0 8	I⊏ D∕2 +r	÷- 	☑≠、	⟨ឃ∢士।	て中佐	±1104	¥~.E	<u></u>
	めざす状 したこと		∈呪に €の成果)		く出張所なで令和6年														יווים או	守じゅ	괴제 9
KPI	•							標1				7						標2			
		名(単位)				,,,	11311									JH	13.1			
		目標																			
	- 5	実績	值																		
	目標値の分につい		責値の差 か細由																		
<u>行</u> 某				図1-甘~	づく評価)	١															
1J *				評価	ノ <u>、計画</u> / 【							評価し	た柝	製机・I	里由						
			意識 財源確保)	В	春田が	かり	上の声	17重業	* 宇 ‡	 施を心挂	ki+ <i>†</i> =		J, C D	(3/2).							
	-			_	臭バルトリ	X/J/ľ	CO/IDJ	V ' J' 'A	<	JE C 10.13		。 評価l	<i>+</i> _#E	3+bn . I	用由						
		的思		評価	中の	= 1/1	n >> ±		\= ₹ 1/1	ロナタフ				K177F. T	王四						
	(他束目	ヨ悰ハ	(の寄与)	B	一定の	可力	ПЛыШ.	氏八0.	ノ記さ	印を得る	رح			11hn T	m						
			との協創 意見把握	評価	1534							評価し									
			の活用)	В	就労支	援旅	語設へ	のPR [.]	やイ	ベント出	展の										
			一夕活用	評価								評価し	った根	拠・エ	里由						
		アタル EBP	の活用 M)	С	市HPを	活.	用した	周知	啓発	を行った	Ē.										
				評価								評価し	った根	拠・エ	里由						
	総	合詞	平価	С														推進は一次 を図る。	定の成	果が	でた。
事	・残され				設やイベン るが、更な															~運動	加は進
													#	判断理	曲						
	今後の耳	又組	方針	現物	犬維持		がいる る。	者の就	労ス	定着を図	るた	めに、	企業	や障が	がい者等	手の	ニース	(把握を)	寧に	テラル	多要が

					lad		., , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ノン ヂオ		<u>ا</u>					
1 基	本情報	7				担当	当 課 地域共生	社会推進課・障	がい福祉	課関	係		果		
事	業	名		16	高齢者及										
												項	1	目	4
	葉 区 分 機統 会計 区 分 一般会計 予 算 費 目 款 3 項 1 目 4 後 策 係 系 5 高齢者支援・障かい者支援 戦略 的 施 策 □ 行政 改革 大綱 (1) 以														(1)
			成年後見	制度利用	用促進法					_		事 務	区分		
事	業期	間	単年月	叓(年度)	✓ 単年	度繰返(年度~維	迷続)し	_ 複数	年度(年度~		年度)
2 4	事業の構	既要	・実施内	容											
事業事業	美 目 的 実施交	り・ り果													
事 :	業 概体計員	要	体制整備を 援を行う。	を図る。身	寄りがない	方や経済的	な余裕がない方で [:]	も成年後見制	しての役 度を利用	と割を担だ 目できる。	えるよっ よう市:	う、機能 長申立 <i>]</i>	強化に向けた 及び申立費用	た検討を引き報酬助	行うための 対成による支
			事業の	り対象			必要な高齢者・障	がい者)
			, , , , , , ,					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 		CT (1 CD +			績		
			高齢	3,699=	千円	≢		高齢	1,907	7千円	ス抜事:	耒			
決	算年度(D	▶ 権利擁	護支援も		理·運営	委託料				一管理	里·運営	委託料	15,10	1千円
É	こな取組		15,101	113											
	事業実施手法 □ 直接実施 □ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他(
	事業費・財源内訳														
3 1	手美賀・	灯池	別別		DC边質		D6N質	旧好		D63	油 笛			D7字	笛
事業	費(千円)			NJ八子		NO J' A			NO)		8.009	9	IX / J*	21,491
3.214	12委託	眯						15,101							15,101
			及び交付金			1 262		6 101				2 000	0		6 200
財源															
\C\1\1\1\		源													4,600
		泊									1				665
						1,039		10,130				J, 4 12			10,220
4 1	事業の 原	发果	<u>・評価</u>	1											
							能強化の検討、	申立·報酬發	費用助用	成の実施	施なと	ぶにより	ル、利用促進	進に向け	けた体制づ
		十月	その以来)	くりにっ	なかつし	•	西1					+1:	2抽つ		
KPI		夕(単位)		由立・報)				ŤĒ	1宗と		
					·1·			/							
	3	実績	値			1	1								
	目標値る			制度の和	川用者数が	が見込み。	より少なかったた	<u>-</u> め。							
行革	評価(1	亍政	改革大統	岡に基づ	く評価)				l						
			意識	評価				評価	した根	処·理由	3				
			財源確保)	В	利用支援	優事業につ	ついては、国庫補	助や県補助	を利用	して事	業を	実施し	ている。		
		44 F	n_ 	評価				評価	した根	処·理由	3				
			思考 √の寄与)	В			ーク構築に向け					核機関	としての権	幾能強化	とを見据え
				評価	た協議を	行った。		11111111111111111111111111111111111111	1.た根は	処・理由	1				
	(市民等	手への	との協創 意見把握	В	地域連携	表ツトワ	一ク構築に向け					を様な:	主体と連携	する足	掛かりと
			が (の活用)		なる取組	ができた	<u>-</u>	=17./3€	ı + +D+	hn TERCH	_				
			ータ活用 の活用	評価						処・理由	1				
		EBP		_	デジタル	化やテー	・夕活用がなじま								
	,,,			評価						処·理由					
	総	合:	平価	В			/ターの機能強化 実に進んでいる		立・報画	州費用即	助成の	実施な	ぶどにより	、利用你	建進に向け
事	■業実施 ・残され				携ネットワ ●を行う必		築に当たっては、 。	認知機能が	ー が低下し	 ノてもÉ]分ら	しく暮	らしていけ	るよう	な支援体
	判断理由														
	今後の取組方針 現状維持 権利擁護支援センターの機能強化に向けた検討を継続して行う必要がある。														

1	基本	情報	2					担	当	課	地域台	1括ケ	ア推進	課	関	係 囂	関 障がいる	国祉課	
事	,	Ě	名	No.	No. 17 高齢者虐待防止の推進														
事	業	区	分	継続	会	十 区	分	特	別会計	•	予算	算 費	目	款	3	項	2	目	1
施	策	体	系	5	5 高齢者支援・障がい者支援 戦略的施策 (1)										(1)				
根	拠	去令	等	介護保険	法第1	15条(カ45	第2項、	、高齢者	香虐往	寺防止	去				事 務	区分	自治	台事務
事	業	期	間	■ 単年度(年度) 🗹 単年度繰返(平成27年度~継続) 🗹 複数年度(年度~ 年度~ 年度										年度)					
-																			

2 事業の概要・実施内容

2 事業の概要	• 夫								
事 業 目 的・ 事業実施効果	今後増加が見込まれる独居高齢者や認知症の人などを	を権利侵害から守り、尊厳のある生活を保つ。							
事業概要(全体計画)		トワーク連絡会」の開催による関係機関、団体等との情報交換及び連携協 (成年後見人制度研修や高齢者虐待対応マニュアルに係る研修)による対							
. – – ,	事 業 の 対 象 生駒市民	(対象数: 一)							
	当初計画	取組実績							
決算年度の 主な取組	 ▶ 高齢者虐待防止に関する市民向け啓発 ▶ 高齢者虐待防止ネットワーク連絡会の開催 94千円 ▶ 高齢者虐待の防止及び養護者支援に関する研修による対応力向上 227千円 ▶ 高齢者虐待に関する事例検討会 60千円 ▶弁護士相談 824千円 	 ▶ 高齢者虐待防止に関する市民向け啓発 ▶ 高齢者虐待防止ネットワーク連絡会の開催(1回) 34千円 ▶ 高齢者虐待の防止及び養護者支援に関する研修による対応力向上(4回) 40千円 ▶ 高齢者虐待に関する事例検討会(2回) ▶弁護士相談 528千円 							
	事業実施手法 🔽 直接実施 🔽 委託・指定管理	□ 負担金・補助金 □ その他 ()							

3 事業費·財源内訳

	-> <>< //> // // // // // // // // // // // // //	R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	603	1,205	602	939
	12委託料	544	824	528	560
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金				
	その他	59	381	74	379
財源(603	1,205	602	939
	特定財源	348	696	348	542
	市債				
	その他	116	232	116	181
	一般財源	139	277	138	216

<u>4 事</u>	事業の成果・評価												
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)				D高齢者虐待防止研修会や事例検討を実施。また、高齢者虐待防 関との情報交換や連携協力体制の強化に努めた。								
KPI				指標1	指標2								
	指標名(単位)		Ē	高齢者虐待事例検討									
	目標値			4									
	実績値			3									
	目標値と実績値の差 分についての理由		例検討会 『施したた	ではなく、居宅支援事業所向けの研め。									
行革	評価(行政改革大約	剛に基づ	く評価)										
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由								
	(費用対効果·財源確保)	В	個別事例	固別事例に対する弁護士相談方法を見直し、費用対効果の高い事業実施に努めた。									
	目的思考	評価		評価した根拠・理由									
	(施策目標への寄与)	В	専門職向けの高齢者虐待防止研修などを実施することにより、理解やスキルの向上に努めた。										
	多様な主体との協創	評価											
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	警察、民生委員、ケアマネ、医師会など多機関が高齢者虐待の防止に向けた情報交換や連携協力を行うための高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を開催し、活発な議論を行った。										
	デジタル・データ活用	評価	評価した根拠・理由										
	(デジタルの活用 ・EBPM)	_	デジタル活用を想定していない。										
		評価		評価	した根拠・理由								
	総合評価	В	高齢者虐 ることが		E通り実施し、専門職やサービス事業者の理解を深め								
事	詳実施上の課題 ・残された課題	いる権利技	雍護支援セ		ースの支援を行うため、権利擁護業務の強化が求められる。社会福祉協議会に委託して 成包括支援センターが連携し、機能強化を図りつつ、ともに知見を出し合い、司令塔機能を 5。								
				判断理由									
	今後の取組方針	現状		引き続き高齢者虐待防止研修を実施するとともに、多機関と連携を強化し、権利擁護業務 を強化していく。									

				令和	06年度	アクシ	∃.	ンプラ	シ	事業	評価	シ-							
1 甘土桂却					+ \		1 4	₩+ =! ++ <i>F</i>	⊢÷∔∠	>+#\#:	=	E	· 関	<u>係</u>	=⊞	障がい福祉調	3	田学ワ語	
1 基本情報 事 業 名	担 当 課 地域共生 ☑ No. 1 重層的支援体制整備事業(かさねる										誄	l i		1余	誄	降かい価値 記	末、土冶又抜品	末守 / 誄	
• • • • •	No.	1					<u> </u>				± 5				æ	1		1	
事業区分	継続		計区	分	一般	会計	7	予算	費	目	款	·/-	3		項	1 # 1 # 1	目	1	
施策体系	6	地域	催 化						戦	略的	他。	朿	✓ <u></u>			革大綱)(4)	
	社会福祉									- 651	·>	1.4	= **-	事	務	区分	目活	事務	
事業期間	単年/	芟(度)	単年	度繰返(年度	を一継続	続)し	袳	数年周	芟(R4	年度~		年度)	
2 事業の概要	・実施内	容																	
事 業 目 的・ 事業実施効果	既存の支 る包括支	援では 援体制	「はざま _」 や断らな	とな い相	る方や複合 談体制、多	合的な課題 8様な参加	夏を 1支	を抱えて 援、地域	いるだ	らに対し りを支え	って、事 える体	業者 制を	皆や市区 横築す	団体る。	と連携	続し、あらり	る支援に	対応でき	
事業概要	·相談支援·参	參加支援·	・地域づくり	を一体	的に実施する	る包括支援(・専門職を 心に相談支援	配置	し、地域住	主民とともに参加支援・アウトリーチ支援を行う仕組みと伴走支援の体制を構築する 社会参加が一体的に行える機関の設置								3		
(土 体 引 画 /	事業の対象生駒市民									(対象数:									
			当初計画								取組実績								
	・かさね ・いこま ・わがご	る主任	推進員		置(2名) 置(2名)					・かさねるいこま職員の配置(1名) 5,937千円 ・いこまる主任推進員の配置(2名) 5,233千円									
決算年度の 主な取組	・福祉イ/ ・相談支 ・その他	ベント 援記録	実施事業	金 1,200千円			・相談支援記録システム構築・保守 1,176千円 ・その他 338千円												
	事業実施手法 ☑ 直接実施 至託・指定管理									☑ 負担金·補助金 ☑ その他()		
3 事業費・財源	原内訳																		
			R5	決算		F	R 6	予算現				F	R6決算				R7予算		
事業費(千円)				1	4,009				25,2					12,6				51,636	
12委託料 14工事請負	3 弗				381				827 17 26,45						26,451				
14 1事 請 18負担金補助					<u> </u>													400	
その他	<u> </u>			-	13,514				24,4	-50				12,6	667			24,785	
財源(千円)									25,277 12,684 51,6						51,636				
特定財源 市債		7,875					7,875 6,300						31,500						
その他					(124										0.4	20.121			
一般財源					6,134				17,4	102				6,3	384			20,136	

4 事業の成果・評価

<u>4 </u>	事業の成果・評価											
	かざす状態」実現に したこと(事業の成果)			もり状態にある方やその家族に対して民間の団体や ことで対象者の社会参加が拡大している								
KPI				指標1	指標2							
	指標名(単位)		重層的支援会議・開催日数(回)									
	目標値			12								
	実績値			12								
	目標値と実績値の差 分についての理由											
行革	評価(行政改革大網	剛に基づ	に基づく評価)									
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由							
	(費用対効果·財源確保)	В	コストを抑えながらも、必要な支援を提供できた									
	目的思考	評価	評価した根拠・理由									
	(施策目標への寄与)	В	常に地域で困りごとを抱えておられる方が課題を克服し、安心で安全な生活を送ることを目標に、様々な支援機関や団体と手を組み、支援を行うことができた									
	多様な主体との協創	評価	平価 評価した根拠・理由									
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	С	わがごとカイギのワークショップ等一部事業が実施できなかったが、支援の提供という点に関しては民間の団体と 働できた									
	デジタル・データ活用	評価		評価した根拠・理由								
	(デジタルの活用 ・EBPM)	В	相談支援記録システムの構築等、デジタル部局と協働し形にできた									
		評価		評価し	した根拠・理由							
	総合評価	В	地域で困分であった。		支援は効果が高かったが、地域づくりにおいては不十							
事	業実施上の課題 ・残された課題	地域の図	回りごとを	・ ・吸い上げ、専門職や必要な機関もし・ ・	くは行政につなぐ仕組みづくりが不十分							
今後の取組方針		判断理由 拡大 地域と顔の見える関係性を作り、信頼関係を構築し、地域の困りごとを解決する くりを行うため、参加支援事業の拡充を行う。										

						lad	10+13	2, , , ,	' コンフ ノ	/ ノ ・	木町Щノ	1							
1 基	本情	報					担	当 詰	果 地域共生	主社会推定	進課	関	係	課	生涯学習	課			
事	業	名		No.	2	ひきこも													
		<u>×</u> 分			会 計	区分	一舟	公会計	予 算			3	_	項	1	目	1		
		本 系			地域福祉					戦略的	的施策	✓	行 事	政改 務	革大綱 区 分	(1))(4)		
_	证法				者自立式														
事	業	明間	1	単年原	度(年度)	単名	F度繰返	(年度~約	継続) 🔽	複数年	度(R6	年度~		年度)		
2 4																			
事業事業	業 目 実施	的 剪効果	艮 ひ	きこも	り状態に	ある方に	対して社	t会資源 [:]	を充実させ	せ、必要な	方に支援	を届ける	ること						
事 :	業権	既要	<u>)</u>						・居場所づ		トワークま	援を一	-体的i	に実が					
事業の対象 生駒市民でひきこもり状態にある方 (対象数: 推定1360 当初計画 取組実績														60名)				
当初計画 取組実績 ・ユースネットいこまの運営 6,500千円 ・ユースネットいこまの運営 6,541														工 田					
						- よい建呂 -ションGI								の運営	3,735				
			• 🖣	専門職(の配置			5, 2	47千円	·専門職	の配置				1,119	千円			
決	算年歷	度の				-ター養成 談・居場所			18千円 38千円	・ ・ 仮 根 空	もりサポ- 間での相	ーター音 談・居場	愛以研究 場所支持	修 摇	420 ⁻	十円 3千円			
É	E な 取	組		その他	D (0)/10	BX 10-2011	1/1/1/2		92千円	·その他					441	千円			
											予算の執行 する見込み		あるた	め、国	庫補助金	の過年月	度償還金		
			_	· ₩ 由	# T !	I	-	¬	16-1-75-TM			. – -	- 41	,					
	事業実施手法 🗸 直接実施 🗸 委託・指定管理 🗌 負担金・補助金 🗌 その他 ()			
3 1	事業	・財	源四	小訳		ロに油谷			ロノマケモ	1 均否	I	D.C.th.	54 5			DD로설	<u> </u>		
車業	費(千	ш\				R5決算	0		R6予算現	題 16,760		R6決		344		R7予算	<u>1</u> 19,577		
事本.		<u> </u>	 							11,922				696			9,296		
	14:	[事語	負責																
	18負 その		助及び	で付金						4,838			648			10,281			
財源	(千円						0		4,838 16,760				344			19,577			
	特定	財源									9,726 8,250					9,726			
	市債							-											
		財源					7.034					4,094					9,851		
				T/#				•		•	•								
	事業(めざす																		
	のこ 9 したこ				相談支援	受と居場所	Tづくりを	を別の場	所で行って	こいるが、	連携を取	りながり	う支援	を共	有すること	こができ	た		
KPI							指	標1						指	票2				
		標名		位)		禾		べ人数(月)										
			漂値					0人											
		美	漬値		1 1-5 -44			2人											
		値と実							所としての 月人数が少										
	分に	ついて	ての理	曲	た	別的と女と	/\ /B\ALO	() O(13)	137787/3.7	6/3/2									
行革	評価	(行]	玫改	革大約	岡に基づ	(三評価)													
		コスト	`意	哉	評価					評価	した根拠	·理由							
	(費用	対効果	₹·財》	原確保)	В	費用対效	費用対効果を意識し、必要な支援を行うことができた												
		目的	思想	N.	評価					評価	した根拠	·理由							
	(施	策目標			Α	重層的支	援体制	整備事業	と一体的	に実施し、	必要な支	援を届	けるこ	ことが	できた				
	多村	様な主体	体との	協創	評価	評価した根拠・理由													
		i民等へ R間活力			В	ひきこもり	り当事者の	の自助グノ	レープとの3	を流や、市 🛭	民ボランテ	ィアであ	るより	そいち	ナポーター書	を実 たまた また	施した。		
	デシ	ブタル・ ⁻	データ	ア活用	評価					評価	した根拠	·理由							
	(-	デジタル ・FB	ルの清 PM)	括用	В	デジタル技	タル技術を活用した仮想空間上の相談窓口を設置し、外出がしにくい方が相談しやすい環境整備を行った。												
			,		評価					評価	した根拠	·理由							
		総合	評価	5	В	初年度で	であったが	が、必須	事業以外に	も当事者	会·家族:	会やサバ	ポータ	一養原	戈を行うこ	ともで	きた		
事	業実・残さ	施上に			居場所^研修方法		火出そうど	と思える	居場所での	の活動や多	多様なイベ	ベントを	実施す	るこ	と、よりそ	いサポー	ーターの		
											判断	理由							
	今後(の取約	且方針	计	拡	大	居場所	 での活動	やイベント	 ・を充実さ	せるため								

				令和	6年度7	アクショ	ンプラ	シン 事	業	評価シ	'				
1 基	本情報			担	旦 当	課	地域共生	丰社会推	推	 果	関	係 課	障がい福	补課等	
<u>· -</u> 事	<u> </u>	No.	3	地域共生社											
•			会 計	_ ,,,	一般纪		予 算			款	3	項	1	目	1
	策体系		地域福祉		73.7.2	711	3 21			施策	7		革大綱		(4)
	退法令等			<u>L</u>				+ ₩ ₩⊔	PJ	716 X		事務	区分		<u>、 </u>
	業期間 業期間	単年月		年度)	出任日			年度~	%₩ %	±\ [/]	始年氏	す 17 ₹(令和5		令和6	
尹 ;	未別問		호(平反)		支牒区(平反^	一个工作	元/ 上	後数半点	て14年)2	平良~	で作り	年度)
2 事	事業の概要	・実施内	容												
事 第	美目的・ 実施効果	サミットを域共生社	を開催す。 比会」の実	ることで、? 現に向けた	示政・市民 :実践の≅	R·事業者 音及を進	・専門職める。	のそれ	ぞれ	の立場	からでき	ることを	考える機会	会を創出	し、「地
事 (全	業 概 要体計画)	多様な人	、がつなか	事例の発信 ^が がり支え合う	5「地域共	生社会」	について	て理解を	「支 <i>.</i> 深ぬ	える側」 かる。	「支えら	れる側」と	:いう関係 ⁻	や分野を	超えて
` —	/	事業の	り対象	行政職員、	生駒市民	民、事業者	f、専門 耶	韱				(対象数:	180	00)
				当初計								取組実績			
	算年度の Eな取組	催 ・プロジ: ・実行委! 実行委員 地域共生	ェクトチー 員会の開 員会補助会 政策自治	進全国サミ -ム会議の開催 能 24,000 台体連携機 毛品) 402	開催 0千円 構負担金			・プロ: ・実行: 実行委	ジェク委員	クトチー 会の開 <補助金	ム会議の)開催 15千円	ハこまの準	≛備・開催	
3 事	事業費・財源		施手法	☑ 直接実 R5決算	施 🗸	<u> </u>	定管理		担金	•補助会	È	の他(R7予算)
				Nン太昇		L.	0]/异坎	렍			NU次昇			尺/]/异	
車業	费(千円)				250			2/ //7	2			16 053			0
事業	費(千円) 12委託料			2	2,250 794			24,47	2			<u>16,053</u> 0			0
事業	費(千円) 12委託料 14工事請り	負費		2	794 0				0			0			0
事業	12委託料 14工事請约 18負担金補助				794 0 364			24,07	0 0 0			0 0 15,815			0
	12委託料 14工事請負 18負担金補助 その他				794 0 364 1,092			24,07 40	0 0 0 2			0 0 15,815 238			0
財源	12委託料 14工事請 18負担金補助 その他 (千円)				794 0 364 1,092 2,250			24,07 40 24,47	0 0 0 2			0 0 15,815 238 16,053			0
財源	12委託料 14工事請 18負担金補助 その他 (千円) 特定財源				794 0 364 1,092 2,250 0			24,07 40 24,47 16,30	0 0 0 2 2			0 15,815 238 16,053 15,685			
財源	12委託料 14工事請約 18負担金補助 その他 (千円) 特定財源 市債				794 0 364 1,092 2,250			24,07 40 24,47 16,30	0 0 0 2			0 0 15,815 238 16,053			
財源	12委託料 14工事請 18負担金補助 その他 (千円) 特定財源			2	794 0 364 1,092 2,250 0			24,07 40 24,47 16,30	0 0 0 2 2 0 0			0 0 15,815 238 16,053 15,685			
財源(4 写	12委託料 14工事請約 18負担金補助 その他 (千円) 特定財源 市債 その他 一般財源	及び交付金 ・ 評価 実現に		える こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ	794 0 364 1,092 2,250 0 0 0 2,250		を通じて	24,07 40 24,47 16,30	0 0 2 2 0 0 0	社会の		0 0 15,815 238 16,053 15,685 0 0 368		図り、これ	0
財源(4 写 「& 寄与(12委託料 14工事請負 18負担金補助 その他 (千円) 特定財源 市債 その他 一般財源	及び交付金 ・ 評価 実現に		2	794 0 364 1,092 2,250 0 0 0 2,250	る機会と	を通じて	24,07 40 24,47 16,30	0 0 2 2 0 0 0	社会の		0 0 15,815 238 16,053 15,685 0 0 368	の醸成を	図り、これ	0
財源(4 9 「& 寄与(12委託料 14工事請負 18負担金補助 その他 (千円) 特定財源 市債 その他 一般財源	及び交付金 ・ 評価 実現に 美の成果)		え え 寝、パネルデ E社会につし	794 0 364 1,092 2,250 0 0 0 2,250	る機会と [1	を通じて した。	24,07 40 24,47 16,30	0 0 2 2 0 0 0	社会の		0 0 15,815 238 16,053 15,685 0 0 368		図り、これ	0
財源(4 9 「& 寄与(12委託料 14工事請負 18負担金補助 その他 (千円) 特定財源 市債 その他 一般財源 事業の成果 めざす状態員 したこと(事業	及び交付金 ・評価 実現に 美の成果) 単位)		える こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ	794 0 364 1,092 2,250 0 0 0 2,250 ボイスカッ いて考える	る機会と [1 足度(よ/	を通じて した。	24,07 40 24,47 16,30	0 0 2 2 0 0 0	社会の		0 0 15,815 238 16,053 15,685 0 0 368	の醸成を	図り、これ	0
財源(4 写 「& 寄与(12委託料 14工事請負 18負担金補助 その他 (千円) 特定財源 市債 その他 一般財源 をのがます状態」到 したこと(事業)	及び交付金 ・ 評価 美現に 美の成果) 単位) 6		え え 寝、パネルデ E社会につし	794 0 364 1,092 2,250 0 0 0 2,250 ディスカッ いて考える 指標 ト結果満 80%	る機会と [1 足度(よか 以上	を通じて した。	24,07 40 24,47 16,30	0 0 2 2 0 0 0	社会の		0 0 15,815 238 16,053 15,685 0 0 368	の醸成を	図り、これ	0
財源(4 写 「& 寄与(12委託料 14工事請負 18負担金補助 その他 (千円) 特定財源 市債 その他 一般財源 事業の成果 めざす状態員 したこと(事業	及び交付金 ・評価 美現に 美の成果) 単位) 値値 値値		え え 寝、パネルデ E社会につし	794 0 364 1,092 2,250 0 0 0 2,250 ボイスカッ いて考える	る機会と [1 足度(よか 以上	を通じて した。	24,07 40 24,47 16,30	0 0 2 2 0 0 0	社会の		0 0 15,815 238 16,053 15,685 0 0 368	の醸成を	図り、これ	0
財源 「& 寄与 KPI	12委託料 14工事請負 18負担金補助 その他 (千円) 特定財源 市債 その他 一般財源 大の地 一般財源 大のは 事業の成果 がざすなど(事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、	及び交付金 ・評価 実現に 美の成果) 単位) 値値 値値 値値の差 の理由	地域共生	え え え パネルデ E社会につい アンケー	794 0 364 1,092 2,250 0 0 0 2,250 ディスカッ いて考える 指標 ト結果満 80%	る機会と [1 足度(よか 以上	を通じて した。	24,07 40 24,47 16,30	0 0 2 2 0 0 0	社会の		0 0 15,815 238 16,053 15,685 0 0 368	の醸成を	図り、これ	0
財源 「& 「& 寄与 KPI	12委託料 14工事請 18負担金補助 その他 (千円) 特定債 その般財源 その成果 がきことに事業 がたことに事業 は、事業の成果 は、事業の成果 は、事業のは、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業	及び交付金 ・評価 実現に 美の成果) 単位) 値値 値 値で変更を では、これでは、これでは、これでは、これででは、これでは、これでは、これでは、こ	地域共生	え え え パネルデ E社会につい アンケー	794 0 364 1,092 2,250 0 0 0 2,250 ディスカッ いて考える 指標 ト結果満 80%	る機会と [1 足度(よか 以上	を通じて した。	24,07 40 24,47 16,30 8,17	0 0 0 2 2 0 0 0 2 2	社会の	実現に向	0 0 15,815 238 16,053 15,685 0 0 368	の醸成を	図り、これ	0
財源 「& 「& 寄与 KPI	12委託料 14工事請約 18負担金補助 その他 (千円) 特定債 での成果 かざったことに関する。 ができる。 は、では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	及び交付金 美現に 美の成果) 単位) 値値 値値 で改革大納 意財源確保)	地域共生 調に基づ 評価 A	え え え パネルデ E社会につい アンケー	794 0 364 1,092 2,250 0 0 0 2,250 ボイスカック いて考える 指標 ト結果満 80% 939	る機会と 1 足度(よか 以上 %	を通じて した。 かった)	24,07 40 24,47 16,30 8,17 、地域: 評サミット	0 0 0 2 2 0 0 0 0 2 2 1 4 4 4 5 6 6 6 6 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7	た根拠	実現に向っています。理由ため、費	0 0 15,815 238 16,053 15,685 0 0 368	(の醸成を)	図り、これ	0
財源 「8 寄与 KPI	12委託料 14工事請領 18負担金補助 その他 (千円) 特市債 一般財源 市の他財源 一般財源 下でのは ででである。 でである。 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業 は、事業	及び交付金 ・ 実現に果) 単位) 値値での由 では、 ・ 対源確保) 思考	地域共生	える (では、パネルデ に対会につい アンケー	794 0 364 1,092 2,250 0 0 0 2,250 ボイスカッ いて考え 指標 ト結果満 80% 939	る機会と 記 足度(よか 以上 %	を通じて した。 かった)	24,07 40 24,47 16,30 8,17 、地域: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0 0 0 2 2 0 0 0 0 2 2 0 0 0 0 0 0 0 0	た根拠 望した た根拠	実現に向きます。要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要	0 0 15,815 238 16,053 15,685 0 368 IIけた意識 指	の醸成を 標2 できた。		0 いからの

KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)		アンケ-	-ト結果満足度(よかった)	
	目標値			80%以上	
	実績値			93%	
	目標値と実績値の差分についての理由			_	
行革	評価(行政改革大網	剛に基づ	く評価)		
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	Α	市、事業	者、市民団体等で連携してサミットを	運営したため、費用を削減できた。
	目的思考	評価		評価	した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	Α	アンケー	ト結果から、地域共生社会の実現に向	句けた意識の醸成を図ることができたと考えられる。
	多様な主体との協創	評価		評価	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	Α	分野を横	馘断した42団体のサミット実行委員と	こともにサミットを運営した。
	デジタル・データ活用	評価		評価	した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	D	サミット	参加申込をオンライン申込としたが、	その他デジタルを活用した取組を実施できなかった。
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	Α	基調講演 してサミ	g、パネルディスカッションだけでなく ットを運営し、参加者、関係者にとっ	、市内の地域共生の取組視察等、市内の関係者と連携 て満足のいくサミットとなった。
_	業実施上の課題 ・残された課題		地域共生社 図る必要か		者、専門職等と、地域共生社会の実現に向けた認識の
					判断理由
4	今後の取組方針			他市で開催のため	

					13.1	HO T/X	-		7 7 7	Китіщ /						
1 基	本情報	8				担	当 課	地域共生	E社会推选	生課	関	係	課	防犯交通	付策課・障	章がい福祉課
事	業	名	No.	4	高齢者を	支える地	地域の体制	制づくり								
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費目	款	3	J	頁	1	目	2
施	策体	系	6	地域福祉	 L				戦略的	内施 策	7	行』	改 改	革大綱	(1	1)(4)
	<u> </u>		Ŭ	• В • ЖТЩТ					IN FH F	3 70 71		事	務	区分		· <u>/ ` </u>
	業期	間		<u> </u>	年度)	- H/T	- 		年度~糺	业(丰)	複数年	_	נעני	年度~	ш/	年度)
尹 ;	木切	ΙĐJ	単年/	支(十尺)	単年	度繰返(十尺一和	生形心/	授 数	反(十反		十尺/
2 事	事業の	既要	・実施内	容												
事業事業	美目的	り・ 加果	高齢者が	が安心して	で暮らせる	生活環境	気の構築									
事 (全	業 概体計 [要 画)	た緊急時	寺に対応で	できるよう	、地域や	関係機関	との連携						の仕組み	づくり	を行う。ま
			事業(の対象	市内に住		・障がし	\者					象数:)
			FR 6 \ 17 ±			計画			ED 6 174				実績			
				18装置 59 50	94千円 6避難支援	≢業 1 ∩Ω	7千四		·緊急通幸	版装置 Z 加要支援者	294千円		22/	1千四		
				ジェスプタイ ようし調査		#** 1,00	. /]		・ひとり暮	い女叉返位	他無义 64千F	以 ず末 引	224	- 111		
		_	・食の自立	立支援事業	(配食) 88	88千円	VT TT 0 0 7	· 1		支援事業			千円	T		~~"
	算年度(ト配付事業 力事業者登					療情報キッ 身見守り協					活用32	计刊】
	Eな取組	L	・くらしの	あんしん酉	记布事業 2	64千円	77113		・くらしの	あんしん酉	記布事業	264				
			車業宝	施手法	✓ 直接	\$\tau_	□ 禾託 +	七字符皿	一台也	A ###	<u> </u>	マの出	1)
			尹未大	ルナム	[二] 但按:	夫他 L	」安託⁺∄	旨定管理		金·補助st	± ∟ 1	その他	(
3 事	事業費・	財源	原内訳											_		
					R5決算		F	R6予算現			R6決				R7予第	-
事業	費(千円					1,535			3,025				533			3,469
	12委記		7 111			1,088			1,614			1,0)57			2,275
	14工具					0			0				0			0
	78負担金		及び交付金			0 447			1 411				0 176			1 104
田が百	(千円)			-		1,535			1,411 3,025				33			1,194 3,469
八八八八	特定財	洰			-	363			513				365			3,409
	市債	////\				303			313				,05			
	その他	,				145			204			-	145			384
	一般財	源				1,027			2,308			1,0	23			3,085
1 ∃	事業の原	出出	•=11/III											_		
				避難行動	要支援者と	辞難支援事	業におい	ては、従来	の紙ベース	スによる運	用に加え	えて、オ	ンライ	′ンによる¤	申請を取	り入れ手続
	めざす状 したこと		表現に その成果)	きの簡素	化を図った	き。また、ひ										見直し、事
		ハナス	~~// <i>/</i> ////////////////////////////////	務負担が	軽減された		- 1						+6+	亜つ		
KPI		■夕(単位)			指 高齢者の		ii					指	示乙		
		目標					<u>/足压总局</u> 3以上	<u> </u>								
		実績					3.5									
					-		J.J									
	日標値	と 天 紀 ハてん	漬値の差 の理中													
仁士				L 岡に基づ	ン気体し											
1J 				評価	<u> </u>				■ 電子	した根拠	. 理由					
			意識		ソモナンナ	-1m - /- >	- + + -									
	(賀用灯	効果・	財源確保)	В	必要な文	と 抜を 行っ) (=0)() 7	デジタル化				と図つ/	こ。			
	l =	的思	思考	評価					評価	した根拠	・理由					
			ふの寄与)	В	必要なす	援を行う	うためのう	デジタル化	ム・事務フ	□一見直□	しなどる	を図った	_ こ。			
	Ø +¥ ±	+ +	との協創	評価					評価	した根拠	・理由					
			この協制 意見把握		月月/公士纵月	目(土) レク	いわぎたご	 通じて、事				ーレズ	市郊	ながい	レズキた	
	·民間	活力等	の活用)	В	天	(11)	ノ励哉で	世して、手					子位	がで同糸川	L C 2 / L	.0
			一夕活用	評価					評価	した根拠	・埋田					
		アタル EBP	の活用 M)	В	logoファ	オームの流	5用により	ノ、業務効]率化・対算	象者の負	担軽減	が実現	でき	た。		
				評価					評価	した根拠	·理由					
	絲	合語	平価		限られた	人員の中	つで、前例	 踏襲だけ	をするの	ではなく	外部と	の対話	を通	じて事業	の改善	こ取り組
				В	めた。									· ·		
事	業実施	Ŀσ)課題		++4-07	La 1 == 2º	7	9 士 ! ' '	・フォッケー	जिस्स् // व						
,	・残され			アンタル	ノ技術の活	用と事務	カノロ一月	き直しによ	る事務郊	净化						
										判断	理由					
	今後の耳	汉組-	方針	2.5	善善	游難行軍	カラマ 接着 カラマ 接着	 者台帳シス	ステムの達			員と連	携し	た一人募	らし調剤	 李の実施
				~		方法見直							.,,,	- /\=	_ Undi	/ \/\

基本情報
事業 区 分 継続 会 計 区 分 一般会計 予算 費 目 款 3 項 1 目 版 策 体 系 6 地域福祉 戦 略 的 施 策 □ 行政改革大綱 根 拠 法 令 等 事業 期 間 □ 単年度(年度) □ 単年度練返(年度~継続) □ 複数年度(年度~ 2 事業の概要 実施内容 事業 期 間 □ 単年度(年度) □ 単年度練返(年度~継続) □ 複数年度(年度~ 2 事業の概要 実施内容 事業 概 要 (全 体 計 画
事業 区 分 継続 会 計 区 分 一般会計 予算 費 目 款 3 項 1 目 版 策 体 系 6 地域福祉 戦略的施策 □ 行政改革大綱 根拠法令等
施 策 体 系 6 地域福祉 戦略 的 施 第 □ 行政改革大綱 根 扱 法 令 等 事 業 期間 □ 単年度(年度) □ 単年度(年度) □ 単年度(年度 ○ 2 事業の概要・実施内容 事業・
根拠法令等 事業期間
事業期間 単年度(年度) ②単年度繰返(年度~継続) 複数年度(年度~ 2 事業の概要・実施内容 事業目的・事業実施効果 高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進 事業 概要(全体計画) 議告が安心して暮らすことができる地域社会の実現に向け、高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進した。 事業 の対象 高齢者 (対象数: 現場できる仕組みを構築する。) 事業の対象 高齢者 (対象数: 現場できるして着きする。) 事業の対象 高齢者 (対象数: 現場できるして着きする。) 事業の対象 高齢者 (対象数: 現場できるして着きする。) 事業のの間が必求手では、対象が付等業務。)・敬老の日の贈り物(米寿・白寿)・337千円 (生きいきクーパン券交付等業務)・ 敬老の日の贈り物(米寿・白寿)・カスデート を入りラブ活動補助金 4,100千円 ・ と人クラブ活動補助金 4,100千円 ・ と人クラブ活動補助金 4,100千円 ・ と人クラブ活動補助金 132千円 ・ と大のラブ活動補助金 132千円 ・ と変しのの開り物(米寿・白寿)・ 大変活動事業 704十円 ・ シルバー人材センター活動補助金 11,780千円 ・ シルバー人材センター活動補助金 11,780千円 ・ シルバー人材センター活動補助金 11,920千戸 ・ フルバー人材センター活動補助金 11,920千戸 ・ フルバー人材センター活動補助金 11,920千戸 ・ フルバー人材センター活動補助金 11,920千戸 ・ フルバー人材センター活動補助金 11,001 ・
2 事業の概要・実施内容 事業目的・事業実施効果 高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進 事業 概要(全体計画) 議齢者の生きがいづくりや社会参加を促進(きん) 高齢者の安心・安全が確保できる仕組みを構築する。 事業の対象[高齢者 (対象数: 当初計画 取組実績 文通費等助成 271,533千円 (生きいきクーポン券交付等業務) が表の日の贈り物(米寿・白寿) 843千円 と大クラブ活動補助金 4,171千円 と大クラブ活動補助金 4,171千円 と大クラブ活動補助金 362千円 と大クラブ活動補助金 362千円 と大のラブ活動補助金 11,780千円 と大クラブ活動補助金 132千円 と大のシブ活動補助金 132千円 と大のシブバー人材センター活動補助金 11,920千円 といいて、人材センター活動補助金 11,920千円 を表示的事業 704千円 といいて、人材センター活動補助金 11,920千円 12委託料 264,521 272,253 272,007 14工事請負費 15,601 16,313 16,152 をの他 593 843 537 18,152 272,007 173 289,409 288,696 174 272,253 272,007 173 289,409 288,696 174 272,253 272,007 173 289,409 288,696 174 272,253 272,007 173 289,409 288,696 174 272,253 272,007 174 272,253 272,253 272,207 174 272,253 272,253 272,207 174 272,253 272,253 272,207 174 272,253 272,253 272,207 174 272,253 272,253 272,207 174 272,253 272,253 272,207 174 272,253 272,253 272,207 174 272,253 272,253 272,207 174 272,253 272,253 272,207 174 272,253 272,253 272,207 272,253 272,253 272,253 272,207 272,253 272,253 272,253 272,253 272,253 272,253 272,253 272,253 272,253 272,253 272,253
事業目的・事業実施効果 高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進
事業 目的・事業実施効果 高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進
事業 無
事 業 概 要 (全 体 計 画)
事業の対象 高齢者
* 交通費等助成 271,533千円 (生きいきクーポン券交付等業務) ・ 敬老の日の贈り物(米寿・白寿) 843千円 ・ 老人クラブ活動補助金 4,170千円 ・ 世代間交流事業補助金 362千円 ・ 支愛活動事業 720千円 ・ カッパー人材センター活動補助金 11,780千円 * 世代間交流事業補助金 132千円 ・ 大の受活動事業 704千円 ・ シルパー人材センター活動補助金 11,780千円 * 世代間交流事業補助金 132千円 ・ 大の全活動補助金 11,920千円 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R5決算 R5決算 R6予算現額 R5決算 R6予算現額 R6決算 R6決算 R7 289,409 R7 289,409 R7 280,715 R6,313 R1 8月設益補助及び交付金 R7 8月間 R6,313 R1 8月は金補助及び交付金 R7 8月間 R6 8月間 R7 8月間 8月間 8月間 8月間 8月間 8月間 8月間 8月間 8月間 8月間
(生きいきクーボン券交付等業務) ・敬老の日の贈り物(米寿・白寿) 843千円 ・社人ラブ活動補助金 4,170千円 ・世代間交流事業補助金 362千円 ・友愛活動事業 720千円 ・カ愛活動事業 720千円 ・カッルバー人材センター活動補助金 11,780千円 ・カッルバー人材センター活動補助金 11,780千円 ・カッルバー人材センター活動補助金 11,780千円 ・カッルバー人材センター活動補助金 11,780千円 ・カッルバー人材センター活動補助金 11,780千円 ・カッルバー人材センター活動補助金 11,920千円 ・カッルバー人のイン・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース
→ 敬老の日の贈り物(米寿・白寿) 843千円
決算年度の 主な取組 ・世代間交流事業補助金 362千円 ・シルバー人材センター活動補助金 11,780千円 ・シルバー人材センター活動補助金 11,780千円 ・シルバー人材センター活動補助金 11,780千円 ・シルバー人材センター活動補助金 11,920千円 ・シルバー人材センター活動補助金 11,920千円 ・シルバー人材センター活動補助金 11,920千円 ・シルバー人材センター活動補助金 11,920千円 ・シルバー人材センター活動補助金 11,920千円 ・シルバー人材センター活動補助金 11,920千円 ・シルバー人材センター活動補助金 11,920千円 ・シルバー人材センター活動補助金 11,920千円 3 事業費・財源内訳 R5決算 ・ R6予算規額 ・ R6決算 ・ R73 ・ R6予算規額 ・ R6決算 ・ R6予算規額 ・ R6決算 ・ R73 ・ R6予算規額 ・ R6決算 ・ R73 ・ R6予算規額 ・ R6決算 ・ R73 ・ R6入算 ・ 入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算 R6入算
注な取組
主な取組
* シルバー人材センター活動補助金 11,780千円 * シルバー人材センター活動補助金 11,920千円 * ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
事業実施手法 ☑ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 ☑ 負担金・補助金 □ その他 (3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7至
3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7元 R7元 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7元 R7元 R7元 R5元 R7元 R5元 R7元 R5元 R5元 R7元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5
3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7元 R7元 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7元 R7元 R7元 R5元 R7元 R5元 R7元 R5元 R5元 R7元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5
3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7元 R7元 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7元 R7元 R7元 R5元 R7元 R5元 R7元 R5元 R5元 R7元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5元 R5
R5決算 R6予算現額 R6決算 R75 事業費(千円) 280,715 289,409 288,696 12委託料 264,521 272,253 272,007 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 15,601 16,313 16,152 70他 593 843 537 財源(千円) 280,715 289,409 288,696 特定財源 1,260 1,466 1,201 市債 その他 -般財源 279,455 287,943 287,495 4 事業の成果・評価 「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果) 事業を通じて外出機会や活躍の場の創出につながっている。 KPI 指標1 指標2 指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
R5決算 R6予算現額 R6決算 R75 事業費(千円) 280,715 289,409 288,696 12委託料 264,521 272,253 272,007 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 15,601 16,313 16,152 70他 593 843 537 財源(千円) 280,715 289,409 288,696 特定財源 1,260 1,466 1,201 市債 その他 -般財源 279,455 287,943 287,495 4 事業の成果・評価 「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果) 事業を通じて外出機会や活躍の場の創出につながっている。 KPI 指標1 指標2 指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
事業費(千円) 280,715 289,409 288,696 12委託料 264,521 272,253 272,007 14工事請負費 15,601 16,313 16,152 その他 593 843 537 財源(千円) 280,715 289,409 288,696 特定財源 1,260 1,466 1,201 市債 その他 279,455 287,943 287,495 4 事業の成果・評価 「がさす状態」実現に寄与したこと(事業の成果) 事業を通じて外出機会や活躍の場の創出につながっている。 KPI 指標1 指標2 指標1 指標2 指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
12委託料 264,521 272,253 272,007 14工事請負費 15,601 16,313 16,152 その他
14工事請負費 18負担金補助及び交付金 15,601 16,313 16,152 その他 593 843 537 財源(千円) 280,715 289,409 288,696 特定財源 1,260 1,466 1,201 市債 700 287,943 287,495 4 事業の成果・評価 KPI 指標1 指標2 指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
18負担金補助及び交付金 15,601
その他 593 843 537 財源(千円) 280,715 289,409 288,696 特定財源 1,260 1,466 1,201 市債 7の他 287,943 287,495 4 事業の成果・評価 「めざす状態」実現に 寄与したこと(事業の成果) 事業を通じて外出機会や活躍の場の創出につながっている。 KPI 指標1 指標2 指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
財源(千円) 280,715 289,409 288,696 特定財源 1,260 1,466 1,201 市債 その他 287,943 287,495 4 事業の成果・評価 「めざす状態」実現に 寄与したこと(事業の成果) 事業を通じて外出機会や活躍の場の創出につながっている。 KPI 指標1 指標2 指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
特定財源 1,260 1,466 1,201 市債 20他 287,943 287,495 ・解析の成果・評価 「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果) 事業を通じて外出機会や活躍の場の創出につながっている。 KPI 指標名(単位) 指標1 指標2 指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
市債 その他 一般財源 279,455 287,943 287,495 4 事業の成果・評価 「めざす状態」実現に 寄与したこと(事業の成果) 事業を通じて外出機会や活躍の場の創出につながっている。 KPI 指標1 指標2 指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
その他 一般財源279,455287,943287,4954 事業の成果・評価「めざす状態」実現に 寄与したこと(事業の成果)事業を通じて外出機会や活躍の場の創出につながっている。KPI指標1指標2指標名(単位)「生きがいあり」の回答割合 60.1%(R5)から上昇
一般財源279,455287,943287,4954 事業の成果・評価事業を通じて外出機会や活躍の場の創出につながっている。KPI指標1指標2指標名(単位)「生きがいあり」の回答割合目標値60.1%(R5)から上昇
4 事業の成果・評価「めざす状態」実現に 寄与したこと(事業の成果)事業を通じて外出機会や活躍の場の創出につながっている。KPI指標1指標名(単位)「生きがいあり」の回答割合目標値60.1%(R5)から上昇
「めざす状態」実現に 寄与したこと(事業の成果)事業を通じて外出機会や活躍の場の創出につながっている。KPI指標1指標2指標名(単位)「生きがいあり」の回答割合目標値60.1%(R5)から上昇
寄与したこと(事業の成果) 事業を通して外出機会や活躍の場の創出につなかっている。 KPI 指標1 指標2 指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
KPI 指標1 指標2 指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
指標名(単位) 「生きがいあり」の回答割合 目標値 60.1%(R5)から上昇
目標値 60.1%(R5)から上昇
実績値
目標値と実績値の差 3年に1度、高齢者保健福祉計画見直し時に取得する
分についての理由 調査データであるため
行革評価(行政改革大綱に基づく評価)
コスト意識 評価 評価 評価した根拠・理由
目的思考 三部価 三部価 三部価 三部価 三部価 三部価 三部価 三部
(施策目標への寄与) B 外出機会や団体活動助成を通じた活躍の場の提供に寄与している。
ラボ 5 工作 この 加油
(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用) B 老人クラブやシルバー人材センターの支援により間接的に活躍の場の提供につながっ
・民間活力等の活用) B 老人グラブやシルハー人材でブダーの支援により间接的に活躍の場の提供にブながつ
・民間活力等の活用) B 老人クラブやシルハー人材セブターの支援により間接的に活躍の場の提供にブなかつ デジタル・データ活用 評価 評価した根拠・理由 (デジタルの活用 D な済毒生助成については、利用状況のデータを集計しており、制度見直しの余者とした
・民間活力等の活用) B 老人グラブやシルバー人材セプダーの支援により間接的に活躍の場の提供に ブなかっ デジタル・データ活用 (デジタルの活用 ・EBPM) B 交通費等助成については、利用状況のデータを集計しており、制度見直しの参考とした
Fight F
・民間活力等の活用
Fighistan等の活用 Part
・民間活力等の活用) B 老人グラブやシルバー人材セプダーの支援により間接的に活躍の場の提供に ブなかっ デジタル・データ活用 (デジタルの活用 ・EBPM) B 交通費等助成については、利用状況のデータを集計しており、制度見直しの参考とした 評価 評価 評価した根拠・理由 P ア定どおり事業を実施できた。
・民間活力等の活用 B 老人グラブやジルバー人材セプダーの支援により間接的に活躍の場の提供に ブなかっ デジタル・データ活用 評価 評価 評価した根拠・理由 B 交通費等助成については、利用状況のデータを集計しており、制度見直しの参考とした 評価 評価 評価した根拠・理由 B 予定どおり事業を実施できた。 事業実施上の課題 交通費等助成は平成29年度に制度見直しを行い、令和8年度まで対象年齢が75歳になるよう
R 老人グラブやシルバー人材セブダーの支援により間接的に活躍の場の提供に ブなかっ デジタル・データ活用 (デジタルの活用 - EBPM) P P P P P P P P P
・民間活力等の活用 B 老人グラブやジルバー人材セプダーの支援により間接的に活躍の場の提供に ブなかっ デジタル・データ活用 評価 評価 評価した根拠・理由 B 交通費等助成については、利用状況のデータを集計しており、制度見直しの参考とした 評価 評価 評価した根拠・理由 B 予定どおり事業を実施できた。 事業実施上の課題 交通費等助成は平成29年度に制度見直しを行い、令和8年度まで対象年齢が75歳になるよう

										<u>コノノ</u>		尹木	р і іші		'						
	本情報	<u>Z</u>					担	当		地域共		会推進	課	関	1	系	課				
事	業	名	No.	6						り連携強								-			
	業区	分	継続	会 計		分		般会計	-	予 算			款		3		項	1	_		1
_	策体	系	6	地域福	祉						戦	略的	施分	耟				革大綱		(1)(
	退法 令													٠		事	務	区分		自治	事務
事	業期	間	単年/	叓(年	度)	」単	年度網	返(年	度~継続	続)し	」複	数年度	₹(年度~	-		年度)
2 📱	事業の概	既要	・実施内	容																	
事業事業	業 目 的 実施效	り・ り果	生駒市社	土会福祉	協議会	<u> き</u> との	連携を	·強化	するこ	ことで、は	也域社	冨祉の均	曽進を	図る	0						
事:	業 概		地域福祉	上活動が	効果的	りに核	能する	るよう、	生駒	市社会	福祉	協議会と	と役割	を分	担しな	よがら	5、連	携強化を	三図る	0	
(全	体計	画)	事業(D 44 8	全住	: 民										(44	 象数:)
			* * •	// //J //			計画										果績				
			・生駒市	社会福祉				金 40	0,00	00千円	•4	-駒市社	会福	祉協	義会運				, 00	0千 円	3
			·地域福	祉連携·	協働推						・坩	也域福祉	L連携 [。]	・協賃	推進				,		
			▶権利狙	雍護支援 ノとしご と	部会 と士母:	ᆄᄼ						権利擁									
	算年度の			ハこしこで 内支援体			<u></u>					重層的									
É	Eな取組			. 7 / 7/2 [1	ارا عند دران	113 141- 2	_					/G-J	~J/X I*	1.16277	_ 10111 1111	_					
			事業実	佐手と	EI□ -	古+立。			=1 +t			A+D Δ	<u>→±</u>	ь <u>о</u>		т.Ш	/)
			争未天	他士 7	Z [直接	夫 他	□	it•ti	宣 管理		負担金	₹•補助]金	<u></u>	の他	(
3 4	事業費・	財源	原内訳																		
== ***	#/イの				R5		0.00	_	R	6予算现		000		R	6決算		000		R7-	予算	0.000
争美	費(千円 12委詞					4	-0,00	0			40,	000				40,	000			4	0,039
	14工事		多																		
			及び交付金			4	-0,00	0			40,	000			4	40,	000			4	0,039
	その他																			-	
財源	(千円)	\r				4	-0,00	0			40,	000			4	40,	000			4	0,039
	特定財市債	源																			38
	その他																				
	一般財	源				4	-0,00	0			40,	000			4	40,	000			4	0,001
/1 E	事業の原	比甲	• ≣亚/邢															_			
	アネッパ めざす状																				
	のこ 9 AX したこと			地域福	祉連携	・協	動推進	会議を	重ね	、地域福	融0)あり方	や社	劦の行	殳割、ì	連携	強化に	こ向けた	方策を	を検討	力した。
KPI							‡	指標1									指	票2			
		名(単位)	地域福	祉連携	・協賃			催回	数(部会	含む)(回)					JH	<u> </u>			
		目標	••					4													
		実績	値			全	体会	4 部	会 1	17											
			責値の差	重層支	援体制	整備	部会に	こついろ	ては、	月1回開	化し	てい									
	分につい			る重層			と乗れ	て実施	もした	ため。											
行革	評価(1	丁政	改革大統		<u> </u>	<u>価)</u>						=======================================	_	hn TI							
			意識	評価	차†;;;	11.二季	手する	. 	动集	的厂推	進で	評価し				ऽत ः	金を流	ま用して	実施す	る方	向性を
	(費用対	効果・	財源確保)	В	検討			,	, WJ > I	Д[Э]СЧ <u>Р</u>						~13.	W C /	1/130 (Z 100 9	ررق	HILE
	l e	的思	思考	評価								評価し	た根据	処·理	由						
			(の寄与)	В	委託	業務	の拡大	で、人事	交流	、執務場	易所の	り移転な	ど、遅	連携強	能化に	つな	がるこ	方針を示	きすこと	こがで	ゔきた。
	多様な	:主体	との協創	評価								評価し									
	(市民等	手への	意見把握 の活用)	В				李 員	里合?	会や老人	クラ	ブ連合	会の事	務局	機能	を担	うこと	こで、多村	泰な主	体と(の連携
	-		一夕活用	評価	を図	1110	いる。					評価し	た根拠	伽・理	由						
	(デシ	ブタル	の活用		個力	の車	業で証	延伸する	ヾキフ	であるた	አታ	ртішо	, C D(),	,C - 1							
	•	EBP	M)	= -	旧人	V) ∃	** C p	гіш 9 /	\ <u>\</u>	200012	000	=π/πι	+ +0+	hn TE	ф						
	4/3	-△=	ਹਾ./ ≖	評価	\m /T	- atc 1 -	· ← 1.4	- /\ \ / \	+	-1	14% T ⊥	評価し				7 1 1.	 	ヘンギトコナン	Zл.фil /	\+n \.	· \= +# + ×
	术		平価	В			.回け(:制がで		±æ‡	ョレンン	(茂里)	ノバス	料性を	:	ささい	o红	励との	/週別な	1文制分	ひ担と	達携が
==	 	L A	15田日本	/中+作ュム					i+#= 1	力 ほい+4-24	±Д==	≟ /- イハレ ィン+	= ナフト	سرا سا	- 1	+	Д #Е Л	TO U.M.	ナンレジナ		<u>√++</u>
手	『業実施 ・残され			連携強 証して				価	⅓汚・Т	肠 割推進	三云詞	変と継続	rg ර	ことも	うし、イ	用切3	近額())妥当性	なとを	:51さ	続さ秩
	7XC1	ハ (口)	TNEZS	皿して	v · 丶处'	<u>حرای</u>	ه له رب						业 川	断理	ф						
	今後の耳	∇ ಓ円-	方針	TEV	犬維持		油堆料	\$/ \ _==	a(+>	- +411+=1:1	ロシト、	亩堆, け				4きマ	マレ	ともに、	おみん	一方の	立上生
	7 夕り月	人心丘。	/11年	 - ^{- 火元} 1	八小正]寸					、地域1 証する		壬1万°1劢	当力任义	ᄩᄍᄚ	技で杯	心 9	るこ	ـ تاد، ۱	m以立	「白貝ひ)	女士注

4 t	+-4-4=+					+	\\\\ =	= H 1141-14-14		+# >#	<u>+=</u> ш	88 /	<i>z</i> :	-m l			
	<u>本情</u> 業		Na	7	尼	担		課地域共	、生社会	推進	上 課	関 (系	課			
事	素 業 区	名 分	No. 新規	/ 会 計	区分		^{列反} 公会計	予 第	費	目	款	2	т古	1		н	1
	<u>未 </u>	系	<u> </u>	地域福祉		一加又	区区	丁 异)施 策	3	項行政	<u></u> 改革大		(1)	
	见 14 』法 令		0	地地和	<u>ш</u>				半人 四		9 爬 來		事系		分	自治	
	<u>医 </u>	間	単年	庄/	年度)	√ 単年	F度繰返	5/ 人 和	6 年度	_ % N	<u>∠</u> ¢±\	複数年度		年度		日心	年度)
			_		一 牛皮)	<u>「</u> 」 半 4	F 反 深 必	<u> </u>	0 牛皮	Mt C		交 数十/文	٤(415	₹~		一
			・実施内	容													
事業	美 目 的	り・	担い手不	足の解消	生委員経験。 。地域の見	守り活動に	こ関わる	人が増える	らことにも	り、	地域の見る	守り体制な	が強化さ	れる。			
事(全	業 概体計	要 画)	増加や地の活動の	域課題の複 補佐・協力	域住民の身 2雑化・複合 を行う民生	化などに伴 委員協力員	⊭い、民生 員制度を記	・児童委員 设け、負担軽	の役割・	重要原 1手オ	度が増し、負	担増加や	担い手る	テとしてお	野。一人類が発生。	、民生・	心局断石(0) 児童委員
			事 業 (の対象	市内で活		民生・児	童委員、生	E駒市民	3			(対象数)
			·制度検討	÷+	当初	計画			・制度	±₽≡−	+		取組実	瀬			
			・要綱作品								」 対(令和6年	7月29日	1施行)				
			・周知	の未呢					・周知		、禾 呢						
決1	算年度(ת	·協力員の 報償費		×3人×6址	也区×9ヶ月]=195	5千円	·協力 報償)安鳴 ,200円×	(1人×4·	ヶ月+1.	人×3ヶ月	∄)=8 1	-円	
	こな取組		消耗品費	22千円			_				4千円						
				費 8千円 500円×3	∃ 3人×6地区	₹=9千円					費 0円 500円×2.	人 = 1 千 円	9				
			DNDOTT .	30013)) (· · O - O -	_ > 113			PINIX	, ,	.0013.12.	/	-				
			古光中	· 佐 工 辻	T — — —		フェジ	15-5-75-10		7 10	^ ++ ^		n /lb /				
			争未夫	施手法	☑ 直接	美施 _	_	・指定管理		き 担 3	金・補助金	£ €0	D他()
<u>3</u>	事業費・	財派	原内訳		DENA			D/ 又处1								7 7 55	
車業	費(千円	17			R5決算	0		R6予算3		34		R6決算		3	K'	7予算	300
尹木.	12委									J 4			<u> </u>				300
	14工		負費														
			及び交付金						-	2.4							200
田北百	その他(千円)	,				0	ł			34 34				3			300 300
只加尔	特定則	源								16				6			150
	市債	11///							<u>'</u>	10							130
	その他																
	一般則	源							1	18				7			150
4 事	事業の原	成果	・評価														
	めざす状			今和6年	F12月1E	31-1 J 2	今和75	F18101	-1 人 丞	II属 I	. 足生 . IE	音禿呂(か活動」	-協力い	\ <i>†</i> = <i>†</i> ="	\ <i>t</i> -	
		(事業	美の成果)	DATIO	-12711			FIDIH		ゆり	ハルエハ	,主女只(1/2/20	1/20	
KPI		5 夕 /	出仕)		早井 :		標1 映 <i>の</i> 郷:	Ж/ ₩₩						指標2			
		<u>詳名(</u> 目標	単位)		<u> </u>	全員空白 地	地の解》 5	<u> 育(地区)</u>									
		実績					3										
			<u>に</u> 漬値の差	△和6年	度に空白地			2件。旧帝3	た 日 た 禾「	尾							
	分につ	いて	関値の左 の理由		及にエロゼ ができ、空					冲							
行革	評価(*	行政	改革大統	綱に基づ	でく評価)												
		スト	意識	評価					Ē	価し	」た根拠・	理由					
			財源確保)	Α	少額の幸	保償費では	よあるか	が、民生委	員の負	担軽	減、空白地	地減少が	期待で	き費用対	対効果を	が高い	١,
		1 d/a F	H- 	評価					Ē	平価 l	Jた根拠・	理由					
		的! 標^	ぶ∕5 √の寄与)	В	民牛委員	 の活動的	急担や/) 理的負担	日の軽減	が其	明待できる	<u> </u>					
	A 1864	->-11	1 m l + All	評価	74-27	X	\				した根拠・	_					
	(市民	等への	との協創 意見把握	рТІЩ	P. 上 禾 和	このごままった	古田太 F	 目的とした					オカ合川-	/+ <i>+</i> > ° =	± +>+ \		
			の活用)	==:/==	氏王安見	マンカ里が	用助では	ヨウンこ (7)					一切相当し	14/4/04	*~··		
			ータ活用 の活用	評価	V1+04			7			ンた根拠・ 						
		EBP		В	沽動報告	らなど事業	勞負担 軸	圣減のため					とした。	1			
	,,	.		評価					部	価し	Jた根拠・	理由					
	粉	合言	平価	В	民生委員	員の確保、	負担軽	減につな	がってい	ハる	0						
事	業実施			民生・旧	<u>-</u> !童委員の	制度に対	オス理	解.迁田/	の促進	足生	:協力昌を	道 λ I . /	-	がオス	主怒的	鱼扣₫	つ削減
	・残され	た説	果題	以工艺	∊≢女只♡			л+ /D/ПV		ハエ			اکات	-V1 A .Ø);	- 1 1 기 기 기	<u> </u>	<u> </u>
	今後のエ	1 7χロ-	七红	1日/기	 	A1215	de 1 - 22'	Λι + ι.∾	10 ± 4"	Φ-1	判断			17/mm ~			76/22
	フ仮りり	八心.	/J亚	⁻	(小圧)寸			台したばかり みながら、こ								具一斉	以選ぐの

					15.1	ארדטה	., , , , , ,		7 7 7	~ь г іш	4–	'					
1 基	基本情報	R				担	当 課地	域共生	社会推進	葚課	関	1	系	課	SDGs·公	民連携推	推進課他5課
事	業	名		8			世帯への食料										
	業区	分		会 計	<u>区分</u>		予		費目				項			目	-
	策体	系	6	地域福祉	<u> </u>				戦略的	勺 施	策				革大綱	•	1)(4)
	処法 令				. +>						1.0	111 L -	_	務	区分	目	治事務
事	業期	間	□ 単年/	度(年度)	☑ 単年	度繰返(年度~総	継続)し	複	数年度	ξ(年度~		年度)
2 4	事業の	既要	・実施内	容													
	業 目 6 美実施交						こつながるこ										
事(全	業概体計	34	子育て世界 活困窮子	帯に配付す 育て世帯に	る事業を定 食料品等を	型期的に行っ を届け、併せ	ブ、県社協やフ・ っており、利用者 たて世帯の見守	者の固定	化、作業場	うの提供 場所、配	ŧ物、企 付方法	業・事務などの	务所かり 課題解	うの習 決を	寄付などの 支援するこ	食料品等ことで、よ	を生活困窮 り多くの生
` _		_ ′	事業(の対象			象世帯						(対象			50)
			7+A=1=+7		当初	計画							取組	実績			
			▶配布対象 ▶企業から	ドドライブに 世帯の限定 の定期的な	定の可否 公寄付の確	保	食料品の確保		▶市のフ- ▶フード/ パンや:	パントリ	ノーの	実施	安定	的な	寄付食料	は品の確	E 保
	算年度(I▶食料品等 I保	€の保管及び	び分配を行	う作業場所	・受け渡し場所	Tの催	毎週木				ばぁで	で実	施		
_	主な取組	l	▶食料品等	配布の際の	の人員の確	保 ************************************			1日10		:1ヶ月]に2[回まで	利用	可能		
			▶良料品寺	の配布力を	去寺(手渡し	八配达時())見守り体制)		▶配布対 高校生		ユン	キ 、がい	る世	墨(百	所得制限(ナかし)	
									IDIAT	.00.	, , <u> </u>	0/3*0	· & _	יו) כן ו	וגעיוניקוי דאו וא	880)	
			事業実	施手法	直接	実施	 _ 委託・指定	管理	負担:	金•補	功金	√ ₹ 0	D他 (,)
2 5	事类弗 。	8+36	 5rh=0								-						
3 =	事業費・	只11	小心小		R5決算		R6-	予算現	箔		R	6決算				R7予算	<u> </u>
事業	費(千円])			11371	0)) 	0		- 1 \	0//(31		0		11137	0
	12委		a														
	14工		負費 及び交付金														
	その他		及び交割並														
財源	(千円)					0			0					0			0
	特定則	源															
	市債その他	1															
	一般則																
<u> </u>	事業の原	北甲	• ≣ 亚/邢										1				
	す未り が めざす状			フードド	ライブを	継続し安置	 定的な食料品	の確信	早に努めて	t- ±1	- 19	帝	手生出:	相行	-	まにチラ:	<u></u> シを同封
			その成果)				別を図った		不に刃のが	10001	C \	主人民	₹T=i	רושקי	田却达的	וכי כ	フ진미되
KPI						指	標1							指	票2		
			単位)				帯										
	-	目標					400										
		実績				348(3	/6時点)										
	目標値		績値の差 の理由	ほぼ目標	票通り推利	多している	5										
行甚			改革大統	 	(く)												
17-				評価	<u> </u>				評価	した根	拠·玛	曲					
			意識 ·財源確保)	A	フードド	ライブや	 企業・市民か	らの食					、配付	ਰਟ	5食料品等	4を集め	<u> </u>
				評価	- ' '	<i></i>		J 17 D		した根			V HO13		- THE C	.,	
			思 考 \の寄与)	В	田窓出き	当人の終済	————— 斉的負担軽減				.J.C. /3	<u> </u>					
				評価	四多二	ロ・ベン小王が		VIC DI		り。 した根	thn . IA	irh					
			との協創 意見把握		Ø +¥+\/	* □ #	ナンジャン字型	4 ≠ 亚 i		した収	1处。归	<u> Ш</u>					
			節の活用)	B	多様な1	E美·刚体	などから寄	別を気		1 + +0	∔hn T□	1 					
			ータ活用 の活用	評価		<i>,</i> –»				した根	拠・均	出					
		EBP			ナジタル	/化・デー	タ活用になじ	ょない			lb.						
	111	\ ^ =	an Im-	評価	A del E					した根	_				. (=>	2 12 -	
	総	合語	评価	В			の寄附を困窮 ながっている。		よど必要な	は世帯	に届け	ナる仕	組みて	であり	ノ、経済的	負担の	軽減とい
亘	 業実施	<u></u>)課題	le ''' —													
7	·残され			提供元0)企業の抽	以大、利用 	者の固定化										
	A# 07	177C	<u>-</u>	TEAL						半	断理	由					
	今後のほ	以組.	力針		維持	引き続き	・、社協との対	効果的	な連携を	図る。							

				令和	6年度	アクショ	ョンプラ	シン 事	業	評価シ							
1 基	本情報			Ī	旦 当	4 課	生活支持				関	係	課				
事	業 名	No.	9	生活困窮				Z B11			120	DIV	DI.				
	業区分	継続	会 計	区分		会計	予 算	費目	1	款	3	IJ	Į	1	目		1
	策体系	6	地域福祉		13741		, , ,			施策	Ť		-	¥ 大 綱		1)(4	•
		_		- 支援法、生活	5保護法							事		区分		治事	
	業期間	単年		年度)		度繰返(H27	年度~	継糸	売)	複数年	·度(年度~			F度)
				1 227						<i>,</i> ,, <u> </u>							
	事業の概要 1	・実施内	<u>谷</u>														
事業	美目 的・実施効果	生活困窮	ろうさい さいまた さいま はいま はいま はいま はいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま か	Zした生活 ^を	を営むこ	とができ	きる。										
事(全	業 概 要体計画)			立に向け			支援、学	当支援、	家計	改善等	の支援						,
		事業の	り対象	生活困窮		保護者						(対象		1,00	0人)
		人名任力		当初記		0.7 III		^ A7 (E.			4 A CT-14	取組	実績				
	算年度の Eな取組	▶▶▶▶▶	国窮者自立国 国窮者住居 国窮者就計 国窮者家計 の学就労支 養者就労準	業の実施 実 大 に 大 に き き き き き き き 業 業 援 援 援 援 援 援 援 表 ま 事 事 事 ま ま 援 援 援 援 る り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り	業 15,85	07千円 5千円 30千円 75千円 I 5千円		生生生生こ被被はははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははは	困り 国際 国際 国際 国際 国際 国際 国際 国際 国際 国際 国際 国際 国際	支援事業 窮者者住務 窮者者就家 實者 實子 所 對 對 對 對 對 對 對 對 對 對 對 對 對 對 對 對 對 對	相談支持 確保達 選事 選事業 援 動 養事 援 養事 援	援事業 付事業 援事 4,690 1,770 事業 1,	, 428 6, 83 2, 97 6千円 6千円	30千円 75千円 千円			
		事業実	施手法	√ 直接実	『施 🔽	委託・指	指定管理		日余	·補助金	<u>} ∏</u> ₹	その他	()
						_				11132331	<u>- LJ '</u>	2-710					,
3 🖥	事業費・財 源	別別訳		R5決算	1	D	6予算現	疳			R6決算				R7予算	当	
事業	費(千円)				1,926	- 11		44,293	3		NU/A	41,3	77		\		677
3.71	12委託料				3,884			33,29				33,1					,412
	14工事請負				0				О				0				0
	18負担金補助	及び交付金			0				0			0.0	0				468
財酒	その他 (千円)				3,042 1,926			11,002 44,293				8,2 41,3					,797 ,677
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	特定財源				2,541			32,254				30,0					543
	市債				0				Э				0				0
	その他				0				0				0				0
	一般財源				9,385			12,039	9			11,3	312			12	,134
	事業の成果				<u></u>					W		- > - 1 >				<u> </u>	
	めざす状態」乳 したこと(事業	実現に 美の成果)	生活困窮 駒市社会	腎者への支 会福祉協議:	援がより 会に委託	円滑にま する等、	うこなえる 支援体制	るよう、名 りを見直	≨事 した	業の委 こ。	計料及 (び生活		新 式労準値	前支援	事業を	を生
KPI					指標								指標	2			
	指標名(自立相談			相談件数		Ţ								
	目標				150				+								
	実績 目標値と実績	責値の差	物価高騰	 (等による:	163		<u> </u>										
行 某	分については 評価(行政	, LI 47-E/2	/H														
1J *			評価	<u>\</u>				評价	⊞L,	た根拠・	理由						
	コスト		А	全事業に	ついて「	国庫負扣	(補助)4										
				工事来に		当件只是	7 (1H) 7J			・ た根拠・	珊山						
	目的原 (施策目標/		評価 B	生活困窮	者、生活的	保護者の	自立を第			- 12 12 2							
	多様な主体	との控制	評価							た根拠・							
	多塚は王体 (市民等への ・民間活力等	意見把握	В	子どもの	学習支援	事業でプ	大学生ボ										
	デジタル・デ		評価					評価	逝し	た根拠・	理由						
	(デジタル ・EBP		_	デジタル	舌用を想	定してい	ない。										
	総合	亚価	評価					評价	重し	た根拠・	理由						

令和6年度に委託先、委託料を見直したため。

生活困窮者自立支援法の改正による居住支援等、新たな支援策の検討。

法定の必須事業のみならず、本市の実情に応じた任意事業も実施している。

判断理由

総合評価

事業実施上の課題 ・残された課題

今後の取組方針

В

現状維持

1	基本	情報	2						担当	課	健原	表課				関	係	課	国保医療	課	
事	美	ŧ	名	No.	1		健康	的な	暮らしの実活	桟											
事	業	区	分	継続	会	計	区	分	一般会詞	†	予	算	費	目	款	4	IJ	頁	1	目	2
施	策	体	系	7	健康	づく	り・国	療					戦	略的)施 策		行正	文改	革大綱	()	1)
根	拠法	5 令	等														事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	□ 単年原	变(年	度)	✓ 単年度終	噪返(年度	そ〜継	続)	複数年月	度(年度~		年度)

2 事業の概要・実施内容

	*天心内分	
	からだの健康の増進やこころの健康の維持・向上に資 の市民の健康寿命の延伸につなげる。	する取組を行うことで、健康に関心を持つ人を増やし、すべて
事業概要(全体計画)	(1)からだの健康の増進:(第3期健康いこま21・第4期食育推進 (2)こころの健康の維持向上(自殺対策計画に基づき、課題に応	計画に基づき、課題に応じた取組を実施) じた取組を実施)
(工作的固)	事業の対象市民	(対象数: 全市民)
	当初計画	取組実績
決算年度の 主な取組	(3/工記事未恢安に記戦9る歴就事未 11,803下门	(1)昨年度に実施した食生活や健康に関するアンケート調査や今年度8月に実施したオンラインブラットフォーム「Liolid」による意識調査、健康増進計画策定懇話会や食育ラウンドテーブルでの意見聴取などを活用し、本市の課題を見直し第三期健康いこま21及び第四期生動市食育推計画を策定した。9,420千円(謝礼:535千円、委託料:8,184千円、その他:701千円)(2)受診券送付対象者の範囲を拡大した結果、昨年度と比べ、がん検診の延べ受診者数が、15,202人(R5年度)から12.9%増加し17,166人(R6年度暫定値)となった。5,686千円(印刷製本費2,055千円、郵送料3,281千円、封入封緘費350千円)(3)上記事業概要に記載する継続事業を実施した。102,629千円
	事業実施手法 🖸 直接実施 🗹 委託・指定管理	☑ 負担金・補助金 ☑ その他()

3 事業費·財源内訳

		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	89,408	128,134	117,735	127,252
	12委託料	75,701	105,123	96,931	103,452
	14工事請負費	0	0	0	0
	18負担金補助及び交付金	140	1,500	1,260	2,000
	その他	13,567	21,511	19,544	21,800
財源	(千円)	89,408	128,134	117,735	127,252
	特定財源	3,040	5,864	5,227	6,231
	市債	0	0	0	0
	その他	16,397	21,353	20,528	22,006
	一般財源	69,971	100,917	91,980	99,015

<u>4</u> 事	幕業の成果・評価			
	かざす状態」実現に したこと(事業の成果)			食育推進計画を策定し、施策の方向性を明確化した。また、がん検診の受診券送付対象者の範囲を拡数が増加した。
KPI				指標1
	指標名(単位)			がん検診受診率全住民比率(%)
	目標値	胃(.	バリウム)	5.9 胃(内視鏡)2.6 肺4.1 大腸7.9 乳11.9 子宮13.4 (R4年度実績+0.4%)
	実績値	Ē	引(バリウ	ム)2.8 胃(内視鏡)1.5 肺3.8 大腸7.8 乳11.7 子宮13.8 (R6年度暫定値)
	目標値と実績値の差 分についての理由			直は、暫定値であるため
行革	評価(行政改革大約	岡に基づ	く評価)	
	コスト意識	評価		評価した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	В	国の補助金 受診率の向	を活用し、受診券送付対象者の範囲を拡大し、延べ受診者数が12.9%増加(昨年度比)となった。特に、がん検診の 国上の取組は、がんの重症化を防ぎ、早期発見・早期治療につながるため、将来的な医療費の削減効果が見込まれる。
	目的思考	評価		評価した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В		健康の増進の取組の基礎となる第3期健康いこま21と第4期生駒市食育推進計画では、健康寿命の延伸を ず、総合計画との整合性を図っている。
	多様な主体との協創	評価		評価した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В		こあたっては、関係団体等に参加いただいた懇話会を開催するとともに、オンラインプラットフォーム「Liqli ラウンドテーブルを活用するなど市民から広く意見をいただいた。
	デジタル・データ活用	評価		評価した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	В		検診の申込、がん検診受診券の発行・再発行を電子申込できる環境を整備した。また、オンライン禁煙支援事 スマートフォンやインターネット環境上で禁煙に取り組むことができる事業を実施した。
		評価		評価した根拠・理由
	総合評価	С	KPI指標	標の改善はみられるが、目標値には達してはいないため
-	業実施上の課題 ・残された課題			に関いの改善のためには、より多くの市民の健康意識を向上させる必要があり、さまざな手 を発を行う必要がある。
				判断理由
4	今後の取組方針	拉	大	R6年度に策定した第三期健康いこま21、第四期生駒市食育推進計画に記載された取組を具体化し、健康寿命の延伸のために効果的な事業を継続的に実施する必要がある。

1	基本	情報	8				扌	旦 当	課	スオ	ぺ <u>"</u>	ノ振興	課		関	係	課	施設マネシ	ブメント課等	•
事	ž	Ě	名	No.	4	市内]体育	施設整備事業												
事	業	区	分	継続	会 言	上区	分	一般会計		予	算	費	目	款	8	IJ	頁	5	目	2
施	策	体	系	7	健康で	くり・	医療					戦	略的	的施 策		行正	久改	革大綱	(1)	3
根	拠法	去令	等	スポーツ	/基本法	、第2	朝生駒]市スポーツ推	進	計画						事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	単年月	度(年	度)	√ 単年度繰〕	反(年度	を とり とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅ しゅうしゅ とうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	上続)	複数年月	隻(年度~		年度)

2 事業の概要・実施内容

2 事業の概要	•美施內谷	
	施設の整備を計画的に行い、今後の方向性を定めることで、 に使用することができる。	整備に係るトータルコストの縮減等を図るとともに施設をより長く安全
事業概要	誰もが安心・安全に利用できる施設とするため、トイレの洋式化や確保する。また、各スポーツ施設の整備が必要となる時期や整備を検討するため、スポーツ施設整備等に伴う調査を実施し、調査をある。	や老朽化した市内体育施設を適切に維持管理し、施設利用者の安心と安全を 内容、長寿命化を含む整備経費を明らかにし、今後の施設の全体的なあり方 結果を基に、各種整備工事を実施する。 (対象数:)
	当初計画	取組実績
決算年度の 主な取組	 北大和体育館トイレ改修工事 30,305千円 市民体育館受水槽更新工事 26,378千円 生駒北S.C.管理棟屋上防水改修工事 11,055千円 スポーツ施設整備等計画策定業務 9,900千円 【R5補正(繰越分】】 北大和体育館非構造部材及び照明LED改修 14,829千円 【R6補正(繰越)】 さかいやま体育館 非構造部材及び照明LED改修工事(25,917千円繰越) 	 ▶北大和体育館 トイレ改修工事 19,834千円 ▶市民体育館受水槽更新工事 23,988千円 ▶生駒北S.C.管理棟屋上防水改修工事 12,158千円 ▶スポーツ施設整備等に伴う調査業務 9,482千円【R5補正(繰越分】】 ▶北大和体育館 非構造部材及び照明LED改修 12,341千円【R6補正(繰越)】 ▶むかいやま体育館 非構造部材及び照明LED改修工事(25,917千円繰越)
	事業実施手法 / 直接実施 委託・指定管理	□ 負担金・補助金 □ その他()

3 事業費・財源内訳

	- PINSC 7/5 MISH SPIN	R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	118,053	118,384	77,803	72,351
	12委託料		9,900	9,482	17,916
	14工事請負費	118,053	108,484	68,321	54,435
	18負担金補助及び交付金				
	その他				
財源	(千円)	118,053	118,384	77,803	72,351
	特定財源	23,788	51,015	40,277	12,811
	市債	58,500	57,300	28,000	46,200
	その他				
	一般財源	35,765	10,069	9,526	13,340

4 事業の成果・評価

<u>4 事</u>	『業の成果・評価			
	かざす状態」実現に したこと(事業の成果)	一部の事	事業を除る	き、年度内に完了し、施設利用者の安心・安全を確保することができた。
KPI				指標1 指標2
	指標名(単位)			
	目標値			
	実績値			
	目標値と実績値の差 分についての理由			
行革	評価(行政改革大約	岡に基っ	でく評価)	
	コスト意識	評価		評価した根拠・理由
	(費用対効果·財源確保)	В	随意契約に	なるものについては見積合わせを、それ以外は入札による執行で、予算額より費用を抑えることができた。
	目的思考	評価		評価した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	Α	事業を進め	るうえで、実施時期等を施設をはじめ関係部署と協議を重ねて行い、齟齬が生じないよう務めた。
	多様な主体との協創	評価		評価した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	事業を進め	るうえで、施設でのモニタリング等の意見を踏まえ、施設の管理運営を行う指定管理者等との協議を進めた。
	デジタル・データ活用	評価		評価した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	_	業務効率化	のため、今後いずれかの段階で取り入れることができるかどうか検討していく。
		評価		評価した根拠・理由
	総合評価	В	殆どの引 長し、対	事業については、予定通り今年度内に事業完了し、一部の事業においても繰越等で工期延 応していくことで、予算計上した事業は着実に進めることができた。
	業実施上の課題 ・残された課題			つことでの予期せぬ修繕等が多く、利用者の方に影響を少なくするため、今後予防的保全 りていく必要が急務である。
				判断理由
	今後の取組方針	現状	維持	今後も指定管理者等との連携を行い、施設の適切な維持管理を行っていく。

									~					于木	3 I IIII -							
	本情	報					ŧ	<u> </u>	当	課	地域	医療	課			関		係	課	障がい福	祉課、健	康課
事	業	名	No.		5			の機能														
	業 区	分	継続	会			分	一舟	股会計		予		費	目	款		4	I,		1	目	1
_	策 体		7	健身	でく	り・医	療					È	戦 「	略的	施策	Ę				革大綱		1)
	法分			<u> </u>			- \		<u> </u>	\ <u></u>				- July J	+\	7 42 44	<i>L</i>		務	区分		事務
事	業期	間	□ 単年/	芟(年度	乏)	甲年	年度繰	返(د ـ	中因	~継続	売 <i>)</i> └✓	」假安	X + B	度(令	机5	年度~	令和8	年度)
	-		・実施内	容																		1
	実施?		持続可能	となり	也域图	医療提	供体	制を確	保する	328	こを目	的と	する	5.								
	業 概 体計		②発達障	うがし	.1児3	を援に														を整備す	る。	
` _	П		事業の	の対	象													(対象)
			^ +	<u> </u>	- +\-		初言		1/2±=A	N CT +	/- -		<u> </u>		<u> </u>	14フェ	51 <i>1.</i> 1	取組			-to ≠ 88:	-
			◇市立病 ◇発達障										リ巾 2)市	対例に	元にか 療介語	ける: 集従事	乳辺 事者・	児の気	E期饭 安院服	建診の受 <i>力</i> 職員の参画	いた開! fiを得て	始した。 、市立病
			員体制・				, ,		o — <i>"</i> ",	,, _ ,			院の	これた	いらを	考える	3Ö-	ークシ	ヨッ	プを実施し	、市立病	院がこ
決算	算年度	の	ワークシ	יייבי.	プ海:	学 支援	季訊	F米J					れか た。	ら取り)組む	べき	課題	こつし	て検	討を進め	ることが	ができ
主	な取締	1	(執行残											クショ	ップ길	営支	援委	託料	3,	053千円		
			事業実	施言	手法	☑ⅰ	接美	施	✓ 委 i	王•非	定管	理	V 1	負担金	•補肋	金「	マ	の他	()
	- ** #	B+3					-322			. ,,	1/2 []			<u> </u>	1113273			-> 10	`			,
<u>ろ 事</u>	手 美質	· 以//	京内訳			R5決	笛			R	6予算		百			R6	決算	Ĩ			R7予算	
事業領	費(千F	9)				NJM	· 开	С		11	.U]′ }			53		NO	八子		53		N / J′升	0
5 - 7, 12	12委	託料												53					53			0
	14工		負費 及び交付金						-					0					0			0
	その代		及U文刊並											0					0			0
財源	(千円)							C)				3,0	53				3,0	53			0
	特定則市債	才源							-					0					0			0 0
	ア領その代	h												0					0			0
	一般財源													53				3,0	53			0
4 事	4 事業の成果・評価 「ぬざす状態」実現に																					
	「めざす状態」実現に 寄与したこと(事業の成果) 病院の運営にあたる指定管理者と本事業の実施に向けて入念な協議を実施した。																					
寄与し																						
KPI		ボ<i>わ (</i>	₩ / T /					指	標1										指	票2		
	1百1	<u>景名(</u> 目標	<u>単位)</u> 値																			
		実績							_													
	目標値		<u>'''</u> 績値の差																			
	分につ	いて	の理由						_													
行革	評価(行政	改革大約			く評価	五)															
コスト意識 評価 (費用対効果・財源確保) B ワークショップの開催にあた											_,			評価し								
	(費用対]効果·	財源確保)		В	ワーク	ショッ	プの開	催にあれ	こつて	は業績	務内容										
		的思			価									評価し				- 17				
	(施策	目標^	への寄与)		В	令和7	年度(こ予定し	ている	生駒で	市病院	事業語						見集約に	こ努め	た。		
			との協創		価	مابر در د	، بازد	' <i>₩</i> □-	クミノコッ	, °≄	ば クナ	一		評価し				左倭/	·誰分	事者の意見	た町(114	1ストニ奴
	(市) (大)	ラへの 調活力等	意見把握 (の活用)		В	シンボ めた。	ン・ノ1	→ V·J—	ノンヨツ	, ノ寺	-你x'√ 'c	水成云						広原川	 遗化	尹日い思兄	で収り入れ	るよう劣
			一夕活用	評	価								F	評価し	た根拠	Ū∙理E	由					
	(7	・EBP	の活用 M)	L	В	デジタ	ルア	ンケート	を活用し	、広	<意見	集約の	の機:	会を設し	けた。							
				評	価								Ē	評価し	た根拠	Ū∙理E	<u> </u>					
総合評価 生駒市立病院開院10周年を迎えるにあたり、生駒市立病院が今後果たすことができた。													たす	べき役	割にて	ついて、その	方向性を	検討する				
		- 1 -	\====					-	- 4 %= 7 :		4o ±	_ , ,		<u>+</u>	T A :			WPD.	_	:1#: '		
	業実施・残され							の増床 ついて							神会・同	内内色	医療材	機関と	も連	携し、市ゴ	/柄院が	巾囚で
	73,01	0/С п	/NCS	ハハ	_ , '	· C IXF	1310	_ v. C:	1E/± U		\&\`	×1,1,1	ه رد		和用	折理自	h					
								11± %±.	± ₩+	ن ۸۲	ከ‡ታለታ	压棒	- 社216日	月レ! -				/++ / -1 -*	HI M	(単(幸) - ロ -	h at z .v	曲がま
-	今後の	取組	方針		現状	維持	1	ると考え	えるた	め。										継続に尽え		
					-		Ŧ	病院事	業計画	īをf				直しす	けること	ととし	たこ	とか	ら、事	事業目的等	について	てはそこ
				I			II (こ盛りぇ	ひひこ	とに	ぶるだ	にめ。										

1	基本	情報	Ž				担	当	課	国保医療	課			関 信	系 謂	7		
事	ž	Ě	名	No.	6	医療費の)抑制											
事	業	区	分	継続	会 計	区分	_	般会計		予 算	費	目	款	5	項	1	目	1
施	策	体	系	7	健康づく	り・医療					戦	略 的	施策		行政改	革大綱	((1)
根	拠法	去令	等	高齢者の)医療の研	催保に関す	「る法律	津第19条	¥ [国民健康	保険法	去第82	2条第1	項	事 務	区分	自治	当事務
事	業	期	間	□ 単年/	变(年度)	4 上	年度繰	返(H20	年度	~継	売)	複数年度	<u> </u>	年度~		年度)
		15																

2 事業の概	要•実施内容	
事業目的事業実施効果	・ 自分自身の健康に対する関心を深め意識することで、 を抑制することができる。	適正受診等につなぎ、年々増え続けている一人当たりの医療費
事業概等	医療費を抑制することで、国民健康保険制度が安定的]に運営され、誰もが安心して医療を受けることができるようにす
(事業の対象国民健康保険被保険者	(対象数: 約16,000人)
	当初計画	取組実績
決算年度の 主な取組	医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知の発送(国保連合会) 〇特定健康診査・特定保健指導 人件費 12,395千円 需用費(消耗品費・印刷製本費) 2,226千円(流用-34千円) 役務費(通信運搬費)3,682千円 委託料 85,540千円+(臨)264千円 使用料及び賃借料(施設・システム使用料)2,081千円 負担金 3,364千円 備品購入費(臨) 流用 34千円	医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知の発送(国保連合会) 〇特定健康診査・特定保健指導 人件費 9,891千円 需用費(消耗品費・印刷製本費) 1,534千円 役務費(通信運搬費)1,953千円 安託料 57,860千円+(臨)264千円 使用料及び賃借料(施設・システム使用料)1,350千円 負担金 3,075千円 備品購入費(臨) 34千円
	事業実施手法 ☑ 直接実施 ☑ 委託・指定管理	☑ 負担金・補助金 □ その他()

3 事業費・財源内訳

<u> </u>					
		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	90,473	109,552	75,961	109,474
	12委託料	70,092	85,804	58,124	83,304
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金	3,291	3,364	3,075	3,142
	その他	17,090	20,384	14,762	23,028
財源		90,473	109,552	75,961	109,474
	特定財源	38,803	54,471	63,460	48,365
	市債				
	その他				
	一般財源	51,670	55,081	12,501	61,109

/ 東業の成里・評価

<u>4</u>	<u>『業の成果・評価</u>				
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)			診受診料を無償化したことや様々な !でも、僅かではあるが受診率の増傾	受診勧奨で、受診傾向の高い高齢世代が後期高齢へ 向を維持している。
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)		华	詩定健康診査受診率	
	目標値			40%	
	実績値		3!	5%(R7.2月末時点)	
	目標値と実績値の差 分についての理由		引は2月末 !ヶ月かか	までだが、結果が市に届くまでは最 るため。	
行革	評価(行政改革大網	剛に基づ	く評価)		
	コスト意識	評価		評価し	した根拠・理由
	(費用対効果·財源確保)	В	全対象者	旨に通知を送り、必要な受診勧奨も行	った。また交付金申請も適正に行った。
	目的思考	評価		評価し	した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В	国保連合	合会と連携しながら、勧奨対象者の抽	出や受診継続意欲を促す対策を実施した。
	多様な主体との協創	評価		評価し	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	医師会等	そとの連携により、医療機関における	受診勧奨も実施した。
	デジタル・データ活用	評価		評価	した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	В	これまで	の受診履歴や健診結果データを活用	し、受診意欲を上げるための対策を実施した。
		評価		評価し	した根拠・理由
	総合評価	В	対象者を	適切に抽出し、様々な受診勧奨を実	施し、適正な交付金申請も行った。
事	禁実施上の課題 ・残された課題	受診料無	無償化や受	受診勧奨に努めているが、若年層の受 -	診率が横ばいで中々伸びない。
					判断理由
	今後の取組方針	現状	維持	特定健康診査の対象者年齢が40歳 ため。	から74歳と限定されており、対象拡大の予定が無い

					13.1	HO + 1X	-			ナハ	~и г ішц		'					
	本情報	<u>R</u>				-		危機管理	里課			関	1	系	課	全課		
事	業	名	No.	1		(害対応)												
事	業区	分	継続	会 計		一般	会計	予 算	費	目	款		2	J	頁	1	目	11
施货	策体	系	8	防災·洞	域災・消防				戦	略的	的施翁	策		行』	改 改	革大綱		(1)
根 拠	』法 令	兼							·•			· ·		事	務	区分	自	治事務
事	業期	間	□ 単年/	 芰(年度)	✓ 単年	度繰返(R5	年度	を一総	続)	複数	如年度	Ę(年度~		年度)
2 事	直業のは	車車	・実施内	灾														
	美日白				たすべき巛ま	⋾ ┾┼╩╾╤ ┵ ╎┵⋾	計士 1円名刀	辛齢の白	L 45m	ic +o:	フレレナ	1- 6/5	△ 17+ ((((=III/s=-	7:1+ <i>1</i> :	\+ \	 ひが士兄	の協力を含
事業	実施交	力果	めた防災体	本制の充実	実が期待され	ເる。											אַנוויטא	の励力を占
事。	業概	34	各年度では	ま、重点テ	練を実施し 一マに絞っフ ている総合	た訓練を実	施すること	で、より専	門的な	(知識	の向上を	を図る。				の洗い出し	た行う	
(全	体計i	曲)			全職員	別交別所へ	י יאנוי יאו	为水板为	_0/口	אווים נייו	水と大肥		피아가		_{可医示} 象数:		<u>/حرا] /ه</u>)
			7 /\ ·	2 7.3 %		計画									実績			,
			大規模地	震災害	対応訓練	ин			大規	模地	震災害	対応					 実務研(修会を実
			災害対策	[本部訓	練				施									
				ルチディ	スプレイの)活用によ	る情報共	共有能力								予定した		引下旬に
決:	算年度(D	の向上	4年訓练	(実動:消隆	七十立ワレナ		`								髻の対応る ★部との3		練を実施
	こな取組		们到可明	以貝训袱	(天勤・河)	の本部とき	代门天心)	彻默	いロり相	以具训的	KCU ((, Z)	円に	门归。	本即との	生伤训	深で天旭
			事業実	施手法	☑ 直接	実施] 委託・扌	旨定管理		負担的	金・補助	か金 [そ0	か他	()
3 重	事業費・	計	西内訳															
Ja	<u> </u>	אוו ניא	<u> </u>		R5決算		R	86予算現	額			R6	決算				R7予算	 算
事業	費(千円)			110///	0		(0 1))	14/	0		110	77771		0			4,808
	12委記																-	456
	14工																	
			及び交付金															3,099
日十八五	その他					0				_					_			1,253
以 源	(千円) 特定財	- 活				0				0					0			4,808
	市債	///																
	その他	,																
	一般財	源																4,808
/ 1 ∃	事業の原	北里	. 亚			•										=		
	する りが めざす状		田俊の	宇佐及び	\白 L 2	<u>←</u>	2 ±	±+_	;出[* 1	一 マンゴ	 連携訓練の							
			た呪に その成果)		夫他及びま より、部署				ノスロint		1又形で,	川山土 3	と図り	いこ。	また.	、用例本記	かてのだ	主方 訓練(グ)
KPI		(3.7)		Z/iBiC	5, 7, 1P E	指		700							指	票2		
IXL1		名(単位)		重点テ-	<u></u>		施数(回)							111	ホ ム		
		目標					1	3022(11)										
		実績	••				<u>.</u> 3											
			··· 責値の差															
	分につ			次年度	総合防災記	川線に同じ	ナで年度に	内に追加!	美施									
行革	評価(1	亍政	改革大統	剛に基っ	づく評価)													
			意識	評価					Ī	評価し	Jた根抗	処・理E	<u> </u>					
			忠政 財源確保)	В	白前で、	アニュアル	を作成し	、淡宝村	六業 系	各の子		を掴む	: + > 7	かけ	ができ	<i>≒た</i> 。		
	(50/13/13	,,,,,,,	X3 #3 ** PE 11 **		, C (III		2117%0	· // [/] / [した根			,5 17 /				
			思考	評価	///		- \ - \ - \ - \ - \ - \ - \ - \ - \ - \	\										
	(施策)	∃標^	(の寄与)	С	災害美術	条研修会を	と通じ、墹	頃の目を	_									
			との協創	評価					Ī	評価し	ノた根抗	処∙理E	<u> </u>					
			意見把握 の活用)	С	自治連合	合会防災詞	十画の作	成支援を	通じ、	連携	強化へ	のき:	っかけ	けがて	ごきた	-0		
			一夕活用	評価					1	評価し	Jた根抗	処·理E	Ħ					
	(デ	ブタル	の活用	С		総合防災シ	ステムを構	築できたこ					-	ちの災	害対応	芯能力の向	上を図る	ることができ
		EBP	M)		る。				=	-कः /चाः ।	+ +0+	hn TOO-	Ь					
	411	\ <u>\</u> =	π <i>I</i> π	評価					Ē	半価し	ノた根 <u>括</u>	処・埋し	Ħ					
	术	合語	Т 1Ш	С	訓練を通	通じて、災	害対応業	務の情報	処理	の考	え方が	整理さ	された	= 0				
	- AR 1.		-mer	15.77	1	\1 m = :	1477		+	<u> </u>			<u> </u>					
事	業実施						り扱いは	これからの	の訓練	東で、	能力向	上を図	図る。	また	、実動	動を伴うも	うのにつ	ついては未
	・残され	いこ記	未起	に手付え	かずである	٥ 。 1					.12.5	ble res						
	A 14		-		. .						判	断理由	8					
	今後の耳	以組	万針	打	広大	その他、	テーマ別	の課題も	多く1	1つず	つ地道	値に行っ	ってし	.\<必	シラカ しょうしん かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	ぶある。		

					15.1	нотіх	.,,,		_	T-//	ы і іщ –						
1 基	基本情報	R				担	当 課	危機管理	課			関	係	課	デジタル	イノベーシ	ション推進課
事	業	名	No.	2	防災DX	の促進(四	防災システ	テムの構築	२)								
	業区	分	新規	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	2		項	1	目	11
	策体	系	8	防災·減	災·消防				戦	略的	施策				革大綱		(1)
根抄	処法 令	等										-	事	務	区分	自	台事務
事	業期	間	□ 単年/	度(年度)	✓ 単年	度繰返(R5	年月	き〜継	続) 🔽	複数年	度(年度~		年度)
2 1	主業の	班亜	・実施内	突													
	業 目 6																
事業	実施交	力果	災害対応	で一般で	化·迅速化	ばること	で、被害を	を軽減さ [†]	せ、す	5民の3	生命・財	産を守	ること	こがで	きる。 		
事(全	業 概体計	面)	する防災	システム	等を導入	、し、災害な		さらなる のDX化る				、各班(が災害	対応	犬況や災害	害情報を	一元管理
			事業の	の対象	全職員、				T					象数:		-)
			. R±/// > . =	- / 1#//		計画			. 17.1	/// > - = -	- , 1# <i>f</i> /f		取約	狙実績	į		
			▶防災シス	マテム構築	式による事	坐 者强定					テム構築 -ザル方式	とにいま	事業表	· 選定			
			年内運用	開始					令和	17年4.	月運用開	始					
2±1	答生 庄 /	σ			等での利用 4 77,56				シスプ	ステム構	築委託料 ル審査	↓ 53,6 €昌恕耐	522千 ₩ 29=	·円 壬四			
	算年度の とな取組				4 //,30 委員報酬 :						ル番旦3 1人×2[11 20	117			
_	L. ひ 4 V 小正		(14千円	×1人×2[回)				▶ 災	狡杖マツ	プ(避難)	が情報 ス	アプリ)	の本格	導入		
				ップ(避難) 用料 231		プリ)の本格	導入		アフ	がり利用	料 231	千円					
			ア フ·ソ キ リト	刊作 23	חדו												
			事業実	施手法	√ 直接	実施	クラボ・オ	旨定管理		負担金		÷	その他	()
	= ** #												2 7 10				
3 📱	事業費・	划波	別心訳		R5決算			R6予算現	好			R6決	.笛			R7予算	当
車業	費(千円	1)				14,266				320		NOW		,881		IN / J/#	≠ 7,731
子木	12委					17,200				561				622			7,500
	14工		負費						,					<u> </u>			,,000
			及び交付金														
- IX	その他]				14,266		_		259				259			231
財源	(千円)	LNE.				14,266			/'/,8	320			53	,881			7,731
	特定財市債	「源						-	77.	500			/ Q	800			
	その他	<u> </u>							1 1,	300			40,	800			
	一般則					14,266			3	320			5.	,081			7,731
	事業のほ	# #	. =v/==														
				\/ } T_0=	1.33.1	~n4	<u> </u>		+ *	+- 1 ×-+ \i	32.广 ——·	+~~	ф	<u>-</u>	月五名刀〉七 ナ	· □ フ + 1	H 07 +616415
	めざす状 したこと		€塊に €の成果)					にて委託 Fムを構築					吉刈川	心切誅	起脌次を	図るた	ソノノノ (機能
KPI		(3.7)	()	C1H+WC	772113111	指		70117	. , .	T	, , , ,	.0		指	漂2		
IXI 1		[名(単位)		-	システム習		5)						10.	亦 仁		
		目標					0	,									
		実績	値			(0										
	目標値	と実績	責値の差	1# <i>***</i> /= 0		5 5左连以	ᇛᄼᄡ										
	分につ			情 栄牛 	支じのり、	次年度以	降り、追加	で図る。									
行革	評価(1	行政	改革大約	剛に基づ	く評価)												
		スト	 意識	評価	-0			· ·			た根拠						· · · · · · · · · · · · · · · · ·
			財源確保)	В	プロボー† 債を活用		はあったか	、、結果的に	予算	より大幅	晶に費用る	を抑える	ことが	できた	。また財源	として緊急	急・減災事業
		144.0		評価	良と加加	0 (0 , 0 ,				評価し	た根拠	・理由					
]的! ^{目標 ^}	以写 への寄与)	В				民の生命・則	権を	守るた	め、市民だ		報等に	よる被	害情報の一	一元管理と	:市民への
					迅速な情	報発信の機	能等につい	ハて、特に重				тш-					
			との協創 意見把握	評価	禾 红車型	*との打ち	へわせける	密に行っただ			た根拠		の協制を	た.# か	ていく車業	でけかく	木頂日仕
			の活用)	_	該当しない		D17C181		/ ` T	*CU	100	土件C	ノノ「励后」	と進め	といく尹木	(18/8/	、平均口は
			一夕活用	評価							た根拠						
		ジタル EBP	の活用 M)	Α	本市のハ	ザードや地頭	理情報デー	-タ等を取り 様々なデジ	込み	、システ	ムを構築	した。ま	た、AI	活用に	よるSNS作	青報の取得	号や市公式
		LDP	1-1/	評価	LINE CO.	/	ッ大心守、	ポマタアン			連携できた根拠		・ム情の	ぇ こし/ご	-0		
	\$4	言合統	亚価	рТІЩ	タイの片	シングルナンジョン・ション・ション・ション・ション・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイ	理シば!	ごている災					由白シバ	フテル	の構筑に	- トい生	(住的)(二)幸
	ηνι	, П Ц	ТІМ	В		とができ		\ <u>п</u> У	いいいり	, , , , , ,	/ IO ⊂ 1	ムロノ	<i>^, _</i>	マバ田木に	-0.7767	ピャリに圧	
큠	 業実施	FA	15年10月	融昌が-		の構成を	<i>//</i> ⊏1−	虐かっ	11/-	トブガ	か アミ	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	、道えのだ	計甲が必	(据 ナ か		
目	₱ 悪夫 虺 ・残さ∤			臧貝 <i>小/</i> る。	トノステム	などで	- 生件し、	ハハパ常	۱۲۱۰	貝1に	. v 1 \ _ (_ (1/1/1	ひしン	~ J⁻Z	۵< ₹∕₹⟨۷ノ⟩	ツ木ハガ	可半じ10
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-, Ср									来!!!kt	理由					
	今後の国	7 \$₽-	方針	担什	総持	か年度い	小冬 訓婦	もまべき	21 – +	31.17			1 - 1	レブ・F		フテル邓	 熟度を上
	/ 反()	1人小丘 /	ノコルー	⁻⁵⁵⁻¹ /	小正14			RV夫火き h家ルレコ					'\(_ (\ '	以只いン.	ヘノム白	13公区(工

						1-								于才	~ P 1 1P									
	本情報	<u>Z</u>		ı				担	当	誹	見危	機管	理課	1		ı	関	係	課	地域コ	ミュニ	ニティ	推進記	果
事	業	名	No.	3		地域の	_	災力																
	業区	分		会言			_		一般会	<u></u>	子	算					2		項	1		目	1	
-	策 体	系	8	防災・	減災	・消防							戦	路的	り 施	策				革大約			(4)	
	法令															1	<u> </u>	事	務		र्	目治	事務	
事	業期	間	単年/	芟(年度))	✓È	単年度	繰返(R5	年	度~総	ಟ 続)	ぞ	复数年	塻(年度 ²	~		年月	丢)
2 事	事業の概	要	・実施内	容																				
	美目的 実施效		住民が地 成果が地												保する	とと	きに、	避難	所単位	立の訓練	東が仮	進さ	れ、そ	の
事(全	業 概 体計画	要画)	-	研修会	きを行	ゔゔ゙								自主防	災会、	防災	リータ	ブーを	·対象I	こ、本市	の災 `	書や災	(害対	応
			事業(り 対 1	象 全				E防災	会、防	災!.	ノーダ	_						象数:		-)	
			▶自治会	. 台 子 17-	+<<<		_	計画	l <i>H</i>	<u> </u>	+7Π	收合	▶ 7	πlφΔ·	251 🗀	<u>(1)</u>	コル生		祖実績		h IV IV	-<<<=±	. 	<u></u>
			の開催	.日干19	万火 2	云仅具	. , P	奶火'.)-9-	— PJ1	J 17π	修云		邢宮云: 3会場					心辰火	害、③均	U 스티브]火訂	四 水	E)
			①風水書										▶4	上駒市	自治連	合会	號談	計画						
決(算年度(D	②地震災 ③地区防				3 L	ᆔ												寅会)1回 調礼な		į		
	な取組		地区防					븨					**	/日N)/J	い。	ソロり	水连V.) _ () ,	八冊川	1的1小(4	U			
			▶ 研修請					一円																
			事業実	佐 壬;	±1	. ==+	÷=	D+/ -		E=T .	+F:C	- ///- TEE] 4 .+n	^ +	<u></u>		7 A /H						_
			争未天	他士 /	広	但报	ララ	€他	3	₹話•:	括 正	管理		」 貝担:	金•補	圳 金	₹	その他	. ()
3 事	ま業費・	財源	<u> </u>				_																	
古光	典/イm				R	5決算	1			ŀ	₹6-	予算瑪	額	22			R6決	算			R'	7予算		_
争耒	費(千円 12委託								0					23					0	-				0
	14工事		負費																					
	18負担金	補助	及び交付金																					
D 1500	その他													23										
財源	(千円) 特定財	洒							0					23					0					0
	市債	///																						
	その他																							
	一般財	源												23										
4 事	事業の 5	業の成果・評価 ************************************																						
	めざす状		実現に 当初の予定回数どおり研修会を実施することにより、共助への理解と知識が深まった。また、自治会間の相互支援を目的とし																					
			の成果)	自治連 上が図			国 (7))作成	支援を	通じて	、自	治連合	会と	の連携が	が深まっ	った。	防災講	演会0)実施に	こより、防	災リー	ダー等	の知識	30円
KPI					17700				指標1										指	標2				
			<u>単位)</u>				地	区防	災計画	iの作	成													
		目標							増加															
		実績							なし															
	目標値を		遺値の差 が理中						画は作品				が、É	自治連										
行 某	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		改革大統					- 1 U/		▶/⊠·4%	./ . /	.0												
1J 				呼にを評価		計画。	<u>/</u>								した根	-	理由							
			意識 財源確保)	В	鵈						催し	た。ま	た防					テの語	り部派	遣を活用	したこ	とで費	用負担	<u></u> な
	(52/11/17	WJ> \	// // // // // // // // // // // // //			、実施	する	ること	ができた	Ē.				=17/3∓1	した根	+ <i>b</i> n . :	佣出							
		的思		評価		ار ب ن	1-1-	+ 7 -	4× 1141	+ ~ 17-	+~~	+ 00	- -			:1处。	生田							
	() 他東日	目標ハ	(の寄与)	В		退退で	الما	める	か、地	ツ(ハ)	力災	וועטרע	킨	は見ら		16	m I							
			との協創 意見把握	評価											した根	-	埋田							
			息兄兄座 の活用)	C	É	治連	合	会との	の連携	は向	上し	てい	ると	実感し	ている	5.								
			一夕活用	評価	i									評価	した根	拠・	理由							
		ブタル EBP	の活用 M)	С	自	治連合	会	防災詞	計画に基	<u>は</u> づき、	、自治	台連合会	会防犯	災HPが	完成し	たこと	とは大き	ŧι,						
				評価	i									評価	した根	拠・	理由							
	総	合語	平価	С		- 定の	ᆎ	里が	あいゞ	を雇っ	ر ا	お性 オ	一起	1,711										
														U (V)	٥,٥									
事	業実施 ・残され			仕組み	ナはて	。 できた:	ŧ	のの、	、実践的	内な記	川練	の実別	もに、	より実				0						
															半	断現	里由							
	今後の耳	又組.	方針		拡大			共助	に関す	る理解	解は	あるの	ので	、発展	させる	必多	更があ	る。						

						HO T/X				. /	л прица		!				
1 基	本情報	R				担	当 課	危機管理	里課			関	係	語	農林課、事	業計画課	、土木課
事	業	名	No.	4	まるごと	まちごと	ハザード	マップ(見	える防	災)	事業						
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	1	款		2	項	1	目	11
施	策体	系	8	防災·減	災·消防				戦 略	的	施第	Alf.		行政改	女 革 大 綱		(1)
根拠	见法 令	等										<u> </u>		事務	区分	自治	台事務
事	業期	間	単年原	变(年度)	√ 単年	度繰返(R5	年度~	継続	売)	複数	女年度((年度~		年度)
	E₩Λ!	W 255	=	r'o										•			
		100	・実施内		811 10	1-4			N##-#				L-15 1 -				
事業	美 日 日 まままま 実施交	カ果	半時からため池の	市民の目1 状況をデ-	こ触れる場 ータで確認	所に看板等できるため	きを設置する。管理者	の安全確保	、潜任的1	こ巾」な避	氏か防 難指示	災を意 の発	意識する	誘導の	できる。 実施が可能	となる。	
事 (全	業 概体計 [要画)	▶ 防災重	点ため池園	監視システム	区域となっ ムを導入し	ている地: 、カメラ明	域の電柱等 快像と水位	記、浸水 データを	深・えもと	避難所 に災害	まで <i>0</i> 発生ほ	時の避	難情報多	は では では できる。 できる できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	を設置	3
			事業の	の対象										(対象数		-)
			Z.104			計画				·	- I—-n	m / o		双組実統	責		
											板設	置(2	0ヶ所)			
						について	け 同節	の季託料									
					K-DIII	10 20.0	10시 기회	V) 女百时千									
			1711377	V = 7 = 7 . 3													
	よび耿組		▶ ため池	監視シス	ステム設置	場所調査	:										
			市 类 虫	佐壬辻] = === +	K		'nЛ	1± □±		770	/H /)
			争未天	施士法		美施 じ	∫ 安託・⅓	百正官理	」 貝:	但金	*	金	 (0)	他 ()
3 事	8 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 277 277 69 12委託料 277 277 69 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 69																
	3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 277 277 6 12委託料 277 277 6 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 その他														-		
事業										693							
事業費(千円) 0 277 277 12委託料 277 277 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 270 その他 277 277 財源(千円) 0 277 277 特定財源 116 116															/		693
R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 277 277 12委託料 277 277 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 その他 財源(千円) 0 277 277 特定財源 116 116																	
	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 277 277 6 12委託料 277 277 6 14工事請負費 277 277 6 18負担金補助及び交付金 270 277 277 6 財源(千円) 0 277 277 6																
財源						0			27	7				277	7		693
,		源															346
14工事請負費 18負担金補助及び交付金 その他 財源(千円) 0 277 25 特定財源 116 1 市債 その他 161 1 4 事業の成果・評価															.		2.45
	お事業費・財源内訳 R														347		
4 4	18負担金補助及び交付金 その他																
				当初の記	十画通り、	市内の雷	柱に浸れ	/想定深と	最寄り	の避	難場	听を明	月示した	た看板を	を設置した	。設置場	所につ
寄与	したこと	(事業	(の成果)									– .					
KPI						指	漂1							指	標2		
						看板等設	置率(%)									
		目標	値			3	0										
	:	実績	値			3	0										
	目標値	と実績	責値の差														
	分につい	ハて	の理由														
行革	評価(1	亍政	改革大約	岡に基づ	く評価)												
	٦.	スト	音識	評価					評	西した	た根拠	Ū·理E	∄				
				В	当初予算。	よりは増額	となったカ	、財源とし	て防災・多	を全な	を付金を	を活用	しており	ノ、市費の	り負担を抑え	こている。	
		44.5	n +⁄	評価					評化	而した	た根拠	Ո∙⊞F	ħ				
		的!	忠考 (の寄与)		ウノま 反		かる坦高	近年記書 7						± < < < \ \ \	 D意識づけ	· た⁄ ニュフ	
	(他來)	コ际ハ	(の句子)	В	ロノコロ	ひり日に別	いる場合	別に改画り						刀火/\\\	ノ忌畝 ノリ	21] کا (いる。
			との協創	評価	모바뉴바	ンローナノーナン	N74 50	*****			た根拠			1 7/+	ルの主体と	のわかし エ	# サブロン
			意見把握 の活用)	_		ル竜仕にの よく、本項目			の中氏の角	を話る	と待くし	いるか、	・争耒へ	-0 (ld.	他の主体と	の協制で対	医の (いく
	デジタ	ル・デ	ータ活用	評価				<u> </u>	評	面した	た根拠	Ū·理F	<u> </u>				
	(デミ	ブタル	の活用	C	看板に市の	カハザード	マップのの	Rコードを	掲載する。	ことで	で、その	場です	民がハ	 \ザードヽ	アップを確認	できるよ	うにした。
		EBP	M)	_	L IXICITE		.,,,,,				た根拠			., .	. > > С видио		7120720
	84	合語	π/ 	評価					百 十 1	ЩΟ	/二个区分	何。'注口	Ц				
	がた		ТІЩ	В	当初の予定	定どおり看	板設置を行	テい、市民の)避難行動	めの低	足進及で	が防災	啓発を決	進めた。			
	- 	. 1 -															
事	業実施・残され			設置場所	所の選定に	時間を顕	更したたと	め、来年度	実施に	あた	ってに	ま、早	期から	の調査	が必要で	ある。	
	・残され	いこ説	林起			1											
	A ///	-		, .	_ ,	,		71				断理由	_				
1	今後の国	以組	万針	扭	大	さらに非		こ触れる	機会を増	やし	ってい	くため	り、来年	関はす	5内50ヶ月	かを目安	に看板設

							1- 1		127					T-/I	~ µ1	іш-								
_	本情報	R						担	当	課	危機	管理	課				関	係		課				
事	業	名	No.		-1	避難			の充実		_													ı
	業区	分		会	計	区	分	-	一般会計	†	予	算	費				2	_	戼	-	1_			11
	策体	系	8	防災	ジ・減	災·消	1防						戦	略自	勺 施	策					革大網	-	(*	
	12 法令																			務	区分	7	自治	事務
事	業期	間	□ 単年/	度(年	度)	√ È	単年度終	疑返(- I	R5	年時	き〜総	継続)		複数年	丰度(年度~	_		年度)
2 事	事業の	既要	・実施内	容																				
事 弟	美目的	勺 •	避難所の備着ことで、使用	生物資	を強化 備蓄物	すること 対資、避業	で、初 断生注	動期の過 舌への理	葉難所の環境 解を深めて	竟が改き、	善され、選 地域住民	難者 の防ジ	のスト	・レスや ² ・向上に	不安等を つなげる	を軽減。 る。	させるこ	とがで	きる。	また、 '	平時から地	域の防災	訓練等	で使用する
事 :	業 概体計	鱼	として、ハ	パーテ	イシ	ョンや	簡易	題等を ベッド、	参考に、 さらにI	発生 よ入浴	初動期 3設備、	の選 非常	達難所 常用電	近生活 電源、原	の質(照明器	の向」 器具等	とや衛生を充実	生環 [」] 実・強・	竟の組 化さ	維持· せる。	·改善のだ。	きめ、過	難所	用資機材
` _		- ,	事業(の対	象														(対象			-)
			、 \m ## = C 20; #4	%+ +.Λ≢	5 6 /±±		当初	計画					, \p+#	#=C>⁄9.¥4	(++\0\B)	6 /±±		耳	以組	実績				
			避難所資格①災害用トイ	ンセッ	F 17								①災計		レセット	۱ - 15,	740 T F							
			②携帯電話3 【R6補正(繰	越)】	-		1						【R6	補正(繰	越)】		76千円							
油	算年度(\mathcal{T}	追加整備全体 ①段ボール/											整備全位 ボール^										
	异十尺(こな取組		②テント式バ ③蓄電池・ソ	ペーティ ーラー	ションパネル	500基	ţ						②テン ③蓄	ント式パ 電池・ソ	ーティ: ーラー	ションパネル	500基 35台							
			④投光器 3⑤循環型シャ	5台									④投)	光器 3 環型シャ	5台									
			⑥循環型手流											環型手流										
			事業実	施	手法	√ į	直接	実施	委	託·扌	旨定管	理		負担	金・褚	助金	<u> </u>	その	他()
3 🗐	事業費・	財派	原内訳																					
		7.24				R5	夬算			F	86予算	算現	額				R6決	算				R7	予算	
事業	費(千円							3,62	25			6	59,6	648				1	8,1	16				0
	12委		5 弗																					
	14工		ヲ貝 及び交付金																					
	その他		<u> </u>					3,62	25			6	59,6	648				1	8,1	16				
財源	(千円)							3,62				6	59,6	648					8,1					0
	特定則	源										2	25,	177										
		1																						
								3.62	25				14.4	471				1	8,1	16				
4 =			==:/=:					-,					,						<u> </u>					
市債 その他 一般財源 3,625 44,471 4事業の成果・評価 「めざす状態」実現に 寄与したこと(事業の成果)」 遊難所のトイレ対策として屋外トイレテントやトイレ処理 た。また、携帯電話充電器やその他避難所で必要とな															n 🗥 ı	1	1 71		-0	. 10	<i>^/ ∕ ∕ ∕ ∕</i>	7 \n+++4		± <i>h</i> /++ i
			₹規に ≹の成果)																			7近難	別に	整備し
KPI		(7-7	()	/_0	6/2	N 373 IT	, Æp		指標1	رضا ده	处1大口7	1 0 2	U.SC	<u></u>	υ Q Ί	ניויאי	O#17C	-10-11	_ I/HJ C		票2			
IVET		[名(単位)						<u>」目155</u> 才整備率	<u>≅(%</u>)									JH1:	ホム			
		目標							<u>= エッラー</u> 手より上		,													
		実績	値	トイ	レ用品	につい	ては	、当面の)目標(避	難者1	日分)の	50%	6整備	完了										
	目標値分につ	と実績	積値の差の理点																					
<u>/二보</u>			改革大統	河1一:	甘べ	` ∕=\\	/ #\																	
l 1 J T				1	<u>空</u> づ 価		<u>Ш</u> /							評価		根拠·	理由							
			意識 財源確保)		<u>-іш</u> В	文 質	トにり車	ま田 たぜ	 叩えて購 <i>り</i>	なが	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	レナ				-		24株十二	小敕	供え	ケット			
	(貝川刈	χJ . Υ	知师唯休/			J′ , 1	より 戸	一一	せん く 押ノ	八飞地	E0767C	0						利双 们	の走	開る	1] 기८०			
		的思			価	市民		での高し	/游難所	資機太	オを整備	古る					·理由	スやス	不安化	の軽温	えを図ると	- とまし	- 、	推所生活
	(施策	目標^	への寄与)		В				ている。	I/X/ I	, CIE/m	,,,						<i></i>	١ ^ ٧	<i>></i> ⊤⊥//:	жедос		- \	ж//1 —/Д
			との協創	評	·価									評価	した	根拠·	理由							
			意見把握 の活用)		В	防災	講座	等で	市民の	避難	听資機	材:	;	ズを耶	恵取し	八本 かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	事業に	こ反	映し	てい	る。			
	デジタ	ル・デ	一夕活用	評	' 価									評価	した	根拠·	理由							
		ブタル EBP	の活用 M)	ļ .	_	物品	購入	とい	う事業の	 の特性	 生によ	り、	本項	目は	該当	しな	ر۱ _°							
		LDI	141)	評	価									評価	した材	根拠·	理由							
	松	合語	平価		В	今年	度目	標と	する資格	幾材は	ま整備	でき						な資	機材	の整	備も行	うこと	がで	きた。
事	L 事業実施 ・残され			資機	幾材の	り品目	や数	対量が	増える	ことに	こよるイ	保管	デス /	ペース	の確	保と	:平時(にお	ける	物資	管理			
	72,01	J, C□	INCS				1									判断	押山							
	今後のI	取組:	方針		拉	大		避難所	 折資機材 チヨにょ	の整り	備は、毎日の数点	毎年!	段階的大幅	的に行	うて すって	いく』	必要が	あるが	が、介	和7 てい	 '年度はA	製越事!	<u></u> 業とた	ふるが、交

		_						11		I = 1// ==					l nn		<u></u>						
	本情報				D-L /// I	_		<u>当</u>	課	危機管	理	課			関	•	係	課	:				
事	業	名	No.	5-2			倉庫の新			▽ ₩	- :	进 C	. I	±b		2		-X	1 1				11
	業 区 策 体	分		会言		分 *	一形	会計		予算		費 目		款		2	_	項	<u> </u> 1		目		11
-	取 14 』法 令	系生	8	的火*	減災·消	מי					4	以哈	口刀	ル 中	! L		事	務		分	–	治	巨致
	<u>运运</u> 業 期	間	単年	座/			✓ 単年	F度繰i	反(D	6 5	∓度~;	≲业 ⋞⊒	<u> </u>	海炎	效年度	_	介力	<u></u> 年月			/D=	P//カ 年度)
				•	+15	₹ <i>)</i>	<u> </u>	一反际人	巫(K	0 1	+[克 [~] i	心心	t/ ∟	1 交交	X+13	ح (4-15	ጲ~`			牛皮)
			・実施内	容																			
事業事業	美目 的	り・力果	大規模災	災害を想	定した	事前	備蓄がる	可能と	なり	人、災害!	時の)支援引	強化	につた	よがる	5.							
事 :	業 概体計	H 人角	まずは、 に向け核			機材	すを収納	する値	蓄	倉庫を	整備	する。	大型	型の集	中備	蓄倉	庫に	こつい	ては、	今後	も引	き続	き確保
(±	14 āl l	四 /	事業(の 対 1	象 市民												(対	象数:	1	-)
						初言	画										取約	且実績	Ę				
			【R6補工 集中備蓄	E(繰越 sees)】 コム 13	2 2 4	c 1					R6補 集中備				12 1	265	11円					
			未出佣官	台启焊	Z 12	2,20	этп				5	卡什1佣1	凿层	四 乙	. 🗖	12,4	200	一一					
油	算年度(\mathcal{L}																					
	异サ反い こな取組																						
								_				_											
			事業実	施手	去 🗾 直	接美	施	委託	・指	旨定管理		負担	金	•補助	金	{	の他	()
3 事	事業費・	財派	原内訳																_				
					R5決	算			R	6予算3					R6	決算	Ĺ			F	37予	算	
事業	費(千円						0				12	2,265	5					0					0
	12委記		 刍費																				
			及び交付金																				
	その他	,										2,265											
財源	(千円)	· ()古					0					2,265 6,132						0					0
	特定財市債	////										5,132 5,100											
	その他																						
	一般財	源										33	3										
4 事	事業の原	成果	・評価																				
	めざす状			内閣府	fの令和6	5年月	度補正う	予算に	おし	ハて創設	とされ	れた「親	折しし	い地方	経済	*·生	活環	境創:	生交付	 金(±	也域队	方災勢	緊急
		(事業	美の成果)	型)」を	活用して	て整体	構する <i>た</i>	こめ、全	和	6年度第	第1(O回補i	正予	算を記	ナ上し	し、全	額線			うった	0		
KPI		- - - /	W//I			`^		標1	2()									指	標2				
		名(目標	単位)				後材整 前年度。)													
		日信 実績					削牛皮	<u> より工</u> -	升														
			<u>に</u> 績値の差	△和6	 年度第1		油正 系	笛た計	- FI	1. 全好	14品し	1#代1.											
	分につい				十尺先り		ıшш]^.	기 C 티	т'	し、土街	小木、	J NOW U											
行革	評価(1		改革大統	綱に基	づく評価	五)																	
	٦.	スト	意識	評価	i							評価	もし かんしょうしょう	た根拠	·理	由							
			財源確保)		当該事	事業	に係る耳	双組は:	未完	記了であ	5る7	ため、言	平価	は行れ	つなし	۰۱,							
		的思	 日老	評価								評価	話し が	た根拠	·理	由							
			いつ への寄与)		当該專	事業	に係る耳	双組は:	未完	記了であ	5る7	ため、言	平価	は行れ	つなし	۰۱,							
	多様が	*	 との協創	評価								評価	重し が	た根拠	·理E	<u> </u>							
	(市民	等への	意見把握			事業に	 に係るI	双組は:	未完	も了であ	5る7	ため、『	平価	は行れ	つなし	,1,							
				評価			- 1717 -	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						た根拠									
	(デミ	ブタル	一タ活用の活用	БСІЩ		1業		70%日1十.	‡ ⊆	 宅了であ	5ス7			_ 12 137 _									
		EBP	M)	=17./#		PA		八川山 (6)	<i>/</i> /\ <i>)</i>	63 60	ושכ			た根拠									
	\$4		平価	評価												-							
	190	, H D	, 1144		当該	事業	に係る耳	収組は	未完	も了であ	5る7	ため、言	评価	は行れ	つなし	, I _°							
重	▲ 第業実施	i ⊢σ)課題	4																			
7	・残され			なし																			
														判断	f理由	<u> </u>							
	今後の耳	汉組:	方針	現	状維持				F度	中に2	台の	整備を	を目	指すか	べ、さ	らな	る倉	庫確	保に向	リナて	引き	続き	検討を
				l .		F	隹めてし	.\<.															

					15.1					子人	υ ι іщ >						
1 基	本情報	R				担	当 課	1	土	木課		関	係	課		管理課	7
事	業	名	No.	6	橋梁耐震	夏化事業											
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	绘計	予 算	費	目	款	6		項	2	目	2
施:	策体	系	8	防災·減	災·消防				戦	略的	施策		行	政改	革大綱	((3)
根扱	』法 令	等	道路法、	道路の修	経に関す かんきょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ はんしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ はんしゃ しゅうしゃ はんしゃ しゅうしゃ はんしゃ はんしゃ しゅうしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ しゅうしゃ はんしゃ しゅうしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ しゅうしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はん	る法律					-		事	務	区分	自治	台事務
事	業期	間	単年	度(年度)	単年	度繰返(年	き〜継続	続) 🔽	複数年	度(R2	年度~		年度)
2 =	12世の1	шæ	. 宝饭内	宓													
					((-741	\++- [*]	/// //- ±	F	<i>\$7</i> 1, 7 1,	売 ルユ	V # 7 =	T /	+11 (// 	- A EV 4- 1	^\\ \Υ\Υ	+\ =
			通行機能	とを確保 で	できる。												
事 (全	業 概体計	要 画)	をもとに	耐震工事	事を実施す	緊急輸送達 することで	道路上の で、災害時	の通行機	態能を	橋等に	ついて、	令和2					優先順位
			事業(の対象				北山橋	也							5橋)
			20.1.1c=16	F/1 01					T-11	丢 /」 1	10.0	\ <u>\</u>					
)			
			北山橋(L=70.2	2m W=	12. 0m)								2. Om	1)		
241	杏 一中,	7	(工事費) 101,	000千円]									• •		
			1 0.5 5														
	二、今日又心	L			-20 Em	. \4/_1 /	(ma)					-20 E	'ma \A	<u>_1_1_6</u>	· ma \		
						1 VV=1.6	om)							/=1.6	om)		
			(女司兵)),0	00113				(32	(中山央/	0,51	211.	,				
			事業実	施手法	直接	宝施「、	/ 委託・	岩定管理		鱼 扣全	≥•補助全	<u> </u>	その他	()
	3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 120,000 13,772 111,000 12委託料 19,000 13,772 10,000 14工事請負費 101,000 101,000																
3 =	3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 120,000 13,772 111,000 12委託料 19,000 13,772 10,000 14工事請負費 101,000 101,000 18負担金補助及び交付金 その他														/-		
古光	3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 120,000 13,772 111,00 12委託料 19,000 13,772 10,00 14工事請負費 101,000 101,000 18負担金補助及び交付金 その他																
事業費(千円) 0 120,000 13,772 12委託料 19,000 13,772 14工事請負費 101,000 2 2の他 13,772 13,772 13,772 13,772 14,772 15,																	
	北山橋(L=70.2m W=12.0m)																
	R5→R6繰越														101,000		
	(委託費) 10,000千円 おし橋(L=70.2m W=12.0m) (表託費) 4,776千円 萩の台橋(L=45.0m W=12.0m) (本託費) 101,000千円 (委託費) 484千円 (委託費) 484千円 (表託費) 484千円 (表託費) 484千円 (表託費) 4,776千円 (委託費) 484千円 (表記費) 484千円 (表記費) 484千円 (表記費) 4,776千円 (表記費) 484千円 (表記費) 484千円 (表記費) 484千円 (表記費) 4,776千円 (表記費) 484千円 (表記費) 4,776千円 (表記費) 484千円 (表記費) 484千円 (表記費) 484千円 (表記費) 484千円 (表記費) 484千円 (表記費) 8,512千円																
財源	事業 区 分 総統 会計 区 分 一般会計 予算 費目 数 6 項 2 目 2 名														111,000		
	事業 期間 単年度(年度) 単年度繰返(年度~解練) 1 複数年度(R2年度~年度) 年度 本度 2 事業の概要・実施の容 1 回土時初化」「災害に強いまちづくり」において、標準耐震化は必要不可欠であり、災害時の緊急輸送道路における事業、無																
		1					300			3,	800			110,000			
	全体計画														1 000		
				<u> </u>					/ ,-	TTT			ی,	<i>3</i> 20			1,000
4 1	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 「大円) 0 120,000 13,772 111,000 「12委託料 19,000 13,772 10,000 「14工事請負費 101,000 13,772 101,000 「18負担金補助及び交付金 その他 59,256 6,644 11,000																
	14工事請負費														震化を進		
		(事業	ミの成果)	めた。													
KPI		 /	34 (L)											指	票2		
					7			<u> </u>									
						13.0(6/46)										
				国の交付	寸金減額に	こよる事業	業の見送	IJ									
∠= ++					· /==/\												
打車	<u>評価(</u>	丁以	: 改单大統		<u>(三評価)</u>					=π/±=1	+ +D+hn	тшн					
					極辺の耐	:雪性を確(早するため	N 経済的:	かつそ				直業を	進め「	お頂につい	ハアけ 国	の交付金
	(費用対	効果・	財源確保)	В				ン、小エルコロコバ	J _ L	15=1.0		SALU(-	# ₩ €.		初 <i>m</i> ,nC ン V	, (16) 臣	107
		l的!	思老	評価													
				В					侖)に	おいて「	大規模地	震災害	に備え	、橋梁	の耐震化」	とあり、	課題解決に
	# 1 * +	~) ottol		1917、計画	当りに対床	を夫他し	/こ。		薬価し	た根拠・	押由					
				рііш	現橋の耐	震性能、生	駒市地域	防災計画	及び乳				一ク計	画を考	慮し、橋梁		計画を策定
	·民間	活力等	の活用)	_	しており、	広範囲の	条件及び	専門的な知	口識を				目は該	当しな	:۱۱،		
				評価						評価し	た根拠・	埋田					
				-	橋梁の耐	震化にはき	デジタルテ	ータを活	用した	きものが	一般化さ	れてい	ないた	きめ、当	該項目は	該当しな	ر۱.
				評価						評価し	た根拠・	理由					
	絲	合語	平価		橋梁耐震	化事業は、	多大な費	用が必要	とない	し、また3	交付金の流	咸額がる	ーー あり計i	画どお	りには進 <i>A</i>	しでいなし	 いが、施工
				В	可能な範	囲で進めて	ている状況	である。	今後、	交付金	こ代わる	財源を	確保し	、事業を	を進めてい	く予定。	3—
車	業実施	i Fσ)課題	<u> </u>	*	- T+ 'C											
-3	・残され			交付金領	等の財源の	り 催保											
											判断	理由					
	今後の耳	区紀-	方針	現場	総持	耐震神みも	が必要が婚	型けまだ※かっ	多く母	っている			j · 「!!!!! #	三二二十二	まちづくい	において	 橋梁耐震化
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	W4T	121	1 -50-17	A1.11-1 A			そはまた奴3 今後も災害								וירטייורן	响不删废化

									J	ノノ 事未	:DIЩ>	<i>'</i> '					
1 基	本情	報				担	当	課		事業計画課	F	関	係	課		管理課	E C
事	業	名		7	地籍調查												
	業区			会 計	区分	_	般会計	-	予 算		款	6		項	2	目	1
	策体	-			災·消防					戦略的)施策				革大綱		(1)
			国土調理	查法									事	務	区分	自治	台事務
事	業期	間	□ 単年	度(年度)	単	年度終	湿(年度~継	続) 🛂	複数年	度(H21	年度~		年度)
2 1	事業の	概要	・実施内	容													
事業	美 目 ほ	的・	本事業に	よ災害復	日の迅速化	比、土地	也利用 <i>0</i>)円滑	化、公共	は事業の円流	滑化、課	税の適	正化	等の事	業効果が	高く、市	 ī行政のあ
事(全	業概	要画)	作成する	法に基づ。その後測	き、土地に1	ついて、 ついて県	所有者。 見を通じ	、地番 て国の	、地目の記証を	調査並びに均 受け、その後	竟界及び 登記所()	地籍に関 法務局)	する へ送作	調査を ² けして地	行い、結果 注籍図及び ¹	を地図及 地籍簿の	で簿冊に 書換えを
(_	PT DI		事 業 (の対象	!			市内	地籍調査	面積			()	対象数:	52.3	6km2)
														組実績	į		
							付			▶ 地籍調	查成果(の認証、	登記				
				二丁目・勇	東菜畑一丁	目の名	一部・勇	東生縣	句月見				一丁目	目の各	一部·東生	:駒月見	.町)
決	算年度	の)閲覧								_TE	3の各-	—部)		
Ė	Eな取約	1	(東菜畑	一丁目・勇	東生駒一	「目の行	各一部)		▶ 一筆地	調査、測	量					
							+ E5	$\Gamma\Box A$	\&\ \ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	(東生駒-	一丁目、	東生駒	二丁目	1、東生	E駒三丁目	∄の各一	-部)
			(果生駒 ⁻ 	一」曰、閉	艮土駒— 」	日、果主	上駒二.	J 日 0.)各一部)								
			+ # +	サエ は	I — — —			11			^ ++=1	<u> </u>	"	. /			
	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 業費(千円) 23,138 45,159 26,955 44,4 12委託料 23,138 45,159 26,955 44,4)		
3 📱	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 業費(千円) 23,138 45,159 26,955 44,4																
	(東生駒一丁目、東生駒二丁目、東生駒三丁目の各一部) 事業実施手法 □ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他(事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 費(千円) 23,138 45,159 26,955 44,4 12委託料 23,138 45,159 26,955 44,4 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 その他 原(千円) 23,138 45,159 26,955 44,4														-		
事業	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 業費(千円) 23,138 45,159 26,955 44,4 12委託料 23,138 45,159 26,955 44,4 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 20,955 44,4 ぶ(千円) 23,138 45,159 26,955 44,4														44,427		
	「東生駒一丁目、東生駒二丁目、東生駒三丁目の各一部 事業実施手法 直接実施														44,427		
	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 R7予算 A4,4 A4,4 A4,4 A4,4 A4,4 A4,4 A4,4 A4,																
	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 R7予算 A5,159 A4,4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4																
財酒	「東生駒一丁目、東生駒二丁目、東生駒三丁目の各一部 事業実施手法 直接実施														11 127		
\(\(\alpha\)\(\a	当初計画														33,320		
	全体計画																
	* 地籍調査成果の認証、登記所送付 (東東畑二丁目・東東畑一丁目の各一部・東生駒月見町) * 地籍調査成果の閲覧 東菜畑一丁目・東東畑一丁目の各一部) * 地籍調査成果の閲覧 東菜畑一丁目・東生駒一丁目の各一部) * 地籍調査、測量 東生駒一丁目、東生駒二丁目、東生駒三丁目の各一部) * 事業妻 施 手 法																
	(分)														11,107		
4 1	* 地籍調査成果の認証、登記所送付 (東菜畑二丁目・東菜畑一丁目の各一部・東生駒月見町) * 地籍調査成果の閲覧 (東菜畑一丁目・東生駒一丁目の各一部) * 地籍調査成果の閲覧 (東菜畑一丁目・東生駒一丁目の各一部) * 地籍調査成果の閲覧 (東菜畑一丁目・東生駒一丁目の各一部) * 地籍調査成果の閲覧 (東菜畑一丁目、東生駒一丁目の各一部) * 地籍調査成果の問題 (東菜畑一丁目、東生駒一丁目の各一部) * 地籍調査成果の問題 (東菜畑一丁目、東生駒一丁目の各一部) * 連邦一丁目、東生駒一丁目の各一部) * 連邦の日 * 連邦の日 * 連邦の日 * 連邦の成果・評価 * 本業実施区域内の一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに筆界及び地間に関する測量を行い、事業の成果・評価 * 本業実施区域内の一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに筆界及び地間に関する測量を行い、事業の成果・評価 * 本業実施区域内の一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに筆界及び地間に関する測量を行い、事業の成果・評価 * 本事業実施区域内の一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに筆界及び地間に関する測量を行い、事業の成果・評価 * 本事業実施区域内の一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに筆界及び地間に関する測量を行い、事となっと、全の位置を正確に復元できるかと、との位置を正確に復元できるかと、との位置を正確に復元できるがとなった。																
		度(千円) 23,138 45,159 26,955 44,42 12委託料 23,138 45,159 26,955 44,42 14工事請負費 26,955 44,42 23,138 45,159 26,955 44,42 23,138 45,159 26,955 44,42 23,138 45,159 26,955 44,42 23,138 45,159 26,955 44,42 23,138 45,159 26,955 44,42 23,138 17,353 33,869 20,217 33,32 市債 その他															
										準の座標を使	吏って測量	ますること	こで、コ	上地の筆	界点が正確	置な位置情	青報をもち、
KPI				との位置	と正唯に後			<u>ه کارد</u>	. 0					指	標2		
		票名(単位)					捗率	<u> </u>					7.11	18.—		
		目標	値			1	2.84										
		実績	値			1	2.84										
	目標値	と実	績値の差														
	分につ	いて	の理由				-										
行革	評価(行政	改革大約	綱に基づ	がく評価)												
		スト	音譜	評価						評価し	ノた根拠	·理由					
				В	本事業の-	-般競争 -充海少	入札に	おいて	、各技術	者に地籍総合 クマハス姿ね	技術監理	者資格(地籍訓	調査管理	技術者資格	らを有する	5上位資格
		7.4.6		1 評価	こして国コ	_义进目	豆	合こし	く豆砂ご				争未	天心で	いかりた。		
			忠考 への寄与)							ヒ様々な問題	夏(分合筆	ができれ				土地所有	者に立会
	(旭來	口惊/	(()可寸)	В	すること	を促し、	地元自治	台会と	連携を取	7りながら極			うない	よう努	めた。		
			との協創 意見把握	評価	木車業を	田温(三)	生 か スナ	- xh -	- 地形方:	評価し 者に対して訪	た根拠		± <i>t</i> -	₩₩₩	늘	*************************************	カカを佐頡
			息兄だ経 学の活用)	В	し、地籍調	回用に関	員として	-め、 <u>-</u> て一筆	上地が行る	目に対して訳	いただいた	に 心した。	ه ۵/ د	、1676	コル云に事	未八〇加	カノノで1以村
	デジタ	アル・テ	一夕活用	評価						評価し	ノた根拠	·理由					
	(デ	ジタル ・EBP	·の活用 ·M)							査の計画区は	域に設定	しており	、航浿	法(リ	Eートセン	ノングデ-	ータを活用
		LDF	141)	評価	し/こ前登	ナ広)を	出いた	河耳に	大心してし	<u>\ないため。</u> 評価L	た根拠	・理由					
	幺	⊹	評価	рТІЩ													
	11/1	ᄱ	т триц	В	全ての取	双組にま	らいて、	予定	どおりの)成果を得る	ることが	できた	0				
귬		<u> </u>	7. 調理		1												
手	『業実施・残され			土地所有	者間の意見	の食い道	違いによ	り、筆	界未定に	なる可能性が	ぶある。						
											判断	理由					
	今後の	取組	方針	現場	犬維持	*=*	¥1-+\-	+7 =	iの名+ロ	今去7年/ロ 1			± \#	オフ ロ			
						 中事 弟	ミにかじ	つる国	い貝担	金を確保し	、計画以	州に事業	を進	0) (L	1<0		

1 基	本情報	報				担	当 誤	₹ 総務課(消防	ī)			関	係	課	警防課	!		
事	業	名	No.	8	消防団車	両更新整	整備事業					•							
	業区	分		会 計	区分	一般	会計	予 算				次	7		項	1		目	3
	策体	系		防災·減	災·消防				戦	略的	的施	策		_		革大約			1)
	退法令													事		区分			事務
事	業期	間	□ 単年/	度(年度)	単年	度繰返(年月	き〜糾	迷続)	J 7	複数年	度(R3	年度~	~	R12	年度)
2 事	事業の	既要	・実施内	容															
事第	美 目 6 :実施交	内・			計画に基づ	がき老朽化	とした車両	両·資機材	を更	新する	5 .								
事 ;	業概体計	要 画)			備してい	る消防ポ	ンプ自動	車の更新											
			事 業 (の対象											付象数:)
			N/7+ ±2×	·⊸°∸≆⊾⊒		計画			SMA	+-10-	0	· * + +	/ 1 446 4 54.6		組実績	į			
			消防ホン 26,176		Þ(機動第	1分団)				カボン			(機動)	弗 l 欠)团)				
			[20,170	5 113						,, , ,	011	_							
	算年度																		
主	Eな取組	1																	
			事業実	施手法	√ 直接	実施	_委託∙	指定管理		負担	金・補	助金	<u> </u>	その他	ġ (
3 事	非業費	·財派	原内訳																
					R5決算			R6予算現					R6決				R7	7予算	
事業	費(千円				-	24,800			26,	176				25	,920			•	13,96
	12委		台 婁																
			只貝 及び交付金																
	その他		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			24,800			26.	176				25	,920				13,96
財源	(千円)					24,800				176					,920				13,96
	特定則	掠				10,000			4,	551									13,80
	市債																		
	その他					12,300 2,500				000 625					,900 ,020				164
						2,500			0,	023				13	,020	<u> </u>			104
<u>4 </u>	事業の!	<u> </u>	·評価																
	めざすり		実現に	消防車両	両の小型化	ム、トランス	スミッショ	ョンのATイ	とにっ	よりΑ	T普遍	通免許	汗証で	運転す	可能な	車両を酢	温備し	た。	
KPI		(十月	長(7)以本)			指	画1								岩	漂2			
KPI		票名(単位)				原 1 画数(台)	<u> </u>]日/	示と			
	JH 1	目標			各年	<u> </u>													
		実績				1車両を													
	目標値	と実績	積値の差																
	分につ	• •																	
行革	評価(行政	改革大約	7	<u>く評価)</u>														
		スト	意識	評価	+/-=几亩//共	古光佳のに	C 650			評価	した	根拠・	理由						
	(費用対	対果·	·財源確保)	Α		事業債の活 より、車両		型化し、購	入コス	ハを削	削減し	た。							
	Е	的原	======= 甲老	評価	7,013 1 1 3		70 I A		,	評価	した	根拠・	理由						
			い′つ ∖の寄与)	Α	消防車両	の小型化、	トランスミ	ミッションの)AT(とによ	りAT	普通的	も許証で	で運転	可能な	車両を配	備した	i.	
	タ ⊭##	·	との協創	評価						評価	した	根拠・	理由						
	(市民	等への	意見把握		当防活動	かに供する	・車両でを	 あり、該当	しない										
			等の活用)	評価	71 3193711 5	م د ۱۸ عال	, — — — — —	<i>,,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0 0.		1.1-1	根拠・	理由						
			" ータ活用 _′ の活用	計画	="2"/211	松四の道	7 +8m	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 121 -			שענאו	生田 -						
		·EBP	PM)	===:/==	ナンタル	/依 話り 与	火が無い	ハバこのノ、該	=0			L□ ∔hn	тш-						
	ų,	»Δ=	=₩ /±E	評価						評価	した	根拠・	埋田						
	稅	8 🗀 8	評価	Α	消防ポン	プ自動車	を計画	どおりに更	新配	間し	、運用	月を開	始した	Ē.					
事	<u>l</u> 『業実旅	<u>.</u>	 D課題	50 A =± :	トハルロエンティー	Ln+ a.l.r-	z <i>f</i> -f- 1 :	+				<u></u>	،، ب	<i>~!!!</i>	L+ ^~ T	~ /#-±			
-	·残され			緊急時 ^ላ 	や消防活動	かけの故障	き き こよ	ツ市氏に7	►N村五 	≟をも 				の維:	持官埋	の徹底			
	A //:				D. 641.1							判断	理由						
•	今後の	取組	方針	現物 	犬維持	消防団車	両更新	計画に基づ	づきネ	老朽化	とした	車両	·資機	材を見	更新する	3 。			

									1 124			-				•					
1	基	本情報	R					担	当	課	総務	課(消	方)		F	関 (係	課	施設マネ	ジメント詞	課他
事	Ī	業	名	No.	(9	消防剂	施設トイ	イレ等改化	修工事											
事	美	区	分	継続	会	計	区	分	一般会	計	予	算	目	宗	欠	7		項	1	目	3
施	. 分	6 体	系	8	防災	シシ 減	災·消防	<u></u>				戦	略的				行	政 改	革大綱	(3	
		法令															事	務	区分		事務
事			間	単年	莊 /		年度	 ≢\	単年度	· 公品: 后 /		4	度~維	48年 /	./ 2 f	夏数年度	_	R4	年度~	R6	年度)
7	7	下 777	印	L ++/	支(+15	<i>ح</i> ال	」半牛皮	派巡(反"和	生形じノ	18	女子 一文	٤(Ν4	十尺	NO	十尺)
2	事	業の	既要	・実施内	容																
事事	¥ 業 :	:目 的 実施效	り・ 効果	利用者の	り利便	腫と	:施設 <i>0</i>)衛生	面の向上	_											
事(· 第 第 全 4	美 概 体 計 ī	要 画)	機動第2機動第2	2分団	拠点	施設の	公共				リーブー	-ス設置	置工事	Ī						
		,		事 業 (の対	力象	消防区	到員等									(対	象数:)
							当	的計画	画								取約	里美績			
				機動第2									動第2								
				トイレ洋	式化	・シャ	ワーブ	一ス改	(修工事)	(公共	下水工		イレ洋: 動第3		シャワ	フーブー	·ス改	修工	事(公共下	水工事含	な)
				含む) 機動第3	公公田	1									ミルワ	フーブー	. フ zb	修丁:	車		
		年度(トイレ洋			ワーブ	· 一スご	7修丁事				5,949			, ,	Л ЬХ	.∏≶_L-]		
	主	な取組	l	21,923			, ,	, , ,	(12-5-			'	5,5 1.	, , , ,	•						
				,																	
				事業実	施	手法	□直	接実旅	<u> </u>	委託・持	指定管	理	負担	金•補	助金		の他	()
_	#	***	843	5rh=0																	
_		未貝"	! 只了 //	原内訳			R5決	笛		Г	06圣智	拿現額				R6決算	-			R7予算	
=	茶车	1千円	1/				NO区		,011	Г	/O]/ş		,923			70次异		949		□ /]/异	0
7		12委記						50	,011			۷1	,923				10,	747			
		14工事		争								21	,923				16.	949			
				及び交付金									,,,				,				
		その他						56	,011												
則	l源(千円)						56	,011			21	,923				16,	949			0
		特定財	源																		
		市債							000				400					100			
		その他							200			10	,400					100			
		一般財							,811			17	,523				۱۷,	849			
4	事	業のほ	 成果	・評価																	
		づず状				L Φ:	* - //-	\- + +	44-7-11		-, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -	/ =n. ==	. + -	\-1-	L/1 1		トエル	±₩.\-	· /	¬+±++	
봄				美の成果)	1	レの	‡式化	とあわ	せくジャ	"リー .	ノース・	を設直	したこ	حاده	より、1	刊用者(/	ク村山	関性と	:衛生面を	改善した	0
K	PΙ								指標	1								指	漂2		
		指標	票名(単位)																	
			目標	値																	
			実績	値																	
		目標値	と実績	責値の差																	
		分につ																			
彳	r革	评価(1	行政	改革大統	岡に	基づ	く評価	<u>i</u>)						<u> </u>							
	ĺ				_	<u></u> 価		.,					評価	した木	艮拠・ヨ	理由					
				意識 財源確保)		Α	計画と		 こ事業を	· 宗了I	. 消时	5.田坳.占	- 旃郭 <i>(</i>	か利値	手性と	衛生面:	が向	⊢1. <i>†</i> :	<u> </u>		
	-	(کراراکج)	WJ/I	パコルバル氏リバノ				- 07 71	CTAC	763 0	/\ /DIV.	יאודוו					ניין י כי				
		E	的思	思考	計	価									艮拠・ヨ						
		(施策	目標/	への寄与)	/	A	老朽化	とした利	口式トイし	ノを洋	式化し	たこと	で、利	便と領	钉生面	が大幅	に向	上しア	E.		
		多様な	计体	との協創	評	価							評価	したホ	艮拠・ヨ	浬由					
		(市民	等への	意見把握	l .		—般也	出して	ていない	施設な	こため.	該当	ない。								
	-			の活用)	=77	7/TT	/32.17	(7130	C V + O.V -	NEDX C	.,	, by — C			⊟+bn I	無由					
				ータ活用 の活用	計	価									艮拠・ヨ	達田					
			EBP		-	-	デジタ	7ル機器	器の導入	が無し	いため	、該当し	ない。	,							
					評	価							評価	したホ	艮拠・ヨ	浬由					
		絲	合紀	平価			=1: =: /	ジキハハ	- 市 - サナ	ウフロ	5¥7.10-1	- [] +bn _ t	ե ն ∈ռ∠	カエリク	EW+ \~	告件工-	₩	L1 +	_		
					1 ′	A	可囲さ	_のり!	こ事業を	元」し	八月队	八沙八四八	、他設(ハイリリ	zi±C	土田	いい	 /.	_0		
	事	業実施	i ⊢σ)課題			•														
		・残され																			
															判断现	里由					
	1	う後の耳	72年	方針				址		- OI \ 7	てける	和ん年	きを≠				# :	セレ・ナ	 :消防団活	動を維持	オスた
		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	MIT.	الال					、引き続:											≠// C 小庄1寸	, WIC
					1			11'-'		"			~ ~ ~ 4.hr		~			- \0			

						la	11H	מדטו	×, ,	, J -	<u> </u>))	7 =	****	- μщ -		ı						
1 基	基本情報	R					担	∃ }	当	課	予防護	!・警	防課			関		係	課				
事	業	名	No.	10		《災予》	方・:				化												
	業区	分	継続	会 言	-	区分		一般	会計		予算				款		7		項	1	目		1
	策体	系	8	防災・	減災	·消防						単	比略	的力	施 第	ই		-		革大綱		(1)	
	退法令																	事	務	区分			事務
事	業期	間	□ 単年月	芰(年度)		単年	度繰	返(年	度~	継続) [' 複	数年周	篗(R5	年度~	R	9	年度)
2 4	事業の	既要	・実施内	容																			
	業 目 的		・火災による		大半を	と占める語	事業	者の防力	火環境を	を整備	し、住宅	火災や	防火软	1象物力	らの	火災	被害を퉵	長小阪	に抑え	ა. გ.			
	実施交																			肺蘇生法を	身に付け	ても	らう。
事	業 概	要	・火災による ・バイスタン	ノダーによ	る応急	急手当実	施	率、救命≥	率の向_	上に繋	げるため	り、心脈	肺蘇生 、	マニュア	'ルをst	全世詩	寺に配布	うし、点	念手当	講習の受講	講促進等を	: 図る	。 また、
(全	体計i	画)						業務の	安定的・	·持続	的な提供	かでき	きるよう	うに、「羽	双急車	(の)適	业利用.			こ取り組む。	>		
			事 来し	(X Y)	豕 土			-面)
			▶事業所等	への立	人検査)									施					
			▶高齢者世	帯への	方火調	查(137	73	世帯)	,										979世帯	に実施			
							()}	美他					心肺蘇生	法広報	用チラ:	シ作成	ί			222 壬 四	1		
決	算年度(カ						<i>(</i> :				(i)	自加)16	.48円×	2,50	0枚×	(1.1(税))	r∨1 1/ 1 }	46 千 円	3		
É	Eな取組		▶応急手当	講習の乳	€施			()	流用	144-	[])	►lī	5急手当	講習の	実施				99	回1,168名			
							実	施率の向	〕上			▶求	效急受入	、れ医療	幾関と	協議	市			党換会を開	催		
							E利	川川」広報	践活動の	り実施	ī	PI	拟忌里(り 適止利	川川小	報 石里	300美施			123四			
			市世史	佐壬	<u>+</u> -	. = ++		+/- [7 ===	- 1t		. r	7 4.	·п.А. :		^		л/H	,				١
			争 耒 夫	他士	法 [[·	/] 但接	兲	他 _		され	正官均		_] 貝:	旦金・∕	伸 助	金	C	の他	()
3 📱	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算																						
MK	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 業費(千円) 0 590 578 12委託料 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 その他 590 578																						
事業:	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7元 業費(千円) 0 590 578 12委託料 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 その他 590 578																	0					
	B 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 R7P算																						
	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 590 578 12委託料 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 その他 590 578 財源(千円) 0 590 578																						
	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 R7PT R7																						
財源	分別														0								
	*応急手当講習の実施																						
	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 R7P																						
	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 12委託料 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 590 578 その他 590 578 原(千円) 0 590 578 特定財源 市債 700 700 590 578 事業の成果・評価 「必報活動等の取組みにより、火災件数は15件と前年より9件下回る結果となった。また、高齢者への調査を行い防火意識の向図ったことで高齢者の火災による死者はゼロであった。・心肺蘇生法を身に付けてもらうためのマニュアルと併せて、救急業務の定的、かつ持続的な提供ができるよう、日常生活においていざという時に役立つ情報を掲載した。 PI 指標1 指標2																						
4 =	*応急手当講習の実施																						
		4工事請負費 8負担金補助及び交付金 その他 590 578 千円) 0 590 578 寺定財源 -位 -位 一般財源 590 578 業の成果・評価 *広報活動等の取組みにより、火災件数は15件と前年より9件下回る結果となった。また、高齢者への調査を行い防火意識の向。																					
	14工事請負費 18負担金補助及び交付金 その他 590 (千円) 0 ち90 578 特定財源														勝の安								
KPI				/C-3(/s	- 10	170-3 6-37		指	標1		/Д / С (,,,,,,	, ,		31012		באונוו	- 1-9-17		票2			
							J.																
	-	美績	[値					1,1	68人					_									
													講習時	F									
∠= 1							.0)	/ 1-/1	ひい、回い	ن د د	7 (1/2	, ,											
1丁里			改革大統	神に奉		<u>評伽)</u>							≣177	価した	- 根幼	n. • ∓8	3由						
			意識 財源確保)			積比較:	を-	ト分に行	い、費用	用対效	別果の高	い事績						女の変	更や市	民の手元	こ届くまで	での:	コスト面
	(貝用刈	<u> </u>	!別!你唯1木/	D	_	困難を	要し	た。					===		1016								
		的思		評価										価した									
	(施策	目標^	への寄与)	В	市	一民に「	分:	かりや	すい」	を目	的に、b	ピクト	-グラ	ム等を	E使F	見し だ	たデサ	・イン	を考慮	訳した。			
			との協創	評価	i								評	価した	:根拠	l·理	曲						
			意見把握 の活用)	В	聙	裁員目組	泉た	ごけでな	¥<.5	女性几	広報指 導	導分[団と協	協創し	取り	組ん	た。						
	デジタ	ル・デ	一夕活用	評価	i								評	価した	根拠	l·理	由						
	(デミ		の活用	В		 (イスタ:	ノケ	ブーによ	る応急	手当	実施率												
		LDF	141)	評価	i								評	価した	-根拟	ル・ 珇	曲						
	絲	(合)	平価		_	、肺蘇4	 : ::::	 !マーっ	アルク	カ配:	布は、求	为命办						への ^j	改 经约	果が期待	きされる	ر ا د	, אור <i>י</i>
	140	. .	, 1,-4	В		日識の気													, u , //.	15/5/2 <u>1</u> 3]	., <u> </u>		
重	┗ ■業実施	i ⊢σ)課題		!_																		
7	・残され			マニュ	アル	の配布	ΙΞ	より、ま	旧識の	向上	は望め	つるか	、確認	実な実	技力	آ ر ز	きるか	は誤	題で	ある。			
							T								判	断理	曲						
	今後の国	汉組 :	方針	月 現	!状維	持	求	か命率を	上げる	ろには	早期の	バイフ	スタン	ダーに				重要	である	ことから、	マニュア	ル西	 2布の効
				I '			II	見た早十	・屈にっ	1#4	オため	PI±	· 绘主:	大刍子	小水球	乃內	発の#	+ 准 か	が一つ	* キス		- 11	/43

1 1	基本情	却				担	<u>当</u>	課警防調	埋			関	係	· 部	₽			
事	整件间 業	<u>+ix</u> 名	No.	11	消除未至	<u>」</u> ß·消防署	•		т.				1/1	М	TN .			
	 業 区			会 計	区分		会計		算費	目	款		7	項	1	В		3
						加又	云司	1, 1							<u> </u>	目	(1)	<u> </u>
	策体			防災・凋	災·消防				戦 🖽	哈的	施货				女革大綱		(1)	- 7 <i>h</i>
	処法 4													事 務	-		治事	
事	業期	間	単年	叓(年度)	✓ 単年	度繰迟	ৢ (年度	~継	続)	複数	女年度	(年度~			年度)
2 4	重業の	概要	・実施内	宓														
	事本の 業 目																	
事業	* 写施	効果	老朽化し	た車両の	の更新に伴	い、機能	を充実	させ、消防	方力の強	化を	図るこ	とによ	り市国	民の安全	き・安心に素	はげる。		
3				の声がし	+ 8+75/1	\n =1==/	ナ米トワ ・	1 × / 山土7 士 /	の声が出	22 C 44	≠ + + + +	∠ı—=1.	asa B	マムロ土ン	トンエロナンエチャ	n±1-+h	ᇛᆇᄯ	I- FI
事	業概	要	消冽平	別の史和に	ょ、財政仏 もたらさな	沈、 別円= 1.1よう維	F级及 持管理	の他的中の	の史新か ていく。	、沈寺	と少ち	ilcēTĽ	쁴∪、϶	松思时 (p消防活動	吋に欧	早寺	により
(全	体 計	画)			事務連絡		111 112							(+1 <i>4</i> -14-1				
			争未り	カン 対 多										(対象数 取組実約				
			▶事務連	 終审	=19.	計画			▶車系	务連絡	神			以祖天				
			2,490							65千								
				活用 75	5千円)				_,~									
油	算年度	· (1)																
	子十尺とない																	
_	_ 0	_																
			事業実	施手法	直接	実施	委託	·指定管理	理 🔲 🤋	負担金	注•補助]金 [その	他()
3 4	車	· 8+3	原内訳															
J =	尹 未貝	· K/J //	アレッション		R5決算			R6予算	現額			R6	決算			R7予	質	
事業	費(千日	円)				20,833		1(0)	2,5	65		110	//\\ JT	2,565	5	117),869
3	12委																	899
	14 I	事請!	負費															
			及び交付金											0 = 4 !	_			0.00
日十八五	その作					20,833			2,5					2,565				9,970
划派	(千円) 特定原					20,833 10,000			2,5	05				2,565)		/(),869
	市債	小小小				10,000											60	0,100
	その作	也																1,909
	一般則	オ源 しんきん				10,833			2,5	65				2,565	5		5	5,860
/ 3	車業の	出田	·評価															
	めざす		_{実現に} 業の成果)	安全性的	能、環境性	能の向上	に加え	.、荷室の	容量が増	えた。	ことに	より利]便性	が向上し	た。			
KP]		- (- /	10079000			±E;	標1							15	i標2			
KP1		煙名(単位)			車両計画		-)							11示と			
	711	目標					」 ()	- - /										
		実績					 台											
	日煙症		····· 績値の差															
			順幅の左 の理由															
行革	評価(行政	7改革大統	網に其っ	づく評価)													
13-				評価	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				1	平価し	た根	処·理E	<u> </u>					
			意識 ·財源確保)	D										が、近年	の物価高脚	の影響	響もあ	が、予
	(52/13/	-) \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	が加州を下げり		算額を起	3える結果	となっ	った。		ਜ਼ <i>ਾ</i> ।	+ +0+	hn T00-	L					
		目的思		評価								処∙理E						
	(施第	目標/	への寄与)	В	安全性能	の向上、	環境負	荷を低減	ださせ、業	務の	効率化	に貢献	献がで	きる。				
	多様	な主体	との協創	評価						評価し	た根	処∙理E	∄					
)意見把握 等の活用)	l –	消防事務	るに供する かんきょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	車両で	であり、該	当しない	١,								
			ータ活用	評価						平価し	た根	処·理E	þ					
		ジタル	の活用	ріщ	デジタル	.	するが年	無いため、				~ 1	Ц					
		•EBP	PM)		7 2 9 11	(成品の)等	•人()\\	代しいこめり、			, 151	he TI						
	١,	^ -		評価					Ī	半価し	た根	処∙理E	<u> </u>					
	1	総合語	泮 価	В	業務効率	※化の向上	こに成り	果があった	Ē.									
				<u> </u>		1	, 747	/	· ·									
事	事業実施			事新事等	業を進めて	しいくため	ഗ. II	源の確保	が必要									
	・残さ	れた		ANT T	~ C /EU/		/ \ \ \ / \	"小人人九年1小	XI.X.									
											判	断理由						
	今後の	取組	方針	現場	犬維持	車両更新	f計画()	こ基づきる	と朽化し	た車に	55.資料	終材を	更新す	-る。				

					15.1				<i>-</i> -	Ж П 1							
_	本情報	R				-		警防課					系	課	デジタルイ	ノベーション	推進課
事	業	名	No.	12				ンター通			ム更新	整備事	業				
_	業区	分		会 計		一般	会計	予 算			次	7		項	1	目	3
	策体	系	8	防災・源	談·消防				戦 略	的施	策				革大綱		1)
	退法令												事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	□ 単年/	芰(年度)	単年	F度繰返(年度~	継続)	<u>√</u> ₹	复数年度	₹(R5	年度~	R9	年度)
2 事	事業の	既要	・実施内	容													
	美目 的 実施效				令業務の約												
事(全	業 概 体計 に	鱼	した指令第 至らなか:	美務の継約 ったことか	運用を開始し 売及び更なる ♪ら、更新整値	市民サート	ベスの向 F	を図るため	. 令和6年	E度に当	毬シス	テムの更	新整	備に右	けた調達を	指令システ を実施した	- ムの安定 が契約に
			事業の	の対象	市民				T				(対	象数:)
			스 'ヌ <i>I</i> 드바	<u> </u>		<u>計画</u>			△ ハヌ /=	4E.A.	. – –]実績			
決領	算年度(カ	◇迪信店 負担額:		テム更新整 千円	训用			負担額			与更新整 円	全1/用				
主	三な取組																
			事業実	施手法	直接 直接	実施	委託·	指定管理	√ 負担	旦金・褚	枷金	<i>そ</i> (か他	()
3 事	事業費 ・	財派	原内訳														
	->/	71 J #	311 3121 1		R5決算		F	R6予算現	額		F	R6決算				R7予算	
3 事業費・財源内訳R5決算R6予算現額R6決算事業費(千円)2,5802,3532,3512委託料 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 その他2,5802,3532,35表の他2,5802,3532,35財源(千円)2,5802,3532,35																14	16,476
			3 弗														
						2.580	1		2.35	3			2.1	353		14	16,476
	その他		,X = X 1 =			2,500											
財源		I \\-				2,580			2,353	3			2,3	353		14	16,476
	特定則市債					2,500			2,300	1			2 :	300		12	16,400
	その他								-								
	一般則	源				80			53	3				53			76
4 事	事業の原	成果	・評価														
Га	めざす状	態」	実現に	更新整	備に向けて	調達を	実施した。	ものの契約	りには至	らなか	いったス	が、これ	まで	の事	業実施を	通じて得	られたノ
		(事業	美の成果)	ウハウ	を活用し、			調整を行	う。								
KPI		E A /	W (L)			指	標1							指	票2		
		<u> 名(</u> 目標	単位)														
		日信 実績															
		と実績	責値の差														
行革	<u>.</u> 評価(*	行政	改革大統	 に基:	づく評価)												
		スト	 意識	評価						西した村							
			財源確保)	С		からの助i を心がけ		サルタント	こよる現	状分析 [·]	や課題	を解決す	けるた	<u>-</u> めの!	戦略など、	費用対効	果の高い
		1 th/th F	—————————————————————————————————————	評価	尹未大心	יייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	/ <u>_</u>		評値	晒した 材	根拠・J	里由					
		的 標^	ぶ∕5 √の寄与)	C.	基本機能	の維持や	新たな機能	もの導入を	 進めた。								
	タ- 生ナ	\ \ \ \ \ \ \	との協創	評価					評値	西した村	根拠・ヨ	軍由					
	(市民	等への	意見把握	С	専門的な	 知見を持 [.]	 つ学識経	美者 やコンヤ			-		しわた	こがら	 事業を実施	新 <i>, 大</i>	
			の活用)	評価	41,161,0	7476 € 14	>) №, п-х, п-х, п-х, п-х, п-х, п-х, п-х, п-х	<u> </u>		近した村			(100	K/13 J.	子木と入加	50728	
			ータ活用 の活用	C ETIM	奈良市と	の環境の	違い(庁内	ネットワー					長善の	の方法	を探るべく	CDO(最高デジ
	•	EBP	M)		タル最高	責任者)と	:検討を行	った。	<u>=π</u> /:	≖ι + ∤	⊦⊟+bn I	田山					
	絲	合語	平価	評価 C				構に向けた なれたノウ	取り組		施した	が、最				らなかっ	た。今後
事	 			現行シスを変更し	【IG、事業 ステムの保守 した場合、動	·契約が令	和7年度	未をもって	終了する	ことかり	ら、令和	17年度	からの	カ3カ4	年にわたる	更新整備	へと計画
	7.X.C.1	-/ CD	1467	- ~ × (·-·~ ப\ க			~~~	2 0 19170		判断理		<	_ 5- 67	•		
4	今後のほ	双組:	方針	現	犬維持					市民サ	トービス	の向上				業内容及	び予算規

1 ‡	基本	情封	₹				担	当 ii	果消防署			関	1	系	課	防災安全	 注課		
事				No.	13	大規模災	-			<u> </u>		120		, i	יועם	1/3///	-μ/κ		
	業	区									款		7	J	項	1	目		3
	策	体		8								策				革大綱			
				単年原	·····································	年度)	単年	度繰返	(年度~紅	*続)「	/ 複数	数年度	_					
						+1,又/				T-12	1967 L		W 1/2	- (113	112		1,5	1127
事業	葉 区 分 新規 全計 区 分 一般会計 予 算 度 目 款 7 項 1 目 3 3																		
事 (全	業 名 No. 13 大規模災害時の防災(減災)への取組 業 区 分 新規 会計 区 分 一般会計 予 算 費 目 款 7 項 1 目 3 策 休 系 8 防災・減災・消防 戦略 的 施 策																		
				事業の	カ対象			、生駒市	·民、消防区	員)
				13-	0 ±5/#					13-	0 ====	LL \4+ -	1 4						
															十円				
							1 1								実動詞	訓練を同時	寺並行	で進	める
注	当初計画																		
				・目王防	災会:目免 道 <i>去(</i> 治区	もの取組の)促進 善成と訓	緬 指道									-0		
	操縦者育成等 1,252千円 ・消防作戦室運用訓練																		
										消防団	員養成	人数:	29人						
	事業の対象 消防職員、市職員、生駒市民、消防団員 (対象数:)) ・																		
				事業実	施手法	☑ 直接	実施	委託・	指定管理	□ 負担	金·補則	加金	₹(の他	()
3 }	事第	費・	財源	内訳															
						R5決算			R6予算現	.額		R€	6決算				R7₹	弹	
事業							0			3,252				2,4	458				357
				3.建 .															
				スリストラエ						3,252				2.4	158				357
財源	千)系	円)					0			3,252									
			源																
										2,000				1,8	300				
			酒							1 252				-	558				357
					<u> </u>					1,232					330				331
4	事第	€の5	果	<u>・評価</u>	Ī														
					消防団員	員訓練指導	拿回数目標	票26回1	こ対して、3	35回の実	績数と	なった	-0						
		رد	(尹才	₹0700未7			+6.								+6+	- 一 つ			
KP.	╌	指標	夕(単位)		当R			7(回)						f百f	宗乙			
	-					71313			х(ш/										
	占				白主防災	ジ会や消防	団員の積	極的な	訓練参加は	こよるも									
						(Д (//))//	111111111	KIZ-J 0.		20100									
行革	萨	価(彳	亍政	改革大綱	剛に基づ	<評価)													
		7	スト	 音識	評価					評価	した根	拠·理	由						
	(]				В	ドローン	操縦者育	成講習	受講者が、	署内研修(こより、	新たな	な操総	何能	者を	育成して	いる。		
			ή/a F	————— R-≠⁄	評価					評価	した根	拠·理	由						
						早期被害	 状況の排	 !握のた	 めに、 讯谏	に運用で	きる体	 制づく	い(保	管、	積載 7	 方法など)	に努め	ーー カた。	
	\vdash					1 743122	1 1/1/20-210	3,22,7,6							1227702	3,20.0,	1230		
						白子叶巜	〈=Ⅲ/√击/ = +	ソファン						++ ++	⊅ Γ+•	⋘幸⇒☆☆	レノー車		
	_	·民間	活力等	の活用)		日土的少	(訓練にの	いて用						八 助	בעורט:	火息畝円.	上に系	€1 <i>)</i> /c	- 0
	-				評価														
						災害現場	最における 	上空か	らのドロー					助実態	返把据	を開始し	ている	వ 。	
					評価					評価	した根	拠·理	由						
		総	合語	平価	R														携強化
=	振 法 令 等																		
	^ '	4 ~ =	-		Ten. 1 1	\\#1+	A ===:										. = /	107 1-	.
	分	女(/) 耳	X組.	力針	現状 	維持												像伝	送シス
					Ī		Iノムで供	」大 し、丈	、みつ用和グ	ベルエドレノノし	ハリエ	- 川川夫	네마지	ا ب	ル廷的	っぱしてら	ە لە <u>ل</u> ا		

1	基本	情報	Ž						担 当 課	南	可工観分	比課			関	系	課			
事	弟	É	名	No.	1	1	もの	づく	り操業環境支援事	非業	É									
事	業	区	分	新規	会	計	区	分	一般会計	予	5 算	費	目	款	5	項	ĮĮ,	2	目	2
施	策	体	系	9	産業	·雇	用就	芳				戦	略的	的施 策	7	行政	改	革大綱	(1)	(2)
根	拠污	5 令	等												-	事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	単年月	度(年	度)	☑ 単年度繰返(R6	年月	き〜総	鱶続)	複数年度	₹(年度~		年度)

2 事業の概要・実施内容

<u> </u>								
事 業 目 的・ 事業実施効果	市内への立地及びものづくり関連事業継続のための指	操業環境の確保						
事業概要(全体計画)	▶立地企業との関係性の構築、課題の共有、公的支援機関との ▶生駒商工会議所と連携し、学研生駒工業会等の製造業者を	の連携による支援、専門家派遣による課題解決に向けた支援等 を支援						
(工作的国)	事業の対象市内のものづくり関連事業者	(対象数:						
	当初計画	取組実績						
決算年度の 主な取組	▶ ものづくりコーディネーターによる支援事業(10社) 委託料3,901+プロボ委員謝礼42=3,943千円 ▶ 製造業者訪問による情報収集(No.5に計上) ▶ 展示会出展による製品PR支援(No.5に計上) ▶ 労働局との連携による助成金説明会開催、メルマガ配信等支援情報の提供(No.13に計上) ▶ 生駒商工会議所との連携による学研生駒工業会支援事業(階層別研修・雇用・定着に資する取組等) 1,095千円(⇒EG推進補助金) (補助対象事業の内訳変更 405千円)	▶ ものづくりの専門家派遣事業による支援事業(ものづくり関連事業者10社を伴走的に支援) 委託料3,894千円 ▶ 製造業者訪問による情報収集 ▶ 生駒商工会議所との連携によるものづくり事業者支援 (5開催)(EG推進補助金)1,297千円						
	事 業 実 施 手 法 ▽」直接実施 ▽ 委託・指定管理	☑ 負担金・補助金 ☑ その他 (旅費)						

3 事業費・財源内訳

		D E \tau Art	D / 又然用起	D () ± //c	D D Z //r
		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	0	5,443	5,191	0
	12委託料		3,901	3,894	人材確保等総合支援事業に統合
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金		1,500	1,297	EG推進補助金全体で14,000
	その他	0	42	0	
財源	(千円)	0	5,443	5,191	0
	特定財源				
	市債				
	その他				
	一般財源	0	5,443	5,191	

4 事	4 事業の成果・評価											
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)			果題解決に向けた伴走支援を行い、IKOMASTARとして認定しPR等を行った。 による製造業者向けセミナーや展示会出展支援等を補助した。(EG推進補助金)								
KPI				指標1 指標2								
	指標名(単位)		事業者訪	問による情報収集件数(件)								
	目標値			60								
	実績値 			80								
	目標値と実績値の差 分についての理由			京派遣事業開始にあたり、特に積極的に の情報収集を行ったため								
行革	評価(行政改革大約	岡に基づ	く評価)									
	コスト意識	評価		評価した根拠・理由								
	(費用対効果·財源確保)	В	ものづくりを同日で	Jコーディネーター支援事業については、次回訪問時の論点を予め事業者にメールで共有したり、近隣エリア 効率的に訪問する等、限られた期間内に効果を挙げられるための工夫を行った。								
	目的思考	評価	評価 評価した根拠・理由									
	(施策目標への寄与)	Α	ものづく	り関連事業者の操業環境確保に向け、目標値以上の事業者訪問による情報収集を行った。								
	多様な主体との協創	評価		評価した根拠・理由								
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	上記事業	者訪問によるヒアリングを行ったほか、民間専門家の派遣による課題解決や、事業者同士の交流の機会づく した。								
	デジタル・データ活用	評価		評価した根拠・理由								
	(デジタルの活用 ・EBPM)	В	事業者と	アリングの内容についてwebにまとめ、承認を得た部分は次年度以降、市民に公開予定。								
		評価		評価した根拠・理由								
	(りコーディネーター支援事業については、予定通りの成果を得た。また、EG推進補助金に 美者支援については、事業者ニーズを考慮しながらセミナーや講習会を実施した。											
_	業実施上の課題 ・残された課題			いただくにあたっては、事業者との信頼関係構築には充分な事業説明やヒアリングの時間 課題解決までにいたるには困難なケースが多い。 -								
			·	判断理由								
4	今後の取組方針	拉	大	人材関連の課題を抱える事業者が多いことから、操業環境確保のためには雇用関連施策と一体的に、かつ対象についても製造業に限定せず充分な支援を行う必要があるため								

					15.1	HO T/X			· -	М ТЩ /							
	本情報	R				-		商工観光	光課		関	係	課				
事	業	名	No.	2			制構築事							1			
	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費目		5		項	2	目	2	
	策体	系	_	産業・雇					戦 略 的	内施 策	J			革大綱		1)(2)	
	退法 令				駒市補助							事	務	区分	自:	治事務	
事	業期	間	単年/	度(年度)	☑ 単年	度繰返(R5	年度~糾	継続)□ ネ	复数年	度(年度~		年度)	
2 4	事業の	既要	・実施内	容													
	業 目 é 実施交		者の発掘	屈と育成し	こ寄与する	5.						プトでは	ある変	変革と挑戦	线に取り	J組む事業	
事(全	業 概体計	要 画)	▶ 市職員(▶ メールマ	こよる事業 7ガジン配(者訪問(クラ	ラウドサーと を導入し、補	ごスシステム	ムにより訪問	問結果を活	「係る事業費用)を実施す 業者への情報	る。		象数:)	
					当初	計画							実績				
	算年度(Eな取組		▶事業者(▶EGエコ ▶商いコ- (No.4に ▶事業者) ▶メール	ループ化 ▶商いコ· 計上) ▶事業者	訪問(209 に支援(5開 ーディネー 訪問(クラ・ マガジン配	催)、E ターに ウドサ・	EGエコ (E こよるs ービス]シス G推; 支援(な)	テム構築 進補助金) EG推進衫 用)(80년	施策)7,00 甫助金) 牛)65	00千円 (No.4に						
			事業実	施手法	✓ 直接	実施	変託・指	旨定管理	□ 負担	金・補助金	: 🗌 र	その他	()	
3 📱	事業費·	財派	原内訳														
					R5決算		R	6予算現			R6決算				R7予		
事業	費(千円				•	10,072			8,101			7,9	914			14,000	
	12委		台 弗														
			貝貝 及び交付金			9,525			7,000			000	D EG推進補助金全体で14,0				
	その他		XUXIII			547			1,101			914					
財源	(千円)				-	10,072			8,101				914			14,000	
	特定則	源															
	市債 その他 一般則					10,072			8,101			7 (914			14,000	
						10,072			0,101			7,	914			14,000	
Γδ	事業の り めざすり	態」								応、事業計 交流会の原							
KPI		(3-/	K * 7 20 7 7 7 7 7 7 7 7 7	9000	7177.2///		ig1gig(3		E 107/C		加压力	C Imp		票2	= IM-MJ-M	<i>L</i> /	
IXF 1		票名(単位)		伴		潔! 業者数(a	者)					111	亦 ∠			
		目標				3	0										
		実績	値			7	'8										
	目標値 分につ		績値の差 の理由	EG推進 を行った	補助金に Eため。	おいて、ネ	責極的な	事業者伴	走支援								
行革	評価(行政	改革大約	棡に基づ	(三評価)												
			意識 ·財源確保)	評価 B			営費を交付けを行った			した根拠・ 養者訪問数や		泛援数 等	手の数	値目標を記	設定し、	積極的に実	
	F	1d勺E	 思考	評価						した根拠・							
			ふつ ∖の寄与)	В			る積極的な	な情報発信	や異業種	が集まるビ	ジネス	交流会	の実施	19年により	、事業者	の変革と挑	
	多様な主体との協創 評価								評価	した根拠・	理由						
	(市民	等への	意見把握	В	☆添合∧	の参加やき	フテムを	壬田したで		により、事			押据に	- 奴かた			
	-		の活用)		文 加 去 へ	07多加1-2	77746	и полет				<i></i>	ا السال	-50//20			
			["] 一夕活用 ·の活用	評価	., =	1115115	. ov ∧¬	LT 46 - 1-:		した根拠・							
		EBP		Α	メールマ	カジンへの	登録を積	極的に促し		り情報発信に		Ē.					
	,.			評価						した根拠・							
	糸	合語	评価	В					て積極的な		間やる	€流会	を実	施したが、	事業者	が変革意	
事	■業実施 ・残され			生駒商二	L会議所に	こおいても	 5人材が ^ス	不足してに	 いる状況に	こあり、今後		 材の補	強や	生産性の	—)向上か	 ぶ必要	
	今後の]	汉組	方針	現場	(維持					判断5 G推進補ほ うえ決定す	加金事	業を引	き続	き実施す	る。事	業内容に	

		_			13.1		.,,,,		·	С РТ ІЩ					
	本情				T	-		商工観分	光課		関	係	課	観光振興	(室
事	業	<u>名</u>		3		り魅力発				1 4					
	業区			会 計	区分	一般	会計	予 算	費目		-A-	1 /-	項	++ 1 457	目 (1)(2)
	策体			産業・雇	用就另				戦略的	り他す	策			革大綱	
	基 有業 期		_	应 /	左座)		- = 40.57	D.(左连 如	υ ν ±\ Γ	複数學	事	務	区分	
事:	耒	旧	単年/	旻(年度)	<u>√</u> 単年	度繰返(K6	年度~維	上村 │	後数1	午送(年度~	年度)
			・実施内	容											
	美目 実施?		ものづく	(り関連事	事業者のイ	メージ向	上による	雇用支援	後及び観光	資源化	の促進				
事 :	業 概 体計	要 画)	向けて倉	削出する。					における体	本験の植	幾会、も	のづく	りの思	いに触れ	る機会を内外に
			事業(の対象	ものづく		業者➡種	見光客					付象数:		
			▶ ≠.のづ	<u> </u>	<u> </u>	計画 による。	5摇車業(No 11-	▶ ‡ .のづく	<u⊐_< td=""><td>ディネー</td><td></td><td>組実績</td><td></td><td>o.1に計上)</td></u⊐_<>	ディネー		組実績		o.1に計上)
			計上)					NO. HC	▶ 企業訪	問による	情報収集	集(No	.1に計.	上)	ルIIC日 土/
					情報収集 :る製品PF			.)	▶ 展示会! ▶ 労働局	出展によ との連携	こる製品F まによるで	PR支援 企業説E	{(No.5 旧会・配	うに計上) 可接会の開	催
決	算年度	の			による企				► (No.13	3に計上	_)				
É	こな取締	1	(No.13	に計上)					▶ 学研生制 EG推進補]モーシ	ョンに係る	5勉強会等実施⇒
					支援事業 推進補助金			糸つ拠独		プロポー	-ザルに。	よる普遍	動財産及	ひびベルス	テージの借受者並
			事業宝	施手法	直接	宇施「	□ 盉缸 。 圵	 旨定管理		全. 浦田	h소 「	その他	1 (
	⊢ ₩ ==	n 1 vr		706 3 704			女。[,]	比白生		<u> </u>	علد ال/	Coll	5 (
3 1	事業費	・灯ル	原内訳	1	R5決算			86予算現	姷		R6	血質		1	R7予算
事業	費(千F	۹)			NJ从开	0	1.	(U J [·] 开坑	0		NO,	∧ ∏	0		2,954
3.214	12委	託料													2,954
	14I														
	18負担		及び交付金												
財源	(千円)	<u> </u>				0			0				0		2,954
	特定則	才源													
	市債その代	h													
	一般則														2,954
<u> </u>	巨坐の	战甲	•評価	•										2	
	す来り めざす\														
			その成果)	展示会は	出展による	5製造業の	DPR支援	きゃ、IKO	MASTA	R認定(企業の積	極的	\$PRを	を行った。	
KPI						指	標1						指	標2	
	指		単位)	事	業者訪問			No1と同	じ)						
		目標					0								
		実績		+ 0 3 4			80		*= T. + L. _						
	日標値 分につ		績値の差 の理由		りの専門家 事前調査等				便的 こ						
行革	評価(行政	改革大約	L 岡に基っ	びく評価)										
			这个人。 意識	評価							処·理由				
			心成 ·財源確保)	В	ものづくり	リコーディネ	マーター支持	援事業につ 関られた期	いては、次回 間内に効果	回訪問時	の論点を	予め事	業者に	メールで共	有したり、近隣エリア
			H-#	評価	SIBL C		回るの4	PK J1 17CH			処·理由		(E1) >	//co	
		目的! 目標^	ぶろ への寄与)	Α	ものづく	リ関連事業	 (者の操業	環境確保(こ向け、目標	票值以上	の事業	者訪問(こよる¶	 青報収集を	 :行った。
	夕 拦	+> + /+	との協創	評価					評価	した根	処·理由				
	(市民	等への	意見把握	В			るヒアリン	グを行った					解決や	、事業者同	士の交流の機会づく
			学の活用)	評価	りを実施し	<i>た</i> 。			11111111111111111111111111111111111111	1.た根は	処・理由				
		ジタル	[*] ータ活用 _' の活用	В	車業老と	マリングの	内容につ	LIZwobi	こまとめ、タ				チリパタ	市民にかり	
		·EBP	PM)		事未行し		からない	C, C MEDI					又以件、	וואסוכאו	刑], 左。
	幺	総合言	平価	評価	ま .のづく	リコーディ	ネーターゴ	5坪車类1-			処・理由		+ <i>t</i> -	FC排:##	 助金による事業者
	, r	····	т триц	В	支援につ	いては、事	業者ニー	ズを考慮し	ながらセミ	ミナーや	講習会を	実施し	た。		
事	業実施														とい・衛生管理、業務 ノファクトリーを開催
	・残さ	れた訳	果題	予定。	-エロル フ· ・	1 - 3 - 3 - 3	> v 'o E	-0、夕岡で	・ルエッの尹		断理由		-1-UJV	, , ,	こうとこう と間性
	今後の	月 ∇%日・	方針	±n	太大	オ _¬°`.	ファクトリ	一の門供学	ミェのベイ			仮z亩	素1十件	十字字 仁	 !し、人材確保等の3
	/ IX V)	→ ∧小□.	71121] 31/	4/\				テ、ものって クションプ ⁻						.し、八付唯体寺の3

1	基本	情報	Ž				į	担 当	課	商工観分				関	係	課			
事	美	Ě	名	No.	4	商業	活性	化支援事業											
事	業	区	分	継続	会 計	区	分	一般会計		予 算	費	目	款	5		項	2	目	2
施	策	体	系	9	産業・雇	用就知					戦!	略 的	施策	J	行	政改	革大綱	(1)	(2)
根	拠法	去令	等								-				事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	□ 単年/	度(年	度)	☑ 単年度繰返	፱(R5	年度	を一継続	続)	複数年原	度(年度~		年度)
2	事業	€の相	要	•実施内	容														

事業目的・ 駅前、まちなかに魅力ある店舗が増加、消費の受け皿となる個店が増え、市民の市内消費が増加 事業実施効果 積極的な商いと魅力ある店舗の創出・発信を目的として、小規模・既存店舗への支援、新規開業の促進、市内需要の 事 業 概 要 喚起、及び有志の商業活動グループへの支援を行う。 (全体計画) 事業の対象市内事業者(主に商業者) (対象数: 当初計画 取組実績 ▶事業者訪問、飲食物販イベント連動開催、商いコー ▶市内事業者の販売機会を創出する飲食物販の催物開催(6開 ディネーターによる支援、商業者グループ化支援 催) (EG推進補助金)7,206千円 (EG推進補助金) 2,254千円 (補助対象事業の内訳変更 -1,706千円) ▶商いコーディネータ―による支援(15者) 決算年度の (EG推進補助金) 1,800千円 主な取組 ▶イコマド運営による取組 ▶市内需要喚起事業(No.14に計上)

▶本事業に資する直接的なイコマド運営による取組なし

▶市内需要喚起事業(No.14に計上)

□ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他(

3 事業費・財源内訳

▶イコマド指定管理業務(No.8に計上)

事業実施手法 直接実施

<u> </u>					
		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	4,481	5,500	4,054	0
	12委託料				
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金	4,481	5,500	4,054	EG推進補助金全体で14,000
	その他				
財源	(千円)	4,481	5,500	4,054	0
	特定財源				
	市債				
	その他				
	一般財源	4,481	5,500	4,054	

4 事	事業の成果・評価											
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)			タによる商業者支援(15者)や、電車 を補助した。(EG推進補助金)	マルシェ等の催物開催(6開催)による市内事業者の							
KPI				指標1	指標2							
	指標名(単位)			事業者訪問数(者)								
	目標値			100								
	実績値			209								
	目標値と実績値の差 分についての理由	たため。		おいて、積極的な事業者訪問を行っ								
行革	評価(行政改革大約	岡に基づ	く評価)									
	コスト意識	評価		評価し	した根拠・理由							
	(費用対効果·財源確保)	В	EG推進衫	浦助金においては補助上限額を達成率ごる	とに設定し、成果に応じた補助額になるよう意識した。							
	目的思考	評価		評価した根拠・理由								
	(施策目標への寄与)	В	伴走支援	と催物の開催により、商業者のサポートや	販売機会の創出に寄与した。							
	多様な主体との協創	評価		評価した根拠・理由								
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	商いコー	寄いコーディネーター事業を通じて民間の専門家が商業者を伴走支援し、適切な助言を行った。								
	デジタル・データ活用	評価		評価し	した根拠・理由							
	(デジタルの活用 ・EBPM)	С	市内事業	者のデジタル化に向けた支援を一部実施	した。							
		評価		評価	した根拠・理由							
	総合評価	В			販路拡大に一定程度寄与したが、今後も事業者の る。商業エリア補助金についてはNo.5参照							
_	議実施上の課題 ・残された課題		- ディネー P周知が』		音が少なかったため、より事業者の関心を集めるよう							
	今後の取組方針	現状	維持	判断理由 EG推進補助金による商業者支援に加え、商業エリア補助金などを組み合わせ市内商業の 活性化を図る。								

1	基本	情報	2						担当	課	商	L観)	七課			関	係	課			
事	弟	Ě	名	No.	5	5	企業	誘致	仅進事業												
事	業	区	分	継続	会	計	区	分	一般会計		予	算	費	目	款	5		項	2	目	2
施	策	体	系	9	産業	·雇	用就	労					戦	略的)施 策	7	行	政改	革大綱	(1)	(2)
根	拠污	去令	等	生駒市企	C業立	地仍	建条	€例								-	事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	□ 単年/	度(年	度)	☑ 単年度繰過	反(H	124	年時	き〜継	続)	複数年	芰(年度~		年度)

2 事業の概要・実施内容

	*天心的台	
事 業 目 的・ 事業実施効果	新たな雇用の創出や消費活動の促進等	
事業概要(全体計画)	進出希望企業への業種及び地域にとらわれない優遇持 構に加盟する自治体等と連携し、新たな企業の誘致に	措置を行うとともに、奈良県・関西文化学研都市推進機構、同機 取り組む。
(工作的画)	事 業 の 対 象 本市に立地を検討する企業等	(対象数:)
決算年度の 主な取組	当初計画 ▶認定企業への補助 (8件) 108,361千円 ▶展示会出展による誘致PR 1,877千円 ▶立地を検討する企業の個別相談による情報提供 ▶生駒市サテライトオフィス等開設支援事業補助金(2件) 2,640千円 ▶住宅エリア開業支援補助金(2件) 2,300千円 ▶商業エリア新規出店チャレンジ応援補助金(3件) 4,800千円 ▶ 製造業者訪問による情報収集(80件) 旅費43千円 ▶商業エリア・住宅エリアへの企業誘致・開業促進のため条例変更検討(R7より変更予定)	取組実績 ▶ 認定企業への補助(8件) 88,164千円 ▶ 展示会出展による誘致PR 負担金2件1,195千円+パンフレット印刷198千円+旅費等164千円=1,557千円 ▶ 立地を検討する企業の個別相談による情報提供 ▶ 生駒市サテライトオフィス等開設支援事業補助金0円+補助額周知業務委託料475千円 ▶ 住宅エリア開業支援補助金0円+チラシ作成配布委託料300千円(35,000枚) ▶ 商業エリア精規出店チャレンジ応援補助金(5件) 7,095千円 ▶ 製造業者訪問こよる情報収集 旅費3千円 ▶ 商業エリア・住宅エリアへの企業誘致・開業促進のため条例変更検討の結果、R7時点で条例の変更までは必要なしと判断し、商業エリア補助金、サテライトオフィス等開設支援補助金要綱の変更にて対応予定
	事業実施手法 ② 直接実施 ② 委託・指定管理	

3 事業費·財源内訳

		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	19,273	119,978	97,598	111,630
	12委託料	759	1,240	775	937
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金	18,183	118,056	96,454	110,080
	その他	331	682	369	613
財源	(千円)	19,273	119,978	97,598	111,630
	特定財源				
	市債				
	その他				
	一般財源	19,273	119,978	97,598	111,630

4 事	4 事業の成果・評価												
	「めざす状態」実現に 寄与したこと(事業の成果) に寄与した。												
KPI				指標1	指標2								
	指標名(単位)		補助金	による企業立地累計件数	補助金による企業立地累計件数								
	目標値			30(製造業)	12(多様な業種)								
	実績値			28	9								
	目標値と実績値の差 分についての理由	引き続き	新たに立	z地できる産業用地が限られている	サテライトオフィス補助金は、コロナ終息後の出社回帰等により 需要が減り、また、住宅エリア補助金についてもニーズが低かっ たためR7年度は商業エリア補助金を拡充予定								
行革	評価(行政改革大網	岡に基づ	く評価)										
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由								
	(費用対効果·財源確保)	В	住宅エリフ	宅エリア補助金と商業エリア補助金は、チラシを裏表で作成し、担当係を越えて一体的な周知を行った。									
	目的思考	評価		評価した根拠・理由									
	(施策目標への寄与)	С	実績に繋	に繋がったが、目標件数を下回った。									
	多様な主体との協創	評価		評価した根拠・理由									
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	多様な業績	種からの問い合わせに対し、今後の制度語	設計に向け積極的にニーズを聴取した。								
	デジタル・データ活用	評価		評価	した根拠・理由								
	(デジタルの活用 ・EBPM)	Α	サテライト	オフィス補助金の周知については、オン	ライン説明会やSNSを活用した広告、分析を行った。								
		評価		評価	した根拠・理由								
	総合評価	В		にはバラツキがあったが、多様な補助メニ 対応できた。	ニューを用意し、製造業だけでないさまざまな業種の立地								
事	業実施上の課題 ・残された課題	申請が少	かなかった	きものについては、対象を見直すなど	の対策を講じる必要がある。								
		判断理由											
	今後の取組方針			サテライトオフィス補助金については対象者を増やすため要件を緩和しオフィス補助金とする。また、住宅エリア補助金を廃止し、今年度申請が多かった商業エリア補助金の枠を拡大する。									

					15.1	HO T/X				ナハ	νμ і інц		'								
<u>1</u>	本情	報				担	当 課	商工観分	七課			関	1 1	系	課						
事	業	名	No.	6	立地企業	美の事業組															
事	業区	分	新規	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款			項	Ĩ		目				
施	策体	系	9	産業・雇	用就労	•			戦	略的	施負	ŧ	J	行政	改	革大綱	(1)(2)			
根抄	见法分	等		l.										事	務	区分	自治事	事務			
	美 期	間	単年月	度(年度)	√ 単年	度繰返(H30	年	き〜絲	(続)	複	数年度	_	373	年度~		年度)			
				`	+1×/		/ <u>Z</u> ////(1130	1 12	× 1111	.4967	_	27. 1.2	-(112		1/2/			
2	事業の	既要	・実施内	容																	
事業	業 目 ほ	カ・効果	立地企業	美の事業(継続·発展	に伴う雇	用拡大、	産業機能	の集	積											
事 (全	業 概体計	要 画)	や定期的	かな企業	訪問等に。	より対話の	り機会を認	きるよう、 設けるなる	資金 ど、フ	資金調達に係る支援のほか、生駒商工会議所と連携した支援 、、フォローアップに注力する。 											
			事業(の対象	本市に立		(対象数: –)														
						計画						取組									
	算年度 主な取約		資する取 ▶ 企業訪 ▶ 展示会 (No.5に ▶ 労働局	り組み等 問による 出展によ 計上) との連携	支援事業))(⇒EG: 情報収集) る誘致PR による各種関する認識	取业上	 ▶ 学研生駒工業会支援事業(階層別研修・雇用・定着に資する取り組み等))(⇒EG推進補助金)(No.1に計上) ▶ 企業訪問による情報収集(No.1に計上) ▶ 展示会出展による誘致PR(No.5に計上) ▶ 労働局との連携による各種補助金案内と申請支援(18名) ▶ 先端設備導入に関する認定(8件) 														
事業実施手法 ② 直接実施 ② 委託・指定管理 ② 負担金・補助金 ② その他()						
3 事業費・財源内訳																					
	# /				R5決算		F	26予算現	額			R	6決算				R7予算				
事業	費(千円					0				0					0			0			
	12委 14工		3 弗																		
			ス貝 及び交付金																		
	その他		及U又的业																		
財源	(千円)	,				0				0					0			0			
	特定則	掠																			
	市債																				
	その化																				
	一般則	打 源																			
4 1	事業の	成果	•評価																		
	めざすれ			労働局と	と連携した	-助成金討	説明会を2	つ開催し	, 18	3名の:	参加が	あっ	た。ま	た. 先	端衫	·備遵入に	-関して8件	‡の認			
			きの成果)		労働局と連携した助成金説明会を2回開催し 定を行い、立地企業の設備投資による労働生																
KP]						指		指標2													
		票名(単位)	#	業者訪問		じ)														
	3	目標				-,															
		実績	値																		
	日標値	と実績	責値の差	‡,のづく	りの専門家	青板的	hι.														
	分につ				事前調査等				~	3.0											
行革	評価(行政	改革大約	岡に基つ	でく評価)																
			意識	評価						評価し	した根拠	u·理	由								
			思哉 財源確保)	В	費田を力	ハナスこと	かくか	地企業の	学働	労働生産性の向上や資金調達に寄与できた。											
	.,,,,,,,,				Z/13 C/3	1,000	- 0- 11 32	J1L/KV/						۱۸ <u>۰</u> ۳۱ - F	-, J	/ - 0					
		的思		評価							ノた根拠										
	(施策	目標^	(の寄与)	В	今後の参	考資料にな	よるよう、	満足度や実	ミ施し	てほし	い説明	会等(のアンク	ケート訓	間査を	を実施した					
	多様な	よ主体	との協創	評価							Jた根拠										
			意見把握 の活用)	В													観光ビジョン	の改定			
			一夕活用	評価	时に天心		一 `神且和:	果を踏まえ			<u>-ーへに</u> ノた根扱			<u>- '40 </u>	、フラ	107720					
			ータ活用 の活用		助成金説	明会の開催	時期やテ-	-マ設定に1	ついて	、過去	に実施し	たア		-調査や	か、賃	上げの時期	 朋等を考慮し	、助成金			
		·EBP	M)	В	の活用が。	より見込め	るものとな	るよう、労	働局と	ヒ協議し)実施し	た。									
				評価 評価 評価した根拠・理由																	
	糸	合語	半価	В					制優	温や金	融支援を	行う	ことで、	労働生	産性	ŧの向上や1	賃上げ促進に	繋が			
					り、立地企業の事業継続に寄与できた。																
哥	事業実施 ・残され				の価格高脚や労働生産						である。			にある	5立	る立地企業に対し、引き続き資					
											判	断理	由								
	今後の	取組	方針	現場				との連携に								するほか、	先端設備等	導入計			

					19.1					<u> </u>	νи пиц »				ı					
	本情報	_			ı			商工観	光課			関	係	課						
事	業	名	No.	7		次醸成事								_						
	業区	分		会 計	区分	一般	绘計	予 算		目			_	<u>項</u>	# 1 /5	目	(=)			
		系	9	産業・雇	用就另				戦	略的)施 策	4			革大綱	(1)、				
	退法 令											14-14 4-	事	務	区分	自治				
事	業期	間	単年原	芟(年度)	☑ 単年	度繰返	(R6	年度	き〜総	統)	複数年	=		年度~		年度)			
2 事	事業の	既要	・実施内	容																
事業事業	美 目 的 実施交	り・ 加果	こどもや 知ること	大人まで で、物事	でが起業を を自分事	を身近に原 として捉	感じ、就職 え行動す	戦だけでな る力を高	なく、 ほめる。	記業と ことか	いう選 ができる	択肢がる 。	あるこ	とや多	移様な働き	方がある。	ことを			
事(全	業 概体計〔					育を目的な	としたア	ントレプレ	ンナーシップ教育を行う。 											
			事業の	の対象					(対象数: 一)											
			T#\ = != !	- 11124A		計画			取組実績 イコマド運営による取組「社会を変える力がある起業という選											
			職員によ	る出削! 運営によ												のる起業と	いつ選			
	算年度(Eな取組		教育委員	会とカリ	りキュラム I業務(No	等の協議 .8に計上	- - -)			択肢」セミナー、「しごと博」イベント実施 多様な働き方推進事業(NO.12に計上)										
事業実施手法 □ 直接実施 □ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他(3 事業費・財源内訳)					
3 4	事業費・	財源	別訳		DE油管			R6予算期	3岁石			D63h	哲			R7予算				
重業:	費(千円	1)			R5決算	0		KO丁异功	记码	0		R6決	:异	0		K/丁昇	0			
于木.	12委記																			
	14工		負費																	
			及び交付金																	
	その他																			
財源	(千円)	-\\\ -\\\				0				0				0			0			
	特定財市債	源																		
	その他																			
	一般財																			
	事業の原	北里	· 雪亚/邢				-								_					
	する りが めざす状			イコマド		老に トス		か確成わる	:+_	か古ん	カタ样ナ	心働士士	###	巨栄た	ころじて だ	動き方に選	出り味が			
			€現に €の成果)		疳止官垤 こども											割ご刀に選	は人は又い			
KPI							標 1			指標2										
1 (1 1		:名(単位)		イコマ						JHI	,								
		目標	値																	
		実績	値				2													
	分につい	ハての	の理由	するため	次醸成に貧 り試行的に	資するセミ 二実施した	ミナーへの	のニーズ等	等を把	握										
行革	評価(1	亍政	改革大約		く評価)															
		スト	意識	評価						評価し	」た根拠	l·理由								
			財源確保)	В	イコマドの	り取組は独	立採算で	施設を運	営する	なする指定管理者によるものであり、一定の費用対効果があった。										
	F	的思	日去	評価						評価し	Jた根拠	l·理由								
			ぶ ろ 、の寄与)	С	イコマドの)取組では1	10代から6	50代の年齢	冷層の	参加者	が参加し	、働き方	の選択	技を幅点	広く伝える	ことができた				
	7 IM 4	->-/1	\	評価							ノた根拠									
			との協創 意見把握		イコマドの)指定管理者	者が中小石	業庁の起					して取	組を行	っており、:	多様な主体と				
			の活用)	В		この評価を								12 - 13		, 13. 0 <u>—</u> 11				
	(デミ		ータ活用 の活用 M)	評価 C	市民の利の会後のセス	便性向上や ミナー企画	業務効率	化のため、 用するため	評価した根拠・理由 参加申し込みに際して、ホームページを活用している他、イコマドの取組では 参加者アンケートを実施した。											
			.,	評価	7,000	- / 北岡		المارين و در	がある。 評価した根拠・理由											
総合評価 C イコマドでコストを抑えながら試行的にニーズ等を把握するため うことができた。												ため、走	起業意欲醸成に資する取組を行							
事	業実施・残され				へう選択版 りように参									等に	あまり興い	味関心がな	かった			
											判と	听理由								
4	今後の耳	以組	方針	現状	(維持			味関心が								ことで、多様	様な働			

1 甘子桂却																				
1 基	基本情報	银				担当	詳	商工観分	七課			関	係 課							
事	業	名	No.	8	起業家・		訓出・育局	戊支援事業	<u></u> 集		<u>'</u>									
	業区	分	継続	会 計	区分		会計	予 算	費	目	款	5	項	2	目	2				
	<u>不 に</u> 策 体	系	9	産業・雇		73.2	ДП	J 7T)施 策	<i>J</i>		革大綱		(2)				
			9	性未 権	用机力				料人	哈 0) 爬 來	7								
	见法令												事務	区分	目 日	事務				
事	業期	間	□ 単年月	度(年度)	✓ 単年	度繰返(R5	年月	き〜継	続) 🔲	複数年度	芰(年度~		年度)				
2 =	を 単の かっこう	en en	・実施内	宓																
						NI I O I					4-144 ** /	У о т ÷ -		<u> </u>						
	業 目 6					だ応じた しやすいst			105	ことで、	. 起業意復	次の餓成	なと、始めか	やすく、か [.]	フビジネ	スの継				
事(全	業 概体計	要画)				がくりのた 記業家ごと							5、事業計	画、起業準	∰、起業	後の交				
` _	PT 01		事業(の対象	市内では	2業しよう	とする者	、市内既	存事	業者			(対象数:	_	_)				
					当初	計画							取組実績	į						
IKOMA LOCAL BUSINESS HUB 12,155千円 IKOMA LOCAL BUSINESS HUB 12,045千円																				
イコマド指定管理業務(債務負担行為)																				
一、 」日心日子本が八尺が入口に11河/																				
は は は に は に に に に に に に に に に に に に																				
決算年度の																				
主な取組																				
	事業実施手法 □ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他 ()				
<u>3 </u>	3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 R7予算																			
							F	86予算現				R6決算								
事業	費(千円					12,155			12,	155			12,045			13,200				
	12委					12,155			<u>12,</u>	155			12,045			13,200				
	14工																			
			及び交付金																	
	その他	3																		
財源	(千円)					12,155			<u>12,</u>	155			12,045			13,200				
	特定則	挪				2,640	540													
	市債																			
	その他						0.515													
	一般則	打 源				9,515			12,	155			12,045	<u> </u>		13,200				
/ I	事業の	北甲	• ≅ VÆ																	
				A 10 5 6		·/++ 10	0 2 - +1	1 > > 41-	_ +/ -/	- H- 1.1	A11244 6-6	- AU-W-	2 +		V 4 . 1 »+¬4					
	めざすり													現存事業者	など起業	表家ごと				
		(事身	美の成果)	の放長ノ	くナーンに			1、1多禄/	ぶ(期)	さカか	仏かるま	にら」の す	ミ現に寄与							
KPI				指標1							指標2									
	指標		単位)	創業者数(人)																
		目標	値		5	5														
		実績	値			5	5													
	日煙値	レ宝丝	責値の差																	
	分につ	して	ほうしゅう クログタイプ 理由																	
仁士			改革大統	 回に甘べ	ンシュー															
1J 	<u>· 計判叫(·</u>	1111	以半人下	-	<u> </u>					= 1 1/11	+ +=+hn	тшт								
		スト	意識	評価	/ 	出の芦生 し	***	7 公 hn 本 i = :			た根拠・		ロリュわマ学	の工夫を行	ニ ハ 丁 ristr ナハ:					
	(費用対	効果・	財源確保)	С		戦の寿朱人! こができただ						E形式でも	メッ人109	の工大を17	「い」デムル	剧未又饭				
		744		評価	C117C	-13 (C /C/	<u> </u>	·/ 5 11/1/1//</th <th></th> <th></th> <th><u>こ。</u> た根拠・</th> <th>理由</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>			<u>こ。</u> た根拠・	理由								
		的思			A 17 4 / EL	+ <u>-</u> ,	7 - V - F	1461- +744					1 1 2 4 4 4 + t	ロナ/ニュー	\ . + » - + +					
	(施策	日標^	への寄与)	В	多様な働	き万を広ける	ることを目	的に、起業	とい	つ働さん	万へのハー	・ドルをト	けるため支	援を行うこと	とかできた	-0				
	多様な	计体	との協創	評価						評価し	た根拠・	理由								
	(市民	等への	意見把握	В								創業等を	予定する市	民を複業等	に取り組む	市民が支				
	·民間	活力等	の活用)		援する市内	内ネットワー	-クの構築	に取り組む				Tm-L								
			ータ活用	評価	(1 11 1 1 1 1						た根拠・			1016 ·	, 					
		ジタル ・EBP	の活用 M)	В			NS等のテ	ジタルツー	-ルを	沽用し、	広告バナ	一のクリッ	ノク率などを	根拠に事業	(周知を行)	い、参加者				
		LLDF	141)																	
	4/	~~=	ज /TE	評価 評価 評価 評価した根拠・理由 記業支援及び経営支援のノウハウを持つ副業・複業人材を取り込み、市民が市民を支援する市内エ																
	新	合组	十1四	В								Mを取り	込み、市民	たか巾氏を	上文援する	日内中の				
					コンステムの形成に奇子することができているため。															
事	事業実施	<u>违</u> 上σ.	課題	IKOMA	LOCAL	BUSIN	ESS H	JBに参加	1後0	の動向	調査やこ	れまで行	テってきた	イコマドに	こよる支持	援に加				
_	・残され					る更なる									- 3	-				
								- 70				理由								
	A% (A)	HΩ&□-	L	判断理由 現状維持 令和5年度にいこま経営塾、営業塾等の取組をIKOMA LOCAL BUSINESS HUBに										II ID!=##						
	今後の	双祖.	/] 亚[現初 	小正寸寸								IA LOCA 結して車巻		NE22 H	IUBに就				

					15.1					J-/1	νη ι ιμ	_	'							
<u>1基</u>	本情報	8						商工観	光課			Ē	関	係	課					
事	業	名	No.	9	地域起第	美家等理解	解促進・応	援事業												
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	绘計	予 算	費	目	款				項		目			
施	策体	系	9	産業・雇	用就労				戦	略的	り施:	策	J	行	政改	革大綱	(1),(2)			
根扱	』法 令	等		l .					•					事	務	区分	自治事務			
	業期	間	単年	套(年度)	√ 単年	 =度繰返(R5	年時	き〜総	(続)	禎	夏数年	<u>-</u> 度(•	年度~				
					1/2/		1×1×1×2	113	112	~ 112	-1907 L			~(1 1	1 (2)			
<u>2</u>	事業の	既要	・実施内	容																
			識醸成交	大が期代	寺できる。												うな市内消費の意			
事 :	業 概 体計 に	要 画)	成する。起 する環境を	業者と商 を醸成する	エ・観光業り <u>。</u>	P職住近接の 以外の業種、	の就労機会 、経済団体	会の提供等(・地域団体、	こ貢献、有志	もしてい のコミ	\ること ュニテ₁	を伝. ſ、フ ^l	え、市民リーラン	や事	業者が	地域の起業主体との相	美を応援する環境を醸 1互のビジネスを応援			
			事業(の対象	市民						攻)	象数:	-	–)						
						計画									且実績					
				運営によ		01==1.1	`									イベント実	€施			
			1コイド	指定官埋	!業務(No	.8に計上	_)		多種	まな 輿	き方担	性進-	事業(I	NO. I	2ارة	†上)				
\h \text{\text{\$\tau}} \tau_0 \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\																				
	算年度(
E	こな取組	L																		
車業宝施千注[□ 去拉安佐 □ 〒31 七字笠四 □ 440人 1944人 □ 75 14 1																				
事業実施手法 □ 直接実施 □ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他()					
3 ∄	3 事業費・財源内訳																			
		753 W	3/1 214/		R5決算		F	R6予算現	額			F	R6決算	筸			R7予算			
事業	費(千円])				0	_		76/	0			, ()		0		0			
3.214.	12委									Ť										
	14工		負費																	
			及び交付金																	
	その他	,																		
財源	(千円)					0				0					0		0			
	特定則	源																		
	市債その他	1																		
	一般則																			
<u>4</u> 事	事業の	<u> </u>	・評価																	
Га	めざす状	態」	実現に													業者に親し	しみを感じるイベ			
寄与	したこと	(事業	美の成果)	ント「しこ	ごと博」を	実施する	など、地	域の起業	を応	援でき	そる環境	境づ	くりに	寄与	した。					
KPI					指標1						指標2									
	指標	[名(単位)		イコマ															
		目標	値																	
		実績	値				1													
	目標値	と実績	漬値の差	イコマド	内で実施	するセミ	ナーと比	較して規	摸感(の大										
	分につ				ントを実				HANDET A C											
行革	評価(*	 	改革大統	岡に基づ	(く評価)															
			意識	評価						評価し	った根:	拠·ヨ	理由							
			忠哉 財源確保)	С	イコマドの	がにまる	立採質で	施設を運営	きする	指定管	う理者!		。 ろ キ のつ	であり	一定	の費用がな	 効果があった。			
	()()()	,,,,,,,	7.3 m3.PE P1.7		1= 11	7-1X-11-13-13								(0)	` ~_	*************	W)(13 03 27C)			
		的思		評価	イコマドの	田が出 ブルナ1	85夕の古	が本提士を			ンた根語 ※施設			学的力	で記っ	で多様か安	層に、事業や商品が			
	(施策	目標へ	への寄与)	С	生まれる	ストーリーを	と紹介し、走	が不場で1 2業を応援	できる	へ手向	水心区	供し	述し、ロ た。	l LDF 3.	5工 19	くがなせ	信に、争木で同曲が、			
	多様な	注体	との協創	評価							った根									
	(市民	等への	意見把握	С		者が大型商	業施設と共	は催で行っ:	たため	り、ハー	ドルを	下げ	て、日常	生活(の中で	起業に触れ	合える空間を協創で			
										評価した根拠・理由										
(デジタルの活用 市民の利便性向上や業務効率化のため、										評価した依拠・珪田 イベント参加申し込みに際して、ホームページを活用している他、今後のイベ										
・EBPM) ・LBPM) LBPM ・LB											fを実施した。									
				評価						評価し	った根	拠·돼	理由							
	絲	合語	平価				長め、施策	目標にき	与す	る取	組を行	っこ	とが	できた	こため	、一定の原	成果を得られたと			
				С	考えてし	る。														
車	事業実施上の課題 地域起業家を応援するメリットは何かなど、市民に具体的な内容を提示して理解を促していく必要がある。																			
-	・残され			地域起第	美家を応 抗	長するメリ	ノツトは何	かなど、	巾氏	こ具体	的な	小容	を提力	トして	埋解?	と促してし	ハく必要かある。			
	今後の耳	 ∇ <u>\$</u> B -	方針	担刊	総持	他車業と	-合わせ	てお足が	₹₩₩₽₽	ະທ≠2				大採し	711	くためのも	 施策を継続的に行			
	/ 20/1	八小丑。	1221	-2017	ハルドルカ		_ロ1ノビ バホス <i>たx</i>		المدانات		~ 1	上土土力	サ し、ル	い」及し	,	\/_UJUJJ	『日本 中国会社 11017			

1 基	本情	報					担	当	課	商工観	光課			B	=	係	課					
事	 業	名	No.	12	2	多様な原	E用·就知															
事	業区	分	新規	会	計	区分	·	般会計		予 算	費	目	款		5		項	2	E		2	
施	策体	系	9	産業・	雇	用就労					戦	略的	勺 施	策	J	行	政改	革大綱		(1)(2)	
	』法 つ	-									-			•		事	務	区分	É	治	事務	
事	業期	間	□ 単年/	度(年度)	✓ 単:	年度繰	返(Rθ	5年	度~維	₺続) [複	数年周	隻(年度~			年度)	
2 事	事業の	概要	・実施内	容																		
事業	目	的・	副業、兼美バランスの	<u>・・・</u> 業、ワー	·クシ 、市	/ェアリン 民の職住	グ、短時間 近接、パラ	間労働な ラレルキ・	ど多ヤリ	を様な働き アの実現	き方 <i>の</i> 等に。	が推進に	こよる雇労環境(雇用促 の拡え	進や人	材定	着をす	を援し、従	業員の「	フーク	ライフ	
事	業 概体計	要	市内事業紹介冊子					<u>[</u> や <u>ニ</u> ー	ズに	応じた	啓発	セミナ	ナーや交流会の開催、多様な働き方に取り組む事業者									
(±	14 百1	四 /	事業(の 対	象	市内事	業者、生馬	駒市民				(対象数: –)										
							引画										11実績					
	算年度 Eな取締		企業の 働き方男ト生駒市 (No.5はト学研生)課題やニーズに応じた情報の提供(多様な 長践応援セミナー入門編) 〕け啓発セミナー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・									多様な働き方推進業務委託費 1,594千円 ▶ 市民向け啓発セミナー等の実施(2件) ▶ 事業者向け啓発セミナー等の実施(2件) ▶ 交流会の実施(1件) ▶ 啓発セミナー等の宣伝 ▶ 事業者紹介冊子の作成									
			事業実	施手	法	直接	実施	✓ 委託	七・指	旨定管理		負担	金•補	助金		の他	()	
3 事	3 事業費·財源内訳																					
						R5決算			R	6予算现				F	86決算				R7∋	弹		
事業	費(千						(0				617					<u>594</u>				0	
	12委 14T	計科 事請	自 書								- 1,	617				1,	594					
			及び交付金																			
	その																					
	(千円) 特定!						(0			1,	617				1,	594				0	
	市債	初///																				
	その																					
	一般	財源									1,	617				1,	594					
4 事	事業の	成果	・評価																			
	めざす ² したこと		実現に 美の成果)	市内事 きたい 冊子を	市	民と、市民	れぞれの を雇用した	課題や二	:ース 事業	ぐに応じた 者の交流	啓発 機会	セミナ- を提供 ⁻	−や交流 できた。	記会を また、	開催し、 多様な	多様を	な働き 方に取	方の事例 り組む13	共有や、 事業者で	自宅を取材	近くで働し、紹介	
KPI				指標1								指標2										
	指		単位)	セミナー実施回数(回)																		
		目標 実績		2 4																		
⁄二中	分につ	いて	績値の差 の理由 				、事業者向	句けセミ	ナー	を組み込	んだ	ため										
1] 平			改革大統	阿に型評価		<u> </u>						評価	した根	拠∙Ŧ	里由							
		対効果・	总識 ·財源確保)	В		業務を委 実施を心	託するにa 掛けた。	あたり見	積書	を十分精	査し、	他のイ	ベントと	合同	で開催し	ノ集客	を図る	るなど、費	用対効界	見の高	い事業	
		目的思		評価	6	カミナー!	ニよろ政名	<u> </u>	‡ ス:	ーとなく	市民		した根			ひ提仕	土や i	業者紹介	冊子に.	トスD	Rを宝施	
	(施罗	を目標/	への寄与)	В			とはや人材									//]Æ F	ィド・ヨ	未日和八	ال الال	אשר	ハセ大ル	
			との協創	評個	E							評価	した根	拠・理	里由							
			意見把握 (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また)	Α		各セミナ	一等での	参加者刀	アン	ケートにカ	ロえ、	市内事	業者に	対し	多様な個	動き方	うに関	する実態	周査を関	実施し	た。	
	・民間活力等の活用)												した根									
	(7	(デジタルの活用 A 令和5年度に改定した生駒市商工観光ビジ ・EBPM) A 両、開催した。また、事業者紹介冊子を特設																			-等を企	
評価 評価 評価した根拠・理由												-0										
	į	総合詞	平価	В		各セミナ がった。		流会等	こ糸	100名	の市	民·事	業者の)参加	Iがあ ^り	人多	様な	働き方の	啓発、	推進	につな	
	業実施・残さ			製造業、運送業、医療・福祉の事業者など、人材確保に特に苦慮している一方で、多様な働き方の導入が困難な業種がある。市民が市内事業者について知る機会が少なく、更なるPRや、市民と市内事業者との交流の場の提供が必要である。																		
-	今後の	取組	 方針	判断理由																		

						13.1	HO 1/X				жи ш /											
1	基	本情幸	R				担	当 課	商工観光	比課		関	係	課								
事		業	名	No.	13	市内事業	美者人材研	催保·育成	事業													
事	業	区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費目	款	5	項	2	目	2						
施	策	体	系	9	産業・雇	用就労				戦 略	的施策	7	行政	改革大綱	1 (1)(2)						
根	拠	法令	等							•		•	事務	第 区 分	自	台事務						
事	業	期	間	単年月	度(年度)	✓ 単年	度繰返(H28	年度~	継続)	複数年月	 芰(年度~		年度)						
$\overline{}$	#	** ~ 1	17 AS	⇔ +⁄	, c'o			`														
	_			· <u>実施内</u>					1	NI				15. 4.1	±15 1117 ±1	- 134.1 -						
		目 的 実施效				が助成金調事業継続を			より、市内	事業者(3事業者の雇用確保と人材定着を支援し、市内就業者の増加及 											
事 (á	業 E (集 概 本計 i	要画)	向け市民	民に事業を	者の魅力を	を伝える機	機会を設し			助成金説者とのマ			るほか、市	内雇用0	の促進に						
				事業(の対象	市内事業		市民		(対象数: –)												
				WEIDLE	\+\#\-\		計画		mp=, \	WEID	a \+1#1= 1 =		取組実									
						る合同企業面 Bかく分類し、		目談会等を認	果題や二一		の連携による 細かく分類し		面接会·個)	別相談会等を記	課題やニー	ズに即した						
				▶ チラシ印	刷(60円×	500枚×4D	回×1.1)13		r m	▶ チラシ等	等の印刷(16	2円×500		00円、180円	3×200部	=39,600						
	L 4-4		,	▶ 云誐州—	ユース折込	広告代(20	十円×Z凹×	1.1) 447	rm	円、5,00	0部12,396	141	十円									
		「年度のない。 は取組				事業【R6補正		. I – () + + 10	11.16日コ. 左.4公		等総合支援事			1 トニウルモカ	D.1.90 7. ★.9	総合的に支援						
	工′	み月入刊		合的に支援		くが唯体及し	产生性性的工	.IこIリI) /こ4X	の組みを応	▶ 補助金	20,000千			27,951千円	メソが出みです	応口凹に又仮						
				補助金旅費10	20,000千		委託費 27 費 100千			▶ 旅費 1	00千円	▶ 需	用費 100	千円								
				▶ 旅賃 10)U T E3	▶ 荒円	貸 100十	ri)														
				重業 宝	施手法	☑ 直接	宇妬		 旨定管理	白田	金∙補助釒	<u></u>	- の他()						
					116 1 14			」 女□レ゙〕!	日に日生		3 <u>11</u> 、从时间73	<u> </u>	.WIE (,						
<u>3</u>	事	<u>業費・</u>	財源	原内訳				_					_									
	W 11	1/~ I				R5決算		R	86予算現			R6決算			R7予算							
事		12季					36			48,327			14	1		234						
		12委詞 14工事		 						27,951												
				ス 貝 及び交付金						20,000)											
	_	その他		人の人门並			36			376			14	1		234						
財派		千円)					36			48,327			14			234						
		持定財	源							33,843												
		节債																				
	F	その他					2.6			1 4 40 4				_		234						
		一般財	源				36			14,484	4,484 141											
4	事	業の原	以果	・評価																		
		ざす状			マザーズ	就職応援t	2ミナー:1	回開催、参	\$加者10名	3 / 合同	企業面接会	·説明会	:3回開催	、参加者85	5名、採用	者数6名						
				美の成果)						3 / 合同企業面接会・説明会:3回開催、参加者85名、採用者数6名 け就業関係セミナー:1回開催、参加者21名												
KF	PΙ						指	標1		指標2												
		指標	揺(単位)		面接	会·説明会	:実施回数	效(回)													
			目標	値			1	0														
			実績	値			1	0														
		目標値の		漬値の差 の理由																		
行	革言	平価(1	宁政	改革大統	剛に基づ	(三評価)																
	Ì			意識	評価					評価	した根拠	·理由										
				忌哉 財源確保)	В		の印刷にあれ	たっては部	数を十分精	査すると	ともに、見積	比較を十	分に行い	、費用対効果	の高い事	業実施を心						
	F				評価	掛けた。				=ग्र∕∓	した根拠	.珊山										
				思考		合同企業	面接会等の	開催時期や	ゥテーマ設定				見込め. か	つ特に人材オ	7足に苦虐	むている事						
		(施策)	∃標^	への寄与)	В					定について、より市民の参加が見込め、かつ特に人材不足に苦慮している事 ら、労働局やハローワークと協議を重ね、実施した。												
				との協創	評価					評価	した根拠	·理由										
				意見把握 の活用)	В	各イベント	~での参加	者アンケー	-トに加え、	日常の事	業者訪問で	での情報	収集により)、ニーズの	把握に努	めた。						
	F			一夕活用	評価					評価	した根拠	・理由										
		(デミ	ブタル	の活用		\nn		ナス統計調	本たまとに					おおけら生た	· 企画 関係	半した						
	·EDPIM)										こ、市内の求人求職状況を把握し、合同企業面接会等を企画、開催した。											
		til:	\ <u>^</u> =	ਗ / ਡਾ	評価	評価 評価した根拠・理由																
		統		平価	В	各イベントに約200名の市民・事業者の参加があり、また6名が採用となったことから、市内事業者の原用を保みびまりが業者の増加にまたした。																
		11/ - 1			の権用権休及び印内税業者の増加に命予した。																	
		業実施 残され			以前より面接会等の集客が課題であったことから、令和6年度は初めて合同企業説明会を実施したところ、 51名の参加があった。来年度以降も継続して説明会を実施し、集客につなげたい。																	
											判断	理由										
	9	後の耳	又組 :	方針	判断理由 現状維持 引き続き労働局との連携による合同企業面接会や助成金説明会等を定期 紹介冊子等によるPR活動も積極的に行い、市内事業者の雇用確保と人材																	

					1- 1		.,,,			3.71	-р г град >	'				
1 1	基本情	报				担	当 討	果 観光振	興室			関	係 課			
事	業	名	No.	14	市民に。	る観光態	表力創出	事業								
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 第	重	目	款	5	項	2	目	2
	策体	系	9	産業・雇	-)施 策	<u></u>	行政改	革大綱		(2)
	<u>// //</u> 処法			自治基本多					170	-H	7 70 714		事務	区分		<u>`</u> `事務
事	業期	間					- 中纪 - 日	,	<u></u>	中 小	(±)	複数年度				
**	未	旧	単年	攴(年度)	□ 早干	度繰返	.(4	度~継	枕ノഥ	後数牛店	₹(R5	年度~	R9	年度)
2	事業の	概要	・実施内	容												
事第	業 目	的・効果	交流人口	の増加と地	化・自然とし 域活性化を 育むことも	図ることを	目的とす	用し、市内タ する。あわせ	朴の多 せて、ま	様な主体 は創のプ	本が協働し ロセスを〕	ノて催事を? 通じた地域	企画・実施す 内のつなが	「ることで、 りの強化や	地域の魅力 、次年度以	つを高め、 人降の自走
	業概		地域内外 る出店内	から参加者 容や演出を	を募集し、i 企画・準備	高山町の資 し、最終的に	源を活か こ「ま〜ぜ	いした催事を ぎま〜ぜふぇ	E共創 itす」と	するた <i>め</i> :して高L	のワーク	ショップを こて催事を	複数回実施 開催。あわt	する。その さてWebサ	中で参加事 イトやSNS	幕業者によ 6、広報誌
(全	体計	画)			告知や来訪 高山地域(次海みませ	ーベノロ	11-88 C.	+# ○ □/	+ /🗆 l	/ \ _ / _\			
			事 耒(カ 刈 豕			ひ、地場り	貝源や地域	; J < 5	ルに関心・	を持 ノ凹1	平*10人	(対象数:	_	_	
			古山北田			計画			-			<u>, </u>	取組実績	Į.		
				製ワークシ 計費 7	/ヨツノ 700千円	I					ワークシ £費 7.	/ヨッノ 689千円	3			
			了事未安	00块 /,	70011.	ļ			7 3	木女口		00911.	J			
	算年度															
=	主な取締	Ħ														
			 >		_		_			1 .						
			事業実	施手法	直接	実施	⅓委託・	指定管理		負担金	È·補助st	全 <u></u> く	か他 ()
3 }	事業費	• 日 才 近	西内訳													
	于不只	או נית	<u> </u>		R5決算			R6予算理	見額			R6決算			R7予算	
事業	費(千月	۹)			113///	0		110 3 37-4		700		110//(31	7,689		117 3 7	6,239
予不	12委					0				700			7,689			6,239
	14 <u>T</u>		負費						,,	, 00			7,005			0,200
			及び交付金													
	その作	<u>b</u>														
財源	(千円)					0				700			7,689			6,239
	特定則	排							7,	700			7,689			6,239
	市債															
	その作															
	一般則	1까														
4	事業の	成果	・評価													
	<u>めざす</u> れ												動して催事			
			その成果)										強化や新たった	な交流が生	まれ、次年	度以降の
KP.	Г			継続的な	取り組みの	サも月まれ 指		心以冶性化	기다[미]	ノ/こ <u>好</u> 個	块のさつ	かりとなう		漂2		
IXF.		票名(単位)		ワークシ	ヨップ実施		5数(団体	5)				1日.	<u> ホム</u> -		
	10	目標			, ,,		5 5	3 XX (124 PT	.,				_	_		
		実績					:0						_	_		
				広報効果·	やワークシ			の魅力が広	く伝れ	り、ま						
	日保恒分につ		漬値の差 の理中	た予想以.	上に高山地	区への関心							-	_		
<u>√= +</u>					ううことがで ドノミエ/エ\	ごきたため										
1丁年	<u> </u>	1丁以	、以半人的	-	(く評価)					=चः/==।	+ +0+hn	тшен				
			意識	評価	从如禾红;	を通じて雨!	11111111111111111111111111111111111111	た凸けかれ	κς±		た根拠の自発的		NSを活用し	た無償DD	パチ番加二 トル	1 776
	(費用対	対果・	財源確保)	В		乙広範な告					77 E 75 L 137	よりかり」でる	いろを心角に	ノル 無関 FN	い白野川にみた	ハコヘロ
]的原	H -X	評価						評価し	た根拠	·理由				
			ふ∕5 ∖の寄与)	В									文化資源の		し、地域振	興という
	(202)		,		目的に看	実に寄与した	た。ネット	・ワーク形成	により				っかけも創	出された。		
			との協創 意見把握	評価	地域众民	市 世 孝 古	ል ወረብ ሀ	エイターナ>	レタゼ		た根拠		ョップを通じ	た保事ベノ	いた宝田	+ 台田山の
			息兄だ経 (の活用)	Α									盤の強化に			六剧空の
	デジタ	フル・デ	· 一夕活用	評価							た根拠					
		ジタル	の活用	В	Webサイ	トやInstag	gram F	ormsなど	のデシ	タルツ-	-ルを活用		・出店者の	募集から情	報発信、来	訪者管
		•EBP	M)		理、アンケ	ート調査ま	で一貫し	たデータ収	集とな			TIII				
		ΛΛ =	/ 	評価							た根拠					
	并	総合語	半1曲	В									ながら円滑		地域振興と	認知向上
				<u> </u>	に回げた	一たの以来	か侍りれ	た。また、フ	・ング	マ 治用で	/土14间份	側の対争性	列ともなった	<u>-</u> ه		
II.	事業実施・残され												段階での調 かった点は ^っ			
											判断	理由				
	今後の	取組	方針	現場	 (維持	令和6年度の強化を行								の設計見直	しや参加者	サポート

					ויין	10+12		ノ <u>」</u> .	,,,		尹木	1 I I	щ <i>></i>	'					
1 基	本情	報				担	当	課権	見光振り	興室				関	係	課			
事	業	名	No.	15	観光誘客	字·事業者	活性	化支援	事業										
事	業区	分	新規	会 計	区分	一般	会計	门	予 算	費	目	款	7	5		項	2	目	2
施	策体	系	9	産業・雇	用就労					戦	略的)施	策	J	行	政改	革大綱	(1)	(2)
根拠	』法 ~	う 等													事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	□ 単年/	度(年度)	単年	度繰	返(年月	き〜継	続)	✓ ∤	复数年度	₹(R6	年度~	R9	年度)
つ ョ	巨業の	抽垂	・実施内	灾															
			本市の観	光資源であ	る生駒山を	中心とした	- 地域(の魅力を	を広域的	加に再	発信し、	交流	人口(の増加と	地域	事業者(の活性化を	図ることを	目的とす
事業	美目 実施	効果	る。また、	観光協会や	問辺自治体	と連携した	よがら	情報発	信力を高	易める	ことで、	継続	的な	秀客と地域	或ブラ	ランドナ	の向上に	つなげるこ	とをめざ
于不	. 7, 115	//J //	す。 生駒山を	核とした観	光資源の魅	力向上と情	事報発	信の強	化を図る	ふため	. 広域道	直携に	よる	関光コンラ	テンパ	の磨き	トげや媒化	太を活用した	た誘客施
事	業棚	要	策を展開	する。生駒に	山ブランド扌	推進協議会	を通じ	て、関連	車団体と	連携	した企画	画や広	報展	開を行う	ほか	、市観分	光協会の発	信力向上に	向けた支
(全	体計	画)			な来訪促進						・トフジ目目	IS III I	+		/+J				``
			争未り	ク 刈 豕		計画	也以餓	兀に渕	リる事を	長白の	よりぼ	派凹》	平			象数: 1実績	-)
			▶ 観光†	20年と共1	<u>ョか</u> 同で観光1		<u> </u>	クミノコ・	ソプを	\	い 真刑	J¬°П	/ t²−	ザルに			<u></u> オ産及び/	ベルステー	-ジの借
			開催 10			/	΄.	ノノ コ.	<i>,</i> ,					内業務の				()()()	ノの旧
					いステー					▶ 1	観光協	会へ	.の補	助金(1	件)	2,5	35千円		
決1	算年度	の			補助金(1 [,] (債務負担		00+	-											
	こな取締		単式ノしき	卡门未彷	(限分只生	111何/													
			= * +	# T \	I — — —	-	7				5 1 5 1				- 41				
	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 2,800 2,535 5,654																		
3 事	B 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 2,800 2,535 5,654 12委託料 2,954																		
	3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 2,800 2,535 5,65 [12委託料 2,95																		
3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 2,800 2,535 5,6 12委託料 2,9 14工事請負費 2,700 2,535 2,7															5,654				
3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 2,800 2,535 5,6 12委託料 2,9 14工事請負費 2,9															2,954				
										2 '	700				2	535			2,700
			X0 X11 III												۷,	333			2,700
R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 2,800 2,535 5 5 1 2														5,654					
	特定	才源_																	
	市債その何	h																	
		<u>。</u> 才源								2.8	300				2.	535			5,654
				.						,					,	000			3,001
			<u>·評価</u>	Lu == 1	N= - 12111	\/ - 			0						<u> </u>		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 17 1 1 3	
	めざすね		実現に Kの成果)	生駒山]	ブランド推 開催以外 <i>0</i>	進協議会	きでの	山頂。	ブレート	・・ファ	オトスス	ドツト	設置した	、観光	33会	SNS	立ち上げる	支援など、	セミ
KPI		- (丁) オ	トリル木)) —U)[]	刊催以が		標1	に進に	니() / <u>.</u> :	至治:	定開し	・エノ	10/2	.0		+6+	亜つ		
KPI		堙 夕(単位)		<u></u>	<u>- 19</u> / ミナー参		数(人))							指 -	示 <u>と</u> -		
	10	目標					30 30	** (/ (/	<u> </u>							_	_		
		実績														_			
	日標値	と実績	着値の差		ランド推進														
			の理由		ート・フォトス 来訪促進に向					エち上	げ支					_	_		
行革	評価(行政	改革大約		がく評価)	3,7,4,2,2,2,111	pig	,1,50			<u> </u>								
	_	スト	音譜	評価							評価し								
			·財源確保)	В	SNSや広 た	報誌、マスコ	コミな	ど既存	メディア	を活	用した情	報発	信を	行うことで	で、コ	ストを	抑えつつ高	いPR効果	を実現し
		7 44 5	n + /	評価	/_						評価し	た相	拠・	理由					
		目的原理	思 考 ∖の寄与)	В						信す	ることに	こより	、交济	入口増加			活性化と し		成に寄与
					した。山頂	プレート・フ	フォトフ	スポット	の設置な		:より来 評価し				うる取	い組み	も具体化さ	<u>たた。</u>	
			との協創 意見把握	評価	生駒山ブ	ランド推進	協議会	戻」を诵	じて. 官						什掛	けづく	りが行われ	た。多様な	主体の強
			から の 活用)	Α		た施策展									,,2-1		131210	. = v > i × · · ·	
			一夕活用	評価	知り付かる	DCNIC ++	- 1_1_12-	上+巫 ← -	₽##-I +		評価し				z —	→,,+m+=	21-6-14-	- 5 block	フ甘酔べ
	(7	・EBP	·の活用 ·M)	В	観光協会の	ルSINSΨ5 Jだ。	ユエ	火抜をう	モ他した	(、ラ俊	ひが有名	収光信	・一米訪社	=	へ だ 指	をに向けたっ	ーツ収集の	ル 全盛 ノ
				評価							評価し	た根	拠・	理由					
	Į,	総合詞	平価	В													ンドの再構		信に向け
																	礎を築いた	-	
事	業実	恒上 σ.	課題		ん・ベルステ														
	·残さ				証は今後の 強化にはさ					/ ト推ぶ	生励譲名	حادم	ЭЦ	以足拐ば	一疋	い成米	いめつにか	、舵航的	光信で氏
												#	判断理	理由					
4	今後の	取組	方針	現場	犬維持	新たな観光	光拠点	の運営	開始を打	空えて	おり、手	実施後	の効:	果検証や	体制	見直し	が求められ	る。併せて	、SNS等

基本情報						13.1						т і іші –					
# 美	1 基	基本情報	艮				担	当 課	観光振	興室			関	系 課	:		
	事	業	名	No.	16	地域交通	通連携観光	光活性化	事業								
	事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費		款	5	項	2	B	2
 報 数 法 令 等 事 第 間 □ 単年度(年度) □ 単年度機 年度 年度 R6 年度 R6 年度 R6 年度 R6 年度) □ 単年度(年度 日 の・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・						-								行政改			
事業 期 期 単年度(年度)	_				江水 准	בכטיני נו יו				170	-H -						
2 事業の概要、実施内容 事業 目 的 ・					= /	/=		- = 401 = 7	,	/ -		(±)	始 年				
東美自 的 ・	争	耒 期	旧		芟(牛皮)		-		中	吳~敝	統)ビ	後数平均	٤(K5	年度~	K6	年度)
東美自 的 ・	2 4	事業の	既要	・実施内	容												
# 雅 要 選を行う。其体がによイフバフト向けフリー切符の対象部線の活動や、現場名にも分かりやすい恐線を小変変数を、	事業	業 目 6	り・	高山茶筌を維持・活性 する。	をはじめと	をめざす。篧	見光動線の	創出により)交流人口(か拡え	くを図り	、あわせて	持続可能	な地域交通	の実現に寄	持すること	とを目的と
事業の対象と対抗病	事(全	業 概体計	要	議を行う。 交通の維持	具体的に1 きを両立す	ま、インバウ る方策を検	ンド向けフ 討・提案す	リー切符/ ⁻ る。	への対象路	線の記	追加や、	観光客に	ナとした乗¤ も分かりや	車促進を図 すい路線名	るため、バス ムへの変更な	ス事業者へ(よど、観光説	の提案・協 §客と公共
・				事業の	の対象	地域公共	交通の利用	促進に関	わる関係団	体・玄	逐通事業	者		(対象数:)
下は、						当初	計画							取組実績			
業業 施手法 ② 直接実施 参称・指定管理 負担金・補助金 その他(
京本 京本 京本 京本 京本 京本 京本 京本										ΓK	INTE	TSU R	AIL PAS	SSJへのī	市内バス路	路線追加を	ヹ提案。
京本 京本 京本 京本 京本 京本 京本 京本										▶ ₽4	2.4白小=	刃细点 4	去日的に	- 知业宏	ニナムかり	145 1 111	パラ 早夕4白
事業実施手法 図画接実施 季託・指定管理	決	算年度(カ											-、餓兀谷	にもガルい	279617	ハム的称
第業費・財政内訳										10'	(10)友	丈でルラ	K0				
第業費・財政内訳																	
第業費・財政内訳																	
第業費・財政内訳																	
第業費・財政内訳		事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算															
R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 R7予算 R7予算 R7					,,, ,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						><1-7	1 1111111	<u> </u>	710 (
事業質(千円)	<u>3</u>	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 (千円) 7,670 0 0															
12委託料 7,660 10 10 10 10 10 10 10						R5決算		F	R6予算現	額			R6決算			R7予算	
14工事請負費 18良担金補助及び交付金 10	事業										0			0			0
招き担急補助放び交付金 子質措置がない中でも、地域資源である高山茶をと公共交通を結びつける視点から、バス事業者に対し観光誘客による路線活体したこと(事業の成果)				7. 111			7,660										
子の他 10 0 0 0 0 0 0 0 0																	
対策に対象				及び父付金			10										
特定財源 市債 での他 一般財源 子身措置がない中でも、地域資源である高山茶筌と公共交通を結びつける視点から、バス事業者に対し観光誘客による路線活をした。と、事業の成果 子身措置がない中でも、地域資源である高山茶筌と公共交通を結びつける視点から、バス事業者に対し観光誘客による路線活をした。と、事業の成果 子身措置がない中でも、地域資源である高山茶筌と公共交通を結びつける視点から、バス事業者に対し観光誘客による路線活をした公共交通利用促進の方向性を共有し、今後の東現に向けた土台を集ぐことができた。 指標2 指標2 指標2 指標2 上海値 一	B+/语		}								0			0			
本 事業の成果・評価	別派		下百				0				U						
その他 一般財源			1////														
### 20			!														
4 事業の成果・評価 「あざす状態」実現に 寄与したこと(事業の成果)																	
下のさす状態」実現に															4		-
特化の提案を行うなど、関係機関との協議を継続的い実施した。具体的な制度化には至らなかったものの、観光を起点とした公共交通利用促進の方向性を共有し、今後の実現に向けた土台を築くことができた。 FPI	4	事業の	<u> </u>	<u>・評価</u>	マケ世里	がわいわて	+ 地世次	洒っナファ	누나 붕상 노	/\ ++ -	ウスナケ	トッドー・ルフ	担上から	パコ市光土	と1−→→1 年 日 \	/話ウニ - 2	フログ白江
大字通利用促進の方向性を共有し、今後の実現に向けた土台を築くことができた。																	
指標名(単位) ー ー ー ー ー ー ー ー ー ・	寄与	したこと	(事業	美の成果)			向性を共有	すし、今後の									COICA
目標値 上標値 上紙 上標を 上紙 上紙 上紙 上紙 上紙 上紙 上紙 上	KPI						指	標1						指	標2		
実績値 一								_							_		
日標値と実績値の差分についての理由				••			-	_							_		
プについての理由			実績	値			-	_							_		
プについての理由		目標値	と実績	責値の差													
コスト意識 (費用対効果・財源確保)							_	_							_		
コスト意識 (費用対効果・財源確保)	行革	評価(4	行政	改革大統	岡に基づ	(く評価)											
日的思考	,,,,,,					• д г јиц/					評価L	た根拠	·理由				
日的思考						当該年度	こ予算がつ	かなかった	き中でも、艮	え 存の)人的·f	青報資源を	活用し、実	質的なコス	ストをかけず	に提案や値	動きかけを
田内心でも (施策目標への寄与) B 高山茶筌という地域資源を活かした観光促進と、廃線危機にある生活路線の利用促進を重ね合わせるという観点で、施策目標に即した取組が行われた。実現には至らなかったものの、目的に沿った提案と関係構築を進めた。 評価		(貝用刈	XJX.	烈/赤框/木/		実施。実行	可能な範囲	囲で最大阻	の効果を	追求す							
(施策目標への寄与) B 高山宗全という地域員源を治かした観光に進と、廃稼心機にある主活路線の利用促進を重ね合わせるという観点で、施策目標に即した取組が行われた。実現には至らなかったものの、目的に沿った提案と関係構築を進めた。 評価 評価した根拠・理由		l	的思	思考	評価	÷.1.##	V. 1 . ~ 111-1-1	ンタンエチンチュ		/ 					+ 		> #0 F
多様な主体との協創 (市民等への意見把握・民間活力等の活用)評価評価した根拠・理由デジタル・データ活用 (デジタルの活用・EBPM)声価評価評価と関係性のは異などのと間交通事業者に対し、具体的な観光提案を行うなど、事業者間の連携に取り組んだ。現段階では連携の成果には至っていないが、今後の連携の基礎となる協議・関係性づくりが進められた。デザタルの活用・EBPM)主に提案・働きかけを中心とした取組であったため、デジタルツールやデータを活用した本格的な分析・施策展開までは至らなかった。今後は路線利用状況や観光動向のデータ活用による提案の説得力向上が課題となる。おの事件事件事件事件事業実施上の課題・残された課題大ス事業者への提案や調整は一定進んだが、観光誘客と公共交通の維持を両立する具体的な仕組みには至らなかった。また、乗車促進につながる情報発信や利用者ニーズの把握など、交通と観光を結びつける施策としての実効性を高めるためには、より多角的な視点や継続的な協議が必要である。今後の取組方針廃止今年度と同様に費用をかけずに関係機関との連携や提案活動を継続することで、地域資源と交通を結びつ					В	尚川余全	といつ地球に	貧源を店⊅ 組が行われ	かした観光(った 宝钼に	足進さ	こ、廃稼	厄機にめる	5生活路線	の利用促促 ひった提案	≛を里ね合れ と関係構筑)でるという を進めた)観点で、
おおります		₽ ₩+	÷#	トの物創	評価	ルビペロホリ	<u> </u>	小丘パーコックッ	الرون جي الرون	-16-1	評価し	た根拠	·理由	ロフルル		と述りた。	
デジタル・データ活用 (デジタルの活用・EBPM) 評価		(市民	*土140	この「励制」 意見把握		奈良交通	などの民間	交通事業	者に対し、身	具体的				業者間の連	携に取り組	んだ。現段	階では連
全様の取組方針 全様の取組方式 全様の取組分式 全様の取組分式 全様の取組分式		·民間	活力等	の活用)							雄とな	る協議・関	係性づくり				
に至らなかった。今後は路線利用状況や観光動向のデータ活用による提案の説得力向上が課題となる。 評価 評価 評価 評価 評価 評価 評価 評					評価	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	E -		L. The Co.						4 4 16 22	. // != !! *:	
評価 評価 評価した根拠・理由 総合評価 B 実現には至らなかったものの、地域資源と交通を結びつける視点から、今後に向けた観光活用と公共交通維持の両立に向けた礎となる活動が行われた。引き続き継続的な対話・提案が期待される。 事業実施上の課題・残された課題 がス事業者への提案や調整は一定進んだが、観光誘客と公共交通の維持を両立する具体的な仕組みには至らなかった。また、乗車促進につながる情報発信や利用者ニーズの把握など、交通と観光を結びつける施策としての実効性を高めるためには、より多角的な視点や継続的な協議が必要である。 判断理由 今後の取組方針 廃止 今年度と同様に費用をかけずに関係機関との連携や提案活動を継続することで、地域資源と交通を結びつ					С												展開まで
お合評価 B 実現には至らなかったものの、地域資源と交通を結びつける視点から、今後に向けた観光活用と公共交通維持の両立に向けた礎となる活動が行われた。引き続き継続的な対話・提案が期待される。 事業実施上の課題 ・残された課題 パス事業者への提案や調整は一定進んだが、観光誘客と公共交通の維持を両立する具体的な仕組みには至らなかった。また、乗車促進につながる情報発信や利用者ニーズの把握など、交通と観光を結びつける施策としての実効性を高めるためには、より多角的な視点や継続的な協議が必要である。 判断理由 今後の取組方針 廃止 今年度と同様に費用をかけずに関係機関との連携や提案活動を継続することで、地域資源と交通を結びつ			LDF	1-1/		は土づなん	<u>」 ノ/こ。フ13</u>	火1の四形化	ハロ1人ルじ 〜年	ルノし生				~ / かいけん	エハ・球磨の	<u>-</u> .⇔.⊘∘	
B に向けた礎となる活動が行われた。引き続き継続的な対話・提案が期待される。 事業実施上の課題 ・残された課題 ・残された課題 ・残された課題 ・残された課題 ・残された課題 ・残された課題 ・残された課題 ・残された課題 ・残された課題 ・後の取組方針 ・今後の取組方針 ・今後の取組方針 ・今後の取組方針 ・今後の取組方針 ・方は、に向けた礎となる活動が行われた。引き続き継続的な対話・提案が期待される。 バス事業者への提案や調整は一定進んだが、観光誘客と公共交通の維持を両立する具体的な仕組みには至らなかった。また、乗車促進につながる情報発信や利用者ニーズの把握など、交通と観光を結びつける施策としての実効性を高めるためには、より多角的な視点や継続的な協議が必要である。 判断理由 ・今年度と同様に費用をかけずに関係機関との連携や提案活動を継続することで、地域資源と交通を結びつ		\$4	≘ے₃	亚価		幸田!-!+-	ロンナンナン	t ± 0.0	生物は	ナヤ				幺 - 二 ++	超业法田 1-	ハサガネが	ははのまさ
事業実施上の課題 ・残された課題 ・残された課題 ・残された課題 ・残された課題 がス事業者への提案や調整は一定進んだが、観光誘客と公共交通の維持を両立する具体的な仕組みには至らなかった。また、乗車促進につながる情報発信や利用者ニーズの把握など、交通と観光を結びつける施策としての実効性を高めるためには、より多角的な視点や継続的な協議が必要である。 判断理由 今後の取組方針 廃止 今年度と同様に費用をかけずに関係機関との連携や提案活動を継続することで、地域資源と交通を結びつ		1/90	가디다	1.11Щ	В	天呪にば	ェゥなかつん 楚となる活	にものの、 動が行われ	心以貝源と 1た。引き約	- 父廷 売き網	を結び 続的な	ノハる倪原 対話・提案	ぇかり、写作 そが期待され	えに向けた れる。	既兀冶用と	ム六父进維	74八川八
車促進につながる情報発信や利用者ニーズの把握など、交通と観光を結びつける施策としての実効性を高めるためには、より多角的な視点や継続的な協議が必要である。 判断理由 今後の取組方針 廃止 今後の取組方針 廃止 今度と同様に費用をかけずに関係機関との連携や提案活動を継続することで、地域資源と交通を結びつ		= 344 17			バス 車 攀-									-	組みにける	らなかった	また・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・残ごれた課題 角的な視点や継続的な協議が必要である。 判断理由 今後の取組方針 廃止 今年度と同様に費用をかけずに関係機関との連携や提案活動を継続することで、地域資源と交通を結びつ	事																
今後の取組方針 ・ 廃止 今年度と同様に費用をかけずに関係機関との連携や提案活動を継続することで、地域資源と交通を結びつ		・残され	いた詩	未 起													
												判断	理由				
IIIエフロアがリエ へが エエンチ・コング・チョン Alline たっと オール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		今後の国	双組之	方針	廃	趾	今年度と同	司様に費用	をかけずに	こ関係	機関と	の連携や	提案活動を	継続する	とで、地域	資源と交通	値を結びつ

1 ±	⊦— <u>↓</u> ⊸k=	±ΓΙ				担	L =	田 知以	压图字		1	月日	TT.	===			
	<u>体情</u> 業	<u>報</u> 名	NI.	17	서도나	<u> 坦 </u>			振興室			関	係	課			
事	<u>未</u> 業 区		No. 継続	会 計			会計		算費	目	款	5	項	·	2	目	2
	策体		70 <u>2</u> 7000		<u> </u>	川又	ᄍ미	J' -			り施 策	<u> </u>			革大綱		(2)
	R A L 法 ²		9	庄未 7	生用机刀				书人	₩Д h	3 爬 垛	٧		務	区分		事務
	業期		単年	庄/	年度)	出在	度繰返	ī (午	度~総	¥ <u>ś</u> ≛\ _/	复数年度	_	177 R5	年度~	R7	年度)
					十尺)		·汉林丛	٤(文 化	<u> </u>	× 40 + 10	۷ ۱	13	十尺	N/	十尺)
			·実施内		ᆂᇰᆕᆚᅷᄱ	►≠ ±₽1− =+		LÓHA	+ EA >> 	: 🗆 🛮 🗗 🗫	ナネッマが	+ +\ 5 8\\/	南亜ナ	دا با د	1 4444次)	ェルゴニ ン	心压压力
事業	美目 実施	的・ 効果	上と地域線 づくりを進	経済の活 進める。	ある高山茶多性化を図るこ	とを目的と	する。あ	わせて、	大阪·関	西万博	など国際的	な機会を	活用し、	持続	可能な誘わ	客・販路拡え	大の基盤
事 :	業 概体計	要画)	て、商品開た。	開発やPR		吾展開、他自	治体との	の広域連打	隽による	万博出	展準備など]グラムを 、体験・商	構築し 品・発作	、テン言の	ストツアーと 各面からブ	して実施。 ランド構築	あわせ を図っ
			事業(の対象			見光関連	事業者、選	連携自治	体や民	間団体)
			. 				·	해취 10 기	r . +	+ ** * ·		. 4° -1 **				1107	,
				フンティ	「ンク事業	4,000-	十十十ま	射孔ⅠⅥ╴						50-	十円+謝不	L10+1	j
				担金 2	2,640千円]) IT JR.	J=312 2 ,7	0011	J				
\$±1.4	杏仁由	· (1)															
	_ 0,- ,,,																
	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算																
	事業実施手法 □ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 ☑ 負担金・補助金 □ その他 () 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 (責) 3,690 6,650 6,360 7,556																
3 🗐	円 → 万博負担金 2,640千円 事業実施手法 □ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 ☑ 負担金・補助金 □ その他(事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 費(千円) 3,690 6,650 6,360 7,556 12委託料 3,690 4,000 3,950 4,000 14工事請負費 18負担金補助及び交付金 2,640 2,400 3,556 その他 10 10 (千円) 3,690 6,650 6,360 7,556																
	本案 ブランディング事業 4,000千円+謝礼10千円																
事業	注														7,556		
			7. ***			3,690			4,	000			3,9	50			4,000
									2	640			2 4	\sim			2 5 5 6
			及び交別並						۷,								3,330
財源						3,690			6,								7,556
	特定																4,000
		1-															
						3 600			6	650			6 3	60			3,556
						3,090			Ο,	030			0,5	00			3,330
<u>4 </u>	業の	成果	·評価														
												の魅力発信	言を両立	Z。今	後の万博出	は展や広域	連携によ
		二(事)	美の以来) 	る肢開い	_ PITに足か			地	の美境に	こ貝豚し	<i>)</i> / こ。			11-1	悪つ		
KPI		画夕 (単位)			指標		£1						指	票2		
	38	目標) - - - -	17									
		実績					9										
	日煙値		<u>'''</u> 漬値の差		SNS、関西国												
	分にこ				京都中央区) マテル、奈良な					良							
行革	評価(行政	改革大統		づく評価)	A ENGINEERY		小风响星	= /								
	_	スト	音譜	評価							した根拠・						
			財源確保)	В							[:] 企画からテ を備され、費						
		7 44 5	n + /	評価	大ルル。フロ	ないり日田川			PJ177C_		した根拠・		V/Щ С	0	<u>足以水米/</u>	・元込みれ	ى 0
		目的!	55 √の寄与)	В						向けの)体験や商品	品を企画す		で、	観光誘客と	地域資源0	Dブランド
				評価	価値向上	を同時に達	成し、市の	の観光施設	策の方向		ら合致した成 した根拠・		た。				
			との協創 意見把握		地域事業	者との連携	に加え、	狭山市・所	行沢市・金		びと他自治体		」し、万t	専に	句けた広域	連携の枠組	
	·民	間活力等	の活用)	Α)観光二	コンテンツ開	発を推進					
			一タ活用の活用	評価		· ノニ・ノン・ノグす		フトハユー	- ≪1−=±		した根拠・ ^{ンケートを} 集		口曲がに	∓# 夕 F	哉に明まる.	デークを守	2号,宁州
	()	·EBP		В							と3言語で制						
				評価						評価	した根拠・	理由					
	Į.	総合言	平価	В							発育品開発 、モデル性の					た多角的	な成果を
	- JUL 1	_	-me-														
事	業実施・残さ				コグラムの内 生を両立させ								要であ	り、種	現光コンテン 	/ツとして(の持続性
					10.44.11						判断						
1	今後の	取組:	方針	現	状維持	テストツア	一や商品	開発を通	した基	盤が整	いつつあり、	万博出展	そ契機 乗り	にさ	らなる認知	拡大と販	路開拓が

					, רו						尹木			ı					
	本情報	艮				担	当	課	観光振り	聖			F	関	係	課			
事	業	名		18	宿泊施														
	業区	分	新規	会 計	-	_	般会計		予 算	費		款		5	_	項	2	目	2
	策体	系	9	産業・屠	雇用就労					戦	略的)施	策	J			革大綱		(2)
	1.法令														事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	□ 単年	度(年度)	単	年度繰	返(年	き〜継	続)	<u></u> 衫	夏数年月	隻(R6	年度~	R8	年度)
2 4	事業の	既要	・実施内	容															
事業	美 目 6 実施タ	内 ·	市内にお	ける宿泊割 につなげる	需要や立地の ることを目的	D可能性で 可とする。	を把握し、 また、調査	、宿泊 査結!	1施設の誘 果を活用し	致に[、今征	向けた碁 後の戦略	基礎的 B的な	な調査 誘致流	査・検討な 活動や民	を行う 間事	うことで 業者との	、滞在型観の連携に向	光の促進や けた土台を	Þ地域経済 ≟構築する
事 (全	業 概体計	要 画)	連性を分	析する。あ	施設の立地道 わせて、既7	字宿泊施	設·事業	当へ(りヒアリング	グ、外	部イベン	小等)エリア での情	'を対象 情報発信	に、宿 ・意見	泊需要 見交換を	やアクセス 行う。	、性、観光資	i源との関
			事 業 (の対象	宿泊施設		ある事業	者お	よび将来の	の宿	白利用者					象数:		_)
				-∕ π 1 1.ι.		計画	- \T #L				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-=n, - L	- 11 la - 1	AF 144 = 12		祖実績			
				他設立地 5,930千	可能性調	笡・誘致	【活動							能性調]+謝礼			5割		
			▶ 県と								県との) . M)) C	,,,				
油	算年度	\mathcal{T}																	
	エース とここと これ こうしょう こうしょう こうしょう しょう アイス アイス とり はんしょう かいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう																		
	_ 0[/(1)	•																	
	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 (業費(千円) 0 6,930 6,902 6,270)			
3 1	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 6,930 6,902 6,27																		
J =	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 (千円) 0 6,930 6,902 12委託料 6,930 6,892															R7予算			
事業	費(千円	3)					0				930		•	,		902		3 71	6,270
	12委	迁料																	6,270
	14工																		
			及び交付金													10			
財酒	その他(千円)	!					0			6 9	930				6	10 902			6,270
八儿小	特定則	抗原					0			0,	930				0,	902			2,090
	市債	, (,,,																	
	その他																		
	一般則	打源								6,	930				6,	902			4,180
4 🗐	事業の	龙果	·評価																
	めざすり				立地に関す														
			その成果)		:実態把握と]なアプロー		. – –					事業者	fとの†	青報交換	や誘	致活動	も実施し、 [・]	今後の展開]につなが
KPI				Ø X3 Y P	<u> </u>		<u> </u>	/щ 9		2/20						指	票2		
		票名(単位)		個	異補地の		Eリ7	ア)										
		目標	値				2												
		実績	値				_												
	目標値	と実績	績値の差		選定には至														
	分につ	いて	の理由	エリアご	との立地評	価·整理は	ま実施し、	今後	の検討材料	料を行	导た。								
行革	評価(行政	改革大約		づく評価)														
		スト	意識	評価	F-1-4	=4.761-4	 	P Mainke	(A # 7#)	4.7.	評価し				** -	#bTM I	/2.4 4. 11.	~ _	
			財源確保)	Α					「の基礎と) 機会を最大									の方向性を	示すこと
	-	的馬	H -X	評価	17 7 2 7 2	00000	HI .			1,21,-	評価し					/ — . <u></u>			
			ふ∕5 ∖の寄与)	В														化し、誘致	活動に向
				評価	けた準備	を進めた	。都内イク	ベント	でのプレヤ	センチ	評価し				」則に	も看手	した。		
			との協創 意見把握		東京での	宿泊誘致	イベント	では	デベロッパ	·一、 /i	トテル事	業者	商社	等と情報	交換	を行い	、民間の関	心喚起と連	 車携の第一
	·民間	活力等	テクス (の活用)	С	歩を踏み	出した。~	後は市	民やは	也域関係者	との	対話の	場づく	くりも	課題とな	る。				
			一夕活用	評価							評価し	た村	え拠・対	進田					
		ンタル ・EBP	·の活用 ·M)	В	宿泊施設	の需要や	採算性、	他都	市との比較	交なと	での客観	的デ	ータを	活用し、	宿泊	誘致の	方向性を定	量的に分析	折した。
				評価							評価し	た村	剥拠・3	理由					
	糸	合紀	平価	В	始まった。	。課題を排	巴握しなが	がらも	5実行段階	への	一歩を置	皆み出	した。	点が評価	でき	る。		展開に向け	
事	 第業実施	Ŀσ	課題		ける宿泊ニ														
	・残された課題 なったサービス提供体制の構築が課題となる。また、将来的に宿泊事業を担う人材の発掘・育成にも継続的に取り組む必要がある。																		
	判断理由																		
	今後の	取組:	方針	2	收善												と連動した 楽をめざす	 連営力の引	 強化、人材

					令和	116年月	医アク	/ンΞ	ヨンノフ	ソ 事第	美評価	ソー	^						
	本情					-	当	課	農林課			関		係	課				
事	業	名		1	半農半×														
	業区	分		会 計	区分	— <u>持</u>	设会計		予 算	費目			5_		項	1	_	目	3
	策体			産業・雇	用就労					戦略的	内 施 🕏	策				革大組		(1),	
	法令			 ,	← → \		<u> </u>	\ <u></u>				1	1/L / r	事	務	区分	_	自治	
事	業期	間	単年	塻(年度)	[4] 単4	丰度繰	返(R4	年度~維	±続)∟		数年原	芟(年度~	_		年度)
2 事	事業の	概要	・実施内	容															
事業事業	美目 6	カ・効果	·遊休農	地を解消	するとと	もに、新	しいラ	イフ.	スタイル	である農る	ある暮ら	らしを	実現	する	0				
事	業 概 体計	要 画)	人や自作	F農を育成			マーズ	゙スク	'一ルを開	講し、平	日はそれ	いぞれ	の仕	上事を	をしなが	がら休日	は農	業を始	台めたい
` _		_ ′	事 業 (の対象	生駒市民										才象数:		5組)
					当初	計画								取	組実績	Į			
	算年度 こな取約		·半農半 ·謝耗品 ·消耗品購 ·OB会	等 入費等	報酬他	3,741 2,300 50 300 100 1)千円)0千円 千円	3		·半農半 ·謝礼等 ·消耗品 ·備品購 ·OB会道	等 入費等	員報面	洲他		1,10				
2 4	5 李 建	B-121		施手法	✓ 直接	実施	委	託・指	宣定管理	負担	金•補助	金	7	の他	! ()
3 事	手美賀	· [7] /	原内訳		R5決算			R	6予算現	姷		R/	6決算			1	R	7予算	
事業領	費(千円])			NJM升	5,890		- 11	U J [·] 开坑	6,941		110	リバチ		,143		11		2,427
3.210	12委	托料				0,000				0,211					, , , , ,				
	14工																		
	18負担:		及び交付金			5,890	,			6,941				2	,143			1	2,427
財源((千円)	5				5,890				6,941					,143 ,143				2,427
	特定則	掠				2,222				3,000					,843			•	2,000
	市債 その他 一般則					90 3,578				300 3,641					300			-	300 10,127
	102 11					3,370	<u> </u>			3,011									10,127
Γδ	めざすり	態」	* 評価 実現に **の成果)	「農」のお	る新しい	ライフス	スタイル	しを写	実践する,	人が増え、	農地の	保全	にも	寄与	した				
KPI		. (3->	1207945127			指	標1								指	標2			
	指	票名((単位)			新規就		人)							10	<u>I</u> , С			
		目標	値				1												
		実績	値				4												
	分につ	いて		人等での	年度後期。 D研修を終				卒業生が	農業法									
行革	評価(行政	改革大統		(三評価)					=		hn 700							
			意識	評価	gen I I I			,	·		した根据	処・埋	出						
	(費用対	対果·	·財源確保)	Α	農林水	産省の社	雨助金	が活	用できた										
	E	的	思考	評価						評価	した根据	処·理	由						
	(施策	目標/	への寄与)	Α	今まで	の卒業生	Eの中:	から	新たに3	組4人が	就農する	ること	がで	きた	0				
				評価						評価	した根据	処·理	由						
	(市民	等への	との協創 意見把握 等の活用)	В	市内の のマンバ					、れを行っ ヾった。	てもら	い、卒	業生	を唐	農の担	い手とて	ぎきた	他、市	内農家
	=">" +	7 II =	 ⁻ 一夕活用	評価						評価	した根払	処・理	由						
	(デ	ジタル	の活用	- н	活田さ	 る場がな	こかつで	t - -		1 1 144	2. C IVI								
		·EBP	M)	評価	/4/10 9	J/J/1J.,€	×13 21	_ o		₩	した根抗	m.im	ф						
	糸	合紹	評価	В	毎回募	集をかり	ナると	4~!	5倍ぐらし	ハの応募な				高い。)				
	事業実施 ・残され			半農半〉	くを目指し	た事業	である	こと	から、就	農をしよう	うとすれ	ば、原	農業》	法人	等で <i>0.</i>	研修が	必要。	となる	0
											判	断理	由						
4	今後の	取組	方針	拉	大	まだまだ	だ、応勢	募者:	が多いの	で、圃場か	や受講す	する人	数を	増や	です検討	討をした	را _ه		

1 1	本情	却					担		理 븯	農林課				Ti	對	係	課			
事	第 第	I IX 名	No.		2	生駒市·		•		文化本				Į i	力	IN .	卟			
_	<u>~</u> 業 [2			会	計	区分		安会計	<u> </u>	5 算	費	目	蒜	ፖ	5		項	1	目 5	5
	作						,,,,	<u> </u>		71			的施		Ť			革大綱	(1)	
			土地改										- 13-			事	務	区分	自治事務	ζ
	業其					年度)	/ 単年	F度繰迟	亙(R5	年月	き~糸	迷続)		复数年月	度(年度~	年月	
2 4	車業の	細田		惊					`											
	学表 U 業 目				の宣	虚化生に	- トい 農:	** 体型	の答	囲が油	-1 /1	かる	(佰白)		ニンカ	NG 2	おける	≥の妬た⊭	やすことによ	- L I
事業	実施	効果	農業施	受の保	全系	IMPILITION IN CREATE CONTRACT CONTRAC	是地の保全	そに繋げ	が _居 り ずたし	/° 走いが	./J [.] [C	\d	岐 円/	בינטינ	رر ک	ハン 、1	用內刀	立り投える	179 CCICA	.5.
事	 業	· 英							であ	る農道	、た	め池、	水路	等の層	農業用	施設(の整備	前について	行っている補	助
(全	体計	画)	亚07人			市内農)保全に繋	ୡା ଠର								71.1	7 W.			
			争 耒	ע נט	」家		来有他 刀計画										象数: 1実績))
			・改正後	補助	率の	適用開始					・農	業用	道路	こ対す	る復				する補助金は	., 0
			·農業用	道路	の復	門及び挑	広幅	"		~ m\	件。				- 124.		S			
			(地元旅	迁5,	000	U十円×8	30%×21	件=8,0	000	十円)										
	算年限																			
E	E な取	組																		
			事業実	施	手法	☑ 直接	実施	委託	∶指♬	官管理	J	負担	金∙補	助金	· 🗌 ₹	の他	()
3 📱	事業者	·财	原内訳																	
		<u> </u>	<u> </u>			R5決算	Į		R6	予算現	額				R6決算	拿			R7予算	
事業	費(千						0				8,	000					0		8,0	000
		託料 事請																		
			タリ 加及び交付金	2							8,	000							8,0	000
	その																			
財源	任円						0				8,	000							8,0	000
	特定市債																			
	その	他																		
	一般	財源					0				8,	000					0		8,0	000
4 📱	事業の)成果	₽•評価																	
Γά	めざす	状態」	実現に	油品	カ宝川 4	△た圹☆	することで	で単地	1の42	Α Λ <i>α</i>)安 <i>5</i>	た た ト	1451 :	<i>t</i> -						
		と(事	業の成果)	冊均	小台」「	コで加ル			30万木	主/\0,	一可一	+	11EU	/ _						
KPI		抽力	/光/上/					標1									指	標2		
	扩	<u>除石</u> 目標	(単位) ■値					<u>‡数(件)</u> 2)											
		実績		1				0												
	日標		<u>····</u> 績値の差	周知	口は彳	テっていた	たが、周知	一徹底が	バでき	ていた	こかっ	o <i>t</i> -								
			の理由	ため				- 113/1/2019												
行革	評価	(行政	大革约			<評価)														
	-	コスト	·意識		価								した	艮拠・ヨ	理由					
	(費用	対効果	・財源確保)	(C	対象と	なる地元が	施工の二	工事だ	バなか	った。	•								
		目的	思考	評	価							評価	した	艮拠・	理由					
			への寄与)	(C	対象と	なる地元が	施工の!	工事だ	バなか	った。	•								
			なとの協創 しょうしょう	評	価							評価	したホ	艮拠・ヨ	理由					
			D意見把握 等の活用)	(С	対象と	なる地元が	施工の:	工事だ	バなか	った。)								
	デジ	タル・ラ	<u> </u>	評	価							評価	したホ	艮拠・	理由					
	(-	デジタル ・EBF	レの活用 PM)	-	_	活用する	る場がなれ	かった。												
			1-17	評	価							評価	した	艮拠・ヨ	理由					
		総合	評価		<u></u> C	対争と	 なる地元カ	ムエハ-	丁車+	バナトナハ・	¬+-									
				L'		小沙水C	ひっぱんり	16.エ-Vノ_	스 ヺ /	ነ ዋ/1),	<i>ار</i> ر	•								
事			か課題	要立	- 見がえ	ちったこと	ヒから補品	加率を上	- ト <i>げた</i>	·が、施	てか	ぶなか	った7	- - - ため.	ニーズ	· の再	検討/	が必要であ	_ る。	
	・残さ	れた	課題	\^-	_,,	, , , , , ,		ـــ ت − − ر.	_,,,	-/- \ // !!	,/J	513				-/IJ	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
学後の取組方針 現状維持 - ***********************************																				
	学後0	ノ取組	力針		块状	 維持	ニーズ等	手の判断	断のた	きめ、当	面に	現状	維持	とする	5.					

1 ∄	本情	幸品				担	当	農林課			関	係 詰	₽		
事	<u>₹</u>	I 	No.	3		-		事業補助金		<u> </u>		I/N E	N		
	<u></u> 業 区			会 計			会計	予算		款	5	項	1	目 3	
	作 体			産業・雇		/32	ДП	J 7T		的施策			_ ' 섳革大綱		
					5/13/8/25 5活用推進	注			T-74 P-1	א שוו ני		事務			
	。	-			年度)		F度繰返	/ P6	年度~約	业(丰)	複数年		年度~		
				(千尺)		一又小木丛	(110	十尺。小	坐形7 □□	122	×(十尺	十尺)	
			・実施内	容											
	美 目 実施		農業者の	の高齢化	による農作	作業の負	担の軽減	れのため、ス	スマート農	業を実践	し、農業	着の所得	の向上を	図る。	
	業 根体計					战培技術	設備等の)購入及び	AIを活用	したICT!	鳥獣被哥	害対策に补	甫助金を支	給する。	
			事業(の対象								(対象数)	
			7 -	I 申 光十%		計画			A100	ケー	N (1 1 1 1 1 1 1 1 1 	取組実統			
				N展耒機 50万円>	器購入費 ³ 〈2件)	干좭開助							疑綱を検討 - ズ調査等	を実施した	
			・スマー	ト農業業	務委託に対	対して半額	額補助			獣被害対象					
>土1	算年度	FΛ	(最大1	IO万円×	(4件)										
	异サは														
	_ 0,-17,	1.11													
	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算														
つ ョ	B 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予 事業費(千円) 0 1,400 0 12委託料 0 0														
2 =	月 未月	(H)	アンコノ		R5決質		R6決領			R7予質					
事業	費(千	円)			113//			110] 77-71			110//			1,400	
3.214.									.,					.,	
		事請													
			及び交付金						1,400			()	1,400	
田北百	その ⁽			ļ		0			1,400					1,400	
只小小	特定								1,400				1	1,400	
	市債														
	その														
	一般	財源							1,400			()	1,400	
4 3	12単の)成里	·評価												
			<u>実現に</u>	多くの間	農業者の意	ま見等を問	聞くことを	ができた。							
			業の成果)					の実験を行	が、効果	等についっ	て確認っ	できた。			
KPI						指	標1					指	標2		
–		標名	(単位)			補助件	数(件)								
		目標					6								
		実績	値				0								
			績値の差				ズ把握は	こ時間を要	し、制度						
			の理由		至らなかっ	た。									
行革	<u>評価</u>	(行政	(改革大約		<u> (三評価)</u>				==- /		TITI - L-				
			意識	評価						した根拠・					
	(費用	対効果	·財源確保)	C	二一ズ把	湿による	6対象機	器の選定等	等に時間を	を要し、制	度実施	に至らなれ	かった。		
		目的	 思考	評価	#11077	=1=11 7-	· · · ·			した根拠・		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	- 		
			への寄与)	С	制度実施		っなかつ	たか、今後	必要な事	業 ぐめる	ため、多	らくの農業	者の意見	を聞け丁寧な検討	
	多样	か主体	 との協創	評価	/J. C C /.	_0			評価	した根拠・	理由				
	(市	民等への)意見把握	В	集落座談	公会(別事	(業)にお	いて、多く	の農業者	の意見を	聞くこん	ンができ7	=_		
			等の活用)	評価)\(\)	(2)	.> \(\)			した根拠・					
			[≕] ータ活用 √の活用	□ТІЩ	チロオフ	* +日 ナ ごナッチ	5\ - +		D1 IIII	אנאויטייטו	在田				
		·EBF	PM)	-	活用する	り 場かなん	バンた。		== /=		Tm-L				
		//\ ^ =	=== /===	評価	5 4 5 77	- NI		4 = 1 11 =		した根拠・					
		総合	半1曲	С)(/)、対象権	機器の遺	選正等が	N難であっ	たことから、年度	
	内で制度を開始することができなかつた。													#UPP-1# <i>FF (1)</i>	
事	事業実施上の課題 生駒市内は小規模農家が多く、スマート農業の対象機器の選定等を丁寧に進めるとともに制度構築後の普及ない。														
	・残された課題 及・啓発が課題となる。 														
	A44.0	\ 		TEAL	₽%#+ +					判断	埋田				
	今後の	ル以組	.力虾	^{現初} 	犬維持	早期に制	制度構築	を行い、農	農業者の別	行得向上に	寄与し	ていきた	ر۱ _°		

1 基	本情幸	R				担	当	課農林課			関	係	課			
事	業	名	No.	4	地元野	野菜等の則	販売促進	<u> </u>								
事	業区	分	継続	会 計		分一	-般会計	予 算			5	項		1	目	3
	策体	系	9	産業・履	星用就学	j			戦略的	的施策	Į			革大綱),(2)
	退法 令	_				->					1 + - 1/1		務	区分	自:	治事務
事	業期	間	単年/	度(年月	隻) 🛂 隼	年度繰	返(R	5 年度~約	迷続) ∟	複数年度	芟(年度~		年度)
2 事	事業の構	既要	・実施内	容												
事業事業	美目 的	り・ 加果	食料自約	合率の向	上並び	に地産地	消及び旬	可産旬消の推	進							
	業 概体計員		・市内産 ・いこまし	野菜・果レストラン	実の移動	動販売を 約市内の食	実施。 饮食店で	実施。								
` _	PT: DI F	-	事業の	の対象								(対象)
			1クチャロニ	±/10¢		初計画	0007	· m	1205	シンクラン	(夕手LOC士)	取組建		+ 10	00T	
						で実施) 1 舗で実施)					移動販売 ン(2店舗				1 00+	H
					, -, -, -,	A	,				(1,00	., .			
決!	算年度(り														
	な取組															
			事業実	施壬は	-	接実施	√ 委	托·指定管理	││────────────────────────────────────	金・補助		の他()
	⊢ 1114 - 111			אני פוני	* L E	17女大儿		亚"邢叨	<u> </u>							
3 \$	業費・	灯湖	別訳		R5決	·笛		R6予算现	目好		R6決算	1			R7予算	当
事業:	費(千円	1)			עטע	算 1,88	8.8	NO J/异/	元 _年 2,275		NU次有	2,02	25		V \ 1\f	拜 2,062
子人	12委記					1,77			1,900			1,90				1,900
	14工事	睛										,				
			及び交付金						0.75							140
日大江百	その他(千円)					11 1,88			375 2,275			2,02	25			162 2,062
	特定財	源				1,00	00		2,275			2,02	23			2,002
	市債	////\														
	その他															
	一般財	源_				1,88	88		2,275			2,02	25			2,062
4 事	事業の原	戊果	・評価													
	めざす状			 	並に触え	りろ機会を	を多く創	出し、市内で	での食料白	絵家の	51上や市区	力農家の	の持続	続性 おかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん	を図っ	n <i>t</i> -
. 5 5		事業	美の成果)	7U/UE).	不「こカム			іщостігі з			-3-T- / 1/3/L				J C [2] 2	
KPI		5夕(単位)		安斤 丰臣		指標1	舗数(店舗)					指標	<u> </u>		
		目標			不川 入		3	洲奴(/白州/								
		実績					2									
	目標値	と実績	責値の差	天候不	良等に。	より、2飲	食店でし	- ル実施でき	なかっ							
	分につい			た。												
行革	評価(1	亍政	改革大統		づく評価	臣)										
	J	スト	意識	評価					評価	した根拠	l·理由					
	(費用対	効果・	財源確保)	Α	地方創	割生推進3	交付金を	活用するこ	とができた	こ。						
	F	的思	!!	評価					評価	した根拠	l·理由					
			(の寄与)	В	地産地	也消及び旬	可産旬消	を実践する	ことができ	きた。						
	多様な	:主体	 との協創	評価					評価	した根拠	l·理由					
	(市民	等への	意見把握の活用)	С	生駒で	市農業振り	興協議会	の協力を得	ることがて	できた。						
			·一夕活用	評価					評価	した根拠	l·理由					
	(デミ	ブタル	の活用	_	活用で	 する機会 <i>た</i>	がなかっ	た。								
	•	EBP	<u>I</u> VI <i>)</i>	郭価	7,47.3	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		0	1 評価	した根拗	い理由					
	絲	合調	平価			D - H - H - N - N - N - N - N - N - N - N	E C 10	THA 41-								
	.,,,,		•	L B		ル成果が行 	寺りれ、 	新規の参加:	百なとも開 	別力 ぐき7 	こにめ					
_	評価 評価 評価した根拠・理由 総合評価 B 一定の成果が得られ、新規の参加者なども開拓できたため 事業実施上の課題 ・移動販売は、自治会要望は多いが、生産者のキャパが少なく、実施する自治会を増やすことができない。													曽やすこと	レができ	 きない。
	業実施 ・残され							野菜を提供す							_,,	
		た誤	課題	・いこま						少ない。						

		_			•									1		
	本情報				T-44-4	-		農林課・	・障がい福	祉課	関	係	課			
事	業	名		5		携等の促進	生									
_	業区	分		会 計		7		予 算					項		目	
		系	9	産業・雇	星用就労				戦略	的施员	策			革大綱		
	退法 令									_		事	務	区分	自治事務	5
事	業期	間	□ 単年/	度(年度) 🛂 単年	度繰返((R5	年度~	継続)	複数年	F度(年度~	年月	度)
2 事	事業の	既要	・実施内	容												
事業	美目的	勺 •			オワの紹	消とともに	- 典类2	た済い除か	バハ メ がさ	+ 今 的 犯	割を持つ	つ トンバ	- z			
事業	実施效	力果	1/1 VL 1/10	外小儿交出	1 VEVIN	MCC OI	こ、反木で	で通り枠が	7.0 LE 12.11	TZLIX	. DI 2 IU	ار می	C 9 &	'o		
事	業 概 体計i	要 画)	続き協議	養を行う	。また、農	業従事者(の人手不								祉事業者と引	lŧ
			事業(の対象		祉事業者	也						象数:		,)
			th W an			刃計画	1-10-1		1-11-	- 11/2			且実績		v ±4.	
					温祉事業₹ √た施策⊄	当との意見 ゝ☆⇒ナ	交換のな	易の設定						定(2事業 ふく出張		
			・遊休農			八大司			"汉庄师	は一大・ファスト	心又1友(反未亦	ز, ۱۰۱	.かく山郊	רורז.	
24.4	- 一曲	T	・農業の	専門家	派遣											
	算年度(Eな取組					農業祭、し										
	_ 0.47/11		はしめと	9 る公	共施設な	各種イベン	ケでの則	又元)								
			事業実	施手法	去 🔽 直接	安実施 [_ 委託・	指定管理	負担	金·補助	金 🗌	その他	()
3 事	事業費·	計派	10年													
Ja	一不只	אוו ניא	<u> </u>		R5決算	<u> </u>		R6予算現	額		R6決	·算			R7予算	
事業	費(千円])				0			0			.,	0			0
	12委															
	14工									1						
	78負担金		及び交付金													
財源	(千円)	•				0			0	1			0			0
,,,,,,,,,	特定則	源														
	市債															
	その他															
	一般則															
<u>4</u> 事	事業の!	成果	・評価													
	めざす状			上 游休農	地の斡旋	や授産品の	の販売支	揺を通し	て 農のね	るの新し	いライフ	スタイ	ווישןו	大に客与	ュ」 <i>。</i> た	
		(事業	美の成果)	应小应	PEO V THANK			一次と近し	C \ 15070	0 0 MI O	0.212	<i></i>			70/C	
KPI		 /	34 /L\				標1	<u>/- /)</u>					指	漂2		
		<u>岩(</u> 目標	単位)		農美	美の専門家		奴(回)		1						
		日伝 実績		-			<u>2</u> 0			1						
				# E5 ±	·由の行が											
	日標値分につ		漬値の差 の理由	生駒巾 坐の車	内の価値 門家を派	事業者に	も一定の 兄に至ら	ンソハリt なかった。	しめり、辰							
行苗					づく評価		701CI 7	0.73 2720								
17—				評価		<u>/</u>			評価	i した根接	処・理由					
			意識 財源確保)	В	コフトを	 を掛けずに	事業を国	上悔できた								
	(جراریج)	WJ/I\	が加いを下して	_	12/1/6	- 1417 910	- 			した根接	m.IAch					
		的思		評価	4=41=	*** +	7=¥ 0.49	<u> </u>								
	(施策	目標^	への寄与)	С	福祉事	業者との協	協譲の場	を設け、第				(協譲	ぐさん	-0		
			との協創	評価					評価	した根	処·理由					
			意見把握 の活用)	D	農業者	等との意見	見交換に	おいて、多	を入等の見	具体的な	意見を	导られ	なかっ	た。		
	デジタ	ル・デ	一夕活用	評価					評価	した根拠	処·理由					
		ブタル EBP	の活用 M)	-	活用す	る場がなた	かった。									
		LDI	141/	評価					評価	した根拠	処・理由					
	絲	合語	平価		4=41+	W. / 1	±-+ a ID					1 % > 4.				
	170		7	C	個祉事	業者との協	協議の場	は設けた	か、農地の	ツ拡大等	には繋が	からな	かつた	-0		
事	業実施	上σ)課題	生駒市	内では、闘	農業法人か	が少なく.	従業員を	雇用する	農業者	が少ない	ため.	障がし	い者の職場	或拡大にはつな	なが
-	・残され			りづら			\	,	<u>ل</u> ر د. بــــ.	1		/\	. ,	H 1942		J
										判	断理由					
	今後の耳	[[[]]	方針	現	伏維持	遊休農地	也の斡旋	や授産施	設品の販			 き続き	福祉事	事業者との	 D協議を行い、	多
				I				職域拡大							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

1 ‡	基本	情報	3					担	当 :	課環	境保全	全課				関	係	課	!			
事	3	業	名	No.		1	市内の現	環境状況の	の監視を	及び公	害対	策の	実施									
事	業	区	分	継続	会	計	区分	一般	会計	予	算	費	目	款	7	4		項	1	目		5
施	策	体	系	10	生活	舌環境	意					戦	略:	的施	策		行	政改	革大綱		(1))
根技	処法	去令	等	大気汚済	k防ı	上法、	水質汚濁	防止法、	騒音規	制法、	振動	規制	去				事	務	区分	自	治	事務
事	業	期	間	□ 単年月	度(年度)	✓ 単年	度繰返	₹(R5	年度	₹∼₦	継続)	补	复数年	度(年度~			年度)
2	事業	≝の根	要	・実施内	容																	
		目的				+		_														
事弟	美実	施效	果	関係法官	ゴーキ	掛づて	5年年実施	也														
事。	業		要	大気質・ し適宜指	水質 導を	・騒音 を行し	音・振動等 1良好な5	の環境測 E活環境の	定を総 の保全を	≚続実だ を図る	施し、 。	市内	の環	境状》	兄を批	巴握·盟	監視す	すると	ともに、公	害の角	5生派	原に対
(主	14	計画	븨)	事業(カ 対	寸 象	市内全地										(ל	付象数	:)
							当初	計画									取	組実績	į			
							8,267							則定調								
				水質測定 縣音・振	E調1 動油	登 I定調	8,960 1 査 6,29	-円 97千円						定調査 動測に								
`+	. ** F		,	学研高山	山地区	区環境	覚保全に	,, , , , , 系る水質詞	周査等詞	業務		学研	F高L	山地区	環境	保全に	こ係る	5水質	調査等業績	膐		
		丰度0 :取組		10,352			4+ г⁴¬+/-=п		:п. / /- \\	~ □ □	1377			千円	エフ ル	++/-	=п. 4-	+ 7-=-	=⊓./ /- \\ ∕>.	- 11155	тш -	北岩
-	т.	·4×1111		職首·振 理、指導	割に	.徐る	符疋他設	·特定建語	设作美(か 届け	安	純官	≦•/扳	割に	ጵዕክ	产正他	設*作		設作業の	画 出党	埋、:	指导
				X 10-7																		
				事業実	施	手法	直接	実施	委託	・指定	管理		負担	金・補	助金	· 7	その他	3 ()
3 }	事業	養・	財源	内訳																		
							R5決算			R6₹	5算現				R6	決算(R7予		
事業		千円						17,103				33,8						3,118				5,707
		2委計 4工事						17,103			•	33,8	376				18	3,118			3	5,707
				スタ 及び交付金																		
		の他																				
財源			<u>श</u> क					17,103			;	33,8	376	ļ			18	3,118			3!	5,707
		定財債	까																			
	7	の他																				
	_	般財	源					17,103				33,8	376				18	3,118			3!	5,707
4	事業	€の反	果	・評価																		
				₹現に	±.,	ከ ጣቹ	₽ 	た田場に	ハ宝祭	(十)百)	- 5:11	油点	七七往	たた	\ ⊨	カスナン	十:千:	四倍 σ	(保全を図	った		
		こと	事業	(の成果)	אנוו	ソリレンル	₹-児1八川~			:土///	CXIC	/迎且	.1日令	₹ Œ 1J`	ν '\ <u>D</u>	ያአፓ <i>ነ</i> ው:	土心			ارده		
KP.	I	11-12	. <i>h</i> /	774 /T- /				指		и.\								指	標2			
	-		(名) 目標	単位) 				公害相談	:什致(1 1	干)												
			ュ <u>に</u> 実績						<u> </u> 7													
	F			<u>'</u> 責値の差	ワ仏	Ŀのか	宝相談+	「あり、公		海にも	計論	七刀ナ い:	岩									
				の理由		を行っ		·65.7、A	口无工	がにと		91.4	JH									
行革	評	価(彳		改革大約	岡に	基づ	(<評価)							<u> </u>								
				意識		땜							評価	した札	₹拠・	理由						
	(星			財源確保)		В	入札を見	尾施しコス	ト削減	に努め	かた。											
		В	的思	 日老	評	땜							評価	した材	₹拠・	理由						
				いっ (の寄与)		В	啓発を行	が公害対	対策に勢	努めた	0											
		多様か	主休	との協創	評	評価							評価	した村	え拠・	理由						
		(市民等	手への	意見把握の活用)		В	河川のフ	K質保全や	か公害対	対策と	して±	也元自	自治	会や企	業と	連携し	ノて肌	双組を	 進めた。			
	-			一夕活用		_ 呼価								した札								
		(デジ	ッタル	の活用		<u>гіш. </u>	水質 大	 気、その(他環境:	則定の	デー						3めて	いる				
	-	•	EBP	M)			7,54,7,		D->K->U.	,,, <u>,,</u>				した相			,,,,					
	神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神															工川						
		יטיוןי	μр	, ,,,,,,		В	環境測況	Eについて	予定证	動り実	施する	もこと	こがて	ごきた	0							
1	事業	実施	上の		Ib c	.п.р.н.—	· ·	*	/ 土刀 \ 戸 一	+ フ	ニナヾ゙゙゙゙	5 <i>[</i> 511]	+	: +o +>								
		浅され			現長	文階 (;"埬瓨 <u>基"</u> 	集を大きく -	, 超過 9	3 O L	つな引	₱1別に	見り	びな	ر۱ _٥							
														7	判断现	里由						
	今往	後の耳	双組之	方針		現状	維持	関係法令	うにより	J今後	- も実お	ー 布して	- >۱ل	(必要	がある							_
i i					i					~	13		- '	- ~	'	-						

1 基	太	情報	7				担	当 課	環境保全	全課			関	係	課			
事	業		<u>名</u>	No.	2	市内街路	<u></u> 各灯の一3						12.0	и	P11			
事	業	区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	4		項	1	目	4
施:	策	体	系	10	生活環境	竞				戦	略自	り施り	策	行	政改	革大綱	(1)	(3)
根扱	见法	5 令	等	道路法族	施行規則									事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	□ 単年/	度(年度)	□ 単年	F度繰返(年度	き〜総	೬続) ⋅	複数组	羊度(R6	年度~	R8	年度)
2 1	巨業	の相	華	·実施内	宓													
事第事業	Ř E	目的] •			丁具の落	下や支柱の	の倒壊等	の事故を	防ぐ	ため、	10年を	を目安に	詳細な	心点検	を行う必要	要がある	
事 :	業	概		前回(平	成26年周	度)から1()年が経過	過したこと	こに伴い点	た検を	実施	iし、必要	要に応じ	て修繕	を行	ò		
(全	1本	計但	則)	事業(の対象	街路灯								(文	象数:	1,30	00基)
							計画							取約	狙実績	į		<u> </u>
				一斉点榜 道路付属 39,915		00基 照明施設	()点検業	務		道路	各付属	₹ 1,2 <i>€</i> 陽物(道) O千円	61基 路照明放	拖設)点	検業を	务		
		E度() 取組		街路灯緊 3,000	聚急修繕料 千円	¥					8灯緊 927 ⁻		料 12	箇所				
				NV	<i>11 = 11</i>	I												
				事業実	施手法	直接	実施	<u>√</u> 委託・i	指定管理		負担	金・補助	1金 [✓	その他	()
3 -	業	費・	託料 39,915 30,580 27,4事請負費金補助及び交付金															
事業	婁(:	1田	`			K5沃昇					015		R6为		507			33,424
尹未							0											27,418
				負費														,
			補助	及び交付金														
財源		<u>の他</u>					0	-							927 507			6,006 33,424
別派		定財	源				0			42,9	915			33,	507		•	33,424
	帯		<i>////</i>															
		の他																
	<u></u> —ј	般財	<u>源</u>							42,9	915			33,	507			33,424
<u>4</u>	業	の月	果	・評価														
				現に							を防ぐ	ぐため、	10年ご	ごとの詩	細点	検が必要で	であるこ	とから、
		こと(事業	の成果)	法定点核	きを実施し	人 適切な		を行った	-0					11-	= 0		
KPI		七世	タ(単位)			指	標1							指	漂2		
			1位 1標															
			支績·															
行革	評値	西(彳		改革大統	Mに基づ	(く評価)												
					評価						評価	した根	処·理由					
	(費			財源確保)	В	入札を剝		とより安保	西で点検る	を実施	もする	ことが	できた。					
		Р	的思	8老	評価						評価	した根抗	処·理由					
	()			い つ 、の寄与)	В	予定通り	ノ点検を乳	実施するこ	ことができ	きた。								
	9	こせた	主体 :	 との協創	評価						評価	した根	処·理由					
	(市民等	テへの	意見把握	_	国十交证	 勇省が定と		要領に基					いるた	め。			
	-			の活用)	評価		<u> </u>						処·理由					
	7	(デジ	タル	ータ活用 の活用	<u>птіш</u> —	国十六	 通省が定と	める占粋で	亜領に 甘・					しるた	か			
		•	EBPI	M)	=亚/共	国工人	3 E 17.7C	のるが大	安阴C垒				処·理由	V 0/C	.000			
		総	合語	平価	評価 B	点検、修	繕を予定	通り実施	すること					度の低	い修	善について	ても実施	する。
- 事				課題				> <	· -									
	·残	され	た詩	題								业	断理由					
	今後	色の耳	又組え	方針	現状	維持	引続き道	適切な維持	寺管理を	実施し	ノてし		- 1・王田					

1	Ħ	本情報	2					担	 当	■ 『	方犯交 证	また	在 運		F	對	係	課					
事	垒	华间 業	汉 名	No	3		化+754= 1/2 甘	<u>122 </u>	•			世入了	R in		l I	利	亦	砵					
事	業		<u>口</u>	No. 継続	_	計	区分		会計			費	目	±,	h	2		т古	1		-	1;	_
施	未 第		系		生活球			一四	云司	J	」			<u></u> 的 施			4=	項	革大綱	E	(1		<u> </u>
				10				L 	008#7	典光	머스六			17 加	來		1万事			<u> </u>			
		法令		生駒市特		狄卡								nlv.	- ÷	5 */- /T	_	務	区分		自治		
事	業	期	間	単年	塻(年度)		F度繰迟	区(H28	牛店	支~剂	迷統)	1	复数年	-		年度~			年月	支)
2	事	業の	既要	・実施内	容																		
事事	業業	目 的 実施效	り・	悪質電話	話による	5特	持殊詐欺等	等の犯罪	被害を	未然	に防止	するフ	ため。	ò									
		€ 概 本計 ī		特殊詐其	次防止	装置	置購入・設	置費用の)2分の)1のネ	補助金	を交	付(阴	度額	8,00)0円))						
\	_ r	T PI 1	-	事 業 (の 対	象	世帯員に	-65歳以	上の者	が含	まれる	市内	在住	者			友)	対象数:	10	00)	
							当初	計画									取	組実績	į				
		戸年度(な取組		当初予 ·特殊詐	算56 欺防止	0 1 装	置の補助 -円 置の普及 (240千)	啓発				当ホードロー・特	アラー 外部 一殊等で 殊許	章を増 ペーシ 欺等 での普	額し、 ジや広 多発警 及啓診 波害防	より 報紙、 報」を 発を図	多く0 市公 発表 で発表)世帯 式Xの もし、自 。	向にあっへの普及の他、令和 治会への 費補助金	を図っ 7年1 回覧	った。 月2' や高i	7日(齢者	こサ
				事業実	施手	法	直接	実施	委託	£·指定	定管理	√	負担	金•補	助金		その他	. ()
3	事	業費·	財》	原内訳															_				
							R5決算			R6	予算現				F	R6決	算			R7-	予算		
事弟		10千円						280				8	300					796				8	00
		12委記		名弗																			
		14工事		貝貸 及び交付金				280				5	300					796				Q	00
		その他		及し入门业				200					500					100				0	00
財源		千円)						280				8	300					796				8	00
		持定財	源			280 800 796 800																	
		市債 その他	1					280					300					796				1	$\overline{\Omega}$
	ŀ	一般財						200					300					190					
	_					280 800 796 400 400																	
		· 莱の た ざす状		・評価 実現に	補助急	主金	業や広幸	服活動を)	通して、	市内	に住む	365i	憲以	上の高	論者	世帯	 へ、特	殊詐其	次防止装置	置の音	子及を	進め	 55
				美の成果)	れた。																	_	
KP	Ί_								標1									指	漂2				
	L			単位)			特殊詐欺	炊防止装置		助件	数(件)												
	L		目標						70														
	L		実績	値					07														
		目標値の分につい		績値の差 の理由			い当初予 ができた	ら算を増整 こ。	頂し、目	標以	上の成	果を	学										
行草	鞟	泙価(1	行政	改革大統			(<評価)																
		 ;	スト	意識	評価	<u> </u>							評価	した札	艮拠・ヨ	理由_							
	-			·財源確保)	В		財源につ	いては国	国の交付	付金る	を充当し	少事 剝	業を道	進める	ことな	ができ	た。						
			I かっ F	H -	評価	<u> </u>							評価	した村	艮拠・3	理由							
				思 考 への寄与)	В		令和6年	き当初の目	=標70ℓ	件をほ	金かに 超	゚゚゚゚ゔゔ	1074	件もの	由請力	バあり、	多く(カ世帯	へ普及でき	てい	 る。		
	L																						
				との協創	見把握																		
				等の活用)	_		補助金3	を付のため	め、多材	表な主	体との)協創	川はな	iく、ii	変当な	じ。							
				一夕活用	評価	<u> </u>							評価	した村	艮拠・3	理由_							
			ブタル EBP	·の活用 ·M)	-		補助金茗	を付のため	め、デジ	ブタル	・・データ	タ活用	目はな	i i i	亥当な	い。							
	ľ				評価	Ŧ,							評価	した村	艮拠・ヨ	理由							
		総	合語	评価	評価 評価した根拠・理由 B 計画のとおり実施できており、予定どおりの成果を得ることができた。																		
į		業実施残され			今後、	特	殊詐欺防	止装置の)役割や	や本補	輔助金∅	D存在	Eを、	より	多くの	市民	へ周知	まする。	こと。				
														2	判断现	曲							
	9	後の国	双組:	方針	判断理由																		

										~ пТ I I II I						
_	本情	-	•	ı					舌センター	-	関	係	課			
事	業	名		4	消費者ト									1		
	業区	<u>分</u>		会 計	区分	一般	会計	予 算	費目		5		項	2	目	5
	策体	系		生活環境					戦略的	勺 施 爿	Ē			革大綱		(4)
	返法 台				費者保護	_					11-11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	事	務	区分	目治	計事務
事	業期	間	単年	芟(年度)	<u>'</u> 単年	度繰返(R5	年度~総	継続)∟	」複数年	-		年度~		年度)
2 📱	事業の	既要	・実施内	容												
事業事業	業 目 ほ 実施を	的・ 効果	弁護士、福祉 し、未然防止	関係者、警察 、拡大防止を[、民生児童委員 図ります。また	員等の様々な「 、賢い消費者	関係部署と連 を育成するこ	携し、情報共7 とにより、消費	有や、消費者行 費者被害の早期	政部局から 月発見や早期	のタイムリー 期解決、拡大	-な情報! 防止につ	是供によ [、] なげるこ	って、消費者被ことができます	害の手口の 。	変化に対応
事(全	業概体計	要画)	用し、地域全	体での見守り		る。また、若年	層を中心に、		消費者被害の規 象として、消費							
`			事業(の対象	生駒市民								象数:	_	_)
			、仕町士	火弗 老 ウ ヘ	当初		<u> </u>		. #-F5-+-\	小事力力	. ∧ <i>ты</i> /□ ↓		且実績			
				月貫石安王 高校に啓発	確保地域協 品を配布	議会の連盟	로		上 生駒市市内の				義会の』	里'呂'		
				3	4千円 くり市民大会	今 1 不八四号	準成の関係	<u>.</u>			42千円		_ ^ ^ -		3 /LLL	
油	算年度	σ		51	0千円						つくり巾 498千円		「で公	開講座の開	11任	
	サース				テッカーの名 もと共に配布					売お断り	ステッカ	一の各	戸配布	(50,000	部作成し	<u>、</u> 約
			及び転入	者に配布)		101%7100	(<u>77</u>) B X 31	(0)改臣	43,000		は紙と共 に	こ配布。	残りは	·公共施設	ろへの設i	置及び転
				2,517	7千円				/ LICE		517千円					
			+ » +	+ - +	<u> </u>											
			事業美	施手法	直接	実施	⅓委託・指	旨定管理	負担:	金•補助]金	その他	()
3 📱	事業費	·財》	原内訳											_		
	# /				R5決算		R	86予算現			R6決				R7予算	
事業	費(千円					384			3,061				057			1,030
	12委		<u></u> 色費						500				496			500
			及び交付金													
	その化	1				384			2,561				561			530
財源	(千円)	1,000				384			3,061				057			1,030
	特定則市債	加				100			1,530			٦,	528			515
		その他 一般財源 284 1,531 1,529 515														
// 1	主業の	-														
	かざすり			訪問販売	お断りステ	ッカー入り	<i></i> ノパンフレ	ットを配布	したことで	が訪問勧誘	透に関す	る相談	件数が	減少、消費	者トラブ	ル等の相
			た呪に 美の成果)	談先として	て消費生活	センター(か認知度か ***	が向上した	。また、市内	の高校	に対して・	チラシア	及び啓	発力ードを	配布し、消	肖費者トラ
KPI				ノル争炒	を周知する	ここがで 指							指	票2		
. (, _		票名((単位)		消費	貴生活セン		印度					-			
		目標)%									•
		実績	値			50)%									
			積値の差													
2= +1	分につ	• •			\ _==/ -\											
行垂			改革大約		く評価 <u>)</u> T				=च्रा/ऋ।	した根拠	n.IA					
			意識	評価	】 訪問販売も	う迷い システッカ	-入りパンフレ	レットは生駒で				作成した	E.			
	(貸用X	別米	· 拟冰傩保 <i>)</i>						ずにネットワ	ノーク内で	で情報共有			費用対効果	は大きい	· o
		的	思考	評価					評価	した根拠	心・理由					
	(施策	目標/	への寄与)	В	相談先と	:しての認	知度が向	り上した。								
				評価												
	(市民等への意見把握) 消費者安全確保地域協議会は、弁護士、警察、民生児童委員、市内の介護サービス事業者等様々な機関が構成															
				評価	IMINIC 6	<i>y</i> (v · w ₀			評価	した根拠	w·理由					
	(デ			С	LINEW	ORKSを	活用して	いる。しカ	かしながら	参加者	が少なし	ハ状況	である	5.		
		LDF	101)	1111年												
	糸	合紹	評価		消費者安全	と確保地域	協議会で	INEWOR				いものの	D、 電話	等で構成機	関から相	 談を受け
	1			l _B									. , -214	11319016	> 1H	-,-^!/
事				性がある。	消費者安全	確保地域	協議会を設	と置し、情報	共有のため	ICLINE	WORKS	を導入	してい			
	今後の	取組	方針	現状	維持	消費者額	と書の未然	然防止の	ために、絆	続して]	取り組ま	必要が	がある	0		
		が様な主体との協創 評価 評価 評価 評価 評価 評価した根拠・理由 消費者安全確保地域協議会は、弁護士、警察、民生児童委員、市内の介護サービス事業者等様々な機関が構成機関となっている。 評価 評価 評価 評価 評価 評価 評価 アル・データル・データル・データは関係では、対象を表現した。 評価 アル・データル・データル・データル・データル・データル・アータ においまれる。 アル・データル・アータ においまれる アル・アータ においます アル・アーター アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アーター アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アーター アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アータ アル・アーター														

					15.1	10 1/2	.,,,		7 7 7	ППШ	'					
1 基	本情報	R				担	当 課	防犯交通	通対策課		関	係	課			
事	業	名	No.	5	自転車馬	主車場の新	f設及び	運営形態	の見直し							
事	業区	分	新規	会 計	区分	一般	会計	予 算	費目	款	2]	頁	1	目	10
施	策体	系	10	生活環境	竟	-			戦略的	的施 策		行证	攻改	革大綱	(3	3)
根扱	1. 法令	等	生駒市自	転車駐車	車場条例				•			事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年	变(年度)	単年	度繰返(,	年度~継	¥続) ✓ 1	複数年月	隻(R5	年度~	R16	年度)
				`	1 ,227		<u>/</u>	<u> </u>	1122 11	-1707		`				
			•実施内 •	<u>谷</u>												
事業	美 目 自	り・	生駒駅周	辺におけ	ける自転車	 駐車場の	か恒常的	な満車状	態や利用的	寺間の延長	長等の語	果題解	決			
事 (全	業概体計	要 画)							主輪台数の	拡大や2	4時間當	営業、	キャッ	/シュレス	決済等を	進める。
			事業の	り対象	市営自軸		易の利用	者					象数:	-	-)
					当初	計画						取組	実績			
	算年度(Eな取組		·新駐車 ·令和74 ·自動車 22,7	場設置工 手度、指定 駐車場改 79千円	と契約(14 事 7,83 定管理者の 造工事(F	31千円 D募集		"	·新駐車· ·新指定的	管理者と 場(谷田第 管理者募集 駐車場改) 千円	3自転 集の募集	車駐車 集およ	車場) び決	設置工事 定] 7,986	千円
			事業実	施手法	直接	実施	☑ 委託·i	指定管理	負担:	金・補助金	₹ 🗌 ₹	の他	()
3 3	事業費·	計	百内訳													
J =	F 木只	R/J III	WL 30/		R5決算		F	R6予算現	額		R6決算	Ī			R7予算	
事業	費(千円	1)			1107/71	2,310			34,610		110//1	21,3	353		1(7 3 71	0
	12委					2,310			15,779				212			
	14工	事請!	負費						18,831			9,	141			
			及び交付金													
D 150	その他]				0.010			0.4.4.4.0			04.6	. = 0			
財源	(千円)	LYEE				2,310			34,610			21,3	353			0
	特定則市債	[源														
	での他	1														
	一般則					2,310			34,610			21,3	353			
				l		2,0.0			0 1,010			, .				
		の成果・評価														
	めざすり					f設により	/駐車台	数を拡大し	」、24時間	聞営業やキ	「ヤツシ」	ュレス	化に	より利用:	者の利便	性向上
		(事ま	美の成果)	を図った	- 0	11-	T 4						- 11-1			
KPI		5 <i>t</i> 7 /	774 /T- /			指	漂1						指	祟2		
			単位)													
		目標														
		実績														
	目標値 分につ		積値の差の理点													
2= ++					`											
行車	<u>評価(</u>	丁以	改革大統		<u>(<評価)</u>				=त: /TF I	+ +D+hn	тш-					
			意識	評価						した根拠・						
	(費用対	効果・	·財源確保)	В	利用料金	急制による	指定管理	理となり、	本市の支	出を抑えり	られてい	いる。				
	Е	iかE	 思考	評価					評価し	Jた根拠・	理由					
			ふう ∖の寄与)	В	駐輪台数	女の拡充や	ウキャッシ	シュレス化	等により、	利用者の	利便性	の向	上にこ	つながって	いる。	
	4 134 /	. > //	1 0	評価	-3-11111-121					った根拠・					•	
			との協創 意見把握	計画	THENNY /	\#W= L3	, <u> </u>	TT		ン/これが	生山					
			の活用)	_	利用料金	定制による	1指正官	理のため記								
			ータ活用	評価					評価し	Jた根拠・	埋由					
	(デジタルの活用 ・EBPM) - 利用料金制による指定管理のため該当なし。															
				評価					評価し	Jた根拠・	理由					
	糸	合組	平価		=1	برسلس يريل		+v1 ===				^	_			
	.,,,			В	計画のと	こめり実施	はいさてる	がり、予定	どおりの原	以米を得る	っことか	いでき	に。			
事	上 業実施 ・残され				1 3 自転車駅 コレス化			没について	は令和7年	年4月1日	より順次	次、機	械化	 を進め、2	24時間営	:業·
										判断	理由					
	今後の〕	取組:	方針	現状	維持	新指定管			車駐車場の			め、全	产施設	との24時	間営業・コ	トヤツ

					15.1	10 1/2	.,,,,,		·	ЖИТІШ	- '					
1 基	基本情報	R				担	当 課	防犯交流	通対策課		関	係	課	土木課、	こども園	準備室
事	業	名	No.	6				た交通を						1 1		
	業区	分		会 計	区 分	一般	绘計	予 算			2		項 	1	目	10
	策 体	系	10	生活環境	₹ 				戦 略	的施	策			革大綱		(4)
	w 法 令 業 期	間	□ ₩/±;	÷/	ケヰ\	, H/	- 年纪后/	D.E.	左连 〈	wy+1	油粉	事 年度(務	区分	日活	事務
			単年/		年度)	単年	E度繰返(K5	年度~	を統りし		牛皮(年度~		年度)
			<u>・実施内</u>	容												
事業	業 目 色	り・	交通事故	女が発生し	_ノ うるかも	しれない	1危険箇戸	がを特定し	, 対策を	講じる	ことで事	事故予防	を図る	るため。		
事(全	業 概体計	要 画)				前車の走行				-キが多	い危険			道路標識	等を設置	量する。
			事業の	の対象			市内	道路の利	川用者				象数:	-	•)
					= 11/1	計画						以 和]実績			
	算年度(繋が保有す Oけ、優先				優先順何	泣づける	を実施			タをもと 生率が高		険箇所の 点のカ
E	Eな取組	l		. #	0.T.III							路面表				
			上 事請見	負費 500)十円				土木課	の予算に	こより当	誤の支旨	出はな	¥U		
			- viii.	<i>u</i> = 11	I —							_				
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	_ 委託・持	旨定管理	負担	金•補	助金	その他	()
3 📱	事業費·	財源	原内訳											-		
古光	弗/イロ	1\			R5決算			R6予算現			R6	夬算	_		R7予算	
争耒	費(千円 12委詞					0			500	1			0			250
	14工	事請負							500)			0			250
	18負担金		及び交付金													
財源	(千円)	5				0			500)			0			250
	特定則	源														
	市債その他	ļ														
	一般則								500)			0			250
4 3	事業の原	世 果	• 評価				_							_		
Γά	めざす状	態」		交通事故	女が予想で	される市内	内の危険	箇所に看	板や道路	標識等	を設置し	ノ、事故!	ノスク	を未然に	低減した	-0
KPI						指	標1						指	票2		
			単位)		交		生件数(件)								
		目標					07									
	-	実績	他 責値の差				97									
	分につ			目標通り	の成果を	学げるこ	ことができ	きた。								
行革	評価(行政	改革大統		(<評価)				=== ==	- , , , , ,	lbe TM-L					
			意識	評価		» <i>.</i>	4666	. = 1 .1			拠·理由	-				
	(費用対	効果・	財源確保)	В	テータに	基ついた	に施策とな	いるため、					0 0			
		的思		評価		ı, <u></u> , , ++	- ·- ·	5 LIA 55			拠·理由	-				
	(施策	目標へ	への寄与)	В	民間事業	者や警察	祭、迪字路 ————————————————————————————————————	高点検等の					守正・	対策に努る	のた。	
			との協創 意見把握	評価		<u> </u>					拠·理由	-		×. – , >		
			の活用)	B	氏間事刻	美者にはた	ァータ提信	共たけで					も啓乳	そしてもら	えた。	
			ータ活用 の活用	評価		4 + A A A	=" "	ラナ `イ m !			拠・理由	-	<u> </u>			
		EBP		B ===/==	氏 间 事第	長有のビ	ソンテーク	を活用し					に。			
	\$ 4	言合结	亚/ 邢	評価					評価	した根	拠·理由					
	ग री		ТІЩ	С	危険箇所	斤の特定・	優先順位	でけに留	まった為	、今後	は順次対	対策を講	じてい	,\< ₀		
事	■ ■業実施 ・残され			今後、優	先順位の	高い箇所	「から順次	で、対応を	講じてい	i<.						
										半	断理由					
	今後のI	取組	方針	現状	維持	優先順位	立の高い	 箇所から⊩								

1 基	基本	卜情 幹	7					į	旦 当	新	果		土	木課		ſ	関	係	課	防犯交通対策 事業計画課・孝	課·管埋課 效育総務課	
事	Mar	業	名	No.		7	生活	道路	安全対策	事業												
	業		分	継続		計	区	分	一般	会計	3	予 算	費	目	款		6	項		2	目	2
		体	系	10	生活	5環境	ŧ						戦	略的	り 施	策				革大綱		3)
				道路法															務	区分	自治	事務
事	業	期	間	□ 単年/	度(年	度)	単年	度繰返	(年月	き〜総	継続)	衣	复数年月	隻(H	25	年度~		年度)
2 4	事美	業の根	要	・実施内	容																	
事美	業	目的施克	, m	速度が出	やすりことが	が十分	汁に想	定され	るため、	防護柵等	手の	適正配	置を行	_{ううな}	ど、現場	易条件	した場合 生に応じ	合、歩道 た安全	iある 対策	いは沿道の 工事を実施	か市民の	生命に危
事 (全	業体	概:計画	要	通学路合	同点	検結り			区画線や	グリーン	バ	ルト、転	落防」	上柵等	の設置	を行				全対策工事 な通学路を		
				事業(の対	象			幹線道	路交差。	点及	び通り	路安	全対	策箇所	<u>Γ</u>		(対象)
				这一个	5 <u>0</u> 5	<u>++~~</u> ¬		当初言	画				/宏片	400 rt	7 - 1 - 1 -	<u>~</u>	<u></u>	取組	実績			
				通学路安(委託費)千円						产路女 託費	₹全対 `		事 44千	ш				
				(工事費		14,	,400	治						事費			502十					
油	笛	年度の	0	+^^+	<i>~</i> ^	<u> </u>	- ^ <u>+</u>	165	_				+44	~ \→← □4	,		∧ ± 1 <i>6</i> -6-	-=				
		中反。 :取組		幹線道路 (委託費				7策上 9千円	事					尿迫路 託費			全対策 - 千F					
				(工事費		24) 113 113 113 113 113 113 113 113 113 11						事費			27千					
					•		,								•	,						
				事業実	施	手法	o i	直接実	施	委託・	指定	定管理		負担	金•補	助金		の他()
3 📱	事美	業費・	財源	內訳																		
							R5	決算			R6	予算現					R6決算				R7予算	
事業		(千円							6,519				42,3					28,6				4,720
		2委計		3 弗					1,188 5,331				3, ¹ 39,2	100				2,1 ₄ 26,5				4,720
		4工事		マ貝 及び交付金					0,331				39,2	200				20,5	29			4,720
		の他	- 1113-737	X 0 X 1 1 III																		
財源									6,519				42,3					28,6				4,720
		定財	源					(5,222				20,4					14,0				2,360
		i債 の他											9,2	100				5,2	UU			1,600
		· -般財						1(0,297				12,5	500				9,4	33			760
				==:/=:				-	.,				, .					-, .				,
		美ひ り どす状		<u>•評価</u>	車両	によ.	る交通	事故	が発生した	た場合、	歩道	直あるい	は沿流	道の市	民の生	命に	危険が	及ぶこ	とが	十分に想定	されるた	こめ、防護
				の成果)					うなど、ヨ 守ることI				全対	策工事	事を実施	色する	らことで	、歩行者	首人 (D安全対策	が向上す	るととも
KP]	[101		T -1-7	<u>,,,± ⊂</u>	· 指			, = 0							指	票2		
				単位)																		
			目標																			
			実績																			
		標値& につし		責値の差の理由																		
仁士	1			改革大統	四1一	甘べ	ノ 歌	(本)														
1J 年	<u> </u>					<u>幸ノ</u> 陌	<u> </u>	<u>1Щ/</u>						≕(ボ)	した根	- 幼川.・3	甲由					
	(3			意識 財源確保)		гіш В							コストか	つ効果の	の高い工	事を実	施し(予算)、費用対効果(の高い事業	実施に心がけ
	()	マログ).	WJ/K	於 加尔			た。(道	重学路安	È対策工事で	では工事を	まと	めて発注す						い事業実	施に心	いがけた。)		
			的思			<u>陌</u> -			— — — — — — — — — —						した根							
	L	(施策)	目標へ	の寄与)		В	要望	書や台	·同点検網	景に対し	して	理解を						をなくし	した。	•		
				との協創	죔	価								評価	した根	·拠・	理由					
				意見把握 の活用)		В	通学	路合	司点検で	*PTA	学	校側、	警察の	り意見	見も取り	リス:	れること	とで最	適な	対策を講	じた。	
		デジタ	ル・デ	ータ活用	評	価								評価	した根	.拠·	理由					
			アル・ EBPI	の活用 M)		В							信シ	ステム	を活用	した	交通安2	全マップ	الد	より、市内急	マブレーキ	発生率上
			-DF	1-17		価	小几	火回川	に安全対	リ水で天	JE C	//_0		評価	した根	·拠・	理由					
		幺公	合語	平価			本年	度計	画してい	た工事	1=-	ついて						とがで	÷.:	歩行者への	の安全が	策を向
		,,,,		1		В			で市民									,	- • :			
哥		実施			物侃	西や人	、件費	が上	昇してい	るため	Ţ	これまで	と同	じ予算	算では	同じ	数量の	対策か	バで	きなくなっ	てきて	いる。
															半	亅断玒	里由					
	今往	後の耳	又組え	方針		現状	維持													性が高い対 とに寄与し		箇所へ防

1	基本	情報	Ž					:	担 当	課脱	炭素さ	まちつ	でくり打	推進課	関	係	課			
事	美	É	名	No.		1	地域	脱炭	素移行・再エネ	れ推進等	業									
事	業	区	分	新規	会	計	区	分	一般会計	予	算	費	目	款	4	項	Į	1	目	5
施	策	体	系	11	脱炭	·素5	循環	型社会	<u> </u>			戦!	略的)施 策	<i>y</i>	行政	改	革大綱	(2)	(3)
根	拠污	ちつ	等	二酸化炭素	排出	抑制效	対策事業	美費交付	寸金(地域脱炭素和	多行・再エ	ネ推進	交付金)交付	要綱	-	事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	単年	度(年	度)	単年度繰	返(年度	を一継	続) 🔽	複数年歷	度(令和	115	年度~	令和9	年度)

2 事業の概要・実施内容

	人がBF 3日	
事 業 目 的・ 事業実施効果	脱炭素先行地域を対象とする施策を展開することで 及を目指す。	で、既存住宅地を脱炭素化するモデル地区を創出し、市内外への波
事業概要(全体計画)	太陽光発電、蓄電池等の設備導入を行い、いこま市 に、地域コミュニティの活性化を通じた既存住宅地	民パワー㈱を核とするエネルギーの地産地消を促進するととも の脱炭素化を目指す。
(工作引画)	事業の対象公共施設、自治会集会所、公募に	より選定した自治会等 (対象数: 163施設、2地区)
決算年度の 主な取組	当初計画 環境基本計画改定委託料 5,760千円 脱炭素交付金240,132千円+228,808千円(R5繰越)・大陽光発電設備、蓄電池の設置 (R5繰越:11施設、R6:20施設・27世帯)・急速充電器の設置・カーシェア用EVの導入・公用車EV化・系統側蓄電池の設置検討	取組実績 環境基本計画改定委託料 4,800千円 脱炭素交付金 31,151千円+96,751千円(R5繰越) ・太陽光発電設備、蓄電池の設置 (R5繰越:8施設、R6:3施設) ・脱炭素先行地域2地区の個別世帯への設備導入に向け、施工事業者の公募、地元説明会等を実施 ・車両のEV化に向けた検討
	・先行地域の追加検討 ・第3次環境基本計画改定業務 事業実施手法 □ 直接実施 ☑ 委託・指定管理	・第3次環境基本計画の改定 型 ✓ 負担金・補助金 ○ その他 ()

3 事業費·財源内訳

		R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	4,950	474,700	132,702	150,755
	12委託料	4,950	5,760	4,800	
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金		468,940	127,902	150,755
	その他				
	(千円)	4,950	474,700	132,702	150,755
	特定財源		468,940	127,902	150,755
	市債				
	その他				
	一般財源	4,950	5,760	4,800	

4 事	事業の成果・評価				
	かざす状態」実現に したこと(事業の成果)			ナンライフが実施主体となり、公共施設 kWhの蓄電池を導入した。	设及び自治会集会所計11施設に866kWの太陽光発
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)	脱炭素先行	」地域内にお	ける新規太陽光発電設備の設置容量累計(kW)	
	目標値			5,303	
	実績値			866	
	目標値と実績値の差 分についての理由			朽化や施設の改修予定等から当初予定 数及び容量が減少したため。	
行革	評価(行政改革大網	岡に基づ	く評価)		
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	В	太陽光発電詞	役備及び蓄電池の設置にかかる費用は、国補助金及び合	合同会社いこまサンライフの費用であり、市費からの支出はなし。
	目的思考	評価		評価	した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В	地域コミュニ	ティの活性化と市域の脱炭素化という目的の達成に向	け、施設及び住生活エリアへの太陽光発電設備及び蓄電池の設置を進めている。
	多様な主体との協創	評価		評価	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	本事業の実施	も主体は、民間事業者である合同会社いこまサンライフ [・]	であり、民間事業者との協創により取り組む事業である。
	デジタル・データ活用	評価		評価	した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	_	デジタル・	やデータを活用できる機会がないため。	
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	В		標値を下回ったが、民間主導により太陽光 ことができた。	光発電及び蓄電池を導入していく事業モデルを構築し、実績
	業実施上の課題 ・残された課題	ていくことか	「求められる。	きる太陽光発電設備容量は当初計画より減少する見込 市の事業モデルの根幹となるものであり、着実に進め	みであるが、計画期間において設置可能な施設については、確実に設備導入し ていく必要がある。
					判断理由
2	今後の取組方針	現状	維持		(等の施設群及び戸建住宅への太陽光発電設備・蓄電池の設 也の事業も並行して進めていく必要があるため。

1	基本	情報	3					扎	旦 当	課	建築	課				関	係	課			
事	業		名	No.		2	住宅	の省:	エネ化の推進												
事	業	区	分	継続	会	計	区	分	一般会計		予	算	費	目	款	6		項	1	目	2
施	策	体	系	11	脱炭	・素が	循環	型社会	<u>×</u>				戦	略的	的施 策		行	政改	革大綱	(1)
根	拠法	令	等	建築物の	7)省]	[ネル	ノギー	消費[生能の向上等	手に	関する	る法律	律				事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	√単年	度伶	和6	年	度)	単年度繰	汳(年時	ま〜糾	 	複数年	度(年度~		年度)

2 事業の概要・実施内容

<u> 2 事未の例女</u>		
事 業 目 的・ 事業実施効果	ZEH水準等の省エネルギー住宅性能の確保を目指す	脱炭素社会の実現の要因となる。
事業概要(全体計画)	2030年度法改正予定の新築住宅等のZEH水準省エネ性能確保義務推進する。▶新たに創設された国の多種多様な支援制度への誘導 ♪	8化の周知・普及を図るとともに既存住宅についても国の動向に応じた省エネ化を 動向に応じた本市支援策等の見直し
(事業の対象	(対象数:
	当初計画	取組実績
決算年度の 主な取組	◇住宅の省エネ化推進目標 ▶ 長期優良住宅の認定 120件 ▶ 低炭素住宅の認定 5件 ▶ 省エネ改修補助 20件 予算:260(1件当たり過年度平均)×20件= 5,200千円	 ◇住宅の省エネ化推進実績(生駒市) ▶長期優良住宅の認定 242件 ▶低炭素住宅の認定 19件 ▶省エネ改修補助 2件 ◇市内業者による国の省エネ改修補助の取得実績件数 2024年 200件(把握できたもののみ) 実績:2件 500+228=728千円
	事業実施手法 ② 直接実施 ② 委託・指定管理	

3 事業費·財源内訳

	- SICSE MARKET SERV	R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	2,165	5,200	728	0
	12委託料				
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金				
	その他	2,165	5,200	728	
財源	(千円)	2,165	5,200	728	0
	特定財源				
	市債				
	その他				
	一般財源	2,165	5,200	728	

	川文泉7 //示			۷,۱۵۵	3,200	120
4 事	事業の成果・評価					
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)					別け、市民への周知、普及を図るとともに住宅省エネル への誘導などを行った。
KPI				指標1		指標2
	指標名(単位)			住宅の省エス		
	目標値			8.7%		
	実績値			9.1%		
	目標値と実績値の差 分についての理由			素住宅が目標 イント高い結果	件数を大幅に上回ったた となった。	
行革	評価(行政改革大約	綱に基っ	で(評価)			
	コスト意識	評価				した根拠・理由
	(費用対効果·財源確保)	В			とから補助金の今後のあり	
	目的思考	評価			評価	した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В	窓口やが	¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬		期等認定申請業務を迅速かつ適切に処理した。
	多様な主体との協創	評価			評価	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	国の省コ	ネ補助利用	実績を市内業者に聞き取	囚り調査し、市民のニーズを把握した。
	デジタル・データ活用	評価			評価	した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	С	長期優月	良住宅等のオ	ンライン申請を令和7年	度運用に向けて準備を進めた。
		評価			評価	した根拠・理由
	総合評価	В			いては、国の補助金が創 標を大きく上回る成果だ	設されたことにより目標に達しなかったが、その他の が得られた。
	議業実施上の課題 ・残された課題				一旦廃止し国の補助金/ ロ方法を検討する必要が	への誘導に注力する。今後は誘導についてホームペー ある。
						判断理由
4	今後の取組方針	現状	維持			実績が出ているため概ね現状維持で問題はないと考える。 とを進めることとし、省エネ補助は一旦廃止する。

									/ ノ ザオ	с птіш >						
	本情報	Ž .				-		環境保全			関	系	課			
事	業	名	No.	3					託更新等の							
	業区	分					设会計	予 算	費目	• • • •	4	IJ	-	2	目	5
		系	11	脱炭素·	·循環型社	会			戦略的) 施策				革大綱	(3	
	退法 令											事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年月	度(年度)	単年	丰度繰返(年度~総	続)ビ	複数年度	₹(R6	年度~	R8	年度)
2 事	事業の概	要	・実施内	容												
									営業務委 1の操業を			する必	要か	ぶあるが、	適正な整	備内容
事	業 概体計画	要	エコパー て今後 <i>の</i>	·ク21の [•])運営業	今後の整備 者の選定で	構計画の を実施す	比較や分 る。	析を行っ	たうえで、	最適な旅	一設の整備	請方針	を決	定し、その	の内容に	基づい
\ <u>T</u>	יים ידים	리 /	事業の	の対象	エコパー	ク21						(対象	製:	1)
						計画						取組				
	算年度 <i>0</i> Eな取組		の現在の)整備状	密機能検査 況や施設の 密機能検査	の状態を	整理する		今後10年約と今後に向けた	∓間のラ :10年の :分析を彳	ンニング: 費用比較 うった。	コスト を行	·の比 うこと	や大規模 較を行う とで、今後	とともに	、現契
#	⋍ 'ѽ҇⋪Ҳ⋷ <u>ឣ</u>		事業実	施手法	直接	 実施 [☑ 委託·	指定管理	エコパー	ク21精 <u></u> 金・補助:		査(4,		5千円))
3 1	手業費・	財派	京内訳													
<u> </u>	一不只	75'J III.	1/L 7D/		R5決算		F	R6予算現	額	Re	5決算(見	.込)			R7予算	
事業	費(千円					С			4,477			4,4				0
	12委計		5 建						4,477			4,4	55			
	14工事		貝質 及び交付金													
	その他	יראים	スロス門並													
財源	(千円)					C)		4,477			4,4	55			0
	特定財	源														
	市債その他															
	一般財	源							4,477			4,4	55			
<u> </u>	き巻から	 	. =v/#													
Гъ	事業の 反 めざす状 したこと	態」		エコパ- 実施し <i>†</i>		後につ	いて、事業	業方式、処	理方式、資	資源化方:	式の違い	による	るライ	(フサイク.	ルコストの	の比較を
KPI		ハナイ		大ルの		非	[標1						指標	亜 2		
IXF 1		名(単位)			JE	ग्राजः ।						1日13	ホ ∠		
		目標														
	212	実績	値													
	目標値な		責値の差 の理由													
行革	<u>評価(1</u>	<u> </u>	改革大約		(く評価)						-m !					
			意識	評価			:			」た根拠						
	(費用対	効果・	財源確保)	В	現状との)比較を	行い、今後	後の運営費	聞を削減	するため	かの分析を	宇族	した	0		
	目	的思	 思考	評価		5011		O ##/#=13		った根拠		/ 	/ 5 II			· # III
			の寄与)	В				の整備計画	国としてそれ	1 6 7110	年間のフイ	ノサ1	(クル	コストを昇	出したつえ	てで費用
	多様な	主体。	との協創	評価						ノた根拠						
	(市民等	手への:	意見把握 の活用)	_	プラント記録が求め			補修履歴等	手を基に今後	後の整備:	計画の検討	を行	う事業	美であり、真	専門的な知	〕識や経
			一夕活用	評価	前央/ハンス(タ)	<u> </u>	ه ری		評価し	Jた根拠	・理由					
	(デシ		の活用	_			ハて過去の ていない <i>た</i>		等を基に今待	後の整備:	計画の検討	を行 [·]	う事業	美であり、ラ	デジタル技	術を用い
	紫 公	合詞	平価	評価	ナコパー	.ク21の	今後の敕	借計両に	<u>評価</u> いついて様々	った根拠 ったケー		オスト	- ナ±	11 111十	と比較さ	スニレ
	טיוןי	ΗГ	Т	В					折を行った		へ でわり#X	2 OC		ハー、5丸1八	⊂ <i>⊳</i> ⊔∓X Y	مرر
	業実施・残され			今後、エ がある。		21の運営 -	営業務委託	托の発注に	に向けて、	適正な価	格設定を	行つ	たう	えで業者	選定を行	う必要
										判断	理由					
3	今後の耳	双組之	方針	現物	犬維持	令和6年	手度に得ら	られた結果	?をもとに	、詳細な	設計を進	める。	,	_	_	

					1-1	HO 112	(, , , , ,		- 5.	/\CD1 IP	4-	•						
1 基	本情報	R				担	当 課	環境保全語	果、清掃リレ	ノーセンタ	ター	与	係	課				
事	業	名	No.	4	衛生施設	との整備や	や効率的な	な運営方法	去の検討									
事	業区	分	新規	会 計	区分	一般	绘計	予 算	費目	款	7	4	IJ	頁	2	目		3
施 贫	策体	系	11	脱炭素・	循環型社	숲			戦略	的施	策		行正	女改	革大綱		(3)	
根拠	』法 令	等											事	務	区分	自注	台事	務
	- · · · · · 業 期	間	 単年/	度(年度)	単年	度繰返(年度~	継続)	√ 複	数年度	<u>,</u> ₹(R5	年度~	R		F度)
				`	1 /2/)		1/2	112-1707	1 1.0		-(12			1 12
			・実施内															
	美目 的	力果	レーセン	ターにつ	きごみ処理 いては更	新計画を	策定し順	次更新工	事を実施	をする。	•						し、清	掃リ
事	業概		清掃セン	クー及て	が清掃リレ	ーセンタ・	ーについ	て、今後 <i>0</i>)整備や	施設の	効率的	内な運	営方法	去を村	検討する。			
(全	体計画	画)	事 	りがも	清掃セン	カー B7	公主担口口	+\^_\A					(++6	7. ¥H. •		2		`
			サ 未り	// XI 家		計画	7月3市プレ	629					(対象 取組)
		ŀ	きはわこ	<i>1</i> ∕2−≤	<u> </u>		FIET 21=	+ 結 +	き提わ	`/A	. "	ι ΔΠ ŦΕΒΙ·			だけでな	<u> </u>	大重型	ひ借わ
					工事を実施										にひ でる			
			を完了さ	どせる。					設備を	駆動す	るため	かのモ-	ーター	に高	効率モー	ターを	採用:	する
決!	算年度の				一…生駒	市清掃リ	レーセン:	ター更新		省エネ	ルギー	-化を乳	実施し	、令	和7年2月]に工事	が完	:了し
	な取組			定する。		→ ₩攻 ′	2 0501	· ш	た。	. 4.		± / ≡л	ւ≕ռ/#Հ	の声	± ±	华中! -	+	
			リレービ	ファー史	新計画策	止来伤 、	3,85UT	-1-3							新計画を 3,465千		て。	
										/	又和			ے زرن	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, ,		
		-		+ - +	_		_											
	12委託料 3,850 14工事請負費 3,850 18負担金補助及び交付金 3,465)		
3 ∄	事業費・	財源	内訳															
		****			R5決算		F	86予算現	額		F	6決算	[R7予算	算	
事業	費(千円)				0			3,850)			3,4	-65				0
									3,850)			3,4	-65				
			なひ父何金															
財源(0			3.850)			3.4	65				0
767 11/1		源							3,030	1			٥, ١	00				-
	市債																	
	14工事請負費 18負担金補助及び交付金 その他 対源(千円) 0 3,850 3,465 0 特定財源 市債 その他 一般財源 3,850 3,465 4 事業の成果・評価 「めざす状態」実現に 平成3年に竣工した生駒市清掃センターについて、主要設備等の老朽化が進んでいたが、長寿命化総合計画																	
4 事	特定財源 市債 その他 一般財源 3,850 3,465																	
				平成3年	Eに竣工し	た生駒市	清掃セン	ターにつ	いて、主	要設備	等の:	老朽化	が進ん	んでし	ハたが、長	寿命化	総合	計画
	したこと				き今回のコ													
KPI						指	標1							指	票2			
			単位)															
		目標																
	515	実績	直															
			値の差															
	分につい			<u> </u>														
行革	評価(彳	<u></u>	改革大約	綱に基っ	づく評価)													
	:	スト剤	意識	評価						した根		曲						
			財源確保)	В	入札を実	に たい こうにん こうしょう こうしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう はんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	とより安価	で実施す	ることが	バできれ	た。							
		ᄼ	1-#	評価					評価	した相	え拠・3	曲						
		的思	ぶろ の寄与)	В	更新等を	計画的	実施する	ることによ	り、安定	的な過	重用を	確保し	, 効落	区化と	1コスト最	適化を	図っ7	t- ,
	(200)	11/2			24117	- 11 11 11		J-C-1-C-0		した相			, MJ-1	-100	/11 40	200		
			この協創	評価	プニント	≕はにつ	ハブ温土	の補修履					市のお	≥=+ ≾	に行う事業	*ブキ!!	市日	3865
			意見把握 の活用)	_			がく過去状められる		証守で	全につ1	反り当	全川市 1 1	凹ひが	6年7万	〔1丁フ 事 ま	きじめり	、守口	门口孔
	-">" 5	»	5)1 m	評価	O-VHIPW (小工的人/3~	100 2400	J7C070	評価	した相	₹初・₹	車						
			ータ活用 の活用	거기에	プラント	設備につ	いて過去	の補修履					画の検	討を	行う事業	きであり	、デミ	ジタ
		EBPI						立されて	ハないた	め。								
				評価					評価	した根	え拠・3	曲						
	総	言合語	严価	В	施設や製	帰の軍争	新計画を急	策定するこ	- とによ	↓). ≣ ┼⊓	面的か	再新を	宇施	する	ことがで	きる。		
					מפיז אם פיני	、vmマノメス不	71 p l p l C 2	1.VL 2 0/C	106	ᄼᆡᇚᄖ	⊒ ⊢ ⊃. Q	<u>~</u> ₩I C	- 一儿	2 Q		_ 300		
	業実施				<u></u>													
	・残され	た課	題			-												
										<u></u>	判断理	由						
2	今後の耳	又組フ	与針	現状	ド維持	111,		ついては	直轮针证	記させっ	 	百少声	エアマ	またら	宇体オス			
				I		ノレービ	ノノーに	ノいては	ᅩᄳᄓᄱ	コレ空 -	ノニ、ル	以八丈	かしてき	H C 7	人/15 み め。			

				令和	06年度	アクショ	ンプラ	ン事	業評	平価シ	ート					
1 碁	基本情報			ĺ	担当	課	環境保全護	果、清掃リ	レーセ	!ンター	関	係 i	課			
事	業名	No.	5	ごみの5	Rと環境的	負荷の少な	いまち	づくり								
事	業 区 分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費目	3	款	4	項	2		目	2
	策 体 系	11	脱炭素・	循環型社会	슺			戦 略	的力	施策		行政i	改革大	綱	(1)	(4)
根拠	心法 令等											事務	多区	分	自治	事務
事	業期間	□ 単年/	变(年度)	√ 単年	度繰返(R5	年度~	継続	<u>;) </u>	复数年月	隻(年度	~		年度)
2 📱	事業の概要	・実施内	容													
	業 目 的・ 実施効果								量化と	と環境的	負荷の値	私減を図	る。リユ-	−Z,	コ品食か]ス削減
事	業 概 要 体計画)	キエーロ 源循環を	やフード - 促進する	ドライブ <i>σ</i> る。)推進、リ.	ユースイベ	ントの開	催、環境	竟教育	育を通	じて、市	民の5R	実践を促	ひ、	ごみの削	削減と資
(±	件 引 凹 /	事業(の対象	生駒市民	7							(対象数	 ‡፡)
				当初								取組実				
				-募集·作)実施・拠۶		588千円						F成講座 I点拡大	323 1	円		
						-スショッ?	プ)	▶対面型	型もっ	ったいな	い食器	市拡大	3,460	千円	3	
油	算年度の	▶対面型	もったい	ない食器で	市拡大 3	,460千P	9	▶こどŧ	5R.	アドバー	イザー育	成				
	井中及の Eな取組			イザー育店 等の出張型							の出張	型教育 ス販売強	1 F			
				アリユース				. , , ,	رے	<i>y</i> 0)) <u> </u>	トスメンじつ出	ΙŪ			
		= * +	4 7 4	I — —				<u> </u>								
		事業美	施手法	✓ 直接	実施	_ 委託・指	定管埋_	負担	□金・	·補助金	È <u></u>	の他()
3 4	事業費・財源	原内訳														
古米	弗/イm\			R5決算	2 575	Re	予算現		+		R6決算		2	F	77予算	2.006
争耒	費(千円) 12委託料				3,575 3,169			4,048 3,550				3,78 3,53				3,996 3,466
	14工事請負	負費			3,107			3,330	+			3,33				3,700
	18負担金補助	及び交付金														
日子江石	その他 (千円)				406 3,575			498				24 3,78				530 3,996
別派	特定財源				3,373			4,040	+			5,76	3			3,990
	市債															
	その他				2 5 5 5			4.046				2.70				2.006
	一般財源				3,575			4,048	3			3,78	3			3,996
	事業の成果															
	めざす状態」 したこと(事業	実現に				の関心と実	民践機会	が増加し	ノ、ご	〕み減量	と資源	循環の保	足進につれ	なが	った。対	面型イ
		ミリル木)	ハント舟	開で啓発	効果が回 指							+	旨標2			
KPI	指標名(単位)		1		。 」 施回数(回])						日信人			
	目標				2		,		\top							
	実績				2	7			I							
	目標値と実績分についての		もったい 以上の回	\ない食器 回数を確保		型開催の	<u></u> 増加に。	り予定								
行革	評価(行政	改革大約	岡に基づ	(く評価)												
	コスト	 意識	評価							・根拠・						
	(費用対効果・		В	日曜大工	エボランテ	ィア団体の	り協力に	より、キ	:I-	·口の作	成コスト	~を抑え	ることが	でき	た。	
	目的原	思考	評価					評值	面した	:根拠・	理由					
	(施策目標^		В	もったい	ない食器	市の対面	型開催を	増やし	たこ	とで、1	誤器のリ	ユース図	図が向上	した。	0	
	多様な主体	との協創	評価					評価	面した	こ根拠・	理由					
	(市民等への・民間活力等	意見把握	В	小学生σ	発案や企	業·団体の	り継続協	力により	人、フ	ードド	ライブの	定期開	催が定着	した	-0	
	デジタル・デ		評価							こ根拠・						
	(デジタル	の活用	В			げきんあー		入し、市民				よう情報	提供を行	った	ことで、こ	ごみの適
	·EBP	I V I <i>)</i>	評価	止排出を	促し、ごみ)	減量の推進	に奇与し		折した	こ根拠・	理由					
	総合詞	平価	В			推進が順 広がり、旅		が。対応	面型~	イベント		やフート	ドライブ	の定	着によ	り、市民
事)課題														
	・残された説															
				. +						判断	理由					

既存の取組を継続しつつ、まちのえきでのごみ減量活動や剪定枝のエネルギー活用を拡 充し、さらなるごみ減量を推進していく。

今後の取組方針

拡大

					וייו	10+1X					F×							
	本情報	<u>R</u>			1	-			L点形成				関	係	課	商工観光	誤、管理	課
事	業	名	No.	1		可公民					_					Т - П		
	業区	分		会 計	区分	一般	绘計	予	算		目	款	6		項	3	目	1
	策 体	系	12	街の空間	聞づくり					戦略	的	施策	J			革大綱		(4)
	法令													事	務	区分		事務
事	業期	間	□ 単年/	叓(年度)	単年	三度繰近	፬(年度 [⁄]	~継紀	続) 💹 â	复数年	度(R5	年度~	R8	年度)
2 事	事業の	既要	・実施内	容														
事業事業	美目 的 実施效	り・	「生駒駅 周辺の者	南ロエリ	アプラット 再編に向l	・フォーム ナた取組?	.」がと ^し を推進	りまと しなカ	めた「st べら、自:	上駒駅 立自え	南口	lみらいと 目指す。	ごジョン	小に基	<u></u> ずき	、公民連打	携で生駒!	駅南口
事業	業 概体計	要 画)	するとと	もに、自	?の価値向 立・自走を	後押しす	ける。	り組み	を推進	するだ	きめ、	エリアブ	゚゚ラット	フォー	·ムが	行うまちて	づくり活動	かを支援
` —	,	_ /	事業(の対象	生駒駅南		'周辺								象数:)
			^ -II-	-0-		計画				^					1実績			
			↓↓↓ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √		フォーム追	国文拨例	申助金				ノアフ .72=	プラットフ チ田	オーム	連呂:	文接作	即金		
	算年度(こな取組		♪ バナ♪ 自主◇先端ナ	ー広告等 事業(マル 自走に向 てとの連打	の収益事 レシェ等) けた勉強 隽 食会 202	の実施 会 等				▶ ホ ▶ 地 ▶ 自	マック (マッカン) マッチ (マッカン) マッチ (マッカン) マッチ (マッチ) マ		の連携	5		₹、PR媒体	体作成・配	帝
				施手法	☑直接	実施	委託	·指定	管理	☑負	担金	・補助金	₹ ✓ ₹	の他	(職員に	こよる)
3 事	¥費·	財源	京内訳		5546			5.43		-	_	5.4	_ // / / / / / / / / / / / / / / / / / 	7.7.			5576	
古光	生/イロ	1\			R5決算			R6-	予算現額		12	R6	決算(§		472		R7予算	
争来!	費(千円 12委詞					8,996 4,290				1,70) _			۱,4	472			1,371
	14工		負費			7,270												
			及び交付金			4,544				1,50				1,4	472			1,200
	その他					162)2			- 1	400			171
	(千円) 特定財	活				8,996	-			1,70)2			۱,4	472			1,371
	市債	///																
	その他																	
	一般財	源				8,996				1,70)2			1,4	472			1,371
4 	事業の 原	龙果	• 評価															
Гъ	かざす状	態」			南ロエリア ラシ作成								アプラ	ットフ	オーム	ムのホーム	ページて	でのPR
KPI							標1								指	票2		
			単位)		1	公民連携等	事業(事	業)										
		目標			4.4		4	n+ +\										
		実績			4(令和7年	-3月木	時点))									
2= +1	分につ	ハて		<u> </u>	» / == / /		-											
1丁垂					がく評価 <u>)</u> T					≡ส	加山	た根拠・	理由					
			意識	評価	+mh = +>-			1.03	##-							<u>+</u>		
	(賀用刈	効果・	財源確保)	В	巾職貝か.	エリアプラッ	ソトノオ-	ームの	博 以 貝 と					助吕寺	を行う	つた。		
	E	的思	思考	評価						즴	価し	た根拠・	理由					
	(施策	目標^	(の寄与)	В	エリアプラ	ラットフォー	ムの自ュ	立・自走	がエリア	"価値向	匀上に	不可欠で	あるため	り、初動	期のま	を援を行った		
	多様な主体との協創 評価 評価 評価 評価 評価 評価 評価 おおおま きゅうしん 根拠・理由																	
(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用) B エリアプラットフォームは公民連携組織として、住民・事業者等エリア関係者と行政が構成員として参画している。												いる。						
			一夕活用	評価						評	価し	た根拠・	理由					
(デジタルの活用 ・EBPM) B エリアプラットフォームの委員としてNAISTも参画しており、事業実施においてはその知見が提供されている。													 る。					
		EBP	<u>I</u> VI <i>)</i>	評価				,			-	た根拠・						_ •
	<u>女女</u> 中心	合語	平価	В	活動やエリ	リアの認知原	要向上 <i>σ</i>	りため、	チラシ作					ドビPR	活動を	· ·支援した。		
_	業実施・残され				プラットファ スピードの													業的な視
												判断	理由					
-	今後の耳	汉組:	方針	現状	 (維持	当初の想	定通り事	業を実	 実施して(いるた	め。							

					行	116年度	ミアク:	ソヨンフ	フノ	争系	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)				
	本情							課拠点形				関	係	課	管理課、事	事業計画課ほか
事	業	名	No.	2				ちなかウ:								
	業区		継続	会計	区分	一般	绘計	予 第			款	6	<i>z</i> -	項	3	目 1
-	策体		12	街の空間	間つくり				戦	略的)施策	7			革大綱	
	见法 45	-		- ,	(40 11	_,			/ + \ .	1 5 ¥5 5	事		区分	
事	業期	間	単年	芟(年度)	里年	三度繰り	又(牛	度~継	続)ビ	複数年	-	R6	年度~	R8 年度)
2 📱	事業の	概要	・実施内	容												
事業事業	業 目 実施	的 ・ 効果	既存スト 題や効果	·ックを活 Rを検証し	かした社: しながら、	会実験を 居心地が	実施し よく歩	、本エリア きたくなる	に求る るまち	かられる なかの	る様々な)実現に	が都市機向けた	能や 整備る	公共空 と実施	≌間の利流 する。	5用等について課
	業の概念を		験を実施	もし、公共	空間の整	備に向け		歩きたくな 回を作成す		ちなか	」に寄与	する公	:共空	間の整	経備を見振	えた調査・社会実
			事 業 (の対象	生駒駅周									対象数:		-)
			<u>^</u>	 >		計画	<u> </u>		^ F	+ E/JE∏=		7.A.A.H		組実績	•	
			<i>◇</i> ')オー: 	カブル推進		2,976千 執行残活月		円】	務	上駒駅下 12,5	月山エリル 702千円	rの公共]	:空间至	倉佣に1	その基本的	方針作成支援等業
			<地域生	活基盤施	設整備>				<±	也域生活	5基盤施	設整備>		₩ =C		
決	算年度		<計画策	ナインの設 定事業>							インの設 E事業>	.直() 日	1)→6,	דאיני		
	とな取締			下動産を記 3(社会実績	5用したチャ 験)	ヮレンジショ	ョップ								ョップの仮 19-3/30	
					ッペノ り方検討>				<	訳周辺整	を備のあ	り方検討	_t >			•
									-3	公共空	間整備は	こ向けた	方向性	(案)	を取りまと	めた
			市光宝	施手法	直接	宇佐	/ 委託	·指定管理	H [/	色 口 4	È·補助:	ф П	その他	. /		
			尹未大	池于石		天心 [当 女司	*相处自均	E L	共 担立	区"邢坳"	<u> </u>	בטוני			
3 📱	事業費	·財》	原内訳									4 > 1 - 4 /				
事業	費(千	ш\			R5決算	0		R6予算3		976	R	6決算(,702		R7予算 33,807
尹未	12委									880				,702 ,606		33,682
	14I		負費						,					,		00,000
			及び交付金							0.6				0.6		105
財源	その(千円)			-		0			12	96 976			12	<u>96</u> 702,		125 33,807
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	特定									200				,200		16,700
	市債															
	その作	也 <u> </u> 豺源							6	776			6	,502		17,107
_	•			<u>. </u>					Ο,	110				,502	<u> </u>	17,107
			<u>·評価</u>								- 1					
寄与			実現に 業の成果)					内サイン設 公共空間の						性をと	こりまとめ	ャレンジショップ oた。
KPI		画夕 /	単位)		主面 /:		標1 -](名/時)						指	標2	
	18	目標			工女份		1田八口 8	1(11/ h4)								
		実績					<u>)</u> 計測									
	目標値	と実	値の差	0.7年度	디스	田木笠し	/ //	一田本士フ	+ 14							
	分につ	いて	の理由	K / 平反 	に父迅里	調査寺へ	.1H L C	[調査する]	/こ0)。							
行革	評価(行政	改革大約		でく評価)											
			意識	評価							た根拠					
	(費用)	付効果	·財源確保)	В	国土交通	省「まちなた	ハウォー	カブル推進	事業補							
		目的	思考	評価	安由サイン	/=N=¥1= F:	2世紀書	その同族性点	1 L I		た根拠		- ヱ '- た /-	ᅡᅎᆉ	*活用の司	能性、将来的な公共空
	(施領	き目標/	(の寄与)	В				命を実施した					る庭り	八八郎	三角用の円	形は、付本的な公 共 主
			との協創	評価						評価し	た根拠	·理由				
)意見把握 身の活用)	В	チャレンジ	ジョップの)運営に	際し、地権者	や地域	姓民の	意向調查	等を出席	5者と1	協力して	て実施した。	,
			一夕活用	評価		L/L		++1= -/ =-	· -		た根拠					
	(7	・EBF	の活用 M)	В				基に、空間の め、来年度、			(検討を行	すつた。				
				評価							た根拠	·理由				
	i	総合語	評価	В)により、遊 可能な公共						がいる	ことを把握	 屋できた。
事	業実施・残さ				間整備の3 理などが必			路利用者や	_ <u>_</u> や交通	 事業者	··地権和	当等の意	_ <u></u> 意向把	_ <u></u> 握、ハ	ード整備	に伴う技術的課
	今後の	取組	 方針	現状	大維持	### W.*	╗ ╱ ╄╬	·洛八声类 左	++-··	テロマエ	判迷	f理由				

					15.1	HO 1/2	.,,,			ナハ	ът і інц.	'						
1 基	本情	报				担	当 課	都市づく	くり推	進課		関	係	Ŕ į	果	商工観光	:課、管理	課ほか
事	業	名	No.	3	生駒駅南	口参道周	見辺の景	観づくり										
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	(6	項		3	目	1
施	策体	系	12	街の空間	聞づくり				戦	略的)施 第	ž		行政i	改革	車大綱	(1)	(4)
根扱	见法分	等	景観法	ı										事務	文 方	区分	自治	事務
事	業期	間	単年	度(年度)	単年	度繰返(年月	き〜継	続) 🗸	複数	年度	(R	5	年度~	R7	
		Inv -			12)(•		~ 1=	1707							
			· 実施内		<u>「</u> マスタープ	ランで都市	拠占と位:	署づけてい	ス生間	かまり きょうしょう	カマロ ま	机击机点	与形成	を進めて	7112	スが 生転	1 即 本 口 地	区计基组
事業事業	美目 [り・効果	に関する基 ることで、	基準がなく 生駒市の3	、統一感の2 玄関口及び3	R如や宝山 宝山寺の門	寺の門前8 前町らしい	町としての; ハにぎわい	趣きを と趣ま	i感じに る街な	:くい状》 :み空間 [:]	Rにある や景観F	るため、 形成の	、公共施 実現に	設の 近づ)美装化や ける。	建築物の	修景を図
事(全	業 概 体 計		と共有の_ 調整の上、	上で、規制・ . 実施してし		ていくため	めの事業実	施し、景観が施に向けた	形成に計画	向けた の検討 [:]	方向性を	を街なる 街なみ	み環境: 環境整	整備方象	計とし	して作成す iとしてと「	るととも りまとめ、	に、関係者 関係課と
		_ ′	事業(の対象	生駒市民									(対象数	女:	_	-)
			A (1- (-		当初							,,, <u> </u>		双組実				
				水環境整備			5,820 1	-円			環境整						6,820 -	干円
					めのアンス等検討資						則定の7 ·ジパー							
34 .	*** 	_		との意見		21102117	~							211421	1 1-20	•		
	算年度 Eな取組		◇謝礼・			千円			◇ ネ	見察等		23	千円					
	上'み月X市	1			費 314													
			◇会場費	等	50	千円												
			事業実	施手法	√ 直接	実施 √	季託・	指定管理	7	負担 名	È·補助	全	フ その	他()
	- 111	= 15		<i>10 3 12</i>			<u> </u>		<u> </u>	بر الكر	K IMPA	312		יטוי (
3 =	事業費	· 財》	泉内訳		ロに油笠			ンクマダボ	ゆち			人计学	*/B`	٦\			ロロマ谷	
事業	費(千円	٦\			R5決算	4,750	r	R6予算現		279	K	6決算		-	2		R7予算	9,103
尹未	12委					4,620				320				6,84 6,82				4,950
	14T		負費			+,020			0,0	320				0,02	_			7,730
			及び交付金															
	その化	5				130				159				2				4,153
財源	(千円)					4,750				279				6,84				9,103
	特定則	才源				2,310			3,	410				3,41	0			4,455
	市債その代	h													-			
	一般則					2,440			3.8	369				3,43	3			4,648
						_,			٠,٠	, , ,				0, 10	Ŭ			1,010
	事業の			I														_
	めざすり				の調査結果								ルバこ	ぎわい	と想	取ある街	なみ空間	引のイ
		.(争)	美の成果)	メージに	こついてワ			ノグート	₹I∟d	トリ快き	別を進	<i>奶に</i> 。			P.J.#			
KPI		画夕 ((単位)			指	漂 I -							1	旨標	2		
	1日1	目標																
		実績																
	口捶店	-	*! <u> -</u> 績値の差															
	分につ	いて	関唱の左 の理由															
行革	評価(行政	改革大約	- 岡に基つ	(三評価)													
				評価	1 1 1 1 1 1					評価し	た根拠	い理由	=					
			意識 ·財源確保)	В					び回数	なを精査	iすること	こで費用	月対効:	果の高い	/事	業実施を心	ふがけた。	また、補助
	()()	.,,,,,,,	7.3 m3.PE P1.7		金の活用を	よど財源確	保に努め7	こ。		= 1 / 3 (3)	土地地	n . IM H	7					
			思考	評価	対象区域に	内の空間特	性に合わけ	せ3地区に会			ノた根拠 関する規			犬、取納	みの	方向性を	検討し、さ	らに地域
	(施策	目標/	への寄与)	В	住民等に対	対し意見を	聴くための	ンイメージバ	パースの	の作成も	も行った	0		/ (- / () <u> </u>	., .,	751·31± C	,XB,O,C	J10-0-3/
			との協創	評価							た根拠							
			意見把握 学の活用)	Α	中氏意見る	≥把握するだ 「も参加を付	ため、坐談 促し、地元	会やワーク 、宝山寺と	ソショッ の関係	ノブ、ア. A性を築	シケート	調査を	美施し	た。また	上坐記	炎会 では地	元目冶会	たけでな
	デジタ	フル・テ	<u></u> - ータ活用	評価	(<u></u> ,	200000	,co(+0,0	(14,00	-> 1>01/	評価し	、、た。 た根扱	い理由	3					
		ジタル	の活用	В	区域検討	カアンケート]検討におい	17G	「Sなど	を活用し	,t-						
		·EBP	(M)		E-3/1/03	.,,,,	HO 19 + CP	11/10/10/07			た根拠	-	7					
	4:	⊹△≘	₹7/#	評価						計៕し	ノノこ作及が	6. 店口	1					
	术	合語	тт	В	予定どおり	Jであるた <i>は</i>	め。											
	= 4 14-1-1-1	- 1 -	\=====	++		», +	V 86 7 F W-	S 1 1 1 2 = 1	+ ″J.~ •	v v . 477-	ナッナ	·+\¬ -	₩PP ~		- " 1		+	古光七、
事	業実施				玄関口及で			らしいに	さわり	いと趣	ある街	なみ写	ど間の	ハメー	・ジに	こついて	、市民、	事業者と
	・残され	いこ言	木起	しつかり	共有して	いへ必安	いのる。				Vitte	/C TED -						
	A44 -	U		TE . 1 .	\+						判	断理由						
	今後の	耿 組	万針	現状 	 (維持	引き続き	で、市民や	p識者と意	見交	換をし	Jて検i	寸を進	めて	,۱<。				

					15.1	HO T/X				丁 小	\п I I I I I I						
1 基	本情報	R				担	当 課	みどりな	園認	果		関	係	課	防犯交通效	付策課・農村	木課他
事	業	名	No.	4	生駒市総	の基本語	†画の見i	直し									
事	業区	分	新規	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	6		項	3	目	3
施	策体	系	12	街の空間	聞づくり				戦	略的)施 策		行	政改	革大綱	(1)	(4)
根拠	见法 令	等	都市公園	園法、都市	緑地法							•	事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	□ 単年/	 芰(年度)	単年	度繰返(年度	き〜継	続)🔽	複数年	度(R6	年度~	R7	年度)
2 4	巨業の地	班更	・実施内	 突													
事第	美 目 自	勺 •	現在の生)都市像	を示すこと	こで、	第6次	火総合計	画で掲	げる鬼	ま力あ	る緑の空	 間や緑の	保全、緑
事本		-	現行の総	の基本語	+画策定(H16策定									つた市民		
(全	未 城 体計[画)						対心した	具体	的な時	以組や施	策の検	討等を	を行い	計画を取	りまとめ	<u>රං</u>
			事業の	の対象			民等							象数:)
			△組の甘-	本計画改定		計画	+0/二			のせる	-=1::::::::::::::::::::::::::::::::::::	→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →		祖実績			
			◇ 緑の基/ ▶ アンケ-		美務(K6^	·K/慎務貝	(担仃為)				<計画改定 -卜調査	E兼扮(K	6~R1	1便務5	(担仃為)		
			▶基礎調	査結果から	の課題抽出	4			▶基	基礎調	査結果から		抽出				
2±14	答生 庄 /	7		施策の検討 標の検討							策の検討 訓(リビン:		⊕立準備	莆			
	算年度の こな取組		▶計画書	素案の取り		\4. III			◇改	定懇話	岳会 謝礼	等 272					
	04\/\\			制(リビンク)グ 謝礼等					◇郵	送費	366千円	3					
				599千円		J											
			事業実	施手法	√ 直接	実施	委託・持	指定管理		負担令	金•補助:	金 🗌	その他	()
	= ## ##									<i>y</i> (3—-			- 10				
3 🖣	事業費・	拟冰	別心訳		R5決算			R6予算現	宮百			R6決	.笛			R7予算	
重業:	費(千円	1)			NJ从异	0	Г	(0]/异次		123		NOW		638			11,484
于木.	12委記								1,-	FZJ				030			10,428
	14工		負費							-							10,120
			及び交付金														
	その他									123				638			1,056
財源	(千円)	NÆ.				0			1,4	123				638			11,484
	特定財市債	까															
	その他																
	一般財								1,4	123				638		-	11,484
4 =	5 #	+ ш	=\tau /\tau														
	事業のF				·		÷ = ===		\	· + i	_ =1 ==	л П ±			—=+h +z ı —		
	めざす状 L.たこと		実現に その成果)		フ別アフ 崔)」で意り									けくす	言識者に 。	たる! 改定	.愁話会
KPI		(() ()	(と四冊)	正/」 へ 心、	指		二、坐作り	1平1(2	TO THE	0 (4)	7 小丘7 ひ7 こ	-0	t匕	票2		
IVPI		[名(単位)			1日′	示							1日1	示と		
		目標															
		実績															
			· <u>··</u> 漬値の差														
	分につい	ハて	の理由														
行革	評価(1	亍政	改革大統	岡に基づ	(<評価)												
			意識	評価						評価し	Jた根拠	·理由					
			心成 財源確保)	В											ていととも		
				評価	携を行つこ	_とにより、	業務の効2	率化や効果			^{凶つ(美社} した根拠		.U ([1.	ර(Liq	lid、地域幸	温度指標)	0
			思考		4- E5		L L V / 2 O */	n+14+-1					40 7 —	Z 1 11 = -	-110=1		. 7
	(施策)	∃標^	への寄与)	В	生駒巾に	泪心しい新	しい緑の剤	『巾像を示し					組みつ	くりに	ついて検討	を進めてし	16.
			との協創	評価	=1 == -1 -= 1			o (Blat v B			た根拠		-				-15-1-7
			意見把握 の活用)	Α				の興味や関 づくりを検			いに応じ	た「巾氏	タイプ別	リアブレ	ーチ」で意.	見聴取を美	き施すると
	デジタ	ル・デ	ータ活用	評価	2012(3)	(AC X + > ////A	1300 1211100	- () - ()			」た根拠	·理由					
	(デミ	ブタル	の活用	В									プ市民の	り参加の	の間口を広り	げ、プロセス	スへの参
		EBP	M)		加公平性	及び透明性	に繋げてい	ハる。		<u>=₩/</u> #1	+ +B+hn	珊山					
	44	_≡	च /≖	評価	Ing	W					」た根拠		·	// -m>-	14 14. 6		
	統	iΠi	平価	В	概ね予定i 図っている		を進行の」	上で、次年度	が業	榜期間	元∫に向	けて、積	極的な	他課連	携や協創に	.より効果 <i>0</i>	り最大化を
_	- 		\====		<u> </u>			:						<i>"</i>		"-	
事	び ・残され										りに様々な	よ手段で			存在意義" 要がある。		ネジメント
												f理由					
	今後の国	以組.	万針	現状 	維持	令和7年	度に緑の	が基本計画 まつ画は	画をご	ななが	るととも	うに、推 -ス	進体制	引(緑の	りリビング	"ラボ)の	設立、運

					1-1	1				ナハ	-и пт	'					
	本情報	R				-		みどりな	。園之	果		関	係	課			
事	業	名	No.	5		设長寿命 (_					
	業区	分		会 計	区分	一般	会計	予 算			款	6		項	3	目	2
施:	策体	系	12	街の空	間づくり				戦	略的	〕施 策	į	行	政改	革大綱	(:	3)
根扱	』法 令	等	都市公園	逮法					-			-	事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年	 度(年度)	単年	度繰返(年月	き〜継	続) 🗸	複数年	<u>∓度(</u>	R2	年度~	R11	年度)
2 =	E₩Λ\	भए सक	中华中	<u> </u>			<u> </u>	•									
			・実施内		T- / D - D - 4 *\	W 0 1 0 0 1	<u> </u>	<i>/</i> ,4,1+, <i>f</i> , <i>f</i> ,−1	m ## r	T 4 //	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	+< n+ H□	- T- 24	+ /1 5	=	E ± 0.11	
	美目 的				確保及び を行うこ									単化をは	図りつつ、	、長寿命化	どを行
事 :	業 概体計	要 画)	全確保及	び機能	設の撤去 保全を図		定期点検	を行い、糸	維持管	管理費	用の縮	減や更	新時期	月の平2	単化を図り	りつつ、旅	設の安
` —		_ ′	事業(の対象										付象数:		26)
						計画							取	組実績	į		
			【R6補I			20.204	0.T.M				7繰越】	- +	± 0	7 00	4 T M		
					更新工事 24千円を約		J T M		V t 【R		の撤去	史新丄	.事 乙	7,82	4十円		
			(R6)	27,02	.T J C	*************************************					の撤去	更新工	事 2.	457	千円		
	算年度(- *>170%				検_4,00	0千円			◇ì	遊具の	定期点	検 3,4					
	Eな取組	i	【R5補I	E(繰越分	子)】 三 <u>**</u>	00 516	×				(繰越分		± ^		·		
					更新工事 見直し調査						の撤去				1十円 64千円		
			▽区村中	마기나하다	兄旦し神話	1 43,0	U4TD		\\\ 1	又分叩	76日四.	兄担し:	未伤	42,31	04十口		
			事業実	佐手计	- - - - - - - - - -	·] = == 1	比古然田		∠ +□ /	↑ +±□±		7 A /	. /)
			争未天	他士江	耳 □ 旦接	実施	☑ 委託・	指定管理		貝担記	È·補助	金	その他	! ()
<u>3</u>	事業費・	財源	原内訳														
					R5決算		F	R6予算現				R6決				R7予算	
事業	費(千円					4,765				796				,926			6,534
	12委		5 弗			1 7 C E				804				,818,			6,534
	14工事		見貸 及び交付金			4,765			63,	992			39	,108			
	その他		及U又们亚														
財源	(千円)	,				4,765		1	13.	796			84	,926			6,534
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	特定則	源				3,838				648				,736			1,006
	市債																
	その他																
	一般則	源_				927			59,	148			44	,190			5,528
4 🗐	事業の原	戓果	・評価														
	めざす状			整備する	ることだけ	が目的に	ならなし	ハよう、遊	具選	定には	北公園利	用者=	ニーズを	を丁寧	にHPでZ	アンケート	·調査(現
			美の成果)		こおいてP												A-322 ()0
KPI						指	標1							指	票2		
		票名(単位)			長寿命(比実施数										
		目標	値			4	4										
		実績	値			_	2										
	目標値	と実績	責値の差		高い業務を												
	分につ	いて	の理由		具等公園施)日数を要し		に別9つ	_一人嗣宜	心負化	1人何							
行革	評価(行政	改革大約		づく評価)					•							
		7 h	意識	評価							ノた 根拠						
			財源確保)	В		模や利用状		11一ズを	効案す	るとと	もに、国属	車補助金	の活用	などコス	スト低減に	留意し、効果	果的な整備
	_			評価	2117JC	ヒができた。	•			型価	た根拠	い押由					
		的思			八田利田	* ^\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	カロム ハ	国大说					+日	±-40 -1	*! - ***マケ ナ		
	(施束	日悰ハ	への寄与)	В	公園利用	者の安全の	世(未つ、公	図を栄しく					が成氏を	:ぶれり	に耒務を	進行した。	
			との協創	評価						評価し	た根拠	l·理由					
			意見把握 の活用)	В	「利用者	目線」を大切	刃にし、二	一ズを丁弩	営に把	握する	ようアン	ケート	調査を	実施し、	整備内容	に反映した	
	デジタ	ル・デ	ータ活用	評価						評価し	た根拠	l·理由					
	(デ	ジタル	の活用	В	游旦選定	の際には、	現地への	OR7-K					を活田	 , てア	ンケートを	実施した	
	<u> </u>	EBP	M)		だった。	· · / r/\\ C O \	-50-05- 107	α.(-) I						, , , , , ,	-	~#BU/Co	
	ti.	- ۸۵	ਜ਼ /⊐ਾ	評価	行動指針	を意識した	結果 両一	-的でけか			た根拠		新を実施	布するこ	とができ	利田老が海	以分子
	裕	合語	半 1皿	В	に利用で	きていると	ともに、ラ	イフサイクル	レコス	トの縮え	成にもつ	なげるこ	とがで	きた。	,,	רייבוים וויכוי	\U \XX
	_ \\rac{1}{2}				また、長寿	命化計画見	見直し業務	に関しては	、現物	犬に合っ	た計画に	見直す	ことが	できた。			
事	業実施			国庫補	助金の交付	すを受ける	るために	は、事業費	∮ 3∩	.000	千円/年	E以 Fa	の確保	が採択	要件であ	₅ る。	
	・残され	に記	未 退		/^	~!/			.50	, , , , , ,			 	- Jr19J/ 9			
												f理由					
	今後の国	収組:	方針	現物 	犬維持			一ズを甚								こ公園施語	设(遊具、

					15.1	10 1/2	.,,,,			ナハ	. н н н -	'					
1 ₺	基本情	報				担	当 課	みどりな	慧	果		関	係	課	観光振興国	室	
事	業	名	No.	6	生駒山麓	を	う後のあ	り方検討									
事	業区	分	新規	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	6		項	3	目	2
施	策体	系	12	街の空間	聞づくり				戦	略的)施 策		行	政改	革大綱		(3)
	処法:	令 等	都市公園	記法									事	務	区分	自	台事務
	業期		単年		年度)	単年	度繰返(年	き〜継	続) 🗸	複数年	_	R5	年度~		年度)
				•	1 127		/ X -1/ X -2(1 12	× 1111	1707	12227	~(110	1 / _		1 (2)
			・実施内														
事業事業	業 目 美実施	的・ 効果	効率的か	つ効果的	った魅力あ なストック?	舌用を検討	すること	により、生	駒山頽	電公園(の魅力向	上が期待	寺できる	る。			
事(全	業 概体計	そうで (乗り)	な公園運	営手法を検]である令利 討する。将 ぎ朽化してい	来における	山麓公園(の利用者増	加や額	開光資源	原として0	つ公園の	活性化。	とともに	こ、管理運営	営に係る見	や持続可能 財政負担の 新する。
`	PT. PI	— /	事 業 (の対象	生駒山麓	電公園							(対	象数:)
						計画								狙実績			
					る施設基础		, 920 1	円						査 6	,995千	円	
			(R5~	R6債務	負担行為)			()	₹5~⊦	R6債務	負担行	為)				
			【R6補ī	E(繰越)	1				ľR	6→R'	7繰越】						
	算年度		◇将来記	画の検	対業務 2	4, 013=	f円				画の検	討業務	24,	013	千円		
Ξ	主な取?	俎	▶現状る	と課題の	整理				▶∃	現状と	課題の	整理					
				アート調査	〗 基本的方	₽₽₩₽₽₽₽					ート調査 新等の		╁⋧╁╓	\ t ∕≥=-⊦			
			▶運営	手法の検	基本別刀: 計 等	ず ひが失るり			▶ì	他政史 軍堂手	対している。法の検	益少心. 討 等	刀亚 ∪.	パ欠む」			
				施手法		宝施 「、	元託 +	七字符皿					その他	/			1
			尹未大	爬于	但按	夫他 じ	'」 安託 ⁺∄	旨定管理		貝担団	È·補助?	亚 厂 .	とり他	()
3 [事業費	<u>i・財》</u>	原内訳														
	# /-				R5決算		F	R6予算現				R6決				R7予算	
事業	費(千					0				933				995			56,940
	12委	事請	台 書					•	33,	933			6,	995			56,660
			只見 及び交付金														30,000
	その																280
財源						0							6,	995			56,940
		財源							11,4	150							
	が 神定財源 市債 その他 一般財源 22,483 6,995 56,940 50,900 6,040														50,900		
	特定財源 11,450														6.040		
									,_	103			Ο,	,,,			0,040
4	事業の	成果	<u>·評価</u>														
	めざす								施す	る「将:	来計画の	りありた	〕を検	討す	る上で、必	必要な客	観的資料
		こ(事)	美の成果)	でめる₺	き礎調査を			どさた。						111	= 0		
KP]		抽 夕 /	(出任)			指	漂 l							指	票2		
	1日	<u>(际石)</u> 目標	単位)														
		実績	•														
	日信1	世と夫に	績値の差 の理由														
行甚			改革大統	I 岡に其っ	(く評価)												
,,,-				評価	\п_1 пп/					評価l	た根拠	·理由					
]スト ^{対効果}	恴 識 ·財源確保)	В	施設基礎	調査につい	ては、職員	による現場					楚調査	が必要	なのかをし	っかりと	精査した上
	(52/1).	~1×1×1×	77.11/11年7		で業務を	進めた。				=चा <i>!</i> ===।	+ +p+hn	тш-					
		目的		評価	施設其礎	国杏につい	てけ 山麓	い周の傾す			た根拠		の検討	学怒ゟ	されるうえて	· 安組的]な資料とし
	(施第	段目標/	への寄与)	В	ての活用を		(16) 田庭	ZENOVIIV	(0)0)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ŒD J Z	10 20.0	· • > 1 X B :	ى رربىدار	- 9 0 0 7/2 0		J & QAILO
			との協創	評価							た根拠						
			意見把握 (学の活用)	В		調査につい の立案など											中長期的な
			·一夕活用	評価	水土可凹	<u>// </u>		사이스(1 1h i),			た根拠		心心叩上	1 .1 07C	-17272	11760	اري،
		゙ ジタル	の活用	В	施設其礎	調査につい	ては FRE	OMI: よスな					データ	による	成果品とし	ている	
		•EBF	M)		NGDX 42 WC	明丑に ング・	CIOCEDI	1111000						1000	ружшсо ————————————————————————————————————	(0 . 0 .	
	,	⁄⁄⁄∆≡	TT /III	評価						計価し	た根拠	''理田					
	'	総合語	iŤIЩ	В	予定どおり	りの成果を	得ることが	べできた。									

Ę	事業実施上の課題 全国初の公園内社会福祉施設を有する自然豊かな人気の公園である一方、開設から30年以上経過し、様々な施設・設備の老朽 ・残された課題 化が進み、当該検討業務の結果によっては、更新等に多額の費用が必要となることが想定される。																
	A 44	- · -			\\							理由					. 10
	今後σ)取組	万針	現状 	 (維持			ド計画の村 ハイからの								園の方	向性をだ

					15.1	HO T/X				ナハ	. н. н. н.		'					
	本情報	艮						みどりな	園之	果		関	1	系	課			
事	業	名	No.	7		D保全整備												_
_	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算			款		6		項	3	目	2
施	策体	系	12	街の空間	引づくり				戦	略的	施負	策		行	改 改	革大綱	(1)	(3)
根拠	见法 令	等										-		事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年月	度(年度)	単年	度繰返(年月	き〜継	続)	/ 複数	女年度	<u>[</u> (R4	年度~	R8	年度)
2 4	巨栄の	eræ	·実施内	宓														
					· 2× 1+ 1 + 1×	·	z (V 24 0 +1	L hn .d=>+ Ab +	·> <i>0H</i> ++	- // - TEI - L.	. v .		\ - ±=+6	+ 7	- \-1-	LU +0	**	
事業	実施交	力果	樹木の倒り、安全の	不や枯損か)確保に寄り	発生した後	がある。同時	時に、生物	「処療法的な 多様性の確 	保や	で はかい 景観面の	りであり	ま全へこつなが	ど転換がる緑	りる(の質(ことに の向上	より、市氏 : が図られる	寺(/)生命・! 。 —————	羽座を守
事 :	業 概体計	要 画)	等への被害	害を未然に	防ぐため、	危険度に応	隣接地への じて順次、	の枝の越境 、間伐等を「	だけて 中心と	でなく、 した整	大木化・ 備を適 ^け	老木化切に実	が進 <i>る</i> 施する	y倒オ '。	事故			ため、市民
			事業(の対象	緑地·公										象数:		箇所)
						計画						- 3112 -			実績			
					¥ 40,0	00千円				也保全			26,8	37-	千円			
				台第2線 全台第1線						さつき; 西白庭								
34	~~ _	_		が丘第6線						さつき								
	算年度(こな取組			台第4線						さつき								
	こっては	1		口第6緑地	b					比大和		地						
			◇滝寺么	区区					Vi	竜寺公	困							
			事業実	施手法	直接	実施	/ 委託・	指定管理		負担金	· 補助	命	770	D他	()
	= ** #	0420								, ,,				- ,0	`			
3 🖣	事業費·	以以	別心訳		R5決算			R6予算現	姷			D6	決算				R7予算	
重業:	費(千円	1)				32,274				000		NC			337			40,000
于不.	12委					32,274				000					337 337			40,000
	14T		負費			,,,,,,,			,					, .	,			10,000
			及び交付金															
	その他]																
財源	(千円)	LYE				32,274			40,	000				26,8	337			40,000
	特定則市債]																
	その他]																
	一般則				3	32,274			40,	000			- 2	26,8	337			40,000
4 =	E₩Λι	##	=17./3€	•														
	事業の			D 4 /= #	1. · · · · · · · · · ·	<u></u>	- m+-	+	» , ,	^ 亡 >	1- 井.	· + -	1.4%	-+	- \.\	1 _ 4 =	ᄔ	F O / II O
	めざす状 したこと		実現に その成果)	K4牛皮	から3箇年	中継続し 11.た.	(美施し	、巾氏寺/	小女3	E·女儿)(C吞	つり こ	ינוש.	ぐさ	1520	こもに、何	地寺の真	劉の保宝
KPI		(3.7)	()	()](E)(O,	хнісы.	指	堙1								指	票2		
		[名(単位)				<u>多,</u> 多所数								101	水上		
		目標					6											
		実績				(6											
	日標値	と宝統	債値の差															
	分につ																	
行革	評価(:	行政	改革大約	岡に基づ	く評価)													
		スト	 意識	評価						評価し	た根据	処·理l	由					
			財源確保)	В	職員自ら	現地踏了	を行い、	、無駄のな	ないな	加果的	な業務	発注。	となる	るよう	留意	むた。		
	_	144 5		評価						評価し	た根	伽・理I	ħ					
		的原	53 考 √の寄与)	В				市民等の多	定全確					を図っ	った。そ	う後も継続	して現地パ	パトロール
	()IEX	□ 'l\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	(V) B)/		を行い、再	整備の必要	要性も見極	ある。		===:/===1		hn TOO.	_					
			との協創	評価	計画に甘っ	づ キ 抽ば /	ナ民の理解	た但かがに	こ.# <i>xt</i>	評価し				±°□≠	こなを言刃	1. 心右中 野	3年の宣	い笛正た
	(市民等への意見把握													い回りて				
			一夕活用	評価						評価し								
		ジタル ·EBP	の活用 M)		地理的条何 要である。		件などに。	より、樹木の)成長	度合い	や枯損	犬況は	一律で	はな	いため	、人的な定	期的パトロ	コールが必
		LDF	141)	評価	女である。					評価し	た根ね	机•理!	+					
	\$2	合組	亚価	рТІЩ			2.11日141.5水	査や地域を	住民					生の)安全	一一	(緑の質の	
	וייןו	·П 🗅	, 1144	В		大の」学で		中、これに対	山戊	マノン土乃午	· 6 C 10	-09	י ווי בּ	√ 10	ノメユ	-¤⊭IዂXC	, 小小, V.) 其 V	ハロエC
#	L 2 学 字 坎	; - σ	75年10月		/C//	2212/3 1/3 2	/ _ 0											
手	『業実施 ・残され			建設業の	り担い手る	下足や、人	、件費高剧	駦による §	非業寶	貴の増:	大が誤	題で	ある。					
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	Ср									判	断理E	h					
	今後の]	7√%日.	方針	担升	維持	タサイン・	計本の出げ	コナロヶ赤	(F) 7	1\Z +			•	_ 11 - 0	字标:	た行い 士	マ笙が中へ	 :・安心に暮
	/ 120/1	八小丘.	1221	-//-//	/υ.Ε.1./J	水地守り らすニンナ	ョハツルガ バでキス上	ひょりくそう 緑の左	ためら	いつ円目や名所	へ、 たり はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	アルバタイク	い。 こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ に こ こ に ら こ に ら こ に ら に ら	ルリ. 今. 今:	/ 大 ルグ 後ま.重	c ア 」 レ \、川」 [丵を継続]	ス す か女王 、ていく	. 女心に香

						1-	<u> — — — — — — — — — — — — — — — — — — —</u>	•			2.21	. н н н н н	_ '						
1 基	本情報	2					担	当 課	みどりな	園	果		関	係	Ŕ	課	地域コミュ	ニティ推済	進課
事	業	名	No.	3	8	公園利	舌用促進:	プロジェク	7ト										
事	業区	分	継続	会	計	区分	一般	绘計	予 算	費	目	款		6	項		3	目	2
施	策体	系	12	街の]空[間づくり				戦	略的	施負	策		行政	改	革大綱	(3)(4)
根 拠	』法 令	等	都市公園	退法、	都市	公園条例)			•					事	务	区分	自治	台事務
事	業期	間	単年	度(年度)	単年	度繰返(年月	き〜継	続)	/ 複数	年度	(R	4	年度~		年度)
	5	ग्रस	・実施内	点				<u> </u>											
					≻ 44 1 ·		£4 ← + +∞-	+7 - \-	- /\+d	188-7	-+7	N EL A	ナルエ ロ	14××	7. 1	Φ-	÷>+>+>+	- 一	
	美国的		すること	がで	きる	0													して寄与
事(全	業 概体計画	~	などについ の開催」で	ハて市 ご"きっ	i 民等 かけ	と一緒に考 づくり"を彳	Bの新たなが きえ話し合う うい実走に	ゔ「セミナー	・ワークショ	ョップ	の開催	」や、公	園ででき	きること 援事業	との周知	ロと 携に	して「公園の	のあそびカ	に、利活用かた見本市
			事業の) 対	丁累										(対象数)
				N/ F) <u> </u>		計画	MICCIO	NO DE			V DE	M A IZ E		取組実			112	- 士兄笠
							UESI I 弱働による										SSIUNZ び方見本		、市民等 曜
			デル・社			444,5-4 C J IV		ノム西ゴル	111107 C				68千F		公园 (7)	, , ,	0 73 76/41	سراع [دار	IE.
2±14	答生曲/	^	▶講師訓							▶ {	備品購	入費	110=	쒸					
	算年度の こな取組		▶備品則	構入習	費 4	00千円				_ ,	ᄼ	`T III 4	\ 	/ NV + -					
	04740	'	◇小周€	小壬日	∄∕∩∃	₹走(伴走	-			$\Diamond 2$	公園利	沽用0)実走(件走	文援)				
			✓△区図↑	תםעני	ロマノラ		三义]友/												
			事業実	施書	手法	√ 直接	実施	委託・打	旨定管理	П	負担会	金•補且	加金 「、	7 7 0	他(職員によ	る実施)
	5 *** # .						., ,,,,		<u> </u>						, ,				
3 🗐	事業費・	共1개	別心訳			R5決算		D	86予算現	宮百			D6	決算				R7予算	
事業:	費(千円)				NJ八子	281	I P	O J'异坎		580		NO	八升	27	' <u>8</u>		N / J′ 対	* 832
子不.	12委託						201			•	300					_			032
	14工事		負費																
			及び交付金																
	その他						281				580				27				832
財源	(千円)	भट					281			į	580				27	8			832
	特定財市債																		415
	その他																		
	一般財						281			Į	580				27	'8			417
<u>л</u> а	事業の原	比田	. = 亚/莱																
				— =	3 Vb 7	- ** - *	/ニュケロウ/ II	マーナカ ほし-		田の	+ 71	×4.+ 1	3 + +	. / BE	1/W1 /	41	hn #445 17 (20.1.)	
	めざす状 したこと		美規に 美の成果)				「仃以職員 づくり"か		よるこ公	園(/)	めてし	יב/ימי	己个巾	」を開	惟し(奓!	川首約7人	10人)、1	今後につ
KPI		ハナス	() ()	.017	V	2011		標1							-	받	票2		
IXL1		名(単位)				18,	/ 示								J 🖽 🕧	ホ ム		
		目標																	
		実績																	
			· <u>··</u> 漬値の差																
	分につい	ハて	の理由																
行革	評価(1	亍政	改革大統	岡に	基づ	く評価)													
			意識		価						評価し	た根	処·理日	 					
			心成 財源確保)		Ą		そびかた見			てはタ	卜部委 語	£せず、〕	職員自ら	う講師	·市民·	事業	者に働きた)け、謝礼	,と備品購
					· 価	人負のみ	の予算で事	耒を執行し	<i>八</i> こ。		≕価!	た根は	処·理日	Ь					
			思考			あくまです	市民が自主	的に公共空	間である						を工夫	υ.:	交流・滞在の	 の場として	 C寄与する
	(他來)	は「「「「「」」	への寄与)		В	よう努めた	た。												
			との協創	評	価	A10.4/F	÷1-14 +	⊐ */= \	1-±2 > =11				処・理日		8/W1 —	P۱	/ b → ₹ ₹ 4	D A107	左连二十
			意見把握 の活用)	E	В		度には、市民 イヤーや既に												
	デジタ	ル・デ	ータ活用	評	価								処·理日						
	(デシ	ブタル	の活用		<u></u> В					方法と	として、	従来の	メールた	ごけでは	はなく、	LIN	IE WORK	Sなど多村	様なツール
		EBP	IVI)		· 価	を活用し、	参加者の利	刊便回上に	つなけた。		=\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ナ_ 担1	処·理日	h					
	\$42	≘ک	₩	市	-1 Щ	TW/	- 10° - 1-	L 7 = **#	ر د ما الله الله الله الله الله الله الله ا						-4 /\	= 11	NT 101 - 88-	+ 2 = EW	7.
	が 花		平価	l E	В		ンパワーに。 施したこと							_と、ま	た、公	園村	が活用に関う	する事例系	ざ が、情報
_	- **	1 ~	\====	44.7	- ı ·										L>/	/\ '	ヨシいてで		
事	び ・残され						進んでいる り積極的Ⅰ								か行う	公	園村沽用	い様子を 	上多様な
													断理由	•					
-	今後の耳	又組	方針		現状	維持		引活用をえ										市民等	に対し

1	基本	情報	R					担当	課	防犯交流	通対領			関	系 課			
事	美	Ě	名	No.	9	公	共交通	利用促進事業	1									
事	業	区	分	継続	会	計区	分	一般会計		予 算	費	目	款	6	項	1	目	1
施	策	体	系	12	街の	空間づ	くり				戦	略的) 施策		行政改	革大綱	(1)
根	拠法	去 令	等												事 務	区分	自治	事務
事	業	期	間	単年	度(í	丰度)	√ 単年度繰	返(R5	年度	き〜総	鱶続) □	複数年度	₹(年度~		年度)
2	事業	€の村	캜要	・実施内	容													

	利用促進事業を実施し、新たなバス利用者の獲得と思 通じてバスの現状や路線網の周知・認知度向上につな	張存利用者の利用回数の増加を図り、またイベント広報などを が、持続可能な公共交通網の形成を目指す。
事業概要(全体計画)	現在、一部の市内バス路線の収支が赤字となっている 活動機会を保障するため、行政、交通事業者、沿線住[が沢にあるなか、安定的な公共交通サービスの提供、市民の 民の三者で利用促進事業を実施していく。
(工作引画)	事業の対象 生駒市民	(対象数:)
	当初計画 ▶ バス運賃100円DAY×3日間 4,408千円 ▶ 転入者等に対する地域公共交通の意識啓発(市内交通マップ,動機付け冊子作成) 2,607千円 ▶ バスロゲイニング企画・運営 500千円	取組実績 ▶ バス運賃100円DAY×3日間 4,261千円 ▶ 転入者等に対する地域公共交通の意識啓発(市内交通マップ,動機付け冊子(案)作成) 2,322千円 ▶ バスロゲイニング企画・運営 378千円
	事業実施手法 直接実施 √ 委託・指定管理	√ 負担金・補助金

3 事業費·財源内訳

	-> -> -> -> -> -> -> -> -> -> -> -> -> -	R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	10,851	7,515	6,961	4,450
	12委託料		2,607	2,322	
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金	10,851	4,908	4,639	4,450
	その他				
財源	(千円)	10,851	7,515	6,921	4,450
	特定財源				
	市債				
	その他				
	一般財源	10,851	7,515	6,921	4,450

4 事	事業の成果・評価			
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)			バスに実際に乗ってもらうことで、参加者にとってバスが身近になり、バス利用意識の醸 ベントであったことが確認できた。
KPI				指標1 指標2
	指標名(単位)			[賃100円DAY利用者数
	目標値		通常	日比1.48(R5)から上昇
	実績値			1.72
	目標値と実績値の差 分についての理由	促進効果	見の向上。	
行革	評価(行政改革大約	綱に基っ	でに評価)	
	コスト意識	評価		評価した根拠・理由
	(費用対効果·財源確保)	Α	事業内容	容や見積精査等を十分に行い、当初予算よりも安価な金額となった。
	目的思考	評価		評価した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В	多くのだ	らにバスを利用してもらうことができた。
	多様な主体との協創	評価		評価した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	市民から	らのアイデアを参考にイベント内容を決定し、交通事業者と共催でイベントを実施した。
	デジタル・データ活用	評価		評価した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	В	アンケー	-ト調査について、紙媒体だけでなくWebアンケート調査を実施した。
		評価		評価した根拠・理由
	総合評価	В		参加者へのアンケート調査結果より、バスを身近に感じるようになった、バスを利用したいと回答したが高かったことから、バスに乗るきっかけづくりに寄与した事業となった。
_	業実施上の課題 ・残された課題	利用促進	進事業に。	よる、即時的な利用者数等の効果を得ることが難しい。
4	今後の取組方針	現状	維持	判断理由 バスに乗るきっかけづくり、マイバスの意識醸成につながる取組を継続していくことが必要。

1	基本	情報	Ž						担	当	課	防狐	交迫	重対策	課		関	係	課	SDO	às推泳	進課、住	宅課等
事	美	Ě	名	No.	1	0	グリ	ーン	スロー	モビリ	ティネ		検証	事業									
事	業	区	分	新規	会	計	区	分	— 	般会計	t	予	算	費	目	款	6		項	1		目	1
施	策	体	系	12	街の]空間	づく	り						戦	略的)施 策		行	政改	革大	網	(1)
根	拠法	去令	等															事	務	区	分	自治	事務
事	業	期	間	単年月	度(年	度)	√ 単	年度終	操返(R6	年度	~継	続)	複数年歷	篗(年月	隻~		年度)

2 事業の概要・実施内容

_ 2 → 未以例女	:*天心八分		
	地域住民の外出・交流機会を創出することにより、地 エネルギーを動力とすることで、二酸化炭素排出ゼロ	域活力の増進を図る。脱炭素事業の推進により創出される地 の地域づくりを促進する。	産
事業概要	高齢化が進む地域での移動手段の確保により、市民の動手段「グリーンスローモビリティ」の導入を図る。	り日常生活における活動機会を保障するため、低速の小さな	移
(工作的固)	事業の対象生駒市民	(対象数:	
	当初計画	取組実績	
決算年度の 主な取組	 実証運行実施支援業務 19,646千円 (国補助:共創モデル実証プロジェクト 13,000千円) プラットフォーム構築・運営 計画作成/効果検証/課題整理 実証運行 停留所設置・車両の調達 実証運行 	 ▶運行実施支援業務 19,290千円 (国補助:共創モデル実証プロジェクト 12,734千円 県補助:公共交通基本計画推進支援事業 2,122千円) プラットフォーム構築・運営 計画作成/効果検証/課題整理 ▶実証運行 停留所設置・車両の調達 実証運行 	
	事業実施手法 □ 直接実施 □ 委託・指定管理	□ 負担金・補助金 □ その他()

3 事業費・財源内訳

	- >IUE 1/1881 - >IUE	R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	0	19,646	19,290	4,963
	12委託料		19,646	19,290	4,667
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金				44
	その他				252
財源	(千円)	0	19,646	19,290	4,963
	特定財源		13,000	14,856	3,258
	市債				
	その他				
	一般財源		6,646	4,434	1,705

	川又六7 川八					0,070	7,757	1,705
4 事	事業の成果・評価							
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)		利用があり 上が確認で		ト結果より外出回	数の増加や地	地域活動への参加回数の増加	、くらしへの安心感や防犯・安
KPI				指標			指	i標2
	指標名(単位)			利用:				
	目標値			未設				
	実績値		49	94人(2月	28日時点)			
	目標値と実績値の差 分についての理由				立した運行体制の構築 値は設定していないた&			
行革	評価(行政改革大約	岡に基っ	ざく評価)					
	コスト意識	評価					ノた根拠・理由	
	(費用対効果・財源確保)	В			(一を一定の人数G とを達成できた。			から、市が運営する公共交通と
	目的思考	評価				評価し	ノた根拠·理由 <u></u>	
	(施策目標への寄与)	В	一定数0	D利用があ	り、アンケート約	吉果からも旅	節策目標への寄与が確認で	ごきている。
	多様な主体との協創	評価					ノた根拠·理由	
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	Α			仕組みを作り上げ 業との連携も図る	ることができれ	ī.	できている。地域共生サミット
	デジタル・データ活用	評価				評価し	ノた根拠·理由 <u></u>	
	(デジタルの活用 ・EBPM)	В	連絡調整	をは全てLi	INEグループに	より行ってし	ハる。	
		評価				評価し	ノた根拠·理由 <u></u>	
	総合評価	В			仕組みを作り上け 別の目標通りの成			できている。他事業との連携も
	業実施上の課題 ・残された課題				が、まだ利用し [、] への改良が必要		が一定数いるため、使いた	こくなるような利用促進策
							判断理由	
-	今後の取組方針	拉	大		度の実証運行継 していく。	続により引	き続き持続性の評価を行	い、需要があれば他地域に

								令和	6年	度アク	ショ	ョンフ	プラ	ン	事業	評価	シー	-ト					
1 基	本	青朝	Z					扎	В	当	課	事業	計画	課			関		係	課	土木課		
事	業		名	No.	1	1	南生	駒駅	司辺/	バリアフ	IJ—	整備	事業										
事	東東 名 No. 11 南生野駅周辺パリアフリー整備事業 東 日 歌 6 項 2 日 3 銀																						
施	策(本	系	12	街の	sec	引づく	り						戦	略的	施	策		行	政改	革大綱		
				バリアフリ	J一法	(高齢	6者、隨	宇書	等の移	動等の	円滑	化の保	足進に	関す	る法律	聿)、道	路法		事	務	区分	自治	事務
事	業	钥	間	□ 単年月	度(年	度)	単	年度繰	返(年度	を一継	続)[√ 複	数年	篗(年度~		年度)
2 1	事業(か相	要	• 実施内	容																		
事業	業 目	的		▶近鉄南生駒	駅周辺																	こバリアフリ	一化されてい
				▶ 令和4	年度	から	計画	こ基っ	ゔき、ノ	−基本村 バリアフ	構想、 バノー	、令和 -整備	13年 事業	度にを実	生駒 『施。	市バリ	Jアフ	リーキ				20	
				事業(の対	象)
)	詳細i (R5→R (R6現年 (R6→R) ▶道路特 工事i	設計器 6 課 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	業務。 越資業 (下	整備 等 詳細語 第8,5 58,5	设計業 2,5 983日 整備	務 5 717刊 F円)	f円)	<u></u> 0∓	円)		(RS (Re ・道	詳細談 5→R(5→R' 3	計業 6繰越 7繰越 官事業 正	務 (計 (市 (市)	等 細設計 細設計 道)整(十業系 十業系 備	务 3 务等	38, 181		
											- 11			_						,			
	3 事業費·財源内訳)							
3 4																							
古光	弗/イ	. П					R5%	決算	40	1	R	6予第			700		R	6決算		101		R7予算	
争耒																							
				負費					70				12	. 1, /	00				30	, 101			1,50+
			補助	及び交付金																			
田北西									40	1			1 2	1 5	700				20	101			1 26 /
刘 源			源						46	4													1,364
	市債	į											•	Ο, .					,	-			
			\ -						4.0	4				_ ~					2.5				1 2 4 4
									484	4				5,2	.58				25,	5/8			1,364
寄与	したこ			4 A B L	南生	上駒馬	R周辺	バリフ			向け	た設	計及	び検	討が	進んだ	<u>.</u> "			+6	振っ		
IVP1		 手標	名(単位)					1	日信日										1日	伝と		
		5	実績	値																			
	分に	うし	170	の理由																			
行革	評価	1(彳	丁政	.改革大統	-		く評	(曲)							जा /== ।	+ +=	∔bn ⊤¤	R ch					
							= **	ませ エック	c de l	. +> 7 +			^ _										
	(賀用	3 对 3	辺米・	財源催保)			事業	貫かる	多額と	こなるに	(0)	父何	金を						o				
																た根	拠·坞	里田					
	(施	策目	標へ	の寄与)			事業	の完	了に向	引け、事	業が	一定	進捗										
					評	価																	
					E	В	生駒	市バリ	ノアフ	リー基	本構	想推	進協	議会	で進	捗状況	記こっ	いて	共有	を諮	った。		
					評	価									評価し	た根	拠·玛	曲					
			タル EBP		L -	_	デジ	タル・	データ	タ活用で	できる	る業剤	答でに	はな	いため	٥.							
					評	価						•				た根							
		総	合語	平価	E	В		事業 いる。		連携に	より	進め	うてい	る事	業で	あり、	それ	を含む	めた:	全体等	事業として	概ね順調	間に進捗
事	■業実 ・残さ			課題 課題	財源	原の研	笙保																
																110	一手に出						

生駒市バリアフリー特定事業計画の目標時期に沿っているため。

今後の取組方針

現状維持

	指標名(単位) 目標値 実績値 目標値と実績値の差分についての理由 本評価(行政改革大綱に基づく評価) コスト意識 (費用対効果・財源確保) 一 鉄道駅のバリアフリー化は必要とされており、市として一定の費用負担も必要。 評価 評価 評価した根拠・理由																						
1 基		報					1	担	当	誹	事	其計画	画課			F	関	係	課				
事	業	名	No.	12	3	鉄道駅	"\\	リアフ	リー事	業													
事	業区	分	継続	会	 	区分	ò	_	般会計	†	予	算	費	目	款	7	6		項	1	目		1
施货	策 体	系	12	街の空	門	づくり							戦	略日	的施	策		行	政 改	革大綱		(4))
根拠	弘法令	等	バリアフ	リー法	(高	齢者、	障	害者等	の移動)等(の円	滑化(の促	進に	関する	法律	<u>t</u>)	事	務	区分	侐	治	Ѭ
事	業期	間	単年	度(年度)	単	年度線	₹返((年	隻∼糹	継続)	✓	复数年度	隻(年度~			年度)
2 耳	三学の:	脚車	。宇族内	宓																			
					△∠	10 古什	· ELDIE	₽		17	T1	^"_ <i>t</i>	<u>-</u> _α	小二二字	生のバ	112-	711_/レ	がナナ	っても	にず 古齢	ナかぼ・	- 5č1 \-	大学の
																					白 (7)毕	// // //	自守の
															家のもと、 実施する	国、県、	. 市のそれ こ、東生駒!				3 県1/6 関する課	市1/6 題解消	5) áを図る。
			事業(カ 対	象		_		生駒駅	<u> </u>	-分駅	、東	生駒	駅))
			<u> </u>	⊐Œ∏		当	初言							E/H-E	h∉⊓			取制	1実績	Ī			
					業	との調	整									事業と	との調整	홛					
					->/	_ v л ш-л										J-//-	_ < > 11-11	_					
油 1	首年度	\mathcal{T}					・協	議					틬					協議					
							曲											h					
					<i>-</i> • • •		ت!						▶ Ē			001		د					
			事業手	法の検	討								틬	業手	法の	検討							
			事業実	施手	法 [直挂	妾美	€施	委	託•:	指定	管理		負担	金・補	助金	<u>√</u> ₹	の他	(職員で乳	ミ施)
3 事	事業費	·財》	原内訳																				
					F	R5決算	算			F	R6予	算現	額			-	R6決算	Į			R7予	算	
事業									0					0					0			3'	7,000
			<u>ح</u> #																				
																						2,	7 000
			及U文刊並																			٥	7,000
財源									0					0					0			3	7,000
	特定則	掠																					
																						2 '	7 000
																						3	7,000
<u>4 事</u>	[業の	<u>成果</u>	・評価																				
				鉄道	業	者とと	ŧ	に各銀	失道駅(かバ	リア.	フリー	-化	向け	た検	討が	進んだ。	•					
KPI								3	指標1										指	標2			
															 								
行某				細厂甘		/	7																
11 1						<u> </u>	1)							評価	1, た 村	₹枷・	理由						
				- μ - μ		針	ישו	/ (* T-	7711—	1/1	十八年	Εレ→	-h-					费田	台扣	≠. .必要			
	(حراري)	M/K	为1/1/11年1/7/	==== /==		以足可以	(0)	/ (-) /	2.5		<u></u>	ξC C	110					貝川	只让	0%安。			
						-b-r	_		\ 	. بد	J.i.J. 1	+,	-1				唑 田						
	(施策	目標^	への寄与)			実現に	冋	け、鉄	直事業	者と	と継続	売して	.協:		1.50	-•							
			との協創	評価	Б									評価	した材	剥拠・	理由						
			意見把握 (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また)	В	Ī	南生駒	駅	の事業	業につ(ハて	生駒	市バ	リア	フリー	-基本	構想:	推進協	議会	で進	歩状況の	共有を	諮っ	た。
			一夕活用	評価	Б									評価	した札	剥拠・3	理由						
	(デ		の活用	_		デジタ	ル・	デー		でき	る業	務で	はな	いた	め。								
		-ERP	IVI <i>)</i>	評価		/		-	,,,,,						した村	見初1.•∃	理由						
	\$4	合紹	平価	一百十川											した側	ر الال	士川						
	1/9	마니	т іщі	В	515	実現に	向	け、鉄	道事業	者と	と継続	売して	協	養中。									
#	業実施	ī	ノ語館	\vdash																			
	· 耒夫 加 ・残され			財源の	の確	保及び	事	業手法	去の検	討等	Fo												
	,,,, _ 1	., Ср					7								7	判断现	里由						
2	今後の]	取組	方針	瑪	状絲	維持	H.	±10:-			- 0± -	- A4	\ Y =	- ** +~			ま出	-					

					19.1		., , , ,			2.21	. н н н -						
1 基	本情	银				担当	当 謂	!	土	木課		関	係	課	管理課・	事業計画	画課
事	業	名	No.	13	歩行者2	空間整備事	業										
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	. 費	目	款	6		項	2	目	2
	策体	系		街の空間	間づくり				戦	略的	施策		行	政改	革大綱		(3)
	见法 쉭								100				事	務	区分		治事務
	業期	間	単年	庫 /	年度)	日出年	度繰返(,	午日	き〜継	(主) /	複数年		R3		/	<u>ロチが</u> 年度)
Ŧ :	* * *	IPJ		又(十尺)		·汉林丛(+1	又一个	וטטו / טטו	12207	-152(ИЭ	十尺		十尺)
2 事	事業の	既要	・実施内														
事業事業	美目 的	り・効果	危険が及	ぶことが	想定される	(市管理道 ことから、 : ともに市目	防護柵等	の適正配	置を行	₅ うなど	、現場条	発生した	た場合、 じた安全	歩道 と対策	るいは沿 江事を実施	道の市民 もするこれ	₹の生命に とで、歩行
事 (全	業 概体計	要 画)				ライン」(平					て、優先	度等を	き考慮し	た歩	行者空間	を整備	する。
			事 業 (の対象			歩行	者空間整	儲箇	所				象数:)
						計画							取約	1実績	Į		
				2間整備	工事						間整備						
			(委託費 (工事費		253十円 025千四	【他事業より流 【他事業より流	用 253千	円】 「m】		託費) 事費)		53千F 935千					
			(工 尹 貝) 14,	933113	【他事業より流	に用 I,735寸	- [1]]	(_	-尹貝/	14,	9331	IJ				
	算年度																
主	Eな取組	1															
			事業実	施手法	直接	実施	፟ 委託・	指定管理		負担金	·補助	金 🗌	その他	()
つ ョ	事業費	. 8 1 %	百山和													•	
) =	井未 貝	<u> </u>	ボアソロ(R5決算			R6予算現	目嫍			R6決	.笛			R7予算	<u> </u>
重業:	費(千円	1)			NJM开	594		10 J. 11 2		188		NUM		188		I\ / J' j	3,849
于木.	12委					334			١٦,	253				253			1,292
	14T		負費			594				935				935			2,000
			及び交付金						,	,,,,			,	,,,,			
	その他																557
財源	(千円)					594			15,	188			15,	188			3,849
	特定則	掠				297				640				640			1,250
	市債								5,	100			5,	100			1,100
	その他					000				4.40				4.40			1 100
	一般則	小沢				297			4,	448			4,4	448			1,499
4 🗐	事業の	龙果	•評価														
	めざすり					なが発生し											
			その成果)			うなど、現場			è対策	工事を	実施する	ことで、	歩行者	への	安全対策が	向上する	るとともに
KPI				市民の生	・中財産を	することに 指		/こ。						指	標2		
IXL I		票名(単位)			1111	क्र ।							1日.	ホム		
	JETT	目標															
		実績															
		-															
	日標値 分につ	と 天 紀	積値の差 の理中														
7二 サ				 	シンミルエト												
打牢	- <u>3半1四(</u> -	1丁以	以半人的	1	(く評価)					=π/πι	+ +p+hn	тшен					
			意識	評価	目形的不	けおろが	通学改 [左唇齿弧/	クルボス	評価し	た根拠	・理田 ら タイ	の歩行	- ナバチ	川田してお	い 焦市:	投資をおこ
	(費用対	効果・	·財源確保)	В		で費用対効					//	つ、タく	.V/少1]	11 /J'/I	ره ع ص سرت	(人来中)	以其でのこ
		的原	H -X	評価							た根拠	·理由					
			ふ′ラ ∖の寄与)	В	丁事の終	部におい	ハて 丰。 i	1月の安	全確任	呆を第-	に考え	るよう	努めた	= _			
						щинсоло		1-1000	<u>— РД Р</u>				, ,,,,,,,,				
			との協創 意見把握	評価	救借計画	において、	R类技+HA 接	老との拉	恙た言		た根拠		の音目	た町	17 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	ら歩行	老の安全
			の活用)	В		た歩行空間			成でき	£10、Æ	政コンソ	ルノン	でルめて	2 4X	ソノヘルみか	0.91	日の女王
	デジタ	ル・デ	 [*] 一夕活用	評価	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					評価し	た根拠	·理由					
	(デ:	ジタル	の活用		現狀利目	ーーー 月できるテ	ニータがん	少なかっ	<i>t</i>								
		·EBP	'M)	=a; /ar	20.17(1.37	13 (C 0)	773	J 6/3 J	, , ,	= 11 /π 1	+ +0+hn	тш-					
	4/	^ =	ज्ज / ग ा	評価							た根拠						
	新	合组	半1団	В		・快適な歩行 歩行者の安全			するた	め、地域	特性や交流	通特性な	どの実情	に即し	た防護柵等	の適正配	置や歩道整
事	業実施									也域の詞	声を重視	すると	こととも	に、『	事故データ	タなどσ)客観的な
	・残され	た訳	果題	エビデン	ノスを踏ま	え、選定し	ノていく	必要があ	る。								
											判断	理由					
	今後の	取組	方針	現物	ド維持	高齢者ド	ライバー	-による !	事故の)増加値	頂向にあ	る昨今	、引き	続き	安全対策	工事を5	 実施し、市
			·	1		民の生命			- ~,,,	A.361	,	- 1 /				, _,	, . 13

					13.1	HO 1/X	.,,,			3.71	.р. пред	'					
1 基	本情報	R				担	当 課	都市つ	iくり i	推進課		関	係	課	事業計画	課、危機管	雪理課など
事	業	名	No.	1	立地適正	E化計画等	策定事業										
事	業区	分	新規	会 計	区分	一般	绘計	予 第			款	6		項	3	目	1
施	策体	系	13	都市基盤	公				戦	略的	施負	ᄱ	行	政改	革大綱	(1)	(3)
根拠	见法 令	等	都市再生	E特別措置	置法				•			•	事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年月	宴(年度)	単年			年	き〜継	続) 🗸	複数年	<u> </u>	R6	年度~	R7	
					1,227)				1707						
			・実施内	<u>容</u>	2 ¬>0° 6	1 +×+n-+-+	はいた ナッチッ ・ ノ	\\\\ \		h A -	11 18 54	>./lat= 1	-7	` + 7 <i>/</i> -	ナウングスの	☆>₩+> \ > →	が取る土力
事業	業 目 的 実施效	り・	る中、持続	可能な都で	市経営を可	能にする必	必要がある#	とめ、立地	地適正化	と計画を	策定し、	今後の技	持続可能	な都市	注宅流通の何 「経営を見振 「進していく	st、社会約	経済情勢の
事 :	業 概体計員	要	トで持続可	可能な都市	空間の形成	を推進する	るため、立地	半う都市村 也適正化記	機能の計画を記	低下、公 策定する	;共施設(。	の維持更	新費用の	の増大	が懸念され	ることから	ら、コンパク
`	,, ,,	- /	事業の	の対象	生駒市民	引、事業者	Í						攻)	象数:	_	_)
						計画							取約	狙実績	Į		
			▶ 基礎調		の整理等				▶ ₫	基礎調		夏の整理					
				6,0	000千円						5	301 T	-円				
			▶ (仮称`)計画等分	ミ会議の開	見 催) (仮称)	計画等	定会議	の盟催				
	算年度の			報酬等		7千円				委員報			2437				
É	Eな取組		271	I IXEM 3							XE/11 13						
			 w	<u> </u>			_										
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	⅓委託・扌	旨定管理		負担金	全補助	金	その他	()
3 1	事業費・	財派	原内訳														
J =	<u> </u>	או ניא	<u> </u>		R5決算		R	R6予算3	現額		R	6決算	(見込)			R7予算	
事業	費(千円)			11377	0		(0) 375		297		0775		544		1(1)	9,287
J-//-	12委託									000				301			8,999
	14工事		負費											,			
	18負担金	補助	及び交付金														
	その他									297				243			288
財源	(千円)					0				297				544			9,287
	特定財	源							3,	000			2,	400			4,500
	市債																
	その他一般財								2	297			2	111			4,787
	一放約	까							٥,	291			٥,	,144			4,787
4 事	事業の原	以果	・評価														
Г	めざす状	熊目	実現に	ナニュエィ	· **	+r	7.A. ± 0.	100/11/	-	· TV = 1 -	- \44 .4 .4						
			美の成果)	本計画の	か策定に応	引ナく、部	会を3回	開催し	小谷 0.)検討を	と進め7	Ē,					
KPI						指	標1							指	標2		
1 (1 1		名(単位)		計		<u>- (A)</u> 合わせ検	討					計画領		<u>ホー</u> 合わせ検	討	
		目標															
		実績															
			· <u>··</u> 漬値の差														
	分につい	- 大 i ハて(領値の左 の理由														
行 某			改革大統		/ 評価)												
 11 ∓				評価	<u> </u>					≕(ボ)	た根状	心理由					
			意識		部会の開作	崔回数を精	査するとと	もに、委	託業者				責比較を	十分に	行い、費用	対効果の語	高い事業実
	(貸用刈	 别未,	財源確保)	В			補助金の流			保に努め	かた。						
	l⊨	的思	思考	評価						評価し	た根拠	l・理由					
			(の寄与)	В	地勢や交流	通網などの	本市の特徴	数を踏まえ	えて、「 <u>{</u>	生駒市ら	らしい」計	画となる	るよう検	討を進	めた。		
	A 144	~ 4	V 0 47611	評価						評価 I	た根状	l·理由					
			との協創 意見把握	рТІЩ			+	然の辛日	1m1= 4			2 生山					
	·民間	活力等	の活用)	_	R7年度0.	計画東走	時には市民	寺の息兄	比性性の								
			一夕活用	評価								L·理由					0
		バタル EBP	の活用 M)	Α	検討の初期	朝段階から	、都市計画	iGISデー ・土地取出	夕に将	来人口が	分布や防	災情報	等を重ね データを	、居住 ヨラス	誘導区域の 化して議論)検討につい している	いては分
		LDI	141/	評価	放りるレン	717 20	- CIC)建物	工工也//24/	てが正正			・理由	<i>-</i>	光へる	160 く 議論	00000	
	经经	҉∠≣	平価	рТІЩ						пщс	//C/JXJ/	<u>е жи</u>					
	下 心	\	Т-ІЩ	В	予定どおり	りであるた	め。										
	= *** +/	1 -			<u> </u>												
事	業実施			防災上6	の理由など	ごにより層	居住誘導 [区域から	外れ	る区域	につい	て、住門	え等の3	理解を	得る必要	がある。	
	・残され	いこ記	未起 ————————————————————————————————————			/-											
											判	断理由					
	今後の耳	又組:	方針	現場	維持	引き続き	5、関係各	課や識	者と旨	5見交換	ぬをl パ	て検討す	を進めて	T1,1<	0		
11						//// _	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	P-70							-		

					lad				ノノ 芋オ							
	本情				1	-			くり推進課			係				築課など
事	業	名		2					都市計画、			_				
_	業区			会 計	区 分	一般	绘計	予 算		款	6	_	項 	3	目	1
	策 体			都市基盤	<u> </u>				戦 略 8	り施 策	J			革大綱		(2)
		-	都市計画									事	務	区分		治事務
事	業期	間	単年	度(年度)	単年	度繰返	(年度~維	継続)ビ	複数年	芟(R4	年度~		年度)
2 事	事業の	概要	・実施内	容												
事業事業	€ 目 実施	的 ・ 効果	:						タとして公開							
事(全	業 概体計	· 要 画)	が改訂さな土地利	れ、随時見i 用を推進す	直す方針と [·] る。	なっており	、本市にお	直しであっ7 らいても都で	たが、令和4년 計画マスタ	年5月に奈 'ープランに	良県の「都 基づき、)	『市計』 用途地	画区域はなり	で整備、開 他区計画等	開発及び6 の見直し	保全の方針」 」を進め適切
			事業(の対象	生駒市民		<u> </u>						象数:)
			100€	# ~ # 7 + =		計画			100 S	+ 1 + 17 + = 1	本独立	取組]実績	į		
			①R6条1	牛の都市計	「凹决疋					‡の都市計 E駒テクノ:		5				
	算年度 Eな取締			牛の都市計 系るGISデ 2					▶ 学研生②R7案件	E駒テクノ: ‡の都市計 比生駒駅周	エリア南 ·画手続き					
				条案件の準 高山地区第					③R8以降	峰案件の準	備					
	= ×114 - 11			施手法	直接	実施] 委託・	指定管理	負担	金・補助会	金 ✓ そ	の他	(職員	による)
3 🗦	美美	• 只了》	原内訳		R5決算			R6予算現	1岁百	D 6	5決算(見	1		1	R7予	· 笛
事業領	費(千)	円)			NO次异	4,372		NO J/异少	2,608	N.C)	改之)	0		V / J,	拜 2,608
子人	12委					4,372			2,608				0			2,608
	14I					•			-							
			及び交付金													
財酒(そのf (千円)					4,372			2,608				0			2,608
	特定					4,372	1		2,000				- 0			2,000
	市債															
	その作					4.050			2 (2 2							0.400
	一般	財源				4,372			2,608				0			2,608
4 事	事業の	成果	ŀ•評価													
	めざすね								句け、都市	計画審議	会への記	咨問や	奈良	県との協	議、住	民への縦
寄与し	したこと	(事	業の成果)	覧等法的	り手続きる			0								
KPI			//			指	標1						指	漂2		
	指		単位)			-	_						-	_		
		目標														
		実績														
			績値の差 の理由													
行 某			な革大統	 郷に甘べ	く証価)											
117 —				評価	<u> Татіщ/</u>				評価	した根拠	·理由					
			意識 ·財源確保)	В					たため、委	託料が発		かった	が、1	郭市計画:	決定に	向けて都
				評価	市計画署	F議会を閉	開催回数	を精査し	<u>たうえで開</u> 証価	<u>間催した。</u> した根拠・	. 理由					
		目的原	思考 Nの寄与)		□ 〒\-	のわぎナ	舌か 切	<u></u>	<u>評価</u> 定までの			1144	z – '	L+1/+-	-	
	(他牙	マロ信/	((()))	В	宗'国C	の協議を	里は、部	川山田世次				進め	<u> </u>	こかできん	/こ。	
			との協創)意見把握	評価						した根拠						
			等の活用)	В	法定縱寬	10回える	\: 聴会等	を開催し	、市民から			を都計	番に	報告した	-0	
			一夕活用	評価						した根拠						
	(7	・EBF	vの活用 PM)	В	都市計画	画決定に向	句けた資	料として、	GISによ	る地図デ	一夕作成	はなど	を活	用した。		
				評価					評価	した根拠	·理由					
	i i	総合語	評価	В	都市計画	画決定時期	期が次年	度となっ	たが、概ね	予定通り	手続き	ま進ん	でい	るため。		
	業実施・残さ								区について 新旧住民	間や世代	間で価値					いることか。
	^ /*· ~	Te/-	-	TO	.ν.μ.1+ 					判断	理由					
-	今後の	1 X 社	.力針	現り 	(維持	引き続き	5、奈良県	県や関係語	果と連携し	て進めて	し 1<。					

				令和	16年度	アクショ	ョンプラ	ン 事業	評価シー					
	本情報				-		住宅課		B	関 化	系 詪	広報広耶	志課	
事	業名		3	中古住宅										
_	業 区 分		会 計	区分	一般	会計	予 算	費目	款	6	項	1	目	2
-	策体系		都市基盤	<u> </u>				戦略的) 施策	J	行政已	女 革 大 綱	(1)、(2	2)、(4)
	业法 令等	₫									事 務	区分	自治	事務
事	業期間	単年/	度(年度)	単年	度繰返(年度~継	続) 🔽 複	数年度	E(R7	上 年度~	9	年度)
つ	事業の概要	重•宝施内	突											
事業	# 未り似る 養目的 :実施効果	空き家を	E含めた中 できる。	中古住宅の										
事 (全	業 概 要体計画)	業者等と	≤連携した		する。			・賃貸化の	支援まで、 	中古住			つながる!	収組を事
		事業の	が対象	主に空き		1、利活用	者	T			(対象数)
		⇔ +⇔×	-	当初記		-to 1.4.0 −	C [[]	⇔ +⇔×	マルルー		取組実			
	算年度の Eな取組	(取扱目札 「恋文不動 各種相談 ▶空き家札 ▶オンライ ▶中古住	標:18件) 動産」によ む・事例発(相談(開催 イン移住相 宅リノベー	る空き家の 信 322千F 記6回))活用促う 円 の発信(進 1,851 1件)	千円	(取扱:16 「恋文不重 各種相談 ▶空き家林 ▶オンライ ▶中古住宅	6件、成約: 加産」の特認 ・事例発信 目談(開催: ン移住相談 ミリノベーシ	13件) はサイト校 365千 10回、村 ((15件) /ョン事(構築 52 円 目談:31 別の発信	件)		
		事業実	施手法	✓ 直接乳	東施 「、	√ 負担会	金·補助金	\(\frac{7}{2} \)	D他()		
	- W		132 3 121				旨定管理		II 1111111111		710 (
3 4	事業費・財	<u>源内訳</u>	Г	ロに油体			中 五	-) / \h		_	DDマケ		
古光	弗/イm\			R5決算	7 400	.額	ŀ	86決算		1	R7予算			
争来!	費(千円) 12委託料				7,489 5,224			5,976 2,379			1,60 ²			7,562 5,227
	14工事請				J, Z Z T			2,319			1,04	<u>'</u>		3,221
	18負担金補助				2,000			3,000			500			2,000
	その他				265			597			63			335
財源	(千円)				7,489			5,976			1,604			7,562
	特定財源				2,423			100			9()		1,741
	市債 その他 一般財源				5,066			5.876			1,514	1		5,821
	•				3,000			3,070			1,51			3,021
	事業の成果		T											
寄与し	めざす状態」 したこと(事			炎業務の実 良質な中さ	ら住宅を	流通させ			を家の利活	用を促			別化を予防	方すると
KPI		/ \\ / \ \		- °	指		/IL //=\				指	[標2		
	指標名 目標			ノフツト		双扱件数(8	(件/年)							
	実統					<u> </u>								
	目標値と実分について	績値の差		 この空家調 亥年度内に	査で把握	した空き		旨には、						
仁					, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	7 0/2/2	-070							
1丁平			神に奉 ノ 評価	<u> </u>					した根拠・ <u>エ</u>	₩由				
	コスト(費用対効果		В	型 空き家流通	 i促進プラ	ットホーム	 は、市の財					ーニー・	 、・定住に繋	 ぎがった。
		m *	評価					評価し	ノた根拠・ <u>エ</u>	里由				
	目的 (施策目標		В					が成約した。	また、空き家		ニーズの均	望加に対応し	、相談会を	4回追加
				で開催する	など、空き	を家の流通	につながる	取組みを実	施した。 った根拠・ヨ	m.th				
	多様な主体 (市民等への ・民間活力	の意見把握	評価 B					7業種8団体		者)と連	携し、空き	家の流通促	進に取り約	 且んだ。ま
	デジタル・	データ活用	評価						ノた根拠・ <u>エ</u>					
	(デジタ) ・EB		В	各種制度の者の希望に				実施した。			ベオンラ	インで実施、	空き家相談	がは、利用
	<i>1.1</i> 1	=== /==	評価						ノた根拠・ <u>エ</u>					
	総合	評価	В									当該年度内にの事業の成果		
	等実施上(・残された			有者を対象と るため、定期										

144

判断理由

生駒市では、高齢化が急速に進行しており、今後空き家の増加が予測されるため、定期的に空き家調査を実施し、積極的に所有者へ施策を周知していく必要があるため。

今後の取組方針

拡大

1	基本	情報	Ī					担 当 詞	果	住宅課				関	係	課	建築課		
事	美	Ě	名	No.	4	マン	ノショ:	ンの管理適正化	推道	進・賃貸	洪同	住宅(の流通促	進事業					
事	業	区	分	継続	会	計 区	分	一般会計		予 算	費	目	款	6	J	頁	1	目	2
施	策	体	系	13	都市	基盤					戦	略的)施 策	J	行I	ひ 改	革大綱	(1)、(2	2)、(4)
根	拠法	去令	等	マンショ	ンの管	理の適	正化	の推進に関する	法征	聿	-				事	務	区分	自治	事務
事	業	期	間	単年	度(ź	F度)	□ 単年度繰返	(年度	き〜継	続) 🔽	複数年度	₹(R4	年度~	9	年度)

2 事業の概要・実施内容

	分譲マンションの適正管理を推進することにより、管理 同住宅の流通を促進することにより、新婚世帯等の転	里不全な状態になることを予防することができる。また、賃貸共 入の受け皿を充実させることができる。
事業概要	築40年超の高経年マンションの急増に備え、マンション管理 がる取組を実施する。 また、賃貸共同住宅においては、所有	適正化推進計画を策定し、管理計画の認定、管理水準の向上等につな 者に改修プランを提案するなど流通を促進する。
(工作时四/	事業の対象 分譲マンションの管理組合、賃貸共	同住宅の所有者等 (対象数:)
	当初計画	取組実績
	賃貸共同住宅の流通促進 1,320千円 ▶流通促進策の実施支援	賃貸共同住宅の流通促進 1,254千円 ▶流通促進策のチラシ作成・配布、所有者ヒアリング
決算年度の主な取組	分譲マンションの管理適正化推進 3,768千円 ▶マンション管理計画の認定 ▶マンション管理セミナー・相談窓口(目標10件) ▶マンション訪問調査・助言(管理実態把握5件) ▶パンフレット・基準適合チェックシート作成・配布	分譲マンションの管理適正化推進 3,621千円 ▶マンション管理計画の認定(3件) ▶マンション管理セミナー・相談窓口(15件) ▶マンション訪問調査・助言(管理実態把握4件) ▶パンフレット・基準適合チェックシートの作成・配布
	事業実施手法 🗸 直接実施 📝 委託・指定管理	□ 負担金・補助金 □ その他()

3 事業費·財源内訳

	- NIC 1/100 EV 24/17/1	R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	5,049	5,088	4,875	343
	12委託料	4,950	4,840	4,719	
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金				
	その他	99	248	156	343
財源	(千円)	5,049	5,088	4,875	343
	特定財源		3,520	3,534	
	市債				
	その他				
	一般財源	5,049	1,568	1,341	343

4 事	事業の成果・評価				
	かざす状態」実現に したこと(事業の成果)	良好な住 ることが ⁻	宅・住環境できた。ま	の形成に向け、マンション管理計画の認定 た、住まいの選択肢の充実に向け、賃貸‡	E、セミナー・相談会の開催、訪問調査など適正管理を推進す は同住宅の流通を促進する取組を進めることができた。
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)	-	マンション	管理セミナー・相談利用(件)	マンション管理状況の把握
	目標値			10	5
	実績値			15	4
	目標値と実績値の差 分についての理由			ン管理組合に適正管理啓発チラシの送 開催を周知した。	訪問調査・助言の対象マンションに、管理状況を把握しているが管理不全の可能性のある物件も追加したため。
行革	評価(行政改革大網	岡に基づ	く評価)		
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由
	(費用対効果・財源確保)	В		の適正管理を推進する各取組は、令和6年月 りながら、企画・実施した。	度から開始するため、国土交通省の補助事業を活用し、コンサル
	目的思考	評価			した根拠・理由
	(施策目標への寄与)	В		管理計画認定制度開始1年目から3件の認 など適正管理の意識を高めることができた。	定を行った。また、当初の想定より多くの管理組合がセミナーに
	多様な主体との協創	評価		評価	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	マンション	管理士などの専門家団体と連携し、セミナ-	-・相談会、訪問調査・助言を実施した。
	デジタル・データ活用	評価			した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	В		助言の対象マンションを令和4年に作成した 申込をHPの申込フォームで受け付けた。	こ実態調査データベースに基づき選定した。また、セミナー・相談
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	В			別知し、多くの管理組合に参加いただくとともに、3組合の管理計など、今後の事業推進の基礎を築くことができた。
-	業実施上の課題 ・残された課題		理状態でな 支援が必要		、訪問調査・助言を実施した後も継続的なフォローアップ、
			·		判断理由
	今後の取組方針	現状	維持	令和6年6月に策定したマンション管理派	適正化推進計画の方針に沿って取組を実施する。

	.	_			•	10	14 =	m />				ır		地域コミュ	ナイ推進:	架
	本情				T	-		住宅課			関	係	課	画課等		水子米 町
事	業	名		5		'ウン再生			弗 ロ	± <i>h</i>			Ŧ	1		
	業 区		11-17-5	会 計都市基礎	区分	一般	绘計	予 算	費目	款 り施策	6	_	<u>頃</u>	<u> </u>	目 (1) (2
	策 体 』法 ³			40円基置	<u> </u>				料 哈口	1) 他 束	7	事	務	革大綱 区 分		2)、(4) 事務
	<u> </u>			庄/	年度)	□出在	- 床紀に	/	年度~組	业 <u>(</u>	复数年度					
			<u> </u>	(平良)	□ 早平	度繰返	(平 及~和	型元 □ □ 1	を奴牛は	₹(R4	年度~	8	年度)
			・実施内	_												
事業事業	美目 実施	的・ 効果	入居開始 高齢化3	台から40 を等が高し	年以上がい住宅地	経過した 等を対象I	ニュータ に、転入	プウンでは、 や定住を(急速な高足進し、ま	齢化や空 ちとして <i>0</i>	き家の5	増加た 謝を	が懸念高める	まされるた る。	め、空き	家率や
事(全	業 根体計	要画)	によって	、子育て	世帯の転	入・定住る	を促進し	通促進や 、空き家の	増加を防		いないス	.ペー:	ス等(の有効活用	用を促進	
			事業(の対象			比率等が	高い住宅	地				象数:)
	算年度 Eな取れ		▶空き家 ▶空き家 ▶未利用 ▶未利用	₹実態や況 ₹の流通の 目空間等の	宅地 99 流通状况排 足進 D活用促进 D活用事例	巴握	件)		▶空き家 ▶空き家 ▶未利用 (good	萩の台住 [®] 実実態や流 での流通促 引空間等の 引空にと i ークショッ でイベント	通状況 進(空き 活用促 活用事(koma: /プ等	87千 把握(家施 進(住 例発(1件、	新規 策の 計画 計画 計画 おいまた おいまい おいまい おいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい	空き家: 6 周知、助詞 きイベント 会だより	言) ~2回開作 :2件)	崖)
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	✓ 委託・	指定管理	負担	金•補助金	È	の他	()
2 4	巨型基	· . 日 ↓ ∛	 原内訳		_											
7 3	ド木 貝	, · K4 //	<u> </u>		R5決算			R6予算現	額		R6決算	Į			R7予算	Ī
事業	費(千	円)				7,169			993				987			988
		託料				7,169			993			ç	987			988
		事請!														
			及び交付金													
日が百	その(千円)					7,169	1		993			-	987			988
10 IVIV	特定					2,693			773			-	70 1			700
	市債					,										
	その					4 457			000							000
	一般	財源_				4,476			993			٠	987			988
4 事	事業の	成果	•評価													
	めざす							家施策の周							を促進した	こ。また、
		こ(事業	美の成果)	自宅の駐	車スペース	ス等を活用	したガレ	ージマーケ	ットを開催	するなど魅	力的な活	動の	場を創	削出した。		
KPI							標1						指	漂2		
	指		単位)		対象	象地内の		文(件)								
		目標					29(件)									
		実績				29	(件)									
			績値の差 の理由													
<u></u>			改革大統	 タル 甘へ	と証価)											
11 11				神に奉っ	/ <u><計価)</u> 【				■ 電子	した根拠・	理由					
		スト			子育で世	帯の転入・気	定住に繋が	がる取組を令	和5年度か	ら継続して	実施し、3	とき家	6件が	解消した。	また、グリ	ーンスロー
	(貸用)	· 小幼未,	·財源確保)	В	モビリティ	導入事業と	と連携して	て住み開きイ	ベントを開作	崔するなど、	効率的·	効果的	に事	業を実施し	た。	
		目的思	思考	評価					評価	した根拠・	理由					
	(施急	き目標/	への寄与)	В	良好な住	環境を形成	するため	、空き家の長	長期化予防に	に向けた取組	を行った	Ē.				
	多様	な主体	との協創	評価					評価	した根拠・	理由					
	(市)	民等への	意見把握 (学の活用)	В	令和4年度を推進しる		た住民アン	ンケートやワ	一クショッフ	プの結果に基	いき、ガ	レージ	ブマーク	アットを開作	崖するなど	住み開き
			一夕活用	評価	を推進し	<u> </u>			評価	した根拠・	理由					
		゙゙ジタル	の活用	В	空主家宝	能や流涌州	・	は、水道情報				- 夕バ・	ースを	·活用した		
		·EBP	M)		エこか人	EV 1 NILACIPY	()(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i	IOT THE				<i></i>	7.6	./[/]]0/28		
		総合詞	亚征	評価	*+6**+	古典ルカギ	*E00/++	カラテナバル・		した根拠・		# F	661 − 	カキウクング	孟/□′/+ !-™	D11607
	,	יטי 🗀 🗗	тТІЩ	В		高齢化率か の現状維持		超えており、! た。	ピさ 豕の増	加い予怨さ	11の公か	、里点	다기(그	こさ家の流	世促進に即	Xソ組み、
事	L 業実度 ・残さ				が高く、空	き家の増加	加が予想	<u>。</u> される状況 分野と連携し						い取組みが	必要。また	こ、住宅施
	-,,,,,	, С д	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			1				判断						
	今後の	取組	方針	現場	(維持	対象地の	高齢化率	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	宅地と比較			き家(の増加	ロが予想さ	れるため、	、引き続き

					131	<u> </u>				于不	и і іщ –	'					
<u>1 基</u>	基本情報	R				担	当 課	住宅課				関	係	課	入惟他東語 M課、FM:	米、生活文! 推進室	友誄、 他設
事	業	名	No.	6	市営住写	学長寿命	补計画	推進等事	業								
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	6		項	4	目	1
施:	策体	系	13	都市基盤	竖				戦	略的	施策		行	政改	革大綱	(3	3)
根扱	见法 令	等	住宅確保	来要配慮	者に対する	る賃貸住写	宅の供給(の促進に	関する	る法律	1		事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年	 度(年度)	単年	度繰返(年度	き〜継続	続) 🗸 ネ	复数年	度(R4	年度~	12	
				(1 127)			· 11E	.,,,						
		-	• 実施内		#\#\ -	- VI- FI	1 士兴众	ウ笙の目	世日九七	1ナパギロ	□ ≠ ເ	- L+ I	- 2	/ 	平1-191士	7 夕 任 生 川	中の批准
	美 目 的		により、	住宅確保	推進する。 要配慮者	の居住の	安定確保	を図る。									受の推進
事 (全	業 概体計 [要 画)	また、住	まいの確	基づき、各 保に配慮	が必要な	:人の入居	支援に関					居住	支援を	行う。		
			事業(の対象	市営住宅		保要配慮	計							市営住宅	等84戸)
						計画							取約	且実績	į		
			市営住宅	2等長寿6	命化	· + - - -		k=/. //	市営	住宅	等長寿命	化	- 1+ -	- 12 -		.a u — 	_
			▶中宮元 工事	洲任宅	3.C.D.E		設備機能 2.000千		▶1†.	宮兀岬	則任宅B・	C.D.	ヒ裸は	ク授気	設備機能 11,24		₽
				まに関する	る制度の排		.,000 1	1]	居住	主 支援	に関する	制度の)推進		11,24	<u> </u>	
	算年度(する情報の										のHP「住	まいの確	保に
E	Eな取組								お	困りの	方へ」で	市営住	E宅の	入居	者募集や!		
									ーテ	ィネッ	卜住宅等	に関す	る情	報を発	発信)		
			+ ** +	4 V					_								
			事業美	施手法	✓ 直接	実施	⅓委託・拮	旨定管理	Ш	負担金	・補助金	: [] ₹	の他	()
3 ≣	事業費・	財派	原内訳														
		71 J 41	<u> у у ру</u> (R5決算		R	86予算現	額			R6決算	算			R7予算	
事業	費(千円)				70,193				000				242			22,913
	12委記					4,554			-								
	14工	睛	負費														
			及び交付金														
D LVD	その他					55,639				000				242			22,913
財源	(千円)	\r=				70,193				000				242			22,913
	特定財市債	源				32,980			11,0	000			5,	510			10,310
	その他																
	一般財					37,213			11 (000			5	732			12,603
						57,215			11,0	,00			٥,	152			12,005
<u>4</u>	事業の原	<u> </u>	<u>・評価</u>														
	めざす状				計画に基づ							」、建物	の耐力	久性及	び居住性を	を向上させ	た。ま
寄与	したこと	事業	美の成果)	た、入居	支援に関す	る情報を	発信するな	ご居住安!	定確何	呆を図っ	った。						
KPI						指	摽1							指	漂2		
			単位)														
		目標															
		実績	値														
			漬値の差														
	分につい	ハて	の理由														
行革	<u>評価(1</u>	亍政	改革大約	綱に基づ	(く評価)												
	٦.	スト	意識	評価						評価し	た根拠・	理由					
			財源確保)	В	工事費の	高騰を踏ま	え、換気設	備設置個所	等を	精査して	つつも必要	な換気	量を確	保し、	居住性の向	上を図った	<u>-</u>
				評価						並価1	た根拠・	理由					
			思考		E + 6 //-	=1====	· / - = + d	3+61 T.I.D.								±+n +	4
	(施策)	∃標^	への寄与)	В	長寿命化	計画に基つ	く工事を実	『施し、耐久					ドた、 人	、居文孫	見に関する情	育報を発信	した。
	多様な	主体	との協創	評価							た根拠・						
			意見把握 の活用)	С		ィネット住宅	として登録	まされた物作	牛の情	報や居	住支援を調	実施する	法人	として扌	旨定を受ける	た法人の情	報を発信
				評価	した。					並価1	た根拠・	理由					
			ータ活用 の活用				歴、実態調	直結果等の					長寿命	化計画	画に沿って個	多繕工事を	計画的に
		EBP		В	進めてい										,		
				評価						評価し	た根拠・	理由					
	絲	合語	平価	В				を財政負担								保を図るた	きめ、公営
				В	住宅の適	正管理に加	え、民間の	セーフティ	ネット	住宅や	居住支援法	と人の情	報発信	言も行っ	った。		
事	業実施				されている			ィネット法の	り施行	テに伴い	、新たに対	出まる居	居住サ	ポート	住宅の認足	 定事務へ <i>0.</i>	対応や
	・残され	た訳	果題 ————	制度等の	情報発信の	の強化が必	要。										
											判断理	里由					
•	今後の国	又組 :	方針	現状	(維持			等を踏まえ			の適正管理	即と問	のセ-	ーフテ	ィネット住	宅、居住支	援法人等

									/ ノ サオ		'					
1 基	本情報	Z				-		学研推			関 化	系	課			
事	業	名	No.	7					向上事業							1
	業区	分		会 計		一般	2会計	予 算		• • •	6		頁	3	目	4
	策体	系	13	都市基礎	验				戦略的	り施 策	J			革大綱		(4)
	息法 令											事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年	度(年度)	単年	F度繰返(年度~総	£続) ☑	複数年度	ξ(R6	年度~	R9	年度)
2 事	事業の概	既要	・実施内	容												
事業	美 目 的	5 •			辺地域への	N 화상 /# 수뉴	田の沈な									
事業	実施効	力果	子 切 同 1	山地区内:	771678///	ク金浦が	未以放汉									
事	業 概体計画	要							を目指し、均 つながる公							
`	71 PI P	- /	事業(の対象			2工区の対	地権者、周	辺住民、烈	奈良先端さ			象数:)
						計画							実績			
					の価値向					辺地域の				Ē		
	算年度の		▶ 学識網	経験者等	化(構想案 謝礼・食 29千円	糧費	2,000	TH		ジの具体化 圣験者等				千円		
主	Eな取組															
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	√ 委託・	指定管理	√ 負担:		,	 D他	()
2 5	5 *** #	D-125								11132311		, ,0	`			
3 =	事業費・	共1次	7.60万		R5決算			R6予算	-	R6	決算(見	ነ አ)			R7予算	
事業	費(千円)			M#()[1 91		N / J' 71	4,180						
	12委託	眯				0			2,029				162			4,180
	14工事															
			及び交付金						29				29			
財酒	その他 (千円)					0	1		2,029				<u>29</u> 491			4,180
יניוו ניא	特定財	源							2,028				190			0
	市債															
	その他一般財	भक्त							1				1			4 100
	一般則	까							I				ı			4,180
4 事	事業の原	果	<u>・評価</u>	_												
	めざす状 したこと								で活動されて 、意見集約		関係者と	、ワー	-クショ	ョップを2[回開催し、	価値向上
KPI		十五	(八)以未)	に必安/8	、物の別別		標1	<u>ещОпи</u>	、总允未初	を図りた。			指标	亜つ		
KPI		名(単位)			1日	信示						1日代	示乙		
		目標														
		実績														
	目標値な		責値の差 の理由													
行革	評価(1	<u></u> 丁政	改革大統	剛に基っ	づく評価)											
	٦-	ストi	意識	評価					評価	した根拠・	理由					
			財源確保)	В	ワークシ	ョップの	開催回数	て、内容を	精査し費用	可对効果 <i>0</i>	高い事	業実	施を	ふがけた。	,	
		的思	8 老	評価					評価	した根拠・	理由					
			ぶち ふの寄与)	В	今後の学研高	高山地区第2	工区事業との	連動を想定し	たうえで、様々	な立場の関係	者と開催した	ワーク	ショッフ	プを通して意見	集約を図った	້ະ.
	Ø₩+\	÷#	トの物創	評価					評価	した根拠・	理由					
	(市民等	手への:	との協創 意見把握	В	宣山 地区	7 国初州		<u></u>	方にワーク			\ <i>†</i> - <i>†</i> -	** 7	 等目	. <i>†</i> =	
			の活用)		ышчек	21回火2267	5,0713K Y	<i>-</i> СТ-2007		した根拠・		1/ _ / _	- C \ /		<i>07</i> 20	
			ータ活用 の活用	評価	÷.1.106=			Ππ -/ ι.Ι <u>-</u>				-17				
		EBP		С	尚川地区	ない問う	世地域(/)		特性データ			が投る	: 美雁	いた。		
	2.15		T. / T.	評価		li I · · · · ·	#	£ -		した根拠・		10 1-	. .			_ , _
		合 記		В					プを開催資料を具体					息見集約3	を行った。	ことで、
事	・残され			学研高	山地区第2	?エ区へ() 	の施設立は	地に向け、	. 各エリアの			せた	検討	が必要。		
	△쏞△□	7火口-	七公上	+-	; _	216≠+	₩₩₩₩	7日1710年	2 太白生	判断		3 75 4	品ナナ	73-00	≃ 7π ≓ .ι.	ᄲᄱᅙᄑ
	今後の耳	人和丑人	/]亚[^{1),}					R、奈良先達 つながるケ							

					15.1					~пщ-						
	本情報	<u>Z</u>				•—		学研推设			関	係	課	建設部、	都市整備	部等
事	業	名	No.	8	学研高山	」地区第2	2工区まち	っづくり事	業							
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費目	款	6		項	3	目	4
施	策体	系	13	都市基盤	<u>유</u>				戦略的	的施策		行	政改	革大綱	(1)	(4)
根拠	』法 令	等	関西文化	上学術研究	克都市建設	设促進法			-	·		事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年月		年度)		度繰返(年度~約	⊮続) ✓ 1	复数年	<u>度</u> (R5	年度~		年度)
	= 3 44 6 10	W		(
			•実施内	_												
事業事業	美目 的 実施效	り・ り果	化学術研	肝究の発展	長及び我 が	が国の経済	斉発達に	寄与する	0	の基盤とな						
事(全	業 概 体計画	要	つつ、段階事業化を	皆的整備に。 図る。また、	よる早期事 事業化に3	業化を目指 Eるまでの「	し取組を選 間、市所有	計画等の変 進める。併せ 地の適切な	せて、地権者	とともに事業 6の意向集約 5行う。	推進会 ·合意形	成に向	けた耳)もと、地格 以組を進め	電者組織と見ることで地	型携を図り 区全体の
			争まり	リ 刈 家	学研高山		工区						象数:			
			△車業/	と批准業業	<u> </u>	計画			○重業ル	推進業務等	2 1		実績			
				IIEE采7 里営支援	⊅ √ 3,4	.07113			▶ 会議選	営支援等			J			
			▶ 都市詞	計画変更	手続き(道				▶都市計	画変更手線 化財調査(き(道)	路) 羽鈿\				
油 1	算年度0	0			查(生涯学		1 000-	- m	◇地区内	16的調宜(土准子i 設基本	当味 <i>)</i> 計画	28.3	07千円		
	よな取組				K施設基本 豊等 11,			 	▶ 下水道	重(汚水)及て	び上水道	基本書	画作	成(うち18	8,473 1 F	円)
			◇北部址	划整備	ョマーロ, 事業推進負	102 13 負担金 9	.008 1	H	▶ 雨水排	i水基本計画 持管理費等	□作成(↑ 5 11 6	うち9, マヘエ!	834 - =	干円)		
			VIDA		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		◇北部地	:付官埕貝司!域整備事業	推進負	70 II 担金	7,91	8千円		
													.,			
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	፟ 委託・扌	旨定管理	✓ 負担	金・補助金	È 🗌 ₹	の他	()
2 =	5 *** #	B+32	5 do =0													
3 =	業費・	!!!	7.60万		R5決算			R6予算		D6	決算(5	וגים			R7予算	
車業:	費(千円	1			NO次异	6,692			54,657	K0	次昇い		339			29,060
于木.	12委託					0,092			45,452			43,2				19,900
	14工事		負費						0			10,2	0			0
			及び交付金			6,639			9,000			7,	910			9,000
	その他					53			205				176			160
財源	(千円)	\ 				0			54,657				339		2	29,060
	特定財市債	源_							34,416			31,6	5'/'/			333
	その他															
	一般財								20,241			19.6	662		7	28,727
									,			,				
	事業の 原			ı												
	めざす状		₹現に ≰の成果)							進めるとともに に掲載し、市民等				員会4回)を閉	開催し、地権者	の合意形成
		十	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1С4Х/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	尹 未正是五郎			7710 20.016	71. Z. ()	C194%O(1926	. (0) IHH	XXH CI		= 0		
KPI		5夕 (単位)		+44-	指表の会		0/)					指	宗2		
		<u>:石(</u> 目標			ηυ	権者の会	<u>:参加率(</u> '4	%)								
		実績					'3									
			-				<u> </u>									
	日標値の		責値の差 の理中	相続等に	こより地権	建者数(母	数)が増加	加したたと	か。							
仁士	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			 に基づ	ンシー											
1J 半				神に奉 ノ 評価	<u> </u>				■ 電子	した根拠・	理由					
			意識			±± ^∕⊂ T⊞ (= ±)DI=#1%=								
	(貸用刈)	沙米・	財源確保)	В	工地の維	持官埋に	かし、状	況に心じ(営による管		つた。				
	l 🛭	的思	思考	評価					評価	した根拠・	理由					
			の寄与)	В	来年度以	降の円滑な	よ事業実施	をに向け、均	里蔵文化財	調査などの	関係機	関との	連携を	を図った。		
	多様か	主休	 との協創	評価					評価	した根拠・	理由					
	(市民等	手への	意見把握	В	市民等を対象	ままな ままま かいしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	会を開催し事	業の重要性の	認識を深める	とともに、アンゲ	ケート調査	を実施し	市民意	向の把握を行	int.	
			の活用)		11200 - 2732	711 = 315/14001733				した根拠・			-1-24/20	7-7-7-2-2-1-3	, - , - 0	
			ータ活用 の活用	評価	造成イメ-	-ジを視覚	的に捉え	るため. 地		受員会で南		3D7	- x -	・ションを日	まいた説明	により、
		EBP		В		の意識醸品						.007	_,	<i>7</i>	13 0 17 0 17 18 17 1	1000
				評価					評価	した根拠・	理由					
	総	合訂	平価	В						基本計画の に向け着実					進めるとと	もに、地
事	業実施 ・残され			地権者の	つ合意形成	 戊、流域下	 水道へ <i>0</i>	 D接続、水	——— 道一体化	後の水道	施設整	_ 備費 <i>0</i>	 D負担	<u> </u>		
										判断	理由					
4	今後の耳	双組之	方針	現状	維持	学研高山図りつつ	地区第2二、段階的整	E区マスタ 備による!	ープランに 早期事業化	基づき、事 とを目指し取	業推進され	会議等 進める	の助言 。	言のもと、;	地権者組織	と連携を

		_															
	本情				T.V			学研推				関	係	課	建設部、	都市整備	部等
事	業	名		9				うづくり事			41			_			
_	業 区		111111	会 計	<u>区分</u>	一般	绘計	予 算				6	_	項	3	目	4
	策体			都市基盤		-n./m.\4-\-			戦	略日	り施 策		-		革大綱	(1)	
	法分				常都市建設					<u></u> /	1,4,4		事	務	区分		事務
事	業期	間	単年	塻(年度)	甲年	E度繰返(•	牛店	き〜総 しょうかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	<u>₭続)</u> ☑	複数年度	₹(R5	年度~	R9	年度)
2 事	事業の	概要	・実施内	容													
事業事業	€ 目 ∶実施:	的・ 効果	産業施設	受誘致に。	よる新たな	は雇用の創	割出と税	収の確保									
事(全	業 概 体 計	要画)	した南エリ	ノア(先行個	別地区)の	事業化を図	[[るととも]	推進会議やこ、南エリア	》事業 '地権	アドバ 者の意	イザーから向集約・合	意見をいた。意形成に同	句けた	取組	、全体地権を みを進める。	者組織にお	
			事 業(が 対 家	学研高山		エリア							象数:)
			「RS補正	(繰越分)		計画			[D	5から!	繰越分】		以 和	1実績			
	算年度 Eな取約		◇基本計▶ まちず【R6】◇仮同意◇準備組	画作成等 でり協議会 画作成 取得 9,4 合設立 1	19,690 達選営支援	等]				基本計i まちづ 基本計 6】	無関係 画作成等 くり協議会 画作成 画素案作成	運営支援	等		千円		
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	☑ 委託・៎	指定管理	4	負担	金•補助金	<u>}</u> □ ₹	の他	()
3 事	事業費	・財派	原内訳												_		
					R5決算			R6予算			R6	決算(見				R7予算	
事業	費(千F					0				370				919			7,899
	12委 14工								55,	370			۷۵,	919			17,599
			スタ D及び交付金														300
	その作	<u>b</u>															
財源	(千円)					0				370				919			17,899
	特定則	才源						:	55,3	370			28,	919			9,700
	市債その代	h.															
		 才源														3	38,199
	世界の	出田	⋅評価				:										
	す来り めざす\			州梅老の	音向隹約。		に向けたB	 収組みを進	: xh 十·	幸る	東田淮供	組合た証	·	車業:	た田温に始	進せるた	め、車業
			業の成果)					以祖のを進 交換を踏ま						尹未	で口/月に38	正とうるん	が、尹未
KPI						指	標1							指	票2		
			(単位)		協議会	会参加率(室)(%)									
		目標					90										
		実績	值				31										
7-44	分につ	いて		を示され	こたため。	半う仮同意	意に、地格	産者が慎重	巨な半	判断							
行革			改革大統	7	<u>く評価)</u>					= ग्रा/==	した根拠・	珊曲					
			意識	評価		> + = 1,= ,	- + - = -	₩. ₩. ₩.				垤 田					
	(賀用メ	可効果	·財源確保)	В	国	ピを 財源 は	とする事業	業推進を[
	E	目的思	思考	評価							した根拠・						
	(施策	目標/	への寄与)	В	土地区區	1整理組織	合の設立	を目的に	、準備	莆組 合	た設立し	た。					
	多様	な主体	との協創	評価						評価	した根拠・	·理由					
)意見把握 学の活用)	В	地権者によ	る役員会や	事業協力者	省との意見交	換をi	通じて、	事業化に向	けた合意形	形成が	円滑に	進むよう取れ	組んだ。	
			·····································	評価						評価	した根拠・	·理由					
		ジタル	の活用	В	造成イメージ	で視覚的にお	足えるため30	ンアニメーショ:					意識醸り	大を図っ	た。		
		·EBP	/IVI <i>)</i>	評価						郵価	した根拠・	押由					
	糸	総合詞	評価	В	土地区画	整理準備網	組合を設」	ユするとと					化に	向けて	着実に取る	 組みを進め	かた。
事	L 業実が ・残さ			地権者の	つ合意形成	 戈											
	-,,,										判断	理由					
	今後の	取組	方針	拉	大	産業施設 を進めて		る新たな雇	雇用の	創出と			ため	、組合	設立・事業	認可にむに	ナ取組み

					13.1	10 113	×,,,,,		_	7-V	νи і іщ.	'					
1 基	本情報	B				担	当 課	学研推设	進課			関	係	課	建設部、	都市整備	部等
事	業	名	No.	10	(仮称)学	研高山	地区ゲー	-エリアま	ちづ	くり	業						
事	業区	分	新規	会 計	区分	——舟	设会計	予 算	費	目	款	6		項	3	目	4
	策体	系		都市基盤					戦	略的	,施 策			政改	革大綱		(4)
				1.学術研究		9促進法						-	事		区分		事務
	- / / 	間	単年		年度)		· 丰度繰返(在度	き〜総	(続) 🗸	複数年	_	R5			年度)
				`	+1×1				712	< n <u>u</u>	-11767	, ,,,,,,	1/2(113	112	11.7	1127
			·実施内 	<u>容</u>													
事業	美国的	り 力果 ——					創出と税り										
事 :	業 概体計	要 画)	つ、全体地	とを とれ とれ とれ とれ とれ とれ とれ とれ とれ とれ とれ とれ とれ	こおいて設!	定し、事業	備に向け、 化を図る。	また、次期化	売く次: 固別地	期個別 区地村	地区を事 権者の意[業推進句集約・	会議や 合意形成	事業アド なに向け	バイザーた けた取組み ^を)ら意見をい を進める。	ハただきつ
			事 業 (が対象			ートエリア							象数:)
			A 1/2			計画			^ +	- 1 - 1	 //- >	66 JV 76		狙実績		- AD + N	
				≤まちづく 運営支援	り協議会	設立					·画作成 ·運営支		35	,000	千円(R'	/へ繰越)	
	算年度(こな取組		▶基本計	画作成等		0千円					計画作成						
				施手法	☑ 直接	実施[☑ 委託・扌	旨定管理		負担:	金・補助	金 🗌	その他	()
<u>3</u> 事	手業費・	財派	原内訳	•							_		/=				
== **	走/イロ	1\			R5決算			R6予算		200	R	6决算	(見込)			R7予算	
争美	費(千円 12委詞					C)		35,0 35,0	000				<u>0</u>			12,500 12,500
	14工		自 書				1	•	55,0	000				U			12,500
			及び交付金														
	その他																
財源	(千円)					C)		35,0					0			12,500
	特定則	源							35,0	000				0			4,166
	市債																
	その他一般財																8,334
															<u> </u>		0,334
<u>4</u>	事業の	<u> </u>	·評価														
	めざす状 したこと		実現に その成果)		区第2工区の順 会を設立し、		・整備に向け、引 した。	事業推進会議や	や事業フ	アドバイ	ザーから意	見をいたた	ごきながら	、意向集	約·合意形成I	こ向けた取組み	りを進め、ま
KPI		(3.7				非	標1							指	漂2		
IXF 1		[名(単位)				会参加率							111	ホム		
		<u>. [</u>					70										
		実績				,	76										
			積値の差				状況が、当		り地権	者							
2-41	分につい					ことにつな	いがったたと	υ. ————————————————————————————————————									
1丁華				岡に基づ	<u>へ評価)</u> I					=177/20= ।	ンた根拠	ı, IM də					
			意識	評価			, <u> </u>	W-111/11 · -				点, 注用					
	(費用対	効果・	·財源確保)	В	国補助金	を財源	とする事業	ŧ推進を									
		l的!	 思考	評価						評価し	」た根拠	l·理由					
			い。 (の寄与)	В	土地区画	整理準	備組合設定	立を目的に	に、ま	きちづ	くり協調	議会を記	没立した	<u>_</u> 。			
	Ø +¥ +	· + #	レの物創	評価						評価1	Jた根拠	い理由					
			との協創 意見把握		ᄴᄷᅪ	マの日本	や事業化パー	L+ VA					++-	11/ctt +51	コンタノーン仕まり	トニ野の以外ノ	+"
	·民間	活力等	い で	В	地惟有によ	の仅貝云	\ ² 争未16/_	- (1) - (1)						וינו, אַנוּכּת	つ消に進む	ようなり組ん	J/こ。 ————
			["] 一夕活用 ·の活用	評価						評価し	Jた根拠	い埋田					
		EBP		В	造成イメー	ジを視覚的	りに捉えるた	め隣接地区(の3D:	アニメー	−ションを 	用いて、:	地権者等 ——	の意識	醸成を図っ	た。	
				評価						評価し	Jた根拠	l·理由					
	総	合語	评価	В			区の順次段階 を進め、まち [・]									 きつつ、意向	集約·合意
事	葉実施 ・残され			地権者の	D合意形成		_										
											判	所理由					
	今後の国	汉組:	方針	拡	大	産業施設を進めて	 没誘致による	る新たな雇	用の	創出と			図るため	、組合	設立・事業	(認可にむ)	ナ取組み

1 1	本情幸	2					担	· 当	課	学研推	- 推理			I E	関 (係	理	事業計画	前課等		
事	<u>\$</u> 44]]]	X 名	No.	11	学研		<u>12 </u>					業		T.	为 i	不	卟	学 木미片	山本寸		
	業区	<u>1</u>	継続	会 計		分		会計	_	予算				款	6		項	3	目		1
施	策体	系	13	都市基	盤						戦	略Ⅰ			J	行	政改	革大綱		(4)	
	』法 令															事	務	区分	自治	事	<u></u> 務
事	業期	間	単年	度(年	度)	単年	度繰	反(年	隻∼約	継続)	✓ 襸	复数年度	₹(R5	年度~	R9	年	度)
2	事業の根	要	・実施内	容																	
事業事業	美 目 的 実施效	力果	身近な生		-																
事	業 概 体計 [要	▶ 土地区區 り、身近な	画整理事業 注活や交	による 流を支	駅前 援する	広場や道路 る機能が集	格等の基 約され	盤	整備に加	え、「学	研高	施行の 山地区)土地区 図の玄関	画整理事 口」「北部	業に予地域	:よりま 或の拠;	ちづくりを 点」にふされ	進める。 Dしい、地域	域の顔	とな
			事業(の対象			駒駅北均	也区									象数:)
			【R5から絹	操越】		当初	計画				ľR	5から	繰越	1		以	且実績	Į			
					周査等第	業務 1	12, 100 千	円			\Diamond	上地区			調査等業	镁務	12, 1	100千円			
			◇都市計画	画変更手続: 理促進調査等	き 等 3.8	100=	£Щ				【R ◇ŧ	3. 都市計	画変	更手続	₹						
	算年度の こな取組		換地設計	準備·不動 機運営支援	産鑑定・	·組合詞	设立準備]< H	区画整 なんきん	と理(兄) 組織し	進調査 軍営支持	等 27, 爱、組合	077 没分·	7千円 · 事業	認可に向け	た各種調	杳	
	こっていた。		◇事業推進	重費 740 -	千円						(う	ち18	,474	4千円は	はR7へ繰	越)	ナハ	ر ا د اے ا د · س <i>ا</i> د			
				区事業計画: テ予定者の:		当 38	0十円					中心地	区事		会議運営						
			= * +	+	.		<u> </u>	7	- 11-						者の公募						
			事 兼 美	施手法	<u> </u>	直接	実施 🕒	⊴ 委託	€・指	定管理		負担	金·补	補助金	<u></u>	の他	()
3	手業費・	財源	内訳		ם בי	十年				D/ 3/	4			DCS	市ケノロ	`1\			D772	-	
事業	費(千円)			R5	<u></u>	0			R6予算		320		K6)	夬算(見		069		R7予算		974
5 ->/\.	12委計	眯										940					000				697
	14工事																				100
	その他		及び交付金									380					69				100 177
財源	(千円)						0				51,	320				_	069				974
	特定財市債	源									42,	989				21,	042				
	その他																				
	一般財	源									8,	331					27			15,	974
4 事	事業の原	 大果	・評価																		
	めざす状																	幾能が集積さ	れた拠点形成	を図る	5ため、
		事業	の成果)	立地に意欲	のある企	上業の動	かけった かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん		€Iこ、	今後事業?	けんら	する役割	割を担っ	つ一括業務	6代行予定	首を沢					
KPI		名(単位)		進備	- - - - - -	指 加入率(標1 ※仮に	司意	率)(%)						指	標2			
		目標			1 1/11	11/127		0	٠٥/١	<u> </u>	,										
		実績	値				8	30													
	目標値の分につい		責値の差 の理由	準備組を示され			半う仮同意	意に、対	也権	者が慎	重な	判断									
行革	評価(1	亍政	改革大統		ごく評	価)						=== /==	-1 -	⊥⊏i4bn i	·m -						
			意識	評価		A 104	IVE-V		ш. —	K114744 -4				根拠・ヨ	建田						
	(費用対	効果・	財源確保)	В	国補	助金	を財源と	こする!	事業	作進を	凶つ			Im Ibn 3	·m -l-						
		的思		評価		÷	± = 0 4 4 a							根拠・3		1 %44 7	The same	- 1hn			
	(施策)	目標へ	の寄与)	B ===/===	立地意	意欲の	ある企業().)公募を	美施	し、動向な	9ニーノ					か果た	責され	た拠点形成し	こ回け取組	んた。	
			との協創 意見把握	評価	地権者	が事業	(化検討パー)	トナーと意	東京	·換(役員会)を行い		•	根拠・		。また、	. 地元住	民を中心とし	た事業等説明	会を手	実施し
	·民間	活力等	の活用)	B	た。		11017433		3,70,7		, = 13 +									,,,,,	
			ータ活用 の活用	評価	\#i	<u> </u>	> " + +=	2 224 AL 1			4 2 0			根拠・		111	. 	<u></u>	エカ ナロ		
		EBP	M)	B ===/==	這队	(1 X	一ンを依	見りに	- 挺	えるに	めるし					八地	惟石	等の意識		りた	-0
	公	合語	亚価	評価	≠ ₹ =	北級台に	が佳揺っ	+n <i>t</i> -	thn 4	≒±/ct;≠	. I Z			根拠・		出 淮	非供 好	△□☆	╎ ╫╬┋	小学	± Ø
	秘		тЩ	В														l合設立、 ミに取組み			ŧUJ
事	業実施・残され						地権者の 2工区事				た事	業実法	施								
	^ <i>w</i> ~=	700	+ ∆ı	.1.	_		C324						· 1 · 1 · 1	判断现			<u> </u>	40 = ±==	TMV VP =		
4	今後の耳	双組之	万針	^j /	太大													れる都市 Jを進めて		積を	空図

1 基	本情	報				担	当 課	事業計	前課				関	係	課	土木課			
事	業	™ 名	No.	12	国道16	3号清滝	_ PI			周辺	道路					<u> </u>			
	業区			会 計		_	会計	予 算		目		_	6		項	2	目		3
施 兌	策 体	系		都市基	盤				戦	略自	的施	策	Ĺ	行	政改	革大綱		(3)	
根拠	』法 ~	令 等	道路法											事	務	区分	É	治事	務
事	業期	間	単年	度(年度)	□ 単年	度繰返(年月	き~糸	継続)	<u>✓</u> 礼	复数年	度(年度~			年度)
2 事	事業の	概要	·実施内	容															
事業	₹目	的・	▶交通渋	滞が慢性		へる現国道 研生駒テク								の形	成を[図る 。			
事美(全	業 概	要画)	効果を高 期完成に	めるため 向けた事	の周辺道路	事業による。 Bネットワー J う。	-クを形成 ⁻	するととも	いつつ らに、国	あり、 国が実	国道等	事業に こいる	ついて 国道16	も進扬 63号》	もしてし 青滝生	いることか 駒道路整備	ら、それ 情事業に	こつい	の整備 て、早
` —			事業(の対象	₹ 国道16	3号清淹	生駒道路	周辺							象数:)
			. =*=	- ML 1 - AH		引計画				1/ 1/ -	<u>- אור -</u>	/I/ > -	T-140 MA		且実績	į			
			▶ 国迫事 	業に伴	う支援業績	勞			▶ほ	迫争	暴に	伴つ:	支援業	務					
	算年度 こな取締		▶ 周辺道 用地 用地		210千円	3			▶ 暦		道路整 系者と		議を実	€施					
			事業実	施手法	ま 一直接	実施 「	──委託•扌	指定管理		負担	l金·補	助金	: 7 7	<u>-</u> の他	(職員で実	<u></u> €施)
2 4	5 坐 弗	. R+3						-/		- 13-				,0	•				
3 事	手手負	[*!/Ji	原内訳		R5決算	Γ	F	26予算現	姷				R6決第	首		Ī	R7子	道	
事業	費(千	円)			NJMA	2,530		(O] 11 0		210			110//	/ 	0		111		,554
	12委	託料				2,530				210									,554
	14I	J																	
	18負担		及び交付金																
財源						2,530			1.:	210					0			4	,554
	特定的					2,330			.,,	_ 10									,551
	市債																		
	その作	也 犲源				2,530			1 .	210								1	EE A
	一版	初源				2,530			۱,,	210						<u> </u>		4	,554
	事業の めざす		!・評価 実現に	志/ / 井 / 口	\#!=#1.4·	人 研究	64 W C++112	江 卦 ナ 由	+/- 1										
		二(事業	業の成果)	発佣促	進に回げ	た要望活動	助つが大数	活動を美	他し	た。									
KPI		無力	/ }} / / _ /			指	標1								指	漂2			
	指	<u>標名(</u> 目標	(単位) [値																
		実績																	
		と実	<u> </u>																
行某	,			 	づく評価)					<u> </u>								
11 +				評価	フト計画。 T)				評価	したれ	艮拁•	理由						
			意識 ·財源確保)	В	財源確	 '呆に向け、	国への要	望活動を											
				評価	がいがり	*!C :J / \	四 1073	(土/山邦)			-。 iしたホ	日切。	珊山						
		目的			事業1	 ついて、完	ポペノイ	21004						/二一+	-				
	(他习	マ日信/	\の寄与)	B	争耒に	ノいて、元		一ン凶寺						1丁つ/。	- 0				
			との協創)意見把握	評価							iしたれ								
			等の活用)	В	地元関係	系者に向け	ナで協議	等を実施						めた	0				
			一夕活用	評価						評価	した	艮拠・	理由						
	(7	・EBP	の活用 M)	-	デジタノ	レ・データ	活用でき	る業務で	はな	いた	め。								
				評価						評価	したホ	艮拠・	理由						
	i	総合語	評価	В	事業の	円滑な推進	進に向け、	、国道事和	多所と	ـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	うに事	業の	周知や	財源	確保の	っための§	要望等	を行っ	った。
	業実施・残さ		D課題 課題	事業費 ある。	が減少し ⁻	ているなた	か、工事に 	 係る人作	‡費な	材料	斗費等 	が高	騰して	いる	ためコ	 事の進担	まに関	する訳	黒題が
												判断现	里由						
2	今後の	取組	方針	現場	犬維持	地元人の	の説明や原	割知等を	継続	J. 7	つ. 財	源確値	保に向	ゖナだ゙゙゙゙゙゙゚	要望:	氏動を継続	売的に	実施で	tる。

1 基	本情	报					担	当	課	事業計	画課			Ē	関 個	係	課			
事	業	名	No.	13		辻町IC	整備促進		_											
	業 区	分	継続	会		区分	一般	会計		予算	費		款		6		項	2	目	3
	策 体	系		都市	基盤						戦	略的	り 施	策	L			革大綱		(1)
			道路法						- ,			/.b	\		- **-	事	務	区分	目治	台事務
事	業期	間	単年/	芟(年度)	甲年	F度繰返	፯(牛	度~総	送統)	✓ 移	夏数年度	₹(年度~		年度)
			・実施内	容																
	美目 的		辻町IC	の整備	に伴	半い、周 辺	辺道路にる	おけるざ	泛通	量の変	化か	想定で	される	らこと	から、多	文全文	対策を	合めた道	色路整備	を行う。
	業 概 体計		し、フル	ランプ	化を	図る奈	良県の事	ーフラン 業に対	/プ し、	状態となった。地元調	なっ 整等	ている	阪奈	道路 援を	辻町IC 行う。			、奈良側の)ランプ	を整備
			事業(カ 対	象												象数:)
			▶ 県事業	4 古坪3	坐黎		計画 14日					県事業	古垤:	坐 黎		取 統	実績	į		
			『宋 丁 未	ミ 义[友:	未介为	1,50	ידרו				,	示事未	又1友:	未伤						
	算年度																			
主	な取組	1																		
	12委託料2,5301,3811,43014工事請負費18負担金補助及び交付金その他																			
			事業実	施手	法	直接	実施	委託	・指	定管理	+	負担:	金·補	助金	√ ₹ (の他	(職員で実	<u></u> E施)
2 4	5 类 弗	. 8+1																		•
<u>5</u> ₹	下 貝	* <u> </u>	<u> </u>			R5決算			R	6予算現	額			F	R6決算	Ī			R7予算	<u> </u>
事業	費(千円	3)				110///			•••	0 3 71-7		381		•	10///		0		1(, , ,	1,430
							2,530				1,	381								1,430
			及び文刊並																	
財源							2,530				1,	381					0			1,430
	特定則	掠																		
	市債その他	1																		
	一般則						2,530				1,	381								1,430
			·評価					-			-									
	申未り めざすり																			
	したこと		美の成果)	奈良	果と	共に事業	業に関する	る説明会 標1	会等	を実施	U, J	也元意	見を	得た。	•		指	漂2		
IXI I		票名(単位)				15	·] 示 I									10	水上		
		目標																		
		実績	値																	
			積値の差																	
仁士	分につ			(四/一七	F	ノ 歌 本 \														
1丁平			改革大統	神にを評価		<u> </u>						評価し	<i>,†</i> = 括	3执1.•∓	甲由					
			意識 ·財源確保)	В		木市にと	 つて重要	三か車学	¥ 7:	あい 君	₽⊞⊅									
				評価		411100	- ノく主3	Z'O TI A		0) 7 (5	ξΠJΛ	評価し								
		的原	思 考 への寄与)				<u>*</u> Λ Λt	カミ美とかき	HDF	1年太紗	绘画化					7 ΦΙ	田名沙女	たせめた		
	(他來	日信/	(0)奇子)	B === <i>t</i> =		地儿弟	や白へいた	加哉、いっ	九ツ	守で秘	机工口:					(0)1	生件で	を求めた。		
			との協創 意見把握	評価		—		ı — I+	¥.,	-\/ DEL A		評価し								
			等の活用)	В		地元関係	係者に向	ナ(協調	義で	記明会	を美					寺にき	労め7	Č.		
			一タ活用の活用	評価						- MP =:		評価し		残拠・野	建田					
		·EBP		_		デジタル	<u>・・データ</u>	活用で	÷ ₹	る業務で	はな									
	,			評価	E							評価	した相	拠・I	浬由					
	彩	合語	评価 	В		奈良県た	が実施する	る調査・	設	計業務な	が進	歩した	0							
事	業実施 ・残され					者への 移行する		の説明(は組	迷続して	行っ	ており				施に住	半う月	居住環境 <i>0</i>)変化等	、具体的
													+	判断理	曲					
	今後の	取組	方針	現	状	維持	地元即位	玄老レハ	ハナ	活み当	四△	生た言	€th i	車業に	-44-4-2	ス田田	紀太が	ョアハノ		

							1-11	HO 11.	-				ДР 1 ПД							
	本情	報						担	当 譚		=	土木課		関		係	課			
事	業	名	No.	14		谷田	小明	線道路	改良事業											
事	業区	分	継続	会	計	区	分	<u>—</u> Я	般会計	予(算	費目	款		6		項	2	目	3
施	策体	系	13	都市	基盤	L Ž L					単	战略的)施	策		行	政改	革大綱	((3)
根抄	W 法 彳	等	道路法								•			•		事	務	区分	自治	台事務
事	業期	間	単年	度(年	度)	単组	年度繰返	(ź	F度~継	続)	√ 複	数年月	隻(H27	年度~	R8	
	+ ** •	Inw are											1007							
			・実施内																	
事業	業 目 ほ	的・効果	な効果が	期待で	きる)。														こから大き
事(全	業概	要 画)	こで、一語 計画延長	部区間を L=2	・バ 30	イパス	く化す	ることで	らものの、追 で安全・安心 : 8. 0m(車	な歩行	者空間	引を確保	する。	十分で	ないが	こめド	が消なが	通行に支障	をきたし	ている。そ
` _		_ ′	事業(の 対	象					谷田小	明線					(対	象数:	•	1)
								計画									且実績			
			分筆登記			千円		1	· ·			捕償調査				3,1	57千	円		
			補償調金 【他事業』					3,157 1	F '' J			管理業務 C事費		726 [.] 112,						
			管理業務					業より流用	357千円】			L要貝 甫償費	31	,989	子中					
	算年度		工事費	2,1	12 -	千円	他事業	より流用	1,031千円】		13	设務費(ス	不動産	鑑定) 88	3千円		
	Eな取約	1	補償費	45,7	00	千円	【他事	業より流用	9,700千円	1	Ę	D紙代_	11千F	၂						
			役務費(个動度 11 T F	鑑	定・日	J鑑訂	上明) 8	89十円			R6→R			тm					
			印紙代	117	7						11	捕償費	13	,711	十円					
			事業実	- 佐 壬	注	г	± 147		. 	#5.中华	тво Г		^ 1± 1	14 A		Д	/)
			尹未天	他士	冮	<u> </u>	直接	美.他	<u>√</u> 委託・	指定管理	<u>埋</u>	負担会	武・網」	<u> </u>	€	の他	(
3 📱	事業費	·財》	原内訳															=		
						R5	夬算			R6予算	現額			R	6決算	1			R7予算	Į
事業	費(千円						6	51,822				2,045					083			96,710
	12委		7. 					2,288				4,133					883			4,678
	14工							2,024	1			2,112				2	,112			70,000
	その化		及び交付金				F	57,510	1		1 5	5,800				33	088			22,032
財源	(千円)	5						51,822				2,045					083			96,710
יניוו נייי	特定則	オ源						6,464				9,850					895			42,878
	市債	<i></i>						4,800				7,800					500			38,500
	その化																			
	一般則	才源					3	0,558	3		14	1,395				11,	688			15,332
4 3	事業の	成果	• 評価																	
	めざすり			I																
			美の成果)	令和6	5年	度に	すべ	ての事	業用地の	確保が	できれ	Ē.								
KPI								指	i標1								指	票2		
		票名((単位)					3,	4120.								7,11	<u>.</u>		
		目標	値																	
		実績	値																	
	目標値分につ		績値の差 の理由																	
行革		行政	改革大統	細に其	<u>:</u> づ.	<評	価)													
13-				評個		\ P	<u>іщ</u> /					評価し	した根	拠·理	由					
			意識 ·財源確保)	В		田地	取得	こおいて	 、地権者と	- の交渉:	を変に		-		-	の合き	音形成	に至った.		
	(52/137)	1 //1 //	//J /// 1// 1// // // // // // // // // //			. تاحروا (4VIQI	2070. 0	() DIE II C	-07×19	еще					v, П,	5/1/17/	に生った。		
		的		評価	1	安全	·#/	(二)番/デュ	できる道路	環接のは	在 但7	評価し				11+ 7	ナベフィ	カ州梅老と	の合音形	成に至っ
	(施策	目標/	への寄与)	В		メエ た。	У/П	NIC.JETJ.		1-水-元・ノ)	IEINV.	7/20/12		-尹但:	-100	117 \ 5	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	/プメヒヒイ産1日 C	- V / 口 志 //:	DIXICE J
	多様な	よ主体	との協創	評価								評価し	った根	拠・理	由					
	(市民	等への	意見把握 (学の活用)	В		計画	段階	から周辺	住民や地村	権者との	協議	を重ね、多	安全・安	こんなさ	步行者	空間	の確保	を目的に	事業を進	めている。
			一夕活用	評価	Fi .							評価し	た根	. 幼1. • ŦŒ	ф					-
			の活用	рТІЦ		D (/		+ +b+ 4	サレク田	ᄔᆎᅷᆉ	ω±						-= +. \ /	<i>+</i> >L>		
		·EBP	M)			KOı	十反	よ、地惟	者との用	地文沙	.07/=					т	ジコリ	ンない。		
	ļ ,	ω Δ -		評価								評価し								
	新	给合語	半価	В		用地 ても	取得(他課	こおいて との調整	は、権利者で関係機関	がとの交換 関との協	歩を重 議を重	直ね、年度 重ねること	内に勢とで、こ	契約締約 E事が	結でき 円滑に	た。 着手	また、全 できる	3和7年度のように努った。	の工事着: めた。	手に向け
事	■業実施・残され								となるた めることた				が必 	要不可	欠で	ある。	。工事 	着手前に 	回覧等で	で周知を
													半	刂断理	由					
	今後の	取組	方針	現	状	維持		通行量 成を目	の多い狭 指す。	隘な生	活道	路であり	、かつ	通学	路で	もある	ること	から、1E	でも早し	ハ工事完

										<u> </u>		,,	7 尹木	5 P T II	Щ –	ı						
_		R						-	•				土木課		Ē	関	係	課	事業計画	画課		
事																						
				_		-	分		般会計	•	予算					_6_						3
				都可	市基盤	ğ						単	战略的	施	策						-	
-			_													- 111	_					
事	業 期	间	単年	度(年	関)	単	年度繰	返(Ē	F度~継	統)	✓ 移	國女生	塻(H21	年度~	R	6	年度)
2 事	事業の構	要	・実施内	容																		
			す。																			
事 :	業 概 体計 i		路等基盤 m)	整備	を行う	を図る。(北田	ため 1原南	、地域高 i北線L=	現格道: =694m	路でa W=	ある清滝 =12m、	生駒: 北田	道路(国道 原中学校紀	自163 線L=	号バイ 584r	′パス)፤ n W=	事業と =12n	≤連携し 1、高山:	、準工業団 北田原線L	地及び周 =100m	辺地 W:	対の道 =12
` _	71 PI F		事業(の対	寸 象				南北線、	北田	田原中等	学校	線、高山	北田	原線					3)
				1 334	14.44	<u>}</u>	当初	計画						334 I.L.			取	組実績	Į			
						500:	千 四									61 工	.Ш					
									り流用 3	,497 -	千円】											
油 1	質圧度 (ת																				
	事業実施手法 □ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他(事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 費(千円) 35,275 56,997 56,761 12委託料 297 500 264 14工事請負費 34,978 56,497 56,497 18負担金補助及び交付金 その他																					
	本計画 m))							
3 🗐	東京 名 No. 15 企業派数基盤整備事業 東京 西 歌 6 項 2 目 頭 体系 3 都市 基盤 戦略 的 施 策 予算 西 取																					
						R5测				R	6予算				F	R6決算				R7予算	拿	
事業							3					56					56					0
			百 弗				2					5.6					56					
							J	4,57	0			50), 4				50	,497				
財源																						0
		源					1															
								8,10	U				1,200				4	,200				
							-	16,57	1			48	3,105				47	,869				
	ь ж лг	4	=π/xc										•									
	東 期 間																					
	12委託料																					
KPI		(3 -> 1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					‡	占煙1									指	煙2			
171 1		(名(単位)					J	ם ואין									10	N L			
		目標	値																			
	:	実績	値																			
行革	<u>評価(1</u>	<u> </u>	改革大	_		<評	<u>価)</u>						=== /=== 1		J.bn T	·m -L						
	(費用対	効果・	·財源確保)		В	隣接	地桶	者との	協議を	·重和	は、費用	対交					三努 め	た。				
		的思	思考		平価	S# 3	ш			1 A 11	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	\$\IZ					T+= /□ I	411/ =	-W-0-4-1	(= L/) A	W = =	T / -
					В				 到地均	なの渋	滞を解	消す	るととも	こ、円	滑な1	囲行を	催保し	ノ、利便	性の同上	により企	羊訝	徴の促
	多様な	:主体	との協創	Ē	平価	<u> </u>	، د د-	<u> </u>					評価し	った框	見拠・ 耳	理由						
	(市民	等への	意見把握		В	土地	听有	者の用地	也協力や	学研	F生駒工	業会	との協議	を重ね	a、道	路整備	を完	了する。	ことが出タ	 Kた。		
					平価								評価し	た根	₹拠・ヨ	浬由						
	(デシ	ブタル	の活用	ľ	_	坐該	主学	<u></u> ≨1.7.1±.7	ニンクリ	デー	 -クを迁	<u>-</u> ⊞I					しいた	1.1 <i>†</i> = <i>X</i>	ト酸出し			
		EBP	'M)	=:	₩.	一四	ナホ	10167			7 - 1	1711					V · 6	,	<u> </u>			
	絲	合言	评価			地域	高規	格道路	きである	5清清	竜生駒に	道路			_		事業と	上連携	し、準工美	 業団地及	び	 周辺地
					R																	
LDFIVI)																						
														4	判断理	里由						

						12					ナハ	-п-п-						
	基	本情	報				担	当 譚	果 管理課				関	係	課	土木課		
事		業	名	No.	16	橋梁長	寿命化修	繕事業										
事	美	₩ 区	分	継続	会 함	上 区 分	一角	设会計	予 算	費	目	款	6		項	2	目	2
施	舒	6 体	系	13	都市基	盤				戦	略的)施 策		行	政改	革大綱		(3)
根	拠	法令	う等	道路法									•	事	務	区分	自	治事務
事	美		間	単年	<u></u> 度(年度)) 単名	年度繰返	(年	度~継	続) 🗸	複数年	度(H26	年度~		年度)
_					(112		1 2 1712	\		<u> </u>	.1707		(122		1 2
2	_			・実施内														
		実施を		安全な道 行うもの		保するた	め、橋梁の	の補修工	事を計画	的に	実施し	長寿命化	どを図る	ること	により	、将来的	な経費	の削減を
事(4	美 全 4	美 概 体 計	要 画)	の計画に	こ基づき	、令和2年											繕計画	を策定。そ
, _				事 業 (の対象									女)	対象数:	25	8橋)
						当初	刀計画							取約	組実績	į		
				〈工事〉 【R5補正(約	融)]第2阪	奈1号橋(一般	部第1、2径間) 60,000	千円	(T)		成)】第2阪奈	1号橋(一	般部第1	、2径間)	60,000 T	円	
						奈1号橋(一般						域)】第2阪奈		般部第1	、2径間)	150,093		
						10,000千円	l						20,000=		,000	П		
		年度		芝辻橋 20 高山町地内		70千円				第2	阪奈1号橋	制 (一般部第	1、2径間)	17,00	0千円			
	王	な取約	Ħ	〈委託〉						〈委	手〉							
				清水橋2 7		7.000千円						計画更新	,586 1 F	9				
				備朱反寿叩?	16計画史新	7,000十円												
				古光中	サカエン	+	[フェジ	15-5-75-TI		1 2 10 /	\ ++		3 0 //-	. /			
				事業実	: 他于)	太	実施	<u>√</u>] 委託・	指定管理		負担金	金・補助金	主	その他	. ()
3	事	業費	·財派	原内訳														
			7,5,1			R5決算	Į		R6予算现	親			R6決	:算			R7予	算
事	業費	∮(千P	9)				71,704	ļ.	2	55,	763				,586			66,000
		12委					8,899				500				,586			6,000
	-	14工					62,805	5	2	241,	263			77	,000			60,000
	L			及び交付金														
日才川		その(t 千円)	<u>r</u>				71,704		2	55	763			92	,586			66,000
火力ル		<u> </u>	大頂				39,437				669				422			36,300
		市債	3 ///31				29,000				700				,100			26,700
		その化																· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		一般則	才源				3,267	7		14,	394			6	,064			3,000
1	車	業の	成里	•評価														
		さすれ																
				表現に その成果)	補修が	必要と判	断された	橋梁の補	修工事を	行う	ととも	に、橋梁	長寿命	化修	繕計画	画を更新し	た。	
KF				,			‡ <u></u>	[標1							- 157	漂2		
IXF	Ī	指标	票名(単位)			JE	小水!]H1	示と		
	ŀ	JHI	目標															
	f		実績															
	f	———— 日煙値	-	<u>''''</u> 績値の差							1							
		分につ																
行	串	亚価(行形	沙革大	1 綱に其・	づく評価)	1											
17-	Ţ				評価						評価し	た根拠	・理由					
				意識 ·財源確保)	В	海粉の下 は	を検討し、新		ロナンがた トロ	基田址								
	ŀ	(貝川)	- TWI	知师证(本)		授权の工心	で探引し、利用	文 川 守 ひ 泊 用	しながらより	貝用別:				•				
		E]的原	思考	評価						評価し	た根拠	・埋田					
		(施策	目標/	への寄与)	В	総合計画第	2期基本計画	i(基本計画総	論)において言	は載され	1ている、	インフラ施設	の計画的	な更新・	整備に向	ナ対策を実施	した。	
	ľ	多様が	な主体	との協創	評価						評価し	ノた根拠	·理由					
		(市民	等への	意見把握	_	専門的	な知識を	必要とす	る事業で	ある	ため該	当しなし	١٥					
	ŀ			いた たび 田	=亚/共	(31 3-3	о-у-др-ж <u>с</u> .		3.7/((た根拠						
				["] 一夕活用 ·の活用	評価	-"~" -	u -"	- M TT : 1	L +	60.4				-+-		= + .1/1 +·		
			·EBP			ナンダノ	レデータを	*活用し7	こものかっ	一般化				: ある	/こ6)、i	3当しな	ν ۱ _ο	
					評価						評価し	た根拠	・理由					
		糸	総合語	平価	В	補修が	必要と判	断さわた	橋梁の神	修工	事に差	手I , 丼	全にほ	14で	きる途	路の確心	ネに タン	カ た 。
					ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	י לו ליו מהו	التلات تحريب	H1 C 1 0/C	いらいトイン 日本	トンー	テルー		·—·	IJ ~		- ナロ ヘント圧 ト	,	-,-0
		業実施				線橋につ									く必要	_ <u>_</u> 更がある。		
		残され	た。	果題	事業の	実施にあ	たり、道路	各メンテナ	トンス事業	補助	か金の確	筐保が必	要であ	る。				
												判断	理由					
	4	後の	取組	方針	現	状維持	引き続き	き橋梁長	寿命化修	繕計	画に基	 づき、裤	修が必	必要な	橋梁0)補修工	事を実力	施し、道路
					ı		11/~,つ=	の巨夫会	合化を図る	z								

					19.1	но тіх	.,,,			ナハ	чтш/	'					
	基本情報	報					当 課					関	係	課			
事	業	名	No.	17		ijΕV·ES											
	業区	分		会 計	区分	一般	绘計	予 算			款	6		項	2	目	3
_	策体	-	13	都市基盤	<u> </u>				戦	略的)施 策				革大綱		3)
	処法令											15 10 1 -	事	務	区分		事務
事	業期	間	単年月	芟(年度)	単年	度繰返(年	き〜継	続) 🖆	複数年歷	芟(R5	年度~	R7	年度)
2	事業の	既要	・実施内	容													
	業目的		最新機種 線の確保		省エネ効果	早、トラブ/	ルの際の	早期対応	交。	通弱者	が社会員	貢献·社会	会進出	出、及	び生駒駅	前の安定	的な動
事 (全	業概体計	要 画)	停止等の	クトラブル	の際に早	難となって 型期に原因	対究明で						1				
			事業の	が対象		jEV·ES								象数:	6旅	酸)
			生駒2号	 北 行老は		計画 (1基) 2	6 000=	<u>1</u>	生	助っ早		田治口		1実績 [1]	i 8,700千		
			生駒2号 生駒1号	步行者 <mark>專</mark> 步行者專	界用道ES 評用道ES	(1基) 2 (1基) 3 (1基) 3	$0,744^{-}$	千円	生	駒2号	步行者専	用道ES	5(1基	2	6,180千 0,800千	円	
決	算年度	σ		E(繰越)】		′1₩\10	0007	- —			(繰越)】	⊞,¥⊏0	· / 1 🖶	.\ 11	00070	П	
	主な取組					(1基) 13 (1基) 15									,880千P 3,340千F		
				,	713220	(12) 10	,,,,,,,,,		[R	6補正	(繰越)】				,060 1 F		
			事業実	施手法	直接	実施	☑ 委託·扌	旨定管理		負担金	金・補助金	È	の他	()
3 4	事業費	·財派	原内訳														
					R5決算			R6予算现				R6決算				R7予算	
事業	費(千円					35,038		•	117,	291			80,	900			0
	12委		鱼			35,038			117.	291			80.	900			
	18負担:	金補助	及び交付金			30,000			,				00,	, , ,			
	その他	1				25.020			1117	201			00	200			
划泥	(千円) 特定則	枕原				35,038			117,	291			80,	890			0
	市債					31,500		1	05,	500			72,	800			
	その他					2.520			11	E01			0	000			
	一般則					3,538			Η,	791			8,	090			
	事業の めざすり) 	// I 							-					
	したこと			適止な剤	まけ管理で サイフ・エン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を行える。	Fつ、駅 <u>雨</u> 標1	ĵØ)EV•E	-50)	更新 _一	_事を実施	也した。		指	票2		
		票名(単位)			14	IN I							101	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>		
		実績	值														
	分につ	いての	の理由														
行革	<u>評価(</u>	行政	改革大統		<u>(<評価)</u>					=== /== 1	4 404hn	TI					
				評価							」た根拠・						
	(費用対	対果・	財源確保)	В	EV・ESの更	新工事を行う	にあたり、経	済的かつ合理	型的な仕				ついては	ま、起債?	を活用し事業を	産進めた。	
	指標名(単位) 目標値 実績値 目標値と実績値の 分についての理由 革評価(行政改革) コスト意識 (費用対効果・財源確 目的思考 (施策目標への寄与		思考	評価						評価し	ノた根拠・	理由					
	指標名(単位) 目標値 実績値 目標値と実績値の 分についての理由 評価(行政改革) コスト意識 (費用対効果・財源確値 目的思考 (施策目標への寄与		への寄与)	В	総合計画第2	2期基本計画(基本計画総論	論)において言	己載され				更新·整	備に向り	ナ対策を実施し	<i>」</i> た。	
				評価						評価し	」た根拠・	理由					
	分についての理由 評価(行政改革) コスト意識 (費用対効果・財源確保 目的思考 (施策目標への寄与) 多様な主体との協創 (市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)			_	専門的な	い知識を必	必要とする	る事業で	ある	ため該	当しない	١,					
	下評価(行政改革) コスト意識 (費用対効果・財源確保 目的思考 (施策目標への寄与) 多様な主体との協創 (市民等への意見把握 ・民間活力等の活用) デジタル・データ活用 (デジタルの活用			評価						評価し	」た根拠・	理由					
		目標値と実績値の差分についての理由 評価(行政改革大統 コスト意識 (費用対効果・財源確保) 目的思考 (施策目標への寄身) 多様な主体との協創 (市民等への意見把握・民間活力等の活用) デジタル・データ活用 (デジタルの活用・EBPM)		_	デジタル	データを	活用した	ものが-	一般化	とされ	ていない	事業で	あるた	こめ、	該当しない	,1,	
				評価						評価し	」た根拠・	理由					
	糸	合語	平価	В	生駒駅前させるう		更新事業	は一部	事業を	₹R7年	度に繰起	返したう	えで	. R7⁴	手度中に対	対策工事	を完了
Ę	事業実施 ・残され			令和7年	に完了 <i>0</i>)ため、残 -	された課	題はない	۱,								
											判断						
	今後の	取組	方針	現状 	維持		前EV·ES で再新・敷				はR7年度	を中で完	了と	なり、	引き続き	インフラ	施設の

4 +	+	_			·	1-D \	1/ =0	L.N Y + 1	D4W24=00 7	h=m \7 .15	lee .	<i>IT.</i> :	·	1.1.T.E.=III	
			NI -	10	旧せかい	-			『総務課・工剂	済課・浄水場	関	徐 :	ストラス ストラス スティス スティス スティス スティス スティス スティス スティス ステ	材政課・契約	
事									弗 日	≐⁄▽		百		В	
						止未	云司	丁 异			<u> </u>				.(2)
-			15	空川中					郑师门	ע שוו ניי	2				(3)
				在 /	生時)	出在	· 安岛:反	<u> </u>	午度。2	业 学	抱数在				生産)
					十尺)		- 支秣区		十尺一小	坐形() 	」这数十	皮(口Z	9 中区	7 10	+皮/
								ることに。	より、経営	の安定化	比を図り、	、住民に対	がして安全 	で安心なれ	K道水を
							業が事	業統合し、	奈良県広	域水道1	企業団と	して水道	事業を運営	営する。	
	本)
			/ * / \	(白) 七:					_/+/\/	\ 白 ++	無時のお		積		
			5つの作 団体部局 成団体首	業部会(弱長)、検 f長)を者	(各構成団 討部会(挑 郡度開催	体実務者 養薦各首長	長)、協議	会(各構	5つの作長)、検証開催 その他系 奈良県加	業部会 対部会(対 多数のP ⁻ な域水道	(各構成[推薦各首 T及びW(企業団(団体実務 長)、協議 G(各構成	会(各構成)	成団体首長者)を都度)を都度
			# # £	# T '			7				• 🗖		TH) = 1 =	L () ch+-	
			事 兼 美	施手は	[直接	実施 _	」委託・	指定管理	負担	金・補助	J金 <u></u> ごる	その他(職員に	より美施)
3 事	事業費・	財源	内訳												
					R5決算			R6予算現			(6決算(R7予算	
事業						0			0				0		0
															
	その他														
財源						0			0				0		0
		源													
				l											
<u>4 </u>	<u>事業の</u>	<u> </u>	<u>・評価</u>												
															L業団設
		(事)	(())以来)	ひ° ⊂1	はぐの経				寺で情報	技発1言。5	上脚巾水			书 詴。	
KPI		5夕 (出任/			指	標1					3	旨標2		
	目標値	と実績	責値の差												
行革				L 岡に其っ	づく評価)										
17—									評価	した根拠	ル・理由				
							出する令	和7年度)年間の則	す政収支を	様々な条件	牛設定で
	(54713713	/VJ/1<	7K3 W3KPIE (2 K7)		試算し#	<u> </u>			=	1 + +8+b	n mh				
					将来に	つたる市門	えサービ	スの維持に				事業が一	丸となっ	て県域水道	一体化
	(施策)	∃標^	(の奇子)												
				評価											
				Α	平成29年	の県域水道一)周知を行った	-体化構想の こ。また、令を)公表以来、検 和4年11月に	討の各段階 市民説明会を	こおいて、市 を実施し、参	i議会への報 加者からの ^f	浩、HPへの 質問に全て©	会議資料等を]答し、HPで쇠	開示、広報紙に ∖表した。	記事掲載
			一夕活用	評価	11124	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				した根拠		×(,,3,-== + p	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	(デミ	ブタル	の活用	С	令和7年	E度以降#	,水道の)使用閚始				ット届出	ができるよ	 う協議し <i>†</i>	-
		EBP	M)		IS TH 7	- 12×1+ C	7,7,00	7 12 11 11 12 1				> 1 /ш,ш,		י ט גענונגון כ י	
	幺红	合訓	亚征	評価	έΔ-1, 1 -	これのまると	#/I\ _L/\ * _L	±=1.00 ±/±= //		した根拠		¥ XH → + 1 br -	+71-1472	z+7-1-4-	ご 特単へ
	7亿		ТІЩ	В									するには限界 は給できること	であることか こになる。	り、後数(/)
	L 業実施 ・残され				 ∓4月のû	業団事業	開始ま	 でに統一て	ごきなかっ	た案件	 (入札·契	約制度は			- 等は引
								,			断理由				
4	今後の国	以組 :	方針	B	廃止	令和7年	4月から	5生駒市水	《道事業は			企業団と	:して事業	開始するた	:め。

					19.1					J-/	и при	'						
1 基	本情報	8				担	当 課	工務課				関	係	課				
事	業	名	No.	20	管路の見	 更新事業												
事	業区	分	継続	会 計	区分	企業	会計	予 算	費	目	款	1		項	1	目	1	
施:	策体	系	13	都市基盤					戦	略的	施策	П	行	政改	革大綱		(3)	
						゛ジョン												
	事業 名 No. 20 管路の更新事業 事業 区 分 総統 会 計 区 分 企業会計 予算 費目 款 1 項 1 目 1 施策体系 13 都市基盤 戦略的施策														_			
Ŧ :	# 葉 名 No. 20 智術の更新年業																	
2 4	基本情報 田 当																	
														こ抑え	.るため、	老朽化し	た管路	及
事 :	# 策 体 系 13																	
	事業																	
					当初	計画							取約	1実績	İ			
			老朽水流 (工事請 ·R5→F ·R6 (委託料	道管更新》 1負費) R6繰越 830,00	340, 7)0千円		Okm		老朽 (TR5 ·R6 ·R6 千氏 (委詞	i水道管 事請負費 i→R6繰 i→ 497 i→R7繰 i i i i i i i i i i i i i i i j i j i	三新及び而) 越 338 或 338 ,783千 越(奈良県	8, 491∃ 円	們		予算として追	3加計上)	332, 21	7
				施手法	☑ 直接	実施] 委託・扌	指定管理		負担金	҈∙補助ᢒ	金 🔽	その他	()
3 4	事業費・	財源	原内訳															
							F				R6	5決算(
事業																1,3		
			2. # +													1.0		
					1,1			1,1	/0,	_			836,			1,3	309,49	
			及び父付金							_								
計道					1 1'	•		1 10	20 -				020			1 2	22 05	_
別派		酒			1,1			1,10	50,				039			1,3	23,03	
		///																
		<u> </u>			1.1'	•		1.18	30.5	-			839	_		1.3	23.85	_
					.,.			.,	,				007			.,,		_
																		Ť
4 =	# 茶 区 分 総統。 会 計 区 分 企業会計 予 算 表 目 就 1 項 1 目 1 版 依 体 不 13 物市基盤 就 命 等 水正込、生物市水産建業ビジョン 平度 (3) 事 務 区 分 自治事務																	
	大算年度の														害			
寄与	市債 その他 一般財源0 1,174,4020 1,180,7620 839,1511,323,859 04 事業の成果・評価管路更新の単年度計画延長の目標値を上回る実績を上げ、老朽化した管路及び基幹管路を耐震化して災害寄与したこと(事業の成果)																	
KPI						指	摽1							指	漂2			
	指標	裙(単位)			管路頭	更新率											
		目標	値			1.0	(%)											
		実績	値			1.2(見	込)(%)											
	日標値	と実績		老朽水道	首管の布置	受替をはし	がか下水	首丁事や	首路	改良								
行革	評価に	一下	改革大组															
17—				1							た根拠	・理由						
					1	\ 	+ #7_L^	ちか ゲート					古典の	邓川5-1- -	£ +\= +\	+		
	(貸用刈	効未・	!別冰傩休/		人口減少	アを踏まる	【/こ凹水で	雪のタワン					手貸(/)	削減な	とめこなこ	りた。		
		的思	思老	評価						評価し	た根拠	·理由						
				В	老朽管を	入れ替え	えるだける	ではなく、	将来	的に維	持管理	し易い	ような	管路	設計に努	めた。		
		->-/1) a l±01	11111111111111111111111111111111111111						並価1.	た根拠	. 押由						
					- L.*-	-=,,,,,	47L + 4	, », 4.—s					·=	-#000	<i>□ k</i> =/::::	*******		
					下水坦_	L事や追逐	合以及び	とと共同的					ノ、丄制	₩间	の短縮に	労 めに。		
				評価						評価し	た根拠	·理由						
				С	地元住民	民の皆様/	への工事の	のお知らt	せを、	(X(Σ)	ックス) マ	を活用し	し行っ	た。				
		_DP	1217															
(デジタルの活用 ・EBPM) C 地元住民の皆様への工事のお知らせを、X(エックス)を活. 評価 評価 評価した根拠・理目 将来的な人口減少や水道料金収入の減少が見込まれる中 運用に努め、目標値を上回る更新実績を得ることができた													次立	の、辛口	こんちにこ	52+1-	大小ならんとっ	+>
	गर्न		тіш	В									、貝圧	ハ週山	こしを打り	ノン犬に	刈平凹/	ታ
事	 『業実施	<u>;</u> 上σ)課題	高度成長									る老村	5管の)更新が引	 き続き	必要で	<u>ー</u>
						1												
	A 12	·			V.11.1	A							121		. = -	· · ·		
	今後の	以組	方針	規划	維狩											県の補助	加金を有	

					15.1		.,,,			ナハ	. н н н -	'					
1 ½	基本情報	R				担	当 課	下水道	果			関	係	課			
事	業	名	No.	21	公共下2	K道管渠	E備事業										
事	業区	分	継続	会 計	区分	企業	会計	予 算	費	目	款	1		項	1	目	1
	策体	系		都市基盤					戦	略的	施策		行	政改	革大綱		(3)
		-				質汚濁防	<u></u>									白	
									年F	在 。继	<u>ś</u>	海 数年		373	• • •	ш	年度)
尹	未加	IFI	##.	反(牛皮)	<u> </u>	- 支深巡(+1:	支~胚	がじノ L	汝奴斗	-/文(平反~		牛皮)
2	事業の	既要	・実施内	容													
事意	業 目 第	勺 •	汚水処理	普及率の「	句上を図る	ため、公共	下水道と	合併処理	争化	曹等の名	各種汚水	処理施	没の適	切な役	割分担の	下に、公	共下水道の
事業	事業 名 No. 21 公共下水道管梁整備事業 事業 区分 提続 会計 区分 企業会計 予算費目 取り 1 月及改革大綱 (3) 事業 日3 都市林館 戦略の施策 1 行政改革大綱 (3) 根地法令等 下水道法、都市計画法、水質汚濁防止法 事務区分 自治事業 事業期間 単年度個 工単年度協議(年度 機勢の 監禁 事務区分 自治事事業 事業実施内閣 実施内閣 大級運搬等の同土を図るため、公共下水道台の地域でありたったできる。 (4) 企業等的できるとものできるとものできるとものできるとものできるとものできるとものできるとものできるとものできるとものできるとものできるとものできる。 (4)<														≦が低い流球		
			令和5年	度末の下れ	K道普及率	は73.0%	と奈良県	内でも高い	1水洋	をは言	えない	大況であ	<u>」。</u> り、今	<u>- ころ</u> 後も普	及率が低し	ル竜田川	流域を中
事	業概																
(全	体 計 i	画)	古 ※ /	n + 4	エルギョ	૾૾ ₩-1	7 1-1 1/1	70.26-					/_	1 AZ W.L			
			争 耒(カ 刈 豕			<u> </u>	70.3na									
			あ /共一日		当)計画			击ケ/:	サー市			月 又有	祖 美 稱	Į		
					1 / 00m	1						503n	0				
			整備	延及 L- 面積 4.1	i, 4 00ii Iha	1											
\	~~ ~ ~ ~ ~ .	•															
_	正'み42小	1	補償費	62	2,800 1	一円					3						
									安			165	十円				
			車業事	 佐千	一声拉	:中佐 「	7 禾 : 1 +	5 中 午 班		台北	> 7±10±1	<u> </u>	フの出)
			尹木入	池丁丛	□ 単独	关心 亡	′」安武•ƒ	日比日生		はいは	左"什的儿	<u> </u>	てりかし	(
3 !	事業費·	財源	京内訳														
							F				R	6決算(
事業					29			3	00,0	000			159				300,000
			3.世							200			100				38,800
						40,787		2.	37,	200			127,	096			185,600
			及び父刊金			55 8/13			62 9	200			32	630			75,600
財源		,														—	300,000
74.7 11/3		源															80,000
																	212,000
	一般則	源				9,930			8,0	000				191			8,000
4 3	車業のF	七里	• 評価														
				下水洋	4及家が/	氏いさ試問	は事が井。	下水洋辛	шШ	加爾瓦	7の答注	軟供え	: 444 445	カニ事	'旌」、下っ	ル: お並っ	 及変の向 b
							为廷厶六	「小炟电	щл	IXUJE P	YV) 日本	正開て	. 小上小りじょ	אטוני	:ルロ、1ツ	N/但日/	文年7月11上
KD1					<u> </u>		堙1							指	連 つ		
1 1 1		[名(単位)											JH	N.C.		
	分につ	いて	が理由			-	_										
行革	<u> </u> 	行下	改革大組	1. 網に其づ	(マ証価)												
17 -					\п					評価し	た根拠	・理由					
					国唐湖田	 h 今 が 画 t	月夕百かにと	当年十七十	t_ ± /				ムカノニン4	t かて l	ノ車が	——— 4 本 <i>た</i>	
	(東川八)	が大	2011小叶1个/		四甲冊	り並り、女宝	三分 ひょうし	別機に1の	- 0				איויים		ハノ事ルド	<u> </u>	<u> </u>
	l	的思	思考	評価						評価し	た根拠	・埋田					
	(施策	目標へ	(の寄与)	В	整備面積	責は、減っ	たものの	下水道智	译 及译	をは目	票通り達	を成でき	た。				
	多様力	主休.	との協創	評価						評価し	た根拠	·理由					
	(市民	等への	意見把握	_	下水道	事業計画に	 - 其づき®	整備を行	77	いる。							
			の活用)	=177 / 202	1700						た根拠	. 珊山					
			ータ活用 の活用	評価						計៕し	ノ/こ作及が	*理田					
		EBP		_	工事案件	牛のため詰	変当なし										
				評価						評価し	た根拠	·理由					
	絲	合語	平価	В			備工事を	<u></u> 進めてし	きた	こいこと	こから、お	繰越制	度を利	J用し ⁻	て工事発送	主の平準	準化を図っ
				В	ている。												
=	事業実施	上の	課題	田本の田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7日佳光1	カタレナタ	去活田! -	アニーマい	マルバ	岩叶ノ	ト の 無 コ ハ	<i>5</i> %≓ ¬	-117-	- レか・		よび回ち	
	・残され			別源とし	(か金と市債	を活用して	く打つ(い	つか	、開助分	はい配分	小冽つて	いる	ここかり	D	か進れ	ට ං
											判迷	理由					
	今後のほ	汉組:	方針	現状	維持	令和6年度	未現在の下	水道普及落	<u> </u>	3.4%と1			であり	下水道	整備について		 に高いニーズ
			·	1											に最も効果に		

1 基	本情	報				I	担	当 認	果下水道	 課			関	係	Ŕ	課			
事	業	名	No.	22	1	生駒市下	水道事業	業経営戦	路の改定	2					-				
事	業区	分	新規	会言	t	区分	企業	会計	予 算	費	目	款			項	į		目	
	策体			都市基	盤					戦	略白	的施策					革大綱		(1)
	见法 3														事	務	区分	自	治事務
事	業期	間	✓ 単年/	度(6	年度)	単年	度繰返	(年度	~ 絲	迷続)	複数	年度	(年度~		年度)
2 事	事業の	概要	・実施内	容															
	美目 実施		化を図る	5.														-と経営	営基盤の強
事	業 概体計	要画)	①令和6 ² ②下水道	年度完成 使用料(デン ひ改	定のストッ <u>(定の必要</u>	yクマネジ 性に関す	メント計i る検証を	上の基本計 画に基づき 行い、経費	、老朽	化する	る下水道	施設の)更新	需要を	財政	如支計画	に反映	させる。
` _	77 - 17	— /	事業(の対	象 :		水道事業	業経営戦	略						(対象)
	算年度 Eな取締		営・財務 のアドバ 直営で行	マネジ ベイザー テう。	メン 派遣	機構が乳	事業を活用 た上で、i	用し、公詞	は団体の絡認会計士 は職員か	を行				に助		乏け			直営で改定
			事業実	施手	去	直接	実施] 委託・	指定管理		負担	金・補助	金 [√ その	他(職員で直	営)
3 事	事業費	·財》	原内訳																
古光	弗/イロ	п\				R5決算			R6予算現	額	_	R	6決算	(見)	込)	_		R7予	
争来!	費(千l 12委						0				0					0			0
	14I		負費																
			及び交付金																
財酒	そのf (千円)						0				0					0			0
יניוו ניא	特定的															U			
	市債																		
	その作	也 犲源																	
			!·評価																
	めざすキ したこと		実現に 業の成果)	めざす	べ	き経費回	回収率のロ	中間目標	悪と最終目	標をテ	でする	ことがで	きた。)					
KPI		- (- /					指	標1								指	票2		
1/1 1		標名((単位)				14	INV I								111	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>		
		目標																	
		実績	値																
	分につ	いて	績値の差 の理由																
行争			(改革大約	-		<u>(評価)</u>				=	₩	した根拠	1.IBH						
			意識 ·財源確保)	評価 A		经兴兴的	タンケー・バ	≪ス禾=1	料を削減					Ц					
	(東加)	WIKE.	郑 师 唯 怀 /			性古代的		不る女司	J作で日1/例			した根拠		h					
		目的原		評価		公公中草	마소 24 /レっ	ナフナル	リーリナモッレ						バナフ	<u> </u>	· + = + -	トガフ	<u> </u>
	(他月	マ日信/	への寄与)	B		在呂奉留	金で独化	9 8/50)	には下水						いめる	رر	こを示りこ	.C/J/ (<u> : さた。</u>
			との協創)意見把握	評価		生駒市下	水道事業	業経営審	議会にお			した根拠			正な	下水	道使用料	のあり	かたにつ
			等の活用)	В	_ !		を行って		113/12								,		
			データ活用 /の活用	評価							半(曲	した根拠	い増出	B					
		·EBF		_		財政計画	の策定で	であるた	:め該当な										
	l ,	^ =	/	評価						1	评価	した根拠	い理由	<u> </u>					
		総合語		В	-	持続可能	だな下水道	道事業を	目指す上	での、	課題	色とともに	こ経営	色の基	本方	針を	示すこと	ができ	た。
事	・残さ			抜本的	な	経費回収	双率の向_	上には下	水道使用	料の記	炊定:				回収率	≤ 7	'3.0%)		
	A44.0	HUVU		TE	/ 	v#+±						判迷	折理由						
	今後の	ツリング ソストリング スタイプ スタイプ スタイプ スタイプ スタイプ スタイプ スタイプ スタイプ	力	^児	小人	維持	今後、5	年を目送	金に経営戦	郷の記	改定	が必要							

						-					とセンタ	ター	関 位	系	課			
事						_			定事美	業							,	_
事	業区	分	継続	会 計	区分	企業	会計	予 算	費	目	款	7	4		項	1	目	1
施	策体	系	13	都市基礎	竖				戦	略的	り 施	策		行	政改	革大綱	(3)
根拠	』法 令	等	下水道法	Ę					•					事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年	变(年度)	単年	度繰返(,	年度	き〜総	₭続)	マネ	复数年度	₹(R4	年度~	R6	年度)
	F **	OT ===		•			,				,			•				
					1 224 — 1	1.1-				H= // /			- 1 53411	(·) A /I =	11506 1 4
			慮し、リス	スク評価	による優先	た順位付1	けを行う	ことで、旅	設管	理の	最適	化を[図る。					
事(全	業 概 体計 i	要 画)	し、令和	5年度に	点検·調査	を行い、	令和6年	度に実施	計画	を策			策定する	5. ₹	3和4:	年度に、実	€施方針	を策定
			事業(り対象	下水道	拖設(処理	場、ポン	プ場及び	管渠	等)				(対	象数:)
	葉 区 分 継続 会 計 区 分 企業会計 予 算 費 目 数 4 項 1 目 1 年																	
	当初計画 取組実績																	
			季 新料	12 000	八千四				委討	工业儿	л1 л	00=	ĹШ					
			父口仍不	72,000	2113				54.0	₋	T1,7	-00	113					
	委託料 42,000千円 委託料 41,400千円 要託料 41,400千円 事業実施手法 回接実施 ジ 委託・指定管理 回負担金・補助金 での他(事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算(見込) R7予算 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で																	
	よび以紀	L																
			車業宝	佐 千 辻	古地	字佐 「	7 未記 :	化宁竺皿	\Box	会 扣	△ #	: H-A		T) #H1	1)
			尹未大	池 于 丛	∐」 但按	夫加 じ	ሷ 安託 •1	旧止官埕		貝担:	立 • 惟	助立	€	り他	(,
3 事	事業費・	財派	原内訳															
												R6					R7予算	
事業																		0
			多弗		•	36,000			42,0	000				41,	400			
			及U又的亚															
財源						36,000		4	42,0	000				41,	400			0
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		源																
						10.000			21.0					21	000			
	一般則					18,000			Z I,C)00				3 I,'	900	<u> </u>		
4 事	事業の 原	成果	・評価															
				ナーハギ-	71 5 ^	H 10 H 10	ı ≠ +m+P →	トフーハー	+	+								
				下水坦/ 	ストツク至	体の状況	と把握り	ることか	ぐさ	た。								
KPI						指	標1								指	票2		
–	指標			計	画の完成	度(全体(の費用に	対する割	合)									
		目標	値			10	00											
		実績	値			10	00											
						-	_											
行革	評価(1		改革大統	岡に基づ	(三評価)													
							ネジメン	ト計画を発	和定し	たこ	とに	より、	国庫補	助金	・市債	を活用し	更新工	事を行う
					しとが出	1米る。				証価!	,た#	見初1.•□	甲山					
					∆.⁄4 =1		5+r-+ ^» +	- +00 00 55										
	(施束	日信ハ	((()) (()) (()) (()) (()) (()) (()) ((_	ラ後、訂	囲りに史	オタへこ	で (機 奇・ 音・						/こ。				
				評価						評価	した椎	₹拠・∃	理由					
			意見把握 の活用)	_	業務委託	毛案件の#	ため該当:	なし。										
			一夕活用	評価						評価	した相	₹拠・3	理由					
	(デミ	ブタル	の活用	В		長乃で下っ	水道台框	のデータを										
		EBP	M)		INSTER ENT	N/X U 17.		~// J'										
	ų,	= ۵	ਜ਼ /⊒⊏	評価						評価	した椎	えがし・:	浬 出					
	統	百言	平価	В	予定通り	りの成果を	を得ること	とができた	<u>-</u> 。									
事	業実施			下水道	 ストックマ	 ネジメンI	<u></u> -	、5年ごと	に策	<u>-</u> 定した	ンけれ	_ <u>_</u> いばな	- <u>-</u>	_ <u></u>				
	・残され	いこ記	未起	- , _ ,		1		· -										
	A/4: 0.T	ID 4 D -	L & I	ر							4	判断现	里田					
	今後の耳	以租	力針	初	大	今後は、	下水道ス	ストックマス	ネジン	メント	計画	こ基:	づく施設	更新	f事業	を実施す	る。	

] 基	上本情報	<u> </u>				担	È	<u>当</u>	課 竜田	川浄化	シセンタ・	_	関	係	課	施設マイ	ジメン	ト課他
事	業	名	No.	25	山田川湾	化セ	ンタ	ノ一耐	震化事業									
事	業区	分	継続	会 計	区分		企業	会計	予	算	費 目	款	1		項	1	目	1
施	策体	系	13	都市基盤		•				単	路的)施策	į 🗆	行	政改	革大綱		(3)
	 L.法令												_	事	務	区分		
	送 / 	間	√ 単年/	度(R6	年度)		畄在	度繰	·厄(4	度~継	(4生)	複数年	_	373	年度~		年度)
书 ;	木 切	ΙĦĴ	<u> </u>	文(NO	- 十尺)	Щ.	++	-/又/沐.	巫(- 4	一文 一个	11967 L)又(十尺		一十尺)
2 事	事業の	既要	・実施内	容														
車当	美目的	勺 •	.,	·· / / /					A === // / / /									
事業	実施交	加果	施設の強	強別化(耐	農化)を図	凶り、	適止	かつ1	合理的なが	施設官	埋を実	施するこ	ことで、ま	女正し	たり	K処埋を	江つ。	
			下水道施	設が大規模	な地震等で	で被害を	を受け	すると、	、長期的にシ	5水処I	単が不可能	能になる。	ことから、	被害を	最小限	にとどめる	るため、登	鎖な下水道
事	業概							たンタ	一は、昭和	56年度	を以前の	日耐震で発	建設されて	てり、現	在の耐	震基準を活	満たさな	い可能性が
(全	体計i	画)		施設の強										/±1	A.W.			
			事 兼 (カ対象											象数:		<u> </u>	
			Jumilia	Z // 4 > . <i> </i> -		計画		1655	NC 기	=- ^	1077		1 - L		1実績		-7 × T-16	= Nr - →
			川田川沿	門にセンタ	一水処坦	と、、	言言	張診	断業務委			7月に日	14个水	担 事 身	国と	協定を結	ひ、耐点	震診断に着
										1	した。							
			委託料	25,000)千円					委	話料 「	7.800	千円(前	払金)				
	算年度(1,800								.,		- , ,				
	こな取組	L																
			= * +	+ - +					- 11-1-7-		- 215	A 4-4-51	<u> </u>	//-	,			
			争兼夫	施手法	直接	美肔	٧	/ 委託	モ・指定管	埋 _	_ 負担会	金·補助	金1	その他	()
3 ∄	事業費・	財派	原内訳															
		7,54	3.1 JH 1		R5決算				R6予算	算現額		R	6決算(見込)			R7予算	算
事業	費(千円)					0				,800				800			0
	12委記										,800				800			
	14工																	
			及び交付金															
	その他							<u> </u>		~ .	000				000			
財源	(千円)	-शस					0				,800			٠/,	800			0
	特定則市債	源									,000							
	その他																	
	一般則									21	,800			7.	800			
											,000			.,	000	<u></u>		
4 =	事業の	戊果	<u>·評価</u>															
	めざす状			┃ 十質条件	生. 耐震計	- 笪条	件及	バ其	礎工法の違	選択に	あたり	不足の	円数を	要した	ため.	繰越とた	いった。	
		(事)	美の成果)		1 (1037202)	7171			-,	~		(1 /2-/						
KPI		F 5 /					指	標1							指	票2		
			単位)															
		目標																
		実績	[但															
			績値の差															
	分につ			<u></u>														
行革	評価(<u> </u>	改革大統	岡に基づ	<評価)							. ,						
		スト	意識	評価							評価し	ノた根拠	ŀ理由					
			財源確保)	_	当該事業	美に係	る取	双組は	未完了で	あるた	きめ、評値	価は行れ	つない。					
			H-#	評価							評価l	Jた根拠	l·理由					
			思 考 への寄与)	P.I. Ibrid	元雲中五	と1-1を	ZH	▽☆ロ1十	 :未完了で	ホ z +	P1 III 4							
	(旭米	コ1示′	(()司子)		コ談事ま	トレゴホ	१ ०५	入刑しる	不元」で	めるだ								
			との協創	評価							評価し	」た根拠	い埋田					
			意見把握 (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また)	_	当該事業	削に係	る取	双組は	未完了で	あるた	きめ、評価	価は行れ	つない。					
	デジタ	ル・デ	ータ活用	評価							評価し	ノた根拠	・理由					
	(デ	ブタル	の活用	_	当該車 對	当に 仮	ス 下	マ糸日1十	 :未完了で	あるた								
		EBP	M)	<u> </u>		KIC IT	\ O 4	~小江1 の	~L/\01 C	اله رق								
	1,1	_=	ਗ <i>!</i> ਕਾ	評価							計価し	」た根拠	!'理出					
	総	言言	平価	_	当該事業	美に係	る取	双組は	未完了で	あるた	きめ、評価	価は行れ	つない。					
事	業実施					補強	の必	要性	が生じたり	場合、	下水処理	里を止め	ることな	なく耐	震補引	蛍工事を る	おこなれ	つなければ
	・残され	に記	果題	ならない	١,	_		_										
												判账	f理由					
	今後の	汉組:	方針	現状	維持				市公共下		トックマ	マネジメ	ント計画	に基	づく更	新工事を	- 行う際	に、耐震
				1		補強	江事	声も進	めていく。	0								

								<u> </u>	ノ ヂォ	トロコロン	1		_	
	本情報					担	7	デジタルイ	(ノベーショ	コン推進課	関	係 誤	全課	
事	業	名	No.	1	行政手続		_							
	業区	分	11111	会 計	区分		会計		費目		2	項	1	目 1
	策 体	系	I		シティ・D				戦 略 的	的施 策		_	革大綱	(1)
					デジタル		±/2>= /			11.7.±\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	L- 111	事務		自治事務
事	業期	間	単年/	芟(年度)	[√] 単年	度繰返(R5	年度~維	≚続) □ □	複数年歷	芟(年度~	年度)
2 事	事業の	既要	・実施内	容										
事業事業	美 目 é 実施效	り果	行政手続	売をオンラ	インで完	結できる	ようにする	ることで、	住民利便	煙の向上	と業務	の効率化	を図る。	
事	業 概	要		 送などで ン化を推		いる行政	(手続をオ	ンライン	で完結で	きることを	を目指し	、申請受	付システム	の導入と手続の
(全	体計i	画)	-3 2 2 1		生駒市民	1						(対象数		
			尹 木 º	ク 対 	当初							取組実統		,
			申請受付	システム	の運用管				申請受付	ナシステム	の運用行		8	
					ム利用料		0千円			受付システ			32千円	
			▶ 决済/ 各担当部	公的個人 『門への言	.認証機能 F続オンラ	の追加 イン化支	揺			公的個人 門への手			5揺	
	算年度(イン化研		17100	1/2			イン化研			C1/X	
	とな取組		▶ オンラ	イン化支	援				▶ オンラ	イン化支	援(随時	F)		
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	_ _ 委託·指	定管理	負担	金·補助金	}	の他(
3 3	事業費·	計	10年		-									
J	P.不只	אוו ניא	<u> </u>		R5決算		R	6予算現	額		R6決算	拿		R7予算
事業	費(千円)				1,040			2,350			1,782)	2,85
	12委		2. #P											
	14工		貝貨 及び交付金											
	その他		及○文刊业			1,040			2,350			1,782	o l	2,85
	(千円)					1,040			2,350			1,782		2,85
	特定則	源				520								
	市債その他													
	一般則					520			2,350			1,782	2	2,85
4 5			=\tau/\tau	I								.,		_,
	事業のF			由≢巫⊬	+>,7=,1	ク活田を	工经+0 1/	±≡ Λ Λ±	·拉尔士 / 3	ひってたま	チ供の	ナンニノン	/化を進め	スーレズ
	めざす状 したこと		₹現に きの成果)	中胡文1	」システム が無策によ	の連用でる住民利	一統担当 便性の向	珠への文	.仮守で3 務効率化	こ寄与し7	、 」 称いた た。	オンフィン	/16を進め	aدد ر.
KPI						指					_•	指	標2	
. (, _	指標		単位)		オンラ		た手続件	数(件)						
		目標					0							
		実績	值			15	58							
	目標値分につ		責値の差 の理由		Sける自主 Bえてオン				初の見					
行革	<u>.</u> 評価(;	一政	改革大統	岡に基づ	く評価)			-						
			意識	評価					評価	した根拠・	理由			
			財源確保)	В	一定の二	ストを要	するもの	の、住民和	リ便性の「	句上と業績	务効率化	この観点か	ら必要なな	施策である
	F	l da E	————— 日 文	評価					評価	した根拠・	理由			
		的! 標^	ぶ 行 への寄与)	C.	少しずつ	成果は得	られてい	るが、取れ	組みをさ	らに加速す	する必要			
	<i>₽</i> ₩+	÷4	노스카스	評価	, , ,	77071110110				した根拠・				
	(市民	等への	との協創 意見把握	D	内部的が	施筈でに	ナホスが	市民を券				レかいが且	 ≷的である	
			の活用)	_	פיני חיום ני א		יינוסינטא	마시간건		した根拠・		_ (& () X)]A	(h) (M) (
			ータ活用 の活用	評価	由≢茲□	- HD113% A	**************************************	5						
		EBP		B	中萌安门	以り伎().	未份于順	マルナンク		子してい				
	U.	\ <u>_</u> =	₩/#E	評価	<u> </u>	コーナショ ゝ	+n+ \ +	۷.S 1		した根拠・		のエ供っ		//
	榆	合語	半 1曲	С				えている 「欠である		、今後さら	に多く	の手続の	オンライン	化に向け、全庁-
事	業実施									率化を成し				
	・残され	た説	課題	手続担当	4課での約	北/電子両	手続の輻	輳回避に	向けた、	業務再構築		が課題で	ある。	
	今後の月	[▽幺円-	古針	ŧr :	大	かけ かんしょう かんしょう かんしょう しょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅう	州のウリ	- \ + r	/\Z \\ Z	判断		リタノの	行政主性	カオンニン・ルー
	712071	以 恒。	/111	11/2			必要があ		はる未労	X/J卒プレー	凹ハム	いタへの	リルメナー初び	りオンライン化に

			令和6年度	アクションプラン	事業評	呼価シート			
1 基	本情報		担当	当 課情報システ	ム管理室	関	係 課	基幹系シス	ステム利用部門
事	業 名 No.	2		ムの標準化・共通化					
	10.00	会 計	区 分 一般	会計 予 算 引		款 2	項	1	目 1
	策 体 系 [シティ・DX		战略 的 邡	施 策	行政改革		(1)
			限システムの標準化				,,	区分	自治事務
事	業期間 単年	度(年度) 🗌 単年	度繰返(年	度~継続)) 🛂 複数年	度(R5	年度~	R8 年度)
2 4	事業の概要・実施内	容							
事業	美目的・標準化対 実施効果 システム	象である	20業務の基幹システ どとなり、システムに係	ムを、標準準拠システム 系る費用の軽減が図れる	ムに移行する る。	る。これにより既	そ存システムペ	ベンダーに網	∮られることなく
事(全	業 機 要中に標準体計画)	準拠シ フ	ステムに移行する。	とに関する法律」に基	ざき、標準	準化対象である		基幹システ	テムを、R7年度
` _	事業(の対象	窓口担当課				(対象数:)
	7 1#3#3#	±hn > . → —	当初計画	*T = \$\frac{1}{2} \frac{1}{2}	L#2#2#1hn >	ノステムへの科	取組実績		
	 ▶ 移行に ▶ 条例・ サガバメ ▶ 標準化 → 委 ▶ PC更 	関する 規則の改 ントクラ・ システム 託料 : 新(350:	訂 ウド接続方法の決定 の検証 108,184千円	} → → → → → →	移行に関す 条例・規則 ガバメント 標準化シス → 委託料 PC更新(3	する契約締結 別の改訂に向け ヘクラウド接続 ステムの検証 4 : 97,624	けた調査 方法の決定 4千円		
	事業実	施手法	☑ 直接実施 ☑	· 委託・指定管理 [_ _ 負担金・	補助金 🗌 そ	の他()
2 =	 事業費・財源内訳			_					
3 =	P未貝·別·派内訳		R5決算	R6予算現額		R6決算		F	R7予算
事業	費(千円)		7,392		,310		156,678		373,970
3.214.	12委託料		7,392		3,184		97,624		330,643
	14工事請負費								
	18負担金補助及び交付金 その他			0.4	126		FO 0F4		42 227
財源	<u>(</u>		7,392		,126 ,310		59,054 156,676		43,327 373,970
7,2,3,3,	特定財源		7,392		3,184		95,999		330,643
	市債								
	その他 一般財源			0.4	5,126		60,677		43,327
		<u> </u>		00	0,120		00,077		43,327
	事業の成果・評価	/> ==0.			555 de de de	- 12/- 			
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)	住記パリ した	ノコンの調達を前倒	しで実施することで	、R7年度0	の移行完了に	同けたバソコ	コン史新作	:業期間を確保
KPI		0/2	指	西1			指標	E 2	
KFI	指標名(単位)		標準化準拠システ]日/17	πΔ	
	目標値		(
	実績値		()					
	目標値と実績値の差分についての理由								
行革	評価(行政改革大約	1	(評価)		=\(\pi/\pi\) +	- +8+hn TP			
	コスト意識	評価	100 1-3 - E-+	3 41 /- L/144 // 1		は根拠・理由			
	(費用対効果・財源確保)	В	パソコン更新では	入札により落札率6	5.5%での)調達を行った	<u> </u>		
	目的思考	評価			評価した	・根拠・理由			
	(施策目標への寄与)	В	R7年度移行完了	に向けて、条例・規則	等の対応を	を進めている			
	多様な主体との協創	評価			評価した	·根拠·理由			
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	標準化によって影	響を受ける業務の選	囲について	て事業者と協	力して対応	を進めてし	ハる
	デジタル・データ活用	評価			評価した	·根拠·理由			
	(デジタルの活用	В	国のガバメントク				ナド人の移行	を採択し	
	•EBPM)	評価	H-7737 777 7	- / I/ I/ I/ II/ II/ II/ I/ I/ I/ I/ I/ I		たれめ・理由	רו פויכיי	- 1/1/(U	_
	総合評価	5十1四							
	까다 니 aT* IIII	В	R7年度のシステム	4移行に向けて、各語	及び事業	者と協力しな	がら対応を	進めている	うため
重	 業実施上の課題	移行期R	<u> </u> 	 迫る中、移行後シス	テムやガバ	(メントクラウ	ド、運用に関	する詳細	補助金の額
7	・残された課題		不透明な点が多い		ノー・ハハ	··· · · · · / / / /		19 の中小川・	、川口やノコエマノ口兄
						判断理由			

R7年度にシステム移行を行う予定であるため

今後の取組方針

現状維持

1 基	本情	报			I	担	当 言	果デジタル	イノベー	ーション	/推進課 他	関	係 謂	₹	
事	業	名	No.	3	窓口DX										
	業区	分	新規	会 計	区分	一般	绘計	予 第				2	項	1	目 1
	策 体		I		シティ・D	X			戦	略的	的 施 策			革大綱	(1)
			自治体口									15-111 5-	事務		自治事務
事	業期	間	単年/	度(年度)	単年	度繰返	.(年月	き〜糸	迷続)」	複数年度	度(R5	年度~	R9 年度
2 事	業の	概要	・実施内	容											
	美目 [「ライフィ	イベントに	関するワ	ンストップ	プ窓口」記	設置により	り、住	民利伯	更性の向」	上と業務	効率化を	実現する。	1
	業 概 体計		対象手線	たの抽出、	際に手続た、窓口関連	業務の標	準化、信								
		_ ′	事業の	の対象	生駒市民		など						(対象数		-)
			ナンカユ	.+-レ*-	当初 スの試行開				士ン	/ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	[⋆] サービス	の計グ目	取組実統		
					マグロス 17 円 見察:1,58						先進地視			6~)	
			▶ 浜松7	市等、北見	市等				▶ 5	化見ī	市、米子市	ī			
	算年度		窓口DX ▶ 窓口(現状調査 、市民アン	ケート宝	旃				担当者会に係る現		隹		
主	な取約	1	▶ 業務	フローの礼	確認、見直				▶ }	窓口位	本験調査の	り実施	\ /L		
			► BPR	アドバイ	ザー派遣				▶ =	手続き	チェックシ タロRDR	ートの試 マドバイ・	作 ザー/- ト	る調査等す	5′摇
										ニュレノボ	MHD PK) I'/\^[) ICA	の响旦守∑	く」反
			事業実	施手法	✓ 直接	実施	 _ 委託·	·指定管理		負担	金·補助á	計	の他(
3 4	工業費	• 計 汇													
	- / / / /	753 116	741 JM		R5決算			R6予算表	見額			R6決算	Į.		R7予算
事業	費(千円					0			1,5	582			1,051		36
	12委 14工		各											1	
			スリ 及び交付金												
	その他	<u> </u>								582			1,051		36
	(千円)	+ ΣE				0			1,5	582			1,051		36
	特定則市債	1													
	その他														
	一般則	才源							1,5	582			1,051		36
4 事	業の	成果	·評価												
	かざすり													トップ窓口	のイメージを具
	ノにこと	.(事)	美の成果)	16した。	また、先行			に関する	リンス	トツ	ノベロを記	ダ直し連		抽つ	
KPI	指	票名(単位)				標1 設定						指	標2	
	1111	目標													
		実績	値												
	目標値 分につ		績値の差 の理由												
行革	評価(行政	改革大統	1	びく評価)					== /-		TM '			
			意識	評価	1140 P · - ·	- 7 =m-L	m++··	-			した根拠・				7.) . 1
	(費用対]効果·	·財源確保)		職員によ	る調査・	美施や、	国からの					対効果の	高い取組	<i>みとした。</i>
		的		評価		n=15					した根拠・		A = 1 / ·=		
	(施策	目標/	への寄与)	В	将来像の)解像度を	を高める	ため、視			通して具		対を行っ	った。	
			との協創 意見把握	評価							した根拠·	·埋由			
	月中) 第月・	持入の	息見把握 等の活用)	В	おくやみ	サービス	利用者	にアンケ-	. –		_ •				
			一夕活用	評価						評価	した根拠・	·理由			
		ンタル ・EBP	·の活用 ·M)	С	デジタル	·を活用し	たおく	やみサーし					テム導入の	の検討を追	<u></u> 生めた。
		<u>-</u>	/Tr	評価	,,						した根拠・				
	糸	総合言	半価	В	先進自治 ができた		全や現状	(窓口等の)把握	を通り	して、より:	解像度の)高い施第	後につなけ	るための取組み
	業実施				務の標準化										 わたる。
	・残され	た言	果 題	村害関係	係者も多く	、谷業務 	への影響	響も大き	いため)、関			取り組み	か必要。	
	公 经办	田口名口・	七红	+-	; _	/十中五世	5世の亡	1 L \-++++	-M-M-	ヒマイ	判断ニエケナナート		+ %0	h 芋 ノ+ /っと、	+++>1.
	今後の	以祖.	刀亚T] ±1/	太大						」政サービ プ窓口に向			対革は欠か する。	にない。

1	基本	情報	2					:	担	当	i	課化	情報:	シスラ	テム管	理多	È	厚	目	係	討	果全	全課				
事	業	ŧ	名	No.		4	AI٠	RPA	等の	活用	による	る業績	務の	効率	化												
事	業	区	分	継続	会	計	区	分	-	一般名	会計		予 :	算	費	目	款		2		項		1		目		1
施	策	体	系	I	スマ	7ート	シテ	۲·D>	X					Ä	鈛 略	的	施	策		行	政己)	直大 和	罁		(1))
根	拠法	ち令	等																	事	務	, j	区 :	分	自	治	事務
事	業	期	間	単年.	度(年	度)	√ È	単年月	度繰返	፱(F	۲ 6۶	Ŧ度 [′]	~継紀	続)	複	数年	度(年度	~			年度)
2	事業	の根	腰	・実施内	容																						
		目的	١ .	繰り返し。 で対象部	となる										等を対	舌用て	ぎきる	業務に	こつし	۱۲, ۵	これらい	のデ	゙ ジタノ	レ技術	析を導	算入す	る前提
事	業 全 体		要	繰り返し を行う	とな	る単	純作	業や	シスラ	-ム^	の手	入力	」なと	:\AI	·RP	A等	を活	用で	きる	業務に	こつい	۱۲.	·ΑΙ·	RP/	ハツー	- 11/0	り導入
			11) L																								
(土冲	司 匹	1 /	事 業(の対	寸 象	主に	窓口	担当	課										(5	付象数	(:)
_	土 仲	司匹	1 /	事 業(の対	寸 象		窓口 当初記		課											対象数 組実約)
(土		_	► RPA/ → RPA AI-0	AI-(\ライ OCF	OCR セン 保守	Rの利 ス料 計料:	当初 用料 : 2,0 I,32	計画 93千 0千F	-円 9	向什么	七	数の	-	→ R	PA	I-O(ライセ CR作	ンス	料:2	取 料 2,09	組実統3千円	績)
	決算年主ない	F度の)	► RPA/ → RPA	AI-G Aライ OCF 終記 しよ	OCR (セン R保守 こおけ 、RF	の利 ス料: おるR PA等 PAシ	当初 用料:2,0 1,32 PA等 の集り	計画 93千 0千F の活 中導 オ作F	円 円 用に 入(コ 成支	ンサノ	た業に	務の	- プ 	→ R A ・特に 直し	PA- I-O E業科	ライセ CR伊 答にす	ンス R 守 料 らける	料: 2 4: 1, . 5RP/	取 料 2,09 320 A等 <i>0</i>	組実組 3千P 千円)活用	積 月](こ[向けた PAツ) セス見 ,
	決算年	F度の)	▶ RPA/ → RP/ AI-(▶ 特定業 □セス見 ▶ 事業者 → コン	AI-G Aライ OCF 終稿に も がによ サル	OCR セン R保守 よおけ 、RF るR 委託	Rの利 ス料: PASR PASP PASP PASP	当初記 用料: 2,0 1,32 PA等の かけり ,254	計画 93千 0千F の消 かず オ作F	一円 円 川に入(コ 成支i]	ンサル	レ)		プ	→ R ト 特し ・ も ・ 間 ・ 間	PA- I-O 官業和	ライセ CR係 路によ よるシ	シス R守料 がける シナリ	料: 2 4: 1, 3 5 RP/ 才作	取 料 2,09 320 A等の	組実約3千円千円の活用	積 月 月 ERI	PAツ	- ル	·の見	l直し	
	決算年	F度 <i>0</i> ; 取組)	▶ RPA/ → RPA/ AI-(▶ 特定業 □セス見 ▶ 事業者 → コン	AI-G Aライ OCF 終稿に も がによ サル	OCR セン R保守 よおけ 、RF るR 委託	Rの利 ス料: PASR PASP PASP PASP	当初 用料:2,0 1,32 PA等 の集り	計画 93千 0千F の消 かず オ作F	円 円 用に 入(コ 成支	ンサノ	レ)		プ	→ R ト 特し ・ も ・ 間 ・ 間	PA- I-O 官業和	ライセ CR伊 答にす	シス R守料 がける シナリ	料: 2 4: 1, 3 5 RP/ 才作	取 料 2,09 320 A等 <i>0</i>	組実約3千円千円の活用	積 月 月 ERI		- ル	·の見	l直し	
	決算年	F度 <i>0</i> ; 取組)	▶ RPA/ → RP/ AI-(▶ 特定業 □セス見 ▶ 事業者 → コン	AI-G Aライ OCF 終稿に も がによ サル	OCR セン R保守 よおけ 、RF るR 委託	Rの利 ス料 けるR PA等 PAシ 料:1	当初記 用料: 2,0 1,32 PA等の かけり ,254	計画 93千 0千F の消 かず オ作F	一円 円 川に入(コ 成支i]	ンサル	い) :・指:		- プ ! ! 理 [→ R ト 特し ・ ・ ・ 間 ・ 関	PA- I-O 官業和	ライセ CR係 路によ よるシ	アンス保守料のサークサークサークサークサークサークサークサークサークサークサークサークサーク・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	料: 2 4: 1, 3 5 RP/ 才作	取 料 2,09 320 A等の 成に「	組実約3千円千円の活用	積 月 月 ERI	PAツ	ール ンス	·の見	l直し	

	7777	R5決算	R6予算現額	R6決算	R7予算
事業	費(千円)	4,666	4,666	3,413	4,396
	12委託料	4,666	3,346	2,093	4,396
	14工事請負費				
	18負担金補助及び交付金				
	その他		1,320	1,320	
財源	(千円)	4,666	4,666	3,413	4,396
	特定財源				
	市債				
	その他				
	一般財源	4,666	4,666	3,413	4,396

4 事業の成果・評価

	P未Vルル木 計画				
	めざす状態」実現に したこと(事業の成果)	ツールの)再検証を	行ったため、導入にまで至らなかっア	/ E
KPI				指標1	指標2
	指標名(単位)			新規RPA導入件数	
	目標値			3	
	実績値			0	
	目標値と実績値の差 分についての理由	た		行ったため、導入にまで至らなかっ	
行革	評価(行政改革大約	岡に基づ	(三評価)		
	コスト意識	評価		評価	した根拠・理由
	(費用対効果·財源確保)	В	ツール選	定においては、無料ツールも視野に	検討を行った
		評価		評価	した根拠・理由
	目的思考 (施策目標への寄与)	С		聞によるRPAシナリオ作成に向けた耶 用に向けての意識改革はできた。	双組を目指した結果、導入目標には達しなかったが、
	多様な主体との協創	評価		評価	した根拠・理由
	(市民等への意見把握 ・民間活力等の活用)	В	様々な事	事業者のRPAを検証し、より職員が使	いやすいツールの選定を行った
	デジタル・データ活用	評価		評価	した根拠・理由
	(デジタルの活用 ・EBPM)	В	RPAを利	利用することで業務の効率化を図るこ	とが目的であるため
		評価		評価	した根拠・理由
	総合評価	U		利用方法など導入前の検証に時間を 利用に向けての意識改革はできた。	至要し各課業務への導入に至らなかったが、各課職員
	業実施上の課題 ・残された課題	RPAを	気軽に業績	烙に適用できるRPAツールの選定 -	
					判断理由
4	今後の取組方針	改	善善	R7年度のシステム標準化の取組とi	車動させ、RPAを導入していく

168 4/13

1 基	本情	報						担	当	課	デジタル	イノベ	ーシ	ョン推	進課	関	係	課	全課			
事	業	名	No.	5		庁内	デー	タ共有基	盤の	構築									•			
事	業	区分	新規	会	計	区	分	一般	绘計	-	予 算	費	目	訓	欠	2	J	頁	1	目		1
	策(シティ		-				戦	略!	的施	策		行证	攺 改	革大綱		(1)	
根拠	见法		官民デー	-夕活	用推	進基	本法										事	務	区分	自	治事	務
事	業	月間	単年/	度(年	度)	✓ 単年	度繰	返(R6	年度	₹∼∦	継続)	i	复数年月	隻(年度~		ź	拝度)
2 事	事業の)概要	・実施内	容																		
事業					携基	盤を	整備	すること	で、各	誤力	で個別で	所有	して	いる:	データ	の管理	コスト	-を1	トげ、デー	夕流通	促進し	こよ
事業	実施		る業務の																			
	//// 11	III	庁内への	ロギー	クは	11年	般の	道入と	利田信	卫淮之	こ図ス											
		犹 岁 · 画)						守八し、	או נדוניזי	CÆ	니즈											
			事業(の 対	象													象数:)
				5±	- -±		当初					<u></u>	-"	5 H		血の治]実績	Į			
			庁内デー 利用料				导人							ータ共 4:64		盤の導 <i>,</i> 4	人					
			初期構	築費:	63	3千円	【流	用633=	千円】			初	期樟	欒費	:63	3千円						
決2	算年月	₹の	▶ (各課)				夕移:	行、庁内	公開							、調達、						
	こな取		▶ 庁内周 	小儿。	5/11/1	止 進						,)— ,	アイン	·) ·) -	ースの選	选、					
			事業実	施手	法		5接3	宇施		F.指	定管理		台 护	金∙箱	帥全	· 7	の他	(
		b n10		נ טני	14		2182	~ <i>,</i> ,,,,,,	_ 💆	םנ ט	<u> </u>		, ,,=	- 717 11	חד נאדנו	<u></u>	تا ره					
3 🗐	手美貨	夏・!打ル	原内訳			R5%	血質			D6	予算現	宮百				R6決算	ī			R7予:	首	
事業	費(千	円)				NO.	八升	0		NC)]′ 昇 り		527	-		NU次为		278		N / J':		,712
3.2142	123	託料											33	_				333				,,,,=
		事請																				
	18負 その		及び交付金									3 (94				-	545			1	,712
財源								0				4,6		,				278				,712 ,712
	特定	財源																				
	市債																					
		<u>吧</u>										4.6	527	,			1.2	278			4	,712
4 =												.,,					.,.	_ , _	<u> </u>			,,,,_
			<u>·評価</u>	Ι																		
			実現に	庁内	デー	-タ共	有基	盤の導力	しが完	了した	た。											
KPI		_ , , , ,						指	標1									指	標2			
1 (1		標名	(単位)				庁	<u>カ共有</u> デ		汝(件	.)							7.11	12.—			
		目標							50													
		実績	値						0													
			績値の差 の理由	システ		の選別	定・調]達・構築	ミに想え	定以_	上の時	間を要	Ęυ									
行某			改革大統			∠ ≣π/	油 /															
1J 				神にち 評価		<u>\ </u>	<u>Щ/</u>						評価	した	表拠・	理由						
		イスに 果校対	. 思誠 · 財源確保)	В		庁内	デー	 タ共有基	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なるい	ノリコー						,t					
	(50)			評		73 1 3		> /(1) -		0.0	, , _			した	- д. з.с.		7700					
	(拡	目的場	思考 への寄与)	C		遠宁	· =国2:	支。接统空	在1一時	囲た	亜した						ーレが	, Т	なかった			
						选足	可引人	王伯木、	₹1Ch41	印で	y U/C			した				т	.'A.J. J.C.	0		
			との協創)意見把握	評价		<u>г</u>	マエリ	ш±7-	- ' '	# dΩ-	z+1)											
	·E	間活力等	等の活用)	===:/		信	で利	用するっ	r 一 タ 担	基 監	じめり、)。					
			データ活用 ,の活用	評		+	1# ~~	1		,	.// =			したね			,					
	`	·EBF		С		木に	博 梁	、試行フ	エース	(じめ	り、共						۰۱۰					
		د ۸ ۱۸۰ م	-a. /-r-	評价	西								評価	した	拫拠・	埋田						
		総合	11 100	C		今後	の活	用が期待	寺され	るも	のの、 <i>ラ</i>	トだ構	築、	試行	フェー	-ズであ	る。					
란	5₩±	₩	○三田日五																			
手		施上(れた	D課題 課題	庁内	$\wedge \sigma$)周知	促進															
	,,,,,	,	.,,				T								判断	理由						
4	今後(り取組	方針]	見状	維持	ľ	まずは	十分な	書日	対効場	見を生	す。旅				内での	の 利	 用促進にI	取り組み	Ъ ,	
		,, .,		I .	- # ·			早期には									`	- 1 31			- •	

1 基	本情	報				担当	i i	課情報シス	ステム	管理	室	関	係	課		
事	業	名	No.	6	業務系情	報環境の)整備								•	
	業区			会 計	区分	一般	会計	予 算				2		項	1	目 1
	策 体	• • • •		スマー	トシティ・D	X			戦	略	的施贸	€			革大綱	(5)
	1法 4				(- -						m. (+)	1	事	務	区分	自治事務
事	業期	間	□ 単年/	芟(年度)	単年	度繰返	⊻(R6	年月	き~ 沿	継続)し	」複数年	-		年度~	年度)
2 事	業の	概要	・実施内	容												
事 業事業	€ 目 実施:	的 ・ 効果	業務系(L 職員のワ	.G-WAN ークスタ	I)の情報環 イル変化や美	竟について 養務ニーズ	、職員和に応じた	利用PC、情報 た適切な業務	報ネッ 务環境	トワ・ を提	ーク等のst 供する。	整備や、基	盤とな	る業績	務システム	等の提供を通じて、
	業 概 体計		供を通じ	で、職員	員のワーク.			職員利用P 養務ニーズI								務システム等の提
` —			事業(の対象	市職員									象数:)
			△₩□□	5女仁=上;击;	<u>当初</u> に準じた機	計画				似口口	更新計画	11-淮1×+		里美	Į	
					に挙じたが 00台(Off		'ンス含	む)							2ンス含む	·)
					消耗品費	72,820)千円		\rightarrow	備品	講入費 ワーク機	·消耗品	費:68	3,154	1千円	
	算年度		▶ ネット' ▶ サーバ		品・3口						は購入費					
₹	な取締		→ 備品	購入費:	6,162千		=_1		♦	業務	用クラウ	ドサービ	スの導			
					ヾサービス ·イセンス費				\rightarrow	泪和	品費(ラ	ハセノス	(質).2	281-	FPJ	
			// 34 6	ин Х	, , ,	, ,,,_,	, , , ,									
			事業実	施手法	直接 直接	実施	_ 委託	·指定管理	1	負担	金·補助	金 🗸	その他	(機器類の)購入)
3 ∄	事業費	·財》	原内訳													
					R5決算			R6予算現				R6決				R7予算
事業	費(千F					8,476			80,4	408			72,	307		2,356
	12委 14工		自 書			1,878										
	18負担	金補助	及び交付金			1,070										
	その作					6,598			80,4					307		2,356
	(千円) 特定則					8,476			80,4	408			72,	307		2,356
	市債															
	その作					0.456			00	400			7 2	2017		2.257
	一般則	才까				8,476			80,4	408			72,	307		2,356
<u>4 事</u>	業の	成果	·評価	F												
	かざすり したこと		実現に 美の成果)	情報系 も寄与		モバイル・	化を進	めたことで	、職員	員がん	パソコン	を持ち運	びやす	すくな	こり、ペーノ	パーレス会議等に
KPI						指	票1							指	標2	
	指		単位)													
		目標									1					
	口插点		<u> </u> 績値の差													
			関値の左 の理由													
行革	評価(行政	改革大統	剛に基っ	づく評価)											
		スト	意識	評価	_					評価	した根拠	心·理由				
			·財源確保)	В	中長期的	な視野を	持ち、	財政負担の					的に様	機器更	新を行っ	ているため
	F	目的原	思考	評価						評価	した根拠	心·理由				
			への寄与)	В	職員への	ヒアリン	グ等を	実施し、業	務二-	ーズ	こ応じた	適切な第	業務環	境を打	是供してい	\るため
			との協創	評価						評価	した根拠	心·理由				
	市) ·民i	ミ等への 間活力等	意見把握 等の活用)	В	初期設定	2を事業者	さく 依頼 かんりょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	頂すること ⁻	で、機	器紗	入後の	軍用が迅	速にて	できる	取組を行	ったため
	デジク	タル・テ	一夕活用	評価						評価	した根拠	心·理由				
	(デ	ジタル ・EBP	の活用 M)	В	職員へ0	ヒアリン	グ等の	結果を踏ま	え、	対応	方針を決	 に定してに	ハるた	め		
				評価						評価	した根拠	心·理由				
	ŕ	総合語	評価	В	計画に沿	トラスト 事業	 遂行カ	バできたたん	め							
	業実施・残され			次期ネ	ットワーク	機器の更	新に向い	けた庁内ネ	ット「	フー:	ク環境の	検討				
											判	断理由				
4	今後の	取組	方針	現	犬維持	中長期的	ナンは日田	ふをもって	計画	i的1-	機架車	近を行っ	711	ため		

1 基	本	情朝	2						担	当	課	デジタル・	イノベ	ーショ	ン推	進課	関	係	Ī	果	管理課、施	設マネシ	ブメン	ト課他
事	業	į	名	No.		7	公共		フラ分野															
		区	分	1,11,11,20	会	計	区	分		会計		予算	費	目	款				項			目		
		体	系	I	スマ	マート	シティ	(D)	X				戦	略的	勺 施	策		_			革大綱		(5)	
根拠		期	寺間		= /		<u></u>	·#= \		E度繰	·듄/		生用	をといっている。	L《丰 /	√ 1	複数年	庫/			区 分 年度~		治事 9	
				単年/			4	度)		FI支採	巫(平15	之~和	上市元)	1	友 奴牛.	支(R	0	平反~	K	9	年度)
		-		· <u>実施内</u>			"	ı — >/m	, , ,,,	1-4	4 1-					n = n =								
事業事業				本分野に			外半化	に貧	するだけ	ナでな	<\£	支術職採	用に	あたり	り、テ	・ジタ	ル化の	効果	見をア	′Ľ-	ールする	ことで	、人和	才獲得
			•	全国的に対	支術語	農の人	材不足	2等に	対応する	ため、刹	1織横	断的に業	務プロ	コセスを	を検討	し、テ	ジタルオ	支術を	を活用	して	情報共有	や事務の	の効率	≤化を_
事(全		概計		図るととも	5に、i タ化、	紙文書 設計な	iのデ i う 積算	ータ化 業務に	どを図る。身 こおける業	具体的に 縁プロ	こは、i iセスの	工事現場: の検討等な	等での を実施)タブl iする。	ノツト፤	端末や	デジタノ	レ図[面の活	用榜	対 、紙で	呆管され	こてい	る図面
(±	PH I		4 /	事業の			行政	組織	内部										対象数)
				▶現場作	** 1-	+N+		当初		∓ (1⊞±	Ф≡ . Н		►IB·	担化	** 1	±\1+ 2	z ="::"./		組実		川用につい	ソフカ	七人	- Z
				▶受発注:	者の)監督						場の促	図面	可及び	手段	との検	討							-90
				進)の実	証実	験							▶現	場業	務で(のリモ	テート端	沫	舌用0	実	証実験を	21回集	施	
	算年																							
土	EなE	拟組																						
				 w	., .	- \ 1				_			_											
				事業実	施 =	主 法	∐ Ī	直接	実施 _	_ 委詞	モ・指	定管理		負担:	金·補	助金	₹	c の化	也 ()
3 事	業	費・	財源	<u> </u>			D.E.	+ <i>^</i>		_			rhæ.				D () + 4	/-		_		DD 3	tr.tx	
事業	書(=	千円)				R5	犬昇	0		R6	5予算現	.額	0			R6決算	早		0		R7予	昇	739
7-/C	12	委語	眯											Ŭ						Ť				133
			請	負費 及び交付金																				
	_	の他	ZTHI 1973.	及U文刊並																				739
財源			\r=						0					0						0				739
	特別市信	定財 青	源																					
	その	の他																						
	— <u>F</u>	投財	源																					739
				<u>・評価</u>	I																			
				実現に (の成果)					の効率化 より現場												端末を使	用する	こと	によ
KPI			ハナス	(V)PA/N()	7.	ΗГ	CPAI	水に		標1	ů O 、		. ,		, -J Hr	S C 02	ع ع ت	μ ت		けた。				
1 (1 1				単位)					紙購入	量(%	₆)									H 1/3				
			目標 実績						ç	90														
	P#			iii 責値の差	未 を	工時1-	中旬	宇殿	を行い、	- 千郎/	の給	計段限とフ	ぶお し	В										
				が理由					較は適t				. 60.7	` □										
行革	評信	西(彳	亍政	改革大約			く評	価)																
				意識		平価		- 10	- 1 < 0 014			1		評価		艮拠・	理由							
	(費	用対	効果・	財源確保)		B	于 段	が検	討段階で	であり	、文	出を行つ				.□ 1bn	TM -L							
	(+		的思			平価	.k=+r	144-	· \= = 24 /	n +4 ++	. / . \ .			評価(_						
	()	他束目	目標へ	(の寄与)		B	情報	: 天有	や事務の) 幼楽	4比と	いつ日日) (いる。)				
				との協創 意見把握		平価	TENT	<u> </u>	- The state	7.O. = 1	7 <i>4</i> 7 ≠ •	+ > 1 - +4		評価		- 137 -								
				の活用)		C T/#	現心	(J.J. 1	<u> </u>	30.7 章 3	労で	十小に的												
		(デシ	ブタル	ータ活用 の活用		平価	=">"	ارا ا	 を活用し	た車	黎	変化の耳		評価! s あ ろ		汉]处。	理田							
		•	EBP	M)		B 評価	1 2	210	さ泊用し	//こ 丁 /	יואכני	干しい月		rのる 評価I		思拗.•	理中							
		総	合詞	平価			11/4~	1=1-	: O \ ±\'	">								_						
		,.,				В	当初	計曲	iのとおり	ノ、テシ	ノタハ	レ 技 術を	活用	したき	美証	美験を	と美施し	<i>」</i> た。						
				課題	実証	下実 野	食中で	あり	、未だ課	題の類	持定し	こは至っ	てい	ない	0									
	·残	され	た誤	課題	^n		Λ I · C	J	· / / C D/	~~~^T	ا ــــــ د د	-10-E >		J. V 1		//////////////////////////////////////	пан							
	今 绥	ص ا	双組之	六針		担什	維持		21本結二	+ =":	المزن	レルオ〜	≠ [m]	布 筆:		判断		ΕŪΙ		17	、より効	玄めナ	 ;+	ナバナト
	/ 12	. ∨/4	入小丘。	/J业I		- 元1/\	小庄1寸		いか実証				こ区	叫守'	∠ 作	י ט נים	六円寸	-F又I	こりし	، ر	、みり別	ተ ካነረ	刀法	いいみ

					124						于不同	пщи							
	本情報					担	当		市民課	12 I — 1-1		· + · 4 · 6	関	係		課			
事	業	名	No.	8	戸籍にお									ムロ		-	2		1
	業 区策 体	分系	継続 T		区 分 シティ・D		般会語	iT T	予 算	費	目 8 的	款 施 策	2		項	ᇔ	3 革大綱	目	<u> 1</u> (1)
			戸籍法	A 1	77110	^				书人	תח דיי	ルル	Ш	_	事				受託事務
	<u>。//// </u>	間	単年		年度)	H	年度	△□□		午度	~継続	∌) √	複数年				年度~	/A/E3	年度)
				(十汉)			米 (TIX	. 4111111	(b) <u> </u>	1227	12(וייו –	15	TIX		十汉)
			・実施内					\ - - \		1 - 611		10.1- 34					\ A===	- N7 4	
	美目 的 実施效	りま	戸籍の2 入力、住	シ証事項1 所地への	こ氏名の1	振り仮・行うこ	名」が、とによ	追加さ	れること 確な氏名	こに伴 名の振	い、そ	れに必るの記載	要なシ	人っ	ーム改 ^を する。	修さ	で本籍人/	への通知	の、届出の
事(全	業 概 体計i	画	振り仮名	が記録され	氏名の「振り れる。本業系	多は、そ	れに伴	され、令 うシステ	3和7年5 5ム改修、	月26 本籍。	日から 人へのi	1年以内 通知、届	出の入	が属 力、1	記出を 住所地	行う !へ(が、1年後 の通知等を	に市町村 行うもの	付長により のである。
` _			事業(の対象	生駒市の		٧								対象数	• •	約90,0	000人)
			一一年~	「 エ タハ !	当初 長り仮名」	計画	+ Z +	- x4.12	/ III / >	. = 4	<u></u> Ф V Гп	こタのも	ニハ/にく		組実		マナ おに), 画 / > =	=籍システ
				ステム等の		を記載	(9 ත/:	このハこ火	多な		着ハロ の改修		ヌソルスイ	5]2	と記載	9 1	る/こ <i>の</i> バこり	い安はア	1 耤ン人丁
			【R5	補正(繰起	数分)15,0		円】			[R5補	正(繰起			20千	円)	1		
決算	算年度(D			766千円〕 書作成・タ		井 つ	ワワンエ				初 1,7 の通知			2.半淮/	#			
	な取組			費 250		七人干	用 ろ,	1131	ΙJ			证(繰							
										・消耗	紀費	58千	円						
			重業宝	施手法	☑ 直接	宇施	√ ₹	き託・指:	定管理		当切全	·補助郐	<u> </u>	マ の	他()
				旭丁丛	直接	大心	<u> </u>	₹ā 6°3日.	足旨垤	5	マルエ	、川山		ران	16 (,
3 1	業費・	財源	京内訳		R5決算			D.	マ谷田	岁 石			Dest	竺				R7予算	<u> </u>
事業額	費(千円)			KO次异		0	KC	· 予算現	<u>积</u> 20,8	37		R6決		5,23	8		K / 丁字	₹ 14,523
チント	12委記	眯					Ť			20,5					5,18				814
	14工																		
	18負担金		及び交付金							2	50				5	8			13,709
財源((千円)						0			20,8				1	5,23				14,523
	特定則	源								20,5	87				5,18	0			5,336
	市債										0					0			0
	その他一般財									2	0 50				5	0			0 9,187
			=== /TT				-				00					Ü			2,107
	業の																		
	かざす状 したこと		₹現に その成果)	法改正的	基づいた	き事業で	である	ため、追	星滞なく	正確し	こ事業	を進め	ていく	0					
KPI						:	指標1									指標	票2		
			単位)				なし									な			
		目標					_									-	-		
		実績	-				_									_	_		
	目標値分につ		遺値の差 が理由				_									_	_		
行苗				<u> </u> 岡に基づ	く証価)														
114				評価						Ē	平価した	た根拠・	理由						
			意識 財源確保)	В	全国の自	1治体で	で同様	のシス						通り	の成	果/	 が得られ <i>†</i>	- -	
		-		評価	<u> </u>	4/411	C 1- 3 150		-13/13			・ た根拠・		~		, , , , ,	3 10 3 1 4		
		的! ===^	3.考 (の寄与)	В	全国の自	3.公休7	で同様	<i>のシ</i> ュフ :	テムみ修					通し	の成	里#	が得られた		
				_	土国の日		C IPJ13K	<i>0)</i>				た根拠・		(通り	بكردا ر ب	木 /.	1.14.24.0		
			との協創 意見把握	評価	∆ R o d	7.2/3/ -	~ (=) 1±	Φ > . 7 ·	— , ¬ь.					`ヱ ı	100	m 4	- 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 	_	
			の活用)	B	王国の日	1714	いり依	0)シス:	アム欧順					週り) U) DX.	禾/	が得られた	<u>۔</u>	
			ータ活用 の活用	評価	△ □ △ □	12/5/44-	- C1*	Δ > ¬ ·	- ,			た根拠・		/圣 /	1 A -1		LIVE C Jo J	_	
		EBP		B	王国の目	1冶体(ご问様	のン人:	アム改修					进り	が成	未7.	が得られた	C •	
	t d	<u> </u>	π/ =	評価						Ē	半価した	た根拠・	'埋田						
	稀	百言	平価	В	全国の自	治体で	で同様	のシス	テム改修	等が	行われ	ており	、予定	通り	の成	果想	が得られた	Ē.	
	 業実施 ・残され									載後、	、公証で	されたほ	氏名の	振り	仮名	を信	主民基本台	対帳及で	ドマイナン
	・残された課題 バーカードへの記載が予定されている。 判断理由																		
,	今後のエ	▽ ≱円-	方針	担什	維持														
	ノタリ	入心土.	/] 业	⁵⁵¹ /	(小年)寸	全国自	自治体	で統一	的な仕村	まで行	われる	るため、	遅滞な	i <	収り組	み	を行ってい	,۱<。	

1 基	本情	報							担	当	課	デジタル	イノベ	ーション	ン推進課	関	1	系	課	地域コミ	ユニテ	ィ推進	課 他
事	業	1	名	No.	9)	誰一	-人取	り残る	さない	デジタ	ル化の打	隹進										
事	業 [<u>×</u> 2	分	継続	会	計	区	分	_	-般会	計	予 算	費	目	款	2	2		項	1	E	1	1
	策(系	Ι	スマ	ート	シテ	イ・D	Χ				戦	略的	施策			行:	政 改	革大綱		(4)	
根拠		-	等															事	務	区分	Ì	自治事	務
事	業	钥 「	間	単年原	叓(年	度)	-/ 単	単年度	繰返(R3	年度	を一継続	続)	複数	年度	₹(年度~	•		年度)
2 事	事業 (の概点	更。	·実施内	容																		
事業				「誰一人」		浅さ	れな	い」テ	ジタノ	レ社会	の実現	見に向け、	市民	がデシ	ジタル技	術に角	触れ	、これ	1らを	安全に	利用で	きるよ	tうに
事業	実施	効り	果	なるため	の取	組る	を行う	ò.															
± -	лк ті	Dπ =		スマホ教	安の	宝龙	在士坛	≅₩ ·	フマホ	++ ++2_		北に トス	++ B+/	***** の		ポロナ	الد	ızıt	金出レ	の連進ナ	いどた	行う	
事 (全	美 15 体 計	既 上画		人、人、小子X	主い	大川	世又16	z 17.,	^ Y //\	シハ	ノ目り	火にみる	六卯	4年リレノ	石」山、火	纵门干	. 17.7		一間に	V/)连1万′c	KC ~	11 70	
				事業の	り対	象													象数:)
			L	► Elon	+- */-	≓α		当初		`			. 7	7++	⊦ +₽ <i>2</i> ¬	去口			実績				
				▶ 国スマ ▶ スマホ											ナポータ ポータ-								
				委託費:	1,91	15=	千円			2,7,0			委	迁費:2	275千	円							
決!	算年月	度の		▶ 域内キ	ヤリフ	ア店	舗と	の連	隽						けポータ 81名∂								
主	な取	組												·HIII、	0170		О 7	/1DD	K G X	(1) 0			
			ŀ	事業実	施手	- 法	:[直接	主施	V 3	季託•‡	旨定管理	╁	負扣全	·補助 [。]	全	70	の他	()
	= 4 14 →	± 0							- 10</th <th></th> <th>~~u J</th> <th>-~</th> <th></th> <th>ىلد ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</th> <th>_ [[[</th> <th></th> <th>, _ ~</th> <th><u>ن</u> ، ۔</th> <th>`</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>,</th>		~~u J	-~		ىلد ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	_ [[[, _ ~	<u>ن</u> ، ۔	`				,
<u>3</u>	美	€•狀	1波	内訳			R5	決算			R	86予算現	嫍			R6	4筲				R7-	予 質	
事業領	費(千	円)					113	<i>///}T</i>	2,78	39		(O] }		915		1107	\ 71		275		117	J 71	493
	123	を託業							2,78					915					275				493
		[事]		負費 及び交付金						_													
	その		11/1/	又〇文刊並						-													
財源	千円)							2,78				1,9	915				i	275				493
	特定		į						1,39	94													
	市債																						
		財源	į						1,39	95			1,9	915				ž	275				493
4 3	三堂(ン は !	里。	·評価						<u></u>										=			
	かざす																						
寄与し	_ン たこ			の成果)																			
KPI										指標1									指	漂2			
	指			単位) (幸				スマ	7. 木教		靖者数 ((人)											
			標係							200 81	1												
	日抽			値の差	(‡⊟≡	火스	<u> </u>	余hn	(1)		田九十十十	の創出に	- 向 +	- <i>†</i> -									
				理由								るため。	-1471)	/_									
行革	評価	(行	政i	改革大組	到に基	きつ	ごく評	/価)															
		コス			評									評価し	た根拠	·理由							
				財源確保)	В	3	今後	後ボラ	ンティ	アとし	して活	動する「こ	スマホ	サポー	-ター」(の育成	を、	初め	て実	施した。			
		目的	ήĦ	考	評価	価								評価し	た根拠	·理由							
	(施			が つ の寄与)	В	3	新た	こな旅	策でる	ある、 ⁻	サポー	ター育成	によ	る共助	体制の	構築を	を目	指し	た施	策に取り	組んだ	ぎ。	_
	多村	歳な主	体と	との協創	評	価								評価し	た根拠	·理由							
	(市	民等^	へのま	意見把握 の活用)	В	3	市国	引え	る団体	本等と	の対話		て、来	年度り	人降の事	業の均	場を	創出	し始	めている	· >		
				一夕活用	評	価								評価し	た根拠	·理由							
			ソレク	の活用	_		スマ	7ホを	使えた	校ル第	象者向	 可けの事業						ルを	用いた	よかった	ため。		
			ורנ	*1)	評	価				, ,					た根拠								
		総合	狺	平価			デシ	ブタル	ディハ	バイド	是正に	 向けた共						組み	、11:	名のサポ	ーター	 を輩:	 出し
					В	5						て、サポー											
事	業実												か、活	動の場	の提供	やサバ	ポー	ター	組織	の組成支	援なる	ど、将ュ	来的な
	·残さ	れた	語	題	枠組	みの	の検討	寸を行	う必要	要があ	5る。												
	A 150	D 111-	·	-AI		,1.1	L_1		A			\		1.0.1		理由				- • · · ·			
1	今後(ひ	出フ	力針		扭	太大					活動の推 うに当該な									公亜 か	ボカス	
					Ī				ン1水′	ᇰᆂᄺ	٠ ـ ـ ـ ر	ハレコ砂1	工工员	マルスマンス	حساحا	ールノー	4 人。	ノ小口の	ノロ刑	エルア み りん	い女刀	ه ره رس	

1 基	本情	報				担	当 言	果デジタ	フルイノハ	ベーショ	ン推進課	関	係	課』	P.画政策	課他				
事	業	名	No.	10	地域ポイ	ント														
事	業区	分	新規	会 計	区分	一般	会計	予	算 費	目	款	2	項	Į	1	目	-	1		
施	策体	系	I	スマート	シティ・D	X			戦	略的	的施 策		行政	改改革	5 大綱		(4)			
根 拠	弘法~	等									-		区分							
事	業期	間	□ 単年/	叓(年度)	度) ☑ 単年度繰返(R6年度~継続) ☐ 複数年度(年度~											年	度)		
2	真業の	概要	・実施内	容																
事業	<u> </u>	的・			6強化、市	 民との協	創によ	るまちこ	づくりを	実現で	 する手段と	して、	地域ポ	イント	 を導入す	る。				
			地哉ポイ	へんを道	入し、その	利用促发	また行う	<u> </u>												
	業 概体計				生駒市民				" 等				(対象	9数:	_		,)		
			4. X.	· //3 /2/	当初			-W-3-VICE		取組実績										
				′ントの導	入					地域ポイントの導入										
			委託料:	: 4,400	十円 築し、領地	式・機能を	(現金)	.7			4,400千 ーザー数:		∩夕(D	733	25钼左)					
`+.	*** / nin	_		域で実証		% 1%HE C	PRAEC		▶ §	登録ス	ポット数:	44ヵ月	ի (R7.:	3.25						
	算年度 Eな取約		▶ 例えば	、自治会	の事業とし	て実証	実験実施	施			ト検討ワーント出展、				*(2 <u>E</u>)					
	_ 0,-12(1)	_							合	生1八	ノト山展、	スハツ	下父流:	云川徂	E(∠凹)					
事業実施手法 図 直接実施 図 委託・指定管理 負担金・補助金 その他()				
3 事	業費	·財》	原内訳									- 431 5	-	_			-			
市豐	費(千F	□ \			R5決算	0		R6予算		400		R6決算	<u></u> 4,4	00		R7予算 1,953				
尹未!	12委					0			4,	400			4,4		47					
	14工	事請!							.,				., .							
			及び交付金														- 1 1			
財酒	その(<u> </u>				0			1	400			4,4	00				180 953		
	特定則	才源								200			2,2				1,2	,55		
	市債																			
	その作									200			2.2	00			1.0)E2		
									۷,	200			2,2	00			1,9	953		
			·評価																	
	めざすり		実現に 美の成果)								、、駅前地域を中心とした事業者・団体へ営業、イベント出 利用者と40を超えるスポットを設定した。									
KPI		- \ 丁 ラ	長071以未7	放守でと	せいこれり円		iniO、 標1	1,0001	らで他/	「の小」	用有と40	で但ん	このヘハ	指標		<u>_</u> 0				
KPI		漂名(単位)			市民利用)						1日1示						
		目標)	•												
		実績	値			1.4	0%													
	目標値分につ		績値の差 の理由	効果検証	Eの過程に	おいて、	市民が	利用して	ていただ	<u>-</u> め。										
行革	評価(行政	改革大統	L 岡に基づ																
13 1			ミス・フィー 意識	評価	VPT IPA					評価し	Jた根拠・	理由								
			·財源確保)	В	委託事業	者に多く	を頼る	らのでは	なく、自	ら様々	マな施策を	実施し	ノてコス	トを担	印えてい	る。				
		3 6/5 F	H -Y	評価						評価し	Jた根拠・	理由								
		目的原 目標/	芯行 への寄与)	В	現役世代	を中心と	した層	記、地域		画へ	のきっかに	ナづくり	しが始ま	まってし	 いる。					
	夕.详·	+>→ /+	との協創	評価	751747-1					評価(った根拠・	理由								
	(市)	等への	意見把握	В	事業者/		かはほん	木などと			々な施策		わはじ	めてに	ー \る.					
			等の活用)	評価	予 未日/1	1/LIPT/ 7	٠١ اتحا ١٨٠٠٠٠٠٠	+·&CC	V)Æ1/3		した根拠・		10160	0) (0	.00					
			⁻ 一夕活用 _' の活用		¥ಕ್ಕಿಸ್ ⊸	ロおって	レナハ	批批	まれが可											
		·EBP	M)	B =π/==	コ級アフ	ノルベト	になり	、心以八	判り、日		されている									
	Ý	総合語	亚価	評価	小手车	た涌して	- 	シェのエ	たいか		ンた根拠・		月老の名	訓山ナ		キズ に	ナンかっ	\t-		
	1	心口百	ттіш	В	当該事業を通して、マルシェの手伝いや店舗への出店体験希望者の創出など、これまでになかった 地域活動が生まれ始めている。															
	業実施			課単独で、市全域/様々な住民層・団体層への利用促進を図るには、多くの人員が必要である。																
	·残さ	れた	果題	今後、実証事業としての評価を行い、本格導入に向けた判断が必要。																
	∆‰. <i>∽</i>	HD&D	/ -61	4.4]	+ ^ 1-1- ·	⊕ ₹11 F	1/D\#-4-	IDI フ ㅗ	u <u>-</u>	判断到		624.5	== 1114	+z**	1 <u>244 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 </u>	_ 4++ 1	7		
1	今後の	拟組	刀亚T	11/2	大						齢者・地域 大を図り、						∟按す?	ବ		
				ı		ᄓᆜᆫᅜ	=1/7 A .Ø	, C =	コッチラ	ベマノコム	い、こ四フ	・・・ノロ	1140)	التادت	こつ ひけ	ەرد				

	L \ 	+=					4 0 3	=	m		- 11		ı <i>1</i> -	T.	-m	^						
_	本情						-		果デジタル					系	課	企画政策	課 他					
事	業	名		11			よる市民参							備								
	業区			会	計	区	分一般	绘計	予 算		_	款	2	項		1	目	1				
施	策体	系	I	スマ-	<u>ートシ</u>	シティ・	DX			戦 略	的加	拖 策		行政	改	革大綱		4)				
根 拠	』法 🤄	令 等												事	務	区分	自治	事務				
事	業期	間	単年	度(年度	() 🗸 単年	度繰返	.(R5	年度~	継続))複	数年度	(年度~		年度)				
	= ** ^	407 as		ಚಾ																		
			• <u>実施内</u>				4.		111 1-151 4			. IV I#— .	u			ルエナイ						
							being向」 がら、オン										用すると	ともに、				
	業 概体計						るモデル棒	構築と検	討、市の名	S 種施策	でのス	ナンライン	ノプラッ	ットフ	才一.	ム活用を	行う。					
			事 業 (の 対	象	生駒市	i民							(対象数: -)								
							初計画							取組								
							るモデル	構築と検	討					るモデ	ル構	築と検討	ţ					
			委託料				インプラッ	ト フォー	.八千田			,289千 筈でのオ		·~,~=	-	トフォーム	汗田					
			委託料				12227	トンカ	ДДП			,129千		ン フ.	<i>)</i>)	· // A	/Д/П					
	算年度			,						▶ 庁内	利用:	6施策										
土	な取締	沮								▶ 市民	利用者	皆数:29	4名									
															`							
)						
3 事業費・財源内訳																						
						R5決	算		R6予算現	額		R	6決算				R7予算					
事業	費(千						2,355			6,629				6,4		4,21						
	12委						2,355			6,629	9				18			1,166				
	14I																					
	その代		及び交付金															3,052				
財源の							2,355			6,629	a			6,4	18			4,218				
	特定						1,177			0,02	1			0,7	10			7,210				
	市債						.,															
	その作																					
	一般	才源					1,178			6,629	9			6,4	18			4,218				
4 3	1単の	成里	•評価																			
	かざす																-					
寄与し	ったこと	八巡」 。 2(事美	その成果)																			
KPI							指	標1			指標2											
1/1 1	指	標名(単位)			地垣	幸福度指		禁(件)		1 H 1/1/2 C											
	- 7.0	目標						0	->14 (11)													
		実績						0														
	日煙症	シェ	着値の差														-					
			の理由																			
行革	評価の	行政	改革大約	岡に非	ţづ。	く評価	i)															
, , , , , ,				評		- 14	,			評値	面した	·根拠·珥	由									
			意識 ·財源確保)	В		季 託重	************************************	ェー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	かく 他理の		評価した根拠・理由 事業と合同で実施したり工夫しながら取り組んでいる。											
	(52/13/	- J \\ J \\ \	767 #/八年年 1717/	_		父叩子	** HICK! OI	6/3 J C	\$ \\ EBKV		事業と台同で実施したり工夫しなから取り組んでいる。 評価した根拠・理由											
		目的思		評																		
	(施領	目標/	への寄与)	C		一定の	成果は得ら	られてい	るが、ある	べき姿	の実現	記に向け	、さらな	いる取	り組]みが必要	 ぎである。					
	多様	な主体	との協創	評	西					評価	囲した	:根拠·理	由									
			意見把握 等の活用)	Ιв	;	市民と	の対話を終	圣ること	で、施策の	優先度	付けと	施策実施	施の満	足度(の向	上が見込	まれる。					
				評化	·##					1111	前した	·根拠·理	由									
			⁻ 一夕活用 _' の活用				1.11- 11-02	Fm::	ナルつでナ					\-4	7." —: -1	EZ -21-	t>-+					
		·EBP	M)	В		ナンタル	レツールの活	出により	ノ、い ノ ご し					رحہ	ハぐて	このように	ょつた。					
評価											断した	·根拠·理	由									
総合評価 既存の方法にデジタルツールを使った対話を基準を必ずるように活用していくのが																		した。地域				
宇宙及1日示とこのように右角していくのが、予後の共体があ地来につるけるための収入値ががくさん。																						
	業実						形成過程に										本計画アク	クションプ				
	·残さ	れた言	果題	ラン第	定時	に組み	込み、どのよ [。]	うな政策 	が市民の幸福	温度向上に	こつなた	がるか検討 <u></u>	すするこ	とが不 	可欠	である。						
												判断理	由									
-	今後の	取組	方針		拡	大			:よるまち									意見を				
							取り入れ	ι、地域	幸福度指標	悪を活用!	して施	策を検	討する	ことた	が必要	要である。	,					

1 基	本情	報					担	当	課デ	·ジタル·	イノベ	ーショ	ョン推済	進課	関	係	課	市民活動	推進セン	クー他			
事	業	名		12			ィア人材				チンク	ブの打	惟進										
	業区	分	新規	会 討		,,,		会計	于	9 算	費	目					項		目				
	策(I	スマー	トシテ	ィ・D	X				戦	略的	り 施	策				革大綱		4)			
-	见法 *															事		区分	自治	事務			
事	業期	間	単年/	芰(白	F度)	単年	F度繰	反(年度	を一般	継続)	<u>√</u> 1	复数年	度(R6	年度~		年度)			
2 事	事業の	概要	・実施内	容																			
	業 目 実施		新たな活	動を生	:み出す	す場を	つくると	こともに	こ、既に	に活動	され	ている	る方の	の活動	かを活性	生化了	する。						
	業根体計		でスキル															とともに、 くりを推済		ージ等			
(±	T	四 /	事業(の対象	東											(太)	象数:)			
				-/-	, ,	当初					取組実績 個人・団体が保有するスキルなどのシェアを目的とするオン												
			▶個人・園 して、地												するス 食討を§		など	のシェアを	目的とす	るオン			
			オンライ						り見り	ر م) 1	J 1)		ヘリル	X01 C 5	大儿也							
決	算年度																						
	上な取																						
			事 类 中	佐工	+1	- ++	⇒+ <i>⊱</i> Γ	-	r +155	544.100	<u> </u>	4. +□	A #	<u>+□+</u> △		т / Ш	,						
事業実施手法 □ 直接実施 □ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他(3 事業費・財源内訳)							
3 4	事業費	·財》	京内訳	ı	D.E.	\ + \			D.(▽ ㎞ τ□	かま				D () + 5	/-		1	DD 7 25				
車業	費(千	ш\			R5	決算	0		R6	予算現	.額	0			R6決算	₹	0		R7予算	0			
尹禾.		託料										0						' 					
		事請	負費																				
			及び交付金																				
財酒	その(千円)						0					0					0			0			
//// C/K	特定											-											
	市債																						
	その	也 豺源																					
								<u> </u>										<u></u>					
			·評価	ı																			
	めざす		実現に 美の成果)	_																			
		_ (丁 ラ	トリル木)				+6	1 西1									+6	指標2					
KPI		樗名((単位)			指標1 マッチング成立数(件)											拍	惊 乙					
	- 14	目標					3																
		実績	値					_															
			績値の差	既存事業によりマッチングは成立しているが、 の実績とすることは適当ではないため。								業											
,			の理由 				は適当で	ではない	ハため) <u>,</u>													
行革	評価	行政	改革大約		ブく評	<u>r価)</u>						- 17 /	I + 4	El +bn	III.								
			意識	評価	J175	ナ 르 게	- - - - - -	mon	raka di e	+ 7 ≠ ·			した札										
	(費用)	付効果	·財源確保)	_	当記	多事 弟	に係る耳	以組は	発止す	で る た ひ													
		目的思		評価									した札										
	(施第	も 目標/	への寄与)	_	当記	亥事業	に係る耳	収組は	廃止す	するため	め、評	価は	行わ	ない。	•								
			との協創	評価							Ī	評価	した札	艮拠・	理由								
			意見把握 等の活用)	_	当語	亥事業	に係る耳	収組は	廃止す	するたと	め、評	価は	行わ	ない。	•								
			一夕活用	評価							i	評価	した札	艮拠・	理由								
	(デジタルの活用 - 当該事業に係る取組は廃止するた											価は	行わ	ない。)								
評価 評価 評価 評価 評価 評価 評価 にた 根拠・理由																							
総合評価 – 当該事業に係る取組は廃止するため、評価は行わない。																							
事	業実施・残さ			_																			
													2	判断	理由								
	今後σ	取組	方針	J	廃止		既存の	事業に	より本	事業の	の目的	は達				新たれ	なシス	テムの構	· ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ないか			

1 基	本情	青報	ž						担	当	課	スポ	一ツ排	.興課	:		関	係	課	生涯学習	課等				
事	業		名	No.	1	13	施設	设予約	システ	ム構築	業務	Š													
		区	分	新規	会	計	区	分	_	般会計	-	予				款	8		項	5	目		2		
			系	I	スマ	7ート	シテ	ィ・D	X				単	线 略	的	施策				革大綱					
根拠																		事		区分	自	治事	移		
事	業	期	間	単年	度(年	度)	単	年度線	返(í	F度~	継	売) 🗸 ネ	复数年	度(R6	年度~			年度)		
2 事	事業(の根	騕	·実施内	容																				
事 業事業				現在は於 向上が其				見金払	4いのa	みの扱い	ハだフ	が、キ	ヤツシ	'ユレフ	ス決	済を導入	するこ	ことで	、施設	対用者の)更なる	利便	更性の		
事(全				現システム 新たな施設 や利用料金	公子公	シスラ	テムは、	住民0)利便性	白上や施	設予約	约受付款	業務の	効率化な	よどを	を目的に導	入してい ため、Sa	\るが、 aaS方:	社会二 式とする	ーズの変更I る。	こ伴い、新	新たに	使用料		
` _	PT. P	ı	a /	事 業 (カオ	寸 象	2											(対	象数:)		
当初計画 → 公共施設等予約システム導入に関する情報提供依														取組実績 ▶ 公共施設等予約システム導入に関する情報提供依頼書											
				▶ 公共所 頼書(RI				ナム	導人に	関する	情報	提供任		公共 RFI)			システ	ム學ノ	人に関	する情報	提供依	粮書			
								築業	務に係	る選定							ム構築	業務に	こ係る	選定					
· 決	算年月	变σ)			約システム構築業務に係る選定 ▶ 施設予約システム構築業務に係る選定																			
	こな取																								
				事業実	. 施 :	手法		直接	宇施		≣ ∓.±	 旨定管	TEE [— 台:	日全	··補助金	. 🗆	<u></u> その他	()		
	- JUL -	.			. אני	J 12	· [·	旦1女:	大心	女	<u> </u>	日に日	生	只1	브파	作品的亚		CUTIE					,		
3 🗐	手美	貫・	打波	内訳			DE:	決算			D	(6予算	车田郊	ī	T		R6決算	首			R7予	笞			
事業	費(千	円))				1\5,	八升		0	- 11	(U]′)	千少兀的		0		110//	开	0		1/ /]/		1,549		
3.2142	12	委託	料							Ť					Ť								3,685		
				負費																					
	18頁 その		補助	及び交付金											+								864		
財源					Н					0				-	0				0				4,549		
	特定	財	源																				,		
	市債														\perp										
		財	源												-								1,549		
4 =				=\tau/\tau						-													.,.		
				<u>・評価</u> ≷現に																					
				の成果)																					
KPI					指標1														指	標2					
	扌			単位) /*											_										
			目標		H										+										
	日標			iii 責値の差											+										
				の理由																					
行革	評価	(行	顶	改革大約			ごく評	価)									'								
				意識	福	平価_								評任	西し	た根拠・	理由								
	(費用	目対交	効果・	財源確保)																					
		目	的思	思考	言	栖								評价	西し	た根拠・	理由								
	(施			の寄与)																					
		との協創	<u>=</u>	栖								評值	西し	た根拠・	理由										
				意見把握 の活用)																					
	デシ	ブタル	レ・デ	一夕活用	福	栖								評值	西し	た根拠・	理由								
	(の活用 M)																					
·EBPM) 評価												評	西し	た根拠・	理由										
総合評価総合評価																									
事業実施上の課題 施設利用者にとって利便性の向上につながる テムに慣れるまで一定の対応が必要となる ディン かんが かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん												であが、システム移行に伴い、施設側や施設利用者側にとってシス 可能性がある。													
					H											判断理	里由								
4	今後	の取	組	方針												131417									

					13.	ПОТЬ	×,,,,			1 7	ДТЩ	'									
1 2	基本情	報				担	当 ii	果 SDGs	·公民	連携	推進課	関	係	課	関係各課	7					
事	業	名	No.	1	協創対詞	話窓口の	活性化	-													
事	業区	分	継続	会 計	区分	— <u>-</u>	股会計	予 算	費	目	款	4		項	1	目	5				
	策体		П		働·公民連						り施 策				革大綱		(4)				
	<u>// </u>			11-20133	143 Z Z Z Z Z	-1/3			174	-н -	3 70 71		事	務	区分		<u>、 </u>				
事	建 // 業 期	間	□∺左	庄/	ケヰ\		生电缆点	/	<u></u>	노 신 N	/ v ±\ / ·	複数年月	_								
尹	未	囘	単年	攴(年度)		年度繰返	.(年は	き〜総		後奴牛/	支(R2	年度~	R9	年度)				
2	事業の	概要	・実施内	容																	
事	業目ほ	的・	公民連携	携のワン:	ストップ窓 ビスの向_			話窓口」(の活性	E化を	行い、民	間事業者	者等と	_の連	携事業に	よる地域	課題の				
事 (全	業 概体計	要 画)			行政が持つ				題の	解決	と民間の	取組促達									
			事 業(カ 対 著	生駒市民		氏间事業	(首寺						象数:	-						
						計画							拟剂	且実績	į						
			►協創対	討話窓口	の運用				►協	綿刻対	話窓口の	運用									
			►ポータ	ルサイト	·作成委託	業務 83	36千円		► ∄	▶ポータルサイト作成委託業務 732千円											
.	<i>**</i> - -	_	►協創対	括レポ-	ートの作成	500=	「 円		►協	▶協創対話レポートの作成 330千円											
	算年度								INDIANTALIA I VILIA COLIII												
-	主な取約	1																			
事業実施手法 □ 直接実施 □ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他																					
			争業美	施手法	i 直接	実施 [<u>√</u>] 委託・	指定管理	√	負担:	金・補助金	ž <u> </u>	の他	()				
3 }	事業費	· 財源	原内訳																		
	3.71434	71340	311 3 pr (R5決算			R6予算现	親			R6決算	拿			R7予算					
事業	費(千円])			11210101	4,125				336				062			6,725				
3	12委					4,125				336				062			6,725				
	14T		負費						,												
	18負担:	金補助	及び交付金																		
	その化	5																			
財源	(千円)					4,125			1,3	336			1,	062			6,725				
	特定則	才源				385	5										2,241				
	市債	<u> </u>																			
	その他					3,740			1 1	336			1	062			4,484				
	刀又只	小小小				3,740			٠,٠	550			١,	002			4,404				
4	事業の	成果	・評価																		
Г	めざすり	態!	実現に	170111	-1 mm n =		. I +	100 P	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー												
			美の成果)	協創对	詰窓口の語	認知度问	上を図り	うつ、連	用を継続し、20件の事業提案から4件の事業化につながった。												
KP:	T					指	[標1		指標2												
IXI .		票名(単位)			事業持	是案件数		実証化件数												
	7,11	目標					·0件		13件												
		実績					:3件		4件												
				事業 # # 1	- の明 <i>に</i> 井/			\I=88 <i>15</i> 7.=9	B \ - Ø =	国市标	±0.75	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
	日保恒分につ		漬値の差 の理中		2の関係構造に行ったが		ハ 捉条こ	とに関係説	果との調整 市の政策課題をふまえた事業提案件数が伸び悩んだ ため。												
ス <u>ニ</u> モ											/20/0										
1丁 耳	<u> 計判明し</u>	1丁収	以早人		づく評価) 					=स्त्र/===।	した根拠・	理由									
			意識	評価																	
	(費用対	効果・	財源確保)	В	協創対詞	話窓口は	、市職員	が直接実	施して	ており、運用のための経費は発生していない。											
	F	的原	田去	評価							した根拠・										
			ぶつ √の寄与)	В		国、その何	也の中間ま	を援団体が	実施す	るマ	ッチングイク	ベント等	に積極	図的に	参加し、認知	印度の向上	こを図っ				
					た。					= ग्रा/≖।	+ + + + + hn .	理由									
			との協創 意見把握	評価							した根拠・										
			息光に涯 (の活用)	A	大企業や	やスター	トアップな	よど様々な	皆等の連携を図っている。												
	デジタ	フル・デ	一夕活用	評価						評価	した根拠・	理由									
		ジタル	の活用	_	デジタル	やデータ	を活用でき	きる機会が	ないた	- め ₋											
		·EBP	M)	=== /==	, , , , , ,		274713 C C	_ O M A //			1 1 101hn	TID -									
	٠.	A =		評価			_				した根拠・				<u> </u>						
	新	合治	半曲	В				が整備され、徐々に認知されていることで、民間事業者等から													
					の事業法	足系が継	続的に得	られるよ	つにな	ょつた											
=	事業実施				業者等から						には、生駒	市が目	指する	まちつ	ゔくりのビ	ジョンや	地域課				
	・残され	った記	果題	題をよ	りわかりや	すく提え	示すること	ヒが求めら	られる	0											
											判断	理由									
	今後の	取組	方針	į į	広大	複雑化.	する社会	課題に対	応して	C <	には、民	間活力等	手の流	手用は		り、活件4	化が求め				
				1		らわる				•	01	· · · · - ·									

					15.1						'					
_	基本情報	<u>R</u>				-			公民連携技	推進課	関	係	課	商工観光	:課、関係	各課
事	業	名	No.	2	奈良先端	料学技術	析大学院:	大学との	連携推進							
事	業区	分	新規	会 計	区分	一般	绘計	予 算	費目	款	4	I	頁	1	目	5
	策体	系	П	市民協	動·公民連	携			戦略的)施 策			改改	革大綱	(2)	,(4)
	心法 令	等										事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	□ 単年/	度(年度)	単年	度繰返(年度~継	続) 🗹 🕯	复数年月	度(R6	年度~	R9	年度)
2 4	直業の#	班亜	・実施内	突												
	業 目 st															
	実施交		大学発ス	タートアッ	プの創出及	及び育成支	援体制を	充実させる	ることで、将	来的な地域	以 コミュニ	ニティと	と地域	産業の活	性化が期待	寺される。
事(全	業 概体計員							-ズをベー	-スとする	事業化支援	受を行う					
			事業(の対象	生駒市民		業者等						象数:)
			1.1=+=			計画 ``	7 <i>6</i> 7 7 5	K -r	11-+-	兴			実績		-=-	
	算年度(Eな取組		いこま <u>性</u> 5,000		フセラレー [・]	ションノに	ゴク フム3	交託	・約3か ・プレイ		ンタリン 業家思	ノグ等	の事	業化支援		
			事業実	施手法	直接	実施	☑ 委託・扌	旨定管理	負担金	金・補助金	:	の他	()
3 📱																
					R5決算			86予算現			R6決算				R7予算	
事業																4,846
			马弗			0			5,000			4,8	346			4,846
	その他		スリストラエ													
財源	(千円)					0			5,000			4,8	346			4,846
	特定財	源										-				1,615
	市債															
	その他								F 000			4.0	146			2 221
	一般財	까							5,000			4,8	346			3,231
4 📱	事業の原	成果	・評価													
	めざす状 したこと			·大学発	ミスタートフ	アップの倉	削出及び育	育成支援 (体制の基盤	を構築し	た。					
KPI	-					指	標1						指标	票2		
			単位)		研究シー	ーズを活ア	₹した産	学連携数								
		目標	••				2									
		実績	値			:	3									
	目標値の		責値の差 の理由	同種業務 したため	8の事例から)。	53件程度	を支援対象	象とする業	務仕様と							
行革	評価(1	亍政	改革大統	岡に基っ	づく評価)											
		ストi	意識	評価					評価し	ノた根拠・ [:]	理由					
			財源確保)	В	市場相場	易を調査し	、 同種業	縁の事例)を確認す	るとともに	こ、プロ	ポーサ	 ずルに	よる業者	選定を行	うった。
		44.5		評価					評価1	」た根拠・	理由					
		的!	公考 (の寄与)	В	奈良先端	大の研究	シーズが中	長期的に	地域に還元	される事業		認識し	、より	有効な支	爰(メンタ)	ノング他)
	()地外1	二1亦()	(0)月子)		が実施さ	れるよう、	委託業者	と協議しな	がら業務を	<u>行った。</u>	TM -					
			との協創 意見把握	評価						ノた根拠・						
			息兄だ姪 の活用)	Α	奈良先端	計大関係都	者並びに	委託先業	者を通じて	各種専門	家と連	携した	E.			
	デジタ	ル・デ	 ータ活用	評価					評価し	ノた根拠・	理由					
	(デシ		の活用	_	デジタル	やデータを	活用でき	る機会がな	よいため。							
		EDP	IVI <i>)</i>	評価						ノた根拠・	押山					
	総	合訂	平価	В			としても		取組だった			や成	果発	表会も行り	ハ多くの	事業者
	<u>↓</u> 『業実施 ・残され				端大が有し	ている研	 开究シース	ズの多くた	バ基礎研究 ・長期的な							ら、研究
	,,,c.1	., Ср	,,,,,,	<u> </u>	J, J		7 3/0		~,41-1 0	判断理		2.~10	א	~- ~ ~		
	今後の耳	以組	方針	現物	犬維持	中長期的	りな視野	での継続的	的な支援か			である	るため	<i>b</i>		
				-												

						17,			, a								
		「情報			ı		-		果 地域コミ	ユニティ扌	推進課	関	係	課	全課		
事		業	名	No.	3		協働のまち								T		
事		区	分	継続	会 計	区分		会計	予算	費目		2		項	1 1	目	8
施		体	系	П		動·公民連	携			戦略的	的施 策				革大綱		1)(4)
				自治基本									事	務	区分		治事務
事	業	期	間	単年/	度(年度)	単年	度繰返	(H24	年度~継	鱶続) □	複数年	度(年度~		年度)
2	事第	美の根	要	・実施内	容												
		目的				ァナフ 宀 ì	ムサナタに	回のほう	€≠ \\\ \ \'	シェン・カチ	·≠ # + \	~I ++	+~~	′11 /- :	₩₩ ± フ		
事	業実	施效	果	本中の重	支 局規配 •	じめる目)	日基本余1	州の浸透	≦を図り、参		を基本で	こしたま	57	.りを:	推進りる	0	
				参画と協	婦に対す	する理解や	き意識の高	高揚を、	市民、事業	者等への	啓発だけ	でなく、	、行政、	广内	各課職員	に対し	ても意識
事(名	業分析	概 :計画	要	付け、浸	透させる	取組を行	- う。										
\	⊏ <i>P</i>	ים ו ב	리 /	事業(の対象	生駒市月	民						(対	象数:	-)
							計画]実績			
					協働の事		п\			▶参画と							
					リナの研修 も講座の	§(50千F)開催	ነ)			▶ 職員向▶ 市政研				而右			
	L /-/- /	- rt- 2		▶ 市政研	T修会時 」	ノーフレッ	トの配布			▶ 1373							
		年度の					250千円)			▶ 自治基	本条例の	り見直し	/(25	7千円])		
		~4X11 <u>11</u>		▶目冶星	೬◆余例0	り兄担し(342千円	1)									
	事業実施手法 ☑ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 ☑ 負担金・補助金 □ その他(3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 409 642 433 39)	
3	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 業費(千円) 409 642 433 39																
	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算															 算	
事業	業費(千円)											433			392
				7. 111 1													
				負費 及び交付金													
		の他	1件以).	及び文刊並			409			642				433			392
財派		円)					409			642				133			392
	特	定財	源														
		債															
	-	の他 -般財					409			642				433			392
							+07			0+2				733			372
				<u>・評価</u>	T												
		です状		₹現に ≰の成果)					取組状況を	調査し、習	審議会に	諮ると	ともに	、職員	向けの研	肝修を乳	€施するこ
		ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	争未	₩未	こじ、理	ぶり浸込	を図った							+64	曲つ		
KF	′¹⊢	指揮	夕(単位)			指 画と協働		<u></u>					打 百1	票2		
	\vdash		目標			<u> </u>		00事本 80	11 80								
			実績					51									
		標値と	二実糸	責値の差	令和6年	度から、	「協働」に	かかる፤	周査対象を	変更し							
				の理由	たためナ	大幅に減ら	りした。										
行	革評	価(彳	亍政	改革大約	岡に基づ	(く評価)											
		7	ストi	意識	評価					評価し	した根拠	·理由					
	(1			財源確保)	С	イコマニ	ア保険は複	数社の見	見積もりを聴	取するなと	ご、費用の	節減を図	図った。				
			的思	————— B- X	評価					評価し	した根拠	·理由					
				ぶ行 、の寄与)	В	さらなる	協働の取約	目の推進!	に向け、協働	先との相互	三評価を主	主軸とし	た職員	研修を	実施した	0	
	-	<i>₽₩+</i> \	→ /+	L- O-HARII	評価						した根拠						
		(市民等	手への:	との協創 意見把握		学塾 古	マ田体 か	黄本兄に	 よって構成				の目さ	i to	図った		
				の活用)	B ===#/==	一部、门门	ス四件、公	기치마	. み ノ () 件 ()				ツノ兄匠	10°C	<u>コノ/こ。</u>		
				ータ活用 の活用	評価	<u>Д</u> -, ,-	EL 6	F 3W = 177 -	/t=		した根拠		A 150 -	<u> </u>	4-4-10-1:	_	
			EBP		С	参画と協	働の事務		結果を分析				今後の	万向	또を検討し 	た。	
		, ,,	^ -		評価					評価し	した根拠	·理由					
		総	合計	平価	В	附属機関	月での審議	義を中心	いに、参画と	協働の取	組の推進	進に向け	ト 各種I	取り糾]みを実施	もした。	
																	
		実施						動の理念	が普及して	ているとは	は言い切っ	れないは	犬況で	あるこ	ことから、	引き続	き普及啓
	• 93	きされ	ノに設	未起	(発寺の)	以組か求め	かられる。				\langle	~ TET -1					
	<u> </u>	<u>ሄ</u> ጥ ፑ	π <u>έ</u> ロ-	L -21	IH/T	->从+ +	会まいた	カチャーー	ハナル キ	** \D + \		理由	フート	.+	7TT 1.65 656 6	カ+00 ヘ -	+×===
	71	後の耳	、加入	刀亚丁	以 現初	(維持			いては、事 必要がある		こなるも	いいであ	ること	かり.	、埘修寺(ク機会?	と活用し、

					15.1	HO + 13				ナハ	итш <i>-</i>						
1 基	本情報	R				担	当 課	上 広報広耳	徳課			関	係	課	全課		
事	業	名	No.	1	都市イメ	ージ形成	事業(情	報発信)									
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費	目	款	2	J	頁	1	目	4
施	策体	系	Ш	広報広耶	徳・シティ:	プロモー:	ション		戦	略的)施 策	J	行工	改 改	革大綱		(1)
根拠	』法 令	等							-		-		事	務	区分	自	治事務
事	業期	間	単年月	度(年度)	単年	F度繰返(年月	き〜継	続) 🛂	複数年周	 度(年度~		年度)
2 =	5柴の1	HI AB	·実施内	宓													
					報などを様	マなメデ	ィアを活用	して発信し	, 市	内外の	働き盛り	世代の人	に生馬	句に興	味や関心	を持って	もらう。ま
事業	美目 的 実施效	カ果 ソ	た、「住む	」「働く」「¾	楽しむ」が清	あたされる	まちづく	りを進めて	いる	ことへ	の理解・共	感を広	が、来記	方意欲	や居住・参	画意欲(の向上を図
3. 71	.) (110)	3 > 1 <	る。	キント ナン	か/手・ナナ	中 叶士 7	オースのは	サンコ ナン	n =+	·わ フ \	- 井野の草	も四ケム	~~~	ᄀᄩ	<u> </u>	エチン	
事	業概	要	様な地域	まつしカヽ	や働き方を を様々な>	天 成りる くディアを	を通じて多	いいない Yell できます という N	つ、記	1100	- 土油リレノタ	分型メル	ינוכריי	<u>の</u> 店	ள "	泊割し	いりに多
(全	体計i	画)			主に働き			51H 7 G 6					(\$115	象数:			
			7 × v	7 N 3		<u> </u>								*妖· 実績			
			・ポータ	ルサイト係	ステ・更新				•ポ	ータル	ナナイト保	守・更新			•		
			▶ 1,766	千円					▶ 1,	651=	千円						
			·各種情	起杂信					. 夕	插桂去	8発信						
	算年度(▶1,961							459-							
主	こな取組	L	.,						(主	な内記	R)						
															∕303千 ∕275 千 F		训制作/
									40	7711.	スタノロ	114(5,	000	마//	2/5/1	J	
			事業実	施手法	▽ 直接	宝施 「	✓ 委託·‡	指定管理	П	負担 名	金・補助金	<u></u>	の他	()
	F 7117 349							1,2,1,1		/ (1_1	11112331		•> 10	`			
3 🖣	事業費·	灯冰	別人訳		R5決算				R6決算	T			R7予算	当			
事業	費(千円	1)			NJ//	3,029		R6予算現		727		NUMF		110		IV 1 3 3	6,177
3.214.	12委	粈				2,907				598				88			6,048
	14工					0				0				0			0
	18負担金		及び交付金			50 72				50 79				50 72			50 79
財源	(千円)					3,029			3.	727			3.	110			6,177
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	特定則	源				1,021			Ο,	0			Ο,	0			2,349
	市債					0				0				0			0
	その他一般財					2,008			2 1	0 727			2	0 110			0 3,828
						2,008			ی,	121			ی,	110			3,020
<u>4</u>	事業の	<u> </u>	<u>・評価</u>														
	めざす状			ポータル	レサイトの	閲覧数は	月間12,	000PVI	まど	で推移	% SNS(I	Faceb	ook.	Inst	agram)	のフォ[コワーは
		(事)	美の成果)	中间的	700人增			に触れる。	人、妈	叫休)	いを持つ	人を増1	ای ر				
KPI		■夕(単位)		/ t%=		標1 ′卜年間閲	野数						打	票2		
		目標					イージと										
		実績			,		108PV										
	目標値	と実績	遺値の差	市民と協	茘働した記	事作成や	や、多様な	ンメディア	の活	用、							
	分につ				レサイトと												
行革	評価(行政	改革大約	岡に基づ	(<評価)												
		スト	意識	評価		\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		-			た根拠・		1 1 - 4		# m + 1 + L o	· ·	= ** +
			財源確保)	В	山 山 山 掛けた		ソトの有負	を付つとと	. tıc	、タノL	コイトの配	仲光の気	退回し/	よと、	貫用对划為	その高い	事業実施を
	Е	的馬	 思考	評価							ノた根拠・						
			ふっ への寄与)	В				な暮らし方 ていただい		き方など	ビ将来都市	「像の実活	現に向]けた	情報発信に	E努め、E	目標を上回
	タ 垟 ナ	· 主体	との協創	評価	2)1.4IC	/N-970·.	711* 金光	((1/2/20		評価し	ノた根拠・	理由					
	(市民	等への	意見把握	В	市民PR	チーム「し	こまち旨	宣伝部」と					を小排	\ \ † <i>t</i> -	•		
			の活用)	評価	1,5201.10	,					た根拠・		_ \	1770	0		
			ータ活用 の活用		google	アナリティ	クスやSN	Sインサイト					∽∙SN	S運用]に活用し	た。また、	、Webアン
		EBP	M)	B	ケートを	実施し、効	果を測定し	た。		= /	→ → → →	TIII					
	44	= ۵	ਜ਼ /==	評価	++10	\#\+\#\	144/01-6	± E51 − CB1			ノた根拠・		L»— —		+	/ /	±+0 <i>% (= \</i> >
	税	合記	+1 Щ	В				王駒に興 など行政									青報発信や た。
=	 ***	L A	7号田日五	*=~									_				
手	『業実施 ・残され				イメージは 羕な暮らし												
	/XC1	., Ср		1.0.07 /	J. J. B. J. C.	7,500	, ,, c ,	, 150 C J	2111	- 1 1 1 1	判断	-	- / \/Ľ	- 12	., 5., 5		
	今後のエ	[又約日 ⁻	方針	‡r/	大	_ · · ·			<u> </u>								
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	W4T	120	"	~/\	市外に向	可けた情報	報発信を積	責極的	的に行	い、生駒	市の認	和度や	きまず	5意欲の向	引上を図	4る。

								ΤÌ	ЛОТ	卡片	ミアン	ノン:	ヨンフ	フノ	事	·美	:計学(曲)	ンー	-1							
1 基	本情	報							担		当	課	広報店	広聴調	Ę			B	月	係	Ē	果				
事	業		名	No.	2		都市						流支援													
	業 区		分		会		区	分			设会計		予算			<u> </u>	款		2		項		1	E		4
-	策位		系	Ш	広報	広聴	を・シ	ティ	プロモ	-	ション	/		戦	略	的	施货	包	J				革大綱		(1)(4	
	L 法 ·	-						<u></u> \								/ tele		146	- 11/- /	事	務	5	区分		自治事	
事	業期	1 F	間	単年原	芟(<u> </u>	[度)	!	甲年	F度線	[返(4	度~	/継	続)上	′] 修	数年	度(年度~			年度)
2 事	事業σ	(概:	要·	実施内	容																					
事業事業	美目 実施	的 効り	果	地域に関																						
事(全	業 根 体 計	无 · 勇	要) 】	生駒の鬼マーケッ	トを市	民	と協	働し	て作る	ζſ	ハこま	民PI ちマ	マチーム	ト部」	こまち の運	5宣 営	:伝部」	と、	生駒の				力を認知	·体縣 	ऐ·発信 ———	する
				事業の	り対	累				世代	<u>t</u>										付象数					
			-	▶ いこま	ち官位	一部		<u></u> 当机	計画					•	1.1.	また	5宣伝	部		収	組実	傾				
				597千F		ДЦР	•							4	60 1	F円]									
				▶ いこま	-	_ <i>_</i> _	wkı	±π															、託児事 01千円	業者	2事業	渚)/
	算年度			3,665		-)	יוכ	11)						'	94	IJ	、ハヘ	ノハ	· / / .	<i>)</i>).	^貝/	1	01113			
<u> </u>	な取	袓															57-/	ケツ	卜部							
															,53(きなに			等	委託/	/3.3	386 -	ŦF	円、消耗品	뮤/8	30 1 ₽	9
														\-	_ 0.,	, LI	(7 11 11 11	- 'J -	~pu/	٥,٠			3 (7) 3 (0)	'Н'	,0 , ,	-
				事業実	施手	法	1	直接	実施		✓ 委	託・排	旨定管 ³	里	負担	担金	・補助	金	√ 1	その化	<u> </u>)
3 事	丰業 君	计即	オ源	内訳																						
	3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 2,859 4,262 3,990 2,9 12委託料 2,438 3,583 3,485 1,13 14工事請負費 0 0 0 18負担金補助及び交付金 0 0 0 その他 421 679 505 1,7																									
事業			<i>!</i> Sl																							2,917
				自費					2,4		_			3	•	_				3		-				1,136
	18負担	金補								0)				(0					(Ō				0
14工事請負費 0 18負担金補助及び交付金 0 その他 421 財源(千円) 2,859 特定財源 0 市債 0 その他 0														1												1,781
以 源			<u> </u>						2,8		_			4	•	_						_				<u>2,917</u> 1,111
	市債																									0
12委託料 2,438 3,58 14工事請負費 0 18負担金補助及び交付金 0 その他 421 65 財源(千円) 2,859 4,26 特定財源 0 市債 0 その他 0																					_				0	
	財源(千円) 2,859 4,262 3,990 2,97 特定財源 0 0 0 1,1 市債 0 0 0 その他 0 0 0 一般財源 2,859 4,262 3,990 1,80														,806											
																1) /	こい意	欲力	が大幅	に向]上し	た	。さらに、	事業	参加を	をきっ
KPI		<u> </u>		:0713(1/1)	73.171	تاد	5436	י וויד	(/D =/)		標1	27J.		0 v 1 a	0						#	台框	票2			
IXI I		標名	<u> </u>	単位)				事業	参加			関与	意欲			+					JI	= 112	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
			標	-									コア5													
		実	績	直	拊	雙	·参	加·愿	謝意	欲	がそれ	にぞれ	194 • 8	39.9	7											
	目標値分につ			養値の差)理由	事業								発見・多	と信し	た結											
行革	評価	(行	政i	改革大組			<評	<u>′価)</u>										- -								
				意識	評価	Щ		K (> 1	_ + _	617				<i></i> - <i>-</i>			た根拠			h. ,	— AIK	_	14-4-5-14			
	(費用	対効:	果・身	財源確保)	В		事第	美参加	間番の)伴;	走支技	がま	職員が	行づな						むた	事業	美	施を心掛	トナた	.0	
		目的			評個	E	生影	で莫	ं हेत्र र	<u>. М</u> а	担占っ	の射	力物 「	このま			た根拠			主業	多加多	رز	何度も対	重壬 Ⅰ . <i>†</i> -	- 木市	のまち
	(施第	策目 標	票へ	の寄与)	В								け像の理		感が	深記	まるよう	うにき	努めた		> /JH 🗀	_	ונאט אוניו	ш	-0 7 T 1113	V
				この協創 意見把握	評価		車業	会加	老がな	<u> </u>	. 潘芒	ΛÌ	休とかる	2 F 六			た根拠			-立(1十		企業	業の協力を	こ 但 た	車茶港	当た
				の活用)	В		行つ		11 /1/ 11		连占	い土	件しるで	ע אע						ZDNG		上ラ	モマノカカノナで	- 1 11 /C	尹未廷	:古で
				ータ活用 の活用	評個	E											た根拠									
			3PI		В		事第	美参力	古や	関	係者に	こアン	ノケート	を行	い、糸	吉果	や分析	斤内	容を	事業	に反	yl	ンた。			
		A	·		評個	E											た根拠									
	j	総合	信	片 曲	В																		。参加者 施した。	との	対話や	アン
事	業実				いこ 一定(まち のス	マー	-ケッ レ・ノ'	<u>ー</u> ト部に シハウ	ま、 ² 7の		7年度 がで:	まで返 きたた		座の進	開催め	<u></u> 催とマ)方をを	ーク 会討	_ <u></u> ケット(し、部	の開 3員の	催を-)自立	予 開	定してい!	<u>ー</u> たが、 りてし	 開催I \る。	 こ伴う
	判断理由																									
	今後の	双和	組プ	5針		改	善																発信をご		進める	5契機

					1- 1	нот	12,,,,			ナハ	и тщи	'				
1 基	本情朝	2				担	当	课 企画政	策課			関	係 課	農林課、商工推進課ほか	観光課、事業	計画課、学研
事	業	名	No.	3	道の駅の)整備(こ向けた訓		務							
事	業 区	分	新規	会 計	区分	_	-般会計	予 算	費	目	款	2	項	1	目	6
_		系	Ш		<u></u>			0 7.			施策			革大綱		2)
	<u> </u> 法 令			12111111111	J , 1 .				174	-H -J	70 N		事務	区分		 `事務
	<u>。//// </u>	間		= /	ケヰ\	- H	(左连续)		/ -	亡 ~小〈	/±\	複数年度				
尹 >	表 朔	囘	単年/	支(年度)	<u> </u>	4年度繰返	<u> </u>	午は	き〜継紀 かんりゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	死/ 上	授奴牛は	度(R6	年度~		年度)
2 事	業の概	要	・実施内	容												
	美目 的 実施効		雇用就労 の場の創	の機会創設出等という	出や地域経った効果が	済循環 見込ま	の促進によれる道の駅	こる産業の活 について、	5性化 基礎調	、交流 <i>人</i> 間査を実	、口増加! 施するこ	こよる経済 ことにより	斉規模の拡 検討材料で	大、拠点整を収集する。	備による?	交流·滞在
事(全	業 概 体計画	要	ための基础	楚調査を実	施する。	ける道の	り駅の役割を	҈き明確にする	ととも	に本市	の状況や	社会情勢	を調査し、遠	色の駅整備の	の方向性を	検討する
			事業(の対象									(対象数:)
						計画							取組実績			
				E(繰越)】							(繰越)】					
			委託内容 (1) 末端		沈握と課	晒の東	女I田			化内容	このまま	毎据と言	果題の整理	Ħ		
				地事例調		ルとして立	E生				也事例調		木匠り走り	E		
	算年度0			セプトの							プトのユ					
王	な取組				模の整理							模の整理				
			(5)施設	整備と管	理運営手	法	A-A-		(5))施設整	を備と管	理運営		/-		
							等						ŧ	争		
			= * +	+	I			II-a-1 At		<u></u>	1 10 - 1		- 61 - 5			,
			事業実	施手法	直接	実施	☑ 委託	・指定管理		負担金	ì·補助á	主 	の他()
3 ∄	業費・	財源	内訳													
	-> \><	/\ J #/.	IN JEV		R5決算			R6予算現	額			R6決算	1		R7予算	
事業領	費(千円)					0			400			0			0
3 7 7 7 3	12委計									400						
	14工事		負費													
			及び交付金													
	その他									100						
	(千円)	<u>ाम</u>					0		4,4	400			0			0
	特定財市債	<u> </u>														
	その他															
	一般財								4.4	400						
									• • •	100						
<u>4</u> 事	業の原	<u> </u>	<u>·評価</u>	L ** 0 FF 0 :	= - /++	_ =m- -1	^= 		1 T A 1	- <	71-11-11-11		E 1 % from 2 3 M/2	76-1	7 to 10 to	
	かざす状							ついては、当 を締結した。								
寄与し	<i>」たこと</i> (事業	の成果)		年度に繰越			C 1111111 07C0	0/3 C	/ / /////	0110 7	دے زمازلام			73 ELIXE C 0	00000
KPI							指標1						指	標2		
			単位)													
		目標														
	Pil A	実績	值													
	目標値と	ヒ実約	責値の差													
	分につい			<u></u>												
行革	評価(彳	亍政	改革大約	岡に基づ	く評価)											
	7	ストi	意識	評価						評価し	た根拠・	理由				
			あられ 財源確保)	_	当該事第	美に係る	 る取組はま	完了であ	るたと	め、評価	 5は行わ	ない。				
		,	t- c	評価							た根拠・					
		的思		四十四	٦١८≣÷÷++-₩	ナ 1ー <i>1</i> デ -	Z HU¢□1∓ →	ーロファナ								
	(他束目	目標へ	の寄与)	_	当談事 第	きに徐る	り以組はオ	に 完了であ								
			との協創	評価						評価し	た根拠・	理由				
			意見把握 の活用)	-	当該事第	美に係る	る取組はま	₹完了であ	るたと	め、評価	町は行わ	ない。				
			一夕活用	評価						評価し	た根拠・	理由				
	(デシ	ブタル	の活用	и і іші	TY≣###	生1一/でこ	ス 日7公月1十十	 -完了であ								
	•	EBP	M)		コல争え	ここがな	マカス性による	>元」での								
				評価						評価し	た根拠・	理由				
	総	合語	半価	_	当該事業	とこ 係る	る取組はま	完了であ	るたれ	め、評価	別は行わ	ない。				
						~1~ I/N G	ショスリエロのノ		س/رر	\ PT#	41V1J1V	24.0				
事	業実施	上の	課題													
	・残された課題															
											判断	理由				
	今後の取組方針 現状維持 道の駅の整備に向けた調査検討業務の結果を踏まえて、道の駅整備の方向性を検討す											食計す				
		, ,		′້ຶ		ス	,,,,, <u>,</u> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- , J , ノ , C 山口.	1/\[> > > > > > > > >	· - "H/I		- · /= · / //	MIJ ~ / /.	. ا ت بدر د ، ،	,,,,,

									コフフ. 			тр і іш		'						
	本情報	<u> </u>		ı		担	当		企画政	策課			艮	月	係	課	商工観光	:課等		
事	業	名	No.	4	大阪·関		— .		I =											
	業区	分		会 計	区分		-般会計		予 算			款		2		項 	1	目		6
	策 体	系	Ш	広報広り	徳・シティフ	プロモ・	ーション	<i>'</i>		戦	略的)施:	策	J			革大綱		(2	
	退法 令											<u> </u>	1.6	= **-	事	務	区分			事務
事	業期	間	単年/	芟(年度)	<u> </u>	単年度網	返(年	度~継	続)し	✓] 夜	数年度	支(R6	年度~	R	7	年度)
2 事	事業の構	要	・実施内	容																
事 第	美目 的	り・ 加果	催事等^	の出展に	こ伴う本市	うの認然	知度向_	上やI	関係人口]の増	帥、市	内消費	貴に信	半う経済	済効:	果等力	バ見込まれ	າວ.		
事	業 概体計員	一番			員会及び万 経済の活性の													人口の増	曽加.	、インバ
` _	71 PI F	- /	事業の	り対象												象数:)
				1#44 E /+		計画					D 4 8 T 1#	· * = / +	- A \±	1# 42 10		1実績				
					合連携負担 ゾパビリオ:						及び万博 幾運醸成		台連	携貝担:	金 。	2,900)十円			
					貴【執行列						ポスター	、チラ						O 150/0 #		O (#-)
\$±14	答生曲/	7									巾内向処 シティド					JL X X .	281件、景			51升 <i>)</i> 等
	算年度の こな取組									> /	パビリオ	ン催事	等事業	業検討	J,					-
	_ 647/11										関西パヒ シグネチ				の給	id				
											打合せに					נינ				
		R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算)			
2 重	巨業費.	費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 千円) 0 3,009 2,909 3,2 委託料 本記料																		
J	一个人	・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 日) 0 3,009 2,909 3,2 託料 0 3,009 2,909 3,2																		
事業	事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 費(千円) 0 3,009 2,909 3,2 12委託料 14工事請負費															3,212				
3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 3,009 2,909 3 12委託料 14工事請負費 14工事請負費 14工事請負費 14工事請負費																				
R5決算 R6予算現額 R1 事業費(千円) 0 3,009 12委託料 0															2	200				2 000
	その他		及び父付金							3,	9				۷,	900 9				2,900 312
財源	(千円)						0			3.	009				2.	909				2,900
X 3 m3 v	特定財	源									003					, , ,				_,,,,,,
	市債																			
	その他										000				2	200				2 000
	一般財	<u> </u>								3,	009				۷,	909				2,900
<u>4</u> 事	事業の原	找果	・評価																	
	めざす状				うける観光			向け	た取り約	且みの	の検討な	や市内	周遊	シスタン	プラ	·IJ—(の実施、認	知度向	让	や市域
		(事業	美の成果)	来訪者の	の増加を図															
KPI		5 <i>2</i> 7 (以 (十)				指標1									指	票2			
		目標	単位)																	
		実績																		
	日标他の		漬値の差 の理由																	
行革	評価(1	一政	改革大統	副に基づ	(〈評価)															
13—				評価	Тртіші/						評価し	た根	拠・理	里由						
			意識 財源確保)	В	機運醸成	事業では	よ、奈良県	と連	携する企	画に利	責極的に	参画す	ること	とで、負	担金に	対する	る費用対効:	果を高め	りた。	また、奈
				評価	良先端大	との連携	秀によって	(費用	を押さえ	、惟爭	評価し) 6 -	とかで	きた。			
		的思	思考 (の寄与)		観光資源の	DPRに	向けた取	組の	検討や市の	内周边					によ	って、i	忍知度向上'	や来訪者	の均	豊加を
	(他來)	はほべ	(の句子)	В	図った。						l ı	, 10	lba T	m - L-						
			との協創 意見把握	評価							評価し									
			の活用)	Α	奈良先端之	大と連携	隽、近鉄G	HDΫ	ウ宝山寺等	手には					こ向け	た取約	1の検討を過	≜めるこ	とが	できた。
			一夕活用	評価							評価し	た根	拠・理	里由						
		バタル EBP	の活用 M)	С	新たな観光	光資源 P	PRに向け	た新	たなコンテ	テンツ	として、	デジタル	ル技術	肯を活用	した』	取組の	検討を進め	た。		
				評価							評価し	た根	拠·玛	里由						
	総	合詞	平価	В	奈良先端にできた。	大との選	車携、近豑	ŧGH[ウや宝山き	特等と	の協力を	を行うこ	とで	、費用を	押さ	えつつ	、予定通り	の成果を	:得	ることが
事	業実施 ・残され				- おいて、 体出展に													けた仕	:組ō	- みづく
												判	断理	曲						
	今後の耳	又組.	方針	現状	 (維持	4月や	9月に	行わ	れる催	事等	を通じて	て、効果	果の	最大化	を図	る。				

						Ť	和6年	サアク	ショ	ョンプラ	ン事	業 評	他シ	- -					
1 基	本	情報	Ž				担	当	課	企画政策	課			関	係	課			
事	業		名	No.	1	行政改	革の推進	É											
事	業	区	分	継続	会 計	区分	· 一	般会計		予 算	費	3	款	2		項	1	目	1
施	策	体	系	IV	行政経営	<u> </u>	-				戦 略	的力	施 策		行	政改	革大綱	(1))、(2)
根拠	』法	令	等	生駒市行	す政改革プ	大綱							•		事	務	区分	自治	台事務
事	業	期	間	□ 単年/	叓(年度) 単	年度繰	返(年度~	·継続) 🗸	複数年	度(H19	年度~		年度)
2	巨型	 Ω#	車	・実施内	灾														
事業						6次級	>計両第	つ脚其	k ≣∔i	画の第6章	きを行ぼ	ないな	一人紹儿	一位署	づけ	総合€	計画との	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 喜め —
					を用により						もてリル	XLX÷	ニノヘ州門I	こい恒	J1)、	小心 口口	1四07.	建制圧で	. 同の、
				これまでの	の節減や効	率化の取	組に加え、	投入した	資源	に対して、。	より施策	目標の	実現が	期待で	きる事	業や、こ	これまで以	上に行政語	果題や地域
事、		概_	34		夬につなが 時代に即し					^デ るまちづく	りの目標	を実現	見すると	こともに	、新た	な歳入	策を講じる	らことで収:	益の増加を
(全	1本 i	計匠	則)		の対象		<u> </u>	ink C injo	700						(対	寸象数:		_)
						当	切計画									組実績			,
					う 大政改革の		建田 40	2 T III			◇新たな				۳/၁ ۵	a) 10	0.T.III		
					革推進委員 画の推進に									会の開作 係るWS			8千円 施 477千	円	
					収益源の確 と納税の収		記っ合けた	Ħπ≼Π			◇多様な			保検討 業務委詢	工业)	20 10	7壬田		
	算年 EなI)	ふるさと	納税支援對	業務委託制	¥ 87,39				新規	事業者	数 14	者		,			
	_'&4	人小丘			iふるさと納 ふるさと納秆			路季 託約	1 44	い千円				事業者 > 4サイ		、既存	事業者 48	8品	
				ふるさと	納税PR記	事作成委	託料 14:				▶企業	仮ふる	さと納	锐マッチ	ングラ		多委託料 2	264千円	
				▶ CF等新	新たな歳入	策の積極	的活用				▶ ふる	さと納	税PR重	画作成	委託料	ት 53'	/干円		
				事業実	施手法	☑ 直挂	接実施	✓ 委	托・指	定管理	負担	旦金∙	補助金	<u> </u>	その他	! ()
3 事	非	費・	財派	内訳															
				J v		R5決算	Į		R	6予算現	額			R6決	算			R7予算	拿
事業							77,994				9,344					903			99,138
		委託]費			77,573	3		8	8,851				69,	765			98,646
				ス <u>貝</u> 及び交付金															
		り他					421				493					138			492
財源			\r=				77,994	ļ.		8	9,344	-			69,	903			99,138
	特定市份		源_																
		う ひ他																	
	一角	攺財	源				77,994	ļ		8	9,344	L			69,	903			99,138
4 事	非	ச	果	・評価															
			-	- FI ID															ップを試行
寄与し	したこ	آغ ـَـ	事業	(の成果)						ーズに柔軟 品を増やすな									盆帷保につ
KPI							į	指標1									漂2		
				<u>単位)</u> <i>(</i> *		寄附	などによ			千円)									
			目標 実績					32000 3531				-							
							13	,3331				-							
				責値の差 D理由	想定より	多くの	寄附金が	集まっ	たた	め									
行革	評価	西 (彳	丁政	改革大統	 岡に基づ	く評価)												
				意識	評価								根拠・						
	(費)			財源確保)	В	市民参画	の推進にるさと納料	つながる とにおい	SWS THI	においては 返礼品の内	、20人 <i>0</i> 容や 客「)募集 材の体	枠に対し いみち	ノて10名 をよりさ	ろの応	募者にせい サンサン	留まり、参加	加者の確保	呆に課題が 、た。
			ób E	 思考	評価	12/128/31	راد الله ع	(IC0) V ·	C 100 K				根拠・			C \	3113. (0) [2]	PI) C IACAE C	7728
	(方			ぶち ふの寄与)	В	市民参画	の推進に	つながる	SWSI	における終	了後のア	ンケー	トでは	、テーマ	である	公共旅	設への理	解度と市の	かたの
	<i>4</i>	せた	÷/★		評価	1CX) 9 6	美 心(7) 円.	上小惟誠	800	た。ふるさ			根拠・		四径垣	19U.1	可削領())に	顔に計子	U/E。
	(市民等	手への	意見把握	В	行政改革	の取組に	ついてに	たより	J市民参画	を進める	ための	ワーク	ショッフ	を試行	行的に	実施した。さ	また市内事	業者によ
				の活用)	評価	る返礼前	の協力を	得て、か	<u> </u>	と納税の返			<u>-とかで</u> 根拠・						
		(デシ	タル	ータ活用 の活用							ラットフォ	ナーム"	Liglid	"を活用					も広く募る
		٠	EBP	M)	A =va=	ことがて	きた。ふる	うさと納	悦協力	事業者登			さと納む		つい.	ても申詞	情フォーム ^を	化した。	
		松	ے	平価	評価						攻評価プ	ロセス	への導	入には-					の推進に向
		440	口百	1-1144	В	けて市民	と行政が	ともに考	える		なった。	また収	益確保	について	てはふ	るさと	納税におい	へに協力事	業者や返礼
車	業当	上施	ŀσ)課題		施する行政	対評価のフ	プロセスに	こ対し	、今年度試	行的に実	施した	た市民参	画ワー	クショ	ップのネ	募入を検討	するにある	
_	·残				ジュール」 討し市の則					調整する必	必要がある	る。収益	金確保に	ついて	はふる	るさと納	税だけで	なく、新た	な方法を検
					אַלאַנויט נים									・コメン					
	今後	の耳	双組	方針	現状	維持				価を行い、		イクル	による	適正な過	重行管				
										直しなど行 除策について						ここンしい	くは現仏()	/ 双祖を維	:140/41),

		_			·										
	本情報				1	-		施設マネジメン	ト課ファシリティマ	'ネジメント推進室	関	係 課	商工観光	課、教育総務	务課等
事	業	名	No.	3		没マネジメ						_			
	業区	分	継続	会 計		一般	绘計	予 算	費目		2	項	11	目	1
	策体	系	IV	行政経	営				戦 略	的施策			革大綱	(3	
	退法令											事 務	区分	自治學	事務
事	業期	間	□ 単年/	度(年度)	□ 単年	度繰返((年度~	継続)🔽	複数年	度(H27	年度~		年度)
2 事	事業の	既要	・実施内	容											
事業	美目的	勺 •	公共施設	D 等総合				施設やイン いでいく。		め更新費	関用の増加	大による則	オ政圧迫を	抑制し、第	 ₹6次総
事	業概							施設計画						訳前周辺の 且む。	事業再
(±	14 市 1	四 /	事業(の対象	公共施	设等						(対象数	約15	0施設)
					当初	計画						取組実統	į		
								2,231	▶施設利	J用想定团	体と内容	字や時期に	ついて協	議した結り 越】	果、変更
							6,300 ⁼	千円	の実施						グ調査
			車業宝	施手法	□直接	宇施「、	/ 季託。		白圷	全,補助:	소	· 小)
	事業実施手法 □ 直接実施 ② 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他(事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 業費(千円) 0 18,531 5,720 65,59 12委託料 18,531 5,720 65,59 14工事請負費 65,59														
<u>3</u>	当初計画 セイセイビルへの交流拠点の整備と移転 トセイセイビルへの交流拠点の整備と移転 トセイセイビル・2階改修工事設計委託料:12,231 ・施設利用想定団体と内容や時期について協議した結果、変等の手続きに不測の日数を要した。【R7へ繰越】の実施 ・土地建物利活用の検討 ・土地建物利活用検討業務委託料:6,300千円 ・主地建物利活用検討業務委託料:5,720千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・														
市业	弗/工口	1\			R6决算				E E O E						
尹未.														O:	5,595
			負費						10,551			3,720		6	5,595
			及び交付金												-
		ļ							10 501						
財源		心舌				0						5,720			
		冰							12,231					6.	2,297
直正配置と土地建物利活用の検討															
適正配置と土地建物利活用の検討 ・土地建物利活用の検討 ・土地建物利活用検討業務委託料:6,300千円 ・土地建物利活用検討業務委託料:5,720千円 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7 R5共享 R7 R5共享 R7 R5共享 R8,531 S,720 R7 R5共享 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R															3,298
			==: / TT							•					
				I											
				生駒駅	前周辺の	事業再配置	置で公共	施設の機	能集約に	よる利便	性に向け	ナた準備を	整えた。		
		(T 7				北	! ≖1					+6	擂つ		
KPI		■夕(単位)			fe ^r	际 I					扫	际ム		
		目標								 					
		実績													
		と実績	責値の差												
行革				別に其っ	づく評価)										
13-				評価	<u> </u>				評価	した根拠	・理由				
			意識 財源確保)	В	サウンデ	ィング調査	では. 車	業者から対				的な事業壬	法と事業生	 『施の提案を	
	(50/13/3	,,,,,,	7.3 m3.4 = 11.7	_	,,,,,	12200		* H 10 3 7 7		した根拠		-,04-701	ガモチボス		- 10700
		的思		評価		- a = b /# - 1							=======================================		- > 1
	(施策	目標^	への寄与)	В	父流拠点	い整備では	ま、多様な	働き万と「				スペースの	整備に回け	た準備を整	えた。
			との協創	評価	\ 		L + T.11T	n-1-7-1-11		した根拠		1-t-1- 1 1 1		V	
			意見把握 の活用)	В	適止配置 報を得た	iと土地建物	物を利沽店	甘するため.	、事業者^	.のサウンラ	ディング語	査により、	民間活力の	活用に向け	ての情
			一夕活用	評価	TK C IG/C	- 0			評価	した根拠	·理由				
	(デ	ブタル	の活用		本件事	業において	て、デミッく	アル等の活							
		EBP	M)	= 17./31	711 77	*IC070 · ·		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			. 珊山				
	4.4	=∆ذ	√ Æ	評価	/\ +++ /- -	ルフナニ	/ ~ , L ≠ +#	生性士フナ		した根拠		`'去, #7.555	—— ↓↓↓h 7 =1 ↓↓	加利尔	クド/ ト 旺与
	गिन	合語	ТІЩ	В				ŧ進りるに 検討した。		心或計劃	に母 ノく	. 週止��直	、工地建物	7利活用及	ひ 土制
	 禁実施	<u></u> :σ)課題	公共施						1•複合化	を進める	らえで、 r	方民や利用	者の理解	 を得る
	・残され					題となる。									
											理由				
4	今後のI	汉組:	方針	現物	犬維持	ファシリ 減や長妻)推進に「	句け、令和	17度作成	えの計画に	基づき、な	公共施設の	総量削

					13.1	HO T 13	(, , , , ,		·	М ТЩ /	<u>'</u>					
<u>1</u>	基本情報	8				担	当 課	施設マネジメン	ト課ファシリティマス	ネジメント推進室	関	係	課	各施設所	管課	
事	業	名	No.	4	公共施設	とマネジン	くントに関	する計画	の改定							
事	業区	分	継続	会 計	区分	一般	会計	予 算	費目	款	2	項	Į	1	目	1
	策体	系	IV	行政経営	 営				戦略的	内施策		行政	公公	革大綱	(3	3)
	<u>u</u> 法 令			13.7						J 130 111			<u>济</u> 務	区分		<u>- /</u>
	文 / 	間	単年	亩/	年度)	出口	 F度繰返(年度~糾	业(主)	複数年度		R6	年度~	R7	年度)
Ŧ	未知	印		支(十反)	<u></u> □ ¥4	F 反		十尺一种	生形じ/ □二	这数十万	۷(ΝO	十反	N /	十尺)
2 4	事業の概	悪	・実施内	容												
	業 目 的 美実施效		公共施設による調	という という でもでもで	状況などる って把握を	を知るたる	め、公共旅 一画の見直	・ 設に関す しに反映	するアンケ いさせ、事剤	ート調査を	を行うと とを図る	ともに	、個	別施設の	状況を有	資格者
—— 事		34	ント推進計	†画」及び「	個別施設計	総合管理 画」の見直	計画」及び <u>・</u> [しを行う。]	平成29年1 改定にあわ	0月策定「2 け、現在の。	公共施設保 4計画から	全計画」の 「公共施設	改定、全	6和2 管理	2年9月策定 計画」と「個	ミ「公共施設 別施設計画	マネジメ 国」の2計
(全	体計画	画)	画に、体系		公共施設	心生						(対象	*h•	約15(つ体型	
			尹 未 0	7 刈 涿		計画 計画						取組		ポットン(ノルは	
			士尼刀 >	,/ - L ≡ 1	三物 百業務委		0.4 T III		本尼つ 、		木光双牙			0 T III		
			中氏アン	ソート語	国耒務安	市	84十円		叩氏アン	ケート調	直耒務多	さまむ・1	,50	8713		
	算年度(公共施設	とマネジン	メントシス・	テム使用	料1,584	千円	公共施設	とマネジメ	ントシス	テム値	押米	¥:1,584	1千円	
=	主な取組															
	R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 3,868 2,892 42,598															
3 1	3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 3,868 2,892 42,598															
	3 事業費・財源内訳 R6予算現額 R6決算 R7予算															
3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 R7予算 事業費(千円) 0 3,868 2,892 42 12委託料 2,284 1,308															2.598	
子不																-2,570
			負費						2,201			1,0	00			
	その他								1,584			1,5	84			12,598
財源	(千円)					0			3,868			2,8	92			12,598
	特定財	源														
	市債															
	その他															
	一般財	源		<u> </u>					3,868			2,8	92			12,598
4 3	事業の原	七里	• 証価													
				ハサ佐き	シンシュ	半(ロナ) ど;	たケロスナン	か ハサゼ	施設に関す	ママンケ		5.4.	\	+ 本	市本等	レ协働
	めざす状 したこと								地設に約9 共施設に対)/こ。	また、近		< 協働
		(サオ	=======================================	て開催し	י אנויייר			ייייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	代心以に入	19 27 5 A	こで]し]庄	<i>ن ا</i> رن	+121:	悪 つ		
KP]		5 <i>2</i> 7 (光 (十)		7.17		標1	(0/)					指標	祟と		
			<u>単位)</u>				<u>の削減率</u>	(%)								
		目標		-			.75									
	1	実績	10000000000000000000000000000000000000			0.	.58									
			責値の差		」用想定団体				た結果、							
	分につい	ハての	の理由	設計変更	等の手続き	きに不測の)日数を要	したため。								
行革	評価(彳	亍政	改革大約	剛に基っ	びく評価)											
		7 L i	意識	評価						した根拠・						
			忌哉 財源確保)	В					ogoフォー	ムを併用す	ることで	郵便料	金を	2/3に圧	縮できた。	また、入
	(507.37-3.	,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		札で想定	より安価で	で実施でき	た。	=== /==	1 + 101m	TIII					
		的思	思考	評価	マンケー	・中佐にも	: 七.()	に空曲と	評価 協議を行い	した根拠・		₩₽₽	*	l Ltoz E	ಎ =ル田 ೂ =	
	(施策	目標へ	、の寄与)	С					励識を1JV 目標を達成					4C40A	ノ政内の高	及任で
	多様が	·主体	との協創	評価	13 2 7 2 0	75 (75	12 - 2 133 <i> 7</i> (1-		評価	<u>、 </u>	·理由	5 2720				
	(市民等	等への:	意見把握	В	市民ワー	-クショッ	プを行い	市民音	見の把握る							
	·民間	活力等	の活用)		יוויועי /	7237	7 61101	、山(大)(本)			TITI -					
			ータ活用	評価	77.6	<u> </u>	++111	~~~		した根拠・		7	,	→	-++/111	All!»
		ブタル EBP	の活用 M)	В					ムの活用を 氏からの頽			ノークシ	ノヨツ	ノの用作に	このにりり	ンリッド
		_01	17	評価	こ/白田 9	مادد زر	コロジル	<u>、こない∏</u>		<u> </u>						
	\$4	合語	平価		アンケー	トの宝佐	によれる	2007±-	<u> </u>			/=\/_	゚゙ゟ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	≧協せスニ	ンズ 珪	極的か
	小吃	·ПЁ	і Іші	В					市民の合						こく、傾	I-ሙከ 기, ዓ
	<u> </u>	_	-mc-													
号	事業実施 ・残され								するため、)周知を図			あたつ [™]	ては、	、十分なf 	「氏とのi	息見交換
										判断	理由					
	今後の耳	又組入	方針	現状	犬維持	R6実施	iのアンケ	一ト調査を	結果に加え	え、R7実力	施の劣化	状況記	周査	や市民ワ-	ークショッ	プの結

						13,11	10 1 13	2,,,				7'	~ ⊔ I	Щ-	•					
1 基	本情報	R				:	担	当	課	総務課					関	係	課	デジタルイン策課、情報シ	/ベーション推 ノステム管理室	進課、企画政 3、人事課
事	業	名	No.	5	オフィ	(ス	收革		•											
事	業区	分	継続	会 計	区	分	一 舟	设会計		予 算	費	目	計	次	2		項	1	目	5
施	策体	系	IV	行政経	 営						戦	略	的施	策		行	政改	革大綱] (5)
根拠	』法 令	等		u .										•		事	務	区分	自治	事務
	業期	間	単年	变(年月	隻)	単組	丰度繰	返(年	度~紀	継続)	✓ 1	复数年		R5	年度~		
2 =	₽₩Λ !	AT 255	中华中	<u>,</u>																
			・実施内			<u></u>	^ 	↑ + ′′		->	, _		L.,		v +u==		+1#,\	<i>7</i> .1₩4.	E 1 ×	
	美目的 実施交		多様化 9 機能的で						نارابل	えくいく	(/:	م)ارر	より・	一僧の	り部門	间のよ	里携で	、多様な	働き方が	可能な、
			多様化す	るニーズ	や社会環	環境(の変化に	応える	ため	こ、部門間	の i	重携や	、多様	な働き	き方が	可能な	、機能	的で快適	な職場環境	きを整備す
事。	業概	要	る。そのな	こめ、執剤	多室内の	机材	奇子等を まりめて	効率的	が悪く	置し、少ん	人数(の打合	させ、ナ ニニ	く人数の	の会議	等、様	々な形	態に対応	できるよう	な備品の
(全	体計し	曲)	事業(<u>り。みた、</u> カ 対 須	市職員	成り 冒	9 <u> </u>	<u>\ 1 J \ LX.</u>	八百八	沙电丁16	ノン言れ、	1121	<u> </u>			(4/	象数:)
			3. 214	- /3 /		初	計画										组実績			
			◇オフィ		方針策定	Ē								革方	計策定					
			▶基本計				3千円)				▶ 1	基本書	油	÷0.\						
			基本設実施設				5千円) 3千円)				▶ <u>2</u>	坠本ā 丰施言	设計(- 设計(-	一部 <i>)</i> 一部)						
	算年度(▶ 入替計				千円)				当	初計	画の6	割(8	, 82	2千円	分)が	完了。		
ᆂ	こな取組		^ /= 		//	,_	(0.4	10T		\ + \	残	り4害	训はR'	7に縛	越。					
			◇行政戈	人書電子	化の試	仃	(2, 4	42+	円を	流用)		⁄ - ፑታ፣	立 書官	マル	の試行	; - (2 1/	42千円)		
												1147.	人百月	BJIL	10701/J	J (۷, 4-	+2]/		
			事業実	施手法	さ 日 直	接回	主施 「	✓ 委:	千•指	定管理		台拒	全•ネ	制分	· 🔲 .	その他	()
	- viv -+-			,,, ,, ,,		ربورد	~ <i>I</i> IB [10 15			, , , , ,	- 717 11	עצ נאנו	<u> </u>	تار ده				
3 4	3 事業費・財源内訳 R5決算 R6予算現額 R6決算 事業費(千円) 8,336 17,158 11,264 12委託料 17,158 11,264 14工事請負費 204 17,158 11,264																ロロマ笠	-		
車業	费/千匹	17			KS沃		8 336		K	0 丁昇巩		150	2		KO决		264		R7予算	0
事本.							0,550	1												
			負費				204	ļ			,					,				
			及び交付金				0.400													
日大百	その他(千円)						8,132 8,336				17	158	,			11	264			0
只加尔	特定財	源					0,330	1			17,	130				11,	204			0
	市債	,,,,																		
	その他																			
	一般財	源					8,336)			17,	158	3			11,	264			
4 事	事業のほ	成果	・評価																	
Га	めざす状	態」	現に	立78888	の油堆	th 1	夕壮ナンは	計士士	が司	台レナン +3 86	466	5-5M	でロン	中中	黑柱太		オスナ	みのせる	╁が策定で	~±+
寄与	したこと	(事業	(の成果)	미기미	UJ建 拐	17,3	夕你る	動ご刀	까미	形'み、依	HEP.	ソベブ	も見る	啡场↓	界児で	"金洲"	9 8/5	ひりひり打日亚	が來たり	£72°
KPI		/					指	[標1									指	漂2		
			<u>単位)</u> <i>1</i>																	
		目標 実績																		
													+							
	日標値の		責値の差 D理中																	
行革			改革大統	 	づく証品	₩)														
17-				評価		щ/						評価	した	根拠・	理由					
			意識 財源確保)	С	車業(か全	 てが完	71,7	しいか	いため										
					サボッ		. < /3 /) .	100	V · 6	.0.7207		=17./⊞	した	tothn.	珊山					
		的!		評価	古兴/	π Δ	マポウ	71 7	+>	u v + >		町十百	40/21	以沙地。	<u> </u>					
	(他束	日悰ハ	(の寄与)	С	争耒い	ル王	てか元	100	いみ	いため				- II-	-m !					
			との協創 意見把握	評価								評価	した	限拠・	埋田_					
			の活用)	_	事業は	の対	象が職	員のた	-め											
			一夕活用	評価								評価	した	根拠・	理由					
		ブタル EBP	の活用 M)	_	デジタ	タル・	・データ	活用で	できる	6性質の	事業	ぎでな	いた	め						
				評価								評価	した	根拠・	理由					
	絲	合語	平価	С	車类/	カチ	てが完	71.7	11+	リノナル										
					サ未り	ル土	ていて	1 O C	v ı'd	· v · / _ (V)										
事	業実施			贈提譯	音を敷/	はず	スたか	の毒田	 がか	要である	 ح.−	 بر								
	・残され	た誤	果題 	49%/初/术	元 C 正 l	ин У	ارىءرى	マノ 貝 八	۳٬۰٬۳	·女(0)	ے رہ	<u> </u>								
					D. 4									判断	理由					
	今後の国	収組	方針	現	犬維持		事業の:	全てが	完了	ひていな	۲ ا ا	ため								

					ויין						尹木	о і іщ -						
	本情	報			1	担	当		画政策				関	係	課	全課		
事	業	名		6	第6次生											1	1	
	業区	分		会 計	区分	_	般会計	十 子	5 算			款	2		項	1	目	6
	策体			行政経営						戦	略的	〕施策				革大綱		(4)
			生駒市自	自治基本多	科例									事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	□ 単年月	度(年度)	□ 単	年度終	疑返(年	き〜継	続)🔽	複数年	F度(H31	年度~	R21	年度)
2 1	真業の:	概要	・実施内	容														
	美 目 i				である終	~ 計画	iを 市	足等に	国知1.	温添		スレレ‡.	I. Pr)CΔ+	イクル	による適	計力が進行	一
			付うこと										IC (I L	/C/ /	1271		到の に	日在で
			またづく	ことの作名	シレア市	セ 生ン	のせた	た准め	スレレ	±1-	· 恒立	拟市 셵	の宝珥	厂向上	+ 年	Fの進行管	与田 乃てだ	ちつ ままり かんしゅう かんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅん しゅん
事	業 概	要	本計画の					でたり	مرد	. ناد	· 、1寸不	別には	小大坑	ICIAII)、 四 -	FV/延门自	5 连汉() 5	わり州空
(全	体 計	画)		の対象										(4	 対象数:	_	_)
			7 / ·	· > >,1		· <u>'</u> 計画									組実績			
			第2期基	本計画の						第2	期基	本計画の	り共有・			•		
			▶共有に	向けた冊	子の作成	3,00	0千円	3		▶共	有に同	句けた冊	子の作	成 2	,970	千円		
				画審議会						▶総	合計画	国審議会	等 10)7千F	밋			
決	算年度	の	I▶□氏夫 	感度調査	3,200	 				рп	大 夫 派	感度調査	[2,13	31+1	7			
É	こな取組	1																
			事 # 由	# 工	<u> </u>			11			5 10		• 🗆					
			争兼美	施手法	[☑] 直接	実施	委	託·指定	E管埋	Ш	負担金	全•補助	金 📙	その他	! ()
3 📱	非業費	·財派	原内訳													=		
					R5決算			R6 ⁻	予算現				R6決				R7予算	
事業	費(千円					2,429					313				208			2,025
	12委		各弗			1,383	3			6,2	:00			4,	059			1,000
			貝貝 成び交付金															
	その化		1/20 X 11 III			1,046	5			6	513			1.	149			1,025
財源	(千円)				1	2,429					313				208			2,025
	特定則	掠																500
	市債																	
	その他				1	2,429)			6 9	313			5	208			1,525
						Z,4Z3				0,0)13			J,	200			1,525
4 1	事業の	成果	<u>·評価</u>	1														
	めざすり															委員会にお		
		(事)	美の成果)	進行管理	万法に関す			。また、4	に回信	位直	つけた:	指標等の	動回を批	出握する		市民実感度	調査を行っ	った。
KPI		亜カ /	/ 		/ F/1 ∧		指標1	□ / 6 ±1	クチェル			Γ/ -> / ->	· 1 \ 7 11h.	L-1-4-2/->/->		漂2	マハフナ	
	1百个	宗石(目標	単位)		生駒市へ	<u>の転入</u> 40(人)			多)		土性んく	いる地			い」と感じ ・令和9年月		大の割合
		実績			-		ス に 計測	19十尺						00		(тмэ<u>н</u>) 1(%)	又	
	口抽法	-				71	ניא ו ם י								00	+(/0/		
	日保恒	こまだいて(績値の差 の理由				_								-	_		
行革			改革大統	L 岡に其づ	(く 評価)													
112—				評価							評価し	た根拠	・理由					
			意識 ·財源確保)	В				するとと	もに、計					ては見程	責比較を	十分に行い	ハ、費用対象	効果の高
	(52/137)	1 //1///	763 163 164 1767		い事業実	施を心が	けた。				=चा/==ा	+ +p+hn	抽中					
		1的原		評価								た根拠						
	(施策	目標/	への寄与)	В	市民実感	芸調査に.	おいて	は、今後の	の政策用					よう調査	\$結果O	分析に努め	かた。	
			との協創	評価	I to the second							た根拠		lle lar			- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
			意見把握 学の活用)	В	施策・事業 する実感原				の、巾氏	美感的	支調金!	こおいて	各施策の	指標に	定めた	項目の数値	型や各施策	目標に対
			ータ活用	評価	, J / (10)	uri.					評価し	た根拠	·理由					
		ジタル	の活用	C.	基本構想	こ掲げる!	EBPM	の推進に	あたり.	環境	保全課	と協働で	ランダル	小化比重	交試験を	 1件実施し	た。	
		·EBP	1VI <i>)</i>	評価			- , , ,					た根拠		5 1			•	
	幺	総合語	平価		ニンガリリ	レトトキャミーナロ	(全) - + \ (\7H #						胆っき	ス生中	の紅田ナ作	ヨスーレ!+-	でキャャャー
	16	υЩē	тгіш	В	ランダム1 たが、その									が でき	つ有皮	の結果を得	ものここれ (こさなかつ
=	*** 	<u>.</u> L a	7=田田	心中和	·	-								向しい	-	て揺りが	坦託, 壬戌	ひ!ー トマ
手	『業実施 ・残され				コ像の認为 要である		こりい	いいは非	・市に/	_\	ハハハ	ョ\、認	叫送の	四上に	-191ブ	て様々なり	あけて 于段	えによる
	7.X.C.1	₹/СД	11100	1 1 1 1 1 2 2 5	~ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \						7	判断理由	J• ¬ ✓.	`/卜				
	今後の	月 ▽糸日・	方針	担升	維持	<u></u>	F FF1 = +	N+24#	5年の5	2年1十					- FZ'	南正ナ心生ぐこ	笠田太仁 -	シレナ±
	1 120)	イヘルロ	1111	^{-元1/}	小田1八	부어바다 당한 기	対する	いる合所	世界の地		ル計価	さけいい	・レCAリ	コンル	田加女!	適正な進行 き極めに行	日年で行う	CCU

					15.1				<i>-</i> -	Ж РТ II		<u> </u>					
	本情報	艮				-		人事課			関		係	課	情報システ	テム管理室	等
事	業	名	No.	7	<u> </u>		イム制導								ı	1	1
	業区	分		会 計	区分	一舟	设会計	予 算	費目			2		項	1	目	1
	策体	系	IV	行政経営	当				戦 略	的施	策				革大綱		5)
	见法 令												事	務	区分	自治	事務
事	業期	間	単年/	芰(年度)	単名	F度繰返(年度~	継続)	☑ 複	数年周	隻(R5	年度~	R8	年度)
2 4	事業の	既要	・実施内	容													
							を維持した									を導入す	ること
事 :	業 概体計	要	1週間の勤イフスタイ	動務時間(: ′ルに応じ;	38時間45 た柔軟な働	5分)を維 動き方を可	持した上で 「能とし、職	、週休3日)員の職場	を可能と 満足度向 ₋	する完全	全フレ! ずる。	ックスタ	タイム	制度を	導入する。	ことで、各国	職員のラ
` _	PT PI		事業の	り対象	市職員								(対	象数:	約1,7	'00人)
						計画								1実績			
				ムの業者選 ムのサーバ					完全フレスがたか	ツクス?	タイム制	腹の	算入に	向け、	・令和7年月	度から運用 により選定	を開始す
					、一 博采 必要に応し				テムの構			.) ДО.	未日	そノレ	טל ני —אנו	により迭ん	<u>:</u> U、ノス
			条例·規則	川の改正												り小・中学を	
	算年度(Eな取組		·季託料(勤務情報?	システム道	λ 業務委	託等)41,	097∓								整備すると 検討を行っ	
	に、ひれ、社	i	円【他費目	1への流用	13,7047	一円】											,,,
					ーダー購 <i>】</i> 34千円)】	、費等) 2	23,051千	円【委託							£等)31, 3,051千l		
			科がらい	<i>л</i> ін 3,70	J4 []/]				* C 071B	(914)	ν υ	メース円.	八貝、	于 <i>)</i>	3,05111		
			事業実	施手法	☑ 直接	実施	☑ 委託・扌	旨定管理	負担	金・補	助金	<i>₹</i>	の他	()
3 🗉	事業費·	計	百内訳														
	<u> </u>	KJ W	711 7 D/ C		R5決算		F	86予算現	額		R	6決算	Ī			R7予算	
事業	費(千円					0			64,148					164			14,913
	12委		7 **						41,097	7			31,	113			
	14 工 ፤																
	その他		及び交付金						23,05				22	051			14,913
財源	(千円)	3				0	1		<u>23,05</u> 64,148					164			14,913 14,913
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	特定則	源							0 1,1 10	1			J 1,	10 1			1 1,515
	市債																
	その他												- 4	1 (1			1 1 0 1 0
	一般則	「						-	64,148	3			54,	164			14,913
4 📱	事業の	找果	・評価														
	めざす状																
		(事身	美の成果)			#P	计 而 1			_				+64	悪つ		
KPI		<u>■夕(</u>	単位)	<u> </u>	上駒市で何		i標1 たいと思 [.]	う職員の	<u> </u>					拍	票2		
		目標		7120_			<u>たいこ心</u> 度以上	ノ帆兵の	311 (70)								
		実績			R		(R5 849	%)									
	-		····· 績値の差	T#\ = 0 =													
	分につ			職員()) / 	アンケート	結果によ	5										
行革	評価(行政	改革大約	岡に基づ	く評価)												
		スト	意識	評価					評個	した相	艮拠・玛	曲					
			·財源確保)	В	システム	導入にあ	ったり、様 [・]	々な検討	を行い、	コスト	面を含	め、ブ	゚ロポ	ーザノ	いにより賞	業者を選択	とした。
	E	i do E	 思考	評価					評個	した相	艮拠・理	由					
			ふっ への寄与)	В	施策目標	票達成に	 向け、新シ	ステムの	構築を進	態めた。							
	夕/	\ \ \ \	 との協創	評価					評価	した相	₹枷∙理	曲					
	(市民	等への	意見把握	В	数容委員	300 沿内	 5本部と調						:,7 <i>=</i>	テムの	構筑を進	=====================================	
	-		の活用)		扒闩女员	ZA\/DP	リナロトこの	引正()・6/1		りと素			<i></i>	, До	州舟木で足	=07/0	
			["] 一夕活用 ·の活用	評価	1 = = =	5 4A L =	= 25- 4- 41 -	- /						, a.t.	# <i>*</i> ** \4 \		
		EBP		В	人事事務	務・給 与 事	務を効率	化できる					ノ ノア	ムの権	構築を進め	のた。	
	,,	.		評価						した相							
	総	合	半価	В			り新たな勤		ンステムを	を運用	開始予	定で	あり、	引き	続き完全	フレックス	くタイム
	= ***		\====		削反等/	ハロロル	て取り組ん	ひでいく。									
事	・残され			新たな勤	が務情報シ	ノステムに	こよる労務	務管理・給	与事務の				フレツ	クスタ	アイム制度	の導入	
	A44 A1	TD & D .	/- &I	TEAL		1/4m ~ :	> ← ′ ″ + ′ ·	1404 4.4	ナッケッキャー		判断理		٠, -		-74 W	JI+*++	<u> </u>
	今後の	以祖.	力針		維持		予定どおり						台 予 に	E であ	っるため、	りさ続き	元全フ

					la						КПТІЩ		<u> </u>			•					
	本情報			_	1	担	当		人事課			関	1	系	課						
事	業	名	No.	8						りための人		诗			- -	1					
	業 区 策 体	分	新規	会計			-般会計		予 算	費目戦略的		-/-	2		項	1 革大綱	目	(E)	1		
	取 14 L 法 令	系	IV	行政経	呂					拟哈	的 他,	朿		事	務	<u>卑人綱</u> 区 分	占	(5) 治事	区文		
	<u>と </u>	节間		中 /	生典,		5年底	라 (1121	生典 - 幼	业 √≠/	始	数年度	_	粉		H				
			単年/	(年度)		単年度線	ĸŒ(ПДІ	年度~糾	丕祁元) L	′夜;	奴牛皮	٤(年度~			年度)		
			・実施内	容																	
事業事業	美 目 的 実施交	り・ 加果	人材育成	戊と良好	な職場環	境づくり	りに資す	「るよ	う、人事	評価等の	制度見	直し	を継続	して	実施	する。					
事 (全	業 概体計画	要	に応じて、人 一助とする。	材育成に資	する制度として					会計年度任用職員の勤勉手当支給開始や多様な働き方の推進など、今後も市や国の制度改正等 近とは別に部下から上司の評価を行う上司モニタリング制度を導入し、良好な職場環境づくりの											
			事業の	の対象	市職員					(対象数: 約1,700人) 取組字結											
			レコテー	- /21.15.7		別計画	4			取組実績 人事評価については、令和6年度から会計年度任用職員の勤											
			上可七_ 人事評個		ブ制度の選 見直し	4. 田田坂	Ē			八事評値	可こ ノいラ 給開始	さい	、、戸私 ≟い、人	事談	・浸か 平価制	り云訂年 度を活用	受仕用	概貝 ラ給と	の勤 する		
			7 13 21 12		,,,,					勉手当支給開始に伴い、人事評価制度を活用した支給とする といった制度改正を行った。											
決	算年度(D								また、人事評価とは別に部下から上司の評価を行う上司モニタリング制度については、令和5年度から試行実施していた											
É	Eな取組									タリング制度については、令和5年度から試行実施していた が、令和6年度から対象者を課長補佐まで拡大し、職員にとっ											
																よう制度					
			車業宝	佐千七	ᆸᇊᇏᇄ	7 		n /#1	/)								
事業実施手法 ☑ 直接実施 □ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他(
3 4	事業費・	財源	京内訳		DEHA	-		_	/ マケロ	力工		_	人子中华				DD2	∕ 5∕5			
車業	費(千円	1)			R5決算	-	0	K	6予算現	(A) (B)		K	6決算		0		R7予	'异	0		
事本.	12委託														- 0						
	14工事	請																			
			及び交付金																		
財源	その他 (千円)						0			0					0				0		
767 11/1	特定財	源					Ť														
	市債																				
	その他一般財																				
			==:/==																		
	事業の原			A = 1 (= n	- / DPM D	0 D I I I	+ -1>		± 0 = 7 / 7	· · · · · · ·		10-1		=34.4.5	n 4 . = T	m+/=>=					
	めざす状 したこと		₹規に ≹の成果)							i)を行うこ 美目的に沿っ						曲を行うこ	とがで	きた。	上可		
KPI		(3.7)	()		2 7 113120		指標1		- (7.7	XH-31-7H	指標2										
1 (1)		名(単位)	自分の	能力を発			と思う	職員の	割合(%)											
		目標					年度以_														
		実績	値		F	6 739	% (R5	719	6)												
	目標値る		積値の差 の理由	職員ア	ンケートの	結果に	よる														
行革	評価(1	亍政	改革大約	剛に基づ	づく評価)																
	;	スト	意識	評価						評価	した根	処·理	由								
	(費用対	効果・	財源確保)	В	会計年度	任用職員	の人事評	価の見	見直しにある	たり、評価者	f·被評価	者の負	担が少	なく	斉むよっ	う考慮しなれ	がら見直	しを行	った。		
	B	的思	思考	評価						評価	した根	処·理	由								
			の寄与)	В	上司モニタリング制度について、令和5年度の職員からの意見を踏まえ対象者を拡大するなど、事業目的に沿った見直しを行った。																
	多様な	主体.	との協創	評価						評価	した根	処·理	由								
			意見把握 の活用)	В	会計年度	壬用職員の	の人事評価	亜制度 (の見直しに	あたり、会計	年度任用	職員が	特に多し	ハ教育	委員会	に意見を伺]い、見直	しを行	った。		
			一夕活用	評価						評価	した根	処·理	由								
	(デシ		の活用	В	会計年度	任用職員	の人事評	 呼価シ-	ートについ	て、評価者・	被評価者	が利用	用しやす	いレ	イアウト	 のエクセル	 ノデータ:	を作成	した。		
		LDI	1417	評価						評価	した根	処·理	由								
	総	合詞	平価	В	事業目	的に沿っ	った人事	事評価	等制度の	の見直しを											
事	工業実施・残され				ー において について					持見直しを	控えて	おり	、会計	年度	任用	職員以外	の職員	の人	 事評		
											判	断理	由								
	今後の耳	又組.	方針	現料	犬維持		===== 育成と良 ていく。	見好な	職場環境	竟づくりに				評価	等の	制度見直	しを継	続して	て実		

					13.	110 11	×,,,,			7·/\	ППП	'									
1 基	基本情報	R				担	当 課	人事課				関	係	課							
事	業	名	No.	9	社会人技	采用試験	に基礎能	力検査を	尊入												
事	業区	分	新規	会 計	区分	— <u>f</u>	般会計	予 算	費	目	款	2		項	1	目	1				
施	策体	系	IV	行政経営	当	-			戦	略的	的施 策		行	政改	革大綱		(5)				
根抄	処法令	等	生駒市職	競員採用規	見程								事	務	区分	自	治事務				
	業期	間	単年		年度)	✓ 単	 年度繰返(R6	年	き〜総	(続)	複数年	<u>-</u> 度(年度~		年度)				
					1 (2)		12000		1 %	~ 112	-1707		(122		1,27				
			・実施内																		
事業目的・社会人採用試験に基礎能力検査を導入することで、面接で見極め難い受験者の基礎能力を可視化し、優秀な人札事業実施効果確保する。														な人材を 							
事 (全	業 概体計員							人物重視の	面控	面接と併用する。											
			事 業 (り対象			心券首							象数:	:)				
			サブ林ムと	++☆★/の		計画	→ ⊥.	<u> </u>	ものという	+		B実績		マケロ中 / ナー	上会行が						
	算年度(主な取組		·社会人	力検査(S 向け求人 験問題委	媒体の利	J用	円)		・社会人対象の生駒市職員採用試験(総合事務、事務職(社会福祉士)、土木職、事務職(DX推進担当)、事務職(専門分野)、事務職(業計量増加対応)試験)に基礎能力検査(SPI3)を導入した。新卒対象の利用試験と同様にテストセンター会場での受検にしたこと、また書類審査の通過者のみ受検できるようにしたことで費用と受検者数が減少した。 ・社会人向け求人媒体(エン転職、ミドルの転職、AMBI等)の利用採用試験問題委託料(759千円)												
2 5	事業実施手法 □ 直接実施 ☑ 委託·指定管理 □ 負担金·補助金 □ その他(3 事業費・財源内訳)					
3 📱	事業質・	拟冰	別公訳		R5決算			R6予算現	好			R6決	苔			R7予	笛				
車業	費(千円	1)			NJ从异		0	10 了异况		190		NO/A		759		N / J':	71 1,375				
子木	12委記									190				759			1,375				
	14 工		負費							.,,				, 0 ,							
	18負担金	補助	及び交付金																		
	その他																				
財源	(千円)	\ 				(0		190				759			1,375					
	特定財	源																			
	市債その他																				
	一般財					3 .	3,190 759 1,3'														
				l					J,	100				137			1,575				
<u>4</u>	事業の	<u> </u>	<u>・評価</u>																		
	めざす状													やスキ	・ルを数値	化し客	開的に評				
		(事業	美の成果)	価できる	るようにな		多への熱意	を持った	優秀	な人材	オを確保で	できた。	•								
KPI						指	旨標1			指標2											
			単位)																		
		目標																			
		実績	值																		
			責値の差																		
	分につい																				
行革	<u>評価(1</u>	<u> </u>	改革大約	岡に基づ	<u>く評価)</u>																
		スト	意識	評価						評価した根拠・理由											
			財源確保)	В	新卒の採	用試験と	:同じ基礎能	能力検査(S	PI3)を導力	入すること	で、利用	月に伴	う費用	を削減でき	きた。					
		16/5 F	———— ⊓ <i>±</i> ⊻	評価						評価し	Jた根拠・	理由									
		的! === ^	以写 への寄与)	В	安組的が	·	 ≛を設けるこ						弾坊さ	スニン	が可能と	ナンつナ-					
	()BA	→ 1135.	(0) [] ()			中山田生士	- と成けるこ						E W 3	٥٥٥	-73-13 HBC	5 J/C					
			との協創 意見把握	評価						半個し	Jた根拠・	埋出									
			息兄だ権 の活用)	В	民間企業	や他自治	体と同様の	り基準を設	けた。	•											
	デジタ	ル・デ	ータ活用	評価						評価し	Jた根拠・	理由									
			の活用	_	デジタル	レ技術・テ	データの活	用はない													
	-	EBP	IVI <i>)</i>	凯油	//	324113 7	/14	5.5. 5. 6. 7		三型(年)	.大根物。	理由									
	44	-△	₩	評価	1 4414	評価した根拠・理由											M+45/10+				
	がた	合語	ТІЩ	A										止か休に							
	<u> </u>		-mc-		1 ジタ(家)	シスツで	3本出りの	ここかでこ	/ _ 0												
哥	事業実施・残され			基礎能力	対検査の紹	結果とと 1	:もに、面接	送試験の評	価基	準を			必要力	がある	00						
	A //:	_,_			V.II.1-						判断						1				
	今後の国	以組	力針	現状 	維持		採用試験に					で、面	接だり	ナでは	見えにく	い受験	者の能力				

1 1	本情報	E				担	当	課人	車理				関	1	係	課						
事	*华间* 業	X 名	No.	10	業務量	増加対応				(組)	等宝:	施	达	j	1715	杯						
	 業 区	<u>力</u>	新規	会 計			投会計	予			目			2		<u></u> 項	1	目	1			
	策体	系	IV	行政経営	•							内施 炱	耟				革大綱		(5)			
	退法 令		生駒市鵈												事	務	区分		治事務			
	業期	間			年	き〜糾	迷続)	複	数年周	复(年度~		年度)								
2 4	巨業のお	班垂	・実施内	一																		
	ままりが 美 目 自				生と業務	の継続性	を確保	オスた	- Xh I	業業	を量の	一曲加が	(目;7	まれる	ス業派	≱ (→	は広するた	めの重				
事業	実施交	力果	務量増加	対応)任	期付職	員の採用語	試験を	実施す	<u>-</u> めに る。	\ /\ 1)	ŋ ≟ ν.), EVIIV	762	20010	O ⊼ 1	лсх	טוני פיטיוני	.0707 5	77万4队(木			
事。	業概	要、				増加が見 り り り り り り り り り り り り り り り り り り り			か職	員が	「産前・産後休暇や育児休業等を取得した場合に対応するた											
(主	体計ī	븨)	事業の	の対象	生駒市						(対	象数:)							
						初計画]実績						
			任期付職	戦員の採用	用試験の		社会人対象者向けの採用試験で、事務職(業務量増加対応)任期は毎時間勤務時景の試験を実施して2人採用した															
										别们	期付短時間勤務職員の試験を実施して3人採用した。 											
2±14	答生曲/	7																				
	算年度の こな取組																					
	- 0 10 12																					
			= * +	# T \	I —			- 11		_	5 15	A 155			- 61	,						
	事業実施手法 ② 直接実施 ② 委託・指定管理 ② 負担金・補助金 ② その他(
3 4	事業費・	財源	原内訳		DENTA	/-		D (3	7	3 4 4 4			_		-			DD 2 4	-4-			
車業	費(千円	17			R5決算	<u>‡</u>	+	R6-	予算現	覩	0		R	6決算	1	0		R7予算	算 9,000			
尹未.	12委記						+				- 0					- 0			9,000			
	14工	睛																	2,000			
			及び交付金																			
田北百	その他 (千円)	<u> </u>				(0					0			9,000			
別派	特定財	源									0					0			9,000			
	市債	////\																				
	その他																					
	一般財	源																	9,000			
<u>4</u> 事	事業の!	戊果	・評価																			
	めざす状			事務職(業務量t	曽加対応)	任期付	職員の	り採用	組指!	を宝	施した。										
	したこと	(事)	美の成果)	-3 - 323 - 1390		3 p- 4:37 (
KPI	指標	图(単位)		<u> </u>		指標2															
		目標																				
		実績																				
			漬値の差	行政事務	多に対応	できる職	したた	Ē							_							
	分につい	ハて	の理由	め。																		
行革	評価(1	亍政	改革大約		く評価)					=:::/	L # 25"	hn Tr	14								
	J	スト	意識	評価								した根拠										
	(費用対	効果・	財源確保)	В	業務の	停滞を防	ぎ、必要	要な時	期に必	必要な	員人紀	を確保	でき	た。								
	E	的思	思考	評価							評価	した根拠	処·理	曲								
			√の寄与)	В	単なる	人員補充	に留ま	らず、耳	職員カ	が働き	やす	い職場	環境	の改割	生や書	を備に	寄与した	0				
	多様な	:主体	との協創	評価							評価	した根拠	処·理	由								
	(市民	等への	意見把握	В	各課か	らの要望	等を受	け、採	用試験	検を検	 及情貧	び実施	した	0								
			一夕活用	評価	Дріне		-3 -20		13 1- 1-3.			した根拠										
	(デミ	ブタル	の活用	В	坂田ゴ	ロセスに	おいて	- *`,=	ラインバ					-144								
	•	EBP	M)		1木川 ノ		יי כנ	. 7. 7.	7171					1.th								
	44	⋩≡	₩	評価	****	評価した根拠・理由 8量増加対応任期付職員の採用は、職場全体の活性化に繋がるものであり、職員の多様な働き											++ <i>+</i> \/=++					
	が花		平価	В		理加灯心 援できる。		喊貝♡	が米円	は、追	以场王	E14007活	11±10	メント	い る.	U() (ごのり、喢	貝の多	依は関さ			
≢	 詳実施	ŀσ	運動		I																	
手	・乗天 心 ・残され			任期付知	豆時間勤	務職員の	採用時	期、採	用プ[コセス	くの検	討が必	要で	ある。	•							
												判	断理	由								
	今後の国	汉組:	方針	現場	維持	社会構	造の変	化や行	政需	要の:	多様化				業務値	負担力	 バ増大して	いるた	 め、業務			
				,,,,	• •	量増加										~3	_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. 0,0	, > \\1,1,1			

					-					/ ノ ギオ			'								
	本情報						当		人事課			艮	§ ,	係	課	障がい福	<u> </u>				
事	業	名		11	障がい者											ı					
	業区	分		会 計	区分	一般	会計		予 算				2		項	1	目	1			
	策 体	系		行政経営	-		,			戦略的	勺 施 釒	耟				革大綱		(5)			
					足進等に関	_						1 +	· **L	事	務	区分		治事務			
事	業期	間	単年/	芟(年度)	単年	F度網	[返(R6	年度~総	*統 <i>)</i> L	」假	数年度	₹(年度~		年度)			
2 1	事業の	既要	・実施内	容																	
	業 目 é 実施交						びて働き、その能力を発揮して生き生きと活躍できるよう、職 推進する。										場環境の整備と職場定着				
事 :	業概体計	要 画)	対して、	障がい者	任用の専	門家によ	る相	談支援	と理解		実施するため、障がいをもつ職員と受け入れる職場の職員に 足進業務を実施する。										
			事業(の対象	障がい者		戦員と	≤所属(の職員	(対象数:											
			ロギャジリン	±/1 == 1-	当初 おける職 ^は			 - - - - - - - - - - - - - - -	=火 ~~ マケ	ロキもとい	取組実績 ・障がい者任用における職場適応・定着支援相談業務										
	算年度(Eな取組									障がい を設定() 援を受け	者任用 月1回) け、障が	の専 。職 い者	門家と 場環境 の職場	(受ける)(の整理)(の整理)	t入れ 備や 計に繋	所属や人	、事課と め方に ができ	の相談日 ついて支 た。			
事業実施手法 ☑ 直接実施 ☑ 委託・指定管理 □ 負担金・補助金 □ その他()							
2 =																					
3 =	手耒貸	· 共1 》	<u> </u>		R5決算			R6	予算現	姷		R	6決算	ī			R7予				
事業	費(千円	3)			NJ//	0		110	J. 71-00	792		- 1 \			593		11/1 3/5	1,320			
	12委	迁料								792					593			1,320			
	14 工 ፤						-														
	その他		及び交付金																		
財源	(千円)	<u>, </u>				0				792				- (593			1,320			
	特定則	掠																			
	市債																				
	その他一般則									792				-	593			1,320			
	100 11			<u>. </u>						102					,,,			1,520			
	事業の			»									=			In-u I In	NV 76				
	めざすり L.たこと		実現に Kの成果)															また障がい た			
KPI		(#7	ド ツルズ <i>)</i>	有证用い	クルルード		∖の理解を深める「障がい者雇用理解研修」を実施した。 指標2														
KPI		三夕(単位)			<u>角</u> 障がい	標1 老雇F	田家			月刊示と										
		」。 目標				2.8															
		実績	値																		
	目標値分につ		績値の差 の理由	2.73% 障がい者雇用率の算定基礎となる職員の増加																	
行革	評価(:	行政	改革大約	岡に基っ	で(評価)																
		スト	意識	評価						評価	した根技	処・珪	曲								
			·財源確保)	В	原則とし	て1回/月	目のホ	目談支担	爰を実施	施											
		1 6/5 E	 思考	評価						評価「	した根	処・珪	曲								
			ふ行 への寄与)	Α	各課にお	ける課題	質解?	央と安心	ふしてま	定的に働	大環境	づく	りに著	き与し	た。						
	<i>A</i> ±±+	\ 	\- O+TAI	評価	Дрин	., 0 140		,,			した根			, , ,							
	(市民	等への	との協創 意見把握	В		任用の専門	家のみ	yならず.	、就労移征					カして	、職場	の環境整備	 静や助言:	支援を実施し			
	-		学の活用)		た。					=π/π	ı + +¤+	hn TE	n.								
			⁻ 一夕活用 _' の活用	評価	10-44-15	1.114.75 A		-11 > 11 & 1	, I_L/D-		した根										
		EBP		_	相談支援	業務の7	ためっ	テジタノ	レ技術・	データのシ											
	, ,		-a. /	評価	評価 評価した根拠・理由											"					
路合評価 障がい者任用による専門家による支援によって、各職員は障がい者である職員の特別 の理解を深め、コミュニケーションの円滑化や協力体制の構築が進んだ。																					
事	■業実施 ・残され				よ視点で障 と期的なフ									整える	るため	かには、継	続的な	支援体制			
	^ //· -	Te-/:-			\/#±+							断理				=					
	今後の〕	拟組 :	万針	現物 						い者である と 要であると								・結果から相			